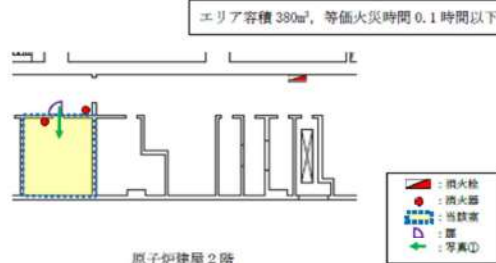


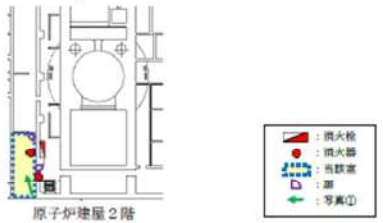



赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(29) D/G(B)室非常用送風機室 (R-9-45)</p> <p>D/G(B)室非常用送風機室に設置している機器は、送風機等である。これらは不燃材、難燃材で構成されており、ケーブルは電線管及び金属製の可とう電線管に敷設している。</p> <p>可燃物としては、軸受にグリスを使用している。軸受は不燃材である金属で覆われており設備外部に燃え広がることはない。その他、可燃物である照明器具やコンセントが設置されているが、可燃物管理により火災荷重を低く抑えることから、火災が発生した場合でも火災規模は小さく、煙の充満により消火活動が困難とならないため、消火器による消火が可能である。</p> <div data-bbox="712 523 1321 1129" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>(エアレイアウト)</p> <p>エリア容積 390m³、等価火災時間 0.1 時間以下</p>  <p>原子炉建屋2階</p> <p>室内の様子 (写真①)</p>  <p>非常用送風機</p> <p>設置されている機器</p>  <p>可とう電線管</p> <p>※足場や養生は仮設設置</p> </div>		<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊は、火災荷重の管理により、消火活動が困難とならない火災区域又は火災区画はないことから、当該記載はない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(30) SGTS ファン(B)室 (R-9-47)</p> <p>SGTS ファン(B)室に設置している機器は、非常用ガス処理系排風機、電動弁等である。これらは不燃材、難燃材で構成されており、ケーブルは電線管及び金属製の可とう電線管に敷設している。</p> <p>可燃物としては、軸受にグリスを使用している。軸受は不燃材である金属で覆われており設備外部に燃え広がることはない。その他、可燃物である照明器具やコンセント等が設置されているが、可燃物管理により火災荷重を低く抑えることから、火災が発生した場合でも火災規模は小さく、煙の充満により消火活動が困難とならないため、消火器による消火が可能である。</p> <div data-bbox="712 539 1317 1082" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>(エリアレイアウト)</p> <p>エリア容積 300m³, 等価火災時間 0.1 時間以下</p>  <p>原子力建屋2階</p> <p>室内の様子 (写真①)</p> <p>設置されている機器</p>  <p>非常用ガス処理系排風機 電動弁 可とう電線管</p> <p>※足場や養生は仮設設置</p> </div>		<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊は、火災荷重の管理により、消火活動が困難とならない火災区域又は火災区画はないことから、当該記載はない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(31) 原子炉補機(A)室送風機室 (R-9-55)</p> <p>原子炉補機(A)室送風機室に設置している機器は、送風機等である。これらは不燃材、難燃材で構成されており、ケーブルは電線管及び金属製の可とう電線管に敷設している。</p> <p>可燃物としては、軸受にグリスを使用している。軸受は不燃材である金属で覆われており設備外部に燃え広がることはない。その他、可燃物である照明器具等が設置されているが、可燃物管理により火災荷重を低く抑えることから、火災が発生した場合でも火災規模は小さく、煙の充満により消火活動が困難とならないため、消火器による消火が可能である。</p> <div data-bbox="712 528 1319 1098" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>(エアレイアウト)</p> <p>エリア容積 520m³、等価火災時間 0.1 時間以下</p>  <p>原子炉建屋2階</p> <p>室内の様子 (写真①)</p>  <p>※足場や養生は仮設設置</p> <p>設置されている機器</p>  <p>送風機 可とう電線管</p> </div>		<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊は、火災荷重の管理により、消火活動が困難とならない火災区域又は火災区画はないことから、当該記載はない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-5 添付資料12 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設周辺の可燃物等の状況について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(32) SGTS ファン(A)室 (R-9-59)</p> <p>SGTS ファン(A)室に設置している機器は、非常用ガス処理系排風機、電動弁等である。これらは不燃材、難燃材で構成されており、ケーブルは電線管及び金属製の可とう電線管に敷設している。</p> <p>可燃物としては、軸受にグリスを使用している。軸受は不燃材である金属で覆われており設備外部に燃え広がることはない。その他、可燃物である照明器具等が設置されているが、可燃物管理により火災荷重を低く抑えることから、火災が発生した場合でも火災規模は小さく、煙の充満により消火活動が困難とならないため、消火器による消火が可能である。</p> <div data-bbox="712 534 1326 1125" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>(エリアレイアウト)</p> <p>エリア容積 300m³、等価火災時間 0.1時間以下</p>  <p>原子炉建屋2階</p> <p>室内の様子 (写真①)</p>  <p>非常用ガス処理系排風機</p> <p>設置されている機器</p>  <p>可とう電線管 電動弁</p> <p>※足場や養生は仮設設置</p> </div>		<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊は、火災荷重の管理により、消火活動が困難とならない火災区域又は火災区画はないことから、当該記載はない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(33) 原子炉補機(B)室送風機室 (R-9-64)</p> <p>原子炉補機(B)室送風機室に設置している機器は、送風機及び空気作動弁等である。これらは不燃材、難燃材で構成されており、ケーブルは電線管及び金属製の可とう電線管に敷設している。</p> <p>可燃物としては、軸受にグリスを使用している。軸受は不燃材である金属で覆われており設備外部に燃え広がることはない。その他、可燃物である照明器具等が設置されているが、可燃物管理により火災荷重を低く抑えることから、火災が発生した場合でも火災規模は小さく、煙の充満により消火活動が困難とならないため、消火器による消火が可能である。</p> <div data-bbox="712 531 1326 1058" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>(エアレイアウト)</p> <p>エリア容積 890m³、等価火災時間 0.1 時間以下</p> <p>原子炉建屋2階</p> <p>室内の様子 (写真①) 設置されている機器</p> <p>※足場や養生は仮設置 送風機 空気作動弁</p> </div>		<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊は、火災荷重の管理により、消火活動が困難とならない火災区域又は火災区画はないことから、当該記載はない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-5 添付資料12 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設周辺の可燃物等の状況について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(34) ブローアウトパネル室 (R-10-9)</p> <p>ブローアウトパネル室に設置している機器は、ブローアウトパネル及び原子炉建屋ブローアウトパネル閉止装置等である。これらは不燃材、難燃材で構成されており、ケーブルは電線管及び金属製の可とう電線管に敷設している。</p> <p>また、可燃物である照明器具が設置されているが、可燃物管理により火災荷重を低く抑えることから、火災が発生した場合でも火災規模は小さく、煙の充満により消火活動が困難とならないため、消火器による消火が可能である。</p> <div data-bbox="712 499 1317 1225" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>(エアレイアウト)</p> <p>エア容积 432㎡、等価火災時間 0.1時間以下</p> <p>原子炉建屋中3階</p> <p>室内の様子 (写真①)</p> <p>設置されている機器</p> <p>ブローアウトパネル</p> <p>※ブローアウトパネル閉止装置は設置予定</p> </div>		<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊は、火災荷重の管理により、消火活動が困難とならない火災区域又は火災区画はないことから、当該記載はない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(35) 活性炭式希ガスホールドアップ塔室 (T-1-27)</p> <p>活性炭式希ガスホールドアップ塔室に設置している機器は、活性炭式希ガスホールドアップ塔及び前置フィルタ等である。これらは不燃材、難燃材で構成されており、ケーブルは電線管及び金属製の可とう電線管に敷設している。</p> <p>可燃物である活性炭は不燃材である活性炭式希ガスホールドアップ塔内にある。その他、可燃物である照明器具が設置されているが、可燃物管理により火災荷重を低く抑えることから、火災が発生した場合でも火災規模は小さく、煙の充満により消火活動が困難とならないため、消火器による消火が可能である。</p> <div data-bbox="712 528 1323 1094" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>(エアレイアウト)</p> <p>エリア容積 780㎡、等価火災時間 0.1 時間以下</p>  <p>タービン建屋地下2階</p> <p>室内の様子 (写真①)</p>  <p>活性炭式希ガスホールドアップ塔</p> <p>※足場や養生は仮設置</p> <p>設置されている機器</p>  <p>前置フィルタ</p> </div>		<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊は、火災荷重の管理により、消火活動が困難とならない火災区域又は火災区画はないことから、当該記載はない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-5 添付資料12 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設周辺の可燃物等の状況について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(36) 排ガス復水器(A)(B)室 (T-3-13)</p> <p>排ガス復水器(A)(B)室に設置している機器は、排ガス再結合器、排ガス予冷器等である。これらは不燃材、難燃材で構成されており、ケーブルは電線管及び金属製の可とう電線管に敷設している。</p> <p>また、可燃物である照明器具等が設置されているが、可燃物管理により火災荷重を低く抑えることから、火災が発生した場合でも火災規模は小さく、煙の充満により消火活動が困難とならないため、消火器による消火が可能である。</p> <div data-bbox="712 494 1326 1061" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>(エリアレイアウト)</p> <p>エリア容積 960m³、等価火災時間 0.1 時間以下</p>  <p>タービン建屋地下1階</p> <p>室内の様子 (写真①)</p>  <p>※足場や養生は仮設置</p> <p>排ガス再結合器</p> <p>排ガス予冷器</p> </div>		<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊は、火災荷重の管理により、消火活動が困難とならない火災区域又は火災区画はないことから、当該記載はない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-5 添付資料12 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設周辺の可燃物等の状況について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(37) DGDO(A), (HPCS)連絡配管トレンチ (Y-7-1)</p> <p>DGDO(A), (HPCS)連絡配管トレンチに設置している機器は、燃料移送系配管、電線管等である。これらは不燃材、難燃材で構成されている。</p> <p>燃料移送系配管は、不燃材である金属で構成されており、配管継手には溶接構造を採用し、耐震Sクラス設計であることから、地震による配管損傷はない。なお、当該配管は軽油タンクからデイトンクまでの移送配管であり、配管内部は軽油であることから、内面腐食の可能性は低い。外面腐食については定期的に外観点検を実施することで、配管の健全性を確認することから軽油が漏えいする可能性は低い。また、トレンチ内には高温配管がなく外気温度と同等の温度であることから、環境温度は軽油の引火点である45℃に達することはない。万一、腐食により配管内部の軽油が漏えいした場合においても、電線管は壁又は天井部に敷設していることから、床に漏えいした軽油と距離が離れているため、軽油の漏えいによる火災発生の可能性は低い。</p> <p>電線管は不燃材である金属で構成されており、耐震Sクラス設計であることから、地震による電線管の損傷はない。電線管内には燃料移送ポンプの動力ケーブル等があるが、燃料移送ポンプは常時停止していることから、ケーブルは通電されず、過電流によるケーブル火災の可能性はない。また、燃料移送ポンプ運転中に過電流が発生した場合においても、保護継電器により電流が遮断される設計であることから火災の可能性は低い。万一、火災に至った場合でも、金属性の電線管内に敷設していることから、電線管外部への延焼の可能性はない。</p> <p>トレンチ内の可燃物として照明器具が設置されているが、常時電源切とし入城時のみ電源を入れる運用とするため、過電流によるケーブル火災の可能性はない。なお、トレンチ入城時に火災が発生したとしても常時監視下にあることから早期感知・消火が可能である。</p> <p>また、トレンチ内は可燃物の仮置きを禁止するとともに、作業時の可燃物管理により火災荷重を低く抑えることから、火災が発生した場合でも火災規模は小さく、煙の充満により消火活動が困難とならない。なお、火災により当該エリアに入城不可となることがないように、消火活動のためのアクセスルートを2ルート確保していることから、移動式消火設備又は消火器による消火が可能である。</p>		<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊は、火災荷重の管理により、消火活動が困難とならない火災区域又は火災区画はないことから、当該記載はない。</p> <p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊は、火災荷重の管理により、消火活動が困難とならない火災区域又は火災区画はないことから、当該記載はない。</p> <p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊は、火災荷重の管理により、消火活動が困難とならない火災区域又は火災区画はないことから、当該記載はない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(エアレイアウト)</p>  <p>室内の様子 (写真①)</p>  <p>※露出ケーブルは仮設設置</p> <p>設置されている機器</p>  <p>可とう電線管</p> <p>(38) DGDO(B)連絡配管トレンチ (Y-7-4) DGDO(B)連絡配管トレンチに設置している機器は、燃料移送系配管、電線管等である。これらは不燃材、難燃材で構成されている。</p>		<p>【女川】 ■設計の相違 泊は、火災荷重の管理に</p>

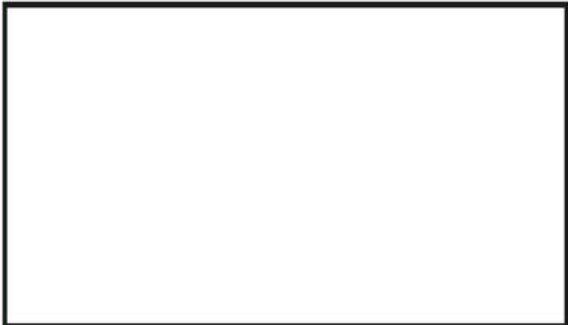

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料41-5 添付資料12 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設周辺の可燃物等の状況について)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>燃料移送系配管は、不燃材である金属で構成されており、配管継手には溶接構造を採用し、耐震Sクラス設計であることから、地震による配管損傷はない。なお、当該配管は軽油タンクからデイトンクまでの移送配管であり、配管内部は軽油であることから、内面腐食の可能性は低い。外面腐食については定期的に外観点検を実施することで、配管の健全性を確認することから軽油が漏えいする可能性は低い。また、トレンチ内には高温配管がなく外気温度と同等の温度であることから、環境温度は軽油の引火点である45℃に達することはない。万一、腐食により配管内部の軽油が漏えいした場合においても、電線管は壁又は天井部に敷設していることから、床に漏えいした軽油と距離が離れているため、軽油の漏えいによる火災発生の可能性は低い。</p> <p>電線管は不燃材である金属で構成されており、耐震Sクラス設計であることから、地震による電線管の損傷はない。電線管内には燃料移送ポンプの動力ケーブル等があるが、燃料移送ポンプは常時停止していることから、ケーブルは通電されず、過電流によるケーブル火災の可能性はない。また、燃料移送ポンプ運転中に過電流が発生した場合においても、保護継電器により電流が遮断される設計であることから火災の可能性は低い。万一、火災に至った場合でも、金属性の電線管内に敷設していることから、電線管外部への延焼の可能性はない。</p> <p>トレンチ内の可燃物として照明器具が設置されているが、常時電源切とし入域時のみ電源を入れる運用とするため、過電流によるケーブル火災の可能性はない。なお、トレンチ入域時に火災が発生したとしても常時監視下にあることから早期感知・消火が可能である。</p> <p>また、トレンチ内は可燃物の仮置きを禁止するとともに、作業時の可燃物管理により火災荷重を低く抑えることから、火災が発生した場合でも火災規模は小さく、煙の充満により消火活動が困難とされない。なお、火災により当該エリアに入域不可となることなく、消火活動のためのアクセスルートを2ルート確保していることから、移動式消火設備又は消火器による消火が可能である。</p>		<p>より、消火活動が困難とされない火災区域又は火災区画はないことから、当該記載はない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(エリアレイアウト)</p>  <p>室内の様子 (写真①) 設置されている機器</p>  <p>電線管 配管</p>		<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊は、火災荷重の管理により、消火活動が困難とならない火災区域又は火災区画はないことから、当該記載はない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(39)復水貯蔵タンク/連絡トレンチ/バルブ室(Y-7-7)</p> <p>復水貯蔵タンク/連絡トレンチ/バルブ室に設置している機器は、空気作動弁、計器及び電線管等である。これらは不燃材、難燃材で構成されており、ケーブルは電線管及び金属製の可とう電線管に敷設している。</p> <p>また、可燃物である照明器具が設置されているが、可燃物管理により火災荷重を低く抑えることから、火災が発生した場合でも火災規模は小さく、煙の充満により消火活動が困難とならないため、移動式消火設備又は消火器による消火が可能である。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(エアレイアウト)</p>  <p>室内の様子 (写真①) 設置されている機器</p>   <p>※露出ケーブルは仮設置 空気作動弁 可とう電線管</p> </div>		<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊は、火災荷重の管理により、消火活動が困難とならない火災区域又は火災区画はないことから、当該記載はない。</p>

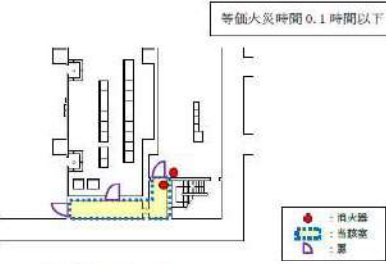
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(40) 緊急対策エリア用給気処理室 (KB-1-4)</p> <p>緊急対策エリア用給気処理室に設置してある機器は給気処理装置等である。これらは不燃材、難燃材で構成されており、ケーブルは電線管及び金属製の可とう電線管に敷設している。</p> <p>また、可燃物である照明器具等が設置されているが、可燃物管理により火災荷重を低く抑えることから、火災が発生した場合でも火災規模は小さく、煙の充満により消火活動が困難とならないため、消火器による消火が可能である。</p> <div data-bbox="712 464 1323 852" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>(エリアレイアウト)</p>  </div>		<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊は、火災荷重の管理により、消火活動が困難とならない火災区域又は火災区画はないことから、当該記載はない。</p>

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料41-5 添付資料12 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設周辺の可燃物等の状況について)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(41) 緊急対策室アクセスエリア (KB-1-5)</p> <p>緊急対策室アクセスエリアに設置してある機器は電線管等である。これらは不燃材、難燃材で構成されており、ケーブルは電線管及び金属製の可とう電線管に敷設している。</p> <p>また、可燃物である照明器具等が設置されているが、可燃物管理により火災荷重を低く抑えることから、火災が発生した場合でも火災規模は小さく、煙の充満により消火活動が困難とならないため、消火器による消火が可能である。</p> <div data-bbox="712 459 1319 858" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>(エリアレイアウト)</p>  <p>緊急時対策建屋地下2階</p> <p>※建屋詳細設計中のため変更もあり得る</p> </div>		<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊は、火災荷重の管理により、消火活動が困難とならない火災区域又は火災区画はないことから、当該記載はない。</p>


泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料41-5 添付資料12 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設周辺の可燃物等の状況について)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(42) 廊下 (B2F 北側) (KB-1-6)</p> <p>廊下 (B2F 北側) に設置してある機器は電線管等である。これらは不燃材、難燃材で構成されており、ケーブルは電線管及び金属製の可とう電線管に敷設している。</p> <p>また、可燃物である照明器具等が設置されているが、可燃物管理により火災荷重を低く抑えることから、火災が発生した場合でも火災規模は小さく、煙の充満により消火活動が困難とならないため、消火器による消火が可能である。</p> <div data-bbox="712 459 1317 858" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>(エリアレイアウト)</p>  <p>緊急時対策建屋地下2階</p> <p>※建屋詳細設計中のため変更もあり得る</p> </div>		<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊は、火災荷重の管理により、消火活動が困難とならない火災区域又は火災区画はないことから、当該記載はない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(43) 資機材保管エリア (KB-1-7)</p> <p>資機材保管エリアに設置してある機器は、電線管等である。これらは不燃材、難燃材で構成されており、ケーブルは電線管及び金属製の可とう電線管に敷設している。</p> <p>また、可燃物である照明器具等が設置されているが、可燃物管理により火災荷重を低く抑えることから、火災が発生した場合でも火災規模は小さく、煙の充満により消火活動が困難とならないため、消火器による消火が可能である。</p> <div data-bbox="712 459 1326 858" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>(エリアレイアウト)</p>  </div>		<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊は、火災荷重の管理により、消火活動が困難とならない火災区域又は火災区画はないことから、当該記載はない。</p>

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料41-5 添付資料12 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設周辺の可燃物等の状況について)

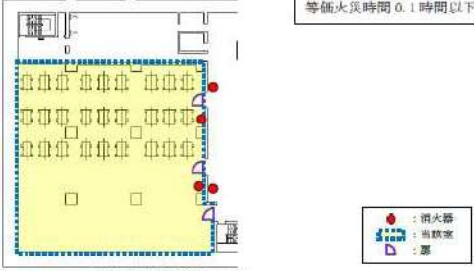
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(44) 廊下 (B2F 南側) (KB-1-8)</p> <p>廊下 (B2F 南側) に設置してある機器は、監視盤、電線管等である。</p> <p>これらは不燃材、難燃材で構成されており、ケーブルは電線管及び金属製の可とう電線管に敷設している。</p> <p>また、可燃物である照明器具等が設置されているが、可燃物管理により火災荷重を低く抑えることから、火災が発生した場合でも火災規模は小さく、煙の充満により消火活動が困難とならないため、消火器による消火が可能である。</p> <div data-bbox="712 491 1323 890" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>(エアレイアウト)</p>  <p>等価火災時間 0.1 時間以下</p> <p>緊急時対策建屋地下2階</p> <p>※建屋詳細設計中のため変更もあり得る</p> </div>		<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊は、火災荷重の管理により、消火活動が困難とならない火災区域又は火災区画はないことから、当該記載はない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

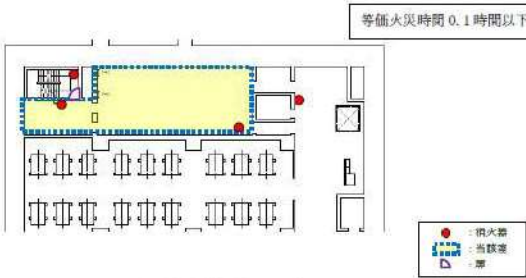
第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-5 添付資料12 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設周辺の可燃物等の状況について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(45) 空気ポンベ室 (KB-2-1)</p> <p>空気ポンベ室に設置してある機器は、空気ポンベ、電線管等である。これらは不燃材、難燃材で構成されており、ケーブルは電線管及び金属製の可とう電線管に敷設している。</p> <p>また、可燃物である照明器具等が設置されているが、可燃物管理により火災荷重を低く抑えることから、火災が発生した場合でも火災規模は小さく、煙の充満により消火活動が困難とならないため、消火器による消火が可能である。</p> <div data-bbox="712 459 1323 858" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>(エリアレイアウト)</p>  <p>緊急時対策建屋地下1階</p> <p>※建屋詳細設計中のため変更もあり得る</p> </div>		<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊は、火災荷重の管理により、消火活動が困難とならない火災区域又は火災区画はないことから、当該記載はない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0


第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-5 添付資料12 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設周辺の可燃物等の状況について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(46) チェンジングエリア (KB-2-2)</p> <p>チェンジングエリアに設置してある機器は、電線管等である。これらは不燃材、難燃材で構成されており、ケーブルは電線管及び金属製の可とう電線管に敷設している。</p> <p>また、可燃物である照明器具等が設置されているが、可燃物管理により火災荷重を低く抑えることから、火災が発生した場合でも火災規模は小さく、煙の充満により消火活動が困難とならないため、消火器による消火が可能である。</p> <div data-bbox="712 459 1317 858" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>(エリアレイアウト)</p>  </div>		<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊は、火災荷重の管理により、消火活動が困難とならない火災区域又は火災区画はないことから、当該記載はない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-5 添付資料12 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設周辺の可燃物等の状況について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(47) 廊下 (B1F) (KB-2-6)</p> <p>廊下 (B1F) に設置してある機器は、電線管等である。これらは不燃材、難燃材で構成されており、ケーブルは電線管及び金属製の可とう電線管に敷設している。</p> <p>また、可燃物である照明器具等が設置されているが、可燃物管理により火災荷重を低く抑えることから、火災が発生した場合でも火災規模は小さく、煙の充満により消火活動が困難とならないため、消火器による消火が可能である。</p> <div data-bbox="712 459 1321 890" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>(エリアレイアウト)</p>  <p>等価火災時間 0.1 時間以下</p> <p>● : 消火器 ■ : 当積重 ▲ : 煙</p> <p>緊急時対策建屋地下1階</p> <p>※建屋詳細設計のため変更もあり得る</p> </div>		<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊は、火災荷重の管理により、消火活動が困難とならない火災区域又は火災区画はないことから、当該記載はない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

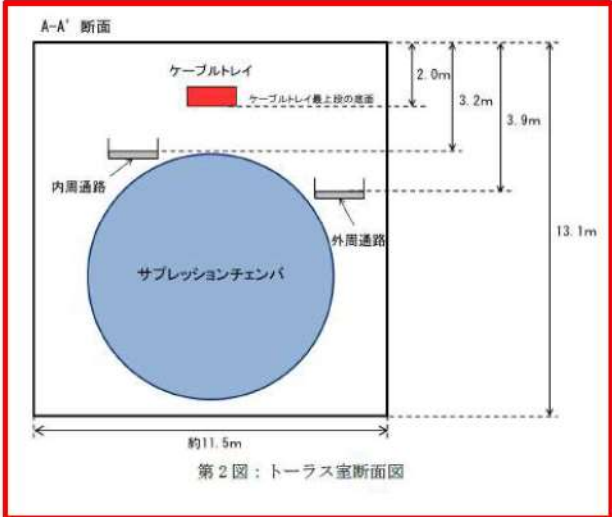
第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-5 添付資料12 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設周辺の可燃物等の状況について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(48) 廊下 (1F) (KB-3-12)</p> <p>廊下 (1F) に設置してある機器は、電線管等である。これらは不燃材、難燃材で構成されており、ケーブルは電線管及び金属製の可とう電線管に敷設している。</p> <p>また、可燃物である照明器具等が設置されているが、可燃物管理により火災荷重を低く抑えることから、火災が発生した場合でも火災規模は小さく、煙の充満により消火活動が困難とならないため、消火器による消火が可能である。</p> <div data-bbox="712 459 1323 858" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>(エアレイアウト)</p>  <p>緊急時対策建屋1階</p> <p>※建屋詳細設計中のため変更もあり得る</p> </div>		<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊は、火災荷重の管理により、消火活動が困難とならない火災区域又は火災区画はないことから、当該記載はない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>3. トーラス室</p> <p>トーラス室において万一火災が発生した場合でも、トーラス室の空間体積 (約 11,000m³) に対して換気風量が 21,600m³/h、原子炉棟排風機の容量が 85,500 m³/h (1台当たり) であることから、煙が充満しないため、消火活動が可能である。</p> <p>トーラス室下部エリアに可燃物となる機器は設置しておらず、上部エリアに電動弁、ケーブルトレイ、電線管等を設置している。これらは不燃材、難燃材で構成されており、ケーブルトレイ以外に敷設しているケーブルは電線管及び金属製の可とう電線管に敷設している。</p> <p>消火要員のアクセス性については、トーラス室上部通路へアクセス可能なルートが5箇所あることから、単一の火災により1箇所のルートが使用できない場合であっても他の箇所からアクセスすることが可能となっている。(第1図)</p> <p>また、単一の火災により煙が発生した場合であっても、トーラス室上部の空間体積が大きいこと、通路から天井までの高さが約 3.2m~3.9m確保されていることから、火災発生場所までのアクセス性に影響することはなく消火活動が可能である。(第2図) 以上より、消火器又は消火栓により速やかに消火活動を実施することが十分可能である。</p>		<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>設備及び系統構成、可燃物設置状況により消火活動が困難とならない火災区域及び火災区画の設定の相違</p>
	 <p>第1図：トーラス室上部の状況</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>第2図：トーラス室断面図</p>		<p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■設計の相違 <p>設備及び系統構成、可燃物設置状況により消火活動が困難とならない火災区域及び火災区画の設定の相違</p>




赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-5 添付資料12 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設周辺の可燃物等の状況について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>4. 屋外の火災区域又は火災区画</p> <p>安全機能を有する構築物、系統及び機器を設置及び重大事故等対処施設を設置する屋外の火災区域又は火災区画は、屋外に設定しており、火災が発生しても煙が充満しないことから、消火活動で消火可能である。</p> <p>現場の状況を以下に示す。</p> <p>(1) RSW ポンプ(A)(C)室(Y-1-1)</p> <p>RSW ポンプ(A)(C)室(床面積 171m²)は、火災が発生しても煙が大気放出されるため煙は充満せず消火活動は可能である。このため、消火器又は移動式消火設備で消火活動を行う。</p> <p>火災源は、原子炉補機冷却海水ポンプ(A)及び(C)電動機の内包潤滑油 (26L)及びケーブルトレイ(18m)があるが、これら含めて設置している機器、配管、ケーブルトレイ、電線管、盤の筐体及びこれらの支持構造物の主要な構造材は、火災の発生防止及び当該設備の強度確保等を考慮し、金属材料等の不燃性材料を使用している。また、ケーブルトレイに敷設したケーブルは、難燃ケーブルを使用していること、過電流防止装置により過電流が発生するおそれがないことから、自己発火のおそれは小さい。</p> <p>消火器は、大型消火器、小型消火器を配置し、初期消火要員が迅速に使用できるように部屋の外側にも配置する。</p> <p>移動式消火設備は、消火栓及び防火水槽から取水して消火活動を行う。取水は2箇所以上から対応可能である。(別紙 1)</p> <p>(エアレイアウト)</p> 	<p>2. 屋外の火災区域又は火災区画</p> <p>安全機能を有する構築物、系統及び機器を設置及び重大事故等対処施設を設置する屋外の火災区域又は火災区画は、屋外に設定しており、火災が発生しても煙が充満しないことから、消火活動で消火可能である。</p> <p>現場の状況を以下に示す。</p>	<p>【大飯】</p> <p>■記載内容の相違 (女川実績反映)</p> <p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>設備及び系統構成の相違による屋外の火災区域又は火災区画の相違</p>


赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>室内の様子 (写真①)</p>  <p>上方開放</p> <p>設置されている機器①</p>  <p>ケーブルトレイ</p> <p>設置されている機器②</p>  <p>ポンプ用電動機</p> </div>		<p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■設計の相違 <p>設備及び系統構成の相違による屋外の火災区域又は火災区画の相違</p>





赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-5 添付資料12 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設周辺の可燃物等の状況について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(2)HPSW ポンプ室(Y-1-3)</p> <p>HPSW ポンプ室(床面積 112m²)は、火災が発生しても煙が大気放出されるため煙は充満せず消火活動は可能である。このため、消火器又は移動式消火設備で消火活動を行う。</p> <p>火災源は、ケーブルトレイ(31m)があるが、これら含めて設置している機器、配管、ケーブルトレイ、電線管、盤の管体及びこれらの支持構造物の主要な構造材は、火災の発生防止及び当該設備の強度確保等を考慮し、金属材料等の不燃性材料を使用している。ケーブルトレイに敷設したケーブルは、火災の発生防止を考慮し、難燃ケーブルを使用していること、過電流防止装置により過電流が発生するおそれがないことから、自己発火のおそれが小さい。</p> <p>消火器は、大型消火器、小型消火器を配置し、初期消火要員が迅速に使用できるように部屋の外側にも配置する。</p> <p>移動式消火設備は、消火栓及び防火水槽から取水して消火活動を行う。取水は2箇所以上から対応可能である。(別紙 1)</p> <p>(エリアレイアウト)</p> 		<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>設備及び系統構成の相違による屋外の火災区域又は火災区画の相違</p>


赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">室内の様子 (写真①)</p>  <p style="text-align: center;">設置されている機器①</p>  <p style="text-align: center;">設置されている機器②</p>  <p style="text-align: center;">設置されている機器③</p>  <p style="text-align: center;">ケーブルトレイ</p> </div>		<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>設備及び系統構成の相違による屋外の火災区域又は火災区画の相違</p>

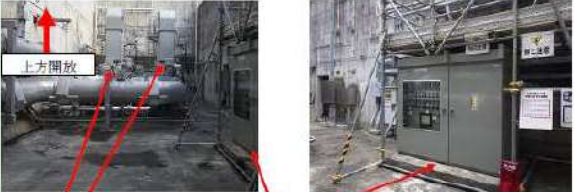




赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-5 添付資料12 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設周辺の可燃物等の状況について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(3)RSW ポンプ(B)(D)室(Y-1-4)</p> <p>RSW ポンプ(B)(D)室(床面積 263m²)は、火災が発生しても煙が大気放出されるため煙は充満せず消火活動は可能である。このため、消火器又は移動式消火設備で消火活動を行う。</p> <p>火災源は、原子炉補機冷却海水ポンプ(B)及び(D)電動機の内包潤滑油 (26L)、ケーブルトレイ (23m)及び屋外配管凍結防止用電気加熱制御盤 (1 面)があるが、これら含めて設置している機器、配管、ケーブルトレイ、電線管、盤の管体及びこれらの支持構造物の主要な構造材は、火災の発生防止及び当該設備の強度確保等を考慮し、金属材料等の不燃性材料を使用している。また、ケーブルトレイは、難燃ケーブルを使用していること、過電流防止装置により過電流が発生するおそれがないことから、自己発火のおそれが小さい。</p> <p>消火器は、大型消火器、小型消火器を配置し、初期消火要員が迅速に使用できるように部屋の外側にも配置する。</p> <p>移動式消火設備は、消火栓及び防火水槽から取水して消火活動を行う。取水は 2 箇所以上から対応可能である。(別紙 1)</p> <p>(エアレイアウト)</p> 		<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>設備及び系統構成の相違による屋外の火災区域又は火災区画の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">室内の様子 (写真①)</p>  <p style="text-align: center;">設置されている機器①</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ポンプ用電動機</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>制御盤</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">設置されている機器②</p>  <p style="text-align: center;">設置されている機器③</p>  <p style="text-align: center;">ケーブルトレイ</p> </div>		<p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■設計の相違 <p>設備及び系統構成の相違による屋外の火災区域又は火災区画の相違</p>


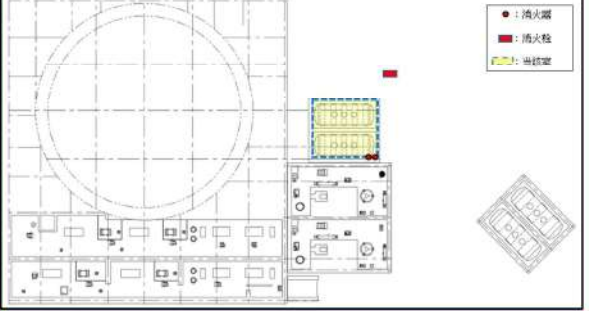
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

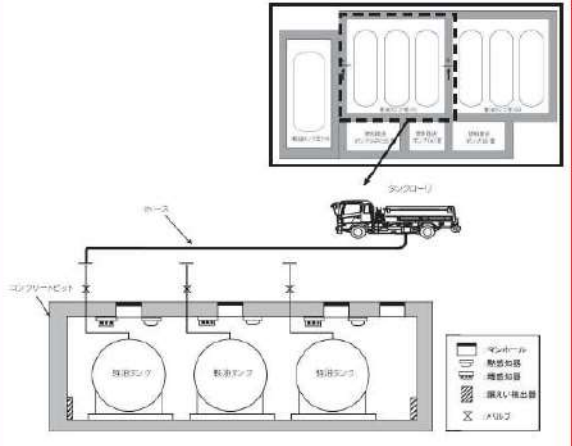

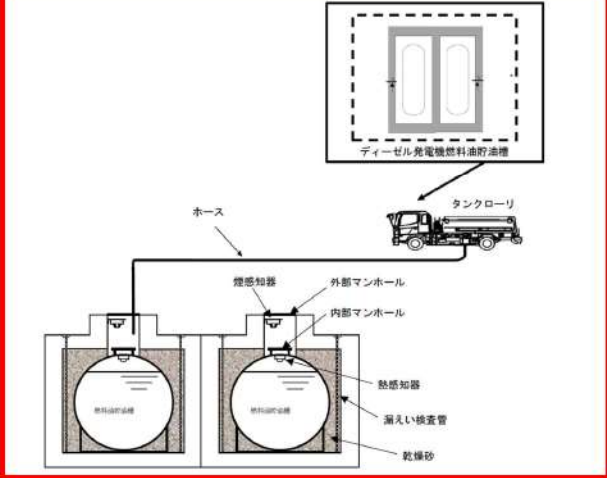
第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-5 添付資料12 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設周辺の可燃物等の状況について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(4)燃料移送ポンプ(HPCS)室(Y-7-2)</p> <p>燃料移送ポンプ(HPCS)室(床面積 25m²)は、屋外の地下に設置されており、火災が発生しても煙が扉から大気放出されるため煙は充満せず消火活動は可能である。このため、消火器又は移動式消火設備で消火活動を行う。</p> <p>設置している機器、配管、電線管、盤の管体及びこれらの支持構造物の主要な構造材は、火災の発生防止及び当該設備の強度確保等を考慮し、金属材料等の不燃性材料を使用している。</p> <p>消火器は、小型消火器を配置し、初期消火要員が迅速に使用できるように部屋の外側にも配置する。</p> <p>移動式消火設備は、消火栓及び防火水槽から取水して消火活動を行う。取水は2箇所以上から対応可能である。(別紙1)</p> <p>(エアレイアウト)</p>  <p>室内の様子(写真①)及び設置されている機器</p>  <p>油配管 ポンプ設置予定箇所</p>  <p>上部開放箇所</p> <p>上部開放箇所(入域可能)</p>		<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊は燃料油移送ポンプは屋内に設置されているため、当該記載はない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(5) 軽油タンク室 (A) (Y-7-3)</p> <p>軽油タンク室 (A) (床面積 207m²) は、屋外の地下貯蔵タンクで、火災が発生しても煙が扉から大気放出されるため煙は充滿せず消火活動は可能である。このため、消火器又は移動式消火設備で消火活動を行う。火災源は、非常用ディーゼル発電設備軽油タンク (A)、(C)、(E) (各110k1) があるが、これら含めて設置している機器、配管、電線管及びこれらの支持構造物の主要な構造材は、火災の発生防止及び当該設備の強度確保等を考慮し、金属材料等の不燃性材料を使用している。消火器は、小型消火器を配置し、初期消火要員が迅速に使用できるように部屋の外側にも配置する。</p> <p>移動式消火設備は、消火栓及び防火水槽から取水して消火活動を行う。取水は2箇所以上から対応可能である。(別紙1)</p> <div data-bbox="712 671 1308 1054" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>(エリアレイアウト)</p>  </div>	<p>(1) A1, A2-ディーゼル発電機燃料油貯油槽 (0/B 1-01)</p> <p>A1, A2-ディーゼル発電機燃料油貯油槽は、屋外の地下貯蔵タンクで、火災が発生しても煙はマンホール部から大気放出されるため煙は充滿せず消火活動は可能である。このため、消火器又は移動式消火設備で消火活動を行う。火災源は、A1, A2-ディーゼル発電機燃料油貯油槽 (各146k1) があるが、これら含めて設置している機器、配管、電線管及びこれらの支持構造物の主要な構造材は、火災の発生防止及び当該設備の強度確保等を考慮し、金属材料等の不燃性材料を使用している。消火器は、小型消火器を配置し、初期消火要員が迅速に使用できるように屋外に配置する。</p> <p>移動式消火設備は、消火栓及び防火水槽から取水して消火活動を行う。取水は2箇所以上から対応可能である。</p> <div data-bbox="1344 671 1957 1023" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>(エリアレイアウト)</p>  </div>	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載内容の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設備名称の相違 【女川】 ■設計の相違 <p>泊の燃料油貯油槽は、乾燥砂で覆われ地下に埋設されているため、消防法に基づき、屋外に消火器を設置する。また、設置するタンク容量の相違。</p> <p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■設備の相違 <p>設備及び系統構成の相違による配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>内部概要及び設置されている機器</p>  <p>軽油タンクの構造及び給油イメージ (A-A' 矢視)</p> <p>上部開放箇所 (写真①)</p>  <p>上部開放箇所</p>	<p>内部概要及び設置されている機器</p> 	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 (女川実績の反映) <p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■設備の相違 <p>設備及び系統構成の相違による配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0


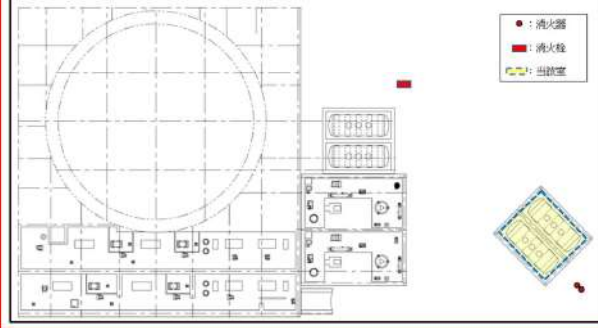
第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-5 添付資料12 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設周辺の可燃物等の状況について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(6)燃料移送ポンプ(B)室(Y-7-5)</p> <p>燃料移送ポンプ(B)室(床面積 27m²)は、屋外の地下に設置されており、火災が発生しても煙が扉から大気放出されるため煙は充満せず消火活動は可能である。このため、消火器又は移動式消火設備で消火活動を行う。</p> <p>設置している機器、配管、電線管、盤の管体及びこれらの支持構造物の主要な構造材は、火災の発生防止及び当該設備の強度確保等を考慮し、金属材料等の不燃性材料を使用している。</p> <p>消火器は、小型消火器を配置し、初期消火要員が迅速に使用できるように部屋の外側にも配置する。</p> <p>移動式消火設備は、消火栓及び防火水槽から取水して消火活動を行う。取水は2箇所以上から対応可能である。(別紙 1)</p> <p>(エリアレイアウト)</p>  <p>室内の様子（写真①）及び設置されている機器</p>  <p>油配管</p> <p>ポンプ設置予定箇所</p> <p>上部開放箇所</p>  <p>上部開放箇所（入域可能）</p>		<p>【大飯】</p> <p>■記載内容の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【女川】</p> <p>■設計の相違 泊は燃料油移送ポンプは屋内に設置されているため、当該記載はない。</p>

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料41-5 添付資料12 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設周辺の可燃物等の状況について)

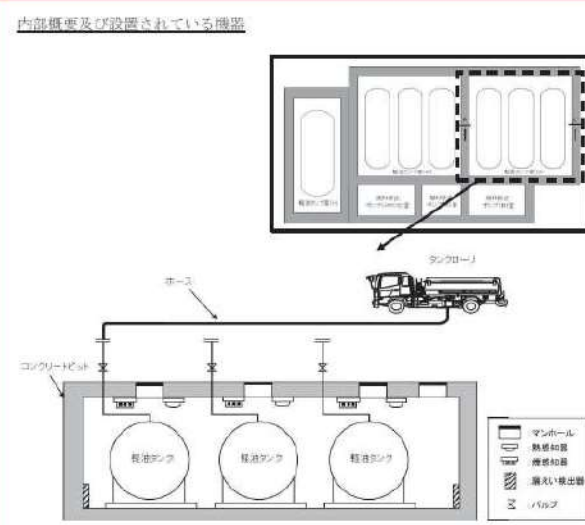

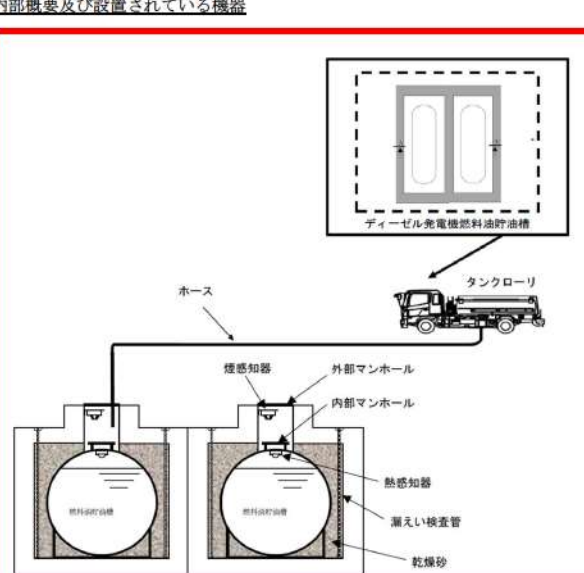
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(7) 軽油タンク室 (B) (Y-7-6)</p> <p>軽油タンク室 (B) (床面積 207m²) は、屋外の地下貯蔵タンクで、火災が発生しても煙が扉から大気放出されるため煙は充満せず消火活動は可能である。このため、消火器又は移動式消火設備で消火活動を行う。</p> <p>火災源は、非常用ディーゼル発電設備軽油タンク (B) , (D) , (F) (各110k1) があるが、これら含めて設置している機器、配管、電線管及びこれらの支持構造物の主要な構造材は、火災の発生防止及び当該設備の強度確保等を考慮し、金属材料等の不燃性材料を使用している。</p> <p>消火器は、小型消火器を配置し、初期消火要員が迅速に使用できるように部屋の外側にも配置する。</p> <p>移動式消火設備は、消火栓及び防火水槽から取水して消火活動を行う。取水は 2 箇所以上から対応可能である。(別紙 1)</p> <div data-bbox="712 660 1326 1066" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>(エリアレイアウト)</p>  </div>	<p>(2) B1, B2-ディーゼル発電機燃料油貯油槽 (0/B 1-02)</p> <p>B1, B2-ディーゼル発電機燃料油貯油槽は、屋外の地下貯蔵タンクで、火災が発生しても煙はマンホール部から大気放出されるため煙は充満せず消火活動は可能である。このため、消火器又は移動式消火設備で消火活動を行う。</p> <p>火災源は、B1, B2-ディーゼル発電機燃料油貯油槽 (各146k1) があるが、これら含めて設置している機器、配管、電線管及びこれらの支持構造物の主要な構造材は、火災の発生防止及び当該設備の強度確保等を考慮し、金属材料等の不燃性材料を使用している。</p> <p>消火器は、小型消火器を配置し、初期消火要員が迅速に使用できるように屋外に配置する。</p> <p>移動式消火設備は、消火栓及び防火水槽から取水して消火活動を行う。取水は 2 箇所以上から対応可能である。</p> <div data-bbox="1344 660 1957 1027" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>(エリアレイアウト)</p>  </div>	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載内容の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設備名称の相違 【女川】 ■設計の相違 <p>泊の燃料油貯油槽は、乾燥砂で覆われ地下に埋設されているため、消防法に基づき、屋外に消火器を設置する。また、設置するタンク容量の相違。</p> <p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載内容の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設備の相違 <p>設備及び系統構成の相違による配置の相違</p>

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料41-5 添付資料12 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設周辺の可燃物等の状況について)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>内部概要及び設置されている機器</p>  <p>軽油タンクの構造及び給油イメージ (A-A' 矢視)</p> <p>上部開放箇所 (写真①)</p>  <p>上部開放箇所</p>	<p>内部概要及び設置されている機器</p> 	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 (女川実績の反映:着色せず) 【女川】 ■設備の相違 設備及び系統構成の相違による配置の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-5 添付資料12 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設周辺の可燃物等の状況について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(8)燃料移送ポンプ(A)室(Y-7-8)</p> <p>燃料移送ポンプ(A)室(床面積 15m²)は、屋外の地下に設置されており、火災が発生しても煙が扉から大気放出されるため煙は充満せず消火活動は可能である。このため、消火器又は移動式消火設備で消火活動を行う。</p> <p>設置している機器、配管、電線管、盤の管体及びこれらの支持構造物の主要な構造材は、火災の発生防止及び当該設備の強度確保等を考慮し、金属材料等の不燃性材料を使用している。</p> <p>消火器は、小型消火器を配置し、初期消火要員が迅速に使用できるように部屋の外側にも配置する。</p> <p>移動式消火設備は、消火栓及び防火水槽から取水して消火活動を行う。取水は2箇所以上から対応可能である。(別紙1)</p> <p>(エアレイアウト)</p>  <p>室内の様子（写真①）及び設置されている機器</p>  <p>油配管 ポンプ設置予定箇所</p>  <p>上部開放箇所</p> <p>上部開放箇所（入域不可）</p>		<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊は燃料油移送ポンプは屋内に設置されているため、当該記載はない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(1) ケーブルピット(A) (KB-2-12)</p> <p>ケーブルピット(A) (床面積 8m²) は、屋外の地下に設置されており、火災が発生しても煙が扉から大気放出されるため煙は充満せず消火活動は可能である。このため、消火器又は移動式消火設備で消火活動を行う。</p> <p>設置している電線管及びこれらの支持構造物の主要な構造材は、火災の発生防止及び当該設備の強度確保等を考慮し、金属材料等の不燃性材料を使用している。</p> <p>消火器は、小型消火器を配置し、初期消火要員が迅速に使用できるように部屋の外側にも配置する。</p> <p>移動式消火設備は、消火栓から取水して消火活動を行う。取水は2 箇所以上から対応可能である。(別紙1)</p> <div data-bbox="712 598 1317 1029" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>(エアレイアウト)</p> <p>緊急時対策建屋 地下1F</p> </div>	<p>(1) 代替非常用発電機 (O/B 1-5)</p> <p>代替非常用発電機は屋外に設置しており、火災が発生しても煙が大気放出されるため煙は充満せず消火活動は可能である。このため、消火器又は移動式消火設備で消火活動を行う。</p> <p>設置している電線管及びこれらの支持構造物の主要な構造材は、火災の発生防止及び当該設備の強度確保等を考慮し、金属材料等の不燃性材料を使用している。</p> <p>消火器は、小型消火器を設置、初期消火要員が迅速に使用できるように屋外に配置する。</p> <p>移動式消火設備は、消火栓から取水して消火活動を行う。取水は2 箇所以上から対応可能である。</p> <div data-bbox="1355 598 1944 890" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>(エアレイアウト)</p> </div>	<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>設備及び系統構成の相違による屋外の火災区域又は火災区画の相違</p> <p>【女川】</p> <p>■設備の相違</p> <p>設備及び系統構成の相違による配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)


大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(2) ケーブルピット(B) (KB-2-13)</p> <p>ケーブルピット(B) (床面積 8m²) は、屋外の地下に設置されており、火災が発生しても煙が扉から大気放出されるため煙は充満せず消火活動は可能である。このため、消火器又は移動式消火設備で消火活動を行う。</p> <p>設置している電線管及びこれらの支持構造物の主要な構造材は、火災の発生防止及び当該設備の強度確保等を考慮し、金属材料等の不燃性材料を使用している。</p> <p>消火器は、小型消火器を配置し、初期消火要員が迅速に使用できるように部屋の外側にも配置する。</p> <p>移動式消火設備は、消火栓から取水して消火活動を行う。取水は2 箇所以上から対応可能である。(別紙1)</p> <div data-bbox="712 635 1326 1066" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>(エリアレイアウト)</p> <p>緊急時対策建屋 地下1F</p> </div>	<p>(2) 燃料タンク (SA) * (O/B 1-6)</p> <p>燃料タンク (SA) は、屋外の地下貯蔵タンクで、火災が発生しても煙はマンホール部から大気放出されるため煙は充満せず消火活動は可能である。このため、消火器又は移動式消火設備で消火活動を行う。</p> <p>火災源は、燃料タンク (SA) (約 60k1) があるが、これら含めて設置している機器、配管、電線管及びこれらの支持構造物の主要な構造材は、火災の発生防止及び当該設備の強度確保等を考慮し、金属材料等の不燃性材料を使用している。</p> <p>消火器は、小型消火器を配置し、初期消火要員が迅速に使用できるように屋外に配置する。</p> <p>移動式消火設備は、消火栓及び防火水槽から取水して消火活動を行う。取水は2 箇所以上から対応可能である。</p> <div data-bbox="1370 644 1935 1439" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>(エリアレイアウト)</p> </div>	<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>設備及び系統構成の相違による屋外の火災区域又は火災区画の相違</p>

※ 燃料タンク (SA) については、今後の検討により変更となる可能性がある。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0


第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-5 添付資料12 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設周辺の可燃物等の状況について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(3) ケーブル取合ビット(A) (E-1-6)</p> <p>ケーブル取合ビット(A) (床面積 37m²) は、屋外の地下に設置されており、火災が発生しても煙が扉から大気放出されるため煙は充満せず消火活動は可能である。このため、消火器又は移動式消火設備で消火活動を行う。</p> <p>設置しているケーブルトレイは、支持構造物の主要な構造材には、火災の発生防止及び当該設備の強度確保等を考慮し、金属材料等の不燃性材料を使用している。また、ケーブルトレイに敷設したケーブルは、難燃ケーブルを使用していること、過電流防止装置により過電流が発生するおそれがないことから、自己発火のおそれは小さい。</p> <p>消火器は、小型消火器を配置し、初期消火要員が迅速に使用できるように部屋の外側にも配置する。</p> <p>移動式消火設備は、消火栓及び防火水槽から取水して消火活動を行う。取水は2箇所以上から対応可能である。(別紙1)</p> <div data-bbox="712 707 1321 1125" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>(エリアレイアウト)</p>  <p>緊急用電気品建屋 地下1F</p> </div>		<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>設備及び系統構成の相違による屋外の火災区域又は火災区画の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

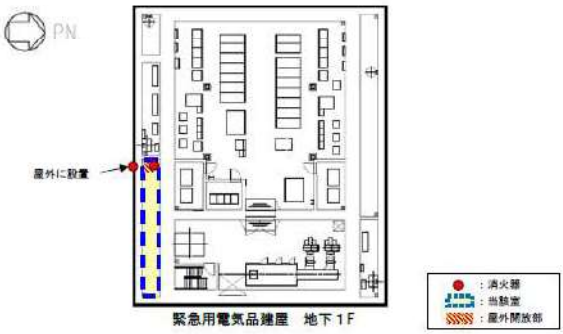
第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-5 添付資料12 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設周辺の可燃物等の状況について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(4) ケーブル取合ビット(B) (E-1-7)</p> <p>ケーブル取合ビット(B) (床面積 8m²) は、屋外の地下に設置されており、火災が発生しても煙が扉から大気放出されるため煙は充満せず消火活動は可能である。このため、消火器又は移動式消火設備で消火活動を行う。</p> <p>設置しているケーブルトレイは、支持構造物の主要な構造材には、火災の発生防止及び当該設備の強度確保等を考慮し、金属材料等の不燃性材料を使用している。また、ケーブルトレイに敷設したケーブルは、難燃ケーブルを使用していること、過電流防止装置により過電流が発生するおそれがないことから、自己発火のおそれは小さい。</p> <p>消火器は、小型消火器を配置し、初期消火要員が迅速に使用できるように部屋の外側にも配置する。</p> <p>移動式消火設備は、消火栓及び防火水槽から取水して消火活動を行う。取水は2 箇所以上から対応可能である。(別紙1)</p> <div data-bbox="712 831 1317 1238" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>(エアレイアウト)</p>  </div>		<p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【女川】</p> <p>■設計の相違 設備及び系統構成の相違による屋外の火災区域又は火災区画の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

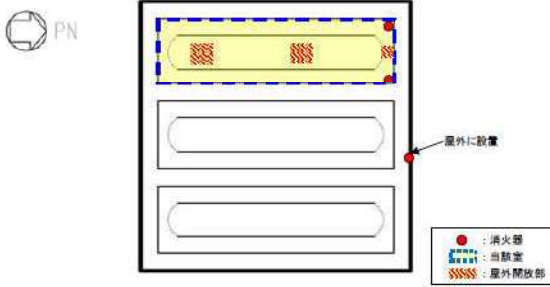
第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-5 添付資料12 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設周辺の可燃物等の状況について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(5) ケーブル取合ピット(C) (E-1-8)</p> <p>ケーブル取合ピット(C) (床面積 25m²) は、屋外の地下に設置されており、火災が発生しても煙が扉から大気放出されるため煙は充満せず消火活動は可能である。このため、消火器又は移動式消火設備で消火活動を行う。</p> <p>設置しているケーブルトレイは、支持構造物の主要な構造材には、火災の発生防止及び当該設備の強度確保等を考慮し、金属材料等の不燃性材料を使用している。また、ケーブルトレイに敷設したケーブルは、難燃ケーブルを使用していること、過電流防止装置により過電流が発生するおそれがないことから、自己発火のおそれは小さい。</p> <p>消火器は、小型消火器を配置し、初期消火要員が迅速に使用できるように部屋の外側にも配置する。</p> <p>移動式消火設備は、消火栓及び防火水槽から取水して消火活動を行う。取水は2 箇所以上から対応可能である。(別紙1)</p> <div data-bbox="712 708 1328 1121" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>(エアレイアウト)</p>  <p>緊急用電気品建屋 地下1F</p> </div>		<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>設備及び系統構成の相違による屋外の火災区域又は火災区画の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-5 添付資料12 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設周辺の可燃物等の状況について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(6) ガスタービン発電設備軽油タンク(A)室 (Y-8-1)</p> <p>ガスタービン発電設備軽油タンク(A)室(床面積 96㎡)は、屋外の地下貯蔵タンクで、火災が発生しても煙が扉から大気放出されるため煙は充満せず消火活動は可能である。このため、消火器又は移動式消火設備で消火活動を行う。</p> <p>火災源は、ガスタービン発電設備軽油タンク(A) (110 k l)があるが、これら含めて設置している機器、配管、電線管及びこれらの支持構造物の主要な構造材は、火災の発生防止及び当該設備の強度確保等を考慮し、金属材料等の不燃性材料を使用している。</p> <p>消火器は、小型消火器を配置し、初期消火要員が迅速に使用できるように部屋の外側にも配置する。</p> <p>移動式消火設備は、消火栓及び防火水槽から取水して消火活動を行う。取水は2 箇所以上から対応可能である。(別紙1)</p> <div data-bbox="712 659 1317 1066" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>(エリアレイアウト)</p>  <p>ガスタービン発電設備軽油タンクエリア 地下1F (O.P.56700)</p> </div>		<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>設備及び系統構成の相違による屋外の火災区域又は火災区画の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

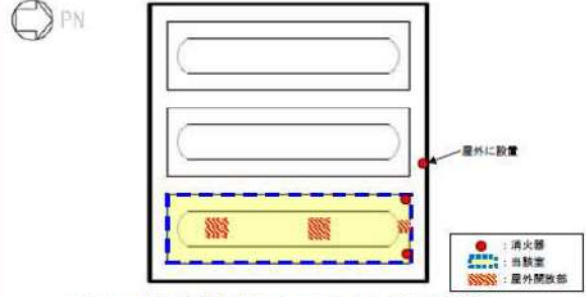
第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-5 添付資料12 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設周辺の可燃物等の状況について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(7) ガスタービン発電設備軽油タンク(B)室 (Y-8-2)</p> <p>ガスタービン発電設備軽油タンク(B)室(床面積 96m²)は、屋外の地下貯蔵タンクで、火災が発生しても煙が扉から大気放出されるため煙は充満せず消火活動は可能である。このため、消火器又は移動式消火設備で消火活動を行う。</p> <p>火災源は、ガスタービン発電設備軽油タンク(B) (110k1)があるが、これら含めて設置している機器、配管、電線管及びこれらの支持構造物の主要な構造材は、火災の発生防止及び当該設備の強度確保等を考慮し、金属材料等の不燃性材料を使用している。</p> <p>消火器は、小型消火器を配置し、初期消火要員が迅速に使用できるように部屋の外側にも配置する。</p> <p>移動式消火設備は、消火栓及び防火水槽から取水して消火活動を行う。取水は2箇所以上から対応可能である。(別紙1)</p> <div data-bbox="712 627 1326 1034" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>(エリアレイアウト)</p>  <p>ガスタービン発電設備軽油タンクエリア 地下1F (0.P.56700)</p> </div>		<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>設備及び系統構成の相違による屋外の火災区域又は火災区画の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

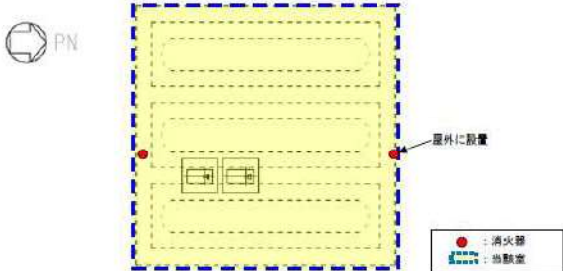
第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-5 添付資料12 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設周辺の可燃物等の状況について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(8) ガスタービン発電設備軽油タンク(C)室 (Y-8-3)</p> <p>ガスタービン発電設備軽油タンク(C)室(床面積 96m²)は、屋外の地下貯蔵タンクで、火災が発生しても煙が扉から大気放出されるため煙は充満せず消火活動は可能である。このため、消火器又は移動式消火設備で消火活動を行う。</p> <p>火災源は、ガスタービン発電設備軽油タンク(C) (110k1)があるが、これら含めて設置している機器、配管、電線管及びこれらの支持構造物の主要な構造材は、火災の発生防止及び当該設備の強度確保等を考慮し、金属材料等の不燃性材料を使用している。</p> <p>消火器は、小型消火器を配置し、初期消火要員が迅速に使用できるように部屋の外側にも配置する。</p> <p>移動式消火設備は、消火栓及び防火水槽から取水して消火活動を行う。取水は2箇所以上から対応可能である。(別紙1)</p> <div data-bbox="712 632 1326 1027" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>(エアレイアウト)</p>  <p>ガスタービン発電設備軽油タンクエリア 地下1F (0.P.56700)</p> </div>		<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>設備及び系統構成の相違による屋外の火災区域又は火災区画の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-5 添付資料12 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設周辺の可燃物等の状況について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(9) ガスタービン発電設備燃料移送ポンプエリア (Y-8-4)</p> <p>ガスタービン発電設備燃料移送ポンプエリア (床面積 484m²) は、屋外に設置されており、火災が発生しても煙が大気放出されるため煙は充満せず消火活動は可能である。このため、消火器又は移動式消火設備で消火活動を行う。</p> <p>設置している機器、配管、電線管及びこれらの支持構造物の主要な構造材は、火災の発生防止及び当該設備の強度確保等を考慮し、金属材料等の不燃性材料を使用している。</p> <p>消火器は、小型消火器を配置し、初期消火要員が迅速に使用できるように配置する。</p> <p>移動式消火設備は、消火栓及び防火水槽から取水して消火活動を行う。取水は2 箇所以上から対応可能である。(別紙1)</p> <div data-bbox="712 592 1326 965" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>(エリアレイアウト)</p>  <p>ガスタービン発電設備燃料移送ポンプエリア 地上1F (0.P.62300)</p> </div>		<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>設備及び系統構成の相違による屋外の火災区域又は火災区画の相違</p>


赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-5 添付資料12 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設周辺の可燃物等の状況について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(10) ガスタービン発電機室 (E-2-1)</p> <p>ガスタービン発電機室 (床面積 532m²) は、屋外に設置されており、屋根及びルーバーの壁に囲まれ、火災が発生しても、ルーバーから煙が大气放出されるため煙は充満せず消火活動は可能である。このため、消火器又は移動式消火設備で消火活動を行う。</p> <p>火災源は、ガスタービン発電機車 2 台、制御車 2 台及び各燃料タンク (発電用 500L (軽油)) がある。</p> <p>各車両間の離隔距離は約 3m と消火器運搬、ホース展開には十分なスペースを有している。</p> <p>消火器は、大型消火器、小型消火器を配置し、初期消火要員が迅速に使用できるように部屋の外側にも配置する。</p> <p>移動式消火設備は、消火栓及び防火水槽から取水して消火活動を行う。取水は 2 箇所以上から対応可能である。(別紙 1)</p> <div data-bbox="712 635 1326 1061" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>(エリアレイアウト)</p>  <p>緊急用電気品建屋 1F</p> <ul style="list-style-type: none"> ● : 大型消火器 ● : 小型消火器 ■ : 消火栓 ■ : 防火水槽 ■ : 扉 ▭ : ルーバー部 </div>		<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>設備及び系統構成の相違による屋外の火災区域又は火災区画の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: right;">別紙1</p> <p>海水ポンプ室 (補機ポンプエリア) へのアクセス性及び消火活動について</p> <p>1. 海水ポンプ室 (補機ポンプエリア) へのアクセス性</p> <p>地下ピット構造の海水ポンプ室 (補機ポンプエリア) は、竜巻防護ネットを設置する設計であるが、竜巻防護ネット設置後においても、地上面 (OP14,800) から循環水ポンプ室と TSW ポンプ室を通過し各部屋 (P3,000) にアクセスし、大型消火器及び小型消火器で初期消火を行うことが可能なことを確認した。(第1図)</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 10px; margin: 10px 0;">  </div> <p style="text-align: center;">第1図 海水ポンプ室 (補機ポンプエリア) へのアクセス性</p>		<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊は海水ポンプ室は屋内の火災区画となっており、全域ガス消火設備で消火する設計となっているため、当該記載はない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0




第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-5 添付資料12 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設周辺の可燃物等の状況について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																							
	<p>2. 移動式消火設備による消火活動</p> <p>移動式消火設備の化学消防自動車は消火栓又は防火水槽から取水し、消火ホースを海水ポンプ室（補機ポンプエリア）ほかに敷設し消火活動を行う。</p> <p>取水は2箇所以上から対応可能である。（第2図）取水箇所と各消火エリアの消火ホース敷設距離は最大約400m、高低差は地上面より下方への放水となり、化学消防自動車の性能や消火ホース圧損を考慮しても消火活動は可能である。</p> <p>化学消防自動車の車幅は約2.3mであり、保管場所から取水箇所までの道幅は3.5m以上を確保しており化学消防自動車の活動は可能である。また、地下ピット構造の海水ポンプ室（補機ポンプエリア）は、竜巻防護ネット及び浸水防止壁を設置する設計であるが、地上面から放水による消火活動が、竜巻防護ネット構造及び浸水防止壁高さ（約0.6m）を考慮しても消火活動が可能であることを確認した。（第3図）</p> <p>移動式消火設備の化学消防自動車の消火活動は、火災区画毎に消防車と消火エリアの高低差、活動ルート、消火ホース敷設距離（第1表）などが変わることから、火災発生時の必要な消防資機材や消防車の操作等について、個別の消火手順を整備すること及び要員の訓練（第4図）を計画的に行うことを火災防護計画に定める。</p> <table border="1" data-bbox="712 874 1326 1161"> <caption>第1表 消火ホース敷設距離</caption> <thead> <tr> <th>消火エリア</th> <th>水源</th> <th>距離（最大）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">海水ポンプ室（補機ポンプエリア）</td> <td>屋外消火栓</td> <td>約170m</td> </tr> <tr> <td>耐震性防火水槽</td> <td>約320m</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">軽油タンクエリア及び燃料移送ポンプ室</td> <td>屋外消火栓</td> <td>約80m</td> </tr> <tr> <td>耐震性防火水槽</td> <td>約150m</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">緊急時対策建屋</td> <td>屋外消火栓</td> <td>約120m</td> </tr> <tr> <td>屋外消火栓</td> <td>約400m</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">緊急用電気品建屋及びガスタービン発電設備軽油タンクエリア</td> <td>屋外消火栓</td> <td>約130m</td> </tr> <tr> <td>耐震性防火水槽</td> <td>約360m</td> </tr> </tbody> </table>	消火エリア	水源	距離（最大）	海水ポンプ室（補機ポンプエリア）	屋外消火栓	約170m	耐震性防火水槽	約320m	軽油タンクエリア及び燃料移送ポンプ室	屋外消火栓	約80m	耐震性防火水槽	約150m	緊急時対策建屋	屋外消火栓	約120m	屋外消火栓	約400m	緊急用電気品建屋及びガスタービン発電設備軽油タンクエリア	屋外消火栓	約130m	耐震性防火水槽	約360m		<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊は海水ポンプ室は屋内の火災区画となっており、全域ガス消火設備で消火する設計となっているため、当該記載はない。</p>
消火エリア	水源	距離（最大）																								
海水ポンプ室（補機ポンプエリア）	屋外消火栓	約170m																								
	耐震性防火水槽	約320m																								
軽油タンクエリア及び燃料移送ポンプ室	屋外消火栓	約80m																								
	耐震性防火水槽	約150m																								
緊急時対策建屋	屋外消火栓	約120m																								
	屋外消火栓	約400m																								
緊急用電気品建屋及びガスタービン発電設備軽油タンクエリア	屋外消火栓	約130m																								
	耐震性防火水槽	約360m																								

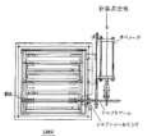

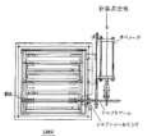

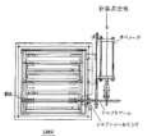

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

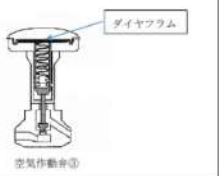
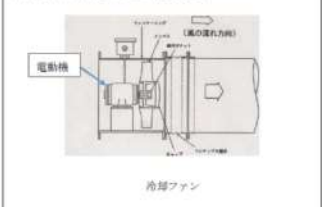
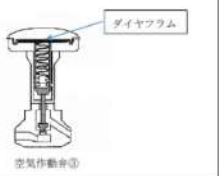
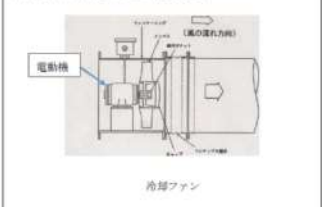
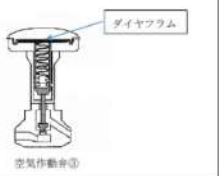
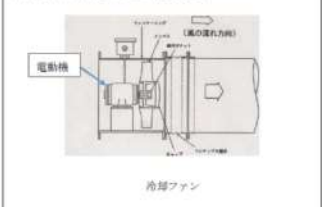
第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料41-5 添付資料12 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設周辺の可燃物等の状況について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	  		<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊は海水ポンプ室は屋内の火災区画となっており、全域ガス消火設備で消火する設計となっているため、当該記載はない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由						
<p style="text-align: right;">別紙1</p> <p style="text-align: center;">各機器における火災の発生防止対策について</p> <table border="1" data-bbox="168 331 604 986"> <tr> <td data-bbox="168 331 280 443">タンク ダクト 配管 コンテナ ドラム缶 貫柱</td> <td data-bbox="280 331 604 443"> 金属製 (不燃材料) の静的機器であり、火災源とならない。 なお、コンテナ及びドラム缶は、金属、コンクリートのような不燃性の放射性廃棄物のみ収納している。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="168 443 280 651">ダンパ</td> <td data-bbox="280 443 604 651"> 全て金属製 (不燃材料) の部品で構成されており、火災源とならない。  <p style="text-align: center;">ダンパ</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="168 651 280 986">空気作動弁</td> <td data-bbox="280 651 604 986"> シリンダに計器用空気を給気/排気することで動作する弁であり、全て金属製 (不燃材料) で構成されており、火災源とならない。  <p style="text-align: center;">空気作動弁① 空気作動弁②</p> <p style="text-align: center; font-size: small;">図中の機器は機軸に接する事象ですので公開することはできません。</p> </td> </tr> </table>	タンク ダクト 配管 コンテナ ドラム缶 貫柱	金属製 (不燃材料) の静的機器であり、火災源とならない。 なお、コンテナ及びドラム缶は、金属、コンクリートのような不燃性の放射性廃棄物のみ収納している。	ダンパ	全て金属製 (不燃材料) の部品で構成されており、火災源とならない。  <p style="text-align: center;">ダンパ</p>	空気作動弁	シリンダに計器用空気を給気/排気することで動作する弁であり、全て金属製 (不燃材料) で構成されており、火災源とならない。  <p style="text-align: center;">空気作動弁① 空気作動弁②</p> <p style="text-align: center; font-size: small;">図中の機器は機軸に接する事象ですので公開することはできません。</p>			<p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違 (女川実績の反映: 着色せず)</p>
タンク ダクト 配管 コンテナ ドラム缶 貫柱	金属製 (不燃材料) の静的機器であり、火災源とならない。 なお、コンテナ及びドラム缶は、金属、コンクリートのような不燃性の放射性廃棄物のみ収納している。								
ダンパ	全て金属製 (不燃材料) の部品で構成されており、火災源とならない。  <p style="text-align: center;">ダンパ</p>								
空気作動弁	シリンダに計器用空気を給気/排気することで動作する弁であり、全て金属製 (不燃材料) で構成されており、火災源とならない。  <p style="text-align: center;">空気作動弁① 空気作動弁②</p> <p style="text-align: center; font-size: small;">図中の機器は機軸に接する事象ですので公開することはできません。</p>								

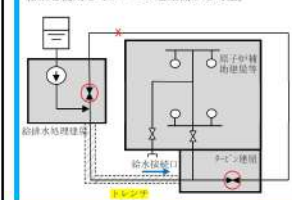
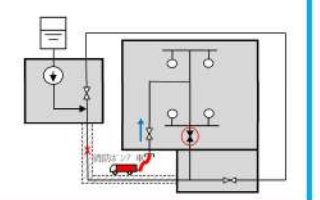
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由								
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="165 193 282 448">空気作動弁</td> <td data-bbox="282 193 600 448"> ダイアフラムに計器用空気を給気/排気することで動作する弁であり、可とう性のあるダイアフラムは可燃物であるが、金属製(不燃材料)の筐体で覆われていること、ダイアフラム以外の構成品は、全て金属製(不燃材料)で構成されており、火災源とならない。  </td> </tr> <tr> <td data-bbox="165 448 282 507">制御・計装品</td> <td data-bbox="282 448 600 507"> 金属筐体で覆われた構造であり、付属ケーブルは電線管に収納することで、他の機器に延焼するおそれはなく、煙の発生は抑制される。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="165 507 282 799">冷却ファン</td> <td data-bbox="282 507 600 799"> 冷却ファンは、電動機で駆動するファンであるが、電動機はガラスを使用し、潤滑油は使用していない。また、電動機及び付属のケーブルは金属製の筐体及び電線管に収納することで、他の機器に延焼するおそれなく、煙の発生は抑制される。  </td> </tr> <tr> <td data-bbox="165 799 282 879">ユーティリティ機器 (照明灯、コンセンクト、大車運動カメラ、ページング等)</td> <td data-bbox="282 799 600 879"> 過電流による発火が想定されるが、金属製の筐体等で構成されており、当該機器の筐体にとどまることから、火災源とならない。 </td> </tr> </table>	空気作動弁	ダイアフラムに計器用空気を給気/排気することで動作する弁であり、可とう性のあるダイアフラムは可燃物であるが、金属製(不燃材料)の筐体で覆われていること、ダイアフラム以外の構成品は、全て金属製(不燃材料)で構成されており、火災源とならない。 	制御・計装品	金属筐体で覆われた構造であり、付属ケーブルは電線管に収納することで、他の機器に延焼するおそれはなく、煙の発生は抑制される。	冷却ファン	冷却ファンは、電動機で駆動するファンであるが、電動機はガラスを使用し、潤滑油は使用していない。また、電動機及び付属のケーブルは金属製の筐体及び電線管に収納することで、他の機器に延焼するおそれなく、煙の発生は抑制される。 	ユーティリティ機器 (照明灯、コンセンクト、大車運動カメラ、ページング等)	過電流による発火が想定されるが、金属製の筐体等で構成されており、当該機器の筐体にとどまることから、火災源とならない。			<p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>(女川実績の反映:着色せず)</p>
空気作動弁	ダイアフラムに計器用空気を給気/排気することで動作する弁であり、可とう性のあるダイアフラムは可燃物であるが、金属製(不燃材料)の筐体で覆われていること、ダイアフラム以外の構成品は、全て金属製(不燃材料)で構成されており、火災源とならない。 										
制御・計装品	金属筐体で覆われた構造であり、付属ケーブルは電線管に収納することで、他の機器に延焼するおそれはなく、煙の発生は抑制される。										
冷却ファン	冷却ファンは、電動機で駆動するファンであるが、電動機はガラスを使用し、潤滑油は使用していない。また、電動機及び付属のケーブルは金属製の筐体及び電線管に収納することで、他の機器に延焼するおそれなく、煙の発生は抑制される。 										
ユーティリティ機器 (照明灯、コンセンクト、大車運動カメラ、ページング等)	過電流による発火が想定されるが、金属製の筐体等で構成されており、当該機器の筐体にとどまることから、火災源とならない。										

赤字:設備, 運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字:記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字:記載表現, 設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p style="text-align: right;">添付資料13</p> <p style="text-align: center;">泊発電所3号炉における 消火配管の凍結防止対策, 地盤変位対策について</p> <p>1. 発電所の水消火設備の設計概要</p> <p>(1) 泊発電所の消火設備について</p> <p>火災防護の審査基準で, 消火困難箇所や系統分離を行うために設置する消火設備は, 安全機能を有する構造物, 系統及び機器の耐震クラスに応じて, 地震時においても機能を維持することが求められている。</p> <p>泊発電所の消火設備は, 従来, 水消火設備を主とする設計としていたが, 水消火設備は耐震Cクラス設計であり, 上記の要求を満足することは難しいことから, 原子炉建屋等の建屋にはSs機能維持された全域ガス消火設備, 放射性廃棄物処理建屋や固体廃棄物貯蔵庫, ペイラ室には耐震クラスに応じた全域ガス消火設備を設置する設計とし, 耐震性を満足することを確認した。</p> <p>(2) 水消火設備について</p> <p>火災防護に係る審査基準における, 水消火設備に対する要求事項を以下に示す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>② 消火剤に水を使用する消火設備については, ①に掲げるところによるほか, 以下に掲げるところによること。</p> <p>a. 消火用水供給系の水源及び消火ポンプ系は, 多重性又は多様性を備えた設計であること。</p> <p>b. 2時間の最大放水量を確保できる設計であること。</p> <p>c. 消火用水供給系をサービス系又は水道水系と共用する場合には, 隔離弁等を設置して遮断する等の措置により, 消火用水の供給を優先する設計であること。</p> </div> <p>2.2.2 火災感知設備及び消火設備は, 以下の各号に示すように, 地震等の自然現象によっても, 火災感知及び消火の機能, 性能が維持される設計であること。</p> <p>(1) 凍結するおそれがある消火設備は, 凍結防止対策を講じた</p> <p>(3) 消火配管は, 地震時における地盤変位対策を考慮した設計であること。</p> <p>泊発電所の水消火設備は, 上記審査基準の要求事項に適合するものであり, 設計に当たっては「原子力発電所の火災防</p>	<p>【女川・大阪】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>泊は消火水配管の凍結防止及び地盤変位対策の設計について記載する方針とする。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>護規程」（日本電気協会JEAC4626-2010 以下「JEAC」という）の要求事項を満足するとともに、「原子力発電所の火災防護指針」（日本電気協会JEAG4607-2010 以下「JEAG」という）に示されている例示については、泊発電所の状況等を踏まえ極力取り込むこととした。</p> <p>泊発電所の消火用水供給系は以下に示すとおり、原子炉補助建屋等に消火用水を供給する主配管は主ループ回路を構成し（第1図）、地震時に消火水配管が損傷することを想定し、消防ポンプ車を用いて、原子炉補助建屋等の屋内消火栓に消火用水を給水することを可能とする給水接続口（第2図）を原子炉補助建屋等に設置し、多様性を持たせることにより消火用水供給系の信頼度の向上を図る設計としている。なお、消火用水供給系の水源及び消火ポンプ系は、多重性又は多様性を備えた設計としている。</p> <p>万一、消火用水のループ構成の主配管が破断した場合（ケース1（埋設消火配管部分での破断）又はケース2（トレンチ内での破断））を想定しても、以下のように当該部分を原子炉補助建屋等の消火設備から隔離した上で、消火ポンプ又は消防ポンプ車により原子炉補助建屋等に消火水を供給でき、多様な手段による対応が可能な設計となっている。</p> <p>また、トレンチ内は人の立ち入りが可能であり、破断箇所の発見及び修繕は容易である。</p> <div data-bbox="1344 893 1975 1189"> <p>ケース1 屋外消火栓の埋設消火配管部分で破断が生じた場合は、赤棒の隔離弁を閉止し、保守点検が可能である。 原子炉補助建屋等への消火水供給は、消火用水供給系を使用してタービン建屋側から可能。</p>  <p>ケース2 トレンチ内の消火配管部分で破断が生じた場合は、赤棒の隔離弁を閉止し、保守点検が可能である。 原子炉補助建屋等への消火水供給は、消防ポンプ車を用いて給水接続口から可能。</p>  </div> <p>第1図：消火用水供給系概要図</p> <p>なお、泊発電所1～3号炉の運転開始以降における消火用水のループ構成の主配管損傷事例は、2号側屋外消火栓の埋設消火配管での1例^{※1}のみであり、消火配管の単一故障^{※2}を仮定する必要性は十分に低いものとする。</p> <p>※1 建設時の消火配管管理戻しに際して砂利等による配管損傷部からの劣化事象及び2号機側バックフィル部での配</p>	

赤字: 設備, 運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字: 記載表現, 設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>管損傷事象。</p> <p>※2 審査基準2.2.1 (2) 消火設備 (参考) ④で, 「消火設備は, 消火ポンプ系等の動的機器の単一故障により, 同時に機能を喪失することがないこと」との記載がある。</p> <p>給水接続口の設置状況について, 第2図 に示す。</p>  <p>第2図 給水接続口設置状況</p> <p>消火配管系統概要図を第3図に示す。</p>  <p>第3図 消火配管系統概要図 (1/2)</p>	

赤字: 設備, 運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字: 記載表現, 設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p>第3図 消火配管系統概要図 (2/2)</p> <p>(3)水消火配管の敷設について</p> <p>水消火設備は、給排水処理建屋内に消火ポンプを設置し、屋内消火栓及び屋外消火栓に消火配管を敷設する設計としている。</p> <p>3号炉のプラント配置設計において、給排水処理建屋からタービン建屋間は多数の配管の往来があり、かつ電源及び制御ケーブルも同様であるため、施工性、保守・運用性を考慮し、給排水処理建屋とタービン建屋間にトレンチを設け、連絡配管及びケーブルの引回しを行う設計であり、給排水処理建屋内設置の消火ポンプからタービン建屋へ敷設される消火配管についても他の配管同様にトレンチ内に敷設する設計としている。</p> <p>2. 屋外消火栓 (埋設消火配管) の設計方針</p> <p>「原子力発電所の火災防護規程」 (日本電気協会JEAC4626-2010以下, 「JEAC」) では、自然現象に対する消火装置の性能維持として、地震等の自然現象によってもその性能が著しく阻害されないことを求めており、そのための耐震設計として、以下が求められている。</p> <p>①屋内・屋外消火栓設備等の機能を地震後においても維持する観点から、消火配管について、耐震強度や耐震構造を考慮し耐震性を確保すること。</p> <p>②消火配管については、地震時における地盤変位対策を考慮した設計とすること。</p>	

赤字:設備, 運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字:記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字:記載表現, 設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>JEACの[解説-3-11]で上記「耐震強度や耐震構造の考慮」として、屋外の埋設消火配管については、耐震性確保をするための耐震強度や耐震構造は、産業保安上の観点から、ガス導管等に適用されている技術基準等を参考に検討するものとされている。</p> <p>また、屋外消火栓については、泊発電所の設計外気温度が-19℃であることから消火配管の地上化のみでは十分な凍結防止が難しいこと、すでに多数の埋設物がある中に新たに広範囲にトレンチを設置することが困難であることから、プラント設計として凍結防止の観点と合わせてより合理的と判断される消火配管の埋設を採用している。</p> <p>屋外消火栓については、JEACの『凍結の可能性のある屋外消火栓は、凍結防止を考慮した設計とすること』との要求事項に基づき、凍結防止対策として凍結深さより深く消火配管を埋設する設計を基本とし、埋設することが困難であり地上化する場合は保温材等により配管内部の水が凍結しない設計としている。</p> <p>そこで、泊発電所の屋外の消火配管は、凍結防止のため埋設を基本とし、地震時における地盤変位対策として、建屋接続部には機械式継手ではなくフレキシブル継手又は溶接継手を採用するとともに、屋外の埋設消火配管については、JEACの[解説-3-11]で示された「高圧ガス導管耐震設計指針」により耐震性の確保を確認する設計とする。</p> <p>3. 屋外消火栓 (消火配管の一部地上化) の設計方針</p> <p>屋外消火配管は上記のとおり埋設を基本としているが、2号炉バックフィル部については工事により損傷し、再度埋設化による復旧が困難であったことから地上化する設計としている。地上化にあたり、凍結防止対策として保温材等の施工による凍結防止対策を図る設計としている。</p> <div data-bbox="1388 1236 1926 1396" data-label="Diagram"> </div> <p>第4図 地上化した消火配管の凍結防止対策 概要図</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>4. トレンチ内消火配管の設計方針</p> <p>トレンチ内の消火配管については屋外消火配管と同様、トレンチ自体を凍結深度（G L-70 c m）より深い深度に施工することで凍結を防止する設計としている。また、トレンチ内に敷設することで地盤変位の影響を直接受けない設計としている。</p> <p>5. 屋外の水消火配管の地盤変位対策について</p> <p>屋外の水消火配管の地盤変位対策については、「中越沖地震における原子力施設に関する調査・対策委員会中越沖地震における原子力施設に関する自衛消防及び情報連絡・提供に関するWG 報告書（平成20年2月 中越沖地震における原子力施設に関する調査・対策委員会）」において、中越沖地震に伴う消火配管の損傷状況として、「埋設配管に地盤沈下等により局部的に大きな変位が発生し機械継手部は完全破断、溶接継手部は損傷はあるが漏洩は微小」であったことから、「地盤変位対策として、地上化、トレンチ内設置、フレキシブル継手や溶接継手等を最優先で行うべきであり、中越沖地震で被害が集中した建屋接続部の機械式継手は廃止すべきである。」とされている。</p> <p>このため、泊3号炉の屋外水消火配管における地盤変位対策として、地上化又はトレンチ内設置とともに、建屋接続部及びタンク接続部にはフレキシブル継手又は溶接継手を採用する設計としている。加えて、確実な凍結防止対策を行うため埋設としている水消火配管については、同WG報告書を踏まえ高压ガス導管耐震設計指針に基づき耐震性評価を実施し、必要な耐震性を有する設計としている。</p> <p>また、万一の消火配管の漏えいについては、圧力低下に伴う中央制御室への警報発信により検知し、地上化部は目視、トレンチ内は漏水検知器の動作による警報発信及び目視、埋設部については消火配管系統の弁開閉操作により圧力低下を確認することで漏えい箇所を特定している。加えて、万一の水消火配管の損傷を考慮し、移動式消火設備である化学消防自動車及び水槽付消防ポンプ自動車の配備並びに移動式消火設備による消火水の供給を可能とするよう建屋外壁に給水接続口を設置している。</p> <p>泊発電所3号炉の屋外の水消火配管は以上の地盤変位対策により、十分な耐震性を有しており、万一の水消火配管の損傷時においても消火活動が可能な設計としている。</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p style="text-align: right;">添付資料14</p> <p style="text-align: center;">泊発電所3号炉における 消火配管の地盤変位対策に対する耐震評価について</p> <p>1. はじめに 「原子力発電所の火災防護規程」（日本電気協会JEAC4626-2010以下、「JEAC」）では、自然現象に対する消火装置の性能維持として、地震等の自然現象によってもその性能が著しく阻害されないことを求めており、そのための耐震設計として、</p> <p>①屋内・屋外消火栓設備等の機能を地震後においても維持する観点から、消火配管について、耐震強度や耐震構造を考慮し耐震性を確保すること。</p> <p>②消火配管については、地震時における地盤変位対策を考慮した設計とすること。 が求められている。</p> <p>また、JEACの[解説-3-11]で上記「耐震強度や耐震構造の考慮」として、屋外の埋設消火配管については、耐震性を確保するための耐震強度や耐震構造は、産業保安上の観点から、ガス導管等に適用されている技術基準等を参考に検討するものとされている。</p> <p>泊発電所の屋外消火栓は凍結防止の観点から基本的に埋設消火配管であることから、JEACの[解説-3-11]で示された「高圧ガス導管耐震設計指針」により係る評価を行う。</p> <p>2. 屋外埋設消火配管仕様</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管規格：JIS G 3454 圧力配管用炭素鋼配管 ・継手規格：JIS B 2312 配管用鋼製突合せ溶接式管継手 ・配管材質：STPG370 (STPG38) ・管厚さ：SCH40 ・管径：80A, 100A, 150A, 200A <p>3. 評価方法</p> <p>(1) 「高圧ガス導管耐震設計指針」（JGA 指-206-03：社団法人日本ガス協会発行）に基づき、第1表のとおりレベル1地震動及びレベル2地震動に対して評価を実施した。</p>	<p>【女川・大阪】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>泊の屋外の水消火配管については、凍結防止も考慮し、埋設を基本としており、地盤変位対策が大阪発電所3 / 4号炉及び女川原子力発電所2号炉と相違することから、本資料にて示す。（以降は、同様な相違理由のため着色せず）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
		<p style="text-align: center;">第1表 設計地震動一覧</p> <table border="1" data-bbox="1355 188 1960 470"> <thead> <tr> <th></th> <th>想定する地震動</th> <th>設計地震動</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レベル1 地震動</td> <td>ガス導管供用期間中に1~2回発生する確率を有する一般的な地震動</td> <td>$K_h=0.15 \cdot v_1 \cdot v_2 = 0.09$ K_h: 設計水平震度 v_1: 埋設区分 (=1.0) v_2: 地域別補正係数 (=0.6)</td> </tr> <tr> <td>レベル2 地震動</td> <td>ガス導管供用期間中に発生する確率は低い、非常に強い地震動</td> <td>「高圧ガス導管耐震設計指針」に記載される兵庫県南部地震の震源等の観測波をもとに設定された地震基盤面の速度応答スペクトルを適用</td> </tr> <tr> <td>(参考) 耐震C クラス設計</td> <td>「耐震設計に係る工認審査ガイド」に基づく機器・配管系に対する静的地震力</td> <td>$K_h=1.2 \cdot C_i = 0.24$ K_h: 設計水平震度 C_i: 地震層せん断力係数 (=0.2)</td> </tr> </tbody> </table> <p>レベル2地震動による評価にあたっては、「高圧ガス導管耐震設計指針」に記載される設計地震動のうち、最も大きな地震動である兵庫県南部地震の震源等の観測波をもとに設定された地震基盤面の速度応答スペクトル（第1図）に対する評価を行っている。</p> <div data-bbox="1422 742 1870 1141"> </div> <p style="text-align: center;">表層地盤の固有周期 T (s)</p> <p style="text-align: center;">第1図 レベル2地震動評価に用いる速度応答スペクトル</p> <p>なお、「道路橋示方書・同解説 V 耐震設計編」によると、「高圧ガス導管耐震設計指針」に記載される兵庫県南部地震の震源等の観測波をもとに設定されたレベル2地震動は、設計水平震度0.40~0.50以上を想定していることから、耐震Cクラス設計に基づく設計水平震度0.24よりも大きいことを確認している。</p>		想定する地震動	設計地震動	レベル1 地震動	ガス導管供用期間中に1~2回発生する確率を有する一般的な地震動	$K_h=0.15 \cdot v_1 \cdot v_2 = 0.09$ K_h : 設計水平震度 v_1 : 埋設区分 (=1.0) v_2 : 地域別補正係数 (=0.6)	レベル2 地震動	ガス導管供用期間中に発生する確率は低い、非常に強い地震動	「高圧ガス導管耐震設計指針」に記載される兵庫県南部地震の震源等の観測波をもとに設定された地震基盤面の速度応答スペクトルを適用	(参考) 耐震C クラス設計	「耐震設計に係る工認審査ガイド」に基づく機器・配管系に対する静的地震力	$K_h=1.2 \cdot C_i = 0.24$ K_h : 設計水平震度 C_i : 地震層せん断力係数 (=0.2)	
	想定する地震動	設計地震動													
レベル1 地震動	ガス導管供用期間中に1~2回発生する確率を有する一般的な地震動	$K_h=0.15 \cdot v_1 \cdot v_2 = 0.09$ K_h : 設計水平震度 v_1 : 埋設区分 (=1.0) v_2 : 地域別補正係数 (=0.6)													
レベル2 地震動	ガス導管供用期間中に発生する確率は低い、非常に強い地震動	「高圧ガス導管耐震設計指針」に記載される兵庫県南部地震の震源等の観測波をもとに設定された地震基盤面の速度応答スペクトルを適用													
(参考) 耐震C クラス設計	「耐震設計に係る工認審査ガイド」に基づく機器・配管系に対する静的地震力	$K_h=1.2 \cdot C_i = 0.24$ K_h : 設計水平震度 C_i : 地震層せん断力係数 (=0.2)													

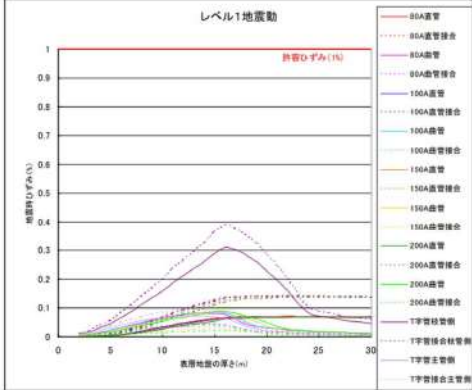
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>(2) 上記第1表の設計地震動及び泊発電所内の屋外埋設消火配管周辺の埋戻地盤データを基に、表層地盤変位及び表層地盤ひずみを算出する。</p> <p>表層地盤ひずみは、表層地盤の厚さ（表層地盤の固有周期）に応じて変化することから、消火配管敷設ルートにおける表層地盤の厚さの分布状況を確認し、0~30mの範囲で評価する。</p> <p>(3) 表層地盤変位及び地盤ひずみ等からそれぞれ配管直管部、曲管部及びT字管部に発生する地震時ひずみを算出する。</p> <p>(4) 配管の地震時ひずみがそれぞれ「高圧ガス導管耐震設計指針」において設定される以下の許容ひずみ以内であることを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> レベル1地震動に対する許容ひずみ：1% レベル2地震動に対する許容ひずみ：3% 	
		<p>第2図 レベル2地震動に対する耐震性評価フロー図 （「高圧ガス導管耐震設計指針」を参照して作成）</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>4. 評価結果</p> <p>埋設消火配管について、各敷設ルートにおける管径、管底深度及び表層地盤の厚さの分布状況をそれぞれ確認し、「高圧ガス導管耐震設計指針」に基づき耐震評価を行った。</p> <p>評価に当たっては、管底深度を固定し、管底深度に応じて管径ごとに表層地盤の厚さを0~30mの範囲で変化させ、各埋設消火配管に発生する地震時ひずみの最大値を算出した。</p> <p>最も厳しい評価となったのは、管底深度GL-800mm に対し、管径ごとに表層地盤の厚さを0~30mの範囲で変化させて地震時ひずみを算出した場合であり、この算出結果を第3図及び第4図に示す。</p> <p>また、第3図及び第4図で示す地震時ひずみの最大値を第2表及び第3表に示す。</p> <p>評価の結果、表層地盤の厚さが10m~20mの範囲において各埋設消火配管に発生する地震時ひずみがそれぞれ最大となるが、レベル1地震動に対する許容ひずみ (1%) 及びレベル2地震動に対する許容ひずみ (3%) 以下となることから、それぞれの地震動に対して安定性を有することを確認した。</p> <div data-bbox="1411 861 1904 1260" data-label="Figure"> </div> <p>第3図 レベル2地震動に対する耐震性評価結果 (管底深度GL-800mm)</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																											
		 <p>第4図 (参考) レベル1地震動に対する耐震性評価結果 (管底深度GL. -800mm)</p> <p>第2表 レベル2地震動に対する耐震性評価結果 (管底深度GL. -800mm)</p> <table border="1" data-bbox="1400 734 1915 981"> <thead> <tr> <th>管径</th> <th>管種</th> <th>許容ひずみ(%)</th> <th>地震時最大ひずみ(%)</th> <th>結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">80A</td> <td>直管部</td> <td rowspan="12">3</td> <td>0.36</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>曲管部</td> <td>2.29</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">100A</td> <td>直管部</td> <td>0.36</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>曲管部</td> <td>2.17</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">150A</td> <td>直管部</td> <td>0.35</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>曲管部</td> <td>1.99</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">200A</td> <td>直管部</td> <td>0.34</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>曲管部</td> <td>1.79</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>T字管部 主管：200A 枝管：100A</td> <td></td> <td></td> <td>1.99</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>第3表 (参考) レベル1地震動に対する耐震性評価結果 (管底深度GL. -800mm)</p> <table border="1" data-bbox="1456 1109 1870 1396"> <thead> <tr> <th>管径</th> <th>管種</th> <th>許容ひずみ(%)</th> <th>地震時最大ひずみ(%)</th> <th>結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">80A</td> <td rowspan="2">直管部</td> <td rowspan="12">1</td> <td>直管部</td> <td>0.08</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>接合部</td> <td>0.15</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">曲管部</td> <td>曲管部</td> <td>0.09</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>接合部</td> <td>0.05</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">100A</td> <td rowspan="2">直管部</td> <td>直管部</td> <td>0.07</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>接合部</td> <td>0.15</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">曲管部</td> <td>曲管部</td> <td>0.09</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>接合部</td> <td>0.04</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">150A</td> <td rowspan="2">直管部</td> <td>直管部</td> <td>0.07</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>接合部</td> <td>0.14</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">曲管部</td> <td>曲管部</td> <td>0.10</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>接合部</td> <td>0.03</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">200A</td> <td rowspan="2">直管部</td> <td>直管部</td> <td>0.07</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>接合部</td> <td>0.14</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">曲管部</td> <td>曲管部</td> <td>0.09</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>接合部</td> <td>0.03</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">T字管部 枝管：100A 主管：200A</td> <td rowspan="2">枝管種</td> <td>直管部</td> <td>0.32</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>接合部</td> <td>0.39</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>主管種</td> <td>直管部</td> <td>0.08</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>接合部</td> <td>0.10</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	管径	管種	許容ひずみ(%)	地震時最大ひずみ(%)	結果	80A	直管部	3	0.36	○	曲管部	2.29	○	100A	直管部	0.36	○	曲管部	2.17	○	150A	直管部	0.35	○	曲管部	1.99	○	200A	直管部	0.34	○	曲管部	1.79	○	T字管部 主管：200A 枝管：100A			1.99	○	管径	管種	許容ひずみ(%)	地震時最大ひずみ(%)	結果	80A	直管部	1	直管部	0.08	○	接合部	0.15	○	曲管部	曲管部	0.09	○	接合部	0.05	○	100A	直管部	直管部	0.07	○	接合部	0.15	○	曲管部	曲管部	0.09	○	接合部	0.04	○	150A	直管部	直管部	0.07	○	接合部	0.14	○	曲管部	曲管部	0.10	○	接合部	0.03	○	200A	直管部	直管部	0.07	○	接合部	0.14	○	曲管部	曲管部	0.09	○	接合部	0.03	○	T字管部 枝管：100A 主管：200A	枝管種	直管部	0.32	○	接合部	0.39	○	主管種	直管部	0.08	○				接合部	0.10	○	
管径	管種	許容ひずみ(%)	地震時最大ひずみ(%)	結果																																																																																																																										
80A	直管部	3	0.36	○																																																																																																																										
	曲管部		2.29	○																																																																																																																										
100A	直管部		0.36	○																																																																																																																										
	曲管部		2.17	○																																																																																																																										
150A	直管部		0.35	○																																																																																																																										
	曲管部		1.99	○																																																																																																																										
200A	直管部		0.34	○																																																																																																																										
	曲管部		1.79	○																																																																																																																										
T字管部 主管：200A 枝管：100A				1.99	○																																																																																																																									
管径	管種		許容ひずみ(%)	地震時最大ひずみ(%)	結果																																																																																																																									
80A	直管部		1	直管部	0.08	○																																																																																																																								
				接合部	0.15	○																																																																																																																								
	曲管部	曲管部		0.09	○																																																																																																																									
		接合部		0.05	○																																																																																																																									
100A	直管部	直管部		0.07	○																																																																																																																									
		接合部		0.15	○																																																																																																																									
	曲管部	曲管部		0.09	○																																																																																																																									
		接合部		0.04	○																																																																																																																									
150A	直管部	直管部		0.07	○																																																																																																																									
		接合部		0.14	○																																																																																																																									
	曲管部	曲管部		0.10	○																																																																																																																									
		接合部		0.03	○																																																																																																																									
200A	直管部	直管部	0.07	○																																																																																																																										
		接合部	0.14	○																																																																																																																										
	曲管部	曲管部	0.09	○																																																																																																																										
		接合部	0.03	○																																																																																																																										
T字管部 枝管：100A 主管：200A	枝管種	直管部	0.32	○																																																																																																																										
		接合部	0.39	○																																																																																																																										
	主管種	直管部	0.08	○																																																																																																																										
			接合部	0.10	○																																																																																																																									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料 41-6 重大事故等対処施設が設置される火災区域又は火災区画の火災防護対策について）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>41-6 重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画の火災防護対策について（資料5）</p> <p><目次></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 火災区域、火災区画の設定 2. 火災感知設備 3. 消火設備 	<p>41-6 重大事故等対処施設が設置される火災区域又は火災区画の火災防護対策について</p> <p><目次></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 概要 2. 火災区域又は火災区画の設定について 3. 火災感知設備について 4. 消火設備について 	<p>41-6 重大事故等対処施設が設置される火災区域又は火災区画の火災防護対策について</p> <p><目次></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 概要 2. 火災区域又は火災区画の設定について 3. 火災感知設備について 4. 消火設備について 	<p>【大阪】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違（女川実績の反映） <p>【大阪】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違（女川実績の反映）
<p>添付資料1 重大事故等対処施設を設置する火災区域（区画）の火災感知器の配置を明示した図</p> <p>添付資料2 重大事故等対処施設を設置する火災区域（区画）の消火設備を明示した図</p> <p>添付資料3 重大事故等対処施設を設置する火災区域（区画）及び火災防護対策について</p>	<p>添付資料1 女川原子力発電所2号炉における重大事故等対処施設が設置される火災区域又は火災区画及び火災防護対策一覧</p>	<p>添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設が設置される火災区域又は火災区画及び火災防護対策一覧</p>	<p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■設備名称の相違 <p>【大阪】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違（女川実績の反映）

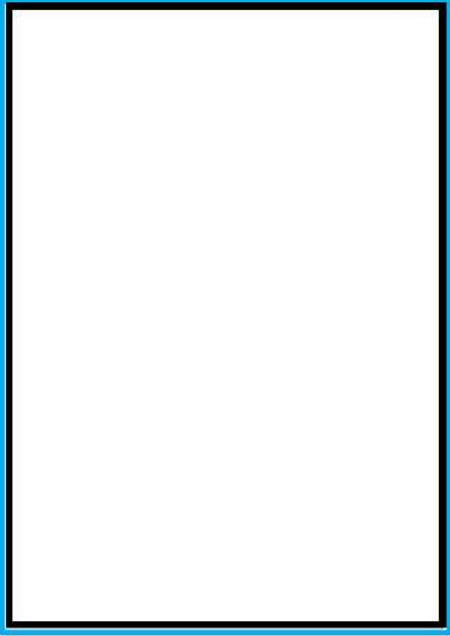
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止（補足説明資料 41-6 重大事故等対処施設が設置される火災区域又は火災区画の火災防護対策について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画の火災防護対策について</p> <p>大飯原子力発電所3/4号機における重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画の火災防護対策のうち、「火災区域、区画の設定」「火災感知設備」「消火設備」について以下のとおり整理を行った。</p> <p>1. 火災区域、火災区画の設定（資料2）</p> <p>原子炉格納容器、アニュラス部、原子炉周辺建屋、制御建屋、緊急時対策所と屋外の重大事故等対処施設を設置するエリアについて火災区域及び火災区画を設定した。</p> <p>2. 火災感知設備（資料3）</p> <p>重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画の火災を早期に感知するために、環境条件や予想される火災の性質を考慮して火災感知設備を設置する。</p> <p>3. 消火設備（資料4）</p> <p>消火設備は、重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画の火災を早期に消火するために、火災発生時の煙の充満等により、消火活動が困難となる火災区域又は火災区画であるかを考慮して設計する。</p> <p>本資料では、これらをもとに火災防護対策をまとめ、その結果を以下の添付資料に示す。</p>	<p>41-6</p> <p>重大事故等対処施設が設置される火災区域又は火災区画の火災防護対策について</p> <p>1. 概要</p> <p>女川原子力発電所2号炉における重大事故等対処施設を設置する火災区域の火災防護対策のうち、「火災区域又は火災区画の設定」「火災感知設備」「消火設備」について以下のとおり整理を行った。</p> <p>2. 火災区域又は火災区画の設定について</p> <p>重大事故等対処施設の火災防護対策を講じるために、原子炉建屋、制御建屋、緊急時対策建屋、緊急用電気品建屋と屋外の常設重大事故等対処施設を設置するエリアについて、火災区域又は火災区画を設定した。（補足41-3）</p> <p>3. 火災感知設備について</p> <p>火災感知設備は、重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画の火災を早期に感知するために設置する設計とする。（補足41-4）</p> <p>4. 消火設備について</p> <p>消火設備は、重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画の火災を早期に消火するため、火災防護に係る審査基準の「2.2 火災の感知、消火」に基づき「消火設備」を設置する設計とする。（補足41-5）</p>	<p>41-6</p> <p>重大事故等対処施設が設置される火災区域又は火災区画の火災防護対策について</p> <p>1. 概要</p> <p>泊発電所3号炉における重大事故等対処施設を設置する火災区域の火災防護対策のうち、「火災区域又は火災区画の設定」「火災感知設備」「消火設備」について以下のとおり整理を行った。</p> <p>2. 火災区域又は火災区画の設定について</p> <p>重大事故等対処施設の火災防護対策を講じるために、原子炉建屋、原子炉補助建屋、ディーゼル発電機建屋、緊急時対策所及び循環水ポンプ建屋と屋外の常設重大事故等対処施設を設置するエリアについて、火災区域又は火災区画を設定した。（補足41-3）</p> <p>3. 火災感知設備について</p> <p>火災感知設備は、重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画の火災を早期に感知するために設置する設計とする。（補足41-4）</p> <p>4. 消火設備について</p> <p>消火設備は、重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画の火災を早期に消火するため、火災防護に係る審査基準の「2.2 火災の感知、消火」に基づき「消火設備」を設置する設計とする。（補足41-5）</p>	<p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違 （女川実績の反映）</p> <p>【女川・大飯】</p> <p>■設備名称の相違 【大飯】</p> <p>■記載方針の相違 （女川実績の反映） 【大飯】</p> <p>■記載方針の相違 （女川実績の反映：着色せず） 【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違 建屋設計及び建屋名称の相違</p> <p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違 （女川実績の反映） 【大飯】</p> <p>■記載方針の相違 （女川実績の反映）</p> <p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違 （女川実績の反映）</p>

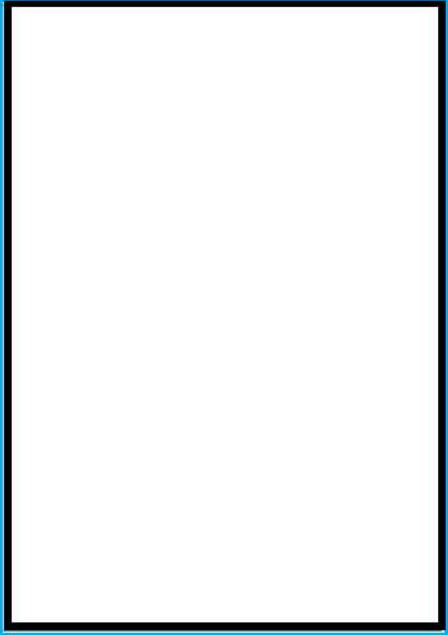
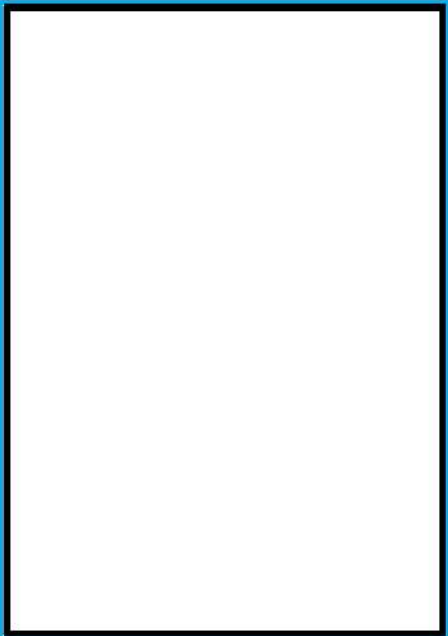
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料1</p> <p>重大事故等対処施設を設置する火災区域 (区画) の 火災感知器の配置を明示した図</p> 			<p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p>

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

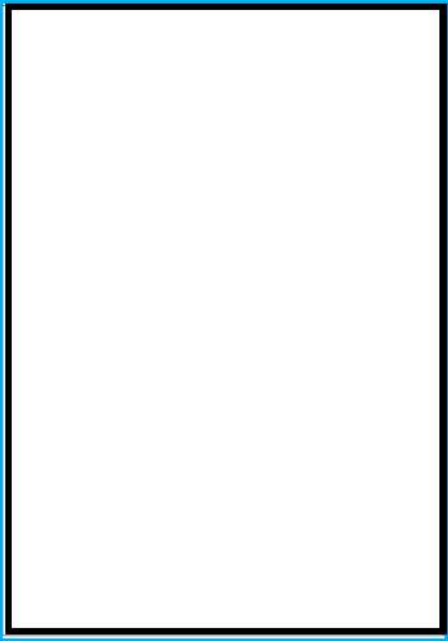
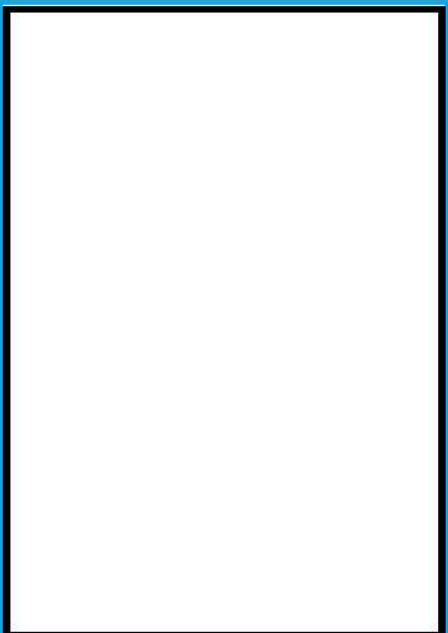
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)
			【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

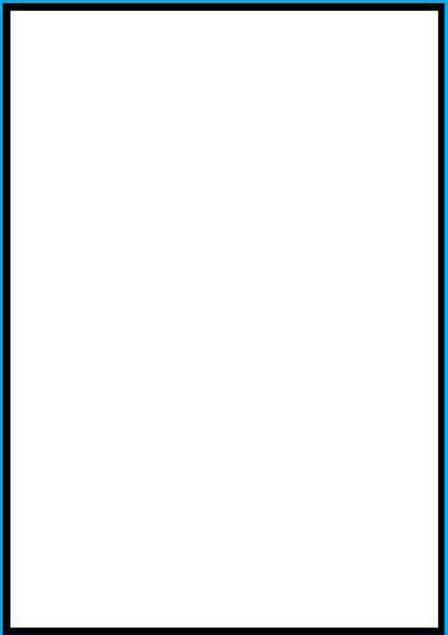
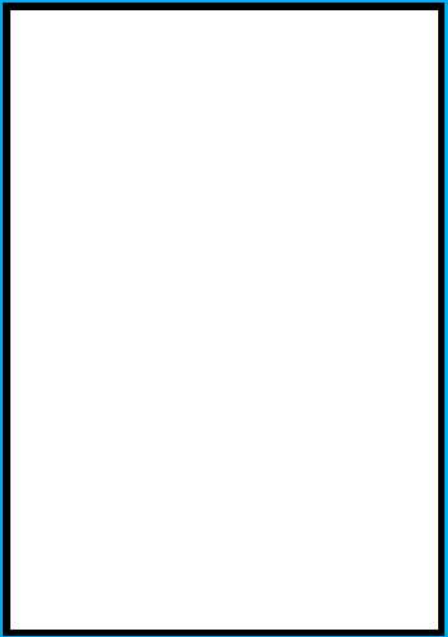
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)
			【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

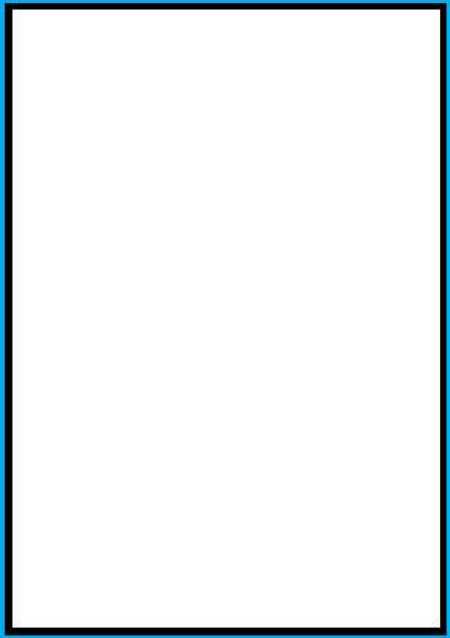
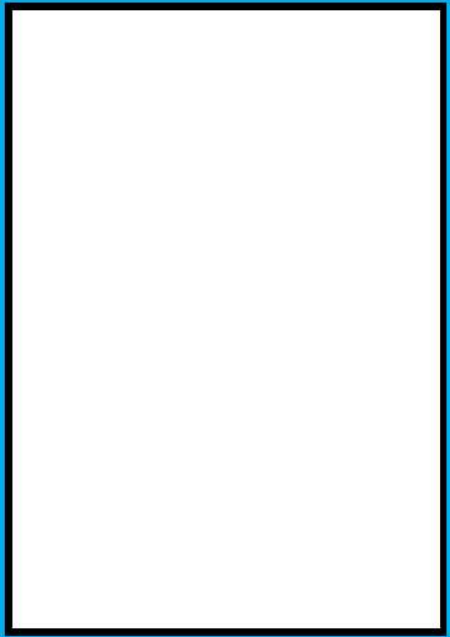
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p>
			<p>【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p>

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

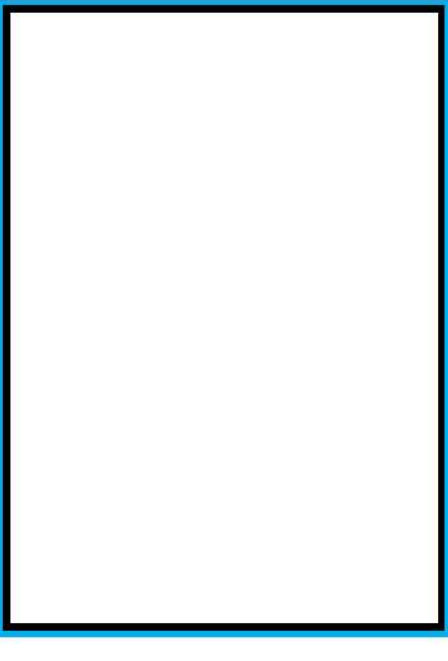
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p>
			<p>【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p>

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p>
			<p>【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p>

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

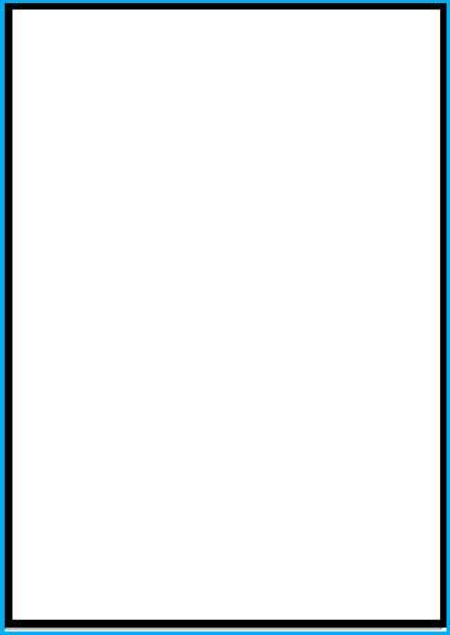
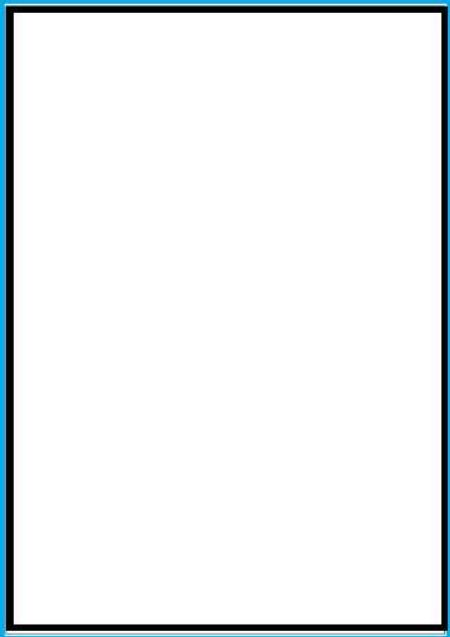
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p>
			<p>【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p>

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

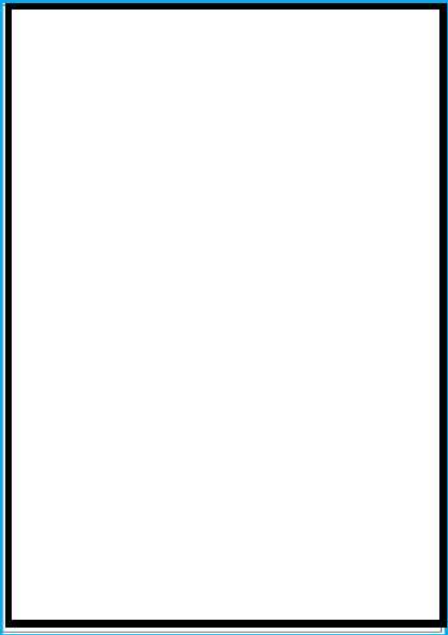
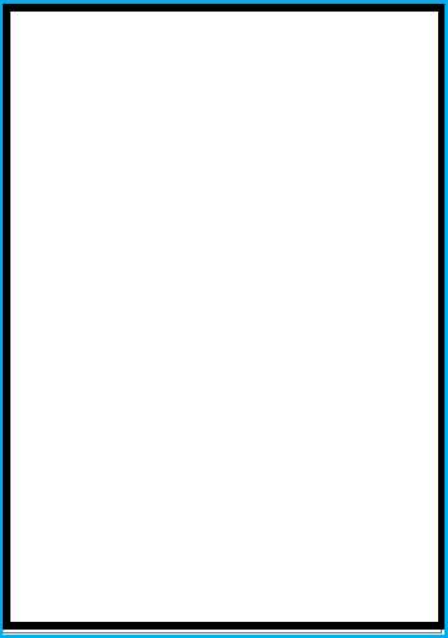
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)
			【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p>
			<p>【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p>

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)


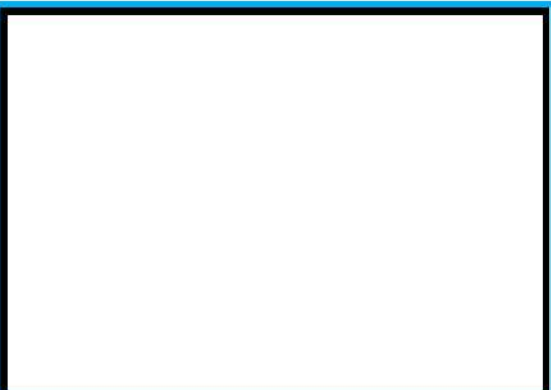
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p>

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)


赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p>
			<p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p>

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)


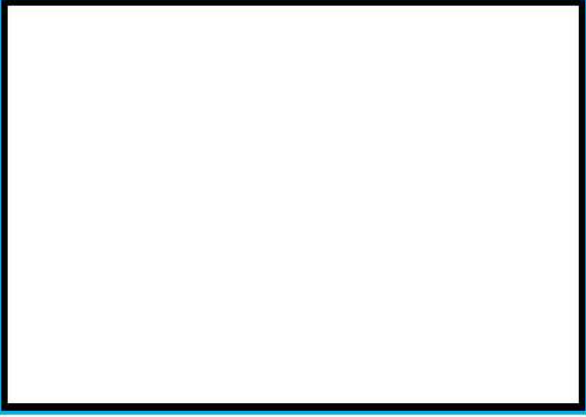
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p>
			<p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p>

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)



赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p>
			<p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p>

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)



赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p>
			<p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p>

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)



赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p>
			<p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p>

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)



赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p>
			<p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p>

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p>
			<p>【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p>

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由																																																																																																																																													
添付資料3 重大事故等対処施設を設置する火災区域 (区画) 及び火災防護対策について		添付資料1 女川原子力発電所2号炉における重大事故等対処施設が設置される火災区域又は火災区画及び火災防護対策一覧		添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設が設置される火災区域又は火災区画及び火災防護対策一覧		【女川】 ■設備名称の相違 【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 プラント配置、設備及びシステム構成の相違による火災防護対策の相違																																																																																																																																													
<table border="1"> <caption>大飯3号炉及び緊急時対策用エリア</caption> <thead> <tr> <th colspan="2">火災区域 (区画)</th> <th colspan="2">重大事故等対処施設火災防護対策 (空燃機組・炉内)</th> </tr> <tr> <th>区画</th> <th>主要設備</th> <th>火災感知器</th> <th>消火設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>火災区画 R/B 1-3</td> <td>Bディーゼル発電機室</td> <td>煙・熱</td> <td>二酸化炭素消火設備 ハロン消火設備</td> </tr> <tr> <td>火災区画 R/B 1-4</td> <td>B安全格納庫</td> <td>煙・熱・炎</td> <td>スプリンクラー消火設備 ハロン消火設備</td> </tr> <tr> <td>火災区画 R/B 1-5</td> <td>A安全格納庫</td> <td>煙・熱・炎</td> <td>スプリンクラー消火設備 ハロン消火設備</td> </tr> <tr> <td>火災区画 R/B 1-6</td> <td>Aディーゼル発電機室</td> <td>煙・熱</td> <td>二酸化炭素消火設備 ハロン消火設備</td> </tr> <tr> <td>火災区画 R/B 1-7</td> <td>タービン駆動給水ポンプ室</td> <td>煙・熱・炎</td> <td>ハロン消火設備 ガス消火設備 (ケーブルトレイ 消火設備)</td> </tr> <tr> <td>火災区画 R/B 2-1</td> <td>B安全系冷却器室</td> <td>煙・熱</td> <td>スプリンクラー消火設備</td> </tr> <tr> <td>火災区画 R/B 2-2</td> <td>A安全系冷却器室</td> <td>煙・熱</td> <td>スプリンクラー消火設備</td> </tr> <tr> <td>火災区画 R/B 2-3</td> <td>B電動補助給水ポンプ室</td> <td>煙・炎</td> <td>ハロン消火設備 ガス消火設備 (ケーブルトレイ 消火設備)</td> </tr> <tr> <td>火災区画 R/B 2-4</td> <td>A電動補助給水ポンプ室</td> <td>煙・炎</td> <td>ハロン消火設備 ガス消火設備 (ケーブルトレイ 消火設備)</td> </tr> <tr> <td>火災区画 R/B 2-6</td> <td>A売電ポンプ室</td> <td>煙・炎</td> <td>スプリンクラー消火設備 ハロン消火設備</td> </tr> <tr> <td>火災区画 R/B 2-7</td> <td>B売電ポンプ室</td> <td>煙・熱・炎</td> <td>スプリンクラー消火設備 ハロン消火設備</td> </tr> <tr> <td>火災区画 R/B 2-9</td> <td>ほう酸ポンプ・ほう酸タンク室</td> <td>煙・熱・炎</td> <td>スプリンクラー消火設備 ハロン消火設備 ガス消火設備 (ケーブルトレイ 消火設備)</td> </tr> <tr> <td>火災区画 R/B 3-10</td> <td>C売電ポンプ室</td> <td>煙・熱・炎</td> <td>スプリンクラー消火設備 ハロン消火設備</td> </tr> <tr> <td>火災区画 R/B 3-1</td> <td>燃料取替用ホットエリア</td> <td>なし</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>火災区画 R/B 3-3</td> <td>B安全格納庫空調ファン、配管室</td> <td>煙・熱</td> <td>スプリンクラー消火設備</td> </tr> <tr> <td>火災区画 R/B 3-5</td> <td>原子炉トリップ遮断器室</td> <td>煙・熱</td> <td>ハロン消火設備</td> </tr> <tr> <td>火災区画 R/B 3-7</td> <td>制御室配電盤室及び通路</td> <td>煙・熱</td> <td>スプリンクラー消火設備 ハロン消火設備 (ケーブルトレイ 消火設備)</td> </tr> <tr> <td>火災区画 R/B 3-8</td> <td>アモラス空気浄化フィルタユニット室</td> <td>煙・熱</td> <td>スプリンクラー消火設備</td> </tr> <tr> <td>火災区画 R/B 3-10</td> <td>制御室通路及び通路</td> <td>煙・熱</td> <td>スプリンクラー消火設備 ハロン消火設備 ガス消火設備 (ケーブルトレイ 消火設備)</td> </tr> <tr> <td>火災区画 R/B 3-11</td> <td>ベネトレーションエリア</td> <td>煙・熱</td> <td>スプリンクラー消火設備 ガス消火設備 (ケーブルトレイ 消火設備)</td> </tr> <tr> <td>火災区画 R/B 3-12</td> <td>使用済燃料ピット及び貯蔵燃料貯蔵室エリア</td> <td>煙・熱</td> <td>消火器又は消火栓</td> </tr> <tr> <td>火災区画 R/B 4-1</td> <td>復水ピットエリア</td> <td>なし</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table>		火災区域 (区画)		重大事故等対処施設火災防護対策 (空燃機組・炉内)		区画	主要設備	火災感知器	消火設備	火災区画 R/B 1-3	Bディーゼル発電機室	煙・熱	二酸化炭素消火設備 ハロン消火設備	火災区画 R/B 1-4	B安全格納庫	煙・熱・炎	スプリンクラー消火設備 ハロン消火設備	火災区画 R/B 1-5	A安全格納庫	煙・熱・炎	スプリンクラー消火設備 ハロン消火設備	火災区画 R/B 1-6	Aディーゼル発電機室	煙・熱	二酸化炭素消火設備 ハロン消火設備	火災区画 R/B 1-7	タービン駆動給水ポンプ室	煙・熱・炎	ハロン消火設備 ガス消火設備 (ケーブルトレイ 消火設備)	火災区画 R/B 2-1	B安全系冷却器室	煙・熱	スプリンクラー消火設備	火災区画 R/B 2-2	A安全系冷却器室	煙・熱	スプリンクラー消火設備	火災区画 R/B 2-3	B電動補助給水ポンプ室	煙・炎	ハロン消火設備 ガス消火設備 (ケーブルトレイ 消火設備)	火災区画 R/B 2-4	A電動補助給水ポンプ室	煙・炎	ハロン消火設備 ガス消火設備 (ケーブルトレイ 消火設備)	火災区画 R/B 2-6	A売電ポンプ室	煙・炎	スプリンクラー消火設備 ハロン消火設備	火災区画 R/B 2-7	B売電ポンプ室	煙・熱・炎	スプリンクラー消火設備 ハロン消火設備	火災区画 R/B 2-9	ほう酸ポンプ・ほう酸タンク室	煙・熱・炎	スプリンクラー消火設備 ハロン消火設備 ガス消火設備 (ケーブルトレイ 消火設備)	火災区画 R/B 3-10	C売電ポンプ室	煙・熱・炎	スプリンクラー消火設備 ハロン消火設備	火災区画 R/B 3-1	燃料取替用ホットエリア	なし	なし	火災区画 R/B 3-3	B安全格納庫空調ファン、配管室	煙・熱	スプリンクラー消火設備	火災区画 R/B 3-5	原子炉トリップ遮断器室	煙・熱	ハロン消火設備	火災区画 R/B 3-7	制御室配電盤室及び通路	煙・熱	スプリンクラー消火設備 ハロン消火設備 (ケーブルトレイ 消火設備)	火災区画 R/B 3-8	アモラス空気浄化フィルタユニット室	煙・熱	スプリンクラー消火設備	火災区画 R/B 3-10	制御室通路及び通路	煙・熱	スプリンクラー消火設備 ハロン消火設備 ガス消火設備 (ケーブルトレイ 消火設備)	火災区画 R/B 3-11	ベネトレーションエリア	煙・熱	スプリンクラー消火設備 ガス消火設備 (ケーブルトレイ 消火設備)	火災区画 R/B 3-12	使用済燃料ピット及び貯蔵燃料貯蔵室エリア	煙・熱	消火器又は消火栓	火災区画 R/B 4-1	復水ピットエリア	なし	なし	<table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>【系統機能】 主要設備</th> <th>火災区域又は火災区画番号</th> <th>感知設備</th> <th>消火設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>44</td> <td>【代替制御挿入機能による制御系統急挿入】 ATWS緩和設備 (代替制御挿入機能) 監視機 制御室監視機 制御室監視機水圧系水圧制御ユニット 制御室監視機水圧系配管 [流路]</td> <td>C-1-1</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>消火器</td> </tr> <tr> <td>44</td> <td>【原子炉再稼働防止機能】 ATWS緩和設備 (代替原子炉再稼働防止機能) トリップ機能]</td> <td>C-1-1</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>消火器</td> </tr> <tr> <td>44</td> <td>【ほう酸水注入系】 ほう酸水注入系ポンプ ほう酸水注入系配管・弁 [流路] ほう酸水注入系貯蔵タンク 原子炉圧力容器 [注水先]</td> <td>R-9-1</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>消火器又は炭酸ガス 消火設備</td> </tr> <tr> <td>44</td> <td>【出力上昇の防止】 ATWS緩和設備 (自動減圧系作動阻止機能) 【高圧代替注水系による原子炉の冷却】 高圧代替注水系ポンプ 高圧代替注水系 (蒸気系)・主蒸気系・原 子炉隔離時冷却系 配管・弁 [流路] 高圧代替注水系 (注水系)・補給水系・高 圧炉心スプレイス・原子炉冷却材浄化系・ 燃料プール補給水系・復水給水系 配 管・弁・スベージ [流路] 原子炉圧力容器 [注水先] 復水貯蔵タンク [水源]</td> <td>C-1-1</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>消火器</td> </tr> <tr> <td>45</td> <td>【原子炉隔離時冷却系による原子炉の冷却】 原子炉隔離時冷却系ポンプ (蒸気系) 配管・弁 [流路] 原子炉隔離時冷却系 (注水系)・補給水 系・高圧炉心スプレイス・原子炉冷却材浄 化系・復水給水系 配管・弁・スベージ [流路] 原子炉圧力容器 [注水先] 復水貯蔵タンク [水源]</td> <td>R-1-14</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> </tbody> </table>		関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備	44	【代替制御挿入機能による制御系統急挿入】 ATWS緩和設備 (代替制御挿入機能) 監視機 制御室監視機 制御室監視機水圧系水圧制御ユニット 制御室監視機水圧系配管 [流路]	C-1-1	煙感知器・熱感知器	消火器	44	【原子炉再稼働防止機能】 ATWS緩和設備 (代替原子炉再稼働防止機能) トリップ機能]	C-1-1	煙感知器・熱感知器	消火器	44	【ほう酸水注入系】 ほう酸水注入系ポンプ ほう酸水注入系配管・弁 [流路] ほう酸水注入系貯蔵タンク 原子炉圧力容器 [注水先]	R-9-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は炭酸ガス 消火設備	44	【出力上昇の防止】 ATWS緩和設備 (自動減圧系作動阻止機能) 【高圧代替注水系による原子炉の冷却】 高圧代替注水系ポンプ 高圧代替注水系 (蒸気系)・主蒸気系・原 子炉隔離時冷却系 配管・弁 [流路] 高圧代替注水系 (注水系)・補給水系・高 圧炉心スプレイス・原子炉冷却材浄化系・ 燃料プール補給水系・復水給水系 配 管・弁・スベージ [流路] 原子炉圧力容器 [注水先] 復水貯蔵タンク [水源]	C-1-1	煙感知器・熱感知器	消火器	45	【原子炉隔離時冷却系による原子炉の冷却】 原子炉隔離時冷却系ポンプ (蒸気系) 配管・弁 [流路] 原子炉隔離時冷却系 (注水系)・補給水 系・高圧炉心スプレイス・原子炉冷却材浄 化系・復水給水系 配管・弁・スベージ [流路] 原子炉圧力容器 [注水先] 復水貯蔵タンク [水源]	R-1-14	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	<table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>【系統機能】 主要設備</th> <th>火災区域又は火災区画番号</th> <th>感知設備</th> <th>消火設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>44</td> <td>【手動による原子炉緊急停止】 原子炉トリップスイッチ 制御室タキスタ 原子炉トリップ遮断器</td> <td></td> <td>不燃材のため追加対策不要 または 火災により機能喪失しても系統機能に 影響を及ぼすものではないため追加対策不要</td> <td></td> </tr> <tr> <td>44</td> <td>【原子炉出力抑制 (自動)】 共通要因故障対策盤 (自動制御 盤) (ATWS緩和設備) 主蒸気隔離弁 電動補助給水ポンプ タービン駆動補助給水ポンプ 補助給水ピット [水源] 主蒸気透かし弁 主蒸気安全弁 加圧器透かし弁 加圧器安全弁 蒸気発生器 主蒸気管 [流路] 主蒸気設備 配管・弁 [流路] 補助給水設備 配管・弁 [流 路] 1次冷却設備 [流路] (1次冷却ポンプ、原子炉停 留器、加圧器、1次冷却配管、加 圧器サージ管)</td> <td>A/B 4-08 R/B 5-03 R/B 3-04 R/B 3-05 R/B 3-03-1</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器 煙感知器・熱感知器 煙感知器・熱感知器 煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備 全域ガス消火設備 全域ガス消火設備 全域ガス消火設備 全域ガス消火設備 消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレー設備)</td> </tr> </tbody> </table>		関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備	44	【手動による原子炉緊急停止】 原子炉トリップスイッチ 制御室タキスタ 原子炉トリップ遮断器		不燃材のため追加対策不要 または 火災により機能喪失しても系統機能に 影響を及ぼすものではないため追加対策不要		44	【原子炉出力抑制 (自動)】 共通要因故障対策盤 (自動制御 盤) (ATWS緩和設備) 主蒸気隔離弁 電動補助給水ポンプ タービン駆動補助給水ポンプ 補助給水ピット [水源] 主蒸気透かし弁 主蒸気安全弁 加圧器透かし弁 加圧器安全弁 蒸気発生器 主蒸気管 [流路] 主蒸気設備 配管・弁 [流路] 補助給水設備 配管・弁 [流 路] 1次冷却設備 [流路] (1次冷却ポンプ、原子炉停 留器、加圧器、1次冷却配管、加 圧器サージ管)	A/B 4-08 R/B 5-03 R/B 3-04 R/B 3-05 R/B 3-03-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器 煙感知器・熱感知器 煙感知器・熱感知器 煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備 全域ガス消火設備 全域ガス消火設備 全域ガス消火設備 全域ガス消火設備 消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレー設備)	
火災区域 (区画)		重大事故等対処施設火災防護対策 (空燃機組・炉内)																																																																																																																																																	
区画	主要設備	火災感知器	消火設備																																																																																																																																																
火災区画 R/B 1-3	Bディーゼル発電機室	煙・熱	二酸化炭素消火設備 ハロン消火設備																																																																																																																																																
火災区画 R/B 1-4	B安全格納庫	煙・熱・炎	スプリンクラー消火設備 ハロン消火設備																																																																																																																																																
火災区画 R/B 1-5	A安全格納庫	煙・熱・炎	スプリンクラー消火設備 ハロン消火設備																																																																																																																																																
火災区画 R/B 1-6	Aディーゼル発電機室	煙・熱	二酸化炭素消火設備 ハロン消火設備																																																																																																																																																
火災区画 R/B 1-7	タービン駆動給水ポンプ室	煙・熱・炎	ハロン消火設備 ガス消火設備 (ケーブルトレイ 消火設備)																																																																																																																																																
火災区画 R/B 2-1	B安全系冷却器室	煙・熱	スプリンクラー消火設備																																																																																																																																																
火災区画 R/B 2-2	A安全系冷却器室	煙・熱	スプリンクラー消火設備																																																																																																																																																
火災区画 R/B 2-3	B電動補助給水ポンプ室	煙・炎	ハロン消火設備 ガス消火設備 (ケーブルトレイ 消火設備)																																																																																																																																																
火災区画 R/B 2-4	A電動補助給水ポンプ室	煙・炎	ハロン消火設備 ガス消火設備 (ケーブルトレイ 消火設備)																																																																																																																																																
火災区画 R/B 2-6	A売電ポンプ室	煙・炎	スプリンクラー消火設備 ハロン消火設備																																																																																																																																																
火災区画 R/B 2-7	B売電ポンプ室	煙・熱・炎	スプリンクラー消火設備 ハロン消火設備																																																																																																																																																
火災区画 R/B 2-9	ほう酸ポンプ・ほう酸タンク室	煙・熱・炎	スプリンクラー消火設備 ハロン消火設備 ガス消火設備 (ケーブルトレイ 消火設備)																																																																																																																																																
火災区画 R/B 3-10	C売電ポンプ室	煙・熱・炎	スプリンクラー消火設備 ハロン消火設備																																																																																																																																																
火災区画 R/B 3-1	燃料取替用ホットエリア	なし	なし																																																																																																																																																
火災区画 R/B 3-3	B安全格納庫空調ファン、配管室	煙・熱	スプリンクラー消火設備																																																																																																																																																
火災区画 R/B 3-5	原子炉トリップ遮断器室	煙・熱	ハロン消火設備																																																																																																																																																
火災区画 R/B 3-7	制御室配電盤室及び通路	煙・熱	スプリンクラー消火設備 ハロン消火設備 (ケーブルトレイ 消火設備)																																																																																																																																																
火災区画 R/B 3-8	アモラス空気浄化フィルタユニット室	煙・熱	スプリンクラー消火設備																																																																																																																																																
火災区画 R/B 3-10	制御室通路及び通路	煙・熱	スプリンクラー消火設備 ハロン消火設備 ガス消火設備 (ケーブルトレイ 消火設備)																																																																																																																																																
火災区画 R/B 3-11	ベネトレーションエリア	煙・熱	スプリンクラー消火設備 ガス消火設備 (ケーブルトレイ 消火設備)																																																																																																																																																
火災区画 R/B 3-12	使用済燃料ピット及び貯蔵燃料貯蔵室エリア	煙・熱	消火器又は消火栓																																																																																																																																																
火災区画 R/B 4-1	復水ピットエリア	なし	なし																																																																																																																																																
関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備																																																																																																																																															
44	【代替制御挿入機能による制御系統急挿入】 ATWS緩和設備 (代替制御挿入機能) 監視機 制御室監視機 制御室監視機水圧系水圧制御ユニット 制御室監視機水圧系配管 [流路]	C-1-1	煙感知器・熱感知器	消火器																																																																																																																																															
44	【原子炉再稼働防止機能】 ATWS緩和設備 (代替原子炉再稼働防止機能) トリップ機能]	C-1-1	煙感知器・熱感知器	消火器																																																																																																																																															
44	【ほう酸水注入系】 ほう酸水注入系ポンプ ほう酸水注入系配管・弁 [流路] ほう酸水注入系貯蔵タンク 原子炉圧力容器 [注水先]	R-9-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は炭酸ガス 消火設備																																																																																																																																															
44	【出力上昇の防止】 ATWS緩和設備 (自動減圧系作動阻止機能) 【高圧代替注水系による原子炉の冷却】 高圧代替注水系ポンプ 高圧代替注水系 (蒸気系)・主蒸気系・原 子炉隔離時冷却系 配管・弁 [流路] 高圧代替注水系 (注水系)・補給水系・高 圧炉心スプレイス・原子炉冷却材浄化系・ 燃料プール補給水系・復水給水系 配 管・弁・スベージ [流路] 原子炉圧力容器 [注水先] 復水貯蔵タンク [水源]	C-1-1	煙感知器・熱感知器	消火器																																																																																																																																															
45	【原子炉隔離時冷却系による原子炉の冷却】 原子炉隔離時冷却系ポンプ (蒸気系) 配管・弁 [流路] 原子炉隔離時冷却系 (注水系)・補給水 系・高圧炉心スプレイス・原子炉冷却材浄 化系・復水給水系 配管・弁・スベージ [流路] 原子炉圧力容器 [注水先] 復水貯蔵タンク [水源]	R-1-14	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																																																																																																																															
関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備																																																																																																																																															
44	【手動による原子炉緊急停止】 原子炉トリップスイッチ 制御室タキスタ 原子炉トリップ遮断器		不燃材のため追加対策不要 または 火災により機能喪失しても系統機能に 影響を及ぼすものではないため追加対策不要																																																																																																																																																
44	【原子炉出力抑制 (自動)】 共通要因故障対策盤 (自動制御 盤) (ATWS緩和設備) 主蒸気隔離弁 電動補助給水ポンプ タービン駆動補助給水ポンプ 補助給水ピット [水源] 主蒸気透かし弁 主蒸気安全弁 加圧器透かし弁 加圧器安全弁 蒸気発生器 主蒸気管 [流路] 主蒸気設備 配管・弁 [流路] 補助給水設備 配管・弁 [流 路] 1次冷却設備 [流路] (1次冷却ポンプ、原子炉停 留器、加圧器、1次冷却配管、加 圧器サージ管)	A/B 4-08 R/B 5-03 R/B 3-04 R/B 3-05 R/B 3-03-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器 煙感知器・熱感知器 煙感知器・熱感知器 煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備 全域ガス消火設備 全域ガス消火設備 全域ガス消火設備 全域ガス消火設備 消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレー設備)																																																																																																																																															

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区域対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉				女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由				
火災区域 (区画)				重大事故等対処施設の大気設備対策 (早期検知・消火)				関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は火災区域番号	感知設備	消火設備	【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 プラント配置、設備及び 系統構成の相違による 火災防護対策の相違			
区分	番号	名称	火災感知	消火設備	消火方法	火災感知	消火設備									
火災区域	R/B 0-2	主蒸気・主給水管室	煙・熱	ガス消火設備 (ケーブルトレイ消火設備)	自動	40	【高圧中心スプレインシステムによる原子炉の冷却】 高圧中心スプレインポンプ 高圧中心スプレイン系、補給水系、配管・弁・ストレーナー、モニタリング【流路】 原子炉圧力容器【注水先】 復水貯蔵タンク【水源】 サブプレッシャシステム【注水先】	R-1-5	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	【原子炉出力抑制 (手動)】 主蒸気隔離弁 電動補助給水ポンプ タービン動補助給水ポンプ 補助給水ヘッド【水源】 主蒸気タンク【注水先】 主蒸気安全弁 加圧器安全弁 蒸気発生器 主蒸気管【流路】 主蒸気設備 配管・弁【流路】 補助給水設備 配管・弁【流路】	R/B 0-03	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全域ガス消火設備		
火災区域	R/B 0-3	格納容器給気ファン室及び通路	煙・熱	スプリンクラー消火設備 ハロン消火設備	固定の手動 自動	45	【ほう酸水注入系による換熱機冷却】 ほう酸水注入系	R-5-31	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	44	64条に記載				
火災区域	R/B 0-4	アニュラスエリア	煙・熱	消火器又は消火栓	手動	46	【主蒸気逃がし安全弁】 主蒸気逃がし安全弁 主蒸気逃がし安全弁並行自動減圧機用アキュムレータ 主蒸気逃がし安全弁自動減圧機用アキュムレータ	R-1-80	煙感知器・熱感知器	消火器	44	【主蒸気逃がし安全弁】 主蒸気逃がし安全弁 主蒸気逃がし安全弁並行自動減圧機用アキュムレータ 主蒸気逃がし安全弁自動減圧機用アキュムレータ	R/B 3-04	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	
火災区域	R/B 1-1	原子炉補機冷却水ポンプ室 (3号機)	煙・熱・炎	スプリンクラー消火設備 ハロン消火設備	固定の手動 自動	46	【原子炉冷却水の自動化 (主蒸気逃がし安全弁 自動減圧機) のみ】 代替自動減圧機 (代替自動減圧機機) ATWS 線化設備 (自動減圧系自動減圧機)	C-4-1	煙感知器・熱感知器	消火器	44	【可能型代替減圧機設備による主蒸気逃がし安全弁機能回復】 消火器 エアロゾル消火設備 (電気型内) ハロン消火設備	R/B 3-05	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	
火災区域	C/B 1-7	原子炉補機冷却水ポンプ室-2 (3号機)	煙・熱・炎	スプリンクラー消火設備 ハロン消火設備 (ケーブルトレイ消火設備)	自動 自動	46	【高圧異常ガス検出系 (非常用) による原子炉冷却系確保 (主蒸気逃がし安全弁 (自動減圧機) のみ)】 主蒸気逃がし安全弁自動減圧機用アキュムレータ【流路】 高圧異常ガス検出系 配管・弁【流路】	R-7-82	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	44	【ほう酸水注入 (ほう酸タンク→充てんライン)】 ほう酸タンク【水源】 ほう酸ポンプ 緊急ほう酸注入弁【流路】 充てんポンプ ほう酸フィルタ【流路】 再生熱交換器【流路】 化学体積制御設備 配管・弁【流路】	R/B 3-03-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	
火災区域	C/B 3-6	B安全補機制御室 (3号機)	煙・熱・炎	ハロン消火設備 ガス消火設備 (ケーブルトレイ消火設備)	自動 自動	46	【代替減圧機による主蒸気逃がし安全弁 (自動減圧機) のみ】 代替減圧機並行供給系 配管・弁【流路】 【インターフェイスシステム LOCA 隔離弁】	R-7-82	煙感知器・熱感知器	消火器	44	【原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水ポンプ) 及び原子炉補機冷却水設備 配管・弁、ストレーナ【流路】】 1次冷却設備【流路】 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管) 原子炉容器【注水先】	A/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	
火災区域	C/B 3-7	A蓄電地室 (3号機)	煙・炎	ハロン消火設備	自動	46	【原子炉冷却水の自動化 (主蒸気逃がし安全弁 自動減圧機) のみ】 代替自動減圧機 (代替自動減圧機機) ATWS 線化設備 (自動減圧系自動減圧機)	C-4-1	煙感知器・熱感知器	消火器	44	【可能型代替減圧機設備による主蒸気逃がし安全弁機能回復】 消火器 エアロゾル消火設備 (電気型内) ハロン消火設備	A/B 4-02-2	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	
火災区域	C/B 3-8	A蓄電地室 (3号機)	煙・炎	ハロン消火設備	自動	46	【可能型代替減圧機設備による主蒸気逃がし安全弁機能回復】 消火器 エアロゾル消火設備 (電気型内) ハロン消火設備	67条に記載			44	【ほう酸水注入 (ほう酸タンク→充てんライン)】 ほう酸タンク【水源】 ほう酸ポンプ 緊急ほう酸注入弁【流路】 充てんポンプ ほう酸フィルタ【流路】 再生熱交換器【流路】 化学体積制御設備 配管・弁【流路】	A/B 3-03	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	
火災区域	C/B 4-6	中央制御室	煙・炎	消火器 エアロゾル消火設備 (電気型内) ハロン消火設備	手動 自動 自動	46	【高圧異常ガス検出系 (非常用) による原子炉冷却系確保 (主蒸気逃がし安全弁 (自動減圧機) のみ)】 主蒸気逃がし安全弁自動減圧機用アキュムレータ【流路】 高圧異常ガス検出系 配管・弁【流路】	R-7-82	煙感知器・熱感知器	消火器	44	【原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水ポンプ) 及び原子炉補機冷却水設備 配管・弁、ストレーナ【流路】】 1次冷却設備【流路】 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管) 原子炉容器【注水先】	A/B 3-04	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	
火災区域	C/B 4-10	A1次系線電線室 (3号機)	煙・炎	ハロン消火設備	自動	46	【高圧異常ガス検出系 (非常用) による原子炉冷却系確保 (主蒸気逃がし安全弁 (自動減圧機) のみ)】 主蒸気逃がし安全弁自動減圧機用アキュムレータ【流路】 高圧異常ガス検出系 配管・弁【流路】	R-7-82	煙感知器・熱感知器	消火器	44	【原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水ポンプ) 及び原子炉補機冷却水設備 配管・弁、ストレーナ【流路】】 1次冷却設備【流路】 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管) 原子炉容器【注水先】	A/B 3-05	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	
火災区域	C/B 4-11	計算機室 (3号機)	煙・熱	ハロン消火設備	自動	46	【高圧異常ガス検出系 (非常用) による原子炉冷却系確保 (主蒸気逃がし安全弁 (自動減圧機) のみ)】 主蒸気逃がし安全弁自動減圧機用アキュムレータ【流路】 高圧異常ガス検出系 配管・弁【流路】	R-7-82	煙感知器・熱感知器	消火器	44	【原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水ポンプ) 及び原子炉補機冷却水設備 配管・弁、ストレーナ【流路】】 1次冷却設備【流路】 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管) 原子炉容器【注水先】	A/B 3-01-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	
火災区域	C/B 5-1	空調ダクトエリア	煙・熱	スプリンクラー消火設備 ガス消火設備 (ケーブルトレイ消火設備)	自動 自動	46	【高圧異常ガス検出系 (非常用) による原子炉冷却系確保 (主蒸気逃がし安全弁 (自動減圧機) のみ)】 主蒸気逃がし安全弁自動減圧機用アキュムレータ【流路】 高圧異常ガス検出系 配管・弁【流路】	R-7-82	煙感知器・熱感知器	消火器	44	【原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水ポンプ) 及び原子炉補機冷却水設備 配管・弁、ストレーナ【流路】】 1次冷却設備【流路】 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管) 原子炉容器【注水先】	R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	
火災区域	C/B 5-2	空調ダクトエリア-2	煙・熱	スプリンクラー消火設備 ガス消火設備 (ケーブルトレイ消火設備)	自動 自動	46	【高圧異常ガス検出系 (非常用) による原子炉冷却系確保 (主蒸気逃がし安全弁 (自動減圧機) のみ)】 主蒸気逃がし安全弁自動減圧機用アキュムレータ【流路】 高圧異常ガス検出系 配管・弁【流路】	R-7-82	煙感知器・熱感知器	消火器	44	【原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水ポンプ) 及び原子炉補機冷却水設備 配管・弁、ストレーナ【流路】】 1次冷却設備【流路】 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管) 原子炉容器【注水先】				
火災区域	C/B 5-3	中央制御室非常用電源フィルタユニット室 (3号機)	煙・熱	消火器又は消火栓	手動	46	【高圧異常ガス検出系 (非常用) による原子炉冷却系確保 (主蒸気逃がし安全弁 (自動減圧機) のみ)】 主蒸気逃がし安全弁自動減圧機用アキュムレータ【流路】 高圧異常ガス検出系 配管・弁【流路】	R-7-82	煙感知器・熱感知器	消火器	44	【原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水ポンプ) 及び原子炉補機冷却水設備 配管・弁、ストレーナ【流路】】 1次冷却設備【流路】 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管) 原子炉容器【注水先】				
火災区域	A/B1-1	緊急時作業所	煙・熱	消火器	手動	46	【高圧異常ガス検出系 (非常用) による原子炉冷却系確保 (主蒸気逃がし安全弁 (自動減圧機) のみ)】 主蒸気逃がし安全弁自動減圧機用アキュムレータ【流路】 高圧異常ガス検出系 配管・弁【流路】	R-7-82	煙感知器・熱感知器	消火器	44	【原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水ポンプ) 及び原子炉補機冷却水設備 配管・弁、ストレーナ【流路】】 1次冷却設備【流路】 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管) 原子炉容器【注水先】				
火災区域	屋外1-1	海水ポンプ室	熱・炎	二酸化炭素消火設備	自動	46	【高圧異常ガス検出系 (非常用) による原子炉冷却系確保 (主蒸気逃がし安全弁 (自動減圧機) のみ)】 主蒸気逃がし安全弁自動減圧機用アキュムレータ【流路】 高圧異常ガス検出系 配管・弁【流路】	R-7-82	煙感知器・熱感知器	消火器	44	【原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水ポンプ) 及び原子炉補機冷却水設備 配管・弁、ストレーナ【流路】】 1次冷却設備【流路】 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管) 原子炉容器【注水先】				
火災区域	屋外1-3	3号A-DG燃料貯蔵タンク	熱・炎	消火器	手動	46	【高圧異常ガス検出系 (非常用) による原子炉冷却系確保 (主蒸気逃がし安全弁 (自動減圧機) のみ)】 主蒸気逃がし安全弁自動減圧機用アキュムレータ【流路】 高圧異常ガス検出系 配管・弁【流路】	R-7-82	煙感知器・熱感知器	消火器	44	【原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水ポンプ) 及び原子炉補機冷却水設備 配管・弁、ストレーナ【流路】】 1次冷却設備【流路】 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管) 原子炉容器【注水先】				
火災区域	屋外1-4	3号B-DG燃料貯蔵タンク	熱・炎	消火器	手動	46	【高圧異常ガス検出系 (非常用) による原子炉冷却系確保 (主蒸気逃がし安全弁 (自動減圧機) のみ)】 主蒸気逃がし安全弁自動減圧機用アキュムレータ【流路】 高圧異常ガス検出系 配管・弁【流路】	R-7-82	煙感知器・熱感知器	消火器	44	【原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水ポンプ) 及び原子炉補機冷却水設備 配管・弁、ストレーナ【流路】】 1次冷却設備【流路】 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管) 原子炉容器【注水先】				
火災区域	屋外1-5	蓄積タンク3A	熱・炎	消火器	手動	46	【高圧異常ガス検出系 (非常用) による原子炉冷却系確保 (主蒸気逃がし安全弁 (自動減圧機) のみ)】 主蒸気逃がし安全弁自動減圧機用アキュムレータ【流路】 高圧異常ガス検出系 配管・弁【流路】	R-7-82	煙感知器・熱感知器	消火器	44	【原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水ポンプ) 及び原子炉補機冷却水設備 配管・弁、ストレーナ【流路】】 1次冷却設備【流路】 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管) 原子炉容器【注水先】				
火災区域	屋外1-6	蓄積タンク3B	熱・炎	消火器	手動	46	【高圧異常ガス検出系 (非常用) による原子炉冷却系確保 (主蒸気逃がし安全弁 (自動減圧機) のみ)】 主蒸気逃がし安全弁自動減圧機用アキュムレータ【流路】 高圧異常ガス検出系 配管・弁【流路】	R-7-82	煙感知器・熱感知器	消火器	44	【原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水ポンプ) 及び原子炉補機冷却水設備 配管・弁、ストレーナ【流路】】 1次冷却設備【流路】 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管) 原子炉容器【注水先】				
火災区域	屋外1-11	3号A型冷凍非常用発電装置	熱・炎	消火器又は消火栓	手動	46	【高圧異常ガス検出系 (非常用) による原子炉冷却系確保 (主蒸気逃がし安全弁 (自動減圧機) のみ)】 主蒸気逃がし安全弁自動減圧機用アキュムレータ【流路】 高圧異常ガス検出系 配管・弁【流路】	R-7-82	煙感知器・熱感知器	消火器	44	【原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水ポンプ) 及び原子炉補機冷却水設備 配管・弁、ストレーナ【流路】】 1次冷却設備【流路】 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管) 原子炉容器【注水先】				
火災区域	屋外1-12	3号B型冷凍非常用発電装置	熱・炎	消火器又は消火栓	手動	46	【高圧異常ガス検出系 (非常用) による原子炉冷却系確保 (主蒸気逃がし安全弁 (自動減圧機) のみ)】 主蒸気逃がし安全弁自動減圧機用アキュムレータ【流路】 高圧異常ガス検出系 配管・弁【流路】	R-7-82	煙感知器・熱感知器	消火器	44	【原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水ポンプ) 及び原子炉補機冷却水設備 配管・弁、ストレーナ【流路】】 1次冷却設備【流路】 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管) 原子炉容器【注水先】				

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区域対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉				女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由				
火災区域 (区画)				重大事故等対処施設等の火災防護対策 (早期検知・消火)				火災区域又は火災区域番号								
区分	番号	名称	火災感知器	消火設備	消火方法	関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は火災区域番号	感知設備	消火設備	関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は火災区域番号	感知設備	消火設備	
火災区域	R/B 1-23	Bディーゼル発電機室	煙・熱	二酸化炭素消火設備 ハロン消火設備	自動 自動	47	【低圧代替注水系 (青字)】 (直流駆動低圧注水ポンプ) による原子炉の冷却 直流駆動低圧注水ポンプ 供給水配管 [流路] 配管・弁・ストレーナ [注水先] 原子炉圧力容器 [注水先] 原子炉圧力容器 [注水先]	R-1-5	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	A/B 3-03	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 プラント配置、設備及び 系統構成の相違による 火災防護対策の相違		
火災区域	R/B 1-24	A安全補機室	煙・熱・炎	スプリンクラー消火設備 ハロン消火設備	固定の自動 自動											
火災区域	R/B 1-25	A安全補機室	煙・熱・炎	スプリンクラー消火設備 ハロン消火設備	固定の自動 自動	47	【低圧代替注水系 (青字)】 (直流駆動低圧注水ポンプ) による原子炉の冷却 直流駆動低圧注水ポンプ 供給水配管 [流路] 配管・弁・ストレーナ [注水先] 原子炉圧力容器 [注水先] 原子炉圧力容器 [注水先]	R-1-5	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	A/B 3-04	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備			
火災区域	R/B 1-26	Aディーゼル発電機室	煙・熱	二酸化炭素消火設備 ハロン消火設備	自動 自動											
火災区域	R/B 1-27	タービン補助給水ポンプ室	煙・熱・炎	スプリンクラー消火設備 ガス消火設備 (ケーブルトレイ消火設備)	自動 自動	47	【低圧代替注水系 (青字)】 (直流駆動低圧注水ポンプ) による原子炉の冷却 直流駆動低圧注水ポンプ 供給水配管 [流路] 配管・弁・ストレーナ [注水先] 原子炉圧力容器 [注水先] 原子炉圧力容器 [注水先]	R-1-5	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	A/B 3-05	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備			
火災区域	R/B 2-21	B安全系冷却器室	煙・熱	スプリンクラー消火設備 ガス消火設備 (ケーブルトレイ消火設備)	固定の自動 自動											
火災区域	R/B 2-22	A安全系冷却器室	煙・熱	スプリンクラー消火設備	固定の自動 自動	47	【残留熱除去系 (低圧注水モード)】 残留熱除去ポンプ 残留熱除去系配管・弁・ストレーナ [流路] 残留熱除去系配管・弁・ストレーナ [注水先] サブプレッシャメンバ [注水先]	R-1-2	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	A/B 3-01-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備			
火災区域	R/B 2-23	B電動補助給水ポンプ室	煙・炎	ハロン消火設備 ガス消火設備 (ケーブルトレイ消火設備)	自動 自動											
火災区域	R/B 2-24	A電動補助給水ポンプ室	煙・炎	ハロン消火設備 ガス消火設備 (ケーブルトレイ消火設備)	自動 自動	47	【残留熱除去系 (低圧注水モード)】 残留熱除去ポンプ 残留熱除去系配管・弁・ストレーナ [流路] 残留熱除去系配管・弁・ストレーナ [注水先] サブプレッシャメンバ [注水先]	R-1-3	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	A/B 3-01-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備			
火災区域	R/B 2-27	A充てんポンプ室	煙・熱・炎	スプリンクラー消火設備 ハロン消火設備	固定の自動 自動											
火災区域	R/B 2-28	B充てんポンプ室	煙・熱・炎	スプリンクラー消火設備 ハロン消火設備	固定の自動 自動	47	【残留熱除去系 (低圧注水モード)】 残留熱除去ポンプ 残留熱除去系配管・弁・ストレーナ [流路] 残留熱除去系配管・弁・ストレーナ [注水先] サブプレッシャメンバ [注水先]	R-1-3	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	A/B 3-01-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備			
火災区域	R/B 2-29	C充てんポンプ室	煙・熱・炎	スプリンクラー消火設備 ハロン消火設備	固定の自動 自動											
火災区域	R/B 2-30	ほう酸ポンプ・ほう酸タンク室	煙・炎	スプリンクラー消火設備 ハロン消火設備	自動 自動	47	【低圧代替注水系 (青字)】 (直流駆動低圧注水ポンプ) による原子炉の冷却 直流駆動低圧注水ポンプ 供給水配管 [流路] 配管・弁・ストレーナ [注水先] 原子炉圧力容器 [注水先] 原子炉圧力容器 [注水先]	R-1-5	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備			
火災区域	R/B 3-31	燃料貯蔵用水ピットエリア	なし	なし	ー											
火災区域	R/B 3-33	原子炉トリップ遮断装置室	煙・熱	ハロン消火設備	自動	47	【原子炉機械冷却水 (低圧注水モード)】 原子炉機械冷却水ポンプ 原子炉機械冷却水配管・弁・ストレーナ [注水先] 原子炉機械冷却水配管・弁・ストレーナ [注水先] サブプレッシャメンバ [注水先]	R-1-5	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	A/B 4-01-7	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備			
火災区域	R/B 3-34	B安全補機室空調ファン、配管室	煙・熱	スプリンクラー消火設備	固定の自動 自動											
火災区域	R/B 3-36	制御室空調装置設置床及び過熱	煙・熱	スプリンクラー消火設備 ハロン消火設備 ガス消火設備 (ケーブルトレイ消火設備)	自動 自動 自動	47	【原子炉機械冷却水 (低圧注水モード)】 原子炉機械冷却水ポンプ 原子炉機械冷却水配管・弁・ストレーナ [注水先] 原子炉機械冷却水配管・弁・ストレーナ [注水先] サブプレッシャメンバ [注水先]	R-1-5	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	A/B 4-01-7	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備			
火災区域	R/B 3-38	ベネレーションエリア	煙・熱	スプリンクラー消火設備 ガス消火設備 (ケーブルトレイ消火設備)	自動 自動											
火災区域	R/B 3-39	アノキス空気浄化フィルタユニット室	煙・熱	スプリンクラー消火設備	固定の自動 自動	47	【原子炉機械冷却水 (低圧注水モード)】 原子炉機械冷却水ポンプ 原子炉機械冷却水配管・弁・ストレーナ [注水先] 原子炉機械冷却水配管・弁・ストレーナ [注水先] サブプレッシャメンバ [注水先]	R-1-5	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレイ設備)			
火災区域	R/B 3-40	使用済燃料ピット及び敷設材貯蔵室	煙・熱	消火器又は消火栓	手動											
火災区域	R/B 3-41	制御室空調装置設置床及び過熱	煙・熱	スプリンクラー消火設備 ハロン消火設備 ガス消火設備 (ケーブルトレイ消火設備)	自動 自動 自動	47	【原子炉機械冷却水 (低圧注水モード)】 原子炉機械冷却水ポンプ 原子炉機械冷却水配管・弁・ストレーナ [注水先] 原子炉機械冷却水配管・弁・ストレーナ [注水先] サブプレッシャメンバ [注水先]	R-1-5	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレイ設備)			
火災区域	R/B 5-22	注薬室、主給水管室	煙・熱	ガス消火設備 (ケーブルトレイ消火設備)	自動											
火災区域	R/B 5-23	覆水ピットエリア	なし	なし	ー											

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉				女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由				
火災区域 (区画)			重大事故等対処施設の大規模対策 (早期検知・消火)			関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備	関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備	【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 プラント配置、設備及び 系統構成の相違による 火災防護対策の相違
区分	番号	名称	火災感知器	消火設備	消火方法											
火災区画	R/B 5-24	格納容器給気ファン室及び通路	煙・熱	スプリンクラー消火設備 ハロン消火設備	固定の手動 自動	47	【非常用取水設備】 貯留槽、取水口 貯留槽、取水ポンプ室		その他の設備に記載	45	【1次冷却系のフィードアンドブリード (高圧注入ポンプ)】 高圧注入ポンプ 加圧器遮断装置 燃料取替用水ピット【水側】 蓄圧タンク 蓄圧タンク出口弁 蓄圧タンク弁 余熱除去ポンプ 格納容器再循環サブスクリーン	A/B 1-03	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備		
火災区画	R/B 6-26	アニュラスエリア	煙・熱	消火器又は消火栓	手動	47	【低圧代替注水系 (可搬型) (復水移送ポンプ)】による残存熱解放心の冷却 低圧代替注水系 (可搬型) (復水移送ポンプ)		低圧代替注水系 (可搬型) による原子炉の冷却に記載	45	高圧注入系 配管・弁【流路】 非常用炉心冷却設備 配管・弁【流路】	A/B 1-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備		
火災区画	R/B7-21	原子炉補機冷却水サージタンク室	煙・熱	消火器又は消火栓	手動	47	【低圧代替注水系 (可搬型)】による残存熱解放心の冷却 低圧代替注水系 (可搬型)		低圧代替注水系 (可搬型) による原子炉の冷却に記載	45	原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁【流路】及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁、ストレーナ	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレー設備)		
火災区画	C/V 3-21	原子炉格納容器	煙・熱	消火器又は消火栓 原子炉格納容器スプレー設備	手動 固定の手動	47	【低圧代替注水系 (可搬型)】による残存熱解放心の冷却 低圧代替注水系 (可搬型)		56条に記載	45	1次冷却設備【流路】 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管) 原子炉容器【注水先】	A/B 3-01-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備		
火災区画	C/B 1-2	原子炉補機冷却水ポンプ室 (4号機)	煙・熱・炎	スプリンクラー消火設備 ハロン消火設備	固定の手動 自動	47	【代替循環冷却系による残存熱解放心の冷却】 代替循環冷却系		56条に記載	45	高圧注入系 配管・弁【流路】 非常用炉心冷却設備 配管・弁【流路】	A/B 4-01-7	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備		
火災区画	C/B 1-6	原子炉補機冷却水ポンプ室-2 (4号機)	煙・熱・炎	スプリンクラー消火設備 ハロン消火設備 ガス消火設備 (ケープルトレイ消火設備)	自動 自動 自動	47	【原子炉補機冷却水系による除熱 (水側は海を使用)】 原子炉補機冷却水系 配管・弁・サージタンク、残熱除去系兼交換器【蒸気側】 貯留槽 取水口 取水ポンプ室	E-7-14	煙感知器・炎感知器	消火器	A/B 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備			
火災区画	C/B 3-1	B安全格納閉閉器室 (4号機)	煙・熱・炎	ハロン消火設備 ガス消火設備 (ケープルトレイ消火設備)	自動 自動	45	【原子炉格納容器内圧力調整】 原子炉格納容器内圧力調整装置 原子炉格納容器内圧力調整装置			45	原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁【流路】及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁、ストレーナ	R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備		
火災区画	C/B 3-2	B蓄電池室 (4号機)	煙・熱・炎	ハロン消火設備	自動	48	【原子炉格納容器内圧力調整】 原子炉格納容器内圧力調整装置 原子炉格納容器内圧力調整装置			45	1次冷却設備【流路】 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管) 原子炉容器【注水先】	A/B 4-01-7	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備		
火災区画	C/B 3-3	A蓄電池室 (4号機)	煙・炎	ハロン消火設備	自動	48	【原子炉格納容器内圧力調整】 原子炉格納容器内圧力調整装置 原子炉格納容器内圧力調整装置			45	1次冷却設備【流路】 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管) 原子炉容器【注水先】	A/B 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備		
火災区画	C/B 4-2	B1次系蓄電池室及び通路 (4号機)	煙・熱	ハロン消火設備	自動	48	【原子炉格納容器内圧力調整】 原子炉格納容器内圧力調整装置 原子炉格納容器内圧力調整装置			45	1次冷却設備【流路】 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管) 原子炉容器【注水先】	A/B 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備		
火災区画	C/B 4-3	A1次系蓄電池室及び通路 (4号機)	煙・熱	ハロン消火設備	自動	48	【原子炉格納容器内圧力調整】 原子炉格納容器内圧力調整装置 原子炉格納容器内圧力調整装置			45	1次冷却設備【流路】 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管) 原子炉容器【注水先】	A/B 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備		
火災区画	C/B 5-4	中央制御室非常用蓄電池ユニット室 (4号機)	煙・熱	消火器又は消火栓	手動	48	【原子炉格納容器内圧力調整】 原子炉格納容器内圧力調整装置 原子炉格納容器内圧力調整装置			45	1次冷却設備【流路】 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管) 原子炉容器【注水先】	A/B 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備		
火災区画	屋外1-7	4号A-DG燃料油貯蔵タンク	熱・炎	消火器	手動	48	【原子炉格納容器内圧力調整】 原子炉格納容器内圧力調整装置 原子炉格納容器内圧力調整装置			45	1次冷却設備【流路】 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管) 原子炉容器【注水先】	A/B 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備		
火災区画	屋外1-8	4号B-DG燃料油貯蔵タンク	熱・炎	消火器	手動	48	【原子炉格納容器内圧力調整】 原子炉格納容器内圧力調整装置 原子炉格納容器内圧力調整装置			45	1次冷却設備【流路】 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管) 原子炉容器【注水先】	A/B 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備		
火災区画	屋外1-9	重油タンク 4A	熱・炎	消火器	手動	48	【原子炉格納容器内圧力調整】 原子炉格納容器内圧力調整装置 原子炉格納容器内圧力調整装置			45	1次冷却設備【流路】 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管) 原子炉容器【注水先】	A/B 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備		
火災区画	屋外1-10	重油タンク 4B	熱・炎	消火器	手動	48	【原子炉格納容器内圧力調整】 原子炉格納容器内圧力調整装置 原子炉格納容器内圧力調整装置			45	1次冷却設備【流路】 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管) 原子炉容器【注水先】	A/B 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備		
火災区画	屋外1-13	4号B空冷式非常用発電装置	熱・炎	消火器又は消火栓	手動	48	【原子炉格納容器内圧力調整】 原子炉格納容器内圧力調整装置 原子炉格納容器内圧力調整装置			45	1次冷却設備【流路】 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管) 原子炉容器【注水先】	A/B 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備		
火災区画	屋外1-14	4号B空冷式非常用発電装置	熱・炎	消火器又は消火栓	手動	48	【原子炉格納容器内圧力調整】 原子炉格納容器内圧力調整装置 原子炉格納容器内圧力調整装置			45	1次冷却設備【流路】 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管) 原子炉容器【注水先】	A/B 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備		

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>【系統機能】 主要設備</th> <th>火災区域又は火災区画番号</th> <th>感知設備</th> <th>消火設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">48</td> <td rowspan="5">【原子炉補機冷却水系 (原子炉補機冷却水系を含む。) (水源は海を使用)】 原子炉補機冷却水ポンプ 原子炉補機冷却水ポンプ 原子炉補機冷却水系 (原子炉補機冷却水系を含む。) 配管・弁・海水系ストレーナ・サージタンク【水取】 原子炉補機冷却水系 熱交換器</td> <td>R-1-8</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>R-1-20</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>T-1-1</td> <td>熱感知カメラ・炎感知器</td> <td>消火器又は移動式消火設備</td> </tr> <tr> <td>T-1-4</td> <td>熱感知カメラ・炎感知器</td> <td>消火器又は移動式消火設備</td> </tr> <tr> <td>R-1-7</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>R-11-1</td> <td>煙感知器・炎感知器</td> <td>消火器</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">49</td> <td rowspan="4">【高圧中心スプレィ補機冷却水系 (高圧中心スプレィ補機冷却水系を含む。) (水源は海を使用)】 高圧中心スプレィ補機冷却水ポンプ 高圧中心スプレィ補機冷却水ポンプ 高圧中心スプレィ補機冷却水系 (高圧中心スプレィ補機冷却水系を含む。) 配管・弁・海水系ストレーナ・サージタンク【水取】 高圧中心スプレィ補機冷却水系 熱交換器</td> <td>R-1-6</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>T-1-3</td> <td>熱感知カメラ・炎感知器</td> <td>消火器又は移動式消火設備</td> </tr> <tr> <td>R-9-1</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>消火器又は固定ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>48</td> <td>【非常用圧水設備】 貯留罐 取水口 取水筒 直立ポンプ室</td> <td></td> <td>その他の設備に記載</td> <td></td> </tr> <tr> <td>49</td> <td>【原子炉格納容器代替スプレィ冷却系 (異設) による原子炉格納容器内の冷却】 復水移送ポンプ 補給水配管・弁【直路】 高圧中心スプレィ配管・弁【直路】 燃料プール補給水系【直路】 残留熱除去系配管・弁【直路】 スプレィ管【直路】 原子炉格納容器【注水先】 海水貯蔵タンク【水源】</td> <td>R-9-8</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>49</td> <td>【原子炉格納容器代替スプレィ冷却系 (可搬型) による原子炉格納容器内の冷却】 残留熱除去系 配管・弁・スプレィ管【直路】 原子炉格納容器【注水先】 海水貯水罐 (No. 1)【水取】 海水貯水罐 (No. 2)【水取】</td> <td>R-1-3</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備	48	【原子炉補機冷却水系 (原子炉補機冷却水系を含む。) (水源は海を使用)】 原子炉補機冷却水ポンプ 原子炉補機冷却水ポンプ 原子炉補機冷却水系 (原子炉補機冷却水系を含む。) 配管・弁・海水系ストレーナ・サージタンク【水取】 原子炉補機冷却水系 熱交換器	R-1-8	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	R-1-20	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	T-1-1	熱感知カメラ・炎感知器	消火器又は移動式消火設備	T-1-4	熱感知カメラ・炎感知器	消火器又は移動式消火設備	R-1-7	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	R-11-1	煙感知器・炎感知器	消火器	49	【高圧中心スプレィ補機冷却水系 (高圧中心スプレィ補機冷却水系を含む。) (水源は海を使用)】 高圧中心スプレィ補機冷却水ポンプ 高圧中心スプレィ補機冷却水ポンプ 高圧中心スプレィ補機冷却水系 (高圧中心スプレィ補機冷却水系を含む。) 配管・弁・海水系ストレーナ・サージタンク【水取】 高圧中心スプレィ補機冷却水系 熱交換器	R-1-6	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	T-1-3	熱感知カメラ・炎感知器	消火器又は移動式消火設備	R-9-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は固定ガス消火設備				48	【非常用圧水設備】 貯留罐 取水口 取水筒 直立ポンプ室		その他の設備に記載		49	【原子炉格納容器代替スプレィ冷却系 (異設) による原子炉格納容器内の冷却】 復水移送ポンプ 補給水配管・弁【直路】 高圧中心スプレィ配管・弁【直路】 燃料プール補給水系【直路】 残留熱除去系配管・弁【直路】 スプレィ管【直路】 原子炉格納容器【注水先】 海水貯蔵タンク【水源】	R-9-8	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	49	【原子炉格納容器代替スプレィ冷却系 (可搬型) による原子炉格納容器内の冷却】 残留熱除去系 配管・弁・スプレィ管【直路】 原子炉格納容器【注水先】 海水貯水罐 (No. 1)【水取】 海水貯水罐 (No. 2)【水取】	R-1-3	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	<table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>【系統機能】 主要設備</th> <th>火災区域又は火災区画番号</th> <th>感知設備</th> <th>消火設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">45</td> <td rowspan="6">【蒸気発生器2次側からの除熱 (タービン駆動補助給水ポンプの機能回復)】 タービン駆動補助給水ポンプ 主蒸気逃がし弁 補助給水ビレット【水取】 蒸気発生器【注水先】 タービン駆動補助給水ポンプ駆動蒸気入口弁 主蒸気管【直路】 補助給水設備 配管・弁【直路】 主蒸気設備 配管・弁【直路】</td> <td>R/B 3-03-1</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>R/B 5-03</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>R/B 3-04</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>R/B 3-05</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>R/B 5-03</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>R/B 3-03-1</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td>【監視及び制御に用いる設備】 加圧器水位 蒸気発生器水位 (広域) 蒸気発生器水位 (狭域) 補助給水流量 補助給水ビレット水位</td> <td></td> <td>58条に記載</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備	45	【蒸気発生器2次側からの除熱 (タービン駆動補助給水ポンプの機能回復)】 タービン駆動補助給水ポンプ 主蒸気逃がし弁 補助給水ビレット【水取】 蒸気発生器【注水先】 タービン駆動補助給水ポンプ駆動蒸気入口弁 主蒸気管【直路】 補助給水設備 配管・弁【直路】 主蒸気設備 配管・弁【直路】	R/B 3-03-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	R/B 5-03	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	R/B 3-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	R/B 3-05	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	R/B 5-03	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	R/B 3-03-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備		【監視及び制御に用いる設備】 加圧器水位 蒸気発生器水位 (広域) 蒸気発生器水位 (狭域) 補助給水流量 補助給水ビレット水位		58条に記載		<p>【大飯】 ■ 記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■ 設計の相違 プラント配置、設備及びシステム構成の相違による火災防護対策の相違</p>
関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備																																																																																			
48	【原子炉補機冷却水系 (原子炉補機冷却水系を含む。) (水源は海を使用)】 原子炉補機冷却水ポンプ 原子炉補機冷却水ポンプ 原子炉補機冷却水系 (原子炉補機冷却水系を含む。) 配管・弁・海水系ストレーナ・サージタンク【水取】 原子炉補機冷却水系 熱交換器	R-1-8	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																																																			
		R-1-20	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																																																			
		T-1-1	熱感知カメラ・炎感知器	消火器又は移動式消火設備																																																																																			
		T-1-4	熱感知カメラ・炎感知器	消火器又は移動式消火設備																																																																																			
		R-1-7	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																																																			
R-11-1	煙感知器・炎感知器	消火器																																																																																					
49	【高圧中心スプレィ補機冷却水系 (高圧中心スプレィ補機冷却水系を含む。) (水源は海を使用)】 高圧中心スプレィ補機冷却水ポンプ 高圧中心スプレィ補機冷却水ポンプ 高圧中心スプレィ補機冷却水系 (高圧中心スプレィ補機冷却水系を含む。) 配管・弁・海水系ストレーナ・サージタンク【水取】 高圧中心スプレィ補機冷却水系 熱交換器	R-1-6	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																																																			
		T-1-3	熱感知カメラ・炎感知器	消火器又は移動式消火設備																																																																																			
		R-9-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は固定ガス消火設備																																																																																			
48	【非常用圧水設備】 貯留罐 取水口 取水筒 直立ポンプ室		その他の設備に記載																																																																																				
49	【原子炉格納容器代替スプレィ冷却系 (異設) による原子炉格納容器内の冷却】 復水移送ポンプ 補給水配管・弁【直路】 高圧中心スプレィ配管・弁【直路】 燃料プール補給水系【直路】 残留熱除去系配管・弁【直路】 スプレィ管【直路】 原子炉格納容器【注水先】 海水貯蔵タンク【水源】	R-9-8	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																																																			
49	【原子炉格納容器代替スプレィ冷却系 (可搬型) による原子炉格納容器内の冷却】 残留熱除去系 配管・弁・スプレィ管【直路】 原子炉格納容器【注水先】 海水貯水罐 (No. 1)【水取】 海水貯水罐 (No. 2)【水取】	R-1-3	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																																																			
関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備																																																																																			
45	【蒸気発生器2次側からの除熱 (タービン駆動補助給水ポンプの機能回復)】 タービン駆動補助給水ポンプ 主蒸気逃がし弁 補助給水ビレット【水取】 蒸気発生器【注水先】 タービン駆動補助給水ポンプ駆動蒸気入口弁 主蒸気管【直路】 補助給水設備 配管・弁【直路】 主蒸気設備 配管・弁【直路】	R/B 3-03-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																																																			
		R/B 5-03	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備																																																																																			
		R/B 3-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																																																			
		R/B 3-05	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																																																			
		R/B 5-03	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備																																																																																			
		R/B 3-03-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																																																			
	【監視及び制御に用いる設備】 加圧器水位 蒸気発生器水位 (広域) 蒸気発生器水位 (狭域) 補助給水流量 補助給水ビレット水位		58条に記載																																																																																				

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由		
関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備	関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備	【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 プラント配置、設備及びシステム構成の相違による 火災防護対策の相違		
40	【残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) による原子炉格納容器内の冷却】 残留熱除去系ポンプ 残留熱除去系 配管・弁・ストレーナ・スプレイ管【流路】 残留熱除去系 熱交換器 原子炉格納容器【注水先】 サブプレッシャーチェンネル【流路】	R-1-2	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	A/B 1-03	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	A/B 1-03	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 プラント配置、設備及びシステム構成の相違による 火災防護対策の相違	
		R-1-3	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備								
		R-7-14	煙感知器・炎感知器	消火器								
		R-7-52	煙感知器・炎感知器	消火器								
	【残留熱除去系 (サブプレッシャーチェンネル冷却モード) によるサブプレッシャーチェンネル内の冷却】 残留熱除去系ポンプ 残留熱除去系 配管・弁・ストレーナ【流路】 残留熱除去系 熱交換器 原子炉格納容器【注水先】 サブプレッシャーチェンネル【流路】	R-1-2	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	A/B 1-04	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	A/B 1-04	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備		
R-1-3	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	A/B 1-04	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備							
R-7-14	煙感知器・炎感知器	消火器	A/B 1-04	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備							
R-7-52	煙感知器・炎感知器	消火器	A/B 1-04	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備							
40	【原子炉機械代替冷却水による除熱 (水筒は海を使用)】 原子炉機械冷却水 配管・弁・サージタンク、残留熱除去系熱交換器【流路】 貯留罐 取水口 取水器 海水ポンプ室		48条に記載		C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレイ設備)	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレイ設備)	■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 プラント配置、設備及びシステム構成の相違による 火災防護対策の相違	
49	【原子炉機械冷却水 (原子炉機械冷却海水を含む。) (水筒は海を使用)】 原子炉機械冷却水ポンプ 原子炉機械冷却海水【注水先】 原子炉機械冷却水 (原子炉機械冷却海水を含む。) 配管・弁・海水ストレーナ・サージタンク【流路】 原子炉機械冷却水 熱交換器		48条に記載	46	【1次冷却系のフィードアンドブリード (高圧注入ポンプ)】 高圧注入ポンプ 加圧器及び弁 燃料容器静水ヘッド【水源】 蓄圧タンク 蓄圧タンク出口弁 余熱除去ポンプ 余熱除去冷却器 格納容器再循環ポンプ 格納容器再循環ポンプスクリーン はう酸注入タンク【流路】 非常用炉心冷却設備 配管・弁【流路】	A/B 3-01-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	A/B 3-01-1	煙感知器・熱感知器		全域ガス消火設備
49	【非常用取水設備】 貯留罐、取水口 取水器、海水ポンプ室		その他の設備に記載		原子炉機械冷却設備 【原子炉機械冷却水ポンプ、原子炉機械冷却海水ポンプ、原子炉機械冷却海水サージタンク、原子炉機械冷却水冷却器並びに原子炉機械冷却水設備 配管・弁【流路】及び原子炉機械冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ【流路】】 1次冷却設備【流路】 【蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器ケーシング】 原子炉容器【注水先】	A/B 4-01-7	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	A/B 4-01-7	煙感知器・熱感知器		全域ガス消火設備
					R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備		
					A/B 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全域ガス消火設備	A/B 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全域ガス消火設備		

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由		
関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備	関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備	【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 プラント配置、設備及び 系統構成の相違による 火災防護対策の相違		
50	【代替設備の取組による原子炉格納容器内の減圧及び除熱】 代替循環冷却ポンプ 残留熱除去系 熱交換器 原子炉補機冷却水系 (原子炉補機冷却水系を含む。)・残留熱除去系 配管・弁・サージタンク・ストレーナー・スプレイヤ管【流路】 補給水系配管・弁【流路】 原子炉圧力容器【注水先】 原子炉格納容器【注水先】 ナブレンツェンフェンネル【冷却】 原子炉補機冷却水ポンプ 原子炉補機冷却水ポンプ 原子炉補機冷却水熱交換器 貯留罐 取水口 取水路 海水ポンプ室	R-1-21	煙感知器・熱感知器	消火器	46	【蒸気発生器2次側からの除熱】 電動補助給水ポンプ タービン動補助給水ポンプ 補助給水ピット【注水】 主蒸気過かし弁 蒸気発生器【注水先】 主蒸気管【流路】 補助給水設備 配管・弁【流路】 主蒸気設備 配管・弁【流路】	R/B 3-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 プラント配置、設備及び 系統構成の相違による 火災防護対策の相違		
		R-1-7	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備								
		R-1-39	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備								
		Y-1-1	熱感知カメラ・炎感知器	消火器又は移動式消火設備								
50	【原子炉格納容器フィルタベント系による原子炉格納容器内の減圧及び除熱】 フィルタ装置 フィルタ装置出口側主方側放散 原子炉格納容器フィルタベント系・原子炉格納容器調気配管・弁【流路】 遮断手動弁操作設備 原子炉格納容器 (真空破壊装置を含む。)排出元 淡水貯水槽 (No.1)【水溜】 淡水貯水槽 (No.2)【水溜】	R-7-40	煙感知器・炎感知器	消火器	R/B 3-03	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備					
		51	【原子炉格納容器下部注水系 (常設) (復水移送ポンプ) による原子炉格納容器下部への注水】 復水移送ポンプ 補給水系・高圧伊心スプレイヤ系・燃料プール補給水系 配管・弁【流路】 原子炉格納容器【注水先】 復水貯蔵タンク【水源】	R-9-8	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	R/B 3-03-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備			
R/B 3-03	煙感知器・熱感知器			全城ガス消火設備	R/B 3-03	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備					
						【蒸気発生器2次側からの除熱】 タービン動補助給水ポンプの機能回復】 タービン動補助給水ポンプ タービン動補助給水ポンプ駆動蒸気入に弁 補助給水ピット【注水】 蒸気発生器【注水先】 主蒸気過かし弁 主蒸気管【流路】 補助給水設備 配管・弁【流路】 主蒸気設備 配管・弁【流路】	R/B 3-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	R/B 3-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備
							R/B 3-03	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	R/B 3-03	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>【系統機能】 主要設備</th> <th>火災区域又は火災区画番号</th> <th>感知設備</th> <th>消火設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">E1</td> <td>【原子炉格納容器下部注水系 (常設) (化管循環冷却ポンプ) による原子炉格納容器下部への注水】 伝管循環冷却ポンプ 残存熱除去系熱交換器・配管・弁・ストレーナ【流路】</td> <td>R-1-21</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>消火器</td> </tr> <tr> <td>補助水系配管・弁【流路】 原子炉格納容器【注水先】 サブプレッションタンク【水源】</td> <td>R-1-7</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td>R-1-39</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>E1</td> <td>【原子炉格納容器下部注水系 (可搬型) による原子炉格納容器下部への注水】 補助水系 配管・弁【流路】 原子炉格納容器【注水先】 淡水貯水槽 (No.1)【水源】 淡水貯水槽 (No.2)【水源】</td> <td>R-1-80</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>消火器</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備	E1	【原子炉格納容器下部注水系 (常設) (化管循環冷却ポンプ) による原子炉格納容器下部への注水】 伝管循環冷却ポンプ 残存熱除去系熱交換器・配管・弁・ストレーナ【流路】	R-1-21	煙感知器・熱感知器	消火器	補助水系配管・弁【流路】 原子炉格納容器【注水先】 サブプレッションタンク【水源】	R-1-7	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備		R-1-39	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	E1	【原子炉格納容器下部注水系 (可搬型) による原子炉格納容器下部への注水】 補助水系 配管・弁【流路】 原子炉格納容器【注水先】 淡水貯水槽 (No.1)【水源】 淡水貯水槽 (No.2)【水源】	R-1-80	煙感知器・熱感知器	消火器	<table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>【系統機能】 主要設備</th> <th>火災区域又は火災区画番号</th> <th>感知設備</th> <th>消火設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">46</td> <td>【蒸気発生器2次側からの除熱 (電動補助給水ポンプの機能回復)】 電動補助給水ポンプ 補助給水セット【水路】 蒸気発生器【注水先】 主蒸気逃がし弁 主蒸気管【流路】 補助給水設備 配管・弁【流路】 主蒸気設備 配管・弁【流路】</td> <td>R/E 3-04</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td>R/E 3-05</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td>R/E 5-03</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td>R/E 3-03-1</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td>R/E 4-02-1</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>【加圧器逃がし弁の機能回復】 加圧器逃がし弁空気供給配管・弁【流路】 加圧器逃がし弁 加圧器逃がし弁稼働作用可搬型窒素ガスボンベ ホース・弁【流路】 加圧器逃がし弁稼働用バッテリー</td> <td>A/E 3-08</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td>A/E 3-09</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>【加圧器逃がし弁による1次冷却系統の減圧】 加圧器逃がし弁</td> <td>C/V 3-01</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>消火器又は消火栓 クォークミスト (C/Vスプレー設備)</td> </tr> <tr> <td>【1次冷却系統の減圧 (SG伝熱管破損発生時、I S-L O C A発生時)】 主蒸気逃がし弁 加圧器逃がし弁</td> <td>R/E 5-03</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C/V 3-01</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>消火器又は消火栓 クォークミスト (C/Vスプレー設備)</td> </tr> <tr> <td>【余熱除去系統の隔離 (I S-L O C A発生時)】 余熱除去ポンプ入口弁口</td> <td>A/E 2-02</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備	46	【蒸気発生器2次側からの除熱 (電動補助給水ポンプの機能回復)】 電動補助給水ポンプ 補助給水セット【水路】 蒸気発生器【注水先】 主蒸気逃がし弁 主蒸気管【流路】 補助給水設備 配管・弁【流路】 主蒸気設備 配管・弁【流路】	R/E 3-04	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備		R/E 3-05	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備		R/E 5-03	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全域ガス消火設備		R/E 3-03-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備		R/E 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	【加圧器逃がし弁の機能回復】 加圧器逃がし弁空気供給配管・弁【流路】 加圧器逃がし弁 加圧器逃がし弁稼働作用可搬型窒素ガスボンベ ホース・弁【流路】 加圧器逃がし弁稼働用バッテリー	A/E 3-08	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備		A/E 3-09	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	【加圧器逃がし弁による1次冷却系統の減圧】 加圧器逃がし弁	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 クォークミスト (C/Vスプレー設備)	【1次冷却系統の減圧 (SG伝熱管破損発生時、I S-L O C A発生時)】 主蒸気逃がし弁 加圧器逃がし弁	R/E 5-03	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全域ガス消火設備		C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 クォークミスト (C/Vスプレー設備)	【余熱除去系統の隔離 (I S-L O C A発生時)】 余熱除去ポンプ入口弁口	A/E 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全域ガス消火設備	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 (女川実績の反映) <p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■設計の相違 <p>プラント配置、設備及び系統構成の相違による火災防護対策の相違</p>
関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備																																																																								
E1	【原子炉格納容器下部注水系 (常設) (化管循環冷却ポンプ) による原子炉格納容器下部への注水】 伝管循環冷却ポンプ 残存熱除去系熱交換器・配管・弁・ストレーナ【流路】	R-1-21	煙感知器・熱感知器	消火器																																																																								
	補助水系配管・弁【流路】 原子炉格納容器【注水先】 サブプレッションタンク【水源】	R-1-7	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																																																								
		R-1-39	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																																																								
E1	【原子炉格納容器下部注水系 (可搬型) による原子炉格納容器下部への注水】 補助水系 配管・弁【流路】 原子炉格納容器【注水先】 淡水貯水槽 (No.1)【水源】 淡水貯水槽 (No.2)【水源】	R-1-80	煙感知器・熱感知器	消火器																																																																								
関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備																																																																								
46	【蒸気発生器2次側からの除熱 (電動補助給水ポンプの機能回復)】 電動補助給水ポンプ 補助給水セット【水路】 蒸気発生器【注水先】 主蒸気逃がし弁 主蒸気管【流路】 補助給水設備 配管・弁【流路】 主蒸気設備 配管・弁【流路】	R/E 3-04	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																																																								
		R/E 3-05	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																																																								
		R/E 5-03	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全域ガス消火設備																																																																								
		R/E 3-03-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																																																								
		R/E 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																																																								
	【加圧器逃がし弁の機能回復】 加圧器逃がし弁空気供給配管・弁【流路】 加圧器逃がし弁 加圧器逃がし弁稼働作用可搬型窒素ガスボンベ ホース・弁【流路】 加圧器逃がし弁稼働用バッテリー	A/E 3-08	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																																																								
		A/E 3-09	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																																																								
	【加圧器逃がし弁による1次冷却系統の減圧】 加圧器逃がし弁	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 クォークミスト (C/Vスプレー設備)																																																																								
	【1次冷却系統の減圧 (SG伝熱管破損発生時、I S-L O C A発生時)】 主蒸気逃がし弁 加圧器逃がし弁	R/E 5-03	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全域ガス消火設備																																																																								
		C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 クォークミスト (C/Vスプレー設備)																																																																								
【余熱除去系統の隔離 (I S-L O C A発生時)】 余熱除去ポンプ入口弁口	A/E 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全域ガス消火設備																																																																									

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由									
関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備	関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備	【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 プラント配置、設備及び系統構成の相違による火災防護対策の相違									
51	【原子炉格納容器代替スプレィ冷却系(常設)による原子炉格納容器下部への注水】 復水移送ポンプ 補給水系配管・弁[流路] 高圧中心スプレィ系配管・弁[流路] 燃料サーモ補給弁弁[流路] 残留熱除去系配管・弁[流路] スプレィ管[流路] 原子炉格納容器[注水先] 復水貯水タンク[水源]	49条、56条、その他の設備に記載			A/B 3-03	【炉心注水(充てんポンプ)】 (1次冷却材喪失事故が発生している場合、プロントライン系機能喪失時) 充てんポンプ 燃料取替用水ビット[水源] 再生熱交換器[流路] 非常用炉心冷却設備 配管・弁[流路] 化学体積制御設備 配管・弁[流路] 原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水タンク、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁[流路]及び原子炉補機冷却水設備 配管・弁・ストレートナ[流路]) 1次冷却設備[流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管) 原子炉容器[注水先]	A/B 3-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	全城ガス消火設備	■設計の相違 プラント配置、設備及び系統構成の相違による火災防護対策の相違								
	【原子炉格納容器代替スプレィ冷却系(可搬型)による原子炉格納容器下部への注水】 残留熱除去系配管・弁[流路] スプレィ管[流路] 原子炉格納容器[注水先] 淡水貯水槽(No.1)[水源] 淡水貯水槽(No.2)[水源]											49条、56条、その他の設備に記載	A/B 3-05	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備				
	【代替循環冷却系による原子炉格納容器下部への注水】 代替循環冷却ポンプ 残留熱除去系熱交換器 残留熱除去系配管・弁・ストレートナ[流路] スプレィ管[流路] 原子炉格納容器[注水先] サブプレッシャコンチェンタ[水源] 原子炉補機冷却水系配管・弁・サージタンク[流路] 原子炉補機冷却水ポンプ 原子炉補機冷却水タンク 原子炉補機冷却水系(原子炉補機冷却水系を含む。)配管・弁・毒水系ストレートナ・サージタンク[流路] 原子炉補機冷却水系熱交換器 貯留庫 取水口 取水路 毒水ポンプ室															48条、50条、56条、その他の設備に記載	A/B 3-01-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備
	【溶解炉心の蒸下運送・防止】 高圧代替注水系 炉心冷却材入浴 低圧代替注水系(管径)(復水移送ポンプ) 代替循環冷却系																		
	A/B 4-01-7	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																
				C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレィ設備)													

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備	関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備	【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 プラント配置、設備及び系統構成の相違による火災防護対策の相違
	52 【原子炉格納容器内不活性化による原子炉格納容器水素燃焼防止】 (原子炉格納容器調気系)	R-1-1	煙感知器・熱感知器	消火器		【代替炉心注水 (B-格納容器スプレイポンプ) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、プロントライン系機能喪失時)】 B-格納容器スプレイポンプ 燃料取扱用水ビット【水源】 B-格納容器スプレイ冷却器【流路】 非常用炉心冷却設備 配管・弁【流路】	A/B 1-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
	52 【可搬型窒素ガス供給装置による原子炉格納容器内の不活性化】 原子炉格納容器調気系 配管・弁【流路】 原子炉格納容器【注入先】	R-1-00	煙感知器・熱感知器	消火器		B-格納容器スプレイポンプ 燃料取扱用水ビット【水源】 B-格納容器スプレイ冷却器【流路】 非常用炉心冷却設備 配管・弁【流路】 原子炉格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁【流路】	A/B 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	
	52 【原子炉格納容器フィルタベント系による原子炉格納容器内の火災および燃焼の防止】 フィルタ装置 フィルタ装置出口側圧力開放装置 フィルタ装置出口水素濃度 フィルタ装置出口放射線モニタ 原子炉格納容器フィルタベント系、原子炉格納容器調気系配管・弁【流路】 遠隔手動弁操作設備 原子炉格納容器 (真空破壊装置を含む。)【吐出元】 汲水貯水槽 (No.1)【水源】 汲水貯水槽 (No.2)【水源】	50条、59条に記載				原子炉格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁【流路】 原子炉格納容器冷却設備 (原子炉格納容器冷却ポンプ、原子炉格納容器冷却水サージタンク、原子炉格納容器冷却水冷却器並びに原子炉格納容器冷却水設備 配管・弁【流路】及び原子炉格納容器冷却水設備 配管・弁・ストレーナ【流路】)	A/B 3-01-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
	52 【原子炉格納容器内の水素濃度及び燃焼監視機能】 格納容器内水素濃度 (B/V) 格納容器内水素濃度 (S/O) 格納容器内窒素濃度 格納容器内窒素濃度監視装置	R-1-00	煙感知器・熱感知器	消火器		原子炉格納容器冷却設備 (原子炉格納容器冷却ポンプ、原子炉格納容器冷却水サージタンク、原子炉格納容器冷却水冷却器並びに原子炉格納容器冷却水設備 配管・弁【流路】及び原子炉格納容器冷却水設備 配管・弁・ストレーナ【流路】)	R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
	52 【原子炉格納容器内の水素濃度及び燃焼監視機能】 格納容器内水素濃度 (B/V) 格納容器内水素濃度 (S/O) 格納容器内窒素濃度 格納容器内窒素濃度監視装置	R-1-1	煙感知器・熱感知器	消火器		1次冷却設備【流路】 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管) 原子炉格納容器【注水先】	A/B 4-01-7	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
	52 【原子炉格納容器内の水素濃度及び燃焼監視機能】 格納容器内水素濃度 (B/V) 格納容器内水素濃度 (S/O) 格納容器内窒素濃度 格納容器内窒素濃度監視装置	R-3-14	煙感知器・熱感知器	消火器		C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォータミスト (C/Vスプレイ設備)		
	53 【静電触媒式水素再結合装置による水素濃度抑制】 静電触媒式水素再結合装置 静電触媒式水素再結合装置動作監視装置 原子炉格納容器冷却器【流路】	R-5-1C	煙感知器・熱感知器	消火器		R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備		
	53 【原子炉格納容器内の水素濃度監視】 原子炉格納容器内水素濃度	R-11-1	煙感知器・炎感知器	消火器		R/B 3-08-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備		
	54 【燃料プール代替注水系 (事故配管) による使用済燃料プールへの注水】 燃料プール冷却停止監視装置・弁【突端】 使用済燃料プール (サイフォン防止機能含む。)【注水先】 汲水貯水槽 (No.1)【水源】 汲水貯水槽 (No.2)【水源】	R-7-12	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備		R/B 3-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備		
	54 【燃料プール代替注水系 (可搬型) による使用済燃料プールへの注水】 燃料プール冷却停止監視装置・弁【突端】 使用済燃料プール (サイフォン防止機能含む。)【注水先】 汲水貯水槽 (No.1)【水源】 汲水貯水槽 (No.2)【水源】	R-11-1	煙感知器・炎感知器	消火器		R/B 3-05	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備		
	54 【燃料プール代替注水系 (可搬型) による使用済燃料プールへの注水】 燃料プール冷却停止監視装置・弁【突端】 使用済燃料プール (サイフォン防止機能含む。)【注水先】 汲水貯水槽 (No.1)【水源】 汲水貯水槽 (No.2)【水源】	不燃材のため追加対策不要				非常用炉心冷却設備 配管・弁【流路】 補助給水設備 配管・弁【流路】	R/B 5-03	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	
	54 【燃料プール代替注水系 (可搬型) による使用済燃料プールへの注水】 燃料プール冷却停止監視装置・弁【突端】 使用済燃料プール (サイフォン防止機能含む。)【注水先】 汲水貯水槽 (No.1)【水源】 汲水貯水槽 (No.2)【水源】	不燃材のため追加対策不要				原子炉格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁【流路】 1次冷却設備【流路】 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管) 原子炉格納容器【注水先】	A/B 3-01-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
	54 【燃料プール代替注水系 (可搬型) による使用済燃料プールへの注水】 燃料プール冷却停止監視装置・弁【突端】 使用済燃料プール (サイフォン防止機能含む。)【注水先】 汲水貯水槽 (No.1)【水源】 汲水貯水槽 (No.2)【水源】	不燃材のため追加対策不要				R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備		
	54 【燃料プール代替注水系 (可搬型) による使用済燃料プールへの注水】 燃料プール冷却停止監視装置・弁【突端】 使用済燃料プール (サイフォン防止機能含む。)【注水先】 汲水貯水槽 (No.1)【水源】 汲水貯水槽 (No.2)【水源】	不燃材のため追加対策不要				A/B 4-01-7	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備		
	54 【燃料プール代替注水系 (可搬型) による使用済燃料プールへの注水】 燃料プール冷却停止監視装置・弁【突端】 使用済燃料プール (サイフォン防止機能含む。)【注水先】 汲水貯水槽 (No.1)【水源】 汲水貯水槽 (No.2)【水源】	不燃材のため追加対策不要				C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォータミスト (C/Vスプレイ設備)		

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>【系統機能】 主要設備</th> <th>火災区域又は火災区画番号</th> <th>感知設備</th> <th>消火設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>54</td> <td>【燃料プールのスプレイ系 (背散配管) による使用済燃料プールへのスプレイ】 使用済燃料プール[注水先] 燃料プール冷却浄化系配管・弁[流路] 汲水貯水槽 (No.1) [水源] 汲水貯水槽 (No.2) [水源]</td> <td>R-11-1</td> <td>煙感知器・炎感知器</td> <td>消火器</td> </tr> <tr> <td>54</td> <td>【燃料プールのスプレイ系 (可搬型) による使用済燃料プールへのスプレイ】 使用済燃料プール[注水先] 汲水貯水槽 (No.1) [水源] 汲水貯水槽 (No.2) [水源]</td> <td></td> <td colspan="2">不燃材のため追加対策不要</td> </tr> <tr> <td>54</td> <td>【使用済燃料プールの監視】 使用済燃料プール水位 (ヒートサーモ式) 使用済燃料プール温度 (ガイドバルブ式) 使用済燃料プール温度 (ヒートサーモ式) 使用済燃料プール温度 (ガイドバルブ式) 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量・低線量)</td> <td></td> <td colspan="2">58条に記載</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">54</td> <td rowspan="2">【重大事故等時に於ける使用済燃料プールの除熱】 燃料プールの冷却浄化系ポンプ 燃料プールの冷却浄化系 熱交換器 燃料プールの冷却浄化系 配管・弁・ディフューザ・スキマサージスタック・熱交換器 [流路]</td> <td>R-7-3</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>R-7-4</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>54</td> <td>原子炉補機冷却水配管・弁・サージスタック[流路] 使用済燃料プール[水質] 使用済燃料プール[圧入先] 貯留罐 取水口 取水路 海水ポンプ室</td> <td>R-11-1</td> <td>煙感知器・炎感知器</td> <td>消火器</td> </tr> <tr> <td>55</td> <td>【大気への放射性物質の拡散抑制 (水源は海を使用)】 貯留罐 取水口 取水路 海水ポンプ室</td> <td></td> <td colspan="2">その他の設備に記載</td> </tr> <tr> <td>56</td> <td>【独立機燃料水筒への泡消火 (水源は海を使用)】 貯留罐 取水口 取水路 海水ポンプ室</td> <td></td> <td colspan="2">その他の設備に記載</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備	54	【燃料プールのスプレイ系 (背散配管) による使用済燃料プールへのスプレイ】 使用済燃料プール[注水先] 燃料プール冷却浄化系配管・弁[流路] 汲水貯水槽 (No.1) [水源] 汲水貯水槽 (No.2) [水源]	R-11-1	煙感知器・炎感知器	消火器	54	【燃料プールのスプレイ系 (可搬型) による使用済燃料プールへのスプレイ】 使用済燃料プール[注水先] 汲水貯水槽 (No.1) [水源] 汲水貯水槽 (No.2) [水源]		不燃材のため追加対策不要		54	【使用済燃料プールの監視】 使用済燃料プール水位 (ヒートサーモ式) 使用済燃料プール温度 (ガイドバルブ式) 使用済燃料プール温度 (ヒートサーモ式) 使用済燃料プール温度 (ガイドバルブ式) 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量・低線量)		58条に記載		54	【重大事故等時に於ける使用済燃料プールの除熱】 燃料プールの冷却浄化系ポンプ 燃料プールの冷却浄化系 熱交換器 燃料プールの冷却浄化系 配管・弁・ディフューザ・スキマサージスタック・熱交換器 [流路]	R-7-3	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	R-7-4	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	54	原子炉補機冷却水配管・弁・サージスタック[流路] 使用済燃料プール[水質] 使用済燃料プール[圧入先] 貯留罐 取水口 取水路 海水ポンプ室	R-11-1	煙感知器・炎感知器	消火器	55	【大気への放射性物質の拡散抑制 (水源は海を使用)】 貯留罐 取水口 取水路 海水ポンプ室		その他の設備に記載		56	【独立機燃料水筒への泡消火 (水源は海を使用)】 貯留罐 取水口 取水路 海水ポンプ室		その他の設備に記載		<table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>【系統機能】 主要設備</th> <th>火災区域又は火災区画番号</th> <th>感知設備</th> <th>消火設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">47</td> <td rowspan="7">【代替炉心注水 (可搬型大型遠水ポンプ車) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、フロントライン系機能喪失時)】 補助給水設備又は燃料取替用水設備 配管・弁 [流路] 原子炉格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁 [流路] 1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)</td> <td>A/B 1-03</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>A/B 1-04</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>R/B 2-03</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>R/B 3-04</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>R/B 3-05</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>R/B 3-03-1</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>R/B 5-03</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>A/B 3-01-1</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>C/V 3-01</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>消火器又は消火柱 ウォータミスト (C/Vスプレイ設備)</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備	47	【代替炉心注水 (可搬型大型遠水ポンプ車) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、フロントライン系機能喪失時)】 補助給水設備又は燃料取替用水設備 配管・弁 [流路] 原子炉格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁 [流路] 1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	A/B 1-03	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	A/B 1-04	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	R/B 2-03	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	R/B 3-04	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	R/B 3-05	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	R/B 3-03-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	R/B 5-03	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全域ガス消火設備	A/B 3-01-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火柱 ウォータミスト (C/Vスプレイ設備)	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 (女川実績の反映) ■設計の相違 プラント配置、設備及び系統構成の相違による火災防護対策の相違
関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備																																																																												
54	【燃料プールのスプレイ系 (背散配管) による使用済燃料プールへのスプレイ】 使用済燃料プール[注水先] 燃料プール冷却浄化系配管・弁[流路] 汲水貯水槽 (No.1) [水源] 汲水貯水槽 (No.2) [水源]	R-11-1	煙感知器・炎感知器	消火器																																																																												
54	【燃料プールのスプレイ系 (可搬型) による使用済燃料プールへのスプレイ】 使用済燃料プール[注水先] 汲水貯水槽 (No.1) [水源] 汲水貯水槽 (No.2) [水源]		不燃材のため追加対策不要																																																																													
54	【使用済燃料プールの監視】 使用済燃料プール水位 (ヒートサーモ式) 使用済燃料プール温度 (ガイドバルブ式) 使用済燃料プール温度 (ヒートサーモ式) 使用済燃料プール温度 (ガイドバルブ式) 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量・低線量)		58条に記載																																																																													
54	【重大事故等時に於ける使用済燃料プールの除熱】 燃料プールの冷却浄化系ポンプ 燃料プールの冷却浄化系 熱交換器 燃料プールの冷却浄化系 配管・弁・ディフューザ・スキマサージスタック・熱交換器 [流路]	R-7-3	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																																																												
		R-7-4	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																																																												
54	原子炉補機冷却水配管・弁・サージスタック[流路] 使用済燃料プール[水質] 使用済燃料プール[圧入先] 貯留罐 取水口 取水路 海水ポンプ室	R-11-1	煙感知器・炎感知器	消火器																																																																												
55	【大気への放射性物質の拡散抑制 (水源は海を使用)】 貯留罐 取水口 取水路 海水ポンプ室		その他の設備に記載																																																																													
56	【独立機燃料水筒への泡消火 (水源は海を使用)】 貯留罐 取水口 取水路 海水ポンプ室		その他の設備に記載																																																																													
関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備																																																																												
47	【代替炉心注水 (可搬型大型遠水ポンプ車) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、フロントライン系機能喪失時)】 補助給水設備又は燃料取替用水設備 配管・弁 [流路] 原子炉格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁 [流路] 1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	A/B 1-03	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																																																												
		A/B 1-04	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																																																												
		R/B 2-03	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																																																												
		R/B 3-04	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																																																												
		R/B 3-05	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																																																												
		R/B 3-03-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																																																												
		R/B 5-03	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全域ガス消火設備																																																																												
A/B 3-01-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																																																														
C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火柱 ウォータミスト (C/Vスプレイ設備)																																																																														

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉			泊発電所3号炉				相違理由	
関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備	関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備	【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 プラント配置、設備及びシステム構成の相違による 火災防護対策の相違
56	【重大事故等収束のための水調 (水原としては海も使用可能)】 復水貯蔵タンク サプレッションチェンバ 淡水貯水槽 (No.1) 淡水貯水槽 (No.2) ほう酸水注入系貯蔵タンク		不燃材のため追加対策不要							
56	【水の供給 (復水貯蔵タンクへの供給)】 補給水系 配管・弁〔流路〕 貯留罐 取水口 取水路 海水ポンプ室	Y-7-7	煙感知器・熱感知器	消火器						
57	【常設代替交流電源設備による給電】 ガスタービン発電機 ガスタービン発電機駆動油タンク 軽油タンク ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ ガスタービン発電機燃料移送系 配管・弁〔燃料流路〕 非常用ディーゼル発電機燃料移送系配管・弁〔燃料流路〕 高圧炉心スプレイスタージェール発電機燃料移送系配管・弁〔燃料流路〕 ガスタービン発電機～非常用高圧母線 2C系及び非常用高圧母線 2D系電路〔電路〕 ガスタービン発電機～緊急用低圧母線 2G系電路〔電路〕	E-1-1	炎感知器・熱感知器	全域ガス消火設備		【代替再給電運転 (B-格納容器スプレイポンプ) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、フロートライン系機能喪失時)】 B-格納容器スプレイポンプ B-格納容器再循環タンク〔水源〕 B-格納容器再循環タンクスケーション〔流路〕 B-格納容器スプレイ冷却器〔流路〕 B-安全注入ポンプ再循環タンク側入口C/V外側隔離弁〔流路〕	A/B 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全域ガス消火設備	
		E-2-1	炎感知器・熱感知器	消火器又は移動式消火設備			R/B 2-03	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	
57	【可搬型代替交流電源設備による給電】 軽油タンク ガスタービン発電機駆動油タンク 非常用ディーゼル発電機燃料移送系配管・弁〔燃料流路〕 高圧炉心スプレイスタージェール発電機燃料移送系配管・弁〔燃料流路〕 ガスタービン発電機燃料移送系配管・弁〔燃料流路〕 電線車接続口 (原子炉建屋)～非常用高圧母線 2C系及び非常用高圧母線 2D系電路〔電路〕 電線車接続口 (原子炉建屋)～緊急用低圧母線 2G系電路〔電路〕	Y-7-3	煙感知器・熱感知器	消火器又は移動式消火設備		原子炉格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁〔流路〕 原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁〔流路〕及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ〔流路〕) 1次冷却設備〔流路〕 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管) 原子炉容器〔注水先〕	R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	
		Y-7-6	煙感知器・熱感知器	消火器又は移動式消火設備						
		Y-9-1	煙感知器・熱感知器	消火器又は移動式消火設備						
		Y-9-2	煙感知器・熱感知器	消火器又は移動式消火設備						
		Y-9-3	煙感知器・熱感知器	消火器又は移動式消火設備			C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレイ設備)	

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉				相違理由
関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備		相違理由
	【所内常設蓄電池充充電源設備による給電】 125V 蓄電池 2A 125V 蓄電池 2B 125V 充電器 2A 125V 充電器 2B 125V 蓄電池 2A 及び 125V 充電器 2A～125V 直流主母線盤 2A 及び 125V 直流主母線盤 2A-1 電路【電路】 125V 蓄電池 2B 及び 125V 充電器 2B～125V 直流主母線盤 2B 及び 125V 直流主母線盤 2B-1 電路【電路】	C-2-6	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)	
	125V 蓄電池 2A 及び 125V 充電器 2A～125V 直流主母線盤 2A 及び 125V 直流主母線盤 2A-1 電路【電路】 125V 蓄電池 2B 及び 125V 充電器 2B～125V 直流主母線盤 2B 及び 125V 直流主母線盤 2B-1 電路【電路】	C-2-7	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	【女川】 ■設計の相違 プラント配置、設備及びシステム構成の相違による 火災防護対策の相違	
	【省設代替蓄電池電源設備による給電】 125V 代替蓄電池 250V 蓄電池	C-3-40	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備		
	125V 代替蓄電池～125V 高圧主母線盤 2A-1 及び 125V 直流主母線盤 2B-1 電路【電路】 250V 蓄電池～250V 直流主母線盤電路【電路】	C-2-5	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備		
	【可搬型代替蓄電池電源設備による給電】 125V 代替蓄電池 125V 充電器 250V 蓄電池 125V 充電器 軽油タンク	C-1-4	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備		
	ガスタービン発電機備置油タンク 非常用ディーゼル発電機燃料移送系配管・弁【燃料流路】	C-2-2	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備		
	高圧炉心スプレッド系ディーゼル発電機燃料移送系配管・弁【燃料流路】	C-3-40	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備		
	ガスタービン発電機燃料移送系配管・弁【燃料流路】	C-3-46	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備		
	125V 代替蓄電池及び 125V 代替充電器～125V 直流主母線盤 2A-1 及び 125V 直流主母線盤 2B-1 電路【電路】	Y-7-3	煙感知器・熱感知器	消火器又は移動式消火設備		
	250V 蓄電池及び 250V 充電器～250V 直流主母線盤【電路】	Y-7-6	煙感知器・熱感知器	消火器又は移動式消火設備		
	電源直接経口 (原子炉建屋) ～125V 直流主母線盤 2A-1 及び 125V 直流主母線盤 2B-1 電路【電路】					
	電源直接経口 (原子炉建屋) ～250V 直流主母線盤電路【電路】					
	【炉心注水 (源注注入ポンプ) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、フロントライン系機能喪失時)】 高圧注入ポンプ 燃料取扱用ホット【水筒】 ほうろ敷注入タンク【流路】 非常用炉心冷却設備 配管・弁【流路】 高圧注入系 配管・弁【流路】 原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁【流路】及び原子炉補機冷却水設備 配管・弁、ストレーナ【流路】)	A/B 1-03	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)	
	【炉心注水 (充てんポンプ) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、フロントライン系機能喪失時)】 充てんポンプ 燃料取扱用ホット【水筒】 再生熱交換器【流路】 非常用炉心冷却設備 配管・弁【流路】 化学体積制御設備 配管・弁【流路】 原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁【流路】及び原子炉補機冷却水設備 配管・弁、ストレーナ【流路】)	A/B 1-04	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	【女川】 ■設計の相違 プラント配置、設備及びシステム構成の相違による 火災防護対策の相違	
	1次冷却設備【流路】 (高気圧容器、1次冷却材ポンプ、加圧管、1次冷却材管、加圧器サージ管) 原子炉容器【注水先】	A/B 3-01-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備		
	原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁【流路】及び原子炉補機冷却水設備 配管・弁、ストレーナ【流路】)	R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備		
	1次冷却設備【流路】 (高気圧容器、1次冷却材ポンプ、加圧管、1次冷却材管、加圧器サージ管) 原子炉容器【注水先】	A/B 4-01-7	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備		
	【炉心注水 (充てんポンプ) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、フロントライン系機能喪失時)】 充てんポンプ 燃料取扱用ホット【水筒】 再生熱交換器【流路】 非常用炉心冷却設備 配管・弁【流路】 化学体積制御設備 配管・弁【流路】 原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁【流路】及び原子炉補機冷却水設備 配管・弁、ストレーナ【流路】)	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・熱感知器	消火器又は消火ドラッグミスト (C/Vスプレイ設備)		
	原子炉容器【注水先】	A/B 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備		
	【炉心注水 (充てんポンプ) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、フロントライン系機能喪失時)】 充てんポンプ 燃料取扱用ホット【水筒】 再生熱交換器【流路】 非常用炉心冷却設備 配管・弁【流路】 化学体積制御設備 配管・弁【流路】 原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁【流路】及び原子炉補機冷却水設備 配管・弁、ストレーナ【流路】)	A/B 3-03	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備		
	原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁【流路】及び原子炉補機冷却水設備 配管・弁、ストレーナ【流路】)	A/B 3-04	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備		
	1次冷却設備【流路】 (高気圧容器、1次冷却材ポンプ、加圧管、1次冷却材管、加圧器サージ管) 原子炉容器【注水先】	A/B 3-05	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備		
	原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁【流路】及び原子炉補機冷却水設備 配管・弁、ストレーナ【流路】)	A/B 3-01-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備		
	1次冷却設備【流路】 (高気圧容器、1次冷却材ポンプ、加圧管、1次冷却材管、加圧器サージ管) 原子炉容器【注水先】	R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備		
	原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁【流路】及び原子炉補機冷却水設備 配管・弁、ストレーナ【流路】)	A/B 4-01-7	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備		
	【炉心注水 (充てんポンプ) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、フロントライン系機能喪失時)】 充てんポンプ 燃料取扱用ホット【水筒】 再生熱交換器【流路】 非常用炉心冷却設備 配管・弁【流路】 化学体積制御設備 配管・弁【流路】 原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁【流路】及び原子炉補機冷却水設備 配管・弁、ストレーナ【流路】)	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・熱感知器	消火器又は消火ドラッグミスト (C/Vスプレイ設備)		

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条項</th> <th>【系統機能】 主要設備</th> <th>火災区域又は火災区画番号</th> <th>感知設備</th> <th>消火設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">67</td> <td rowspan="2">【代替所内電気設備による給電】 ガスタービン発電機接続器 緊急用高圧母線 2F系 緊急用高圧母線 2G系 緊急用動力配電線 2G系 緊急用低圧母線 2G系 緊急用交流電機制御盤 2G系 緊急用交流電機制御盤 2C系 緊急用交流電機制御盤 2H系 非常用高圧母線 2C系 非常用高圧母線 2D系</td> <td>E-1-1</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>R-9-19</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">67</td> <td rowspan="8">【非常用交流電源設備】 非常用ディーゼル発電機 軽油タンク 非常用ディーゼル発電設備燃料デイトンク 非常用ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ 非常用ディーゼル発電設備 燃料移送系 配管・弁〔燃料流路〕 非常用ディーゼル発電機～非常用高圧母線 2C系及び非常用高圧母線 2D系電路〔電路〕 高圧伊心スプレイス系ディーゼル発電機 高圧伊心スプレイス系ディーゼル発電設備燃料移送タンク 高圧伊心スプレイス系ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁〔燃料流路〕 高圧伊心スプレイス系ディーゼル発電機～非常用高圧母線 2H系電路〔電路〕</td> <td>R-7-41</td> <td>煙感知器・炎感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>R-7-46</td> <td>煙感知器・炎感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>Y-7-3</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>消火器又は移動式消火設備</td> </tr> <tr> <td>Y-7-0</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>消火器又は移動式消火設備</td> </tr> <tr> <td>R-9-20</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>R-9-30</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>Y-7-2</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>消火器又は移動式消火設備</td> </tr> <tr> <td>Y-7-5</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>消火器又は移動式消火設備</td> </tr> <tr> <td>Y-7-8</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>消火器又は移動式消火設備</td> </tr> <tr> <td>R-7-45</td> <td>煙感知器・炎感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> </tbody> </table>	関連条項	【系統機能】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備	67	【代替所内電気設備による給電】 ガスタービン発電機接続器 緊急用高圧母線 2F系 緊急用高圧母線 2G系 緊急用動力配電線 2G系 緊急用低圧母線 2G系 緊急用交流電機制御盤 2G系 緊急用交流電機制御盤 2C系 緊急用交流電機制御盤 2H系 非常用高圧母線 2C系 非常用高圧母線 2D系	E-1-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	R-9-19	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全域ガス消火設備	67	【非常用交流電源設備】 非常用ディーゼル発電機 軽油タンク 非常用ディーゼル発電設備燃料デイトンク 非常用ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ 非常用ディーゼル発電設備 燃料移送系 配管・弁〔燃料流路〕 非常用ディーゼル発電機～非常用高圧母線 2C系及び非常用高圧母線 2D系電路〔電路〕 高圧伊心スプレイス系ディーゼル発電機 高圧伊心スプレイス系ディーゼル発電設備燃料移送タンク 高圧伊心スプレイス系ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁〔燃料流路〕 高圧伊心スプレイス系ディーゼル発電機～非常用高圧母線 2H系電路〔電路〕	R-7-41	煙感知器・炎感知器	全域ガス消火設備	R-7-46	煙感知器・炎感知器	全域ガス消火設備	Y-7-3	煙感知器・熱感知器	消火器又は移動式消火設備	Y-7-0	煙感知器・熱感知器	消火器又は移動式消火設備	R-9-20	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	R-9-30	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	Y-7-2	煙感知器・熱感知器	消火器又は移動式消火設備	Y-7-5	煙感知器・熱感知器	消火器又は移動式消火設備	Y-7-8	煙感知器・熱感知器	消火器又は移動式消火設備	R-7-45	煙感知器・炎感知器	全域ガス消火設備	<table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条項</th> <th>【系統機能】 主要設備</th> <th>火災区域又は火災区画番号</th> <th>感知設備</th> <th>消火設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">47</td> <td rowspan="6">【代替所内電気設備による給電】 ガスタービン発電機接続器 緊急用高圧母線 2F系 緊急用高圧母線 2G系 緊急用動力配電線 2G系 緊急用低圧母線 2G系 緊急用交流電機制御盤 2G系 緊急用交流電機制御盤 2C系 緊急用交流電機制御盤 2H系 非常用高圧母線 2C系 非常用高圧母線 2D系</td> <td>A/B 1-04</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>A/B 2-02</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>A/B 3-01-1</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>R/B 4-02-1</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>A/B 4-01-7</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>C/V 3-01</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>消火器又は消火栓 ウォータミスト (C/Vスプレイ設備)</td> </tr> </tbody> </table>	関連条項	【系統機能】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備	47	【代替所内電気設備による給電】 ガスタービン発電機接続器 緊急用高圧母線 2F系 緊急用高圧母線 2G系 緊急用動力配電線 2G系 緊急用低圧母線 2G系 緊急用交流電機制御盤 2G系 緊急用交流電機制御盤 2C系 緊急用交流電機制御盤 2H系 非常用高圧母線 2C系 非常用高圧母線 2D系	A/B 1-04	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	A/B 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全域ガス消火設備	A/B 3-01-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	A/B 4-01-7	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォータミスト (C/Vスプレイ設備)	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 (女川実績の反映) <p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■設計の相違 プラント配置、設備及び 系統構成の相違による 火災防護対策の相違
関連条項	【系統機能】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備																																																																					
67	【代替所内電気設備による給電】 ガスタービン発電機接続器 緊急用高圧母線 2F系 緊急用高圧母線 2G系 緊急用動力配電線 2G系 緊急用低圧母線 2G系 緊急用交流電機制御盤 2G系 緊急用交流電機制御盤 2C系 緊急用交流電機制御盤 2H系 非常用高圧母線 2C系 非常用高圧母線 2D系	E-1-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																																																					
		R-9-19	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全域ガス消火設備																																																																					
67	【非常用交流電源設備】 非常用ディーゼル発電機 軽油タンク 非常用ディーゼル発電設備燃料デイトンク 非常用ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ 非常用ディーゼル発電設備 燃料移送系 配管・弁〔燃料流路〕 非常用ディーゼル発電機～非常用高圧母線 2C系及び非常用高圧母線 2D系電路〔電路〕 高圧伊心スプレイス系ディーゼル発電機 高圧伊心スプレイス系ディーゼル発電設備燃料移送タンク 高圧伊心スプレイス系ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁〔燃料流路〕 高圧伊心スプレイス系ディーゼル発電機～非常用高圧母線 2H系電路〔電路〕	R-7-41	煙感知器・炎感知器	全域ガス消火設備																																																																					
		R-7-46	煙感知器・炎感知器	全域ガス消火設備																																																																					
		Y-7-3	煙感知器・熱感知器	消火器又は移動式消火設備																																																																					
		Y-7-0	煙感知器・熱感知器	消火器又は移動式消火設備																																																																					
		R-9-20	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																																																					
		R-9-30	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																																																					
		Y-7-2	煙感知器・熱感知器	消火器又は移動式消火設備																																																																					
		Y-7-5	煙感知器・熱感知器	消火器又は移動式消火設備																																																																					
Y-7-8	煙感知器・熱感知器	消火器又は移動式消火設備																																																																							
R-7-45	煙感知器・炎感知器	全域ガス消火設備																																																																							
関連条項	【系統機能】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備																																																																					
47	【代替所内電気設備による給電】 ガスタービン発電機接続器 緊急用高圧母線 2F系 緊急用高圧母線 2G系 緊急用動力配電線 2G系 緊急用低圧母線 2G系 緊急用交流電機制御盤 2G系 緊急用交流電機制御盤 2C系 緊急用交流電機制御盤 2H系 非常用高圧母線 2C系 非常用高圧母線 2D系	A/B 1-04	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																																																					
		A/B 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全域ガス消火設備																																																																					
		A/B 3-01-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																																																					
		R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																																																					
		A/B 4-01-7	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																																																					
		C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォータミスト (C/Vスプレイ設備)																																																																					

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>【系統機能】 主要設備</th> <th>火災区域又は火災区画番号</th> <th>感知設備</th> <th>消火設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">57</td> <td rowspan="6">【非常用直流電源設備】 125V蓄電池2A 125V蓄電池2B 125V充電器2A 125V充電器2B 125V蓄電池2A及び125V充電器2A~125V真流主母線盤2A及び125V真流主母線盤2A-1電路〔電路〕 125V蓄電池2B及び125V充電器2B~125V真流主母線盤2B及び125V真流主母線盤2B-1電路〔電路〕 125V蓄電池2H 125V充電器2H 125V蓄電池2H及び125V充電器2H~125V真流主母線盤2H1電路〔電路〕</td> <td>C-2-6</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>C-2-7</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>C-2-1</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>C-2-5</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>R-9-12</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>R-5-31</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">57</td> <td rowspan="2">【燃料供給設備】 軽油タンク ガスタービン発電設備軽油タンク 非常用ディーゼル発電設備燃料移送系統管・弁〔燃料系統〕 高圧炉心スプレィシステムディーゼル発電設備燃料移送系統管・弁〔燃料系統〕 ボスタービン発電設備燃料移送系統管・弁〔燃料系統〕</td> <td>Y-7-3</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>消火器又は移動式消火設備</td> </tr> <tr> <td>Y-7-6</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>消火器又は移動式消火設備</td> </tr> <tr> <td>58</td> <td>【原子炉圧力容器内の温度】 原子炉圧力容器温度</td> <td>R-1-30</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>消火器</td> </tr> <tr> <td>58</td> <td>【原子炉圧力容器内の圧力】 原子炉圧力 原子炉圧力〔SA〕</td> <td>R-7-1</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>消火器又は原所ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>58</td> <td>【原子炉圧力容器内の水位】 原子炉水位〔広普域〕 原子炉水位〔燃料域〕 原子炉水位〔SA広普域〕 原子炉水位〔SA燃料域〕</td> <td>R-5-1</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備	57	【非常用直流電源設備】 125V蓄電池2A 125V蓄電池2B 125V充電器2A 125V充電器2B 125V蓄電池2A及び125V充電器2A~125V真流主母線盤2A及び125V真流主母線盤2A-1電路〔電路〕 125V蓄電池2B及び125V充電器2B~125V真流主母線盤2B及び125V真流主母線盤2B-1電路〔電路〕 125V蓄電池2H 125V充電器2H 125V蓄電池2H及び125V充電器2H~125V真流主母線盤2H1電路〔電路〕	C-2-6	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	C-2-7	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	C-2-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	C-2-5	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	R-9-12	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	R-5-31	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	57	【燃料供給設備】 軽油タンク ガスタービン発電設備軽油タンク 非常用ディーゼル発電設備燃料移送系統管・弁〔燃料系統〕 高圧炉心スプレィシステムディーゼル発電設備燃料移送系統管・弁〔燃料系統〕 ボスタービン発電設備燃料移送系統管・弁〔燃料系統〕	Y-7-3	煙感知器・熱感知器	消火器又は移動式消火設備	Y-7-6	煙感知器・熱感知器	消火器又は移動式消火設備	58	【原子炉圧力容器内の温度】 原子炉圧力容器温度	R-1-30	煙感知器・熱感知器	消火器	58	【原子炉圧力容器内の圧力】 原子炉圧力 原子炉圧力〔SA〕	R-7-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は原所ガス消火設備	58	【原子炉圧力容器内の水位】 原子炉水位〔広普域〕 原子炉水位〔燃料域〕 原子炉水位〔SA広普域〕 原子炉水位〔SA燃料域〕	R-5-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全域ガス消火設備	<table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>【系統機能】 主要設備</th> <th>火災区域又は火災区画番号</th> <th>感知設備</th> <th>消火設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">47</td> <td rowspan="10">【代替炉心注水（代替格納容器スプレィポンプ） （1次炉格納容器発生している場合、フロントライン系機能喪失時） 代替格納容器スプレィポンプ燃料取替用水ビット〔水飯〕 補助給水ビット〔水飯〕 非常用炉心冷却設備 配管・弁〔流路〕 補助給水設備 配管・弁〔流路〕 原子炉格納容器スプレィ設備及び余熱除去設備 配管・弁〔流路〕 1次冷却設備〔流路〕 （蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器リージ管） 原子炉容器〔圧水先〕</td> <td>R/B 3-03-1</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>A/B 3-01-1</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>R/B 4-02-1</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>A/B 4-01-7</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>C/V 3-01</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>消火器又は消火栓 ウォーターミスト C/Nスプレィ設備</td> </tr> <tr> <td>R/B 3-04</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>R/B 3-05</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>R/B 3-03-1</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>R/B 3-03</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>A/B 2-02</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備	47	【代替炉心注水（代替格納容器スプレィポンプ） （1次炉格納容器発生している場合、フロントライン系機能喪失時） 代替格納容器スプレィポンプ燃料取替用水ビット〔水飯〕 補助給水ビット〔水飯〕 非常用炉心冷却設備 配管・弁〔流路〕 補助給水設備 配管・弁〔流路〕 原子炉格納容器スプレィ設備及び余熱除去設備 配管・弁〔流路〕 1次冷却設備〔流路〕 （蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器リージ管） 原子炉容器〔圧水先〕	R/B 3-03-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全域ガス消火設備	A/B 3-01-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	A/B 4-01-7	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト C/Nスプレィ設備	R/B 3-04	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	R/B 3-05	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	R/B 3-03-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	R/B 3-03	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全域ガス消火設備	A/B 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全域ガス消火設備	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 プラント配置、設備及びシステム構成の相違による火災防護対策の相違
関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備																																																																																				
57	【非常用直流電源設備】 125V蓄電池2A 125V蓄電池2B 125V充電器2A 125V充電器2B 125V蓄電池2A及び125V充電器2A~125V真流主母線盤2A及び125V真流主母線盤2A-1電路〔電路〕 125V蓄電池2B及び125V充電器2B~125V真流主母線盤2B及び125V真流主母線盤2B-1電路〔電路〕 125V蓄電池2H 125V充電器2H 125V蓄電池2H及び125V充電器2H~125V真流主母線盤2H1電路〔電路〕	C-2-6	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																																																																				
		C-2-7	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																																																																				
		C-2-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																																																																				
		C-2-5	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																																																																				
		R-9-12	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																																																																				
		R-5-31	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																																																																				
57	【燃料供給設備】 軽油タンク ガスタービン発電設備軽油タンク 非常用ディーゼル発電設備燃料移送系統管・弁〔燃料系統〕 高圧炉心スプレィシステムディーゼル発電設備燃料移送系統管・弁〔燃料系統〕 ボスタービン発電設備燃料移送系統管・弁〔燃料系統〕	Y-7-3	煙感知器・熱感知器	消火器又は移動式消火設備																																																																																				
		Y-7-6	煙感知器・熱感知器	消火器又は移動式消火設備																																																																																				
58	【原子炉圧力容器内の温度】 原子炉圧力容器温度	R-1-30	煙感知器・熱感知器	消火器																																																																																				
58	【原子炉圧力容器内の圧力】 原子炉圧力 原子炉圧力〔SA〕	R-7-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は原所ガス消火設備																																																																																				
58	【原子炉圧力容器内の水位】 原子炉水位〔広普域〕 原子炉水位〔燃料域〕 原子炉水位〔SA広普域〕 原子炉水位〔SA燃料域〕	R-5-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全域ガス消火設備																																																																																				
関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備																																																																																				
47	【代替炉心注水（代替格納容器スプレィポンプ） （1次炉格納容器発生している場合、フロントライン系機能喪失時） 代替格納容器スプレィポンプ燃料取替用水ビット〔水飯〕 補助給水ビット〔水飯〕 非常用炉心冷却設備 配管・弁〔流路〕 補助給水設備 配管・弁〔流路〕 原子炉格納容器スプレィ設備及び余熱除去設備 配管・弁〔流路〕 1次冷却設備〔流路〕 （蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器リージ管） 原子炉容器〔圧水先〕	R/B 3-03-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全域ガス消火設備																																																																																				
		A/B 3-01-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																																																																				
		R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																																																																				
		A/B 4-01-7	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																																																																				
		C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト C/Nスプレィ設備																																																																																				
		R/B 3-04	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																																																																				
		R/B 3-05	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																																																																				
		R/B 3-03-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																																																																				
		R/B 3-03	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全域ガス消火設備																																																																																				
		A/B 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全域ガス消火設備																																																																																				

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>【系統機能】 主要設備</th> <th>火災区域又は火災区画番号</th> <th>感知設備</th> <th>消火設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="9">58</td> <td rowspan="9">【原子炉圧力容器への注水量】 高圧代替注水系ポンプ出口流量 機前熱除去系洗浄ライン流量 (機前熱除去系ヘッドスプレイレイン流量) 機前熱除去系洗浄ライン流量 (機前熱除去系B系供給管冷却ライン流量) 原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量 高圧炉心スプレイレイン系ポンプ出口流量 低圧炉心スプレイレイン系ポンプ出口流量 残留熱除去系ポンプ出口流量 代替循環冷却ポンプ出口流量 直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量</td> <td>R-3-9</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>R-6-1</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>R-1-14</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>R-3-4</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>R-3-3</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>R-3-2</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>R-3-9</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>R-1-9</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>R-7-1</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>消火器又は前所ガス 消火設備</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">59</td> <td rowspan="2">【原子炉格納容器内の流量】 ドライウェル流量 圧力抑制室内空気流量 セプレッションプール水流量 原子炉格納容器下部流量</td> <td>R-5-1</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>R-1-80</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>消火器</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">59</td> <td rowspan="3">【原子炉格納容器内の圧力】 ドライウェル圧力 圧力抑制室圧力</td> <td>R-9-1</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>消火器又は前所ガス 消火設備</td> </tr> <tr> <td>R-9-5</td> <td>煙感知器・炎感知器</td> <td>消火器</td> </tr> <tr> <td>R-5-1</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">59</td> <td rowspan="2">【原子炉格納容器内の水位】 圧力抑制室水位 原子炉格納容器下部水位 ドライウェル水位</td> <td>R-1-4</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>R-1-80</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>消火器</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備	58	【原子炉圧力容器への注水量】 高圧代替注水系ポンプ出口流量 機前熱除去系洗浄ライン流量 (機前熱除去系ヘッドスプレイレイン流量) 機前熱除去系洗浄ライン流量 (機前熱除去系B系供給管冷却ライン流量) 原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量 高圧炉心スプレイレイン系ポンプ出口流量 低圧炉心スプレイレイン系ポンプ出口流量 残留熱除去系ポンプ出口流量 代替循環冷却ポンプ出口流量 直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量	R-3-9	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	R-6-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	R-1-14	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	R-3-4	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	R-3-3	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	R-3-2	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	R-3-9	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	R-1-9	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	R-7-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は前所ガス 消火設備	59	【原子炉格納容器内の流量】 ドライウェル流量 圧力抑制室内空気流量 セプレッションプール水流量 原子炉格納容器下部流量	R-5-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	R-1-80	煙感知器・熱感知器	消火器	59	【原子炉格納容器内の圧力】 ドライウェル圧力 圧力抑制室圧力	R-9-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は前所ガス 消火設備	R-9-5	煙感知器・炎感知器	消火器	R-5-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	59	【原子炉格納容器内の水位】 圧力抑制室水位 原子炉格納容器下部水位 ドライウェル水位	R-1-4	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	R-1-80	煙感知器・熱感知器	消火器	<table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>【系統機能】 主要設備</th> <th>火災区域又は火災区画番号</th> <th>感知設備</th> <th>消火設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">47</td> <td rowspan="2">【代替炉心注水 (可搬型大型送水ポンプ車) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、フロントライン系機能喪失時)】 代替炉心注水 (可搬型大型送水ポンプ車) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、フロントライン系機能喪失時) 原子炉格納容器スプレイレイン設備及び炉心冷却設備 配管・弁 [流路] 1次冷却設備 [流路]</td> <td>R/B 4-02-1</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>C/V 3-01</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレイレイン設備)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">47</td> <td rowspan="10">【代替炉心注水 (代替格納容器スプレイレインポンプ) (代替電源) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、サポート系機能喪失時)】 代替格納容器スプレイレインポンプ 燃料替替用水ピット [水原] 補助給水ピット [水原] 非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路] 補助給水設備 配管・弁 [流路] 原子炉格納容器スプレイレイン設備及び炉心冷却設備 配管・弁 [流路] 1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管) 原子炉容器 [注水先]</td> <td>R/B 3-08-1</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>A/B 3-01-1</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>R/B 4-02-1</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>A/B 4-01-7</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>C/V 3-01</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレイレイン設備)</td> </tr> <tr> <td>R/B 3-04</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>R/B 3-05</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>R/B 3-03-1</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>R/B 5-03</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>C/V 3-01</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレイレイン設備)</td> </tr> <tr> <td>R/B 4-02-1</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>A/B 2-02</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備	47	【代替炉心注水 (可搬型大型送水ポンプ車) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、フロントライン系機能喪失時)】 代替炉心注水 (可搬型大型送水ポンプ車) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、フロントライン系機能喪失時) 原子炉格納容器スプレイレイン設備及び炉心冷却設備 配管・弁 [流路] 1次冷却設備 [流路]	R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレイレイン設備)	47	【代替炉心注水 (代替格納容器スプレイレインポンプ) (代替電源) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、サポート系機能喪失時)】 代替格納容器スプレイレインポンプ 燃料替替用水ピット [水原] 補助給水ピット [水原] 非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路] 補助給水設備 配管・弁 [流路] 原子炉格納容器スプレイレイン設備及び炉心冷却設備 配管・弁 [流路] 1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管) 原子炉容器 [注水先]	R/B 3-08-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	A/B 3-01-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	A/B 4-01-7	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレイレイン設備)	R/B 3-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	R/B 3-05	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	R/B 3-03-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	R/B 5-03	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレイレイン設備)	R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	A/B 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>プラント配置、設備及び系統構成の相違による火災防護対策の相違</p>
関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備																																																																																																															
58	【原子炉圧力容器への注水量】 高圧代替注水系ポンプ出口流量 機前熱除去系洗浄ライン流量 (機前熱除去系ヘッドスプレイレイン流量) 機前熱除去系洗浄ライン流量 (機前熱除去系B系供給管冷却ライン流量) 原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量 高圧炉心スプレイレイン系ポンプ出口流量 低圧炉心スプレイレイン系ポンプ出口流量 残留熱除去系ポンプ出口流量 代替循環冷却ポンプ出口流量 直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量	R-3-9	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																																																																															
		R-6-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備																																																																																																															
		R-1-14	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																																																																															
		R-3-4	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																																																																															
		R-3-3	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																																																																															
		R-3-2	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																																																																															
		R-3-9	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																																																																															
		R-1-9	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																																																																															
		R-7-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は前所ガス 消火設備																																																																																																															
59	【原子炉格納容器内の流量】 ドライウェル流量 圧力抑制室内空気流量 セプレッションプール水流量 原子炉格納容器下部流量	R-5-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備																																																																																																															
		R-1-80	煙感知器・熱感知器	消火器																																																																																																															
59	【原子炉格納容器内の圧力】 ドライウェル圧力 圧力抑制室圧力	R-9-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は前所ガス 消火設備																																																																																																															
		R-9-5	煙感知器・炎感知器	消火器																																																																																																															
		R-5-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備																																																																																																															
59	【原子炉格納容器内の水位】 圧力抑制室水位 原子炉格納容器下部水位 ドライウェル水位	R-1-4	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																																																																															
		R-1-80	煙感知器・熱感知器	消火器																																																																																																															
関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備																																																																																																															
47	【代替炉心注水 (可搬型大型送水ポンプ車) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、フロントライン系機能喪失時)】 代替炉心注水 (可搬型大型送水ポンプ車) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、フロントライン系機能喪失時) 原子炉格納容器スプレイレイン設備及び炉心冷却設備 配管・弁 [流路] 1次冷却設備 [流路]	R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備																																																																																																															
		C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレイレイン設備)																																																																																																															
47	【代替炉心注水 (代替格納容器スプレイレインポンプ) (代替電源) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、サポート系機能喪失時)】 代替格納容器スプレイレインポンプ 燃料替替用水ピット [水原] 補助給水ピット [水原] 非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路] 補助給水設備 配管・弁 [流路] 原子炉格納容器スプレイレイン設備及び炉心冷却設備 配管・弁 [流路] 1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管) 原子炉容器 [注水先]	R/B 3-08-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備																																																																																																															
		A/B 3-01-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																																																																															
		R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																																																																															
		A/B 4-01-7	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																																																																															
		C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレイレイン設備)																																																																																																															
		R/B 3-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																																																																															
		R/B 3-05	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																																																																															
		R/B 3-03-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																																																																															
		R/B 5-03	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備																																																																																																															
		C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレイレイン設備)																																																																																																															
R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																																																																																	
A/B 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備																																																																																																																	

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由	
関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備	関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備	【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 プラント配置、設備及び 系統構成の相違による 火災防護対策の相違	
50	【原子炉格納容器内の水素濃度】 格納容器内水素濃度(D/W) 格納容器内水素濃度(S/C) 格納容器内水素濃度水素濃度	R-1-80	煙感知器・熱感知器	消火器	47	【代替炉心注水(可搬型大型注水ポンプ等;海水) (1次冷却材喪失事故が発生している場合、サボート系機能喪失時)】 補助給水設備又は燃料取替用水設備 配管・弁〔流路〕 原子炉格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁〔流路〕 1次冷却設備〔流路〕 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管)	R/B 3-04	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 プラント配置、設備及び 系統構成の相違による 火災防護対策の相違	
		R-1-1	煙感知器・熱感知器	消火器			R/B 3-05	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備		
		R-2-14	煙感知器・熱感知器	消火器			R/B 3-03-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備		
		R-2-15	煙感知器・熱感知器	消火器			R/B 5-03	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全域ガス消火設備		
	50	【原子炉格納容器内の放射線量率】 格納容器内中性子放射線モニタ(D/W) 格納容器内中性子放射線モニタ(S/C)	R-5-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器			全域ガス消火設備	R/B 4-03-1	煙感知器・熱感知器		全域ガス消火設備
			R-1-1	煙感知器・熱感知器			消火器	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器		消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレイ設備)
	50	【未境界の維持又は監視】 船舶領域モニタ 平均出力領域モニタ	R-1-80	煙感知器・熱感知器			消火器		A/B 3-01-1		煙感知器・熱感知器
			R-1-1	煙感知器・熱感知器			消火器	A/B 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器		全域ガス消火設備
	50	【最終ヒートシンクの確保(代替循環冷却系)】 サブプレッションプール水温度 残留熱除去系熱交換器入口温度 代替循環冷却ポンプ出口流量	R-1-1	煙感知器・熱感知器			消火器	A/B 3-04	煙感知器・熱感知器		全域ガス消火設備
			R-1-21	煙感知器・熱感知器			消火器	A/B 3-01-1	煙感知器・熱感知器		全域ガス消火設備
			R-7-41	煙感知器・炎感知器			全域ガス消火設備				
			R-7-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器			消火器又は加圧ガス 消火設備				
R-7-40	煙感知器・炎感知器	消火器									
50	【最終ヒートシンクの確保(原子炉格納容器フィルタバypass系)】 フィルタ装置入口圧力(広帯域) フィルタ装置出口圧力(広帯域) フィルタ装置水流量 フィルタ装置出口水素濃度 フィルタ装置出口放射線モニタ	R-9-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器または加圧ガス 消火設備	A/B 3-04	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備				
		R-9-52	煙感知器・熱感知器	消火器							
		R-1-80	煙感知器・熱感知器	消火器							
		R-9-2	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備							
50	【最終ヒートシンクの確保(残留熱除去系)】 残留熱除去系ポンプ出口流量 残留熱除去系熱交換器入口温度 残留熱除去系熱交換器出口流量	R-1-9	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	R/B 4-03-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備				
		R-5-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全域ガス消火設備							
50	【格納容器内圧力の監視(原子炉圧力容器内の状態)】 原子炉水位(広帯域) 原子炉水位(燃料域) 原子炉水位(SA広帯域) 原子炉水位(SA燃料域) 原子炉圧力 原子炉圧力(SA)	R-5-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全域ガス消火設備	R/B 4-01-7	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備				
		R-7-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は加圧ガス 消火設備							
		R-5-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備							
		R-7-1	煙感知器・熱感知器	消火器又は加圧ガス 消火設備							
47	【代替炉心注水(可搬型大型注水ポンプ等;海水) (1次冷却材喪失事故が発生している場合、サボート系機能喪失時)】 B-977注水ポンプ 再生熱交換器〔流路〕 非常用炉心冷却設備 配管・弁〔流路〕 化学体積制御設備 配管・弁〔流路〕 原子炉補給冷却水設備 配管・弁〔流路〕 1次冷却設備〔流路〕 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管) 原子炉容器〔注水先〕	R/B 3-01-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	R/B 2-01	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備				
		R/B 4-03-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備							
		R/B 2-02	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備							
C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレイ設備)									

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>【系統構成】 主要設備</th> <th>火災区域又は火災区画番号</th> <th>感知設備</th> <th>消火設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">55</td> <td rowspan="3">【格納容器ペイバスの監視 (原子炉格納容器内の状態)】 ドライケルル温度 ドライケルル圧力</td> <td>R-1-80</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>消火器</td> </tr> <tr> <td>R-9-1</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>消火器又は用圧ガス 消火設備</td> </tr> <tr> <td>R-9-5</td> <td>煙感知器・炎感知器</td> <td>消火器</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">55</td> <td rowspan="4">【格納容器ペイバスの監視 (原子炉建屋内の状態)】 高圧炉心スプレイズポンプ出口圧力 低圧炉心スプレイズポンプ出口圧力 残留熱除去ポンプ出口圧力</td> <td>R-3-4</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全滅ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>R-3-3</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全滅ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>R-3-2</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全滅ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>R-3-9</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全滅ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>55</td> <td>【水源の確保】 喪水貯蔵タンク水位 圧力抑制室水位</td> <td>R-1-4</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全滅ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>55</td> <td>【原子炉建屋内の水素濃度】 原子炉建屋内水素濃度</td> <td>R-7-12</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全滅ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">55</td> <td rowspan="2">【原子炉格納容器内の酸素濃度】 格納容器内空気酸素濃度</td> <td>R-9-14</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>消火器</td> </tr> <tr> <td>R-9-10</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>消火器</td> </tr> <tr> <td>55</td> <td>【使用済燃料プールの監視】 使用済燃料プール水位 (ヒートサーモ式) 使用済燃料プール水位 (ガイドレベル式) 使用済燃料プール温度 (ヒートサーモ式) 使用済燃料プール温度 (ガイドレベル式) 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量) 使用済燃料プール監視カメラ</td> <td>R-11-1</td> <td>煙感知器・炎感知器</td> <td>消火器</td> </tr> <tr> <td>55</td> <td>【発電機内の過電流検出】 安全パラメータ表示システム (SPK)</td> <td>C-4-2</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>消火器</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	【系統構成】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備	55	【格納容器ペイバスの監視 (原子炉格納容器内の状態)】 ドライケルル温度 ドライケルル圧力	R-1-80	煙感知器・熱感知器	消火器	R-9-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は用圧ガス 消火設備	R-9-5	煙感知器・炎感知器	消火器	55	【格納容器ペイバスの監視 (原子炉建屋内の状態)】 高圧炉心スプレイズポンプ出口圧力 低圧炉心スプレイズポンプ出口圧力 残留熱除去ポンプ出口圧力	R-3-4	煙感知器・熱感知器	全滅ガス消火設備	R-3-3	煙感知器・熱感知器	全滅ガス消火設備	R-3-2	煙感知器・熱感知器	全滅ガス消火設備	R-3-9	煙感知器・熱感知器	全滅ガス消火設備	55	【水源の確保】 喪水貯蔵タンク水位 圧力抑制室水位	R-1-4	煙感知器・熱感知器	全滅ガス消火設備	55	【原子炉建屋内の水素濃度】 原子炉建屋内水素濃度	R-7-12	煙感知器・熱感知器	全滅ガス消火設備	55	【原子炉格納容器内の酸素濃度】 格納容器内空気酸素濃度	R-9-14	煙感知器・熱感知器	消火器	R-9-10	煙感知器・熱感知器	消火器	55	【使用済燃料プールの監視】 使用済燃料プール水位 (ヒートサーモ式) 使用済燃料プール水位 (ガイドレベル式) 使用済燃料プール温度 (ヒートサーモ式) 使用済燃料プール温度 (ガイドレベル式) 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量) 使用済燃料プール監視カメラ	R-11-1	煙感知器・炎感知器	消火器	55	【発電機内の過電流検出】 安全パラメータ表示システム (SPK)	C-4-2	煙感知器・熱感知器	消火器	<table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>【系統構成】 主要設備</th> <th>火災区域又は火災区画番号</th> <th>感知設備</th> <th>消火設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">47</td> <td rowspan="4">【代替再循環運転 (A-高圧注入ポンプ (海水冷却)) (1次冷却材喪失事故が発生している場合、サポート系機器喪失時)】 A-高圧注入ポンプ A-格納容器再循環サブ【本館】 A-格納容器再循環サブスクリーン【直路】 ほう融注入タンク【直路】 高圧再循環系 配管・弁【直路】 原子炉補機冷却水設備 配管・弁【直路】 1次冷却設備【直路】 【蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧サージ室】 原子炉容器【注水先】 非常用取水設備【直路】 【貯留罐、取水口、取水路、取水ビットスクリーン室、取水ビットポンプ室】</td> <td>A/B 1-03</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全滅ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>A/B 2-02</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>全滅ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>R/B 2-01</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全滅ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>R/B 2-02</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全滅ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>R/B 2-03</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全滅ガス消火設備</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	【系統構成】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備	47	【代替再循環運転 (A-高圧注入ポンプ (海水冷却)) (1次冷却材喪失事故が発生している場合、サポート系機器喪失時)】 A-高圧注入ポンプ A-格納容器再循環サブ【本館】 A-格納容器再循環サブスクリーン【直路】 ほう融注入タンク【直路】 高圧再循環系 配管・弁【直路】 原子炉補機冷却水設備 配管・弁【直路】 1次冷却設備【直路】 【蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧サージ室】 原子炉容器【注水先】 非常用取水設備【直路】 【貯留罐、取水口、取水路、取水ビットスクリーン室、取水ビットポンプ室】	A/B 1-03	煙感知器・熱感知器	全滅ガス消火設備	A/B 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全滅ガス消火設備	R/B 2-01	煙感知器・熱感知器	全滅ガス消火設備	R/B 2-02	煙感知器・熱感知器	全滅ガス消火設備			R/B 2-03	煙感知器・熱感知器	全滅ガス消火設備	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 <p>プラント配置、設備及び系統構成の相違による火災防護対策の相違</p>
関連条文	【系統構成】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備																																																																																	
55	【格納容器ペイバスの監視 (原子炉格納容器内の状態)】 ドライケルル温度 ドライケルル圧力	R-1-80	煙感知器・熱感知器	消火器																																																																																	
		R-9-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は用圧ガス 消火設備																																																																																	
		R-9-5	煙感知器・炎感知器	消火器																																																																																	
55	【格納容器ペイバスの監視 (原子炉建屋内の状態)】 高圧炉心スプレイズポンプ出口圧力 低圧炉心スプレイズポンプ出口圧力 残留熱除去ポンプ出口圧力	R-3-4	煙感知器・熱感知器	全滅ガス消火設備																																																																																	
		R-3-3	煙感知器・熱感知器	全滅ガス消火設備																																																																																	
		R-3-2	煙感知器・熱感知器	全滅ガス消火設備																																																																																	
		R-3-9	煙感知器・熱感知器	全滅ガス消火設備																																																																																	
55	【水源の確保】 喪水貯蔵タンク水位 圧力抑制室水位	R-1-4	煙感知器・熱感知器	全滅ガス消火設備																																																																																	
55	【原子炉建屋内の水素濃度】 原子炉建屋内水素濃度	R-7-12	煙感知器・熱感知器	全滅ガス消火設備																																																																																	
55	【原子炉格納容器内の酸素濃度】 格納容器内空気酸素濃度	R-9-14	煙感知器・熱感知器	消火器																																																																																	
		R-9-10	煙感知器・熱感知器	消火器																																																																																	
55	【使用済燃料プールの監視】 使用済燃料プール水位 (ヒートサーモ式) 使用済燃料プール水位 (ガイドレベル式) 使用済燃料プール温度 (ヒートサーモ式) 使用済燃料プール温度 (ガイドレベル式) 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量) 使用済燃料プール監視カメラ	R-11-1	煙感知器・炎感知器	消火器																																																																																	
55	【発電機内の過電流検出】 安全パラメータ表示システム (SPK)	C-4-2	煙感知器・熱感知器	消火器																																																																																	
関連条文	【系統構成】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備																																																																																	
47	【代替再循環運転 (A-高圧注入ポンプ (海水冷却)) (1次冷却材喪失事故が発生している場合、サポート系機器喪失時)】 A-高圧注入ポンプ A-格納容器再循環サブ【本館】 A-格納容器再循環サブスクリーン【直路】 ほう融注入タンク【直路】 高圧再循環系 配管・弁【直路】 原子炉補機冷却水設備 配管・弁【直路】 1次冷却設備【直路】 【蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧サージ室】 原子炉容器【注水先】 非常用取水設備【直路】 【貯留罐、取水口、取水路、取水ビットスクリーン室、取水ビットポンプ室】	A/B 1-03	煙感知器・熱感知器	全滅ガス消火設備																																																																																	
		A/B 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全滅ガス消火設備																																																																																	
		R/B 2-01	煙感知器・熱感知器	全滅ガス消火設備																																																																																	
		R/B 2-02	煙感知器・熱感知器	全滅ガス消火設備																																																																																	
		R/B 2-03	煙感知器・熱感知器	全滅ガス消火設備																																																																																	

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備	関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備	【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 プラント配置、設備及びシステム構成の相違による 火災防護対策の相違
	60 【モニタリングポストの代替交流電源からの給電】 常設代替交流電源設備		57条に記載							
	61 【居住性の確保 (緊急時対策所)】 緊急時対策所 緊急時対策所近接 緊急時対策所非常用送風機 緊急時対策所非常用フィルタ装置 緊急時対策所非常用給排水配管・弁〔水路〕 緊急時対策所加圧設備 (配管・弁)〔水路〕 委託計	K3-1-3	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	47	代替格納容器スプレイ (代替格納容器スプレイポンプ) (格納容器水張り) (1次冷却材喪失事象が発生している場合、溶融デブリが原子炉容器に残存する場合) 代替格納容器スプレイポンプ 燃料取扱用水ビレット〔水源〕 補助給水ビレット〔水源〕 非常用炉心冷却設備 配管・弁〔水路〕 補助給水設備 配管・弁〔水路〕 原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁〔水路〕 原子炉格納容器〔注水先〕	R/B 3-08-1 A/B 3-01-1 R/B 4-02-1 A/B 4-01-7 C/V 3-01 R/B 3-04 R/B 3-05 R/B 3-03-1 R/B 5-03	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器 煙感知器・熱感知器 煙感知器・熱感知器 煙感知器・熱感知器 煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器 煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器 煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備 全城ガス消火設備 全城ガス消火設備 全城ガス消火設備 消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレイ設備) 全城ガス消火設備 全城ガス消火設備 全城ガス消火設備 全城ガス消火設備	
	61 【電源の確保 (緊急時対策所)】 ガスタービン発電機 ガスタービン発電機軽油タンク 軽油タンク ガスタービン発電機燃料移送ポンプ ガスタービン発電機燃料移送配管・弁〔燃料管路〕 非常用ディーゼル発電機燃料移送系配管・弁〔燃料管路〕 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機燃料移送系配管・弁〔燃料管路〕 ガスタービン発電機燃料移送系 緊急用高圧母線2F系 緊急時対策所軽油タンク 緊急時対策所燃料移送系 配管・弁〔燃料管路〕 緊急時対策所用高圧母線1系 ガスタービン発電機～緊急時対策所用高圧母線1系電線〔電路〕 電源車接続口 (緊急時対策用)～緊急時対策所用高圧母線1系電線〔電路〕	K3-1-2 K3-1-3	煙感知器・熱感知器 煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備 全城ガス消火設備						
	61 【必要な警報の把握】 安全パラメータ表示システム (SPDS)		62条に記載							
	61 【通信連絡 (緊急時対策所)】 無線連絡設備 (固定型) 衛星電話設備 (固定型) 統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備 無線通信装置〔伝送路〕 無線連絡設備 (屋外アンテナ)〔伝送路〕 衛星電話設備 (屋外アンテナ)〔伝送路〕 衛星通信装置〔伝送路〕 有線 (建屋内)〔伝送路〕		62条に記載							

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>【系統機能】 主要設備</th> <th>火災区域又は火災区画番号</th> <th>感知設備</th> <th>消火設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">92</td> <td>【発電所内の通信設備】 無線電話設備 (固定型) 無線電柱設備 (固定型) 安全パライミータ表示システム (SPG) 無線連絡設備 (屋外アンテナ) 【伝送路】 無線電話設備 (屋外アンテナ) 【伝送路】 無線通信装置 (伝送路) 無線通信装置 (伝送路)</td> <td>R3-1-1</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>有線 (屋内) (機内型) 消防用通話装置、無線連絡設備 (固定型)、無線電話設備 (固定型) に係るもの 【伝送路】 有線 (屋内) (安全パライミータ表示システム (SPG) に係るもの) 【伝送路】</td> <td>C-4-2</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>消火器</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">92</td> <td>【発電所外の通信設備】 無線電話設備 (固定型) 統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備 データ伝送設備</td> <td>R3-1-1</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>無線電話設備 (屋外アンテナ) 【伝送路】 無線通信装置 (伝送路) 無線 (屋内) (無線電話設備 (固定型) に係るもの) 【伝送路】</td> <td>C-4-1</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>消火器</td> </tr> <tr> <td>有線 (屋内) (統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備、データ伝送設備に係るもの) 【伝送路】</td> <td>C-4-2</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>消火器</td> </tr> <tr> <td>その他の設備</td> <td>【重大事故等時に対処するための措置、注水先、注水先、排出元等】 原子炉圧力容器 原子炉格納容器 使用済燃料プール 原子炉建屋原子炉棟</td> <td></td> <td>不燃材のため通知対策不要</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の設備</td> <td>【非常用放水設備】 貯留庫 放水口 取水路 放水ポンプ室</td> <td></td> <td>不燃材のため通知対策不要</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備	92	【発電所内の通信設備】 無線電話設備 (固定型) 無線電柱設備 (固定型) 安全パライミータ表示システム (SPG) 無線連絡設備 (屋外アンテナ) 【伝送路】 無線電話設備 (屋外アンテナ) 【伝送路】 無線通信装置 (伝送路) 無線通信装置 (伝送路)	R3-1-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	有線 (屋内) (機内型) 消防用通話装置、無線連絡設備 (固定型)、無線電話設備 (固定型) に係るもの 【伝送路】 有線 (屋内) (安全パライミータ表示システム (SPG) に係るもの) 【伝送路】	C-4-2	煙感知器・熱感知器	消火器	92	【発電所外の通信設備】 無線電話設備 (固定型) 統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備 データ伝送設備	R3-1-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	無線電話設備 (屋外アンテナ) 【伝送路】 無線通信装置 (伝送路) 無線 (屋内) (無線電話設備 (固定型) に係るもの) 【伝送路】	C-4-1	煙感知器・熱感知器	消火器	有線 (屋内) (統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備、データ伝送設備に係るもの) 【伝送路】	C-4-2	煙感知器・熱感知器	消火器	その他の設備	【重大事故等時に対処するための措置、注水先、注水先、排出元等】 原子炉圧力容器 原子炉格納容器 使用済燃料プール 原子炉建屋原子炉棟		不燃材のため通知対策不要		その他の設備	【非常用放水設備】 貯留庫 放水口 取水路 放水ポンプ室		不燃材のため通知対策不要		<table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>【系統機能】 主要設備</th> <th>火災区域又は火災区画番号</th> <th>感知設備</th> <th>消火設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">47</td> <td>【蒸気発生器2次側からの除熱 (補助給水ポンプ) (1次冷却材喪失事象が発生していない場合、フロントライン系機能喪失時)】 電動補助給水ポンプ タービン駆動補助給水ポンプ 補助給水ピット【水櫃】 主蒸気逃がし弁 蒸気発生器【注水先】 主蒸気管【流路】 補助給水設備 配管・弁【流路】 主蒸気設備 配管・弁【流路】</td> <td>R/B 3-04</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td>R/B 3-05</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">47</td> <td>【蒸気発生器2次側からの除熱 (補助給水ポンプ) (代替電源) (1次冷却材喪失事象が発生していない場合、サポート系機能喪失時)】 電動補助給水ポンプ タービン駆動補助給水ポンプ 補助給水ピット【水櫃】 主蒸気逃がし弁 蒸気発生器【注水先】 主蒸気管【流路】 補助給水設備 配管・弁【流路】 主蒸気設備 配管・弁【流路】</td> <td>R/B 3-03-1</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td>R/B 5-03</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備	47	【蒸気発生器2次側からの除熱 (補助給水ポンプ) (1次冷却材喪失事象が発生していない場合、フロントライン系機能喪失時)】 電動補助給水ポンプ タービン駆動補助給水ポンプ 補助給水ピット【水櫃】 主蒸気逃がし弁 蒸気発生器【注水先】 主蒸気管【流路】 補助給水設備 配管・弁【流路】 主蒸気設備 配管・弁【流路】	R/B 3-04	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備		R/B 3-05	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	47	【蒸気発生器2次側からの除熱 (補助給水ポンプ) (代替電源) (1次冷却材喪失事象が発生していない場合、サポート系機能喪失時)】 電動補助給水ポンプ タービン駆動補助給水ポンプ 補助給水ピット【水櫃】 主蒸気逃がし弁 蒸気発生器【注水先】 主蒸気管【流路】 補助給水設備 配管・弁【流路】 主蒸気設備 配管・弁【流路】	R/B 3-03-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備		R/B 5-03	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全域ガス消火設備	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 (女川実績の反映) <p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■設計の相違 <p>プラント配置、設備及び系統構成の相違による火災防護対策の相違</p>
関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備																																																											
92	【発電所内の通信設備】 無線電話設備 (固定型) 無線電柱設備 (固定型) 安全パライミータ表示システム (SPG) 無線連絡設備 (屋外アンテナ) 【伝送路】 無線電話設備 (屋外アンテナ) 【伝送路】 無線通信装置 (伝送路) 無線通信装置 (伝送路)	R3-1-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																																											
	有線 (屋内) (機内型) 消防用通話装置、無線連絡設備 (固定型)、無線電話設備 (固定型) に係るもの 【伝送路】 有線 (屋内) (安全パライミータ表示システム (SPG) に係るもの) 【伝送路】	C-4-2	煙感知器・熱感知器	消火器																																																											
92	【発電所外の通信設備】 無線電話設備 (固定型) 統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備 データ伝送設備	R3-1-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																																											
	無線電話設備 (屋外アンテナ) 【伝送路】 無線通信装置 (伝送路) 無線 (屋内) (無線電話設備 (固定型) に係るもの) 【伝送路】	C-4-1	煙感知器・熱感知器	消火器																																																											
	有線 (屋内) (統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備、データ伝送設備に係るもの) 【伝送路】	C-4-2	煙感知器・熱感知器	消火器																																																											
その他の設備	【重大事故等時に対処するための措置、注水先、注水先、排出元等】 原子炉圧力容器 原子炉格納容器 使用済燃料プール 原子炉建屋原子炉棟		不燃材のため通知対策不要																																																												
その他の設備	【非常用放水設備】 貯留庫 放水口 取水路 放水ポンプ室		不燃材のため通知対策不要																																																												
関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備																																																											
47	【蒸気発生器2次側からの除熱 (補助給水ポンプ) (1次冷却材喪失事象が発生していない場合、フロントライン系機能喪失時)】 電動補助給水ポンプ タービン駆動補助給水ポンプ 補助給水ピット【水櫃】 主蒸気逃がし弁 蒸気発生器【注水先】 主蒸気管【流路】 補助給水設備 配管・弁【流路】 主蒸気設備 配管・弁【流路】	R/B 3-04	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																																											
		R/B 3-05	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																																											
47	【蒸気発生器2次側からの除熱 (補助給水ポンプ) (代替電源) (1次冷却材喪失事象が発生していない場合、サポート系機能喪失時)】 電動補助給水ポンプ タービン駆動補助給水ポンプ 補助給水ピット【水櫃】 主蒸気逃がし弁 蒸気発生器【注水先】 主蒸気管【流路】 補助給水設備 配管・弁【流路】 主蒸気設備 配管・弁【流路】	R/B 3-03-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																																											
		R/B 5-03	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全域ガス消火設備																																																											

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉				相違理由																																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>関連条文</th> <th>【系統機能】 主要設備</th> <th>火災区域又は 火災区画番号</th> <th>感知設備</th> <th>消火設備</th> </tr> </thead> </table>	関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備		<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 (女川実績の反映) ■【女川】 ■設計の相違 プラント配置、設備及び 系統構成の相違による 火災防護対策の相違 																														
関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備																																			
		<table border="1"> <tbody> <tr> <td>47</td> <td>【炉心性水（充てんポンプ） (運転停止中の場合、フロント ライン系統機能喪失時)】 充てんポンプ 燃料取替用水ピット【水取】 再生熱交換器【流路】 非常用炉心冷却設備 配管・弁 【流路】 化学体積制御設備 配管・弁 【流路】 原子炉循環冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子 炉補機冷却水サージタンク、原子 炉補機冷却水冷却器並びに原子 炉補機冷却水設備 配管・弁 【流路】及び原子炉補機冷却水 設備 配管・弁、ストレーナ 【流路】) 1次冷却設備【流路】 (蒸気発生器、1次冷却材ポン プ、加圧器、1次冷却材管、加 圧器サージ管) 原子炉容器【圧水先】</td> <td>A/B 3-03</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全滅ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>A/B 3-04</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全滅ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>A/B 3-05</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全滅ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>E/B 4-02-1</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全滅ガス消火設備</td> </tr> </tbody> </table>	47	【炉心性水（充てんポンプ） (運転停止中の場合、フロント ライン系統機能喪失時)】 充てんポンプ 燃料取替用水ピット【水取】 再生熱交換器【流路】 非常用炉心冷却設備 配管・弁 【流路】 化学体積制御設備 配管・弁 【流路】 原子炉循環冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子 炉補機冷却水サージタンク、原子 炉補機冷却水冷却器並びに原子 炉補機冷却水設備 配管・弁 【流路】及び原子炉補機冷却水 設備 配管・弁、ストレーナ 【流路】) 1次冷却設備【流路】 (蒸気発生器、1次冷却材ポン プ、加圧器、1次冷却材管、加 圧器サージ管) 原子炉容器【圧水先】	A/B 3-03	煙感知器・熱感知器	全滅ガス消火設備			A/B 3-04	煙感知器・熱感知器	全滅ガス消火設備			A/B 3-05	煙感知器・熱感知器	全滅ガス消火設備			E/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全滅ガス消火設備																	
47	【炉心性水（充てんポンプ） (運転停止中の場合、フロント ライン系統機能喪失時)】 充てんポンプ 燃料取替用水ピット【水取】 再生熱交換器【流路】 非常用炉心冷却設備 配管・弁 【流路】 化学体積制御設備 配管・弁 【流路】 原子炉循環冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子 炉補機冷却水サージタンク、原子 炉補機冷却水冷却器並びに原子 炉補機冷却水設備 配管・弁 【流路】及び原子炉補機冷却水 設備 配管・弁、ストレーナ 【流路】) 1次冷却設備【流路】 (蒸気発生器、1次冷却材ポン プ、加圧器、1次冷却材管、加 圧器サージ管) 原子炉容器【圧水先】	A/B 3-03	煙感知器・熱感知器	全滅ガス消火設備																																			
		A/B 3-04	煙感知器・熱感知器	全滅ガス消火設備																																			
		A/B 3-05	煙感知器・熱感知器	全滅ガス消火設備																																			
		E/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全滅ガス消火設備																																			
		<table border="1"> <tbody> <tr> <td>47</td> <td>【炉心性水（高圧注入ポンプ） (運転停止中の場合、フロント ライン系統機能喪失時)】 高圧注入ポンプ 燃料取替用水ピット【水取】 ほう酸注入タンク【流路】 非常用炉心冷却設備 配管・弁 【流路】 高圧注入式 配管・弁【流路】 原子炉循環冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子 炉補機冷却水サージタンク、原子 炉補機冷却水冷却器並びに原子 炉補機冷却水設備 配管・弁 【流路】及び原子炉補機冷却水 設備 配管・弁、ストレーナ 【流路】) 1次冷却設備【流路】 (蒸気発生器、1次冷却材ポン プ、加圧器、1次冷却材管、加 圧器サージ管) 原子炉容器【圧水先】</td> <td>A/B 1-03</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全滅ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>A/B 1-04</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全滅ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>A/B 3-01-1</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全滅ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>E/B 4-02-1</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全滅ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>A/B 4-01-7</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全滅ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>C/V 3-01</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレー設備)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>A/B 2-02</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>全滅ガス消火設備</td> </tr> </tbody> </table>	47	【炉心性水（高圧注入ポンプ） (運転停止中の場合、フロント ライン系統機能喪失時)】 高圧注入ポンプ 燃料取替用水ピット【水取】 ほう酸注入タンク【流路】 非常用炉心冷却設備 配管・弁 【流路】 高圧注入式 配管・弁【流路】 原子炉循環冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子 炉補機冷却水サージタンク、原子 炉補機冷却水冷却器並びに原子 炉補機冷却水設備 配管・弁 【流路】及び原子炉補機冷却水 設備 配管・弁、ストレーナ 【流路】) 1次冷却設備【流路】 (蒸気発生器、1次冷却材ポン プ、加圧器、1次冷却材管、加 圧器サージ管) 原子炉容器【圧水先】	A/B 1-03	煙感知器・熱感知器	全滅ガス消火設備			A/B 1-04	煙感知器・熱感知器	全滅ガス消火設備			A/B 3-01-1	煙感知器・熱感知器	全滅ガス消火設備			E/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全滅ガス消火設備			A/B 4-01-7	煙感知器・熱感知器	全滅ガス消火設備			C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレー設備)			A/B 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全滅ガス消火設備		
47	【炉心性水（高圧注入ポンプ） (運転停止中の場合、フロント ライン系統機能喪失時)】 高圧注入ポンプ 燃料取替用水ピット【水取】 ほう酸注入タンク【流路】 非常用炉心冷却設備 配管・弁 【流路】 高圧注入式 配管・弁【流路】 原子炉循環冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子 炉補機冷却水サージタンク、原子 炉補機冷却水冷却器並びに原子 炉補機冷却水設備 配管・弁 【流路】及び原子炉補機冷却水 設備 配管・弁、ストレーナ 【流路】) 1次冷却設備【流路】 (蒸気発生器、1次冷却材ポン プ、加圧器、1次冷却材管、加 圧器サージ管) 原子炉容器【圧水先】	A/B 1-03	煙感知器・熱感知器	全滅ガス消火設備																																			
		A/B 1-04	煙感知器・熱感知器	全滅ガス消火設備																																			
		A/B 3-01-1	煙感知器・熱感知器	全滅ガス消火設備																																			
		E/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全滅ガス消火設備																																			
		A/B 4-01-7	煙感知器・熱感知器	全滅ガス消火設備																																			
		C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレー設備)																																			
		A/B 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全滅ガス消火設備																																			

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉				相違理由																																																																							
		<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1352 165 1397 197">関連 先文</th> <th data-bbox="1397 165 1585 197">【系統機能】 主要設備</th> <th data-bbox="1585 165 1675 197">火災区域又は 火災区画番号</th> <th data-bbox="1675 165 1809 197">感知設備</th> <th data-bbox="1809 165 1951 197">消火設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">47</td> <td>【代替炉心注水 (B一格納容器スプレイポンプ) (運転停止中の場合、フロントライン系機能喪失時)】 B一格納容器スプレイポンプ 燃料取替用水ビット【水側】 B一格納容器スプレイ冷却器 【流路】 非常用炉心冷却設備 配管・弁 【流路】</td> <td>A/B 1-04</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレイ設備及び 余熱除去設備 配管・弁【流路】</td> <td>A/B 2-02</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁【流路】及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ【流路】)</td> <td>A/B 3-01-1</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>1次冷却設備【流路】 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管) 原子炉容器【注水先】</td> <td>A/B 4-02-1</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>1次冷却設備【流路】 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管) 原子炉容器【注水先】</td> <td>A/B 4-01-7</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C/V 3-01</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>消火器又は消火栓 クォータミスト (C/Vスプレイ設備)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>R/B 3-08-1</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td>A/B 3-01-1</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td>R/B 4-02-1</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td>A/D 4-01-7</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">47</td> <td>補助給水設備 配管・弁【流路】</td> <td>C/V 3-01</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>消火器又は消火栓 クォータミスト (C/Vスプレイ設備)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレイ設備及び 余熱除去設備 配管・弁【流路】</td> <td>R/B 3-04</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>1次冷却設備【流路】 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管) 原子炉容器【注水先】</td> <td>R/B 3-05</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td>R/B 3-03-1</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td>R/B 5-03</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				関連 先文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備	47	【代替炉心注水 (B一格納容器スプレイポンプ) (運転停止中の場合、フロントライン系機能喪失時)】 B一格納容器スプレイポンプ 燃料取替用水ビット【水側】 B一格納容器スプレイ冷却器 【流路】 非常用炉心冷却設備 配管・弁 【流路】	A/B 1-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	原子炉格納容器スプレイ設備及び 余熱除去設備 配管・弁【流路】	A/B 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁【流路】及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ【流路】)	A/B 3-01-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	1次冷却設備【流路】 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管) 原子炉容器【注水先】	A/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	1次冷却設備【流路】 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管) 原子炉容器【注水先】	A/B 4-01-7	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備		C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 クォータミスト (C/Vスプレイ設備)		R/B 3-08-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備		A/B 3-01-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備		R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備		A/D 4-01-7	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	47	補助給水設備 配管・弁【流路】	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 クォータミスト (C/Vスプレイ設備)	原子炉格納容器スプレイ設備及び 余熱除去設備 配管・弁【流路】	R/B 3-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	1次冷却設備【流路】 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管) 原子炉容器【注水先】	R/B 3-05	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備		R/B 3-03-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備		R/B 5-03	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備					<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 <p>プラント配置、設備及び系統構成の相違による火災防護対策の相違</p>
関連 先文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備																																																																									
47	【代替炉心注水 (B一格納容器スプレイポンプ) (運転停止中の場合、フロントライン系機能喪失時)】 B一格納容器スプレイポンプ 燃料取替用水ビット【水側】 B一格納容器スプレイ冷却器 【流路】 非常用炉心冷却設備 配管・弁 【流路】	A/B 1-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																																									
	原子炉格納容器スプレイ設備及び 余熱除去設備 配管・弁【流路】	A/B 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備																																																																									
	原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁【流路】及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ【流路】)	A/B 3-01-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																																									
	1次冷却設備【流路】 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管) 原子炉容器【注水先】	A/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																																									
	1次冷却設備【流路】 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管) 原子炉容器【注水先】	A/B 4-01-7	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																																									
		C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 クォータミスト (C/Vスプレイ設備)																																																																									
		R/B 3-08-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備																																																																									
		A/B 3-01-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																																									
		R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																																									
		A/D 4-01-7	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																																									
47	補助給水設備 配管・弁【流路】	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 クォータミスト (C/Vスプレイ設備)																																																																									
	原子炉格納容器スプレイ設備及び 余熱除去設備 配管・弁【流路】	R/B 3-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																																									
	1次冷却設備【流路】 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管) 原子炉容器【注水先】	R/B 3-05	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																																									
		R/B 3-03-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																																									
		R/B 5-03	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備																																																																									

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉				相違理由	
		関連 条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 (女川実績の反映) ■設計の相違 プラント配置、設備及び 系統構成の相違による 火災防護対策の相違
				R/B 3-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 3-05	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 3-03-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
		47	【代替炉心注水 (可搬型大型送 水ポンプ車) (運転停止中の場合、フロント ライン系機能喪失時)】 補助給水設備又は燃料取扱用水 設備 配管・弁 [流路] 原子炉格納容器スプレイ設備及 び余熱除去設備 配管・弁 [流 路] 1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポン プ、加圧器、1次冷却材管、加 圧器サージ管) 原子炉容器 [注水先] 非常用取水設備 [流路]	R/B 5-03	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	
				C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォータミスト (C/Vスプレイ設備)	
				A/B 3-01-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				A/B 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉				相違理由																						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1346 165 1391 197">関連条文</th> <th data-bbox="1391 165 1576 197">【系統機能】 主要設備</th> <th data-bbox="1576 165 1671 197">火災区域又は 火災区画番号</th> <th data-bbox="1671 165 1812 197">感知設備</th> <th data-bbox="1812 165 1951 197">消火設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1346 197 1391 344"></td> <td data-bbox="1391 197 1576 344">【再循環運転 (高圧注入ポンプ) (運転停止中の場合、フロントライン系機能喪失時)】 高圧注入ポンプ 格納容器再循環タンク [水源] 格納容器再循環タンクスクリーン [流路]</td> <td data-bbox="1576 197 1671 344">A/B 1-03</td> <td data-bbox="1671 197 1812 344">煙感知器・熱感知器</td> <td data-bbox="1812 197 1951 344">全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1346 344 1391 491"></td> <td data-bbox="1391 344 1576 491">安全注入ポンプ再循環タンク側 入口C/V外側隔離弁 [流路] ほう酸注入タンク [流路] 高圧再循環系 配管・弁 [流路]</td> <td data-bbox="1576 344 1671 491">A/B 1-04</td> <td data-bbox="1671 344 1812 491">煙感知器・熱感知器</td> <td data-bbox="1812 344 1951 491">全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1346 491 1391 628">47</td> <td data-bbox="1391 491 1576 628">原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路] 及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ [流路])</td> <td data-bbox="1576 491 1671 628">R/B 2-03</td> <td data-bbox="1671 491 1812 628">煙感知器・熱感知器</td> <td data-bbox="1812 491 1951 628">全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1346 628 1391 775"></td> <td data-bbox="1391 628 1576 775">1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管) 原子炉容器 [注水先]</td> <td data-bbox="1576 628 1671 775">A/B 2-02</td> <td data-bbox="1671 628 1812 775">煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td data-bbox="1812 628 1951 775">全域ガス消火設備</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備		【再循環運転 (高圧注入ポンプ) (運転停止中の場合、フロントライン系機能喪失時)】 高圧注入ポンプ 格納容器再循環タンク [水源] 格納容器再循環タンクスクリーン [流路]	A/B 1-03	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備		安全注入ポンプ再循環タンク側 入口C/V外側隔離弁 [流路] ほう酸注入タンク [流路] 高圧再循環系 配管・弁 [流路]	A/B 1-04	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	47	原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路] 及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ [流路])	R/B 2-03	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備		1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管) 原子炉容器 [注水先]	A/B 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全域ガス消火設備	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 プラント配置、設備及び 系統構成の相違による 火災防護対策の相違
関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備																								
	【再循環運転 (高圧注入ポンプ) (運転停止中の場合、フロントライン系機能喪失時)】 高圧注入ポンプ 格納容器再循環タンク [水源] 格納容器再循環タンクスクリーン [流路]	A/B 1-03	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																								
	安全注入ポンプ再循環タンク側 入口C/V外側隔離弁 [流路] ほう酸注入タンク [流路] 高圧再循環系 配管・弁 [流路]	A/B 1-04	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																								
47	原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路] 及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ [流路])	R/B 2-03	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																								
	1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管) 原子炉容器 [注水先]	A/B 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全域ガス消火設備																								

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉				相違理由	
		関連 条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 プラント配置、設備及び 系統構成の相違による 火災防護対策の相違
		47	【代替再循環運転 (B-格納容 器スプレイポンプ) (運転停止中の場合、フロント ライン系機絶喪失時)】 B-格納容器スプレイポンプ B-格納容器再循環サンプ [水 源] B-格納容器再循環サンプスク リーン [流路] B-格納容器スプレイ冷却器 [流路] B-安全注入ポンプ再循環サンプ 側入口C/V外側隔離弁 [流 路] 原子炉格納容器スプレイ設備及 び余熱除去設備 配管・弁 [流 路] 原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原 子炉補機冷却海水ポンプ、原 子炉補機冷却水サージタンク、原 子炉補機冷却水冷却器並びに原 子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路] 及び原子炉補機冷却海 水設備 配管・弁、ストレーナ [流路]) 1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポン プ、加圧器、1次冷却材管、加 圧器サージ管) 原子炉容器 [注水先]	A/B 1-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
		47		A/B 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	
				C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォータミスト (C/Vスプレイ設備)	
				R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
		47	【蒸気発生器2次側からの除熱 (補助給水ポンプ) (運転停止中の場合、フロント ライン系機絶喪失時)】 電動補助給水ポンプ タービン動補助給水ポンプ 補助給水ピット [水源] 主蒸気過かし弁 蒸気発生器 [注水先] 主蒸気管 [流路] 補助給水設備 配管・弁 [流 路] 主蒸気設備 配管・弁 [流路]	R/B 3-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 3-05	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 3-03-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 5-03	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉				相違理由	
		関連 条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 プラント配置、設備及び 系統構成の相違による 火災防護対策の相違
				R/B 3-08-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 3-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 3-05	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
			【代替炉心注水 (代替格納容器 スプレイポンプ) (代替電源) (運転停止中の場合、サポート 系機能喪失時)】	R/B 3-03-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
			代替格納容器スプレイポンプ 燃料取替用水ピット [水源] 補助給水ピット [水源] 非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]	R/B 5-03	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	
		47	補助給水設備 配管・弁 [流 路]				
			原子炉格納容器スプレイ設備及 び余熱除去設備 配管・弁 [流 路]	A/B 3-01-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
			1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポン プ、加圧器、1次冷却材管、加 圧器サージ管) 原子炉容器 [注水先]	R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				A/B 4-01-7	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 クォータミスト (C/Vスプレイ設備)	
				A/B 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																															
		<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1346 165 1391 197">関連条文</th> <th data-bbox="1391 165 1576 197">【系統機能】 主要設備</th> <th data-bbox="1576 165 1666 197">火災区域又は 火災区画番号</th> <th data-bbox="1666 165 1809 197">感知設備</th> <th data-bbox="1809 165 1951 197">消火設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7" style="text-align: center; vertical-align: middle;">47</td> <td rowspan="7">【代替炉心注水 (可搬型大型送水ポンプ車) (運転停止中の場合、サポート系機能喪失時)】 補助給水設備又は燃料取扱用水設備 配管・弁 [流路] 原子炉格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁 [流路] 1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管) 原子炉容器 [注水先] 非常用取水設備 [流路] (貯留庫、取水口、取水路、取水ビットスクリーン室、取水ビットポンプ室)</td> <td>R/B 3-04</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>R/B 3-05</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>R/B 3-03-1</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>R/B 5-03</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>C/V 3-01</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>消火器又は消火栓 フォータミスト (C/Vスプレイ設備)</td> </tr> <tr> <td>A/B 3-01-1</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>R/B 4-02-1</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>A/B 2-02</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備	47	【代替炉心注水 (可搬型大型送水ポンプ車) (運転停止中の場合、サポート系機能喪失時)】 補助給水設備又は燃料取扱用水設備 配管・弁 [流路] 原子炉格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁 [流路] 1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管) 原子炉容器 [注水先] 非常用取水設備 [流路] (貯留庫、取水口、取水路、取水ビットスクリーン室、取水ビットポンプ室)	R/B 3-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	R/B 3-05	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	R/B 3-03-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	R/B 5-03	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 フォータミスト (C/Vスプレイ設備)	A/B 3-01-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	A/B 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 プラント配置、設備及び系統構成の相違による 火災防護対策の相違
関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備																														
47	【代替炉心注水 (可搬型大型送水ポンプ車) (運転停止中の場合、サポート系機能喪失時)】 補助給水設備又は燃料取扱用水設備 配管・弁 [流路] 原子炉格納容器スプレイ設備及び余熱除去設備 配管・弁 [流路] 1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器サージ管) 原子炉容器 [注水先] 非常用取水設備 [流路] (貯留庫、取水口、取水路、取水ビットスクリーン室、取水ビットポンプ室)	R/B 3-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																														
		R/B 3-05	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																														
		R/B 3-03-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																														
		R/B 5-03	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備																														
		C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 フォータミスト (C/Vスプレイ設備)																														
		A/B 3-01-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																														
		R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																														
A/B 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備																																

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉				相違理由	
		関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備	【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 プラント配置、設備及び 系統構成の相違による 火災防護対策の相違
		47	【代替炉心注水 (充てんポンプ (自己冷却)) (運転停止中の場合、サポート 系機能喪失時)】 B-充てんポンプ 燃料取扱用水ヒット [水源] 再生熱交換器 [流路] 非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路] 化学体積制御設備 配管・弁 [流路] 原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路] 1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポン プ、加圧器、1次冷却材管、加 圧器サージ管) 原子炉容器 [注水先]	A/B 3-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				A/B 3-01-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				A/B 4-01-7	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 2-01	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 2-02	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレー設備)	
		47	【代替再循環運転 (A-高圧注 入ポンプ (海水冷却)) (運転停止中の場合、サポート 系機能喪失時)】 A-高圧注入ポンプ A-格納容器再循環サンプ [水 源] A-格納容器再循環サンプスタ クリーン [流路] A-安全注入ポンプ再循環サ ンプ出入口C/V外側隔離弁 [流 路] H ₂ O酸注入タンク [流路] 高圧再循環系 配管・弁 [流 路] 原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路] 1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポン プ、加圧器、1次冷却材管、加 圧器サージ管) 原子炉容器 [注水先] 非常用取水設備 [流路]	A/B 1-03	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				A/B 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 2-01	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 2-02	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 2-03	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																													
		<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1350 165 1391 204">関連 条文</th> <th data-bbox="1391 165 1581 204">【系統機能】 主要設備</th> <th data-bbox="1581 165 1675 204">火災区域又は 火災区画番号</th> <th data-bbox="1675 165 1816 204">感知設備</th> <th data-bbox="1816 165 1960 204">消火設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">47</td> <td>【蒸気発生器2次側からの除熱 (補助給水ポンプ) (代替電 源) (運転停止中の場合、サポート 系機能喪失時)】 電動補助給水ポンプ タービン駆動補助給水ポンプ 補助給水ピット【水源】 主蒸気逃がし弁 蒸気発生器【注水先】 主蒸気管【流路】 補助給水設備 配管・弁【流 路】 主蒸気設備 配管・弁【流路】</td> <td>R/B 3-04</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td>R/B 3-05</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td>R/B 3-03-1</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td>R/B 5-03</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">47</td> <td rowspan="7">【伊心注水(高圧注入ポンプ) (溶融伊心の原子炉格納容器下 部への落下遅延及び防止、交流 動力電源及び原子炉補機冷却機 能が健全である場合)】 高圧注入ポンプ 燃料取替用水ピット【水源】 ほう酸注入タンク【流路】 非常用伊心冷却設備 配管・弁 【流路】 高圧注入系 配管・弁【流路】 原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原 子炉補機冷却海水ポンプ、原 子炉補機冷却水サージタンク、原 子炉補機冷却水冷却器並びに原 子炉補機冷却水設備 配管・弁 【流路】及び原子炉補機冷却海 水設備 配管・弁、ストレーナ 【流路】) 1次冷却設備【流路】 (蒸気発生器、1次冷却材ポン プ、加圧器、1次冷却材管、加 圧器サージ管) 原子炉容器【注水先】</td> <td>A/B 1-03</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>A/B 1-04</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>A/B 3-01-1</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>R/B 4-02-1</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>A/B 4-01-7</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>A/B 2-02</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>C/V 3-01</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレー設備)</td> </tr> </tbody> </table>	関連 条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備	47	【蒸気発生器2次側からの除熱 (補助給水ポンプ) (代替電 源) (運転停止中の場合、サポート 系機能喪失時)】 電動補助給水ポンプ タービン駆動補助給水ポンプ 補助給水ピット【水源】 主蒸気逃がし弁 蒸気発生器【注水先】 主蒸気管【流路】 補助給水設備 配管・弁【流 路】 主蒸気設備 配管・弁【流路】	R/B 3-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備		R/B 3-05	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備		R/B 3-03-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備		R/B 5-03	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	47	【伊心注水(高圧注入ポンプ) (溶融伊心の原子炉格納容器下 部への落下遅延及び防止、交流 動力電源及び原子炉補機冷却機 能が健全である場合)】 高圧注入ポンプ 燃料取替用水ピット【水源】 ほう酸注入タンク【流路】 非常用伊心冷却設備 配管・弁 【流路】 高圧注入系 配管・弁【流路】 原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原 子炉補機冷却海水ポンプ、原 子炉補機冷却水サージタンク、原 子炉補機冷却水冷却器並びに原 子炉補機冷却水設備 配管・弁 【流路】及び原子炉補機冷却海 水設備 配管・弁、ストレーナ 【流路】) 1次冷却設備【流路】 (蒸気発生器、1次冷却材ポン プ、加圧器、1次冷却材管、加 圧器サージ管) 原子炉容器【注水先】	A/B 1-03	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	A/B 1-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	A/B 3-01-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	A/B 4-01-7	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	A/B 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレー設備)	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 (女川実績の反映) <p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■設計の相違 プラント配置、設備及び 系統構成の相違による 火災防護対策の相違
関連 条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備																																												
47	【蒸気発生器2次側からの除熱 (補助給水ポンプ) (代替電 源) (運転停止中の場合、サポート 系機能喪失時)】 電動補助給水ポンプ タービン駆動補助給水ポンプ 補助給水ピット【水源】 主蒸気逃がし弁 蒸気発生器【注水先】 主蒸気管【流路】 補助給水設備 配管・弁【流 路】 主蒸気設備 配管・弁【流路】	R/B 3-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																												
		R/B 3-05	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																												
		R/B 3-03-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																												
		R/B 5-03	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備																																												
47	【伊心注水(高圧注入ポンプ) (溶融伊心の原子炉格納容器下 部への落下遅延及び防止、交流 動力電源及び原子炉補機冷却機 能が健全である場合)】 高圧注入ポンプ 燃料取替用水ピット【水源】 ほう酸注入タンク【流路】 非常用伊心冷却設備 配管・弁 【流路】 高圧注入系 配管・弁【流路】 原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原 子炉補機冷却海水ポンプ、原 子炉補機冷却水サージタンク、原 子炉補機冷却水冷却器並びに原 子炉補機冷却水設備 配管・弁 【流路】及び原子炉補機冷却海 水設備 配管・弁、ストレーナ 【流路】) 1次冷却設備【流路】 (蒸気発生器、1次冷却材ポン プ、加圧器、1次冷却材管、加 圧器サージ管) 原子炉容器【注水先】	A/B 1-03	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																												
		A/B 1-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																												
		A/B 3-01-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																												
		R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																												
		A/B 4-01-7	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																												
		A/B 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備																																												
		C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレー設備)																																												

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉				相違理由	
		関連 条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備	【大飯】
		47	【炉心注水 (余熱除去ポンプ)】 (炉心注水の原子炉格納容器下部への落下遅延及び防止、交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合)】 余熱除去ポンプ 燃料取替用水ピット【水源】 余熱除去冷却器【流路】 非常用炉心冷却設備 配管・弁【流路】 余熱除去設備 配管・弁【流路】 原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁【流路】及び原子炉補機冷却水設備 配管・弁・ストレーナ【流路】) 1次冷却設備【流路】 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器ケーシング) 原子炉容器【注水先】	A/B 1-03	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	■記載方針の相違 (女川実績の反映)
	A/B 1-04			煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	【女川】 ■設計の相違	
	A/B 3-01-1			煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	プラント配置、設備及び 系統構成の相違による 火災防護対策の相違	
	R/B 4-02-1			煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備		
	A/B 4-01-7			煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備		
	C/V 3-01			煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレー設備)		
	A/B 2-02			煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備		
	A/B 3-03			煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備		
	A/B 3-04			煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備		
	A/B 3-00			煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備		
	47	【炉心注水 (充てんポンプ)】 (炉心注水の原子炉格納容器下部への落下遅延及び防止、交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合)】 充てんポンプ 燃料取替用水ピット【水源】 再生熱交換器【流路】 非常用炉心冷却設備 配管・弁【流路】 化学体積削減設備 配管・弁【流路】 原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁【流路】及び原子炉補機冷却水設備 配管・弁・ストレーナ【流路】) 1次冷却設備【流路】 (蒸気発生器、1次冷却材ポンプ、加圧器、1次冷却材管、加圧器ケーシング) 原子炉容器【注水先】	A/B 3-01-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備		
			R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備		
			A/B 4-01-7	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備		
			C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレー設備)		

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉				相違理由	
		関連 条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備	【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 プラント配置、設備及び 系統構成の相違による 火災防護対策の相違
				A/B 1-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
		47	【代替炉心注水 (B-格納容器 スプレイポンプ) (溶融炉心の原子炉格納容器下 部への落下遅延及び防止、交流 動力電源及び原子炉補機冷却機 能が健全である場合)】 B-格納容器スプレイポンプ 燃料取扱用水ピット【水廊】 B-格納容器スプレイ冷却器 【流路】	A/B 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	
			非常用炉心冷却設備 配管・弁 【流路】 原子炉格納容器スプレイ設備及 び余熱除去設備 配管・弁【流 路】	A/B 3-01-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
			原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原 子炉補機冷却海水ポンプ、原 子炉補機冷却水サージタンク、原 子炉補機冷却水冷却器並びに原 子炉補機冷却水設備、配管・弁 【流路】及び原子炉補機冷却海 水設備 配管・弁・ストレーナ 【流路】)	A/B 4-01-7	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
			1次冷却設備【流路】 (蒸気発生器、1次冷却材ポン プ、加圧器、1次冷却材管、加 圧器サージ管) 原子炉容器【注水先】	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォータミスト (C/Vスプレイ設備)	
				R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉				相違理由	
		関連 条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備	【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 プラント配置、設備及び 系統構成の相違による 火災防護対策の相違
				R/B 3-08-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	
				A/B 3-01-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
			【代替炉心注水 (代替格納容器 スプレイポンプ) (溶融炉心の原子炉格納容器下 部への落下遅延及び防止。交流 動力電源及び原子炉補機冷却機 能が健全である場合)】	R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
			代替格納容器スプレイポンプ 燃料取替用ヒット【水側】 補助給水ピット【水側】	A/B 4-01-7	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
		47	非常用炉心冷却設備 配管・弁 補助給水設備 配管・弁【流 路】	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレイ設備)	
			原子炉格納容器スプレイ設備及 び余熱除去設備 配管・弁【流 路】	R/B 3-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
			1次冷却設備【流路】 (蒸気発生器、1次冷却材ポン プ、加圧器、1次冷却材管、加 圧器サージ管) 原子炉容器【注水先】	R/B 3-05	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 3-03-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 5-03	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉				相違理由	
		関連 条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備	【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 プラント配置、設備及び 系統構成の相違による 火災防護対策の相違
				A/B 3-04	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	
				A/B 3-01-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	
		47	【代替炉心注水（充てんポンプ (自己冷却) (溶融炉心の原子炉格納容器下 部への落下遅延及び防止、全交 流動力電源喪失又は原子炉補機 冷却機能喪失時)】 B-充てんポンプ 燃料取替用水ピット〔水源〕 再生熱交換器〔流路〕 非常用炉心冷却設備 配管・弁 〔流路〕 化学体積制御設備 配管・弁 〔流路〕 原子炉補機冷却水設備 配管・ 弁〔流路〕 1次冷却設備〔流路〕 (蒸気発生器、1次冷却材ポン プ、加圧器、1次冷却材管、加 圧器サージ管) 原子炉容器〔注水先〕	R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	
				A/B 4-01-7	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	
				R/B 2-01	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	
				R/B 2-02	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	
				C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレー設備)	

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉			相違理由		
		関連 条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備	【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 プラント配置、設備及び 系統構成の相違による 火災防護対策の相違
				R/B 3-08-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	
				A/B 3-01-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
			【代替炉心注水 (代替格納容器 スプレイポンプ) (代替電源) (炉心下部の原子炉格納容器下 部への落下遅延及び防止、全交 流動力電源喪失又は原子炉補機 冷却機能喪失時)】 代替格納容器スプレイポンプ 燃料取替用水ビット [水源] 補助給水ビット [水源] 非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路]	A/B 4-01-7	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
		47	補助給水設備 配管・弁 [流 路] 原子炉格納容器スプレイ設備及 び余熱除去設備 配管・弁 [流 路] 1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポン プ、加圧器、1次冷却材管、加 圧器サージ管) 原子炉容器 [注水先]	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火検 ウオータミスト (C/Vスプレイ設備)	
				R/B 3-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 3-05	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 3-03-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 5-03	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	
				A/B 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉				相違理由	
		関連 条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 (女川実績の反映) ■【女川】 ■設計の相違 プラント配置、設備及び 系統構成の相違による 火災防護対策の相違
		47	【余熱除去設備】 余熱除去ポンプ 余熱除去冷却器 余熱除去設備 (配管・弁 [流 路]) 原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原 子炉補機冷却海水ポンプ、原 子炉補機冷却水サージタンク、原 子炉補機冷却水冷却器並びに原 子炉補機冷却水設備 (配管・弁 [流路])及び原子炉補機冷却海 水設備 (配管・弁、ストレーナ [流路]) 1次冷却設備 [流路] (蒸気発生器、1次冷却材ポン プ、加圧器、1次冷却材管、加 圧器サージ管) 原子炉容器 [注水先]	A/B 1-03	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				A/B 1-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレイ設備)	
				R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				A/B 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	
				A/B 1-03	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				A/B 1-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				A/B 3-01-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				A/B 4-01-7	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレイ設備)	
				A/B 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉				相違理由	
		関連 本文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 (女川実績の反映) <p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■設計の相違 プラント配置、設備及び 系統構成の相違による 火災防護対策の相違
		48	【蒸気発生器2次側からの除熱 (補助給水ポンプ) (フロントライン系機能喪失 時)】 電動補助給水ポンプ タービン熱補助給水ポンプ 補助給水ピット〔水原〕 主蒸気逃がし弁 蒸気発生器〔圧水先〕 主蒸気管〔流路〕 補助給水設備 配管・弁〔流 路〕 主蒸気設備 配管・弁〔流路〕	R/B 3-04 R/B 3-05 R/B 3-03-1 R/B 5-03	煙感知器・熱感知器 煙感知器・熱感知器 煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備 全城ガス消火設備 全城ガス消火設備 全城ガス消火設備	
		48	【格納容器内自然対流冷却 (C /V再循環ユニット；海水) (フロントライン系機能喪失 時)】 C、D-格納容器再循環ユニ ャット 原子炉補機冷却水設備 配管・ 弁〔流路〕 可搬型温度計装置 原子炉格納容器 非常用取水設備〔流路〕 (貯留庫、取水口、取水路、取 水ピットスクリーン室、取水 ピットポンプ室)	R/B 2-01 R/B 2-02	煙感知器・熱感知器 煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備 全城ガス消火設備	

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉				相違理由	
		関連条文 48	【系統機能】 主要設備 【代替補機冷却 (A-SIP (海水冷却) (フロントライン系機能喪失時)) A-高圧注入ポンプ 原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路] 非常用取水設備 [流路] (貯留罐、取水口、取水路、取水ビットスクリーン室、取水ビットポンプ室)	火災区域又は火災区画番号 A/B 1-03	感知設備 煙感知器・熱感知器	消火設備 全城ガス消火設備	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 <p>プラント配置、設備及び系統構成の相違による火災防護対策の相違</p>
		48	【蒸気発生器2次側からの除熱 (補助給水ポンプ) (代替電源) (サポート系機能喪失時)】 電動補助給水ポンプ タービン動補助給水ポンプ 補助給水ビット [水源] 主蒸気逃がし弁 蒸気発生器 [注水先] 主蒸気管 [流路] 補助給水設備 配管・弁 [流路] 主蒸気設備 配管・弁 [流路]	R/B 3-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 3-05	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 3-03-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 5-03	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉				相違理由																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1350 153 1391 193">関連条文</th> <th data-bbox="1391 153 1576 193">【系統機能】 主要設備</th> <th data-bbox="1576 153 1666 193">火災区域又は 火災区画番号</th> <th data-bbox="1666 153 1809 193">感知設備</th> <th data-bbox="1809 153 1951 193">消火設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1350 193 1391 571">48</td> <td data-bbox="1391 193 1576 571"> 【格納容器内自然対流冷却 (海水) (サボート系機能喪失時)】 C、D-格納容器再循環ユニット 原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路] 可搬型温度計測装置 (注2) 原子炉格納容器 非常用取水設備 [流路] </td> <td data-bbox="1576 193 1666 316">C/V 3-01</td> <td data-bbox="1666 193 1809 316">煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td data-bbox="1809 193 1951 316">消火器又は消火栓 クォータミスト (C/Vスプレー設備)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1350 316 1391 438"></td> <td data-bbox="1391 316 1576 438"></td> <td data-bbox="1576 316 1666 438">R/B 2-01</td> <td data-bbox="1666 316 1809 438">煙感知器・熱感知器</td> <td data-bbox="1809 316 1951 438">全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1350 438 1391 571"></td> <td data-bbox="1391 438 1576 571"></td> <td data-bbox="1576 438 1666 571">R/B 2-02</td> <td data-bbox="1666 438 1809 571">煙感知器・熱感知器</td> <td data-bbox="1809 438 1951 571">全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1350 571 1391 758">48</td> <td data-bbox="1391 571 1576 758"> 【代替補機冷却 (高圧注入ポンプ (海水冷却) (代替電源)) (サボート系機能喪失時)】 A-高圧注入ポンプ 原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路] 非常用取水設備 [流路] (貯留罐、取水口、取水路、取水ビットスクリーン室、取水ビットポンプ室) </td> <td data-bbox="1576 571 1666 667">A/B 1-03</td> <td data-bbox="1666 571 1809 667">煙感知器・熱感知器</td> <td data-bbox="1809 571 1951 667">全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1350 667 1391 758"></td> <td data-bbox="1391 667 1576 758"></td> <td data-bbox="1576 667 1666 758">R/B 2-01</td> <td data-bbox="1666 667 1809 758">煙感知器・熱感知器</td> <td data-bbox="1809 667 1951 758">全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1350 758 1391 858"></td> <td data-bbox="1391 758 1576 858"></td> <td data-bbox="1576 758 1666 858">R/B 2-02</td> <td data-bbox="1666 758 1809 858">煙感知器・熱感知器</td> <td data-bbox="1809 758 1951 858">全域ガス消火設備</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備	48	【格納容器内自然対流冷却 (海水) (サボート系機能喪失時)】 C、D-格納容器再循環ユニット 原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路] 可搬型温度計測装置 (注2) 原子炉格納容器 非常用取水設備 [流路]	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 クォータミスト (C/Vスプレー設備)			R/B 2-01	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備			R/B 2-02	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	48	【代替補機冷却 (高圧注入ポンプ (海水冷却) (代替電源)) (サボート系機能喪失時)】 A-高圧注入ポンプ 原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路] 非常用取水設備 [流路] (貯留罐、取水口、取水路、取水ビットスクリーン室、取水ビットポンプ室)	A/B 1-03	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備			R/B 2-01	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備			R/B 2-02	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 <p>プラント配置、設備及び系統構成の相違による火災防護対策の相違</p>
関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備																																		
48	【格納容器内自然対流冷却 (海水) (サボート系機能喪失時)】 C、D-格納容器再循環ユニット 原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路] 可搬型温度計測装置 (注2) 原子炉格納容器 非常用取水設備 [流路]	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 クォータミスト (C/Vスプレー設備)																																		
		R/B 2-01	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																		
		R/B 2-02	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																		
48	【代替補機冷却 (高圧注入ポンプ (海水冷却) (代替電源)) (サボート系機能喪失時)】 A-高圧注入ポンプ 原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路] 非常用取水設備 [流路] (貯留罐、取水口、取水路、取水ビットスクリーン室、取水ビットポンプ室)	A/B 1-03	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																		
		R/B 2-01	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																		
		R/B 2-02	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																		

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉				相違理由																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1346 156 1391 188">関連条文</th> <th data-bbox="1391 156 1576 188">【系統機能】 主要設備</th> <th data-bbox="1576 156 1671 188">火災区域又は 火災区画番号</th> <th data-bbox="1671 156 1812 188">感知設備</th> <th data-bbox="1812 156 1951 188">消火設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1346 188 1391 268"></td> <td data-bbox="1391 188 1576 268"></td> <td data-bbox="1576 188 1671 268">R/B 2-01</td> <td data-bbox="1671 188 1812 268">煙感知器・熱感知器</td> <td data-bbox="1812 188 1951 268">全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1346 268 1391 347"></td> <td data-bbox="1391 268 1576 347"></td> <td data-bbox="1576 268 1671 347">R/B 2-02</td> <td data-bbox="1671 268 1812 347">煙感知器・熱感知器</td> <td data-bbox="1812 268 1951 347">全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1346 347 1391 427">48</td> <td data-bbox="1391 347 1576 427">【原子炉補機冷却設備】 原子炉補機冷却水ポンプ 原子炉補機冷却海水ポンプ 原子炉補機冷却水設備 配管・ 弁・サージタンク [液路] 原子炉補機冷却海水設備 配 管・弁・ストレーナ [蒸路] 原子炉補機冷却水冷却器</td> <td data-bbox="1576 347 1671 427">R/B 8-02</td> <td data-bbox="1671 347 1812 427">煙感知器・熱感知器</td> <td data-bbox="1812 347 1951 427">全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1346 427 1391 507"></td> <td data-bbox="1391 427 1576 507"></td> <td data-bbox="1576 427 1671 507">CWP/B 1-01</td> <td data-bbox="1671 427 1812 507">煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td data-bbox="1812 427 1951 507">全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1346 507 1391 587"></td> <td data-bbox="1391 507 1576 587"></td> <td data-bbox="1576 507 1671 587">CWP/B 1-02-1</td> <td data-bbox="1671 507 1812 587">煙感知器・熱感知器</td> <td data-bbox="1812 507 1951 587">全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1346 587 1391 667"></td> <td data-bbox="1391 587 1576 667"></td> <td data-bbox="1576 587 1671 667">CWP/B 1-02-2</td> <td data-bbox="1671 587 1812 667">煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td data-bbox="1812 587 1951 667">全城ガス消火設備</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備			R/B 2-01	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備			R/B 2-02	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	48	【原子炉補機冷却設備】 原子炉補機冷却水ポンプ 原子炉補機冷却海水ポンプ 原子炉補機冷却水設備 配管・ 弁・サージタンク [液路] 原子炉補機冷却海水設備 配 管・弁・ストレーナ [蒸路] 原子炉補機冷却水冷却器	R/B 8-02	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備			CWP/B 1-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備			CWP/B 1-02-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備			CWP/B 1-02-2	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 (女川実績の反映) <p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■設計の相違 プラント配置、設備及び 系統構成の相違による 火災防護対策の相違
関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備																																		
		R/B 2-01	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																		
		R/B 2-02	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																		
48	【原子炉補機冷却設備】 原子炉補機冷却水ポンプ 原子炉補機冷却海水ポンプ 原子炉補機冷却水設備 配管・ 弁・サージタンク [液路] 原子炉補機冷却海水設備 配 管・弁・ストレーナ [蒸路] 原子炉補機冷却水冷却器	R/B 8-02	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																		
		CWP/B 1-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備																																		
		CWP/B 1-02-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																		
		CWP/B 1-02-2	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備																																		

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉				相違理由	
		関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備	【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 プラント配置、設備及び 系統構成の相違による 火災防護対策の相違
		49	【格納容器内自然対流冷却 (原子炉補機冷却水) (炉心の著しい損傷防止、フロントライン系機能喪失時)】 C、D-格納容器再循環ユニット C、D-原子炉補機冷却水ポンプ C、D-原子炉補機冷却水冷却器 原子炉補機冷却水サージタンク C、D-原子炉補機冷却海水ポンプ C、D-原子炉補機冷却海水ポンプ出口ストレーナ [流路] C、D-原子炉補機冷却海水冷却器海水入口ストレーナ [流路] 原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路] 原子炉補機冷却海水設備 配管・弁 [流路] 可搬型温度計測装置 (注2) 原子炉格納容器 非常用取水設備 [流路] (貯留罐、取水口、取水路、取水ピットスクリーン室、取水ピットポンプ室) 原子炉補機冷却水サージタンク加圧用可搬型窒素ガスポンプホース・弁 [流路]	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレー設備)	
				R/B 2-01	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 2-02	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				CWP/B 1-02-2	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 8-01	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉				相違理由	
		関連 条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備	【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 プラント配置、設備及び 系統構成の相違による 火災防護対策の相違
				R/B 3-08-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	
				A/B 3-01-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
			【代替格納容器スプレィ (代替 格納容器スプレィポンプ) (炉心の著しい損傷防止、フロ ントライン系機能喪失時)】 代替格納容器スプレィポンプ 燃料取替用水セット【水源】 補助給水セット【本設】	A/B 4-01-7	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
		49	非常用炉心冷却設備 配管・弁 【流路】 補助給水設備 配管・弁【流 路】 原子炉格納容器スプレィ設備 配管・弁 【流路】 原子炉格納容器【注水先】	C/Y 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレィ設備)	
				R/B 3-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 3-05	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 3-03-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 5-03	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1346 161 1391 193">関連条文</th> <th data-bbox="1391 161 1576 193">【系統機能】 主要設備</th> <th data-bbox="1576 161 1673 193">火災区域又は 火災区画番号</th> <th data-bbox="1673 161 1812 193">感知設備</th> <th data-bbox="1812 161 1951 193">消火設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>R/B 3-08-1</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>A/B 3-01-1</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>R/B 4-02-1</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>A/B 4-01-7</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>4D</td> <td>【代替格納容器スプレィ (代替格納容器スプレィポンプ) (代替電源) (炉心の著しい損傷防止、サポート系機能喪失時)】 代替格納容器スプレィポンプ 燃料取替用水ピット [水源] 補助給水ピット [水源] 非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路] 補助給水設備 配管・弁 [流路] 原子炉格納容器スプレィ設備 配管・弁 [流路] 原子炉格納容器 [注水先]</td> <td>C/V 3-01</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレィ設備)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>R/B 3-04</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>R/B 3-05</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>R/B 3-03-1</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>R/B 5-03</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備			R/B 3-08-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備			A/B 3-01-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備			R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備			A/B 4-01-7	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	4D	【代替格納容器スプレィ (代替格納容器スプレィポンプ) (代替電源) (炉心の著しい損傷防止、サポート系機能喪失時)】 代替格納容器スプレィポンプ 燃料取替用水ピット [水源] 補助給水ピット [水源] 非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路] 補助給水設備 配管・弁 [流路] 原子炉格納容器スプレィ設備 配管・弁 [流路] 原子炉格納容器 [注水先]	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレィ設備)			R/B 3-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備			R/B 3-05	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備			R/B 3-03-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備			R/B 5-03	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 <p>プラント配置、設備及び系統構成の相違による火災防護対策の相違</p>
関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備																																																	
		R/B 3-08-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備																																																	
		A/B 3-01-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																	
		R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																	
		A/B 4-01-7	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																	
4D	【代替格納容器スプレィ (代替格納容器スプレィポンプ) (代替電源) (炉心の著しい損傷防止、サポート系機能喪失時)】 代替格納容器スプレィポンプ 燃料取替用水ピット [水源] 補助給水ピット [水源] 非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路] 補助給水設備 配管・弁 [流路] 原子炉格納容器スプレィ設備 配管・弁 [流路] 原子炉格納容器 [注水先]	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレィ設備)																																																	
		R/B 3-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																	
		R/B 3-05	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																	
		R/B 3-03-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																	
		R/B 5-03	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備																																																	

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉				相違理由																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1350 161 1391 204">関連条文</th> <th data-bbox="1391 161 1576 204">【系統機能】 主要設備</th> <th data-bbox="1576 161 1666 204">火災区域又は 火災区画番号</th> <th data-bbox="1666 161 1807 204">感知設備</th> <th data-bbox="1807 161 1942 204">消火設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1350 204 1391 608">49</td> <td data-bbox="1391 204 1576 608"> 【格納容器内自然対流冷却 (海水) (炉心の著しい損傷防止、セ ボート系統能喪失時)】 C、D-格納容器再循環ユニッ ト 原子炉堆積冷却水設備 配管・ 弁 [流路] 可搬型温度計測装置 (注2) 原子炉格納容器 非常用取水設備 [流路] (貯留罐、取水口、取水路、取 水ビットスクリーン室、取水 ビットポンプ室) </td> <td data-bbox="1576 204 1666 268">C/V 3-01</td> <td data-bbox="1666 204 1807 268">煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炭感知器</td> <td data-bbox="1807 204 1942 268">消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレイ設備)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1350 268 1391 347"></td> <td data-bbox="1391 268 1576 347"></td> <td data-bbox="1576 268 1666 347">R/B 2-01</td> <td data-bbox="1666 268 1807 347">煙感知器・熱感知器</td> <td data-bbox="1807 268 1942 347">全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1350 347 1391 608"></td> <td data-bbox="1391 347 1576 608"></td> <td data-bbox="1576 347 1666 608">R/B 2-02</td> <td data-bbox="1666 347 1807 608">煙感知器・熱感知器</td> <td data-bbox="1807 347 1942 608">全城ガス消火設備</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備	49	【格納容器内自然対流冷却 (海水) (炉心の著しい損傷防止、セ ボート系統能喪失時)】 C、D-格納容器再循環ユニッ ト 原子炉堆積冷却水設備 配管・ 弁 [流路] 可搬型温度計測装置 (注2) 原子炉格納容器 非常用取水設備 [流路] (貯留罐、取水口、取水路、取 水ビットスクリーン室、取水 ビットポンプ室)	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炭感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレイ設備)			R/B 2-01	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備			R/B 2-02	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 プラント配置、設備及び 系統構成の相違による 火災防護対策の相違
関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備																			
49	【格納容器内自然対流冷却 (海水) (炉心の著しい損傷防止、セ ボート系統能喪失時)】 C、D-格納容器再循環ユニッ ト 原子炉堆積冷却水設備 配管・ 弁 [流路] 可搬型温度計測装置 (注2) 原子炉格納容器 非常用取水設備 [流路] (貯留罐、取水口、取水路、取 水ビットスクリーン室、取水 ビットポンプ室)	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炭感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレイ設備)																			
		R/B 2-01	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																			
		R/B 2-02	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																			

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉				相違理由	
		関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備	【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 プラント配置、設備及び 系統構成の相違による 火災防護対策の相違
				C/Y 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォータミスト (C/Yスプレイ設備)	
		49	【格納容器内自然対流冷却(原子炉補機冷却水) (格納容器破損防止、フロントライン系機能喪失時)】 C、D-格納容器再循環ユニット C、D-原子炉補機冷却水ポンプ C、D-原子炉補機冷却水冷却器 原子炉補機冷却水サージタンク C、D-原子炉補機冷却海水ポンプ C、D-原子炉補機冷却海水ポンプ出口ストレーナ【流路】 C、D-原子炉補機冷却海水冷却器海水入口ストレーナ【流路】 原子炉補機冷却水設備 配管・弁【流路】 原子炉補機冷却海水設備 配管・弁【流路】 可搬型温度計装置(注2) 原子炉格納容器 非常用取水設備【流路】 (貯留罐、取水口、取水路、取水ビットスクリーン室、取水ビットポンプ室) 原子炉補機冷却水サージタンク 加圧用可搬型窒素ガスポンプ ホース・弁【流路】	R/B 2-01	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	
				R/B 2-02	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	
				CWP/B 1-02-2	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全域ガス消火設備	
				R/B 8-01	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉				相違理由	
		関連 条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備	【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 プラント配置、設備及び 系統構成の相違による 火災防護対策の相違
				R/B 3-08-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全域ガス消火設備	
				A/B 3-01-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	
				R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	
			【代替格納容器スプレイ (代替 格納容器スプレイポンプ) (格納容器破損防止、フロント ライン系機能喪失時)】	A/B 4-01-7	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	
			代替格納容器スプレイポンプ 燃料取替用水ピット【水源】 補助給水ピット【水源】	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォータミスト (C/Vスプレイ設備)	
			非常用炉心冷却設備 配管・弁 【流路】 補助給水設備 配管・弁【流 路】 原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁 【流路】 原子炉格納容器【注水先】	R/B 3-04	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	
				R/B 3-05	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	
				R/B 3-03-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	
				R/B 5-03	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全域ガス消火設備	

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉				相違理由	
		関連 条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 プラント配置、設備及び 系統構成の相違による 火災防護対策の相違
		49	【代替格納容器スプレイ (代替格納容器スプレイポンプ) (代替電源) (格納容器破損防止、サポート系機能喪失時)】 代替格納容器スプレイポンプ 燃料取替用水ビット【水源】 補助給水ビット【水源】 非常用即心冷却設備 配管・弁 [沉路] 補助給水設備 配管・弁 [沉路] 原子伊格納容器スプレイ設備 配管・弁 [沉路] 原子伊格納容器 [注水先]	R/B 3-08-1 A/B 3-01-1 R/B 4-02-1 A/B 4-01-7 C/V 3-01 R/B 3-04 R/B 3-05 R/B 3-03-1 R/B 5-03 R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器 煙感知器・熱感知器 煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器 煙感知器・熱感知器 煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器 煙感知器・熱感知器 煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器 煙感知器・熱感知器 煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備 全城ガス消火設備 全城ガス消火設備 全城ガス消火設備 消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレイ設備) 全城ガス消火設備 全城ガス消火設備 全城ガス消火設備 全城ガス消火設備 全城ガス消火設備 全城ガス消火設備 全城ガス消火設備	
		49	【格納容器内自然対流冷却 (海水) (格納容器破損防止、サポート系機能喪失時)】 C、D-格納容器再蒸発ユニット 原子伊補機冷却水設備 配管・弁 [沉路] 可搬型温度計測装置 (注2) 原子伊格納容器 非常用取水設備 [沉路] (貯留槽、取水口、取水路、取水ビットスクリーン室、取水ビットポンプ室)	C/V 3-01 R/B 2-01 R/B 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器 煙感知器・熱感知器 煙感知器・熱感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレイ設備) 全城ガス消火設備 全城ガス消火設備	

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉				相違理由	
		関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備	【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 プラント配置、設備及び 系統構成の相違による 火災防護対策の相違
		49	【格納容器スプレー 格納容器スプレー再循環】 格納容器スプレーポンプ 格納容器スプレー冷却器 原子炉格納容器スプレー設備 配管・弁 燃料取替用水ピット【水取】 非常用炉心冷却設備 配管・弁 【流路】 格納容器再循環サンプ【水取】 格納容器再循環サンプスクリー	A/B 1-03	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				A/B 1-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				A/B 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	
				A/B 3-01-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
			原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原 子炉補機冷却海水ポンプ、原 子炉補機冷却水サージタンク、原 子炉補機冷却水冷却器並びに原 子炉補機冷却水設備 配管・弁 【流路】及び原子炉補機冷却海 水設備 配管・弁、ストレーナ 【流路】 原子炉格納容器【注水先】	R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				A/B 4-01-7	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				C/Y 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレー設備)	
		50	【格納容器スプレー (格納容器 スプレーポンプ) (交流動力電源及び原子炉補機 冷却機能が健全である場合)】 格納容器スプレーポンプ 格納容器スプレー冷却器【流 路】 非常用炉心冷却設備 配管・弁 【流路】 原子炉格納容器スプレー設備 配管・弁 【流路】 原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原 子炉補機冷却海水ポンプ、原 子炉補機冷却水サージタンク、原 子炉補機冷却水冷却器並びに原 子炉補機冷却水設備 配管・弁 【流路】及び原子炉補機冷却海 水設備 配管・弁、ストレーナ 【流路】 原子炉格納容器【注水先】	A/B 1-03	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				A/B 1-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				A/B 3-01-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				A/B 4-01-7	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				C/Y 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレー設備)	

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉				相違理由																											
		<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1346 165 1391 197">関連条文</th> <th data-bbox="1391 165 1576 197">【系統機能】 主要設備</th> <th data-bbox="1576 165 1666 197">火災区域又は 火災区画番号</th> <th data-bbox="1666 165 1807 197">感知設備</th> <th data-bbox="1807 165 1937 197">消火設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>C/V 3-01</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレー設備)</td> </tr> <tr> <td>50</td> <td>【格納容器内自然対流冷却 (原子炉補機冷却水) (交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合)】 C、D-格納容器再循環ユニット C、D-原子炉補機冷却水ポンプ C、D-原子炉補機冷却水冷却器 原子炉補機冷却水サージタンク C、D-原子炉補機冷却海水ポンプ C、D-原子炉補機冷却海水ポンプ出口ストレーナ [流路] C、D-原子炉補機冷却水冷却器海水入口ストレーナ [流路] 原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路] 原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路] 可搬型温度計測装置 (注2) 原子炉格納容器 非常用取水設備 [流路] (貯留罐、取水口、取水路、取水ピットスクリーン等、取水ピットポンプ等) 原子炉補機冷却水サージタンク 加圧用可搬型窒素ガスポンプ ホース・弁 [流路]</td> <td>E/B 2-01</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>E/B 2-02</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>CFP/B 1-02-2</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>E/B 8-01</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備			C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレー設備)	50	【格納容器内自然対流冷却 (原子炉補機冷却水) (交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合)】 C、D-格納容器再循環ユニット C、D-原子炉補機冷却水ポンプ C、D-原子炉補機冷却水冷却器 原子炉補機冷却水サージタンク C、D-原子炉補機冷却海水ポンプ C、D-原子炉補機冷却海水ポンプ出口ストレーナ [流路] C、D-原子炉補機冷却水冷却器海水入口ストレーナ [流路] 原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路] 原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路] 可搬型温度計測装置 (注2) 原子炉格納容器 非常用取水設備 [流路] (貯留罐、取水口、取水路、取水ピットスクリーン等、取水ピットポンプ等) 原子炉補機冷却水サージタンク 加圧用可搬型窒素ガスポンプ ホース・弁 [流路]	E/B 2-01	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備			E/B 2-02	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備			CFP/B 1-02-2	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備			E/B 8-01	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 <p>プラント配置、設備及び系統構成の相違による火災防護対策の相違</p>
関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備																													
		C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレー設備)																													
50	【格納容器内自然対流冷却 (原子炉補機冷却水) (交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合)】 C、D-格納容器再循環ユニット C、D-原子炉補機冷却水ポンプ C、D-原子炉補機冷却水冷却器 原子炉補機冷却水サージタンク C、D-原子炉補機冷却海水ポンプ C、D-原子炉補機冷却海水ポンプ出口ストレーナ [流路] C、D-原子炉補機冷却水冷却器海水入口ストレーナ [流路] 原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路] 原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路] 可搬型温度計測装置 (注2) 原子炉格納容器 非常用取水設備 [流路] (貯留罐、取水口、取水路、取水ピットスクリーン等、取水ピットポンプ等) 原子炉補機冷却水サージタンク 加圧用可搬型窒素ガスポンプ ホース・弁 [流路]	E/B 2-01	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																													
		E/B 2-02	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																													
		CFP/B 1-02-2	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備																													
		E/B 8-01	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																													

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉				相違理由	
		関連 条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備	【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)
				R/B 3-08-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	【女川】 ■設計の相違 プラント配置、設備及び 系統構成の相違による 火災防護対策の相違
				A/B 3-01-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
			【代替格納容器スプレイ (代替 格納容器スプレイポンプ) (交流動力電源及び原子炉補機 冷却機能が健全である場合)】 代替格納容器スプレイポンプ 燃料取替用水ピット [水源] 補助給水ピット [水源] 非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路] 補助給水設備 配管・弁 [流 路] 原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁 [流路] 原子炉格納容器 [注水先]	A/B 4-01-7	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレイ設備)	
				R/B 3-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 3-05	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 3-03-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 5-03	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉				相違理由	
		関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備	
		50	【格納容器内自然対流冷却 (海水) (全交流動力電源又は原子炉補機冷却機能喪失時)】 原子炉格納容器 C、D-格納容器再循環ユニット	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレー設備)	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 (女川実績の反映) <p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■設計の相違 プラント配置、設備及び 系統構成の相違による 火災防護対策の相違
			原子炉補機冷却水設備 配管・弁 [流路] 可搬型温度計測装置 (注2) 原子炉格納容器 非常用取水設備 [流路] (貯留罐、取水口、取水路、取水ビットスタクリーン室、取水ビットポンプ室)	R/B 2-01	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 2-02	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 3-08-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	
				A/B 3-01-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
			【代替格納容器スプレー (代替格納容器スプレーポンプ) (代替電源) (全交流動力電源又は原子炉補機冷却機能喪失時)】 代替格納容器スプレーポンプ 燃料取替水ビット [水源] 補助給水ビット [水源] 非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路] 補助給水設備 配管・弁 [流路]	A/B 4-01-7	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
		50	原子炉格納容器スプレー設備 配管・弁 [流路] 原子炉格納容器 [注水先]	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレー設備)	
				R/B 3-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 3-05	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 3-03-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 5-03	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1346 161 1391 193">関連条文</th> <th data-bbox="1391 161 1576 193">【系統機能】 主要設備</th> <th data-bbox="1576 161 1671 193">火災区域又は 火災区画番号</th> <th data-bbox="1671 161 1812 193">感知設備</th> <th data-bbox="1812 161 1951 193">消火設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7" style="text-align: center; vertical-align: middle;">51</td> <td>【格納容器スプレィ (格納容器スプレィポンプ) (交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合)】 格納容器スプレィポンプ 燃料取替用水ピット【水漏】 格納容器スプレィ冷却器【流路】 非常用炉心冷却設備 配管・弁【流路】</td> <td>A/B 1-03</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレィ設備 配管・弁【流路】</td> <td>A/B 1-04</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁【流路】及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ【流路】)</td> <td>A/B 2-02</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器【注水先】</td> <td>A/B 3-01-1</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td>R/B 4-02-1</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td>A/B 4-01-7</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C/Y 3-01</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Yスプレィ設備)</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備	51	【格納容器スプレィ (格納容器スプレィポンプ) (交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合)】 格納容器スプレィポンプ 燃料取替用水ピット【水漏】 格納容器スプレィ冷却器【流路】 非常用炉心冷却設備 配管・弁【流路】	A/B 1-03	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	原子炉格納容器スプレィ設備 配管・弁【流路】	A/B 1-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁【流路】及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ【流路】)	A/B 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	原子炉格納容器【注水先】	A/B 3-01-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備		R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備		A/B 4-01-7	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備		C/Y 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Yスプレィ設備)	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 プラント配置、設備及び 系統構成の相違による 火災防護対策の相違
関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備																																	
51	【格納容器スプレィ (格納容器スプレィポンプ) (交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合)】 格納容器スプレィポンプ 燃料取替用水ピット【水漏】 格納容器スプレィ冷却器【流路】 非常用炉心冷却設備 配管・弁【流路】	A/B 1-03	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																	
	原子炉格納容器スプレィ設備 配管・弁【流路】	A/B 1-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																	
	原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水ポンプ、原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却水サージタンク、原子炉補機冷却水冷却器並びに原子炉補機冷却水設備 配管・弁【流路】及び原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ【流路】)	A/B 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備																																	
	原子炉格納容器【注水先】	A/B 3-01-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																	
		R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																	
		A/B 4-01-7	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																	
		C/Y 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Yスプレィ設備)																																	

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉				相違理由	
		関連 条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 プラント配置、設備及び 系統構成の相違による 火災防護対策の相違
		51	【代替格納容器スプレイ (代替格納容器スプレイポンプ) (交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合)】 代替格納容器スプレイポンプ 燃料取替用水ピット [水源] 補助給水ピット [水源] 非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路] 補助給水設備 配管・弁 [流路] 原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁 [流路] 原子炉格納容器 [注水先]	A/B 1-03 A/B 1-04 A/B 3-01-1 R/B 4-02-1 A/B 4-01-7 C/V 3-01 R/B 3-04 R/B 3-05 R/B 3-03-1 R/B 5-03	煙感知器・熱感知器 煙感知器・熱感知器 煙感知器・熱感知器 煙感知器・熱感知器 煙感知器・熱感知器 煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器 煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器 煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器 煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全域ガス消火設備 全域ガス消火設備 全域ガス消火設備 全域ガス消火設備 全域ガス消火設備 消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレイ設備) 全域ガス消火設備 全域ガス消火設備 全域ガス消火設備 全域ガス消火設備	

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉			相違理由		
		関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 プラント配置、設備及び 系統構成の相違による 火災防護対策の相違
				A/B 1-03	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				A/B 1-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				A/B 3-01-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
			【代替格納容器スプレィ (代替格納容器スプレィポンプ) (代替電源) (全交流動力電源又は原子炉補機冷却機能喪失時)】	R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
			代替格納容器スプレィポンプ 燃料取替用水ピット [水源] 補助給水ピット [水源]	A/B 4-01-7	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
		51	非常用炉心冷却設備 配管・弁 [流路] 補助給水設備 配管・弁 [流路]	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォータミスト (C/Vスプレィ設備)	
			原子炉格納容器スプレィ設備 配管・弁 [流路] 原子炉格納容器 [注水先]	R/B 3-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 3-05	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 3-03-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 5-03	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉				相違理由																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1346 161 1384 197">関連 条文</th> <th data-bbox="1384 161 1576 197">【系統機能】 主要設備</th> <th data-bbox="1576 161 1666 197">火災区域又は 火災区画番号</th> <th data-bbox="1666 161 1809 197">感知設備</th> <th data-bbox="1809 161 1944 197">消火設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1346 448 1384 469">51</td> <td data-bbox="1384 384 1576 533"> 【熔融炉心の落下遅延・防止】 炉心注水 (高圧注入ポンプ) 炉心注水 (余熱除去ポンプ) 炉心注水 (充てんポンプ) 代替炉心注水 (B-格納容器ス プレイポンプ) 代替炉心注水 (代替格納容器ス プレイポンプ) 代替炉心注水 (B-充てんポン プ) </td> <td data-bbox="1576 384 1666 533"></td> <td data-bbox="1666 448 1809 469">47条に記載</td> <td data-bbox="1809 384 1944 533"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1346 799 1384 820">52</td> <td data-bbox="1384 751 1576 852"> 【水素濃度低減 (原子炉格納容 器内水素処理装置)】 原子炉格納容器内水素処理装置 原子炉格納容器 原子炉格納容器 </td> <td data-bbox="1576 783 1666 820">C/V 3-01</td> <td data-bbox="1666 751 1809 852"> 煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器 </td> <td data-bbox="1809 767 1944 836"> 消火器又は消火栓 ウォータミスト (C/Vスプレイ設備) </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1346 959 1384 979">52</td> <td data-bbox="1384 927 1576 1011"> 【水素濃度低減 (格納容器水素 イグナイタ)】 格納容器水素イグナイタ 格納容器水素イグナイタ 原子炉格納容器 </td> <td data-bbox="1576 959 1666 995">C/V 3-01</td> <td data-bbox="1666 927 1809 1011"> 煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器 </td> <td data-bbox="1809 943 1944 995"> 消火器又は消火栓 ウォータミスト (C/Vスプレイ設備) </td> </tr> </tbody> </table>	関連 条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備	51	【熔融炉心の落下遅延・防止】 炉心注水 (高圧注入ポンプ) 炉心注水 (余熱除去ポンプ) 炉心注水 (充てんポンプ) 代替炉心注水 (B-格納容器ス プレイポンプ) 代替炉心注水 (代替格納容器ス プレイポンプ) 代替炉心注水 (B-充てんポン プ)		47条に記載		52	【水素濃度低減 (原子炉格納容 器内水素処理装置)】 原子炉格納容器内水素処理装置 原子炉格納容器 原子炉格納容器	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォータミスト (C/Vスプレイ設備)	52	【水素濃度低減 (格納容器水素 イグナイタ)】 格納容器水素イグナイタ 格納容器水素イグナイタ 原子炉格納容器	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォータミスト (C/Vスプレイ設備)	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 プラント配置、設備及び 系統構成の相違による 火災防護対策の相違
関連 条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備																			
51	【熔融炉心の落下遅延・防止】 炉心注水 (高圧注入ポンプ) 炉心注水 (余熱除去ポンプ) 炉心注水 (充てんポンプ) 代替炉心注水 (B-格納容器ス プレイポンプ) 代替炉心注水 (代替格納容器ス プレイポンプ) 代替炉心注水 (B-充てんポン プ)		47条に記載																				
52	【水素濃度低減 (原子炉格納容 器内水素処理装置)】 原子炉格納容器内水素処理装置 原子炉格納容器 原子炉格納容器	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォータミスト (C/Vスプレイ設備)																			
52	【水素濃度低減 (格納容器水素 イグナイタ)】 格納容器水素イグナイタ 格納容器水素イグナイタ 原子炉格納容器	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォータミスト (C/Vスプレイ設備)																			

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉				相違理由	
		関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 プラント配置、設備及び 系統構成の相違による 火災防護対策の相違
		52	<p>【水素濃度監視】 格納容器内空気ガス試料採取設 備 格納容器内空気ガス試料採取設 備 配管・弁〔流路〕 原子炉補機冷却水設備 配管・ 弁〔流路〕 非常用取水設備〔流路〕 (貯留罐、取水口、取水路、取 水ピットスタリーン室、取水 ピットポンプ室) 可搬型格納容器内水素濃度計測 ユニット 可搬型ガスサンプル冷却器用冷 却ポンプ 可搬型代替ガスサンプリング圧 縮装置 格納容器空気サンプルライン隔 離弁操作用可搬型窒素ガスボン ベ</p>	R/B 2-01	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
		52	<p>非常用取水設備〔流路〕 (貯留罐、取水口、取水路、取 水ピットスタリーン室、取水 ピットポンプ室) 可搬型格納容器内水素濃度計測 ユニット 可搬型ガスサンプル冷却器用冷 却ポンプ 可搬型代替ガスサンプリング圧 縮装置 格納容器空気サンプルライン隔 離弁操作用可搬型窒素ガスボン ベ</p>	R/B 2-02	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
		53	<p>【アンユラス空気浄化設備によ る水素排出 (交流動力電源及び直流電源が 健全である場合)】 アンユラス空気浄化ファン アンユラス空気浄化フィルタユ ニット 排気筒〔流路〕 アンユラス空気浄化設備 配 管・弁・ダンパ〔流路〕</p>	R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
			<p>排気筒〔流路〕 アンユラス空気浄化設備 配 管・弁・ダンパ〔流路〕</p>	R/B 7-02	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉				相違理由	
		関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備	【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 プラント配置、設備及び 系統構成の相違による 火災防護対策の相違
		53	【アンユラス空気浄化設備による水素排出 (全文流動力電源又は直営電源が喪失した場合)】 B-アンユラス空気浄化ファン B-アンユラス空気浄化フィルタユニット 排気筒 [流路] アンユラス空気浄化設備 配管・弁・ダンパ [流路] アンユラス全量排気弁操作 可搬型窒素ガスポンベ ホース・弁 [流路]	R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 7-02	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 7-01	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
		53	【水素濃度監視】 試料採取設備 配管・弁 [流路] 可搬型アンユラス水素濃度計測ユニット ホース・弁 [流路]	R/B 5-01-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
		54	【使用済燃料ピットへの注水】 使用済燃料ピット (サイフォン防止機能を含む。) [注水先] 非常用取水設備 [流路] (貯留罐、取水口、取水路、取水ピットスクリーン室、取水ピットポンプ室)		不燃材のため追加対策不要		
		54	【使用済燃料ピットへのスプレ-イ】 使用済燃料ピット [注水先] 非常用取水設備 [流路] (貯留罐、取水口、取水路、取水ピットスクリーン室、取水ピットポンプ室)		不燃材のため追加対策不要		

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉				相違理由	
		関連 条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 (女川実績の反映) ■設計の相違 プラント配置、設備及び 系統構成の相違による 火災防護対策の相違
		54	【使用済燃料ピットの監視】 使用済燃料ピット水位 (AM用) (※3) 使用済燃料ピット温度 (AM用) (※3) 使用済燃料ピット監視カメラ (使用済燃料ピット監視カメラ 空冷装置 (注4) を含む。) 使用済燃料ピット水位 (可搬 型) 使用済燃料ピット可搬型エア モニタ	R/B 4-02-3	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓	
				R/B 6-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓	
				A/B 6-01	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	
				R/B 4-02-7	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓	
		55	【大気への拡散抑制 (炉心の著しい損傷及び原子炉 格納容器の破損時)】 非常用取水設備【流路】 (貯留罐、取水口、取水路、取 水ピットスクリーン室、取水 ピットポンプ室)		その他の設備に記載		
		55	【大気への拡散抑制 (使用済燃料ピット内燃料体等 の著しい損傷時)】 非常用取水設備【流路】 (貯留罐、取水口、取水路、取 水ピットスクリーン室、取水 ピットポンプ室)		その他の設備に記載		
		55	【大気への拡散抑制 (使用済燃料ピット内燃料体等 の著しい損傷時)】 非常用取水設備【流路】 (貯留罐、取水口、取水路、取 水ピットスクリーン室、取水 ピットポンプ室)		その他の設備に記載		

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉			相違理由		
		関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備	【大飯】
		55	【航空機燃料火災への応用火】 非常用取水設備 [流路] (貯留罐、取水口、取水路、取水ビットスクリーン室、取水ビットポンプ室)		その他の設備に記載		■記載方針の相違 (女川実績の反映)
		56	【重大事故等収束のための水圏冷水源としては海も使用可能】 燃料取替用水ビット 補助給水ビット 代給給水ビット 2次系統水タンク ろ過水タンク 原水槽 ほう酸タンク		不燃材のため追加対策不要		■設計の相違 プラント配置、設備及び系統構成の相違による 火災防護対策の相違
		56	【水の供給】 燃料取替用水設備 配管・弁 [流路] 補助給水設備 配管・弁 [流路] 非常用取水設備 [流路] (貯留罐、取水口、取水路、取水ビットスクリーン室、取水ビットポンプ室)	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 クォータミスト (C/Vスプレイン設備)	
				A/B 3-01-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				A/B 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 3-03-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				R/D 3-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 3-05	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 5-03	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉				相違理由	
		関連 条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備	【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 プラント配置、設備及び 系統構成の相違による 火災防護対策の相違
				O/B 1-05	熱感知カメラ・炎感知 器	消火器又は移動式消火 設備	
				O/B 1-01	煙感知器・熱感知器	消火器又は移動式消火 設備	
				O/B 1-02	煙感知器・熱感知器	消火器又は移動式消火 設備	
				O/B 1-06	煙感知器・熱感知器	消火器又は移動式消火 設備	
				DG/B 2-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器 又は 熱感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	
		57	【常設代替交流電源設備による 給電】 代替非常用発電機 ディーゼル発電機燃料油貯油槽 ディーゼル発電機燃料油移送ボ ンプ ディーゼル発電機設備燃料油系 統 配管・弁 [燃料流路] 代替非常用発電機～非常用高圧 母線 (B-A) 及び非常用高圧 母線 (C-D) 電路 [電路]	DG/B 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器 又は 熱感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	
				A/B 5-01	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				A/B-D	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				A/B 5-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	
				A/B 2-01-2	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				A/B 3-08	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				A/B 3-09	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1346 164 1384 204">関連 条文</th> <th data-bbox="1384 164 1570 204">【系統機能】 主要設備</th> <th data-bbox="1570 164 1671 204">火災区域又は 火災区画番号</th> <th data-bbox="1671 164 1809 204">感知設備</th> <th data-bbox="1809 164 1955 204">消火設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12" style="text-align: center; vertical-align: middle;">57</td> <td rowspan="12">【可搬型代替交流電源設備による給電】 ディーゼル発電機燃料油貯油槽 ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ ディーゼル発電機設備燃料油系統配管・弁〔燃料流路〕 可搬型代替電源接続盤～非常用 高圧母線 (B-A) 及び非常用 高圧母線 (B-B) 電路〔電 路〕 可搬型直流変換器 可搬型直流変換器～後備蓄電池 接続電路〔電路〕</td> <td>0/B 1-01</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>消火器又は移動式消火設備</td> </tr> <tr> <td>0/B 1-02</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>消火器又は移動式消火設備</td> </tr> <tr> <td>0/B 1-06</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>消火器又は移動式消火設備</td> </tr> <tr> <td>DG/B 2-01</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器 又は 熱感知器・炎感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>DG/B 2-02</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器 又は 熱感知器・炎感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>A/B 3-08</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>A/B 3-09</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>A/B 6-01</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>A/B-D</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>A/B 5-01</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>A/B 2-01-2</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>R/B 4-02-7</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>消火器又は消火栓</td> </tr> <tr> <td>R/B 5-01-1</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> </tbody> </table>	関連 条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備	57	【可搬型代替交流電源設備による給電】 ディーゼル発電機燃料油貯油槽 ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ ディーゼル発電機設備燃料油系統配管・弁〔燃料流路〕 可搬型代替電源接続盤～非常用 高圧母線 (B-A) 及び非常用 高圧母線 (B-B) 電路〔電 路〕 可搬型直流変換器 可搬型直流変換器～後備蓄電池 接続電路〔電路〕	0/B 1-01	煙感知器・熱感知器	消火器又は移動式消火設備	0/B 1-02	煙感知器・熱感知器	消火器又は移動式消火設備	0/B 1-06	煙感知器・熱感知器	消火器又は移動式消火設備	DG/B 2-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器 又は 熱感知器・炎感知器	全域ガス消火設備	DG/B 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器 又は 熱感知器・炎感知器	全域ガス消火設備	A/B 3-08	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	A/B 3-09	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	A/B 6-01	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	A/B-D	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	A/B 5-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全域ガス消火設備	A/B 2-01-2	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	R/B 4-02-7	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓	R/B 5-01-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 プラント配置、設備及び 系統構成の相違による 火災防護対策の相違
関連 条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備																																													
57	【可搬型代替交流電源設備による給電】 ディーゼル発電機燃料油貯油槽 ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ ディーゼル発電機設備燃料油系統配管・弁〔燃料流路〕 可搬型代替電源接続盤～非常用 高圧母線 (B-A) 及び非常用 高圧母線 (B-B) 電路〔電 路〕 可搬型直流変換器 可搬型直流変換器～後備蓄電池 接続電路〔電路〕	0/B 1-01	煙感知器・熱感知器	消火器又は移動式消火設備																																													
		0/B 1-02	煙感知器・熱感知器	消火器又は移動式消火設備																																													
		0/B 1-06	煙感知器・熱感知器	消火器又は移動式消火設備																																													
		DG/B 2-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器 又は 熱感知器・炎感知器	全域ガス消火設備																																													
		DG/B 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器 又は 熱感知器・炎感知器	全域ガス消火設備																																													
		A/B 3-08	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																													
		A/B 3-09	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																													
		A/B 6-01	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																													
		A/B-D	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																													
		A/B 5-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全域ガス消火設備																																													
		A/B 2-01-2	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																													
		R/B 4-02-7	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓																																													
R/B 5-01-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																															

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉				相違理由																																																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1352 165 1391 193">関連条文</th> <th data-bbox="1391 165 1576 193">【系統機能】 主要設備</th> <th data-bbox="1576 165 1671 193">火災区域又は 火災区画番号</th> <th data-bbox="1671 165 1812 193">感知設備</th> <th data-bbox="1812 165 1944 193">消火設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>A/B 3-10</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>57</td> <td>【所内常設蓄電式直流電源設備による給電】 蓄電池 (非常用) 後備蓄電池 蓄電池 (非常用) (A-蓄電池) ~ A-直流母線電路 [電路] 蓄電池 (非常用) (B-蓄電池) ~ B-直流母線電路 [電路] 後備蓄電池 ~ B-直流母線電路 [電路]</td> <td>A/B 3-11</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>A/B 3-13</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>A/B 3-08</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>A/B 3-09</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>57</td> <td>【可搬型代替直流電源設備による給電】 ディーゼル発電機燃料油貯油槽 可搬型直流電源接続盤~可搬型 直流変換器電路 [電路] 後備蓄電池接続盤~A-直流母 線電路 [電路] 後備蓄電池接続盤~B-直流母 線電路 [電路]</td> <td>0/B 1-01</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>消火器又は移動式消火設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>0/B 1-02</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>消火器又は移動式消火設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>0/B 1-06</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>消火器又は移動式消火設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>A/B 3-08</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>A/B 3-09</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全域ガス消火設備</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備			A/B 3-10	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	57	【所内常設蓄電式直流電源設備による給電】 蓄電池 (非常用) 後備蓄電池 蓄電池 (非常用) (A-蓄電池) ~ A-直流母線電路 [電路] 蓄電池 (非常用) (B-蓄電池) ~ B-直流母線電路 [電路] 後備蓄電池 ~ B-直流母線電路 [電路]	A/B 3-11	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備			A/B 3-13	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備			A/B 3-08	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備			A/B 3-09	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	57	【可搬型代替直流電源設備による給電】 ディーゼル発電機燃料油貯油槽 可搬型直流電源接続盤~可搬型 直流変換器電路 [電路] 後備蓄電池接続盤~A-直流母 線電路 [電路] 後備蓄電池接続盤~B-直流母 線電路 [電路]	0/B 1-01	煙感知器・熱感知器	消火器又は移動式消火設備			0/B 1-02	煙感知器・熱感知器	消火器又は移動式消火設備			0/B 1-06	煙感知器・熱感知器	消火器又は移動式消火設備			A/B 3-08	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備			A/B 3-09	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 <p>プラント配置、設備及び系統構成の相違による火災防護対策の相違</p>
関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備																																																						
		A/B 3-10	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																																						
57	【所内常設蓄電式直流電源設備による給電】 蓄電池 (非常用) 後備蓄電池 蓄電池 (非常用) (A-蓄電池) ~ A-直流母線電路 [電路] 蓄電池 (非常用) (B-蓄電池) ~ B-直流母線電路 [電路] 後備蓄電池 ~ B-直流母線電路 [電路]	A/B 3-11	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																																						
		A/B 3-13	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																																						
		A/B 3-08	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																																						
		A/B 3-09	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																																						
57	【可搬型代替直流電源設備による給電】 ディーゼル発電機燃料油貯油槽 可搬型直流電源接続盤~可搬型 直流変換器電路 [電路] 後備蓄電池接続盤~A-直流母 線電路 [電路] 後備蓄電池接続盤~B-直流母 線電路 [電路]	0/B 1-01	煙感知器・熱感知器	消火器又は移動式消火設備																																																						
		0/B 1-02	煙感知器・熱感知器	消火器又は移動式消火設備																																																						
		0/B 1-06	煙感知器・熱感知器	消火器又は移動式消火設備																																																						
		A/B 3-08	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																																						
		A/B 3-09	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																																						

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉				相違理由	
		関連 条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備	<p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【女川】</p> <p>■設計の相違 プラント配置、設備及び 系統構成の相違による 火災防護対策の相違</p>
		57	【代替所内電気設備による給電】 代替非常用発電機 代替所内電気設備変圧器 代替所内電気設備分電盤 代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤 ディーゼル発電機燃料油貯油槽 代替非常用発電機～代替所内電気設備変圧器～代替所内電気設備分電盤回路〔電路〕 代替非常用発電機～代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤回路〔電路〕 可搬型代替電源接続盤～代替所内電気設備変圧器～代替所内電気設備分電盤回路〔電路〕 可搬型代替電源接続盤～代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤回路〔電路〕	0/B 1-05	熱感知カメラ・炎感知器	消火器又は移動式消火設備	
				A/B 4-01-3	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				A/B 4-01-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				A/B 5-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	
				0/B 1-01	煙感知器・熱感知器	消火器又は移動式消火設備	
				0/B 1-02	煙感知器・熱感知器	消火器又は移動式消火設備	
				0/B 1-06	煙感知器・熱感知器	消火器又は移動式消火設備	
			A/B-D	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備		
		57	【燃料供給設備】 ディーゼル発電機燃料油貯油槽 ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ ディーゼル発電機設備燃料油系統 配管・弁〔燃料流路〕	0/B 1-01	煙感知器・熱感知器	消火器又は移動式消火設備	
				0/B 1-02	煙感知器・熱感知器	消火器又は移動式消火設備	
				0/B 1-06	煙感知器・熱感知器	消火器又は移動式消火設備	
				DG/B 2-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器 又は 熱感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	
				DG/B 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器 又は 熱感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																							
		<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1350 169 1391 209">関連条文</th> <th data-bbox="1391 169 1576 209">【系統機能】 主要設備</th> <th data-bbox="1576 169 1666 209">火災区域又は 火災区画番号</th> <th data-bbox="1666 169 1800 209">感知設備</th> <th data-bbox="1800 169 1944 209">消火設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="15" style="text-align: center; vertical-align: middle;">57</td> <td rowspan="15">【非常用交流電源設備】 ディーゼル発電機 ディーゼル発電機燃料油貯油槽 ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ ディーゼル発電機燃料油サービスタンク ディーゼル発電機設備燃料油系統 配管・弁〔燃料流路〕 ディーゼル発電機～非常用高圧母線 (B-A) 及び非常用高圧母線 (B-B) 電路〔電路〕 原子炉補機冷却海水設備 (原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ〔流路〕)</td> <td>DG/B 2-01</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器 又は 熱感知器・炎感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>DG/B 2-02</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器 又は 熱感知器・炎感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>O/B 1-01</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>消火器又は移動式消火設備</td> </tr> <tr> <td>O/B 1-02</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>消火器又は移動式消火設備</td> </tr> <tr> <td>R/B 4-03</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>R/B 4-05</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>R/B 3-10</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>R/B 3-11</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>R/B 3-08-1</td> <td>煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>R/B 2-01</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>A/B 2-01-2</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>A/B 2-01-4</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>A/B 2-05-1</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>A/B 3-07-1</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>A/B 3-08</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td>A/B 3-09</td> <td>煙感知器・熱感知器</td> <td>全城ガス消火設備</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備	57	【非常用交流電源設備】 ディーゼル発電機 ディーゼル発電機燃料油貯油槽 ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ ディーゼル発電機燃料油サービスタンク ディーゼル発電機設備燃料油系統 配管・弁〔燃料流路〕 ディーゼル発電機～非常用高圧母線 (B-A) 及び非常用高圧母線 (B-B) 電路〔電路〕 原子炉補機冷却海水設備 (原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ〔流路〕)	DG/B 2-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器 又は 熱感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	DG/B 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器 又は 熱感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	O/B 1-01	煙感知器・熱感知器	消火器又は移動式消火設備	O/B 1-02	煙感知器・熱感知器	消火器又は移動式消火設備	R/B 4-03	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	R/B 4-05	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	R/B 3-10	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	R/B 3-11	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	R/B 3-08-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備	R/B 2-01	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	A/B 2-01-2	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	A/B 2-01-4	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	A/B 2-05-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	A/B 3-07-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	A/B 3-08	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	A/B 3-09	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 <p>プラント配置、設備及び系統構成の相違による火災防護対策の相違</p>
関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備																																																						
57	【非常用交流電源設備】 ディーゼル発電機 ディーゼル発電機燃料油貯油槽 ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ ディーゼル発電機燃料油サービスタンク ディーゼル発電機設備燃料油系統 配管・弁〔燃料流路〕 ディーゼル発電機～非常用高圧母線 (B-A) 及び非常用高圧母線 (B-B) 電路〔電路〕 原子炉補機冷却海水設備 (原子炉補機冷却海水ポンプ、原子炉補機冷却海水設備 配管・弁・ストレーナ〔流路〕)	DG/B 2-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器 又は 熱感知器・炎感知器	全城ガス消火設備																																																						
		DG/B 2-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器 又は 熱感知器・炎感知器	全城ガス消火設備																																																						
		O/B 1-01	煙感知器・熱感知器	消火器又は移動式消火設備																																																						
		O/B 1-02	煙感知器・熱感知器	消火器又は移動式消火設備																																																						
		R/B 4-03	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																						
		R/B 4-05	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																						
		R/B 3-10	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																						
		R/B 3-11	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																						
		R/B 3-08-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全城ガス消火設備																																																						
		R/B 2-01	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																						
		A/B 2-01-2	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																						
		A/B 2-01-4	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																						
		A/B 2-05-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																						
		A/B 3-07-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																						
		A/B 3-08	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																						
A/B 3-09	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																								

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉				相違理由																																																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1352 165 1384 204">関連 条文</th> <th data-bbox="1384 165 1576 204">【系統機能】 主要設備</th> <th data-bbox="1576 165 1675 204">火災区域又は 火災区画番号</th> <th data-bbox="1675 165 1800 204">感知設備</th> <th data-bbox="1800 165 1944 204">消火設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1352 209 1384 288">58</td> <td data-bbox="1384 209 1576 288">【温度計測 (原子炉容器内の温度)】 1次冷却材温度 (広域-高温側) 1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> <td data-bbox="1576 209 1675 288">C/V 3-01</td> <td data-bbox="1675 209 1800 288">煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td data-bbox="1800 209 1944 288">消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレー設備)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1352 293 1384 373">58</td> <td data-bbox="1384 293 1576 373">【圧力計測 (原子炉容器内の圧力)】 1次冷却材圧力 (広域)</td> <td data-bbox="1576 293 1675 373">C/V 3-01</td> <td data-bbox="1675 293 1800 373">煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td data-bbox="1800 293 1944 373">消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレー設備)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1352 378 1384 458">58</td> <td data-bbox="1384 378 1576 458">【水位計測 (原子炉容器内の水位)】 加圧器水位 原子炉容器水位</td> <td data-bbox="1576 378 1675 458">C/V 3-01</td> <td data-bbox="1675 378 1800 458">煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td data-bbox="1800 378 1944 458">消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレー設備)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1352 462 1384 542">58</td> <td data-bbox="1384 462 1576 542">【水素濃度計測 (原子炉格納容器内の水素濃度)】 可搬型格納容器内水素濃度計測 ユニット (格納容器内水素濃度)</td> <td data-bbox="1576 462 1675 542">R/B 5-01-1</td> <td data-bbox="1675 462 1800 542">煙感知器・熱感知器</td> <td data-bbox="1800 462 1944 542">全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1352 547 1384 627">58</td> <td data-bbox="1384 547 1576 627">【水素濃度計測 (アニュラス内の水素濃度)】 可搬型アニュラス水素濃度計測 ユニット (アニュラス水素濃度 (可搬型))</td> <td data-bbox="1576 547 1675 627">R/B 5-01-1</td> <td data-bbox="1675 547 1800 627">煙感知器・熱感知器</td> <td data-bbox="1800 547 1944 627">全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1352 632 1384 711">58</td> <td data-bbox="1384 632 1576 711">【注水量計測 (原子炉容器への注水量)】 高圧注入流量 低圧注入流量 代替格納容器スプレーポンプ出口積算流量</td> <td data-bbox="1576 632 1675 711">A/B 3-07-1</td> <td data-bbox="1675 632 1800 711">煙感知器・熱感知器</td> <td data-bbox="1800 632 1944 711">全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1352 716 1384 796">58</td> <td data-bbox="1384 716 1576 796">B-格納容器スプレー冷却器出口積算流量 (AM用)</td> <td data-bbox="1576 716 1675 796">A/B 2-01-2</td> <td data-bbox="1675 716 1800 796">煙感知器・熱感知器</td> <td data-bbox="1800 716 1944 796">全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1352 801 1384 880">58</td> <td data-bbox="1384 801 1576 880">【注水量計測 (原子炉格納容器への注水量)】 代替格納容器スプレーポンプ出口積算流量</td> <td data-bbox="1576 801 1675 880">A/B 3-07-1</td> <td data-bbox="1675 801 1800 880">煙感知器・熱感知器</td> <td data-bbox="1800 801 1944 880">全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1352 885 1384 965">58</td> <td data-bbox="1384 885 1576 965">B-格納容器スプレー冷却器出口積算流量 (AM用) 高圧注入流量 低圧注入流量</td> <td data-bbox="1576 885 1675 965">A/B 2-01-2</td> <td data-bbox="1675 885 1800 965">煙感知器・熱感知器</td> <td data-bbox="1800 885 1944 965">全城ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1352 970 1384 1050">58</td> <td data-bbox="1384 970 1576 1050">【温度計測 (原子炉格納容器内の温度)】 格納容器内温度</td> <td data-bbox="1576 970 1675 1050">C/V 3-01</td> <td data-bbox="1675 970 1800 1050">煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td data-bbox="1800 970 1944 1050">消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレー設備)</td> </tr> </tbody> </table>	関連 条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備	58	【温度計測 (原子炉容器内の温度)】 1次冷却材温度 (広域-高温側) 1次冷却材温度 (広域-低温側)	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレー設備)	58	【圧力計測 (原子炉容器内の圧力)】 1次冷却材圧力 (広域)	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレー設備)	58	【水位計測 (原子炉容器内の水位)】 加圧器水位 原子炉容器水位	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレー設備)	58	【水素濃度計測 (原子炉格納容器内の水素濃度)】 可搬型格納容器内水素濃度計測 ユニット (格納容器内水素濃度)	R/B 5-01-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	58	【水素濃度計測 (アニュラス内の水素濃度)】 可搬型アニュラス水素濃度計測 ユニット (アニュラス水素濃度 (可搬型))	R/B 5-01-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	58	【注水量計測 (原子炉容器への注水量)】 高圧注入流量 低圧注入流量 代替格納容器スプレーポンプ出口積算流量	A/B 3-07-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	58	B-格納容器スプレー冷却器出口積算流量 (AM用)	A/B 2-01-2	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	58	【注水量計測 (原子炉格納容器への注水量)】 代替格納容器スプレーポンプ出口積算流量	A/B 3-07-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	58	B-格納容器スプレー冷却器出口積算流量 (AM用) 高圧注入流量 低圧注入流量	A/B 2-01-2	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	58	【温度計測 (原子炉格納容器内の温度)】 格納容器内温度	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレー設備)	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 <p>プラント配置、設備及び系統構成の相違による火災防護対策の相違</p>
関連 条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備																																																						
58	【温度計測 (原子炉容器内の温度)】 1次冷却材温度 (広域-高温側) 1次冷却材温度 (広域-低温側)	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレー設備)																																																						
58	【圧力計測 (原子炉容器内の圧力)】 1次冷却材圧力 (広域)	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレー設備)																																																						
58	【水位計測 (原子炉容器内の水位)】 加圧器水位 原子炉容器水位	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレー設備)																																																						
58	【水素濃度計測 (原子炉格納容器内の水素濃度)】 可搬型格納容器内水素濃度計測 ユニット (格納容器内水素濃度)	R/B 5-01-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																						
58	【水素濃度計測 (アニュラス内の水素濃度)】 可搬型アニュラス水素濃度計測 ユニット (アニュラス水素濃度 (可搬型))	R/B 5-01-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																						
58	【注水量計測 (原子炉容器への注水量)】 高圧注入流量 低圧注入流量 代替格納容器スプレーポンプ出口積算流量	A/B 3-07-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																						
58	B-格納容器スプレー冷却器出口積算流量 (AM用)	A/B 2-01-2	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																						
58	【注水量計測 (原子炉格納容器への注水量)】 代替格納容器スプレーポンプ出口積算流量	A/B 3-07-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																						
58	B-格納容器スプレー冷却器出口積算流量 (AM用) 高圧注入流量 低圧注入流量	A/B 2-01-2	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備																																																						
58	【温度計測 (原子炉格納容器内の温度)】 格納容器内温度	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレー設備)																																																						

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉				相違理由	
		関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備	【大飯】
		58	【圧力計測 (原子炉格納容器内の圧力)】 原子炉格納容器圧力 格納容器圧力 (AM用)	R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	■記載方針の相違 (女川実績の反映)
				R/B 5-01-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	【女川】 ■設計の相違 プラント配置、設備及び 系統構成の相違による 火災防護対策の相違
		58	【水位計測 (原子炉格納容器内の水位)】 格納容器再循環サンプ水位 (広域) 格納容器再循環サンプ水位 (狭域) 格納容器水位 原子炉下部キャビティ水位	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレー設備)	
		58	【線量計測 (原子炉格納容器内の放射線量率)】 格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) 格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレー設備)	
		58	【出力計測 (未臨界の維持又は監視)】 出力領域中性子束 中間領域中性子束 中性子源領域中性子束	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレー設備)	
		58	【温度計測 (最終ヒートシンクの確保)】 可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ネット入口 温度/出口温度)	A/B 4-04-1	煙感知器・熱感知器	消火器又は消火栓	
				O/B 1-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉				相違理由																																																																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1352 161 1397 209">関連条文</th> <th data-bbox="1397 161 1576 209">【系統機能】 主要設備</th> <th data-bbox="1576 161 1666 209">火災区域又は 火災区画番号</th> <th data-bbox="1666 161 1823 209">感知設備</th> <th data-bbox="1823 161 1948 209">消火設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1352 209 1397 344">58</td> <td data-bbox="1397 209 1576 344">【水位計測 (最終ヒートシンクの確保)】 蒸気発生器水位 (狭域) 蒸気発生器水位 (広域) 原子炉補機冷却水サージタンク水位</td> <td data-bbox="1576 209 1666 272">C/V 3-01</td> <td data-bbox="1666 209 1823 272">煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td data-bbox="1823 209 1948 272">消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレー設備)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1352 272 1397 344"></td> <td data-bbox="1397 272 1576 344"></td> <td data-bbox="1576 272 1666 344">R/B 8-02</td> <td data-bbox="1666 272 1823 344">煙感知器・熱感知器</td> <td data-bbox="1823 272 1948 344">全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1352 344 1397 416">58</td> <td data-bbox="1397 344 1576 416">【注水量計測 (最終ヒートシンクの確保)】 補助給水量</td> <td data-bbox="1576 344 1666 416">R/B 3-08-1</td> <td data-bbox="1666 344 1823 416">煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td data-bbox="1823 344 1948 416">全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1352 416 1397 663">58</td> <td data-bbox="1397 416 1576 663">【圧力計測 (最終ヒートシンクの確保)】 原子炉格納容器圧力 主蒸気ライン圧力 原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型)</td> <td data-bbox="1576 416 1666 480">C/V 3-01</td> <td data-bbox="1666 416 1823 480">煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td data-bbox="1823 416 1948 480">消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレー設備)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1352 480 1397 663"></td> <td data-bbox="1397 480 1576 663"></td> <td data-bbox="1576 480 1666 544">R/B 3-08-1</td> <td data-bbox="1666 480 1823 544">煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td data-bbox="1823 480 1948 544">全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1352 544 1397 663"></td> <td data-bbox="1397 544 1576 663"></td> <td data-bbox="1576 544 1666 608">R/B 8-01</td> <td data-bbox="1666 544 1823 608">煙感知器・熱感知器</td> <td data-bbox="1823 544 1948 608">全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1352 608 1397 663"></td> <td data-bbox="1397 608 1576 663"></td> <td data-bbox="1576 608 1666 663">O/B 1-04</td> <td data-bbox="1666 608 1823 663">煙感知器・熱感知器</td> <td data-bbox="1823 608 1948 663">全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1352 663 1397 735">58</td> <td data-bbox="1397 663 1576 735">【水位計測 (格納容器バイパスの監視)】 蒸気発生器水位 (狭域)</td> <td data-bbox="1576 663 1666 735">C/V 3-01</td> <td data-bbox="1666 663 1823 735">煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td data-bbox="1823 663 1948 735">消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレー設備)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1352 735 1397 871">58</td> <td data-bbox="1397 735 1576 871">【圧力計測 (格納容器バイパスの監視)】 主蒸気ライン圧力 1次冷却材圧力 (広域)</td> <td data-bbox="1576 735 1666 799">R/B 3-08-1</td> <td data-bbox="1666 735 1823 799">煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td data-bbox="1823 735 1948 799">全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1352 799 1397 871"></td> <td data-bbox="1397 799 1576 871"></td> <td data-bbox="1576 799 1666 863">C/V 3-01</td> <td data-bbox="1666 799 1823 863">煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td data-bbox="1823 799 1948 863">消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレー設備)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1352 871 1397 1054">58</td> <td data-bbox="1397 871 1576 1054">【水位計測 (水源の確保)】 燃料取替用水ビット水位 ほう酸タンク水位 補助給水ビット水位</td> <td data-bbox="1576 871 1666 935">R/B 5-01-1</td> <td data-bbox="1666 871 1823 935">煙感知器・熱感知器</td> <td data-bbox="1823 871 1948 935">全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1352 935 1397 1054"></td> <td data-bbox="1397 935 1576 1054"></td> <td data-bbox="1576 935 1666 999">A/B 4-01-1</td> <td data-bbox="1666 935 1823 999">煙感知器・熱感知器</td> <td data-bbox="1823 935 1948 999">全域ガス消火設備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1352 999 1397 1054"></td> <td data-bbox="1397 999 1576 1054"></td> <td data-bbox="1576 999 1666 1054">R/B 3-08-1</td> <td data-bbox="1666 999 1823 1054">煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器</td> <td data-bbox="1823 999 1948 1054">全域ガス消火設備</td> </tr> </tbody> </table>	関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備	58	【水位計測 (最終ヒートシンクの確保)】 蒸気発生器水位 (狭域) 蒸気発生器水位 (広域) 原子炉補機冷却水サージタンク水位	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレー設備)			R/B 8-02	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	58	【注水量計測 (最終ヒートシンクの確保)】 補助給水量	R/B 3-08-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全域ガス消火設備	58	【圧力計測 (最終ヒートシンクの確保)】 原子炉格納容器圧力 主蒸気ライン圧力 原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型)	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレー設備)			R/B 3-08-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全域ガス消火設備			R/B 8-01	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備			O/B 1-04	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備	58	【水位計測 (格納容器バイパスの監視)】 蒸気発生器水位 (狭域)	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレー設備)	58	【圧力計測 (格納容器バイパスの監視)】 主蒸気ライン圧力 1次冷却材圧力 (広域)	R/B 3-08-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全域ガス消火設備			C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレー設備)	58	【水位計測 (水源の確保)】 燃料取替用水ビット水位 ほう酸タンク水位 補助給水ビット水位	R/B 5-01-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備			A/B 4-01-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備			R/B 3-08-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全域ガス消火設備	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 (女川実績の反映) ■設計の相違 プラント配置、設備及び系統構成の相違による火災防護対策の相違
関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備																																																																					
58	【水位計測 (最終ヒートシンクの確保)】 蒸気発生器水位 (狭域) 蒸気発生器水位 (広域) 原子炉補機冷却水サージタンク水位	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレー設備)																																																																					
		R/B 8-02	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																																																					
58	【注水量計測 (最終ヒートシンクの確保)】 補助給水量	R/B 3-08-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全域ガス消火設備																																																																					
58	【圧力計測 (最終ヒートシンクの確保)】 原子炉格納容器圧力 主蒸気ライン圧力 原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型)	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレー設備)																																																																					
		R/B 3-08-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全域ガス消火設備																																																																					
		R/B 8-01	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																																																					
		O/B 1-04	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																																																					
58	【水位計測 (格納容器バイパスの監視)】 蒸気発生器水位 (狭域)	C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレー設備)																																																																					
58	【圧力計測 (格納容器バイパスの監視)】 主蒸気ライン圧力 1次冷却材圧力 (広域)	R/B 3-08-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全域ガス消火設備																																																																					
		C/V 3-01	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓 ウォーターミスト (C/Vスプレー設備)																																																																					
58	【水位計測 (水源の確保)】 燃料取替用水ビット水位 ほう酸タンク水位 補助給水ビット水位	R/B 5-01-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																																																					
		A/B 4-01-1	煙感知器・熱感知器	全域ガス消火設備																																																																					
		R/B 3-08-1	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	全域ガス消火設備																																																																					

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉				相違理由	
		関連 条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 プラント配置、設備及び 系統構成の相違による 火災防護対策の相違
		58	【水位計測 (使用済燃料ピットの監視)】 使用済燃料ピット水位 (AM用) 使用済燃料ピット水位 (可搬型)	R/B 4-02-3	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓	
				R/B 6-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓	
		58	【温度計測 (使用済燃料ピットの監視)】 使用済燃料ピット温度 (AM用)	R/B 4-02-3	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓	
		58	【秤量計測 (使用済燃料ピットの監視)】 使用済燃料ピット可搬型エリア モニタ	A/B 6-01	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 4-02-7	煙感知器 熱感知器 炎感知器	消火器又は消火栓	
		58	【状態監視 (使用済燃料ピットの監視)】 使用済燃料ピット監視カメラ (使用済燃料ピット監視カメラ 空冷装置 (注5) を含む。)	R/B 4-02-3	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓	
				R/B 6-02	煙感知器・熱感知器 又は 煙感知器・炎感知器	消火器又は消火栓	
		58	【温度、圧力、水位及び流量に 関するもの計測】 可搬型計測器	A/B 4-04-1	煙感知器・熱感知器	消火器又は消火栓	
				D/B 1-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
		58	【パラメータ記録】 データ収集計算機 データ表示端末 可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口 温度/出口温度)	A/B 4-04-3	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				D/B 1-03	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				A/B 4-04-1	煙感知器・熱感知器	消火器又は消火栓	
				D/B 1-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉				相違理由	
		関連 条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 (女川実績の反映) <p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■設計の相違 プラント配置、設備及び 系統構成の相違による 火災防護対策の相違
		58	【その他(注6)】 6-A, B母線電圧 A, B-直流コントロールセン タ母線電圧 A-高圧注入ポンプ及び油冷却 器補機冷却水流量 (AM用) A-高圧注入ポンプ電動機補機 冷却水流量 (AM用) 原子炉補機冷却水冷却器補機冷 却水流量 (AM用) 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)	A/B 4-07	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				A/B 4-08	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				A/B 1-01	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 2-01	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 2-02	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				A/B 4-05	煙感知器・熱感知器	消火器	
		59	【居住性の確保】 中央制御室 中央制御室非常用循環ファン 中央制御室給気ファン 中央制御室循環ファン 中央制御室非常用循環フィルタ ユニット 中央制御室給気ユニット 中央制御室空調装置ダクト・ダ ンパ【流路】 可燃性照度 (5A) 酸素濃度・二酸化炭素濃度計	A/B 5-02	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				A/B 5-04-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				A/B 4-04-1	煙感知器・熱感知器	消火器又は消火栓	
		59	【放射性物質の濃度低減 (交流動力電源及び直流電源が 健全である場合)】 アニュラス空気浄化ファン アニュラス空気浄化フィルタユ ニット アニュラス空気浄化設備 配 管・弁・ダンパ【流路】 排気筒【流路】	R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 7-02	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉				相違理由	
		関連 条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備	
		59	【汚染の持ち込み防止】 可搬型照明 (SA)	A/B 4-05	煙感知器・熱感知器	消火器	【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 プラント配置、設備及び 系統構成の相違による 火災防護対策の相違
				A/B 4-04-1	煙感知器・熱感知器	消火器又は消火栓	
		59	【放射性物質の濃度低減 (交流動力電線又は直流電源が 喪失した場合)】 アニュラス空気浄化ファン アニュラス空気浄化フィルタユ ニット アニュラス空気浄化設備 配 管・弁・ダンパ [流路] 排気筒 [流路] アニュラス全量排気弁操作 可搬型窒素ガスポンペ ホース・弁 [流路]	R/B 4-02-1	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 7-01	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				R/B 7-02	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
		60	【モニタリングポストの代替測 定】 可搬型モニタリングポスト監視 用端末 [伝送路] 可搬型モニタリングポスト	O/B 1-03	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				O/B 1-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
		60	【放射能測定中の代替測定】 可搬型ダスト・よう素サンプラ NaI(Tl)シンチレーションサー ベイメータ GM汚染サーベイメータ	O/B 1-03	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				O/B 1-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
		60	【放射線量の測定】 可搬型モニタリングポスト 電離箱サーベイメータ 可搬型モニタリングポスト監視 用端末 [伝送路]	O/B 1-03	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				O/B 1-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表 r.4.0

第41条 火災による損傷の防止 (補足説明資料 41-6 添付資料1 泊発電所3号炉における重大事故等対処施設に設置される火災区域又は火災区画対策一覧)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉				相違理由	
		関連 条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 プラント配置、設備及び 系統構成の相違による 火災防護対策の相違
		60	【放射性物質濃度 (空气中・水中・土壌中) 及び 海上モニタリング】及び 可搬型ガスト・よう素サンブラ NaI(Tl)シンチレーションサー ベイメータ GM汚染サーベイメータ α線シンチレーションサーベ イメータ β線サーベイメータ	0/B 1-03	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				0/B 1-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
		60	【気象観測設備の代替測定】 可搬型気象観測設備監視用端末 【伝送路】 可搬型気象観測設備	0/B 1-03	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				0/B 1-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
		60	【緊急時対策所付近の気象観測 項目の測定】 可搬型気象観測設備監視用端末 【伝送路】 可搬型気象観測設備	0/B 1-03	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				0/B 1-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
		61	【居住性の確保】 緊急時対策所 緊急時対策所指揮所連へい 緊急時対策所待機所連へい 可搬型空気浄化装置配管・ダン パス【常設】 【流路】 空気供給装置配管、弁【常設】 【流路】 可搬型モニタリングポスト 可搬型気象観測設備 圧力計 酸素濃度・二酸化炭素濃度計 緊急時対策所可搬型エリアモニ タ	0/B 1-03	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				0/B 1-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉				相違理由	
		関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は 火災区画番号	感知設備	消火設備	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 (女川実績の反映) <p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■設計の相違 プラント配置、設備及び 系統構成の相違による 火災防護対策の相違
		61	【必要な情報の把握】 データ収集計算機 ERSS伝送サーバ データ表示端末		62条に記載		
		61	【電源の確保 (緊急時対策所)】 緊急時対策所ケーブル接続盤～ 緊急時対策所分電盤 (電路)	O/B 1-03	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				O/B 1-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
		61	【通信連絡 (緊急時対策所)】 衛星電話設備 (固定型) 衛星電話設備 (FAX) 衛星電話設備 (携帯型) 無線連絡設備 (携帯型) インターフォン テレビ会議システム (指揮所・ 待機所間) 統合原子力防災ネットワークを 用いた通信連絡設備		62条に記載		
		62	【発電所内の通信連絡】 衛星電話設備 (固定型) 衛星電話設備 (FAX) 衛星電話設備 (屋外アンテナ) 〔伝送路〕 有線 (建屋内) (携行型通話装 置、衛星電話設備 (固定、 FAX)に係るもの) 〔伝送路〕 インターフォン テレビ会議システム (指揮所・ 待機所間) データ収集計算機 データ表示端末 有線 (建屋内) (ERSSに係るも の) 〔伝送路〕 無線連絡設備 (携帯型) 携行型通話装置	A/B 4-05	煙感知器・熱感知器	消火器	
				O/B 1-03	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				O/B 1-04	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
				A/B 4-04-3	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉				相違理由	
		関連条文	【系統機能】 主要設備	火災区域又は火災区画番号	感知設備	消火設備	【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 プラント配置、設備及び系統構成の相違による火災防護対策の相違
		62	【発電所外の通信連絡】 衛星電話設備 (固定型) 衛星電話設備 (FAX) 統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備 データ収集計算機 ERSS伝送サーバ 衛星電話設備 (屋外アンテナ) 【伝送路】 有線 (建物内) (衛星電話設備 (固定、FAX)に係るもの) 【伝送路】 有線 (建物内) (統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備、ERSSに係るもの) 【伝送路】 衛星電話設備 (携帯型)	A/B 4-05	煙感知器・熱感知器	消火器	
			有線 (建物内) (衛星電話設備 (固定、FAX)に係るもの) 【伝送路】	0/B 1-03	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
			有線 (建物内) (統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備、ERSSに係るもの) 【伝送路】 衛星電話設備 (携帯型)	A/B 4-04-3	煙感知器・熱感知器	全城ガス消火設備	
			【1次冷却設備】 蒸気発生器 1次冷却材ポンプ 原子炉容器 (炉心支持構造物を含む) 加圧器 1次冷却材管 加圧器サージ管		不燃材のため追加対策不要		
			【原子炉格納容器】 原子炉格納容器		不燃材のため追加対策不要		
		その他の設備	【使用済燃料貯蔵槽】 使用済燃料ビット		不燃材のため追加対策不要		
			【非常取水設備】 貯留槽 取水口 取水路 取水ビットスクリーン室 取水ビットポンプ室		不燃材のため追加対策不要		

泊発電所3号炉審査資料	
資料番号	SA43H-9 r.4.0
提出年月日	令和5年7月31日

泊発電所3号炉

設置許可基準規則等への適合状況について
(重大事故等対処設備)
補足説明資料
比較表

43条

令和5年7月
北海道電力株式会社

枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

共一 1 重大事故等対処設備の設備分類及び選定について

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>共一 2 重大事故等対処設備の設備分類等</p> <p>1. 重大事故等対処設備の選定について</p> <p>重大事故等対処設備の選定にあたっては、手順と設備を整合させる観点から、設置許可添付十（技術的能力）と添付八（設備）において、共通の重大事故等対処設備を抽出して記載するが、これらに加えて以下の設備を重大事故等対処設備とする。</p> <p>① 重大事故等時に流路を形成する設備</p> <p>② 重大事故等時に使用する、原子炉トリップ信号で動作する系統に含まれる設備である原子炉トリップしゃ断器及び制御棒クラスタ</p> <p>③ その他重大事故等時に使用する設備（有効性評価において使用する設備）：蓄圧タンク・蓄圧タンク出口弁・余熱除去ポンプ入口弁等</p> <p>①については、原則として既設置許可で登録されている設備（配管を除く）を記載しているが、以下については、設置許可に記載すべき設備として抽出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配管であっても「1次冷却材管」「加圧器サージ管」「主蒸気管」は、既設置許可に登録されていることから記載する。 ・「貯水堰」「海水ポンプ室」は、既設置許可には記載が無いが、重大事故等時に海水ポンプの流路として使用するため今回新たに記載する。 ・「海水ストレナ」は、既設置許可には記載が無いが、重大事故等時に可搬型重大事故等対処設備と常設設備との接続口として特別な使い方をするため今回新たに記載する。 <p>これらをまとめて別紙1に示す。</p> <p>また、重大事故等の対処に使用するものについては、重大事故等対処設備、多様性拡張設備（設置許可添付十）を記載しているが、これら以外のものについては、以下の判断基準により「その他資機材」として整理した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重大事故等対処設備の移動、運搬に活用する車両等のうち以下のもの ・構内に代用可能な車両があり、他の運搬手段で代替可能なもの ・人力でも有効性評価時間内に対応可能であるが、省力化のため導入するもの ・構内に複数保有しており、速やかに入手できる汎用工具等 ・放射線防護具等、構内に十分な予備が保管されている資材（ゴム手袋、タイベック、マスク、靴下等の装着品、エア設定に用いるバリア、鉛遮へい等） ・消耗品（乾電池、テープ、ガスカート等） <p>表1に、「その他資機材」として整理した主なものを示す。</p>	<p>共一 1 重大事故等対処設備の設備分類及び選定について</p> <p>1 重大事故等対処設備</p> <p>1.1 重大事故等対処設備について</p> <p>重大事故に至るおそれがある事故が発生した場合において、炉心、使用済燃料プール内の燃料体等及び運転停止中における発電用原子炉内の燃料体の著しい損傷を防止するために、また、重大事故が発生した場合においても、原子炉格納容器の破損及び発電所外への放射性物質の異常な放出を防止するために、「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則」（以下「設置許可基準規則」という。）第三章（重大事故等対処施設）にて定められる重大事故等対処設備として以下の設備を設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第43条 アクセスルートを確認するための設備 ・第44条 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための設備 ・第45条 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための設備 ・第46条 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための設備 ・第47条 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための設備 ・第48条 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための設備 ・第49条 原子炉格納容器内の冷却等のための設備 ・第50条 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための設備 ・第51条 原子炉格納容器下部の熔融炉心を冷却するための設備 ・第52条 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための設備 ・第53条 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための設備 ・第54条 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための設備 ・第55条 工場等外（以下「発電所外」という。）への放射性物質の拡散を抑制するための設備 ・第56条 重大事故等の収束に必要な水の供給設備 ・第57条 電源設備 ・第58条 計装設備 ・第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備 ・第60条 監視測定設備 ・第61条 緊急時対策所 ・第62条 通信連絡を行うために必要な設備 <p>これらの設備については、<u>[A]新たに重大事故等に対処する機能を付加させた設備に加え、当該設備が機能を発揮するために必要な系統（水源から注水先まで、流路を含む。）までを含むものとする。</u></p>	<p>共一 1 重大事故等対処設備の設備分類及び選定について</p> <p>1 重大事故等対処設備</p> <p>1.1 重大事故等対処設備について</p> <p>重大事故に至るおそれがある事故が発生した場合において、炉心、使用済燃料ピット内の燃料体等及び運転停止中における発電用原子炉内の燃料体の著しい損傷を防止するために、また、重大事故が発生した場合においても、原子炉格納容器の破損及び発電所外への放射性物質の異常な放出を防止するために、「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則」（以下「設置許可基準規則」という。）第三章（重大事故等対処施設）にて定められる重大事故等対処設備として以下の設備を設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第43条 アクセスルートを確認するための設備 ・第44条 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための設備 ・第45条 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための設備 ・第46条 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための設備 ・第47条 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための設備 ・第48条 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための設備 ・第49条 原子炉格納容器内の冷却等のための設備 ・第50条 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための設備 ・第51条 原子炉格納容器下部の熔融炉心を冷却するための設備 ・第52条 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための設備 ・第53条 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための設備 ・第54条 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための設備 ・第55条 工場等外（以下「発電所外」という。）への放射性物質の拡散を抑制するための設備 ・第56条 重大事故等の収束に必要な水の供給設備 ・第57条 電源設備 ・第58条 計装設備 ・第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備 ・第60条 監視測定設備 ・第61条 緊急時対策所 ・第62条 通信連絡を行うために必要な設備 <p>これらの設備については、<u>[A]新たに重大事故等に対処する機能を付加させた設備に加え、当該設備が機能を発揮するために必要な系統（水源から注水先まで、流路を含む。）までを含むものとする。</u></p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違 ・後段の一覧表において「注水先」と整理しているため、泊は「注水先」とする。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

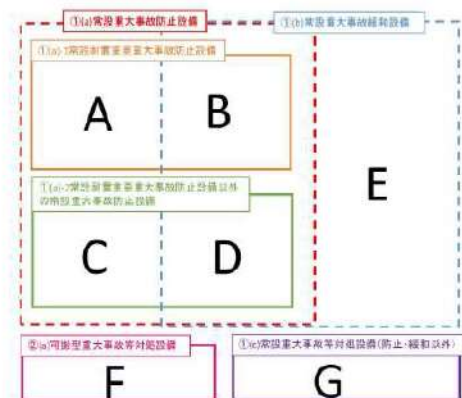
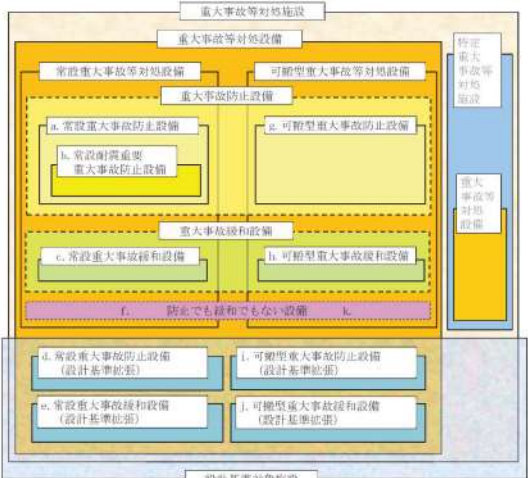
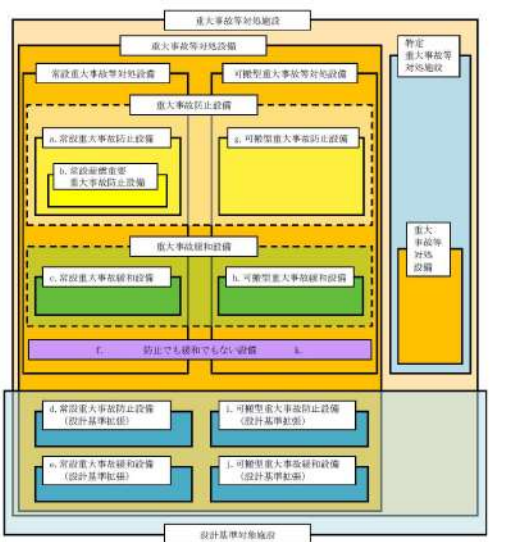
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>設計基準対象施設のうち、重大事故等時に機能を期待する設備であって、重大事故の発生を防止する機能を有する上記 a. 以外の常設のもの</p> <p>e. 常設重大事故緩和設備（設計基準拡張） 設計基準対象施設のうち、重大事故等時に機能を期待する設備であって、重大事故の拡大を防止し、又はその影響を緩和するための機能を有する上記 c. 以外の常設のもの</p> <p>f. 常設重大事故等対処設備のうち防止でも緩和でもない設備 常設重大事故等対処設備のうち、上記 a., b., c., d., e. 以外の常設設備で、防止又は緩和の機能がないもの</p> <p>(2) 可搬型重大事故等対処設備 重大事故等対処設備のうち可搬型のもの</p> <p>g. 可搬型重大事故防止設備 重大事故防止設備のうち可搬型のもの</p> <p>h. 可搬型重大事故緩和設備 重大事故緩和設備のうち可搬型のもの</p> <p>i. 可搬型重大事故防止設備（設計基準拡張） 設計基準対象施設のうち、重大事故等時に機能を期待する設備であって、重大事故の発生を防止する機能を有する上記 g. 以外の可搬型のもの（ただし、女川原子力発電所2号炉においては、本分類に該当する設備はなし）</p> <p>j. 可搬型重大事故緩和設備（設計基準拡張） 設計基準対象施設のうち、重大事故等時に機能を期待する設備であって、重大事故の拡大を防止し、又はその影響を緩和するための機能を有する上記 h. 以外の可搬型のもの（ただし、女川原子力発電所2号炉においては、本分類に該当する設備はなし）</p> <p>k. 可搬型重大事故等対処設備のうち防止でも緩和でもない設備 可搬型重大事故等対処設備のうち、上記 g., h., i., j. 以外の可搬型設備で、防止又は緩和の機能がないもの</p> <p>重大事故等対処設備の分類の概念を図1に示す。</p>	<p>設計基準対象施設のうち、重大事故等時に機能を期待する設備であって、重大事故の発生を防止する機能を有する上記 a. 以外の常設のもの</p> <p>e. 常設重大事故緩和設備（設計基準拡張） 設計基準対象施設のうち、重大事故等時に機能を期待する設備であって、重大事故の拡大を防止し、又はその影響を緩和するための機能を有する上記 c. 以外の常設のもの</p> <p>f. 常設重大事故等対処設備のうち防止でも緩和でもない設備 常設重大事故等対処設備のうち、上記 a., b., c., d., e. 以外の常設設備で、防止又は緩和の機能がないもの</p> <p>(2) 可搬型重大事故等対処設備 重大事故等対処設備のうち可搬型のもの</p> <p>g. 可搬型重大事故防止設備 重大事故防止設備のうち、可搬型のもの</p> <p>h. 可搬型重大事故緩和設備 重大事故緩和設備のうち可搬型のもの</p> <p>i. 可搬型重大事故防止設備（設計基準拡張） 設計基準対象施設のうち、重大事故等時に機能を期待する設備であって、重大事故の発生を防止する機能を有する上記 g. 以外の可搬型のもの（ただし、泊発電所3号炉においては、本分類に該当する設備はなし）</p> <p>j. 可搬型重大事故緩和設備（設計基準拡張） 設計基準対象施設のうち、重大事故等時に機能を期待する設備であって、重大事故の拡大を防止し、又はその影響を緩和するための機能を有する上記 h. 以外の可搬型のもの（ただし、泊発電所3号炉においては、本分類に該当する設備はなし）</p> <p>k. 可搬型重大事故等対処設備のうち防止でも緩和でもない設備 可搬型重大事故等対処設備のうち、上記 g., h., i., j. 以外の可搬型設備で、防止又は緩和の機能がないもの</p> <p>重大事故等対処設備の分類の概念を図1に示す。</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

共-1 重大事故等対処設備の設備分類及び選定について

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>①(a)常設重大事故防止設備 ①(b)常設重大事故緩和設備 ②(a)可搬型重大事故等対処設備 ②(b)常設重大事故等対処設備(防止・緩和以外)</p> <p>(設備名) A: ATWS緩和設備(1号機・2号機) 常設緩和装置(1号機) B: 低圧化警報抑制システム(1号機・2号機) 常設緩和装置(1号機) C: 無し D: 空冷用蒸気冷却ピットシステム(AMPS)(2号機・3号機) 常設緩和装置(1号機) E: 静的製氷式大規模貯水装置(2号機・3号機) 常設緩和装置(1号機)</p> <p>F: 可搬型代替炉内システム(1号機・2号機) 可搬型重大事故等対処設備 G: 空冷用蒸気冷却ピットシステム(1号機・2号機) 可搬型重大事故等対処設備(防止・緩和以外)</p> <p>図1 重大事故等対処設備の区分について</p>	 <p>重大事故等対処施設 重大事故等対処設備 常設重大事故等対処設備 可搬型重大事故等対処設備 重大事故防止設備 常設重大事故防止設備 可搬型重大事故防止設備 重大事故緩和設備 常設重大事故緩和設備 可搬型重大事故緩和設備 防止でも緩和でもない設備 設計基準対象施設 特定重大事故等対処施設 重大事故等対処設備</p> <p>図1 重大事故等対処設備の分類</p>	 <p>重大事故等対処施設 重大事故等対処設備 常設重大事故等対処設備 可搬型重大事故等対処設備 重大事故防止設備 常設重大事故防止設備 可搬型重大事故防止設備 重大事故緩和設備 常設重大事故緩和設備 可搬型重大事故緩和設備 防止でも緩和でもない設備 設計基準対象施設 特定重大事故等対処施設 重大事故等対処設備</p> <p>図1 重大事故等対処設備の分類</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.3 重大事故等対処設備の選定の考え方について</p> <p>1.1 に示した重大事故等対処設備については、図2に示す選定及び分類フローに基づき、それぞれ以下のとおり選定し、かつ1.2 に示した設備分類に分類する。</p> <p>(1) 対象設備の選定</p> <p>1.1 に示したとおり、『重大事故等対処設備』とは、設置許可基準規則第三章（重大事故等対処施設）に定められる設備である。設置許可基準規則第三章には第37条～第62条の26条文があり、このうち、選定した重大事故等対処施設の有効性の評価を求める条文である第37条、重大事故等対処施設全般に対する要求を示した条文である第38条～第41条を除く21条文に適合するために必要な設備が対象となる。なお、各条文に適合するために必要な設備ではなく、かつ設計基準対象施設にも該当しない設備は、自主対策設備である。</p> <p>(2) 設計基準対象施設と重大事故等対処設備の分類</p> <p>1.1 に示したとおり、(1)に示す21条文に適合するために必要な設備には、新たに重大事故等に対処する機能を付加させた設備、及び当該設備が機能を発揮するために必要な系統（水源から注水先まで、流路を含む。）が含まれるものとする。</p> <p>一方、設計基準対象施設の機能を重大事故等発生時に期待する場合において、上記設備に該当しないものは、重大事故等対処設備（設計基準拡張）と位置づける。これは、設計基準対象施設として設計されており、かつ新たに機能を付加させていない設備については、設計基準対象施設としての機能を重大事故等発生時に流用しているものであるが、使用環境等が異なる可能性があるため、当該使用環境において使用できること等を評価によって示すためである。</p> <p>この考え方は、「実用発電用原子炉に係る炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策の有効性評価に関する審査ガイド」2.2.2 有効性評価の共通解析条件に記載されている以下の内容にも合致するものである。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(3) 設計基準事故対処設備の適用条件</p> <p>b. 故障を想定した設備を除き、設備の機能を期待することの妥当性（原子炉の圧力、温度及び水位等）が示された場合には、その機能を期待できる。</p> </div> <p>すなわち、重大事故等対処設備の有効性評価においては、有効性を確認したい重大事故等対処設備以外は、機能を期待することが妥当な設計基準対象施設を含めることができるということであり、このような設備を重大事故等対処設備（設計基準拡張）と位置づけるものである。</p>	<p>1.3 重大事故等対処設備の選定の考え方について</p> <p>1.1 に示した重大事故等対処設備については、図2に示す選定及び分類フローに基づき、それぞれ以下のとおり選定し、かつ1.2 に示した設備分類に分類する。</p> <p>(1) 対象設備の選定</p> <p>1.1 に示したとおり、『重大事故等対処設備』とは、設置許可基準規則第三章（重大事故等対処施設）に定められる設備である。設置許可基準規則第三章には第37条～第62条の26条文があり、このうち、選定した重大事故等対処施設の有効性の評価を求める条文である第37条、重大事故等対処施設全般に対する要求を示した条文である第38条～第41条を除く21条文に適合するために必要な設備が対象となる。なお、各条文に適合するために必要な設備ではなく、かつ設計基準対象施設にも該当しない設備は、自主対策設備である。</p> <p>(2) 設計基準対象施設と重大事故等対処設備の分類</p> <p>1.1 に示したとおり、(1)に示す21条文に適合するために必要な設備には、新たに重大事故等に対処する機能を付加させた設備、及び当該設備が機能を発揮するために必要な系統（水源から注水先まで、流路を含む。）が含まれるものとする。</p> <p>一方、設計基準対象施設の機能を重大事故等発生時に期待する場合において、上記設備に該当しないものは、重大事故等対処設備（設計基準拡張）と位置づける。これは、設計基準対象施設として設計されており、かつ新たに機能を付加させていない設備については、設計基準対象施設としての機能を重大事故等発生時に流用しているものであるが、使用環境等が異なる可能性があるため、当該使用環境において使用できること等を評価によって示すためである。</p> <p>この考え方は、「実用発電用原子炉に係る炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策の有効性評価に関する審査ガイド」2.2.2 有効性評価の共通解析条件に記載されている以下の内容にも合致するものである。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(3) 設計基準事故対処設備の適用条件</p> <p>b. 故障を想定した設備を除き、設備の機能を期待することの妥当性（原子炉の圧力、温度及び水位等）が示された場合には、その機能を期待できる。</p> </div> <p>すなわち、重大事故等対処設備の有効性評価においては、有効性を確認したい重大事故等対処設備以外は、機能を期待することが妥当な設計基準対象施設を含めることができるということであり、このような設備を重大事故等対処設備（設計基準拡張）と位置づけるものである。</p>	<p>1.3 重大事故等対処設備の選定の考え方について</p> <p>1.1 に示した重大事故等対処設備については、図2に示す選定及び分類フローに基づき、それぞれ以下のとおり選定し、かつ1.2 に示した設備分類に分類する。</p> <p>(1) 対象設備の選定</p> <p>1.1 に示したとおり、『重大事故等対処設備』とは、設置許可基準規則第三章（重大事故等対処施設）に定められる設備である。設置許可基準規則第三章には第37条～第62条の26条文があり、このうち、選定した重大事故等対処施設の有効性の評価を求める条文である第37条、重大事故等対処施設全般に対する要求を示した条文である第38条～第41条を除く21条文に適合するために必要な設備が対象となる。なお、各条文に適合するために必要な設備ではなく、かつ設計基準対象施設にも該当しない設備は、自主対策設備である。</p> <p>(2) 設計基準対象施設と重大事故等対処設備の分類</p> <p>1.1 に示したとおり、(1)に示す21条文に適合するために必要な設備には、新たに重大事故等に対処する機能を付加させた設備、及び当該設備が機能を発揮するために必要な系統（水源から注水先まで、流路を含む。）が含まれるものとする。</p> <p>一方、設計基準対象施設の機能を重大事故等発生時に期待する場合において、上記設備に該当しないものは、重大事故等対処設備（設計基準拡張）と位置づける。これは、設計基準対象施設として設計されており、かつ新たに機能を付加させていない設備については、設計基準対象施設としての機能を重大事故等発生時に流用しているものであるが、使用環境等が異なる可能性があるため、当該使用環境において使用できること等を評価によって示すためである。</p> <p>この考え方は、「実用発電用原子炉に係る炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策の有効性評価に関する審査ガイド」2.2.2 有効性評価の共通解析条件に記載されている以下の内容にも合致するものである。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(3) 設計基準事故対処設備の適用条件</p> <p>b. 故障を想定した設備を除き、設備の機能を期待することの妥当性（原子炉の圧力、温度及び水位等）が示された場合には、その機能を期待できる。</p> </div> <p>すなわち、重大事故等対処設備の有効性評価においては、有効性を確認したい重大事故等対処設備以外は、機能を期待することが妥当な設計基準対象施設を含めることができるということであり、このような設備を重大事故等対処設備（設計基準拡張）と位置づけるものである。</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違 ・後段の一覧表において「注水先」と整理しているため、泊は「注水先」とする。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>なお、第44条に適合するために必要な設備のうち、ほう酸水注入系については、第25条に定められる反応度制御系及び原子炉停止系に該当する設計基準対象施設であり、原子炉に注入することで反応度を制御するための設備である点に変更がない。しかし、当該系統の効果に期待する「原子炉停止機能喪失」事象が新たに重大事故等として明確に位置づけられたことから、重大事故等対処設備にも該当する設備と整理し、重大事故等対処設備（設計基準拡張）には位置づけられないこととする。</p> <p>また、「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」で設置を要求される設備についても、同様に、重大事故等対処設備と整理されるか、重大事故等対処設備（設計基準拡張）と位置づけられるかの分類を実施する。</p> <p>例えば、同審査基準 1.2【解釈】1(3)a) 「重大事故等の進展を抑制するため、ほう酸水注入系（SLCS）又は制御棒駆動機構（CRD）等から注水する手順等を整備すること。（BWRの場合）」 で要求される手順にて使用するほう酸水注入系又は制御棒駆動水圧系を用いた注水（事象緩和のみの少量注水）は、設計基準対象施設 兼 重大事故等対処設備であるほう酸水注入系又は設計基準対象施設である制御棒駆動水圧系を重大事故等発生時の高圧注水の用途に流用して使用するものであり、本来の機能を発揮させる方法で使用した結果として原子炉圧力容器内に水を送ることも兼ねる手順を整備するものである。本要求に対しては、設計基準対象施設 兼 重大事故等対処設備であるほう酸水注入系をもって適合することとし、制御棒駆動水圧系について新たな分類は付加しないこととする。</p>	<p>なお、第44条に適合するために必要な設備のうち、ほう酸水注入に使用する化学体積制御設備については、第25条に定められる反応度制御系及び原子炉停止系に該当する設計基準対象施設であり、原子炉に注入することで反応度を制御するための設備である点に変更がない。しかし、当該系統の効果に期待する「原子炉停止機能喪失」事象が新たに重大事故等として明確に位置づけられたことから、重大事故等対処設備にも該当する設備と整理し、重大事故等対処設備（設計基準拡張）には位置づけられないこととする。</p> <p>一方、第44条に要求されるほう酸水注入を実施する設備のうち、非常用炉心冷却設備のうち高圧注入系の高圧注入ポンプを用いたほう酸水注入は、設計基準対象施設 兼 重大事故等対処設備である高圧注入系を、重大事故等発生時に1次冷却材圧力が高圧注入ポンプ注入圧力未満であればほう酸水注入の用途に流用して使用するものであり、本来の機能を発揮させる方法で使用した結果としてほう酸水を発電用原子炉へ注入するものである。本要求に対しては、設計基準対象施設 兼 重大事故等対処設備である化学体積制御設備をもって適合することとし、高圧注入系について新たな分類は付加しないこととする。</p> <p>また、「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」で設置を要求される設備についても、同様に、重大事故等対処設備と整理されるか、重大事故等対処設備（設計基準拡張）と位置づけられるかの分類を実施する。</p>	<p>【女川】 PWR固有の整理 ・ほう酸水を注入する設備として、化学体積制御設備を用いる手段に加え、非常用炉心冷却設備のうち高圧注入系を用いる手段があるが、高圧注入系を用いる手段は1次冷却材圧力が高圧注入ポンプ注入圧力未満である場合にほう酸水注入が可能な手段であり、重大事故等対処設備の分類は付加せず、技術的能力1.1において自主対策設備と位置付ける。（大飯と同様の整理）</p> <p>【女川】 技術的能力審査基準 1.2【解釈】1(3)重大事故等の進展抑制 は、BWR固有の要求事項であり、PWRにおいて該当する手順はない。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>なお、同審査基準 1. 14【解釈】1(1)c)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「複数号機設置されている工場等では、号機間の電力融通を行えるようにしておくこと。また、敷設したケーブル等が利用できない状況に備え、予備のケーブル等を用意すること。」</p> </div> <p>で要求される手順にて使用する号機間電力融通用の予備ケーブルは、女川原子力発電所2号炉は単号機申請であることから、対象外である。</p> <p>(3) 特定重大事故等対処施設の除外 第42条に適合するためだけに必要な設備は『特定重大事故等対処施設』であり、本申請内容には該当しないため除外する。</p>	<p>例えば、同審査基準 1. 14【解釈】1(1)c)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「複数号機設置されている工場等では、号機間の電力融通を行えるようにしておくこと。また、敷設したケーブル等が利用できない状況に備え、予備のケーブル等を用意すること。」</p> </div> <p>で要求される手順にて使用する号機間電力融通用の予備ケーブルは、泊発電所3号炉は単号機申請であることから、対象外である。</p> <p>(3) 特定重大事故等対処施設の除外 第42条に適合するためだけに必要な設備は『特定重大事故等対処施設』であり、本申請内容には該当しないため除外する。</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

共-1 重大事故等対処設備の設備分類及び選定について

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(2) 重大事故等対処設備が代替する機能を有する設計基準事故対処設備の記載については、以下のとおりとする。</p> <p>① (1) ①(a)-1, ①(a)-2 については、代替する機能を有する設計基準事故対処設備の名称、及び当該設備の耐震重要度分類を記載する。代替する機能を担保する設計基準事故対処設備が複数あり、耐震重要度分類が異なる場合には、最も上位の耐震重要度分類を記載する。</p> <p>② (1) ①(b)及び①(c)については、代替する機能を有する設計基準事故対処設備は無いため、「―」を記載する。</p> <p>③ (1) ②(a)については、重大事故防止設備に該当するものについては、代替する機能を有する設計基準事故対処設備の名称を記載し、重大事故緩和設備に該当するものについては、代替する機能を有する設計基準事故対処設備は無いため、「―」を記載する。</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">内容比較用に、次頁に再掲</p> <p>(3) 重大事故等対処設備の重大事故等クラスの記載については、以下のとおりとする。</p> <p>① 「SA-2」：技術基準規則に規定されている「重大事故等クラス2容器」、「重大事故等クラス2管」、「重大事故等クラス2ポンプ」又は「重大事故等クラス2弁」のいずれかに該当するもの</p> <p>② 「SA-3」：技術基準規則に規定されている「重大事故等クラス3容器」、「重大事故等クラス3管」、「重大事故等クラス3ポンプ」又は「重大事故等クラス3弁」のいずれかに該当するもの。</p> <p>③ 「―」：SA-2にもSA-3にも属さないもの。</p>	<p>(4) 防止設備、緩和設備の分類</p> <p>重大事故等対処設備（設計基準拡張）を除き、重大事故を防止するために必要な設備は『重大事故防止設備』、重大事故の影響の緩和を行うために必要な設備は『重大事故緩和設備』と整理する。両方に該当する場合は『重大事故防止設備兼 重大事故緩和設備』と整理し、いずれにも該当しない場合は『防止でも緩和でもない設備』とする。</p> <p>以上を踏まえ、重大事故対処設備の設備分類等を表1に示す。なお、記載は以下のとおりとする。</p> <p>a. 設備種別 「常設」又は「可搬型」を記載する。</p> <p>b. 機器クラス 「実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則」の第二条（定義）に基づき、重大事故等クラスを記載する。常設のものうち容器、管、ポンプ及び弁については、「SA-2」（重大事故等クラス2）を記載し、それ以外については、「―」を記載する。可搬型のものうち容器、管、ポンプ及び弁については、「SA-3」（重大事故等クラス3）を記載し、それ以外については、「―」を記載する。</p> <p>内燃機関については、「発電用火力設備に関する技術基準」を準用することから、「―」を記載する。</p>	<p>(4) 防止設備、緩和設備の分類</p> <p>重大事故等対処設備（設計基準拡張）を除き、重大事故を防止するために必要な設備は『重大事故防止設備』、重大事故の影響の緩和を行うために必要な設備は『重大事故緩和設備』と整理する。両方に該当する場合は『重大事故防止設備兼 重大事故緩和設備』と整理し、いずれにも該当しない場合は『防止でも緩和でもない設備』とする。</p> <p>以上を踏まえ、重大事故対処設備の設備分類等を表1に示す。なお、記載は以下のとおりとする。</p> <p>a. 設備種別 「常設」又は「可搬型」を記載する。</p> <p>b. 機器クラス 「実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則」の第二条（定義）に基づき、重大事故等クラスを記載する。常設のものうち容器、管、ポンプ及び弁については、「SA-2」（重大事故等クラス2）を記載し、それ以外については、「―」を記載する。可搬型のものうち容器、管、ポンプ及び弁については、「SA-3」（重大事故等クラス3）を記載し、それ以外については、「―」を記載する。</p> <p>内燃機関については、「発電用火力設備に関する技術基準」を準用することから、「―」を記載する。</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

共-1 重大事故等対処設備の設備分類及び選定について

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(2) 重大事故等対処設備が代替する機能を有する設計基準事故対処設備の記載については、以下のとおりとする。</p> <p>① (1) ①(a)-1, ①(a)-2 については、代替する機能を有する設計基準事故対処設備の名称、及び当該設備の耐震重要度分類を記載する。代替する機能を担保する設計基準事故対処設備が複数あり、耐震重要度分類が異なる場合には、最も上位の耐震重要度分類を記載する。</p> <p>② (1) ①(b)及び①(c)については、代替する機能を有する設計基準事故対処設備は無いため、「-」を記載する。</p> <p>③ (1) ②(a)については、重大事故防止設備に該当するものについては、代替する機能を有する設計基準事故対処設備の名称を記載し、重大事故緩和設備に該当するものについては、代替する機能を有する設計基準事故対処設備は無いため、「-」を記載する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">内容比較用に、前頁の記載を再掲</div>	<p>c. 重大事故等対処設備が代替する機能を有する設計基準対象施設</p> <p>(a) 重大事故等対処設備（計装設備（設置許可基準規則第58条）を除く。）について、代替する機能を有する設計基準対象施設がある場合は、その名称及び耐震重要度分類を記載し、代替する機能を有する設計基準対象施設がない場合は、「-」を記載する。</p> <p>重大事故等対処設備のうち、重大事故等時に設計基準対象施設としての機能を期待するため、設計基準対象施設であり、かつ重大事故等対処設備である設備については、() 内に当該設備を記載する。</p> <p>(b) 計装設備（設置許可基準規則第58条）は、主要設備の計測が困難となった場合の重要代替監視パラメータの名称及び耐震重要度を記載する。重要代替監視パラメータがない場合は、「-」を記載する。</p> <p>なお、計装設備のうち、その他（重大事故等対処設備を活用する手順等の着手の判断基準として用いる補助パラメータ）については、設置許可基準規則第58条への適合方針に従い、重大事故等対処設備に位置づけるものの代替パラメータは設定しないことから、上記（a）に従って記載する。</p>	<p>c. 重大事故等対処設備が代替する機能を有する設計基準対象施設</p> <p>(a) 重大事故等対処設備（計装設備（設置許可基準規則第58条）を除く。）について、代替する機能を有する設計基準対象施設がある場合は、その名称及び耐震重要度分類を記載し、代替する機能を有する設計基準対象施設がない場合は、「-」を記載する。</p> <p>重大事故等対処設備のうち、重大事故等時に設計基準対象施設としての機能を期待するため、設計基準対象施設であり、かつ重大事故等対処設備である設備については、() 内に当該設備を記載する。</p> <p>(b) 計装設備（設置許可基準規則第58条）は、主要設備の計測が困難となった場合の重要代替監視パラメータの名称及び耐震重要度を記載する。重要代替監視パラメータがない場合は、「-」を記載する。</p> <p>なお、計装設備のうち、その他（重大事故等対処設備を活用する手順等の着手の判断基準として用いる補助パラメータ）については、設置許可基準規則第58条への適合方針に従い、重大事故等対処設備に位置づけるものの代替パラメータは設定しないことから、上記（a）に従って記載する。</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>大飯発電所3 / 4号炉</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p> <p>図2 重大事故等対処設備の選定及び分類フロー</p>	<p>泊発電所3号炉</p> <p>図2 重大事故等対処設備の選定及び分類フロー</p>	<p>相違理由</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

共-1 重大事故等対処設備の設備分類及び選定について

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>3. 可搬型重大事故等対処設備の必要数、予備数及び保有数について</p> <p>(1) 可搬型重大事故等対処設備の必要数及び予備数について<基本的考え方></p> <p>可搬型重大事故等対処設備の必要数及び予備数の確保の基本的考え方については、基準規則43条3項1号「想定される重大事故等の収束に必要な容量に加え、十分に余裕のある容量を有するものであること。」に基づき、次のとおりとする。</p> <p>必要な容量として、基準規則の解釈43条5項(c)「当該原子炉において想定する重大事故等において、炉心損傷防止及び格納容器破損防止等のために有効な機能を果たすことができる容量」を満足する数量(以下、必要数:「N」という。)を確保する。</p> <p>また、十分に余裕のある容量として、必要数に加え、基準規則の解釈43条5項(a)及び(b)を踏まえて、以下のとおりとする。</p> <p>① 可搬型重大事故等対処設備の区分に応じた十分に余裕のある容量の確保の考え方</p> <p>(ア) 可搬型重大事故等対処設備のうち、可搬型代替電源設備及び可搬型注水設備(原子炉建屋の外から水又は電力を供給するものに限る。)は、基準規則の解釈43条5項(a)により、「1基当たり2セット以上を持つこと。これに加え、故障時のバックアップ及び保守点検による待機除外時のバックアップを工場等全体で確保すること。」を要求されていることから、設備に応じた必要数を2セット(2N)と故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップを確保する。</p> <p>(イ) 可搬型直流電源設備等であって負荷に直接接続するものは、基準規則の解釈43条5項(b)により、「1負荷当たり1セットに、工場等全体で故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップを加えた容量を持つこと。」を要求されていることから、設備に応じた必要数を1セット(1N)と故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップを確保する。</p> <p>なお、可搬型直流電源設備等であって負荷に直接接続するものとは、可搬型バッテリー・窒素ポンプ・可搬式整流器とする。</p> <p>(ウ) (ア)及び(イ)以外の可搬型重大事故等対処設備は、(イ)と同様の考え方に従い、必要数1セット(1N)と故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップを確保する。</p> <p>② 可搬型重大事故等対処設備のバックアップ(予備)数の確保の考え方</p> <p>バックアップ(予備)数については、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップを考慮するものとし、保守点検時であっても故障時のバックアップが確保された状態とするために、保守点検実施時期、保守点検内容、保守点検実施時の対応を勘案し、バックアップ保有数(a)を選定する。</p>			<p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川審査実績の反映 ・泊、女川とも左記考え方に相当する内容を「共-4 可搬型重大事故等対処設備の必要数、予備数及び保有数について」に整理する。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

共-1 重大事故等対処設備の設備分類及び選定について

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>以上の考え方をフローにしたものを図2に示す。</p> <p>図2 可搬型重大事故等対処設備のバックアップ保有数選定フロー</p> <p>(2) 可搬型重大事故等対処設備の保有数の考え方について (ア) 可搬型重大事故等対処設備のうち、可搬型代替電源設備及び可搬型注水設備（原子炉建屋の外から水又は電力を供給するものに限る。）は、$2N+1$（(1)②により、バックアップが「2」必要と判断したものは$2N+2$）を保有する。 (イ) 可搬型直流電源設備等であって負荷に直接接続するもの（可搬型バッテリー・窒素ポンペ・可搬式整流器）は、$N+1$（(1)②により、バックアップが「2」必要と判断したものは$N+2$）を保有する。 (ウ) (ア)・(イ)以外の可搬型重大事故等対処設備（例：タンクローリー等）は、$N+1$（(1)②により、バックアップが「2」必要と判断したものは$N+2$）を保有する。 (3) 可搬型重大事故等対処設備の保有数の設置許可上の記載について (ア) 可搬型重大事故等対処設備のうち、可搬型代替電源設備及び可搬型注水設備（原子炉建屋の外から水又は電力を供給するものに限る。）は、$2N+1$（(1)②により、バックアップが「2」必要と判断したものは$2N+2$）を記載する。 (イ) 可搬型直流電源設備等であって負荷に直接接続するもの（可搬型バッテリー・窒素ポンペ・可搬式整流器）は、$N+1$（(1)②により、バックアップが「2」必要と判断したものは$N+2$）を記載する。 (ウ) (ア)・(イ)以外の可搬型重大事故等対処設備は、$N+1$（(1)②により、バックアップが「2」必要と判断したものは$N+2$）を記載する。 別紙3に可搬型重大事故等対処設備の一覧表を保有数量の考え方とともに示す。</p>			

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

共-1 重大事故等対処設備の設備分類及び選定について

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																												
<div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">別紙1</div> <table border="1" data-bbox="96 306 607 775" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">No.</th> <th style="width: 75%;">重大事故等対策において流路機能を有する設備</th> <th style="width: 20%;">既設置許可の記載箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>原子炉容器</td><td>1次冷却設備</td></tr> <tr><td>2</td><td>加圧器</td><td>1次冷却設備</td></tr> <tr><td>3</td><td>蒸気発生器</td><td>1次冷却設備</td></tr> <tr><td>4</td><td>1次冷却材ポンプ</td><td>1次冷却設備</td></tr> <tr><td>5</td><td>1次冷却材管</td><td>1次冷却設備</td></tr> <tr><td>6</td><td>加圧器サージ管</td><td>1次冷却設備</td></tr> <tr><td>7</td><td>使用済燃料ピット</td><td>燃料取扱及び貯蔵設備</td></tr> <tr><td>8</td><td>貯水罐</td><td>※1</td></tr> <tr><td>9</td><td>海水ポンプ室</td><td>※1</td></tr> <tr><td>10</td><td>A、B海水ストレーナ</td><td>※2</td></tr> <tr><td>11</td><td>A、B原子炉補機冷却水冷却器</td><td>原子炉補機冷却水設備</td></tr> <tr><td>12</td><td>A、B余熱除去冷却器</td><td>非常用炉心冷却設備 余熱除去設備</td></tr> <tr><td>13</td><td>中央制御室空調ユニット</td><td>換気空調設備</td></tr> <tr><td>14</td><td>ほう機フィルタ</td><td>化学体積制御設備</td></tr> <tr><td>15</td><td>再生熱交換器</td><td>化学体積制御設備</td></tr> <tr><td>16</td><td>A、B格納容器スプレイ冷却器</td><td>原子炉格納容器スプレイ設備</td></tr> <tr><td>17</td><td>主蒸気管</td><td>主蒸気系統設備</td></tr> <tr><td>18</td><td>排気筒</td><td>換気空調設備</td></tr> <tr><td>19</td><td>原子炉格納容器</td><td>原子炉格納施設</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 既設置許可には記載が無いが、重大事故等時に海水ポンプの流路として使用するため今回新たに記載する。</p> <p>※2 既設置許可には記載が無いが、重大事故等時に可搬型重大事故等対処設備と常設設備との接続口として特別な使い方をするため今回新たに記載する。</p>	No.	重大事故等対策において流路機能を有する設備	既設置許可の記載箇所	1	原子炉容器	1次冷却設備	2	加圧器	1次冷却設備	3	蒸気発生器	1次冷却設備	4	1次冷却材ポンプ	1次冷却設備	5	1次冷却材管	1次冷却設備	6	加圧器サージ管	1次冷却設備	7	使用済燃料ピット	燃料取扱及び貯蔵設備	8	貯水罐	※1	9	海水ポンプ室	※1	10	A、B海水ストレーナ	※2	11	A、B原子炉補機冷却水冷却器	原子炉補機冷却水設備	12	A、B余熱除去冷却器	非常用炉心冷却設備 余熱除去設備	13	中央制御室空調ユニット	換気空調設備	14	ほう機フィルタ	化学体積制御設備	15	再生熱交換器	化学体積制御設備	16	A、B格納容器スプレイ冷却器	原子炉格納容器スプレイ設備	17	主蒸気管	主蒸気系統設備	18	排気筒	換気空調設備	19	原子炉格納容器	原子炉格納施設			<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>
No.	重大事故等対策において流路機能を有する設備	既設置許可の記載箇所																																																													
1	原子炉容器	1次冷却設備																																																													
2	加圧器	1次冷却設備																																																													
3	蒸気発生器	1次冷却設備																																																													
4	1次冷却材ポンプ	1次冷却設備																																																													
5	1次冷却材管	1次冷却設備																																																													
6	加圧器サージ管	1次冷却設備																																																													
7	使用済燃料ピット	燃料取扱及び貯蔵設備																																																													
8	貯水罐	※1																																																													
9	海水ポンプ室	※1																																																													
10	A、B海水ストレーナ	※2																																																													
11	A、B原子炉補機冷却水冷却器	原子炉補機冷却水設備																																																													
12	A、B余熱除去冷却器	非常用炉心冷却設備 余熱除去設備																																																													
13	中央制御室空調ユニット	換気空調設備																																																													
14	ほう機フィルタ	化学体積制御設備																																																													
15	再生熱交換器	化学体積制御設備																																																													
16	A、B格納容器スプレイ冷却器	原子炉格納容器スプレイ設備																																																													
17	主蒸気管	主蒸気系統設備																																																													
18	排気筒	換気空調設備																																																													
19	原子炉格納容器	原子炉格納施設																																																													

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																		
<p style="text-align: center;">第13条 重大事故等対処設備</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2">設備種別</th> <th colspan="2">設備種別</th> <th colspan="2">設備種別</th> </tr> <tr> <th>設備種別</th> <th>設備種別</th> <th>設備種別</th> <th>設備種別</th> <th>設備種別</th> <th>設備種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉冷却系</td> <td>原子炉冷却系</td> <td>原子炉冷却系</td> <td>原子炉冷却系</td> <td>原子炉冷却系</td> <td>原子炉冷却系</td> </tr> </tbody> </table>	設備種別		設備種別		設備種別		設備種別	設備種別	設備種別	設備種別	設備種別	設備種別	原子炉冷却系	原子炉冷却系	原子炉冷却系	原子炉冷却系	原子炉冷却系	原子炉冷却系	<p style="text-align: center;">表1 重大事故等対処設備の設備分類等</p> <p style="text-align: center;">第13条 重大事故等対処設備</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備種別</th> <th rowspan="2">設備</th> <th colspan="2">設備種別</th> <th colspan="2">設備種別</th> </tr> <tr> <th>設備種別</th> <th>設備種別</th> <th>設備種別</th> <th>設備種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉冷却系</td> <td>原子炉冷却系</td> <td>原子炉冷却系</td> <td>原子炉冷却系</td> <td>原子炉冷却系</td> <td>原子炉冷却系</td> </tr> </tbody> </table>	設備種別	設備	設備種別		設備種別		設備種別	設備種別	設備種別	設備種別	原子炉冷却系	原子炉冷却系	原子炉冷却系	原子炉冷却系	原子炉冷却系	原子炉冷却系	<p style="text-align: center;">第43条 重大事故等対処設備</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備種別</th> <th rowspan="2">設備</th> <th colspan="2">設備種別</th> <th colspan="2">設備種別</th> </tr> <tr> <th>設備種別</th> <th>設備種別</th> <th>設備種別</th> <th>設備種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉冷却系</td> <td>原子炉冷却系</td> <td>原子炉冷却系</td> <td>原子炉冷却系</td> <td>原子炉冷却系</td> <td>原子炉冷却系</td> </tr> </tbody> </table>	設備種別	設備	設備種別		設備種別		設備種別	設備種別	設備種別	設備種別	原子炉冷却系	原子炉冷却系	原子炉冷却系	原子炉冷却系	原子炉冷却系	原子炉冷却系	<p>(43条) 【女川・大飯】 使用機材の相違</p> <p>以降の一覧表は、各条本文の進捗と整合を図り、</p> <ul style="list-style-type: none"> 用語の修正 重大事故等対処設備（設計基準拡張）の追加 <p>等を行った。</p>
設備種別		設備種別		設備種別																																																	
設備種別	設備種別	設備種別	設備種別	設備種別	設備種別																																																
原子炉冷却系	原子炉冷却系	原子炉冷却系	原子炉冷却系	原子炉冷却系	原子炉冷却系																																																
設備種別	設備	設備種別		設備種別																																																	
		設備種別	設備種別	設備種別	設備種別																																																
原子炉冷却系	原子炉冷却系	原子炉冷却系	原子炉冷却系	原子炉冷却系	原子炉冷却系																																																
設備種別	設備	設備種別		設備種別																																																	
		設備種別	設備種別	設備種別	設備種別																																																
原子炉冷却系	原子炉冷却系	原子炉冷却系	原子炉冷却系	原子炉冷却系	原子炉冷却系																																																

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第43条 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための設備

設備設計・制御	主要機能	設備	設置箇所	設備分類	選定理由	備考
蒸気発生炉	1号機2号機3号機4号機 ワンダラード	電動駆動軸流ポンプ、 タービン駆動軸流ポンプ、 自然対流ポンプ	5	電動駆動軸流ポンプ	電動駆動軸流ポンプ	5A-2
タービン駆動軸流ポンプ				タービン駆動軸流ポンプ	5A-2	
自然対流ポンプ				自然対流ポンプ	5A-2	
電動駆動軸流ポンプ				電動駆動軸流ポンプ	5A-2	
タービン駆動軸流ポンプ				タービン駆動軸流ポンプ	5A-2	
自然対流ポンプ				自然対流ポンプ	5A-2	
電動駆動軸流ポンプ				電動駆動軸流ポンプ	5A-2	
タービン駆動軸流ポンプ				タービン駆動軸流ポンプ	5A-2	
自然対流ポンプ				自然対流ポンプ	5A-2	
電動駆動軸流ポンプ				電動駆動軸流ポンプ	5A-2	

第43条 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための設備

設備設計・制御	主要機能	設備	設置箇所	設備分類	選定理由	備考
蒸気発生炉	1号機2号機3号機4号機 ワンダラード	電動駆動軸流ポンプ、 タービン駆動軸流ポンプ、 自然対流ポンプ	5	電動駆動軸流ポンプ	電動駆動軸流ポンプ	5A-2
タービン駆動軸流ポンプ				タービン駆動軸流ポンプ	5A-2	
自然対流ポンプ				自然対流ポンプ	5A-2	
電動駆動軸流ポンプ				電動駆動軸流ポンプ	5A-2	
タービン駆動軸流ポンプ				タービン駆動軸流ポンプ	5A-2	
自然対流ポンプ				自然対流ポンプ	5A-2	
電動駆動軸流ポンプ				電動駆動軸流ポンプ	5A-2	
タービン駆動軸流ポンプ				タービン駆動軸流ポンプ	5A-2	
自然対流ポンプ				自然対流ポンプ	5A-2	
電動駆動軸流ポンプ				電動駆動軸流ポンプ	5A-2	

第45条 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための設備

設備設計・制御	主要機能	設備	設置箇所	設備分類	選定理由	備考
蒸気発生炉	1号機2号機3号機4号機 ワンダラード	電動駆動軸流ポンプ、 タービン駆動軸流ポンプ、 自然対流ポンプ	5	電動駆動軸流ポンプ	電動駆動軸流ポンプ	5A-2
タービン駆動軸流ポンプ				タービン駆動軸流ポンプ	5A-2	
自然対流ポンプ				自然対流ポンプ	5A-2	
電動駆動軸流ポンプ				電動駆動軸流ポンプ	5A-2	
タービン駆動軸流ポンプ				タービン駆動軸流ポンプ	5A-2	
自然対流ポンプ				自然対流ポンプ	5A-2	
電動駆動軸流ポンプ				電動駆動軸流ポンプ	5A-2	
タービン駆動軸流ポンプ				タービン駆動軸流ポンプ	5A-2	
自然対流ポンプ				自然対流ポンプ	5A-2	
電動駆動軸流ポンプ				電動駆動軸流ポンプ	5A-2	

第45条 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための設備 (1/2)

設備設計・制御	主要機能	設備	設置箇所	設備分類	選定理由	備考
蒸気発生炉	1号機2号機3号機4号機 ワンダラード	電動駆動軸流ポンプ、 タービン駆動軸流ポンプ、 自然対流ポンプ	5	電動駆動軸流ポンプ	電動駆動軸流ポンプ	5A-2
タービン駆動軸流ポンプ				タービン駆動軸流ポンプ	5A-2	
自然対流ポンプ				自然対流ポンプ	5A-2	
電動駆動軸流ポンプ				電動駆動軸流ポンプ	5A-2	
タービン駆動軸流ポンプ				タービン駆動軸流ポンプ	5A-2	
自然対流ポンプ				自然対流ポンプ	5A-2	
電動駆動軸流ポンプ				電動駆動軸流ポンプ	5A-2	
タービン駆動軸流ポンプ				タービン駆動軸流ポンプ	5A-2	
自然対流ポンプ				自然対流ポンプ	5A-2	
電動駆動軸流ポンプ				電動駆動軸流ポンプ	5A-2	

第45条 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための設備 (2/2)

設備設計・制御	主要機能	設備	設置箇所	設備分類	選定理由	備考
蒸気発生炉	1号機2号機3号機4号機 ワンダラード	電動駆動軸流ポンプ、 タービン駆動軸流ポンプ、 自然対流ポンプ	5	電動駆動軸流ポンプ	電動駆動軸流ポンプ	5A-2
タービン駆動軸流ポンプ				タービン駆動軸流ポンプ	5A-2	
自然対流ポンプ				自然対流ポンプ	5A-2	
電動駆動軸流ポンプ				電動駆動軸流ポンプ	5A-2	
タービン駆動軸流ポンプ				タービン駆動軸流ポンプ	5A-2	
自然対流ポンプ				自然対流ポンプ	5A-2	
電動駆動軸流ポンプ				電動駆動軸流ポンプ	5A-2	
タービン駆動軸流ポンプ				タービン駆動軸流ポンプ	5A-2	
自然対流ポンプ				自然対流ポンプ	5A-2	
電動駆動軸流ポンプ				電動駆動軸流ポンプ	5A-2	

(45条)
【女川】
 対応手段、対応設備の相違
【大飯】
 記載方針の相違
 ・女川審査実績の反映（流路となる設備の記載）
 ・重大事故等対処設備として選定する設備の相違理由は、個別条文中にて説明

【女川・大飯】
 記載方針の相違
 ・監視及び制御に用いる設備は、58条において整理をするが、45条本文において記載しているため、一覧表にも「58条に記載」として挙げている。
【大飯】
 記載方針の相違
 ・45条本文に使用可能な場合にSAとして使用する蒸気発生器2次側からの除熱を整理したため、一覧にも明記する。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																
<p>第17条 原子炉冷却材圧力ワンダリ転回時に発電用原子炉を停止するための設備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備名称</th> <th>設備種別</th> <th>設備</th> <th>規格</th> <th>適合性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">運転時監視装置（運転員による監視）</td> <td rowspan="10">監視装置</td> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> <td>電力</td> <td>適合</td> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> </tr> <tr> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> <td>電力</td> <td>適合</td> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> </tr> <tr> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> <td>電力</td> <td>適合</td> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> </tr> <tr> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> <td>電力</td> <td>適合</td> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> </tr> <tr> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> <td>電力</td> <td>適合</td> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> </tr> <tr> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> <td>電力</td> <td>適合</td> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> </tr> <tr> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> <td>電力</td> <td>適合</td> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> </tr> <tr> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> <td>電力</td> <td>適合</td> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> </tr> <tr> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> <td>電力</td> <td>適合</td> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> </tr> <tr> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> <td>電力</td> <td>適合</td> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> </tr> </tbody> </table>	設備名称	設備種別	設備	規格	適合性	備考	運転時監視装置（運転員による監視）	監視装置	運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）	運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）	運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）	運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）	運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）	運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）	運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）	運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）	運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）	運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）	<p>第47条 原子炉冷却材圧力ワンダリ転回時に発電用原子炉を停止するための設備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備名称</th> <th>設備種別</th> <th>設備</th> <th>規格</th> <th>適合性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">運転時監視装置（運転員による監視）</td> <td rowspan="10">監視装置</td> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> <td>電力</td> <td>適合</td> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> </tr> <tr> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> <td>電力</td> <td>適合</td> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> </tr> <tr> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> <td>電力</td> <td>適合</td> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> </tr> <tr> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> <td>電力</td> <td>適合</td> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> </tr> <tr> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> <td>電力</td> <td>適合</td> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> </tr> <tr> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> <td>電力</td> <td>適合</td> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> </tr> <tr> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> <td>電力</td> <td>適合</td> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> </tr> <tr> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> <td>電力</td> <td>適合</td> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> </tr> <tr> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> <td>電力</td> <td>適合</td> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> </tr> <tr> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> <td>電力</td> <td>適合</td> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> </tr> </tbody> </table>	設備名称	設備種別	設備	規格	適合性	備考	運転時監視装置（運転員による監視）	監視装置	運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）	運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）	運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）	運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）	運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）	運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）	運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）	運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）	運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）	運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）	<p>第47条 原子炉冷却材圧力ワンダリ転回時に発電用原子炉を停止するための設備（2/12）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備名称</th> <th>設備種別</th> <th>設備</th> <th>規格</th> <th>適合性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">運転時監視装置（運転員による監視）</td> <td rowspan="10">監視装置</td> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> <td>電力</td> <td>適合</td> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> </tr> <tr> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> <td>電力</td> <td>適合</td> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> </tr> <tr> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> <td>電力</td> <td>適合</td> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> </tr> <tr> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> <td>電力</td> <td>適合</td> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> </tr> <tr> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> <td>電力</td> <td>適合</td> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> </tr> <tr> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> <td>電力</td> <td>適合</td> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> </tr> <tr> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> <td>電力</td> <td>適合</td> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> </tr> <tr> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> <td>電力</td> <td>適合</td> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> </tr> <tr> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> <td>電力</td> <td>適合</td> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> </tr> <tr> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> <td>電力</td> <td>適合</td> <td>運転員監視装置（運転員監視装置）</td> </tr> </tbody> </table>	設備名称	設備種別	設備	規格	適合性	備考	運転時監視装置（運転員による監視）	監視装置	運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）	運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）	運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）	運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）	運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）	運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）	運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）	運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）	運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）	運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）	<p>(47条) 【女川】 対応手段、対応設備の相違</p>
設備名称	設備種別	設備	規格	適合性	備考																																																																																																																																														
運転時監視装置（運転員による監視）	監視装置	運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）																																																																																																																																														
		運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）																																																																																																																																														
		運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）																																																																																																																																														
		運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）																																																																																																																																														
		運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）																																																																																																																																														
		運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）																																																																																																																																														
		運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）																																																																																																																																														
		運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）																																																																																																																																														
		運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）																																																																																																																																														
		運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）																																																																																																																																														
設備名称	設備種別	設備	規格	適合性	備考																																																																																																																																														
運転時監視装置（運転員による監視）	監視装置	運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）																																																																																																																																														
		運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）																																																																																																																																														
		運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）																																																																																																																																														
		運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）																																																																																																																																														
		運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）																																																																																																																																														
		運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）																																																																																																																																														
		運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）																																																																																																																																														
		運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）																																																																																																																																														
		運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）																																																																																																																																														
		運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）																																																																																																																																														
設備名称	設備種別	設備	規格	適合性	備考																																																																																																																																														
運転時監視装置（運転員による監視）	監視装置	運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）																																																																																																																																														
		運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）																																																																																																																																														
		運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）																																																																																																																																														
		運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）																																																																																																																																														
		運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）																																																																																																																																														
		運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）																																																																																																																																														
		運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）																																																																																																																																														
		運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）																																																																																																																																														
		運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）																																																																																																																																														
		運転員監視装置（運転員監視装置）	電力	適合	運転員監視装置（運転員監視装置）																																																																																																																																														

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																			
<p>第47条 原子炉設備及び炉心圧力容器並びに配管等原子炉を冷却するための設備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備名称</th> <th>設備</th> <th>冷却水再循環装置</th> <th>冷却水供給装置</th> <th>冷却水配管</th> <th>冷却水ポンプ</th> <th>冷却水貯留槽</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> </tr> </tbody> </table>	設備名称	設備	冷却水再循環装置	冷却水供給装置	冷却水配管	冷却水ポンプ	冷却水貯留槽	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	<p>第47条 原子炉設備及び炉心圧力容器並びに配管等原子炉を冷却するための設備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備名称</th> <th>設備</th> <th>冷却水再循環装置</th> <th>冷却水供給装置</th> <th>冷却水配管</th> <th>冷却水ポンプ</th> <th>冷却水貯留槽</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> </tr> </tbody> </table>	設備名称	設備	冷却水再循環装置	冷却水供給装置	冷却水配管	冷却水ポンプ	冷却水貯留槽	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	<p>第47条 原子炉設備及び炉心圧力容器並びに配管等原子炉を冷却するための設備（3/1.1.2）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備名称</th> <th>設備</th> <th>冷却水再循環装置</th> <th>冷却水供給装置</th> <th>冷却水配管</th> <th>冷却水ポンプ</th> <th>冷却水貯留槽</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> <td>原子炉冷却システム（RCS）</td> </tr> </tbody> </table>	設備名称	設備	冷却水再循環装置	冷却水供給装置	冷却水配管	冷却水ポンプ	冷却水貯留槽	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	<p>(47条) 【女川】 対応手段、対応設備の相違</p>
設備名称	設備	冷却水再循環装置	冷却水供給装置	冷却水配管	冷却水ポンプ	冷却水貯留槽																																																																																																
原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）																																																																																																
	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）																																																																																																
原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）																																																																																																
	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）																																																																																																
設備名称	設備	冷却水再循環装置	冷却水供給装置	冷却水配管	冷却水ポンプ	冷却水貯留槽																																																																																																
原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）																																																																																																
	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）																																																																																																
原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）																																																																																																
	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）																																																																																																
設備名称	設備	冷却水再循環装置	冷却水供給装置	冷却水配管	冷却水ポンプ	冷却水貯留槽																																																																																																
原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）																																																																																																
	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）																																																																																																
原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）																																																																																																
	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）	原子炉冷却システム（RCS）																																																																																																

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																															
		<p>第47条 原子炉冷却系がワンダリ作動時に発電機出力がゼロとなるための設備（4ノ12）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施種別</th> <th>設備（注1）</th> <th>代替する機能を実現する設備の名称</th> <th>設備の種別</th> <th>設備の位置</th> <th>相違理由</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>設備</td> <td>設備</td> <td>設備</td> <td>設備</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">女川2号炉（BWR） 原子炉冷却系（ワンダリ作動時） （注1）原子炉冷却系 （注2）原子炉冷却系 （注3）原子炉冷却系 （注4）原子炉冷却系 （注5）原子炉冷却系 （注6）原子炉冷却系 （注7）原子炉冷却系 （注8）原子炉冷却系 （注9）原子炉冷却系 （注10）原子炉冷却系</td> <td>原子炉冷却系（ワンダリ作動時）</td> <td>原子炉冷却系（ワンダリ作動時）</td> <td>原子炉冷却系</td> <td>原子炉冷却系</td> <td>相違理由なし</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系（ワンダリ作動時）</td> <td>原子炉冷却系（ワンダリ作動時）</td> <td>原子炉冷却系</td> <td>原子炉冷却系</td> <td>相違理由なし</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系（ワンダリ作動時）</td> <td>原子炉冷却系（ワンダリ作動時）</td> <td>原子炉冷却系</td> <td>原子炉冷却系</td> <td>相違理由なし</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系（ワンダリ作動時）</td> <td>原子炉冷却系（ワンダリ作動時）</td> <td>原子炉冷却系</td> <td>原子炉冷却系</td> <td>相違理由なし</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系（ワンダリ作動時）</td> <td>原子炉冷却系（ワンダリ作動時）</td> <td>原子炉冷却系</td> <td>原子炉冷却系</td> <td>相違理由なし</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系（ワンダリ作動時）</td> <td>原子炉冷却系（ワンダリ作動時）</td> <td>原子炉冷却系</td> <td>原子炉冷却系</td> <td>相違理由なし</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系（ワンダリ作動時）</td> <td>原子炉冷却系（ワンダリ作動時）</td> <td>原子炉冷却系</td> <td>原子炉冷却系</td> <td>相違理由なし</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系（ワンダリ作動時）</td> <td>原子炉冷却系（ワンダリ作動時）</td> <td>原子炉冷却系</td> <td>原子炉冷却系</td> <td>相違理由なし</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系（ワンダリ作動時）</td> <td>原子炉冷却系（ワンダリ作動時）</td> <td>原子炉冷却系</td> <td>原子炉冷却系</td> <td>相違理由なし</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系（ワンダリ作動時）</td> <td>原子炉冷却系（ワンダリ作動時）</td> <td>原子炉冷却系</td> <td>原子炉冷却系</td> <td>相違理由なし</td> </tr> </tbody> </table>	実施種別	設備（注1）	代替する機能を実現する設備の名称	設備の種別	設備の位置	相違理由			設備	設備	設備	設備	女川2号炉（BWR） 原子炉冷却系（ワンダリ作動時） （注1）原子炉冷却系 （注2）原子炉冷却系 （注3）原子炉冷却系 （注4）原子炉冷却系 （注5）原子炉冷却系 （注6）原子炉冷却系 （注7）原子炉冷却系 （注8）原子炉冷却系 （注9）原子炉冷却系 （注10）原子炉冷却系	原子炉冷却系（ワンダリ作動時）	原子炉冷却系（ワンダリ作動時）	原子炉冷却系	原子炉冷却系	相違理由なし	原子炉冷却系（ワンダリ作動時）	原子炉冷却系（ワンダリ作動時）	原子炉冷却系	原子炉冷却系	相違理由なし	原子炉冷却系（ワンダリ作動時）	原子炉冷却系（ワンダリ作動時）	原子炉冷却系	原子炉冷却系	相違理由なし	原子炉冷却系（ワンダリ作動時）	原子炉冷却系（ワンダリ作動時）	原子炉冷却系	原子炉冷却系	相違理由なし	原子炉冷却系（ワンダリ作動時）	原子炉冷却系（ワンダリ作動時）	原子炉冷却系	原子炉冷却系	相違理由なし	原子炉冷却系（ワンダリ作動時）	原子炉冷却系（ワンダリ作動時）	原子炉冷却系	原子炉冷却系	相違理由なし	原子炉冷却系（ワンダリ作動時）	原子炉冷却系（ワンダリ作動時）	原子炉冷却系	原子炉冷却系	相違理由なし	原子炉冷却系（ワンダリ作動時）	原子炉冷却系（ワンダリ作動時）	原子炉冷却系	原子炉冷却系	相違理由なし	原子炉冷却系（ワンダリ作動時）	原子炉冷却系（ワンダリ作動時）	原子炉冷却系	原子炉冷却系	相違理由なし	原子炉冷却系（ワンダリ作動時）	原子炉冷却系（ワンダリ作動時）	原子炉冷却系	原子炉冷却系	相違理由なし	<p>(47条)</p>
実施種別	設備（注1）	代替する機能を実現する設備の名称	設備の種別	設備の位置	相違理由																																																													
		設備	設備	設備	設備																																																													
女川2号炉（BWR） 原子炉冷却系（ワンダリ作動時） （注1）原子炉冷却系 （注2）原子炉冷却系 （注3）原子炉冷却系 （注4）原子炉冷却系 （注5）原子炉冷却系 （注6）原子炉冷却系 （注7）原子炉冷却系 （注8）原子炉冷却系 （注9）原子炉冷却系 （注10）原子炉冷却系	原子炉冷却系（ワンダリ作動時）	原子炉冷却系（ワンダリ作動時）	原子炉冷却系	原子炉冷却系	相違理由なし																																																													
	原子炉冷却系（ワンダリ作動時）	原子炉冷却系（ワンダリ作動時）	原子炉冷却系	原子炉冷却系	相違理由なし																																																													
	原子炉冷却系（ワンダリ作動時）	原子炉冷却系（ワンダリ作動時）	原子炉冷却系	原子炉冷却系	相違理由なし																																																													
	原子炉冷却系（ワンダリ作動時）	原子炉冷却系（ワンダリ作動時）	原子炉冷却系	原子炉冷却系	相違理由なし																																																													
	原子炉冷却系（ワンダリ作動時）	原子炉冷却系（ワンダリ作動時）	原子炉冷却系	原子炉冷却系	相違理由なし																																																													
	原子炉冷却系（ワンダリ作動時）	原子炉冷却系（ワンダリ作動時）	原子炉冷却系	原子炉冷却系	相違理由なし																																																													
	原子炉冷却系（ワンダリ作動時）	原子炉冷却系（ワンダリ作動時）	原子炉冷却系	原子炉冷却系	相違理由なし																																																													
	原子炉冷却系（ワンダリ作動時）	原子炉冷却系（ワンダリ作動時）	原子炉冷却系	原子炉冷却系	相違理由なし																																																													
	原子炉冷却系（ワンダリ作動時）	原子炉冷却系（ワンダリ作動時）	原子炉冷却系	原子炉冷却系	相違理由なし																																																													
	原子炉冷却系（ワンダリ作動時）	原子炉冷却系（ワンダリ作動時）	原子炉冷却系	原子炉冷却系	相違理由なし																																																													

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																										
第4号表 原子炉冷却系圧力バランシング装置に後継用炉子が生じ活するための設備（B/A12）																																																																																																																																																																													
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備名称</th> <th rowspan="2">設備（注1）</th> <th colspan="2">主要な機能を実現する圧力バランシング装置</th> <th colspan="2">設備仕様</th> <th colspan="2">設備仕様</th> </tr> <tr> <th>設備</th> <th>設置数量</th> <th>種類</th> <th>仕様</th> <th>種類</th> <th>仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">冷却系圧力バランシング装置 （原子炉冷却系圧力バランシング装置）</td> <td>冷却系圧力バランシング装置</td> <td></td> <td></td> <td>可動</td> <td>冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）</td> <td>可動</td> <td>冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）</td> </tr> <tr> <td>タービン駆動ポンプ</td> <td></td> <td></td> <td>可動</td> <td>冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）</td> <td>可動</td> <td>冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）</td> </tr> <tr> <td>電動ポンプ（注2）</td> <td></td> <td></td> <td>可動</td> <td>冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）</td> <td>可動</td> <td>冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）</td> </tr> <tr> <td>注水ポンプ</td> <td></td> <td></td> <td>可動</td> <td>冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）</td> <td>可動</td> <td>冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）</td> </tr> <tr> <td>注水ポンプ（注3）</td> <td></td> <td></td> <td>可動</td> <td>冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）</td> <td>可動</td> <td>冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）</td> </tr> <tr> <td>注水ポンプ（注4）</td> <td></td> <td></td> <td>可動</td> <td>冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）</td> <td>可動</td> <td>冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）</td> </tr> <tr> <td>注水ポンプ（注5）</td> <td></td> <td></td> <td>可動</td> <td>冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）</td> <td>可動</td> <td>冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）</td> </tr> <tr> <td>注水ポンプ（注6）</td> <td></td> <td></td> <td>可動</td> <td>冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）</td> <td>可動</td> <td>冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）</td> </tr> <tr> <td>注水ポンプ（注7）</td> <td></td> <td></td> <td>可動</td> <td>冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）</td> <td>可動</td> <td>冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）</td> </tr> <tr> <td>注水ポンプ（注8）</td> <td></td> <td></td> <td>可動</td> <td>冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）</td> <td>可動</td> <td>冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）</td> </tr> <tr> <td>注水ポンプ（注9）</td> <td></td> <td></td> <td>可動</td> <td>冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）</td> <td>可動</td> <td>冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">冷却系圧力バランシング装置 （原子炉冷却系圧力バランシング装置）</td> <td>冷却系圧力バランシング装置</td> <td></td> <td></td> <td>可動</td> <td>冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）</td> <td>可動</td> <td>冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）</td> </tr> <tr> <td>タービン駆動ポンプ</td> <td></td> <td></td> <td>可動</td> <td>冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）</td> <td>可動</td> <td>冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）</td> </tr> <tr> <td>電動ポンプ（注2）</td> <td></td> <td></td> <td>可動</td> <td>冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）</td> <td>可動</td> <td>冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）</td> </tr> <tr> <td>注水ポンプ</td> <td></td> <td></td> <td>可動</td> <td>冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）</td> <td>可動</td> <td>冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）</td> </tr> <tr> <td>注水ポンプ（注3）</td> <td></td> <td></td> <td>可動</td> <td>冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）</td> <td>可動</td> <td>冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）</td> </tr> <tr> <td>注水ポンプ（注4）</td> <td></td> <td></td> <td>可動</td> <td>冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）</td> <td>可動</td> <td>冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）</td> </tr> <tr> <td>注水ポンプ（注5）</td> <td></td> <td></td> <td>可動</td> <td>冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）</td> <td>可動</td> <td>冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）</td> </tr> <tr> <td>注水ポンプ（注6）</td> <td></td> <td></td> <td>可動</td> <td>冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）</td> <td>可動</td> <td>冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）</td> </tr> <tr> <td>注水ポンプ（注7）</td> <td></td> <td></td> <td>可動</td> <td>冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）</td> <td>可動</td> <td>冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）</td> </tr> <tr> <td>注水ポンプ（注8）</td> <td></td> <td></td> <td>可動</td> <td>冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）</td> <td>可動</td> <td>冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）</td> </tr> <tr> <td>注水ポンプ（注9）</td> <td></td> <td></td> <td>可動</td> <td>冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）</td> <td>可動</td> <td>冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）</td> </tr> </tbody> </table>				設備名称	設備（注1）	主要な機能を実現する圧力バランシング装置		設備仕様		設備仕様		設備	設置数量	種類	仕様	種類	仕様	冷却系圧力バランシング装置 （原子炉冷却系圧力バランシング装置）	冷却系圧力バランシング装置			可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	タービン駆動ポンプ			可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	電動ポンプ（注2）			可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	注水ポンプ			可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	注水ポンプ（注3）			可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	注水ポンプ（注4）			可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	注水ポンプ（注5）			可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	注水ポンプ（注6）			可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	注水ポンプ（注7）			可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	注水ポンプ（注8）			可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	注水ポンプ（注9）			可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	冷却系圧力バランシング装置 （原子炉冷却系圧力バランシング装置）	冷却系圧力バランシング装置			可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	タービン駆動ポンプ			可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	電動ポンプ（注2）			可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	注水ポンプ			可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	注水ポンプ（注3）			可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	注水ポンプ（注4）			可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	注水ポンプ（注5）			可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	注水ポンプ（注6）			可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	注水ポンプ（注7）			可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	注水ポンプ（注8）			可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	注水ポンプ（注9）			可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）
設備名称	設備（注1）	主要な機能を実現する圧力バランシング装置				設備仕様		設備仕様																																																																																																																																																																					
		設備	設置数量	種類	仕様	種類	仕様																																																																																																																																																																						
冷却系圧力バランシング装置 （原子炉冷却系圧力バランシング装置）	冷却系圧力バランシング装置			可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）																																																																																																																																																																						
	タービン駆動ポンプ			可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）																																																																																																																																																																						
	電動ポンプ（注2）			可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）																																																																																																																																																																						
	注水ポンプ			可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）																																																																																																																																																																						
	注水ポンプ（注3）			可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）																																																																																																																																																																						
	注水ポンプ（注4）			可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）																																																																																																																																																																						
	注水ポンプ（注5）			可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）																																																																																																																																																																						
	注水ポンプ（注6）			可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）																																																																																																																																																																						
	注水ポンプ（注7）			可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）																																																																																																																																																																						
	注水ポンプ（注8）			可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）																																																																																																																																																																						
注水ポンプ（注9）			可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）																																																																																																																																																																							
冷却系圧力バランシング装置 （原子炉冷却系圧力バランシング装置）	冷却系圧力バランシング装置			可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）																																																																																																																																																																						
	タービン駆動ポンプ			可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）																																																																																																																																																																						
	電動ポンプ（注2）			可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）																																																																																																																																																																						
	注水ポンプ			可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）																																																																																																																																																																						
	注水ポンプ（注3）			可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）																																																																																																																																																																						
	注水ポンプ（注4）			可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）																																																																																																																																																																						
	注水ポンプ（注5）			可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）																																																																																																																																																																						
	注水ポンプ（注6）			可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）																																																																																																																																																																						
	注水ポンプ（注7）			可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）																																																																																																																																																																						
	注水ポンプ（注8）			可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）																																																																																																																																																																						
注水ポンプ（注9）			可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）	可動	冷却系圧力バランシング装置（設計仕様）																																																																																																																																																																							
<p>（注1）「電動ポンプ（注2）」、「電動ポンプ（注3）」、「電動ポンプ（注4）」、「電動ポンプ（注5）」、「電動ポンプ（注6）」、「電動ポンプ（注7）」、「電動ポンプ（注8）」、「電動ポンプ（注9）」</p>																																																																																																																																																																													

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																								
		<p>基本7条 原子炉の炉心温度がワンダリ監視時に発電機出力が低下するたための設備 (14/12)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備名称</th> <th rowspan="2">設備 (注1)</th> <th colspan="2">女川発電所2号炉とBWR固有の設備</th> <th colspan="2">設備仕様</th> <th rowspan="2">設備仕様</th> <th rowspan="2">相違理由</th> </tr> <tr> <th>設備</th> <th>設備仕様</th> <th>仕様</th> <th>仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">女川2号炉の設備 炉心温度監視システム (注1)</td> <td>監視装置 (注1)</td> <td rowspan="4">-</td> <td rowspan="4">-</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>相違理由</td> </tr> <tr> <td>監視装置 (注1)</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>相違理由</td> </tr> <tr> <td>監視装置 (注1)</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>相違理由</td> </tr> <tr> <td>監視装置 (注1)</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>相違理由</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">女川2号炉の設備 炉心温度監視システム (注1)</td> <td>監視装置 (注1)</td> <td rowspan="4">-</td> <td rowspan="4">-</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>相違理由</td> </tr> <tr> <td>監視装置 (注1)</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>相違理由</td> </tr> <tr> <td>監視装置 (注1)</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>相違理由</td> </tr> <tr> <td>監視装置 (注1)</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>相違理由</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">女川2号炉の設備 炉心温度監視システム (注1)</td> <td>監視装置 (注1)</td> <td rowspan="4">-</td> <td rowspan="4">-</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>相違理由</td> </tr> <tr> <td>監視装置 (注1)</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>相違理由</td> </tr> <tr> <td>監視装置 (注1)</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>相違理由</td> </tr> <tr> <td>監視装置 (注1)</td> <td>監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>相違理由</td> </tr> </tbody> </table>	設備名称	設備 (注1)	女川発電所2号炉とBWR固有の設備		設備仕様		設備仕様	相違理由	設備	設備仕様	仕様	仕様	女川2号炉の設備 炉心温度監視システム (注1)	監視装置 (注1)	-	-	監視装置	監視装置	監視装置	相違理由	監視装置 (注1)	監視装置	監視装置	相違理由	監視装置 (注1)	監視装置	監視装置	相違理由	監視装置 (注1)	監視装置	監視装置	相違理由	女川2号炉の設備 炉心温度監視システム (注1)	監視装置 (注1)	-	-	監視装置	監視装置	監視装置	相違理由	監視装置 (注1)	監視装置	監視装置	相違理由	監視装置 (注1)	監視装置	監視装置	相違理由	監視装置 (注1)	監視装置	監視装置	相違理由	女川2号炉の設備 炉心温度監視システム (注1)	監視装置 (注1)	-	-	監視装置	監視装置	監視装置	相違理由	監視装置 (注1)	監視装置	監視装置	相違理由	監視装置 (注1)	監視装置	監視装置	相違理由	監視装置 (注1)	監視装置	監視装置	相違理由	<p>(47条)</p>
設備名称	設備 (注1)	女川発電所2号炉とBWR固有の設備			設備仕様		設備仕様	相違理由																																																																			
		設備	設備仕様	仕様	仕様																																																																						
女川2号炉の設備 炉心温度監視システム (注1)	監視装置 (注1)	-	-	監視装置	監視装置	監視装置	相違理由																																																																				
	監視装置 (注1)			監視装置	監視装置	相違理由																																																																					
	監視装置 (注1)			監視装置	監視装置	相違理由																																																																					
	監視装置 (注1)			監視装置	監視装置	相違理由																																																																					
女川2号炉の設備 炉心温度監視システム (注1)	監視装置 (注1)	-	-	監視装置	監視装置	監視装置	相違理由																																																																				
	監視装置 (注1)			監視装置	監視装置	相違理由																																																																					
	監視装置 (注1)			監視装置	監視装置	相違理由																																																																					
	監視装置 (注1)			監視装置	監視装置	相違理由																																																																					
女川2号炉の設備 炉心温度監視システム (注1)	監視装置 (注1)	-	-	監視装置	監視装置	監視装置	相違理由																																																																				
	監視装置 (注1)			監視装置	監視装置	相違理由																																																																					
	監視装置 (注1)			監視装置	監視装置	相違理由																																																																					
	監視装置 (注1)			監視装置	監視装置	相違理由																																																																					

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																
表4-7条 原子炉冷却材圧力バランサ及び圧力調整装置の選定に関する設備（1.1/1.2）																																																																																																																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備名称</th> <th rowspan="2">設備（注1）</th> <th colspan="2">圧力調整装置又は圧力バランサの種類</th> <th rowspan="2">相違理由</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>設備</th> <th>設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">冷却系圧力バランサ （注） 冷却系圧力バランサ（注） 冷却系圧力バランサ（注） 冷却系圧力バランサ（注） 冷却系圧力バランサ（注）</td> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> <td></td> <td></td> <td>相違</td> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> </tr> <tr> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> <td></td> <td></td> <td>相違</td> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> </tr> <tr> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> <td></td> <td></td> <td>相違</td> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> </tr> <tr> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> <td></td> <td></td> <td>相違</td> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> </tr> <tr> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> <td></td> <td></td> <td>相違</td> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">冷却系圧力バランサ （注） 冷却系圧力バランサ（注） 冷却系圧力バランサ（注） 冷却系圧力バランサ（注）</td> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> <td></td> <td></td> <td>相違</td> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> </tr> <tr> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> <td></td> <td></td> <td>相違</td> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> </tr> <tr> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> <td></td> <td></td> <td>相違</td> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> </tr> <tr> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> <td></td> <td></td> <td>相違</td> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> </tr> <tr> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> <td></td> <td></td> <td>相違</td> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">冷却系圧力バランサ （注） 冷却系圧力バランサ（注） 冷却系圧力バランサ（注） 冷却系圧力バランサ（注）</td> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> <td></td> <td></td> <td>相違</td> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> </tr> <tr> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> <td></td> <td></td> <td>相違</td> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> </tr> <tr> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> <td></td> <td></td> <td>相違</td> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> </tr> <tr> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> <td></td> <td></td> <td>相違</td> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> </tr> <tr> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> <td></td> <td></td> <td>相違</td> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">冷却系圧力バランサ （注） 冷却系圧力バランサ（注） 冷却系圧力バランサ（注） 冷却系圧力バランサ（注）</td> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> <td></td> <td></td> <td>相違</td> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> </tr> <tr> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> <td></td> <td></td> <td>相違</td> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> </tr> <tr> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> <td></td> <td></td> <td>相違</td> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> </tr> <tr> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> <td></td> <td></td> <td>相違</td> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> </tr> <tr> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> <td></td> <td></td> <td>相違</td> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> </tr> </tbody> </table>				設備名称	設備（注1）	圧力調整装置又は圧力バランサの種類		相違理由	備考	設備	設備	冷却系圧力バランサ （注） 冷却系圧力バランサ（注） 冷却系圧力バランサ（注） 冷却系圧力バランサ（注） 冷却系圧力バランサ（注）	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）	冷却系圧力バランサ （注） 冷却系圧力バランサ（注） 冷却系圧力バランサ（注） 冷却系圧力バランサ（注）	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）	冷却系圧力バランサ （注） 冷却系圧力バランサ（注） 冷却系圧力バランサ（注） 冷却系圧力バランサ（注）	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）	冷却系圧力バランサ （注） 冷却系圧力バランサ（注） 冷却系圧力バランサ（注） 冷却系圧力バランサ（注）	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）
設備名称	設備（注1）	圧力調整装置又は圧力バランサの種類				相違理由	備考																																																																																																												
		設備	設備																																																																																																																
冷却系圧力バランサ （注） 冷却系圧力バランサ（注） 冷却系圧力バランサ（注） 冷却系圧力バランサ（注） 冷却系圧力バランサ（注）	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）																																																																																																														
	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）																																																																																																														
	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）																																																																																																														
	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）																																																																																																														
	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）																																																																																																														
冷却系圧力バランサ （注） 冷却系圧力バランサ（注） 冷却系圧力バランサ（注） 冷却系圧力バランサ（注）	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）																																																																																																														
	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）																																																																																																														
	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）																																																																																																														
	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）																																																																																																														
	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）																																																																																																														
冷却系圧力バランサ （注） 冷却系圧力バランサ（注） 冷却系圧力バランサ（注） 冷却系圧力バランサ（注）	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）																																																																																																														
	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）																																																																																																														
	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）																																																																																																														
	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）																																																																																																														
	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）																																																																																																														
冷却系圧力バランサ （注） 冷却系圧力バランサ（注） 冷却系圧力バランサ（注） 冷却系圧力バランサ（注）	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）																																																																																																														
	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）																																																																																																														
	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）																																																																																																														
	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）																																																																																																														
	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）																																																																																																														
表4-7条 原子炉冷却材圧力バランサ及び圧力調整装置の選定に関する設備（1.2/1.2）																																																																																																																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備名称</th> <th rowspan="2">設備（注1）</th> <th colspan="2">圧力調整装置又は圧力バランサの種類</th> <th rowspan="2">相違理由</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>設備</th> <th>設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">冷却系圧力バランサ （注） 冷却系圧力バランサ（注） 冷却系圧力バランサ（注） 冷却系圧力バランサ（注）</td> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> <td></td> <td></td> <td>相違</td> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> </tr> <tr> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> <td></td> <td></td> <td>相違</td> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> </tr> <tr> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> <td></td> <td></td> <td>相違</td> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> </tr> <tr> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> <td></td> <td></td> <td>相違</td> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> </tr> <tr> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> <td></td> <td></td> <td>相違</td> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">冷却系圧力バランサ （注） 冷却系圧力バランサ（注） 冷却系圧力バランサ（注） 冷却系圧力バランサ（注）</td> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> <td></td> <td></td> <td>相違</td> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> </tr> <tr> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> <td></td> <td></td> <td>相違</td> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> </tr> <tr> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> <td></td> <td></td> <td>相違</td> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> </tr> <tr> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> <td></td> <td></td> <td>相違</td> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> </tr> <tr> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> <td></td> <td></td> <td>相違</td> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">冷却系圧力バランサ （注） 冷却系圧力バランサ（注） 冷却系圧力バランサ（注） 冷却系圧力バランサ（注）</td> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> <td></td> <td></td> <td>相違</td> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> </tr> <tr> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> <td></td> <td></td> <td>相違</td> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> </tr> <tr> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> <td></td> <td></td> <td>相違</td> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> </tr> <tr> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> <td></td> <td></td> <td>相違</td> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> </tr> <tr> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> <td></td> <td></td> <td>相違</td> <td>冷却系圧力バランサ（注）</td> </tr> </tbody> </table>				設備名称	設備（注1）	圧力調整装置又は圧力バランサの種類		相違理由	備考	設備	設備	冷却系圧力バランサ （注） 冷却系圧力バランサ（注） 冷却系圧力バランサ（注） 冷却系圧力バランサ（注）	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）	冷却系圧力バランサ （注） 冷却系圧力バランサ（注） 冷却系圧力バランサ（注） 冷却系圧力バランサ（注）	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）	冷却系圧力バランサ （注） 冷却系圧力バランサ（注） 冷却系圧力バランサ（注） 冷却系圧力バランサ（注）	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）																										
設備名称	設備（注1）	圧力調整装置又は圧力バランサの種類				相違理由	備考																																																																																																												
		設備	設備																																																																																																																
冷却系圧力バランサ （注） 冷却系圧力バランサ（注） 冷却系圧力バランサ（注） 冷却系圧力バランサ（注）	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）																																																																																																														
	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）																																																																																																														
	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）																																																																																																														
	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）																																																																																																														
	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）																																																																																																														
冷却系圧力バランサ （注） 冷却系圧力バランサ（注） 冷却系圧力バランサ（注） 冷却系圧力バランサ（注）	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）																																																																																																														
	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）																																																																																																														
	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）																																																																																																														
	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）																																																																																																														
	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）																																																																																																														
冷却系圧力バランサ （注） 冷却系圧力バランサ（注） 冷却系圧力バランサ（注） 冷却系圧力バランサ（注）	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）																																																																																																														
	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）																																																																																																														
	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）																																																																																																														
	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）																																																																																																														
	冷却系圧力バランサ（注）			相違	冷却系圧力バランサ（注）																																																																																																														
<p>【大飯】 記載方針の相違 ・46条本文に使用可能な場合にSAとして使用する高圧注入系・低圧注入系等を整理したため、一覧にも明記する。</p>																																																																																																																			

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																				
第49条 原子炉格納容器内の気相等のための設備（2/2）																																																																																																							
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備名称</th> <th rowspan="2">設備（注1）</th> <th colspan="2">泊発電所3号炉の設備</th> <th rowspan="2">設備</th> <th rowspan="2">設備</th> <th rowspan="2">相違理由</th> </tr> <tr> <th>設備</th> <th>設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="15">格納容器内の気相等（注1） （格納容器内気相） 注1：マゼット非対応 （格納容器内気相） 注2：マゼット非対応 （格納容器内気相） 注3：マゼット非対応 （格納容器内気相） 注4：マゼット非対応 （格納容器内気相） 注5：マゼット非対応 （格納容器内気相） 注6：マゼット非対応 （格納容器内気相） 注7：マゼット非対応 （格納容器内気相） 注8：マゼット非対応 （格納容器内気相） 注9：マゼット非対応 （格納容器内気相） 注10：マゼット非対応 （格納容器内気相） 注11：マゼット非対応 （格納容器内気相） 注12：マゼット非対応 （格納容器内気相） 注13：マゼット非対応 （格納容器内気相） 注14：マゼット非対応 （格納容器内気相） 注15：マゼット非対応 （格納容器内気相）</td> <td>ターボ機冷却器（注1）</td> <td></td> <td></td> <td>ターボ機冷却器</td> <td>ターボ機冷却器</td> <td>相違</td> </tr> <tr> <td>ターボ機冷却器（注2）</td> <td></td> <td></td> <td>ターボ機冷却器</td> <td>ターボ機冷却器</td> <td>相違</td> </tr> <tr> <td>ターボ機冷却器（注3）</td> <td></td> <td></td> <td>ターボ機冷却器</td> <td>ターボ機冷却器</td> <td>相違</td> </tr> <tr> <td>ターボ機冷却器（注4）</td> <td></td> <td></td> <td>ターボ機冷却器</td> <td>ターボ機冷却器</td> <td>相違</td> </tr> <tr> <td>ターボ機冷却器（注5）</td> <td></td> <td></td> <td>ターボ機冷却器</td> <td>ターボ機冷却器</td> <td>相違</td> </tr> <tr> <td>ターボ機冷却器（注6）</td> <td></td> <td></td> <td>ターボ機冷却器</td> <td>ターボ機冷却器</td> <td>相違</td> </tr> <tr> <td>ターボ機冷却器（注7）</td> <td></td> <td></td> <td>ターボ機冷却器</td> <td>ターボ機冷却器</td> <td>相違</td> </tr> <tr> <td>ターボ機冷却器（注8）</td> <td></td> <td></td> <td>ターボ機冷却器</td> <td>ターボ機冷却器</td> <td>相違</td> </tr> <tr> <td>ターボ機冷却器（注9）</td> <td></td> <td></td> <td>ターボ機冷却器</td> <td>ターボ機冷却器</td> <td>相違</td> </tr> <tr> <td>ターボ機冷却器（注10）</td> <td></td> <td></td> <td>ターボ機冷却器</td> <td>ターボ機冷却器</td> <td>相違</td> </tr> <tr> <td>ターボ機冷却器（注11）</td> <td></td> <td></td> <td>ターボ機冷却器</td> <td>ターボ機冷却器</td> <td>相違</td> </tr> <tr> <td>ターボ機冷却器（注12）</td> <td></td> <td></td> <td>ターボ機冷却器</td> <td>ターボ機冷却器</td> <td>相違</td> </tr> <tr> <td>ターボ機冷却器（注13）</td> <td></td> <td></td> <td>ターボ機冷却器</td> <td>ターボ機冷却器</td> <td>相違</td> </tr> <tr> <td>ターボ機冷却器（注14）</td> <td></td> <td></td> <td>ターボ機冷却器</td> <td>ターボ機冷却器</td> <td>相違</td> </tr> <tr> <td>ターボ機冷却器（注15）</td> <td></td> <td></td> <td>ターボ機冷却器</td> <td>ターボ機冷却器</td> <td>相違</td> </tr> </tbody> </table>				設備名称	設備（注1）	泊発電所3号炉の設備		設備	設備	相違理由	設備	設備	格納容器内の気相等（注1） （格納容器内気相） 注1：マゼット非対応 （格納容器内気相） 注2：マゼット非対応 （格納容器内気相） 注3：マゼット非対応 （格納容器内気相） 注4：マゼット非対応 （格納容器内気相） 注5：マゼット非対応 （格納容器内気相） 注6：マゼット非対応 （格納容器内気相） 注7：マゼット非対応 （格納容器内気相） 注8：マゼット非対応 （格納容器内気相） 注9：マゼット非対応 （格納容器内気相） 注10：マゼット非対応 （格納容器内気相） 注11：マゼット非対応 （格納容器内気相） 注12：マゼット非対応 （格納容器内気相） 注13：マゼット非対応 （格納容器内気相） 注14：マゼット非対応 （格納容器内気相） 注15：マゼット非対応 （格納容器内気相）	ターボ機冷却器（注1）			ターボ機冷却器	ターボ機冷却器	相違	ターボ機冷却器（注2）			ターボ機冷却器	ターボ機冷却器	相違	ターボ機冷却器（注3）			ターボ機冷却器	ターボ機冷却器	相違	ターボ機冷却器（注4）			ターボ機冷却器	ターボ機冷却器	相違	ターボ機冷却器（注5）			ターボ機冷却器	ターボ機冷却器	相違	ターボ機冷却器（注6）			ターボ機冷却器	ターボ機冷却器	相違	ターボ機冷却器（注7）			ターボ機冷却器	ターボ機冷却器	相違	ターボ機冷却器（注8）			ターボ機冷却器	ターボ機冷却器	相違	ターボ機冷却器（注9）			ターボ機冷却器	ターボ機冷却器	相違	ターボ機冷却器（注10）			ターボ機冷却器	ターボ機冷却器	相違	ターボ機冷却器（注11）			ターボ機冷却器	ターボ機冷却器	相違	ターボ機冷却器（注12）			ターボ機冷却器	ターボ機冷却器	相違	ターボ機冷却器（注13）			ターボ機冷却器	ターボ機冷却器	相違	ターボ機冷却器（注14）			ターボ機冷却器	ターボ機冷却器	相違	ターボ機冷却器（注15）			ターボ機冷却器	ターボ機冷却器	相違
設備名称	設備（注1）	泊発電所3号炉の設備				設備	設備				相違理由																																																																																												
		設備	設備																																																																																																				
格納容器内の気相等（注1） （格納容器内気相） 注1：マゼット非対応 （格納容器内気相） 注2：マゼット非対応 （格納容器内気相） 注3：マゼット非対応 （格納容器内気相） 注4：マゼット非対応 （格納容器内気相） 注5：マゼット非対応 （格納容器内気相） 注6：マゼット非対応 （格納容器内気相） 注7：マゼット非対応 （格納容器内気相） 注8：マゼット非対応 （格納容器内気相） 注9：マゼット非対応 （格納容器内気相） 注10：マゼット非対応 （格納容器内気相） 注11：マゼット非対応 （格納容器内気相） 注12：マゼット非対応 （格納容器内気相） 注13：マゼット非対応 （格納容器内気相） 注14：マゼット非対応 （格納容器内気相） 注15：マゼット非対応 （格納容器内気相）	ターボ機冷却器（注1）			ターボ機冷却器	ターボ機冷却器	相違																																																																																																	
	ターボ機冷却器（注2）			ターボ機冷却器	ターボ機冷却器	相違																																																																																																	
	ターボ機冷却器（注3）			ターボ機冷却器	ターボ機冷却器	相違																																																																																																	
	ターボ機冷却器（注4）			ターボ機冷却器	ターボ機冷却器	相違																																																																																																	
	ターボ機冷却器（注5）			ターボ機冷却器	ターボ機冷却器	相違																																																																																																	
	ターボ機冷却器（注6）			ターボ機冷却器	ターボ機冷却器	相違																																																																																																	
	ターボ機冷却器（注7）			ターボ機冷却器	ターボ機冷却器	相違																																																																																																	
	ターボ機冷却器（注8）			ターボ機冷却器	ターボ機冷却器	相違																																																																																																	
	ターボ機冷却器（注9）			ターボ機冷却器	ターボ機冷却器	相違																																																																																																	
	ターボ機冷却器（注10）			ターボ機冷却器	ターボ機冷却器	相違																																																																																																	
	ターボ機冷却器（注11）			ターボ機冷却器	ターボ機冷却器	相違																																																																																																	
	ターボ機冷却器（注12）			ターボ機冷却器	ターボ機冷却器	相違																																																																																																	
	ターボ機冷却器（注13）			ターボ機冷却器	ターボ機冷却器	相違																																																																																																	
	ターボ機冷却器（注14）			ターボ機冷却器	ターボ機冷却器	相違																																																																																																	
	ターボ機冷却器（注15）			ターボ機冷却器	ターボ機冷却器	相違																																																																																																	
<p>【大飯】 記載方針の相違 ・49条本文に使用可能な場合にSAとして使用する原子炉格納容器スプレイ設備を整理したため、一覧にも明記する。</p>																																																																																																							

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第51条 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための設備

設備(機器・装置)	主要機能	冷却する溶融炉心を冷却する設備		設備構成		重大事故等対応設備	
		設備	設置位置	設備分類	設備名称	重大事故等対応設備	設備位置
格納容器プレージング	格納容器プレージング(交流動力電源及び格納容器格納容器冷却機)	-	-	冷却機	冷却機大事故継続対応設備	SA-2	
燃料冷却機本体	燃料冷却機本体(交流動力電源及び格納容器格納容器冷却機)	-	-	冷却機	冷却機大事故継続対応設備	SA-2	
格納容器プレージング	格納容器プレージング(交流動力電源及び格納容器格納容器冷却機)	-	-	冷却機	冷却機大事故継続対応設備	SA-2	
燃料冷却機本体	燃料冷却機本体(交流動力電源及び格納容器格納容器冷却機)	-	-	冷却機	冷却機大事故継続対応設備	SA-2	
格納容器プレージング	格納容器プレージング(交流動力電源及び格納容器格納容器冷却機)	-	-	冷却機	冷却機大事故継続対応設備	SA-2	
燃料冷却機本体	燃料冷却機本体(交流動力電源及び格納容器格納容器冷却機)	-	-	冷却機	冷却機大事故継続対応設備	SA-2	

第51条 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための設備

設備名称	設備種別	設置位置	冷却する溶融炉心を冷却する設備		設備構成	設備位置
			設備	設置位置		
格納容器プレージング	冷却機	格納容器プレージング	冷却機	冷却機	冷却機大事故継続対応設備	SA-2
燃料冷却機本体	冷却機	燃料冷却機本体	冷却機	冷却機	冷却機大事故継続対応設備	SA-2
格納容器プレージング	冷却機	格納容器プレージング	冷却機	冷却機	冷却機大事故継続対応設備	SA-2
燃料冷却機本体	冷却機	燃料冷却機本体	冷却機	冷却機	冷却機大事故継続対応設備	SA-2
格納容器プレージング	冷却機	格納容器プレージング	冷却機	冷却機	冷却機大事故継続対応設備	SA-2
燃料冷却機本体	冷却機	燃料冷却機本体	冷却機	冷却機	冷却機大事故継続対応設備	SA-2

第51条 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための設備

設備名称	設備種別	設置位置	冷却する溶融炉心を冷却する設備		設備構成	設備位置
			設備	設置位置		
格納容器プレージング	冷却機	格納容器プレージング	冷却機	冷却機	冷却機大事故継続対応設備	SA-2
燃料冷却機本体	冷却機	燃料冷却機本体	冷却機	冷却機	冷却機大事故継続対応設備	SA-2
格納容器プレージング	冷却機	格納容器プレージング	冷却機	冷却機	冷却機大事故継続対応設備	SA-2
燃料冷却機本体	冷却機	燃料冷却機本体	冷却機	冷却機	冷却機大事故継続対応設備	SA-2
格納容器プレージング	冷却機	格納容器プレージング	冷却機	冷却機	冷却機大事故継続対応設備	SA-2
燃料冷却機本体	冷却機	燃料冷却機本体	冷却機	冷却機	冷却機大事故継続対応設備	SA-2

(51条)
【女川】
 対応手段、対応設備の相違
【大飯】
 記載方針の相違
 ・女川審査実績の反映（流路となる設備の記載）
 ・重大事故等対処設備として選定する設備の相違理由は、個別条文中にて説明

第51条 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための設備

設備名称	設備種別	設置位置	冷却する溶融炉心を冷却する設備		設備構成	設備位置
			設備	設置位置		
格納容器プレージング	冷却機	格納容器プレージング	冷却機	冷却機	冷却機大事故継続対応設備	SA-2
燃料冷却機本体	冷却機	燃料冷却機本体	冷却機	冷却機	冷却機大事故継続対応設備	SA-2
格納容器プレージング	冷却機	格納容器プレージング	冷却機	冷却機	冷却機大事故継続対応設備	SA-2
燃料冷却機本体	冷却機	燃料冷却機本体	冷却機	冷却機	冷却機大事故継続対応設備	SA-2
格納容器プレージング	冷却機	格納容器プレージング	冷却機	冷却機	冷却機大事故継続対応設備	SA-2
燃料冷却機本体	冷却機	燃料冷却機本体	冷却機	冷却機	冷却機大事故継続対応設備	SA-2

第51条 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための設備

設備名称	設備種別	設置位置	冷却する溶融炉心を冷却する設備		設備構成	設備位置
			設備	設置位置		
格納容器プレージング	冷却機	格納容器プレージング	冷却機	冷却機	冷却機大事故継続対応設備	SA-2
燃料冷却機本体	冷却機	燃料冷却機本体	冷却機	冷却機	冷却機大事故継続対応設備	SA-2
格納容器プレージング	冷却機	格納容器プレージング	冷却機	冷却機	冷却機大事故継続対応設備	SA-2
燃料冷却機本体	冷却機	燃料冷却機本体	冷却機	冷却機	冷却機大事故継続対応設備	SA-2
格納容器プレージング	冷却機	格納容器プレージング	冷却機	冷却機	冷却機大事故継続対応設備	SA-2
燃料冷却機本体	冷却機	燃料冷却機本体	冷却機	冷却機	冷却機大事故継続対応設備	SA-2

第51条 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための設備

設備名称	設備種別	設置位置	冷却する溶融炉心を冷却する設備		設備構成	設備位置
			設備	設置位置		
格納容器プレージング	冷却機	格納容器プレージング	冷却機	冷却機	冷却機大事故継続対応設備	SA-2
燃料冷却機本体	冷却機	燃料冷却機本体	冷却機	冷却機	冷却機大事故継続対応設備	SA-2
格納容器プレージング	冷却機	格納容器プレージング	冷却機	冷却機	冷却機大事故継続対応設備	SA-2
燃料冷却機本体	冷却機	燃料冷却機本体	冷却機	冷却機	冷却機大事故継続対応設備	SA-2
格納容器プレージング	冷却機	格納容器プレージング	冷却機	冷却機	冷却機大事故継続対応設備	SA-2
燃料冷却機本体	冷却機	燃料冷却機本体	冷却機	冷却機	冷却機大事故継続対応設備	SA-2

【大飯】
 “溶融炉心の落下遅延・防止”手段は、原子炉容器へ注水する手段のため47条で整理することから、大飯に記載していないが、泊と女川は、技術的能力1.8にて整理される手段として51条に挙げた上で47条に記載する整理としているため、“溶融炉心の落下遅延・防止”を記載している。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

共-1 重大事故等対処設備の設備分類及び選定について

大飯発電所3/4号炉

第2表 水漏洩等による原子炉格納容器の破損を防止するための設備

設備名称(項目)	主要機能	代替する機能と同等以上の基準準拠対応設備		設備分類	重大事故等対処設備	
		設備	機能実用性		設備分類	重大事故等対処設備
原子炉格納容器内圧力低下防止用圧力制御装置	水素発生装置	—	—	常設	常設	常設
原子炉格納容器内圧力低下防止用圧力制御装置		—	—	常設	常設	常設
原子炉格納容器内圧力低下防止用圧力制御装置		—	—	常設	常設	常設
原子炉格納容器内圧力低下防止用圧力制御装置	水素発生装置	—	—	常設	常設	常設
原子炉格納容器内圧力低下防止用圧力制御装置		—	—	常設	常設	常設
原子炉格納容器内圧力低下防止用圧力制御装置		—	—	常設	常設	常設
原子炉格納容器内圧力低下防止用圧力制御装置		—	—	常設	常設	常設
原子炉格納容器内圧力低下防止用圧力制御装置		—	—	常設	常設	常設
原子炉格納容器内圧力低下防止用圧力制御装置		—	—	常設	常設	常設
原子炉格納容器内圧力低下防止用圧力制御装置		—	—	常設	常設	常設
原子炉格納容器内圧力低下防止用圧力制御装置		—	—	常設	常設	常設
原子炉格納容器内圧力低下防止用圧力制御装置		—	—	常設	常設	常設
原子炉格納容器内圧力低下防止用圧力制御装置		—	—	常設	常設	常設

(玄海の場合)

原子炉格納容器内圧力低下防止用圧力制御装置	—	—	常設	常設	常設	常設
原子炉格納容器内圧力低下防止用圧力制御装置	—	—	常設	常設	常設	常設
原子炉格納容器内圧力低下防止用圧力制御装置	—	—	常設	常設	常設	常設
原子炉格納容器内圧力低下防止用圧力制御装置	—	—	常設	常設	常設	常設
原子炉格納容器内圧力低下防止用圧力制御装置	—	—	常設	常設	常設	常設
原子炉格納容器内圧力低下防止用圧力制御装置	—	—	常設	常設	常設	常設
原子炉格納容器内圧力低下防止用圧力制御装置	—	—	常設	常設	常設	常設
原子炉格納容器内圧力低下防止用圧力制御装置	—	—	常設	常設	常設	常設
原子炉格納容器内圧力低下防止用圧力制御装置	—	—	常設	常設	常設	常設
原子炉格納容器内圧力低下防止用圧力制御装置	—	—	常設	常設	常設	常設

女川原子力発電所2号炉

第22表 水漏洩等による原子炉格納容器の破損を防止するための設備

設備名称	設備	代替する機能と同等以上の基準準拠対応設備		設備分類	対応設備	相違
		設備	機能実用性			
原子炉格納容器内圧力低下防止用圧力制御装置	—	—	—	常設	常設	—
原子炉格納容器内圧力低下防止用圧力制御装置	—	—	—	常設	常設	—
原子炉格納容器内圧力低下防止用圧力制御装置	—	—	—	常設	常設	—
原子炉格納容器内圧力低下防止用圧力制御装置	—	—	—	常設	常設	—
原子炉格納容器内圧力低下防止用圧力制御装置	—	—	—	常設	常設	—

第23表 水漏洩等による原子炉格納容器の破損を防止するための設備

設備名称	設備	代替する機能と同等以上の基準準拠対応設備		設備分類	対応設備	相違
		設備	機能実用性			
原子炉格納容器内圧力低下防止用圧力制御装置	—	—	—	常設	常設	—
原子炉格納容器内圧力低下防止用圧力制御装置	—	—	—	常設	常設	—
原子炉格納容器内圧力低下防止用圧力制御装置	—	—	—	常設	常設	—
原子炉格納容器内圧力低下防止用圧力制御装置	—	—	—	常設	常設	—
原子炉格納容器内圧力低下防止用圧力制御装置	—	—	—	常設	常設	—

第24表 水漏洩等による原子炉格納容器の破損を防止するための設備

設備名称	設備	代替する機能と同等以上の基準準拠対応設備		設備分類	対応設備	相違
		設備	機能実用性			
原子炉格納容器内圧力低下防止用圧力制御装置	—	—	—	常設	常設	—
原子炉格納容器内圧力低下防止用圧力制御装置	—	—	—	常設	常設	—
原子炉格納容器内圧力低下防止用圧力制御装置	—	—	—	常設	常設	—
原子炉格納容器内圧力低下防止用圧力制御装置	—	—	—	常設	常設	—

泊発電所3号炉

第52表 水漏洩等による原子炉格納容器の破損を防止するための設備

設備名称	設備	代替する機能と同等以上の基準準拠対応設備		設備分類	対応設備	相違
		設備	機能実用性			
原子炉格納容器内圧力低下防止用圧力制御装置	—	—	—	常設	常設	—
原子炉格納容器内圧力低下防止用圧力制御装置	—	—	—	常設	常設	—
原子炉格納容器内圧力低下防止用圧力制御装置	—	—	—	常設	常設	—
原子炉格納容器内圧力低下防止用圧力制御装置	—	—	—	常設	常設	—
原子炉格納容器内圧力低下防止用圧力制御装置	—	—	—	常設	常設	—
原子炉格納容器内圧力低下防止用圧力制御装置	—	—	—	常設	常設	—
原子炉格納容器内圧力低下防止用圧力制御装置	—	—	—	常設	常設	—
原子炉格納容器内圧力低下防止用圧力制御装置	—	—	—	常設	常設	—
原子炉格納容器内圧力低下防止用圧力制御装置	—	—	—	常設	常設	—

相違理由

(52条)

【女川】

対応手段、対応設備の相違

【大飯】

記載方針の相違

・女川審査実績の反映（流路となる設備の記載）

・重大事故等対処設備として選定する設備の相違理由は、個別条文にて説明

・大飯は、可搬型格納容器水素ガス試料圧縮装置を SA-3 と整理しているが、容器・管・ポンプ・弁・支持構造物に該当しない設備であるため、泊は可搬型代替ガスサンプルリング圧縮装置を「-」と整理する。(玄海と同様)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

共-1 重大事故等対処設備の設備分類及び選定について

大飯発電所3/4号炉							女川原子力発電所2号炉							泊発電所3号炉							相違理由																																																																																																
第53条 水素発生による原子炉建屋等の損傷を防止するための設備 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備名称(装置)</th> <th rowspan="2">設備種別</th> <th colspan="2">代替する機能を有する設備又は準同等設備</th> <th rowspan="2">設備種別</th> <th colspan="2">重大事故等対処設備</th> </tr> <tr> <th>設備</th> <th>設置箇所</th> <th>設備分類</th> <th>重大事故等対処設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アモニウム濃度検出装置</td> <td rowspan="4">水素検出</td> <td rowspan="4">-</td> <td rowspan="4">-</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>アモニウム濃度検出装置(バックアップ)</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>SA-3</td> </tr> <tr> <td>可搬型重大事故等対処設備(代替用)</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>SA-3</td> </tr> <tr> <td>アモニウム濃度検出装置</td> <td>水素濃度監視</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>							設備名称(装置)	設備種別	代替する機能を有する設備又は準同等設備		設備種別	重大事故等対処設備		設備	設置箇所	設備分類	重大事故等対処設備	アモニウム濃度検出装置	水素検出	-	-	可搬型重大事故等対処設備	可搬型重大事故等対処設備	-	アモニウム濃度検出装置(バックアップ)	可搬型重大事故等対処設備	-	可搬型重大事故等対処設備	可搬型重大事故等対処設備	SA-3	可搬型重大事故等対処設備(代替用)	可搬型重大事故等対処設備	SA-3	アモニウム濃度検出装置	水素濃度監視	-	-	可搬型重大事故等対処設備	可搬型重大事故等対処設備	-	第53条 水素発生による原子炉建屋等の損傷を防止するための設備 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備名称</th> <th rowspan="2">設備種別</th> <th colspan="2">代替する機能を有する設備又は準同等設備</th> <th rowspan="2">設備種別</th> <th colspan="2">重大事故等対処設備</th> </tr> <tr> <th>設備</th> <th>設置箇所</th> <th>設備分類</th> <th>重大事故等対処設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td rowspan="2">水素検出</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>水素検出</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>							設備名称	設備種別	代替する機能を有する設備又は準同等設備		設備種別	重大事故等対処設備		設備	設置箇所	設備分類	重大事故等対処設備	可搬型重大事故等対処設備	水素検出	-	-	可搬型重大事故等対処設備	可搬型重大事故等対処設備	-	可搬型重大事故等対処設備	可搬型重大事故等対処設備	-	可搬型重大事故等対処設備	水素検出	-	-	可搬型重大事故等対処設備	可搬型重大事故等対処設備	-	第53条 水素発生による原子炉建屋等の損傷を防止するための設備 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備名称</th> <th rowspan="2">設備種別</th> <th colspan="2">代替する機能を有する設備又は準同等設備</th> <th rowspan="2">設備種別</th> <th colspan="2">重大事故等対処設備</th> </tr> <tr> <th>設備</th> <th>設置箇所</th> <th>設備分類</th> <th>重大事故等対処設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アモニウム濃度検出装置</td> <td rowspan="4">水素検出</td> <td rowspan="4">-</td> <td rowspan="4">-</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>アモニウム濃度検出装置(バックアップ)</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>SA-3</td> </tr> <tr> <td>可搬型重大事故等対処設備(代替用)</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>SA-3</td> </tr> <tr> <td>アモニウム濃度検出装置</td> <td>水素濃度監視</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>							設備名称	設備種別	代替する機能を有する設備又は準同等設備		設備種別	重大事故等対処設備		設備	設置箇所	設備分類	重大事故等対処設備	アモニウム濃度検出装置	水素検出	-	-	可搬型重大事故等対処設備	可搬型重大事故等対処設備	-	アモニウム濃度検出装置(バックアップ)	可搬型重大事故等対処設備	-	可搬型重大事故等対処設備	可搬型重大事故等対処設備	SA-3	可搬型重大事故等対処設備(代替用)	可搬型重大事故等対処設備	SA-3	アモニウム濃度検出装置	水素濃度監視	-	-	可搬型重大事故等対処設備	可搬型重大事故等対処設備	-	(53条) 【女川】 対応手段、対応設備の相違 【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映（流路となる設備の記載） ・重大事故等対処設備として選定する設備の相違理由は、個別条文にて説明 ・大飯・女川の水素濃度監視設備は常設設備であるが、泊は可搬型設備で水素濃度監視をする。(伊方と同様)
設備名称(装置)	設備種別	代替する機能を有する設備又は準同等設備		設備種別	重大事故等対処設備																																																																																																																
		設備	設置箇所		設備分類	重大事故等対処設備																																																																																																															
アモニウム濃度検出装置	水素検出	-	-	可搬型重大事故等対処設備	可搬型重大事故等対処設備	-																																																																																																															
アモニウム濃度検出装置(バックアップ)				可搬型重大事故等対処設備	-																																																																																																																
可搬型重大事故等対処設備				可搬型重大事故等対処設備	SA-3																																																																																																																
可搬型重大事故等対処設備(代替用)				可搬型重大事故等対処設備	SA-3																																																																																																																
アモニウム濃度検出装置	水素濃度監視	-	-	可搬型重大事故等対処設備	可搬型重大事故等対処設備	-																																																																																																															
設備名称	設備種別	代替する機能を有する設備又は準同等設備		設備種別	重大事故等対処設備																																																																																																																
		設備	設置箇所		設備分類	重大事故等対処設備																																																																																																															
可搬型重大事故等対処設備	水素検出	-	-	可搬型重大事故等対処設備	可搬型重大事故等対処設備	-																																																																																																															
可搬型重大事故等対処設備				可搬型重大事故等対処設備	-																																																																																																																
可搬型重大事故等対処設備	水素検出	-	-	可搬型重大事故等対処設備	可搬型重大事故等対処設備	-																																																																																																															
設備名称	設備種別	代替する機能を有する設備又は準同等設備		設備種別	重大事故等対処設備																																																																																																																
		設備	設置箇所		設備分類	重大事故等対処設備																																																																																																															
アモニウム濃度検出装置	水素検出	-	-	可搬型重大事故等対処設備	可搬型重大事故等対処設備	-																																																																																																															
アモニウム濃度検出装置(バックアップ)				可搬型重大事故等対処設備	-																																																																																																																
可搬型重大事故等対処設備				可搬型重大事故等対処設備	SA-3																																																																																																																
可搬型重大事故等対処設備(代替用)				可搬型重大事故等対処設備	SA-3																																																																																																																
アモニウム濃度検出装置	水素濃度監視	-	-	可搬型重大事故等対処設備	可搬型重大事故等対処設備	-																																																																																																															
(伊方の例) <table border="1"> <tbody> <tr> <td>アモニウム濃度検出装置(AD)計測装置</td> <td>水素濃度監視</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>							アモニウム濃度検出装置(AD)計測装置	水素濃度監視	-	-	可搬型重大事故等対処設備	可搬型重大事故等対処設備	-																																																																																																								
アモニウム濃度検出装置(AD)計測装置	水素濃度監視	-	-	可搬型重大事故等対処設備	可搬型重大事故等対処設備	-																																																																																																															

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

共-1 重大事故等対処設備の設備分類及び選定について

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第54条 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための設備

設備(項目)	設備機能	冷却手段		設備分類	重大事故等対応設備
		設備	設備選定理由		
送水車	高圧水素ポンプ(HP)による送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3
送水車	送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3
ポンプ	送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3
送水車	送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3
送水車	送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3
送水車	送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3
送水車	送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3
送水車	送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3
送水車	送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3

第54条 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための設備

設備(項目)	設備機能	冷却手段		設備分類	重大事故等対応設備
		設備	設備選定理由		
送水車	高圧水素ポンプ(HP)による送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3
送水車	送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3
ポンプ	送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3
送水車	送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3
送水車	送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3
送水車	送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3
送水車	送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3
送水車	送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3
送水車	送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3

第54条 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための設備

設備(項目)	設備機能	冷却手段		設備分類	重大事故等対応設備
		設備	設備選定理由		
送水車	高圧水素ポンプ(HP)による送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3
送水車	送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3
ポンプ	送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3
送水車	送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3
送水車	送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3
送水車	送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3
送水車	送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3
送水車	送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3
送水車	送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3

(54条)
【女川】
 対応手段、対応設備の相違
 ・泊は、使用済燃料ピットへの寄り付き性
 が良いため、常設配管を用いた使用済燃料
 ピットへの注水/スプレイはSA設備とし
 ていない。(大飯と同様)

【大飯】
 記載方針の相違
 ・女川審査実績の反映(流路となる設備の
 記載)

第54条 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための設備

設備(項目)	設備機能	冷却手段		設備分類	重大事故等対応設備
		設備	設備選定理由		
送水車	高圧水素ポンプ(HP)による送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3
送水車	送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3
ポンプ	送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3
送水車	送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3
送水車	送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3
送水車	送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3
送水車	送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3
送水車	送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3
送水車	送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3
送水車	送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3

第54条 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための設備

設備(項目)	設備機能	冷却手段		設備分類	重大事故等対応設備
		設備	設備選定理由		
送水車	高圧水素ポンプ(HP)による送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3
送水車	送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3
ポンプ	送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3
送水車	送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3
送水車	送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3
送水車	送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3
送水車	送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3
送水車	送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3
送水車	送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3
送水車	送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3

第54条 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための設備

設備(項目)	設備機能	冷却手段		設備分類	重大事故等対応設備
		設備	設備選定理由		
送水車	高圧水素ポンプ(HP)による送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3
送水車	送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3
ポンプ	送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3
送水車	送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3
送水車	送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3
送水車	送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3
送水車	送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3
送水車	送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3
送水車	送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3
送水車	送水車による送水	送水車	送水車	可動型重大事故等対応設備	SA-3

(54条)
【女川】
 対応手段、対応設備の相違
 ・泊は、使用済燃料ピットへの寄り付き性
 が良いため、常設配管を用いた使用済燃料
 ピットへの注水/スプレイはSA設備とし
 ていない。(大飯と同様)

【大飯】
 記載方針の相違
 ・女川審査実績の反映(流路となる設備の
 記載)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																						
	<p style="text-align: center;">第24条 使用済燃料貯蔵棟の告知等のための設備</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">大飯発電所</th> <th rowspan="2">設備名</th> <th colspan="2">女川2号炉</th> <th rowspan="2">設備名</th> <th rowspan="2">設備内容</th> <th rowspan="2">設備内容</th> </tr> <tr> <th>設備名</th> <th>設備内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> </tr> <tr> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> </tr> <tr> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> </tr> <tr> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> </tr> <tr> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> </tr> <tr> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> </tr> <tr> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> </tr> <tr> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> </tr> <tr> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> </tr> <tr> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> <td>燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">注：大飯発電所3号炉の「燃料貯蔵棟緊急時対応設備」は、燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備（燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備）と記載する。</p>	大飯発電所	設備名	女川2号炉		設備名	設備内容	設備内容	設備名	設備内容	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備		<p>(54条)</p> <p>【女川】</p> <p>対処方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊では、使用済燃料ピットを設置している燃料取扱棟は、周辺の建屋と区画されていることから、使用済燃料ピットから発生した水蒸気の影響範囲は燃料取扱棟内となる。燃料取扱棟内に設置されている重大事故等対処設備である使用済燃料ピット監視設備は高温、高湿度環境での使用にも耐えられる構造及び環境条件(温度100℃、湿度100%)で設計している。さらに、想定事故1、2の有効性評価において、使用済燃料ピット水が沸騰状態となる前に注水準備が完了することを確認しており、水蒸気の発生を抑制でき、短時間に大量の水蒸気が発生する状況にならないため、使用済燃料プールの除熱設備は設けていない。(大飯も同様)
大飯発電所	設備名			女川2号炉					設備名	設備内容		設備内容																																																													
		設備名	設備内容																																																																						
燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備																																																																			
	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備																																																																			
	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備																																																																			
	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備																																																																			
	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備																																																																			
	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備																																																																			
	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備																																																																			
	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備																																																																			
	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備																																																																			
	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備	燃料貯蔵棟に設置する緊急時対応設備																																																																			

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

共-1 重大事故等対処設備の設備分類及び選定について

大飯発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
<p>第10条 工場等への放射性物質の拡散を抑制するための設備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備(項目)</th> <th rowspan="2">主要機能</th> <th colspan="2">設置する機器と主要設計基準等取組設備</th> <th rowspan="2">設備種別</th> <th colspan="2">重大事故等対処設備</th> </tr> <tr> <th>設備</th> <th>設置基準等</th> <th>設備分類</th> <th>重大事故等取組</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大飯原子炉(基本燃料)</td> <td rowspan="4">基本・燃料への放射制御</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>SA-3</td> </tr> <tr> <td>廃水池</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>SA-3</td> </tr> <tr> <td>3次元ドレンタンク</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>廃水池</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>SA-3</td> </tr> <tr> <td>大飯原子炉(基本燃料)</td> <td rowspan="4">基本・燃料への放射制御</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>SA-3</td> </tr> <tr> <td>廃水池</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>SA-3</td> </tr> <tr> <td>3次元ドレンタンク</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>廃水池</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>SA-3</td> </tr> <tr> <td>大飯原子炉(基本燃料)</td> <td rowspan="4">緊急降圧時などへの対応</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>SA-3</td> </tr> <tr> <td>廃水池</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>SA-3</td> </tr> <tr> <td>3次元ドレンタンク</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>廃水池</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>SA-3</td> </tr> </tbody> </table>						設備(項目)	主要機能	設置する機器と主要設計基準等取組設備		設備種別	重大事故等対処設備		設備	設置基準等	設備分類	重大事故等取組	大飯原子炉(基本燃料)	基本・燃料への放射制御	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3	廃水池	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3	3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	-	廃水池	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3	大飯原子炉(基本燃料)	基本・燃料への放射制御	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3	廃水池	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3	3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	-	廃水池	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3	大飯原子炉(基本燃料)	緊急降圧時などへの対応	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3	廃水池	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3	3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	-	廃水池	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3	<p>第10条 発電所等への放射性物質の拡散を抑制するための設備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備(項目)</th> <th rowspan="2">主要機能</th> <th colspan="2">設置する機器と主要設計基準等取組設備</th> <th rowspan="2">設備種別</th> <th colspan="2">重大事故等対処設備</th> </tr> <tr> <th>設備</th> <th>設置基準等</th> <th>設備分類</th> <th>重大事故等取組</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">女川原子炉(基本燃料)の放射制御</td> <td rowspan="10">基本・燃料への放射制御</td> <td>3次元ドレンタンク</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>SA-3</td> </tr> <tr> <td>3次元ドレンタンク</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>SA-3</td> </tr> <tr> <td>3次元ドレンタンク</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>SA-3</td> </tr> <tr> <td>3次元ドレンタンク</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>SA-3</td> </tr> <tr> <td>3次元ドレンタンク</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>SA-3</td> </tr> <tr> <td>3次元ドレンタンク</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>SA-3</td> </tr> <tr> <td>3次元ドレンタンク</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>SA-3</td> </tr> <tr> <td>3次元ドレンタンク</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>SA-3</td> </tr> <tr> <td>3次元ドレンタンク</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>SA-3</td> </tr> <tr> <td>3次元ドレンタンク</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>SA-3</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">女川原子炉(基本燃料)の緊急降圧時などへの対応</td> <td rowspan="10">基本・燃料への放射制御</td> <td>3次元ドレンタンク</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>SA-3</td> </tr> <tr> <td>3次元ドレンタンク</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>SA-3</td> </tr> <tr> <td>3次元ドレンタンク</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>SA-3</td> </tr> <tr> <td>3次元ドレンタンク</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>SA-3</td> </tr> <tr> <td>3次元ドレンタンク</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>SA-3</td> </tr> <tr> <td>3次元ドレンタンク</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>SA-3</td> </tr> <tr> <td>3次元ドレンタンク</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>SA-3</td> </tr> <tr> <td>3次元ドレンタンク</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>SA-3</td> </tr> <tr> <td>3次元ドレンタンク</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>SA-3</td> </tr> <tr> <td>3次元ドレンタンク</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>SA-3</td> </tr> </tbody> </table>						設備(項目)	主要機能	設置する機器と主要設計基準等取組設備		設備種別	重大事故等対処設備		設備	設置基準等	設備分類	重大事故等取組	女川原子炉(基本燃料)の放射制御	基本・燃料への放射制御	3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3	3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3	3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3	3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3	3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3	3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3	3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3	3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3	3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3	3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3	女川原子炉(基本燃料)の緊急降圧時などへの対応	基本・燃料への放射制御	3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3	3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3	3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3	3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3	3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3	3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3	3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3	3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3	3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3	3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3	<p>第10条 発電所等への放射性物質の拡散を抑制するための設備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備(項目)</th> <th rowspan="2">主要機能</th> <th colspan="2">設置する機器と主要設計基準等取組設備</th> <th rowspan="2">設備種別</th> <th colspan="2">重大事故等対処設備</th> </tr> <tr> <th>設備</th> <th>設置基準等</th> <th>設備分類</th> <th>重大事故等取組</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">女川原子炉(基本燃料)の放射制御</td> <td rowspan="10">基本・燃料への放射制御</td> <td>3次元ドレンタンク</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>SA-3</td> </tr> <tr> <td>3次元ドレンタンク</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>SA-3</td> </tr> <tr> <td>3次元ドレンタンク</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>SA-3</td> </tr> <tr> <td>3次元ドレンタンク</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>SA-3</td> </tr> <tr> <td>3次元ドレンタンク</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>SA-3</td> </tr> <tr> <td>3次元ドレンタンク</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>SA-3</td> </tr> <tr> <td>3次元ドレンタンク</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>SA-3</td> </tr> <tr> <td>3次元ドレンタンク</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>SA-3</td> </tr> <tr> <td>3次元ドレンタンク</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>SA-3</td> </tr> <tr> <td>3次元ドレンタンク</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>SA-3</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">女川原子炉(基本燃料)の緊急降圧時などへの対応</td> <td rowspan="10">基本・燃料への放射制御</td> <td>3次元ドレンタンク</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>SA-3</td> </tr> <tr> <td>3次元ドレンタンク</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>SA-3</td> </tr> <tr> <td>3次元ドレンタンク</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>SA-3</td> </tr> <tr> <td>3次元ドレンタンク</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>SA-3</td> </tr> <tr> <td>3次元ドレンタンク</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>SA-3</td> </tr> <tr> <td>3次元ドレンタンク</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>SA-3</td> </tr> <tr> <td>3次元ドレンタンク</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>SA-3</td> </tr> <tr> <td>3次元ドレンタンク</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>SA-3</td> </tr> <tr> <td>3次元ドレンタンク</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>SA-3</td> </tr> <tr> <td>3次元ドレンタンク</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> <td>SA-3</td> </tr> </tbody> </table>						設備(項目)	主要機能	設置する機器と主要設計基準等取組設備		設備種別	重大事故等対処設備		設備	設置基準等	設備分類	重大事故等取組	女川原子炉(基本燃料)の放射制御	基本・燃料への放射制御	3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3	3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3	3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3	3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3	3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3	3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3	3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3	3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3	3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3	3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3	女川原子炉(基本燃料)の緊急降圧時などへの対応	基本・燃料への放射制御	3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3	3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3	3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3	3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3	3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3	3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3	3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3	3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3	3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3	3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3	<p>(55条)</p> <p>【女川】 対応手段、対応設備の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川審査実績の反映（流路となる設備の記載） ・重大事故等対処設備として選定する設備の相違理由は、個別条文にて説明 ・大飯は、泡混合器を SA-3 と整理しているが、容器・管・ポンプ・弁・支持構造物に該当しない設備であるため、泊は泡混合器を「-」と整理する。(伊方と同様)
設備(項目)	主要機能	設置する機器と主要設計基準等取組設備		設備種別	重大事故等対処設備																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		設備	設置基準等		設備分類	重大事故等取組																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
大飯原子炉(基本燃料)	基本・燃料への放射制御	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
廃水池		-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
3次元ドレンタンク		-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
廃水池		-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
大飯原子炉(基本燃料)	基本・燃料への放射制御	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
廃水池		-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
3次元ドレンタンク		-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
廃水池		-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
大飯原子炉(基本燃料)	緊急降圧時などへの対応	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
廃水池		-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
3次元ドレンタンク		-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
廃水池		-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
設備(項目)	主要機能	設置する機器と主要設計基準等取組設備		設備種別	重大事故等対処設備																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		設備	設置基準等		設備分類	重大事故等取組																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
女川原子炉(基本燃料)の放射制御	基本・燃料への放射制御	3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
女川原子炉(基本燃料)の緊急降圧時などへの対応	基本・燃料への放射制御	3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
設備(項目)	主要機能	設置する機器と主要設計基準等取組設備		設備種別	重大事故等対処設備																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		設備	設置基準等		設備分類	重大事故等取組																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
女川原子炉(基本燃料)の放射制御	基本・燃料への放射制御	3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
女川原子炉(基本燃料)の緊急降圧時などへの対応	基本・燃料への放射制御	3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		3次元ドレンタンク	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	SA-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
<p>(伊方の例)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備(項目)</th> <th>主要機能</th> <th>設置する機器と主要設計基準等取組設備</th> <th>設備種別</th> <th>重大事故等対処設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大型ポンプ車(泡混合器用)</td> <td rowspan="4">泡混合器内及び後述</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> </tr> <tr> <td>大型ポンプ車</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> </tr> <tr> <td>大型廃水池</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> </tr> <tr> <td>泡混合器</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬</td> <td>可搬型重大事故等対処設備</td> </tr> </tbody> </table>						設備(項目)	主要機能	設置する機器と主要設計基準等取組設備	設備種別	重大事故等対処設備	大型ポンプ車(泡混合器用)	泡混合器内及び後述	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	大型ポンプ車	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	大型廃水池	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備	泡混合器	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
設備(項目)	主要機能	設置する機器と主要設計基準等取組設備	設備種別	重大事故等対処設備																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
大型ポンプ車(泡混合器用)	泡混合器内及び後述	-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
大型ポンプ車		-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
大型廃水池		-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
泡混合器		-	-	可搬	可搬型重大事故等対処設備																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

共-1 重大事故等対処設備の設備分類及び選定について

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第42条 通信連絡を行うために必要な設備

設備(設計・装置)	系統機能	代替する機能を生ずる設計基準等に対する設備		設備種別	設備分類	重大事故等に対する対応	
		設備	設備位置				
緊急電話(構内)	発電所内の通信連絡	通信回線設備等	C	要請	可搬型重大事故等対処設備	-	
ラシーナール		-	-	要請	可搬型重大事故等対処設備	-	
携行型通信装置		-	-	要請	可搬型重大事故等対処設備	-	
固定パワートランスミットシステム(固定型)		-	-	要請	可搬型重大事故等対処設備	-	
移動型装置		-	-	要請	可搬型重大事故等対処設備	-	
パワードアクト		-	-	要請	可搬型重大事故等対処設備	-	
無線電話(構外)		発電所内外間の通信連絡	電力伝送線用通信設備	C	要請	可搬型重大事故等対処設備	-
緊急電話(構外)			-	-	要請	可搬型重大事故等対処設備	-
緊急電話(携帯)			-	-	要請	可搬型重大事故等対処設備	-
緊急電話(可搬)			-	-	要請	可搬型重大事故等対処設備	-
固定型パワートランスミットシステム(固定型)	-	-	要請	可搬型重大事故等対処設備(禁止・緩和以外)	-		
固定型パワートランスミットシステム(移動型)	-	-	要請	可搬型重大事故等対処設備(禁止・緩和以外)	-		
緊急時緊急連絡システム	-	-	要請	可搬型重大事故等対処設備(禁止・緩和以外)	-		

第43条 通信連絡を行うために必要な設備

系統機能	設備	代替する機能を生ずる設計基準等に対する設備		設備種別	設備分類	重大事故等に対する対応	
		設備	設備位置				
発電所内の通信連絡	通信回線設備等	C	要請	可搬型	可搬型重大事故等対処設備	-	
	ラシーナール	-	-	要請	可搬型重大事故等対処設備	-	
	携行型通信装置	-	-	要請	可搬型重大事故等対処設備	-	
	固定パワートランスミットシステム(固定型)	-	-	要請	可搬型重大事故等対処設備	-	
	移動型装置	-	-	要請	可搬型重大事故等対処設備	-	
	パワードアクト	-	-	要請	可搬型重大事故等対処設備	-	
	無線電話(構外)	発電所内外間の通信連絡	電力伝送線用通信設備	C	要請	可搬型重大事故等対処設備	-
	緊急電話(構外)		-	-	要請	可搬型重大事故等対処設備	-
	緊急電話(携帯)		-	-	要請	可搬型重大事故等対処設備	-
	緊急電話(可搬)		-	-	要請	可搬型重大事故等対処設備	-
固定型パワートランスミットシステム(固定型)	-	-	要請	可搬型重大事故等対処設備(禁止・緩和以外)	-		
固定型パワートランスミットシステム(移動型)	-	-	要請	可搬型重大事故等対処設備(禁止・緩和以外)	-		
緊急時緊急連絡システム	-	-	要請	可搬型重大事故等対処設備(禁止・緩和以外)	-		

第44条 通信連絡を行うために必要な設備

系統機能	設備	代替する機能を生ずる設計基準等に対する設備		設備種別	設備分類	重大事故等に対する対応	
		設備	設備位置				
発電所内の通信連絡	通信回線設備等	C	要請	可搬型	可搬型重大事故等対処設備	-	
	ラシーナール	-	-	要請	可搬型重大事故等対処設備	-	
	携行型通信装置	-	-	要請	可搬型重大事故等対処設備	-	
	固定パワートランスミットシステム(固定型)	-	-	要請	可搬型重大事故等対処設備	-	
	移動型装置	-	-	要請	可搬型重大事故等対処設備	-	
	パワードアクト	-	-	要請	可搬型重大事故等対処設備	-	
	無線電話(構外)	発電所内外間の通信連絡	電力伝送線用通信設備	C	要請	可搬型重大事故等対処設備	-
	緊急電話(構外)		-	-	要請	可搬型重大事故等対処設備	-
	緊急電話(携帯)		-	-	要請	可搬型重大事故等対処設備	-
	緊急電話(可搬)		-	-	要請	可搬型重大事故等対処設備	-
固定型パワートランスミットシステム(固定型)	-	-	要請	可搬型重大事故等対処設備(禁止・緩和以外)	-		
固定型パワートランスミットシステム(移動型)	-	-	要請	可搬型重大事故等対処設備(禁止・緩和以外)	-		
緊急時緊急連絡システム	-	-	要請	可搬型重大事故等対処設備(禁止・緩和以外)	-		

第42条 通信連絡を行うために必要な設備

系統機能	設備(注1)	代替する機能を生ずる設計基準等に対する設備		設備種別	設備分類	重大事故等に対する対応	
		設備	設備位置				
発電所内の通信連絡	通信回線設備等	C	要請	可搬型	可搬型重大事故等対処設備	-	
	ラシーナール	-	-	要請	可搬型重大事故等対処設備	-	
	携行型通信装置	-	-	要請	可搬型重大事故等対処設備	-	
	固定パワートランスミットシステム(固定型)	-	-	要請	可搬型重大事故等対処設備	-	
	移動型装置	-	-	要請	可搬型重大事故等対処設備	-	
	パワードアクト	-	-	要請	可搬型重大事故等対処設備	-	
	無線電話(構外)	発電所内外間の通信連絡	電力伝送線用通信設備	C	要請	可搬型重大事故等対処設備	-
	緊急電話(構外)		-	-	要請	可搬型重大事故等対処設備	-
	緊急電話(携帯)		-	-	要請	可搬型重大事故等対処設備	-
	緊急電話(可搬)		-	-	要請	可搬型重大事故等対処設備	-
固定型パワートランスミットシステム(固定型)	-	-	要請	可搬型重大事故等対処設備(禁止・緩和以外)	-		
固定型パワートランスミットシステム(移動型)	-	-	要請	可搬型重大事故等対処設備(禁止・緩和以外)	-		
緊急時緊急連絡システム	-	-	要請	可搬型重大事故等対処設備(禁止・緩和以外)	-		

(62条)
 【女川】
 対応手段、対応設備の相違
 【大飯】
 記載方針の相違
 ・女川審査実績の反映(伝送路の記載)
 ・重大事故等対処設備として選定する設備の相違理由は、個別条文中で説明

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>共-3 類型化区分及び適合内容</p>	<p>共-2 類型化区分及び適合内容</p>	<p>共-2 類型化区分及び適合内容</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

43条 重大事故等対処設備

大飯発電所3／4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>■設置許可基準規則 第43条 第1項 第1号 重大事故等時の環境条件における健全性について</p> <p>1. 概要 重大事故等対処設備の基準適合性を確認するに当たり、設置許可基準規則により要求されている項目のうち、重大事故等時の環境条件における健全性を確保するための区分及び設計方針について整理した。</p> <p>(1) 基本設計方針 重大事故等対処設備は、想定される重大事故等が発生した場合における温度、放射線、荷重及びその他の使用条件において、その機能が有効に発揮できるよう、その設置(使用)・保管場所に応じた耐環境性を有する設計とするとともに、操作が可能な設計とする。</p> <p>重大事故等発生時の環境条件については、重大事故等時における温度(環境温度^①及び使用温度^②)、放射線^③及び荷重^④に加えて、その他の使用条件として環境圧力^⑤及び湿度による影響^⑥、屋外の天候による影響^⑦、重大事故等時に海水を通水する系統への影響^⑧、電磁波による影響^⑨及び周辺機器等からの悪影響^⑩を考慮する。荷重^④としては重大事故等が発生した場合における環境圧力を踏まえた圧力、温度及び機械的荷重に加えて自然現象(地震、風(台風)、竜巻、積雪及び火山の影響)による荷重を考慮する。</p> <p>地震以外の自然現象の組合せについては、風(台風)、積雪及び火山の影響による荷重の組合せを考慮する。地震を含む自然現象の組合せについては、「1.1.2 耐震設計の基本方針」にて考慮する。</p> <p>これらの環境条件のうち、重大事故等時における環境温度、環境圧力、湿度による影響^⑥、屋外の天候による影響^⑦、重大事故等時の放射線による影響^③及び荷重^④に対しては、重大事故等対処設備を設置(使用)・保管する場所に応じて、以下の設備分類ごとに、必要な機能を有効に発揮できる設計とする。</p> <p>原子炉格納容器内の重大事故等対処設備は、重大事故等時における原子炉格納容器内の環境条件を考慮した設計とする。操作は中央制御室から可能な設計とする。また、地震による荷重を考慮して、機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>原子炉補助建屋のうち制御建屋内及び原子炉周辺建屋内、原子炉格納施設のうちアンテナ室内部及び緊急時対策所内の重大事故等対処設備は、重大事故等時におけるそれぞれの場所の環境条件を考慮した設計とする。</p> <p>また、地震による荷重を考慮して、機能を損なうことのない設計とするとともに、可搬型重大事故等対処設備については、必要により当該設備の落下防止、転倒防止又は固縛の措置をとる。</p> <p>このうち、インターフェイスシステムLOCA時、蒸気発生器伝熱管破損+破損蒸気発生器隔離失敗時又は使用済燃料ピットに係る重大事故等時に使用する設備については、これらの環境条件を考慮した設計とするが、これらの環境影響を受けない区画等に設置する。特に、使用済燃料ピット監視カメラは、使用済燃料ピットに係る重大事故等時に使用するため、その環境影響を考慮して、空気を供給し冷却することで耐環境性向上を図る設計とする。</p> <p>操作は中央制御室、異なる区画(フロア)又は離れた場所から若しくは設置場所で可能な設計とする。</p>	<p>■設置許可基準規則 第四十三条第1項 第一号 重大事故等時の環境条件における健全性について</p> <p>1. 概要 重大事故等対処設備の基準適合性を確認するに当たり、設置許可基準規則により要求されている項目のうち、重大事故等時の環境条件における健全性を確保するための区分及び設計方針について整理した。</p> <p>(1) 基本設計方針 重大事故等対処設備は、想定される重大事故等が発生した場合における温度、放射線、荷重及びその他の使用条件において、その機能が有効に発揮できるよう、その設置場所(使用場所)又は保管場所に応じた耐環境性を有する設計とするとともに、操作が可能な設計とする。</p> <p>重大事故等時の環境条件については、重大事故等時における温度(環境温度^①、使用温度^②)、放射線^③、荷重^④に加えて、その他の使用条件として環境圧力^⑤、湿度による影響^⑥、重大事故等時に海水を通水する系統への影響^⑧、自然現象による影響、発電所敷地又はその周辺において想定される発電用原子炉施設の安全性を損なわせる原因となるおそれがある事象であって人為によるもの影響及び周辺機器等からの悪影響^⑩を考慮する。荷重^④としては、重大事故等が発生した場合における機械的荷重に加えて、環境圧力、温度及び自然現象による荷重を考慮する。</p> <p>自然現象の選定に当たっては、網羅的に抽出するために、地震、津波に加え、発電所敷地及びその周辺での発生実績の有無に関わらず、国内外の基準や文献等に基づき収集した洪水、風(台風)、竜巻、凍結、降水、積雪、落雷、地滑り、火山の影響、生物学的事象、森林火災等の事象を考慮する。</p> <p>これらの事象のうち、重大事故等時における発電所敷地及びその周辺での発生の可能性、重大事故等対処設備への影響度、事象進展速度や事象進展に対する時間余裕の観点から、重大事故等時に重大事故等対処設備に影響を与えるおそれがある事象として、地震、風(台風)、凍結、降水及び積雪を選定する。これらの事象のうち、凍結及び降水については、屋外の天候による影響^⑦として考慮する。</p> <p>自然現象による荷重の組合せについては、地震、風(台風)及び積雪の影響を考慮する。</p> <p>これらの環境条件のうち、重大事故等時における環境温度^①、環境圧力^⑤、湿度による影響^⑥、屋外の天候による影響^⑦、重大事故等時の放射線による影響^③及び荷重^④に対しては、重大事故等対処設備を設置(使用)又は保管する場所に応じて、以下の設備分類ごとに必要な機能を有効に発揮できる設計とする。</p> <p>原子炉格納容器内の重大事故等対処設備は、想定される重大事故等時における原子炉格納容器内の環境条件を考慮した設計とする。また、地震による荷重を考慮して、機能を損なわない設計とする。操作は、中央制御室から可能な設計とする。</p> <p>原子炉建屋原子炉棟内の重大事故等対処設備は、想定される重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。</p> <p>また、地震による荷重を考慮して、機能を損なわない設計とするとともに、可搬型重大事故等対処設備は、必要により当該設備の落下防止、転倒防止又は固縛の措置をとる。</p> <p>操作は、中央制御室、異なる区画若しくは離れた場所又は設置場所で可能な設計とする。</p>	<p>■設置許可基準規則 第43条 第1項 第1号 重大事故等時の環境条件における健全性について</p> <p>1. 概要 重大事故等対処設備の基準適合性を確認するに当たり、設置許可基準規則により要求されている項目のうち、重大事故等時の環境条件における健全性を確保するための区分及び設計方針について整理した。</p> <p>(1) 基本設計方針 重大事故等対処設備は、想定される重大事故等が発生した場合における温度、放射線、荷重及びその他の使用条件において、その機能が有効に発揮できるよう、その設置場所(使用場所)又は保管場所に応じた耐環境性を有する設計とするとともに、操作が可能な設計とする。</p> <p>重大事故等時の環境条件については、重大事故等時における温度(環境温度^①、使用温度^②)、放射線^③、荷重^④に加えて、その他の使用条件として環境圧力^⑤、湿度による影響^⑥、重大事故等時に海水を通水する系統への影響^⑧、自然現象による影響、発電所敷地又はその周辺において想定される発電用原子炉施設の安全性を損なわせる原因となるおそれがある事象であって人為によるもの影響及び周辺機器等からの悪影響^⑩を考慮する。荷重^④としては重大事故等が発生した場合における機械的荷重に加えて、環境圧力、温度及び自然現象による荷重を考慮する。</p> <p>自然現象の選定に当たっては、網羅的に抽出するために、地震、津波に加え、発電所敷地及びその周辺での発生実績の有無にかかわらず、国内外の基準や文献等に基づき収集した洪水、風(台風)、竜巻、凍結、降水、積雪、落雷、地滑り、火山の影響、生物学的事象、森林火災等の事象を考慮する。</p> <p>これらの事象のうち、重大事故等時における発電所敷地及びその周辺での発生の可能性、重大事故等対処設備への影響度、事象進展速度や事象進展に対する時間余裕の観点から、重大事故等時に重大事故等対処設備に影響を与えるおそれがある事象として、地震、風(台風)、凍結、降水及び積雪を選定する。これらの事象のうち、凍結及び降水については、屋外の天候による影響^⑦として考慮する。</p> <p>自然現象による荷重の組合せについては、地震、風(台風)及び積雪の影響を考慮する。</p> <p>これらの環境条件のうち、重大事故等時における環境温度、環境圧力、湿度による影響^⑥、屋外の天候による影響^⑦、重大事故等時の放射線による影響^③及び荷重^④に対しては、重大事故等対処設備を設置(使用)又は保管する場所に応じて、以下の設備分類ごとに、必要な機能を有効に発揮できる設計とする。</p> <p>原子炉格納容器内の重大事故等対処設備は、想定される重大事故等時における原子炉格納容器内の環境条件を考慮した設計とする。また、地震による荷重を考慮して、機能を損なわない設計とする。操作は中央制御室から可能な設計とする。</p> <p>原子炉建屋内、原子炉補助建屋内(中央制御室を含む。)、ディーゼル発電機建屋内、循環水ポンプ建屋内、緊急時対策所内及び空調上屋内の重大事故等対処設備は、重大事故等時におけるそれぞれの場所の環境条件を考慮した設計とする。</p> <p>また、地震による荷重を考慮して、機能を損なわない設計とするとともに、可搬型重大事故等対処設備については、必要により当該設備の落下防止、転倒防止、固縛による固定の措置をとる。</p> <p>このうち、1次系の圧力が原子炉格納容器外の低圧系に付加されるために発生する原子炉冷却材喪失(以下、「インターフェイスシステムLOCA」という。)時、蒸気発生器伝熱管破損時に破損蒸気発生器の隔離に失敗する事故時又は使用済燃料ピットに係る重大事故等時に使用する設備については、これらの環境条件を考慮した設計とするが、これらの環境影響を受けない区画等に設置する。特に、使用済燃料ピット監視カメラは、使用済燃料ピットに係る重大事故等時に使用するため、その環境影響を考慮して、空気を供給し冷却することで耐環境性向上を図る設計とする。</p> <p>操作は中央制御室又は異なる区画、離れた場所若しくは設置場所で可能な設計とする。</p>	<p>【女川・大飯】 設備構成の相違</p> <p>【大飯】 設計方針の相違</p> <p>・中央制御室は、原子炉補助建屋内に設置しているため建屋区分で言えば「原子炉補助建屋」であるが、事故時居住性を確保する区画であり、別記とした。</p> <p>・当初、燃料取扱棟を記載していたが、燃料取扱棟は、原子炉建屋内に設置しているため建屋区分としては「原子炉建屋」に含まれている。</p> <p>【女川】 設計方針の相違</p> <p>・女川は、原子炉原子炉棟とその他の建屋を別棟として記載し</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

43条 重大事故等対処設備

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>屋外の重大事故等対処設備は、重大事故等時における屋外の環境条件を考慮した設計とする。操作は中央制御室から可能な設計又は設置場所で可能な設計とするか、人が携行して使用可能な設計とする。</p> <p>また、地震、積雪及び降下火砕物による荷重を考慮して、機能を損なうことのない設計とするとともに、風（台風）及び竜巻による風荷重の影響に対しては、位置的分散を考慮した保管により、機能を損なわない設計とする。また、可搬型重大事故等対処設備については、必要により当該設備の落下防止、転倒防止又は固縛の措置をとる。</p> <p>海水を通過する系統への影響^①に対しては、常時海水を通過する、海に設置する又は海で使用する重大事故等対処設備は耐腐食性材料を使用する。ただし、常時海水を通過するコンクリート構造物については、腐食を考慮した設計とする。使用時に海水を通過する又は淡水若しくは海水から選択可能な重大事故等対処設備は、海水影響を考慮した設計とする。</p> <p>また、海から直接取水する際の異物の流入防止を考慮した設計とする。</p> <p>電磁波による影響^②に対しては、重大事故等対処設備は、重大事故等が発生した場合においても電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。</p>	<p>原子炉建屋付属棟内、制御建屋内（中央制御室を含む。）、緊急用電気品建屋（地下階）内及び緊急時対策建屋内の重大事故等対処設備は、重大事故等時におけるそれぞれの場所の環境条件を考慮した設計とする。また、地震による荷重を考慮して、機能を損なわない設計とするとともに、可搬型重大事故等対処設備は、必要により当該設備の落下防止、転倒防止、固縛の措置をとる。操作は、中央制御室、離れた場所又は設置場所で可能な設計とする。</p> <p>屋外及び緊急用電気品建屋（地上階）の重大事故等対処設備は、重大事故等時における屋外の環境条件を考慮した設計とする。操作は、中央制御室、離れた場所又は設置場所で可能な設計とする。</p> <p>また、地震、風（台風）及び積雪の影響による荷重を考慮し、機能を損なわない設計とするとともに、可搬型重大事故等対処設備については、必要により当該設備の落下防止、転倒防止、固縛等の措置をとる。</p> <p>海水を通過する系統への影響^①に対しては、常時海水を通過する、海に設置する、又は海で使用する重大事故等対処設備は耐腐食性材料を使用する設計とする。常時海水を通過するコンクリート構造物については、腐食を考慮した設計とする。使用時に海水を通過する重大事故等対処設備は、海水の影響を考慮した設計とする。原則、淡水を通過するが、海水も通過する可能性のある重大事故等対処設備は、可能な限り淡水を優先し、海水通過を短期間とすることで、設備への海水の影響を考慮する。</p> <p>また、海から直接取水する際の異物の流入防止を考慮した設計とする。</p> <p>発電所敷地又はその周辺において想定される発電用原子炉施設の安全性を損なわせる原因となるおそれがある事象であって人為によるもの選定に当たっては、網羅的に抽出するために、発電所敷地及びその周辺での発生実績の有無に関わらず、国内外の基準や文献等に基づき収集した飛来物（航空機落下等）、ダムの崩壊、爆発、近隣工場等の火災、有毒ガス、船舶の衝突、電磁的障害、故意による大型航空機の衝突その他のテロリズム等の事象を考慮する。これらの事象のうち、発電所敷地及びその周辺での発生の可能性、重大事故等対処設備への影響度、事象進展速度や事象進展に対する時間余裕の観点から、重大事故等対処設備に影響を与えるおそれがある事象として選定する電磁的障害^②に対しては、重大事故等対処設備は、重大事故等時においても電磁波により機能を損なわない設計とする。</p>	<p>屋外の重大事故等対処設備は、想定される重大事故等時における屋外の環境条件を考慮した設計とする。操作は中央制御室又は設置場所で可能な設計とする。</p> <p>また、地震、風（台風）及び積雪の影響による荷重を考慮し、機能を損なわない設計とするとともに、可搬型重大事故等対処設備については、必要により当該設備の落下防止、転倒防止、固縛等の措置をとる。</p> <p>海水を通過する系統への影響^①に対しては、常時海水を通過する、海に設置する、又は海で使用する重大事故等対処設備は耐腐食性材料を使用する設計とする。常時海水を通過するコンクリート構造物については、腐食を考慮した設計とする。使用時に海水を通過する可能性のある重大事故等対処設備は、海水影響を考慮した設計とする。</p> <p>また、海から直接取水する際の異物の流入防止を考慮した設計とする。</p> <p>発電所敷地又はその周辺において想定される発電用原子炉施設の安全性を損なわせる原因となるおそれがある事象であって人為によるもの選定に当たっては、網羅的に抽出するために、発電所敷地及びその周辺での発生実績の有無にかかわらず、国内外の基準や文献等に基づき収集した飛来物（航空機落下等）、ダムの崩壊、爆発、近隣工場等の火災、有毒ガス、船舶の衝突、電磁的障害、故意による大型航空機の衝突その他のテロリズム等の事象を考慮する。これらの事象のうち、発電所敷地及びその周辺での発生の可能性、重大事故等対処設備への影響度、事象進展速度や事象進展に対する時間余裕の観点から、重大事故等対処設備に影響を与えるおそれがある事象として選定する電磁的障害^②に対しては、重大事故等対処設備は、重大事故等時においても電磁波によりその機能を損なうことのない設計とする。</p>	<p>ているが、伊方においては原子炉建屋と原子炉補助建屋等を書き分ける特性はないため、一文で記載する。（大飯と同様）</p> <p>【女川・大飯】 <u>記載表現の相違</u> ・“中央制御室”と“それ以外”という括りとなる記載とした。</p> <p>【女川・大飯】 <u>記載方針の相違</u> ・前ページの記載統一 【女川】 <u>設備の相違</u> ・屋外の重大事故等対処設備で“離れた場所”から操作する設備はない。（大飯と同様） 【大飯】 <u>記載方針の相違</u> ・操作場所の観点では“人が携行して使用可能”は、設置場所で操作可能に含まれる。（女川と同様） <u>設計方針の相違</u> ・重大事故等の発生頻度を踏まえ、重大事故等時の環境条件の設定として降下火砕物（火山の影響）、竜巻を対象外。（補足説明資料 共一3）（女川と同様）</p> <p>【大飯】 <u>記載方針の相違</u> ・海水影響を考慮する設備として、“海水を通過する可能性のある”と簡潔に記載した。（伊方と同様） 【女川】 <u>運用の相違</u> ・前（大飯も同様）には“原則淡水を通過”という運用ではないため、記載内容が相違するが、海水影響を考慮する設計方針は同様。</p>

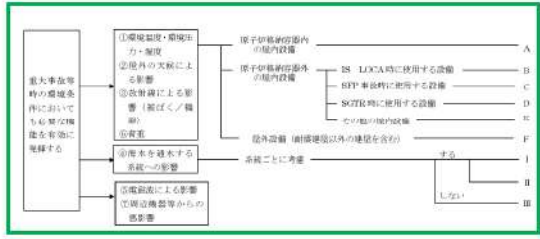
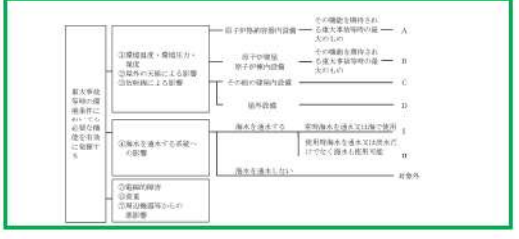
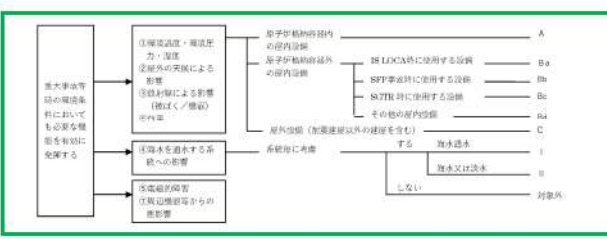
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

43条 重大事故等対処設備

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>また、事故対応の多様性拡張のために設置・配備している設備を含む周辺機器等からの悪影響²⁾により機能を失うおそれがない設計とする。周辺機器等からの悪影響としては、地震、火災及び溢水による波及的影響を考慮する。溢水に対しては、重大事故等対処設備が溢水によりその機能を喪失しないように、常設重大事故等対処設備は、想定される溢水水位よりも高所に設置し、可搬型重大事故等対処設備は、必要により想定される溢水水位よりも高所に保管する。</p> <p>地震による荷重を含む耐震設計については、「1.1.2 耐震設計の基本方針」に、火災防護については、「1.2 火災による損傷の防止」に示す。</p>	<p>重大事故等対処設備は、事故対応のために配置・配備している自主対策設備を含む周辺機器等からの悪影響²⁾により機能を損なわない設計とする。周辺機器等からの悪影響としては、地震、火災及び溢水による波及的影響を考慮する。溢水に対しては、重大事故等対処設備は、想定される溢水により機能を損なわないように、重大事故等対処設備の設置区画の止水対策等を実施する。</p> <p>地震による荷重を含む耐震設計については、「重大事故等対処設備について2.1.2 耐震設計の基本方針」に、火災防護については、「重大事故等対処設備について2.2火災による損傷の防止」に示す。</p>	<p>重大事故等対処設備は、事故対応のために配置・配備している自主対策設備を含む周辺機器等からの悪影響²⁾により機能を損なわない設計とする。周辺機器等からの悪影響としては、地震、火災及び溢水による波及的影響を考慮する。溢水に対しては、重大事故等対処設備は、重大事故等対処設備の設置区画の止水対策等により機能を損なわない設計とする。</p> <p>地震による荷重を含む耐震設計については、「重大事故等対処設備について2.1.2 耐震設計の基本方針」に、火災防護については、「重大事故等対処設備について2.2火災による損傷の防止」に示す。</p>	<p>【大飯】 <u>設計方針の相違</u> ・当該炉の溢水水位に対して、高所設置に限定せず機能を損なわない設計とする方針とした。</p> <p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> ・泊は、溢水に対して重大事故等対処設備を防護する設計方針としている。 ・止水対策のみならず、静的機器によって機能を損なわない重大事故等対処設備もあるため、機能を損なわない設計とする方針とした。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

43条 重大事故等対処設備

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																													
<p>(2) 類型化の考え方</p> <p>a. 考慮事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①重大事故等時における環境温度、環境圧力及び湿度による影響 ②屋外の天候による影響 ③重大事故等時の放射線による影響（人・設備） ④通常淡水通水系統に対して、重大事故等時海水通水する系統への影響 ⑤電磁波による影響 ⑥荷重（重大事故等が発生した場合における圧力、温度、機械的荷重及び地震、積雪及び降下火砕物による荷重） ⑦周辺機器等からの悪影響 <p>b. 類型化</p> <ul style="list-style-type: none"> ①～③、⑥の項目については、影響を受ける区分として、A:原子炉格納容器内、B～E:原子炉格納容器外、F:屋外（耐震建屋以外の建屋を含む）に分類するとともに、原子炉格納容器外については、さらに重大事故発生（B:IS LOCA、C:SFP事故、D:SGTR、E:その他）を想定し、それら事故時に使用する設備を分類する。 ④海水を通水する系統については、I：通常時に海水を通水する系統、II：淡水又は海水から選択できる系統、III：海水を通水しない系統で分類する。 ⑤、⑦は、共通事項であるため区分しない。  <p>・類型化区分と考慮事項の対応</p> <table border="1" data-bbox="78 965 672 1189"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th colspan="5">原子炉格納容器内</th> <th colspan="5">原子炉格納容器外</th> <th>屋外</th> </tr> <tr> <th>設備</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>E</th> <th>Ba</th> <th>Bb</th> <th>Bc</th> <th>Bd</th> <th>Ca</th> <th>Cb</th> <th>Cc</th> <th>Cd</th> <th>Ce</th> <th>F</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①③</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="78 1133 672 1189"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th colspan="2">I（海水を通水する系統）</th> <th colspan="2">II（淡水又は海水から選択）</th> <th colspan="2">III（海水を通水しない系統）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>④</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">○：考慮必要 ×：考慮不要</p>	区分	原子炉格納容器内					原子炉格納容器外					屋外	設備	A	B	C	D	E	Ba	Bb	Bc	Bd	Ca	Cb	Cc	Cd	Ce	F	①③	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	②		×													○	⑥			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	区分	I（海水を通水する系統）		II（淡水又は海水から選択）		III（海水を通水しない系統）		④	○	○	○	○	○	×	<p>(2) 類型化の考え方</p> <p>a. 考慮事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①重大事故等時における環境温度、環境圧力、湿度による影響 ②屋外の天候による影響 ③重大事故等時の放射線による影響 ④重大事故時に海水を通水する系統への影響 ⑤電磁的障害 ⑥荷重（重大事故等が発生した場合における圧力、温度、機械的荷重及び地震、風（台風）、積雪による荷重） ⑦周辺機器等からの悪影響 <p>b. 類型化</p> <ul style="list-style-type: none"> ①～③の項目については、A:原子炉格納容器内、B：原子炉建屋原子炉棟内、C:その他の建屋内（原子炉建屋付属棟内を含む）又はD:屋外に分類するとともに、それぞれの場所の重大事故等時における環境条件を考慮したものとす。なお、類型化区分「C」は、原子炉建屋付属棟内、制御建屋内（中央制御室を含む。）、緊急用電気設備建屋（地下階）内及び緊急時対策建屋内を示す。 ④海水を通水する系統については、I：常時海水を通水又は海で使用する系統又はII：使用時海水を通水又は淡水だけでなく海水も使用可能な系統で分類する。 ⑤、⑥及び⑦は共通事項であるため区分しない。  <p>・類型化区分と考慮事項の対応</p> <table border="1" data-bbox="705 965 1310 1252"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th colspan="2">原子炉格納容器内</th> <th colspan="2">原子炉建屋 原子炉棟内</th> <th colspan="2">その他の建屋内</th> <th>屋外</th> </tr> <tr> <th>設備</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①③</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="705 1133 1310 1252"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>I (常時海水を通水又は海 で使用する系統)</th> <th>II (使用時海水を通水又は 淡水だけでなく海水も使 用可能な系統)</th> <th>対象外 (海水を通水しない系 統)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>④</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">○：考慮必要 ×：考慮不要</p>	区分	原子炉格納容器内		原子炉建屋 原子炉棟内		その他の建屋内		屋外	設備	A	B	C	D	C	D	D	①③	○	○	○	○	○	○	○	②		×					○	区分	I (常時海水を通水又は海 で使用する系統)	II (使用時海水を通水又は 淡水だけでなく海水も使 用可能な系統)	対象外 (海水を通水しない系 統)	④	○	○	×	<p>(2) 類型化の考え方</p> <p>a. 考慮事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①重大事故等時における環境温度、環境圧力、湿度による影響 ②屋外の天候による影響 ③重大事故等時の放射線による影響 ④重大事故等時に海水を通水する可能性のある系統への影響 ⑤電磁的障害 ⑥荷重（重大事故等が発生した場合における圧力、温度、機械的荷重及び地震、風（台風）、積雪による荷重） ⑦周辺機器等からの悪影響 <p>b. 類型化</p> <ul style="list-style-type: none"> ①～③、⑥の項目については、A:原子炉格納容器内、B:原子炉格納容器外、C:屋外（耐震建屋以外の建屋を含む）に分類するとともに、原子炉格納容器外については、更に重大事故発生（Ba: IS LOCA、Bb: SFP事故、Bc: SGTR、Bd: その他）を想定し、それぞれの場所の重大事故等時における環境条件を考慮したものとす。 ④海水を通水する系統については、I：通常時に海水を通水する系統、II：淡水又は海水から選択できる系統で分類する。 ⑤、⑦は、共通事項であるため区分しない。  <p>・類型化区分と考慮事項の対応</p> <table border="1" data-bbox="1332 965 1937 1157"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th colspan="2">原子炉格納容器内</th> <th colspan="4">原子炉格納容器外</th> <th colspan="2">屋外</th> </tr> <tr> <th>設備</th> <th>A</th> <th>Ba</th> <th>Bb</th> <th>Bc</th> <th>Bd</th> <th>C</th> <th>C</th> <th>C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①③</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="1332 1085 1937 1157"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th colspan="2">I（海水を通水する系統）</th> <th colspan="2">II（淡水又は海水から選択）</th> <th colspan="2">対象外（海水を通水しない系統）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>④</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">○：考慮必要 ×：考慮不要</p>	区分	原子炉格納容器内		原子炉格納容器外				屋外		設備	A	Ba	Bb	Bc	Bd	C	C	C	①③	○	○	○	○	○	○	○	○	②								○	⑥		○	○	○	○	○	○	○	区分	I（海水を通水する系統）		II（淡水又は海水から選択）		対象外（海水を通水しない系統）		④	○	○	○	○	○	×	<p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違（女川）</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑥は、①及び②により生じる荷重であり、⑤及び⑦のように設置・保管環境により共通的に生じる事項と分類せず、①②と同じ分類とした。設置環境に応じて、生じる荷重を考慮する設計方針は同じである。 <p>記載表現の相違（大飯）</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は対象外に分類 <p>記載表現の相違（大飯・女川）</p> <ul style="list-style-type: none"> 上記の類型化分類の結果は異なるが、環境条件として考慮する事項は同じである。 また、分類記号の付番及びSFP事故、SGTR及びIS-LOCAの影響を考慮する項目を細分化し、類型化した泊（大飯）と原子炉建屋原子炉棟内として建屋単位で類型化した女川で類型化結果は異なるが、女川においても原子炉建屋原子炉棟内にてSFP事故による環境影響を考慮する方針は同じである。
区分	原子炉格納容器内					原子炉格納容器外					屋外																																																																																																																																																																																					
設備	A	B	C	D	E	Ba	Bb	Bc	Bd	Ca	Cb	Cc	Cd	Ce	F																																																																																																																																																																																	
①③	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																	
②		×													○																																																																																																																																																																																	
⑥			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																	
区分	I（海水を通水する系統）		II（淡水又は海水から選択）		III（海水を通水しない系統）																																																																																																																																																																																											
④	○	○	○	○	○	×																																																																																																																																																																																										
区分	原子炉格納容器内		原子炉建屋 原子炉棟内		その他の建屋内		屋外																																																																																																																																																																																									
設備	A	B	C	D	C	D	D																																																																																																																																																																																									
①③	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																									
②		×					○																																																																																																																																																																																									
区分	I (常時海水を通水又は海 で使用する系統)	II (使用時海水を通水又は 淡水だけでなく海水も使 用可能な系統)	対象外 (海水を通水しない系 統)																																																																																																																																																																																													
④	○	○	×																																																																																																																																																																																													
区分	原子炉格納容器内		原子炉格納容器外				屋外																																																																																																																																																																																									
設備	A	Ba	Bb	Bc	Bd	C	C	C																																																																																																																																																																																								
①③	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																								
②								○																																																																																																																																																																																								
⑥		○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																								
区分	I（海水を通水する系統）		II（淡水又は海水から選択）		対象外（海水を通水しない系統）																																																																																																																																																																																											
④	○	○	○	○	○	×																																																																																																																																																																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

43条 重大事故等対処設備

大飯発電所3/4号炉								女川原子力発電所2号炉								泊発電所3号炉								相違理由
・重大事故等時による環境温度、環境圧力、湿度の影響範囲 運転中の原子炉における重大事故に至るおそれがある事故								・重大事故等時による環境温度、環境圧力、湿度及び放射線の影響範囲 運転中の発電用原子炉における重大事故に至るおそれがある事故								・重大事故等時による環境温度、環境圧力、湿度の影響範囲 運転中の発電用原子炉における重大事故に至るおそれがある事故								記載表現の相違（女川） ・炉型の相違により、事故シナリオグループ、格納容器破損モードに相違はあるが、DBAを超える状態を想定し、温度・湿度・圧力・放射線による影響を考慮する方針は同じである。 ・PWR（泊、大飯）は、事象発生箇所がC/V内であるため、大きく環境状態が変化箇所をC/V内とし、設置設備に対し、環境変化の程度が大きいものを「◎」として選定している。ただし、C/Vがガス事象及びSFP事故については、環境変化の大きい箇所をC/V外として想定する事象ごとで影響の大きい範囲を明示している。 ・女川は、各事象で影響を受ける範囲（影響の及ぶ範囲）を識別選定しており、重大事故発生時には敷地全域に影響が及ぶことを明示している。 ・重大事故時における作業成立性の検討として、炉心損傷後の建屋内及び屋外の温度・放射線環境の雰囲気の評価し、通行制限区域や作業時の総熱量評価を泊でも実施しており、女川の記載を参考として、重大事故時には建屋内外の放射線環境の悪化について追記した。
事故シナリオグループ		温度	湿度	圧力	放射線	影響範囲	備考	事故シナリオグループ		温度	湿度	圧力	放射線	影響範囲	備考	事故シナリオグループ		温度	湿度	圧力	放射線	影響範囲	備考	
2次冷却系からの除熱機能喪失		○	○	○	○	C/V内		高圧・低圧注水機能喪失		○	○	○	○	・原子炉格納容器内 ・原子炉建屋原子炉棟内		2次冷却系からの除熱機能喪失		○	○	○	○	C/V内		
全交流動力電源喪失		○	○	○	○	C/V内		高圧注水・減圧機能喪失		○	○	○	○	・原子炉格納容器内 ・原子炉建屋原子炉棟内		全交流動力電源喪失		○	○	○	○	C/V内		
原子炉補機冷却機能喪失		○	○	○	○	C/V内		全交流動力電源喪失		○	○	○	○	・原子炉格納容器内 ・原子炉建屋原子炉棟内		原子炉補機冷却機能喪失		○	○	○	○	C/V内		
原子炉格納容器の除熱機能喪失		○	○	○	○	C/V内		崩壊熱除去機能喪失		○	○	○	○	・原子炉格納容器内 ・原子炉建屋原子炉棟内		原子炉格納容器の除熱機能喪失		○	○	◎	○	C/V内		
原子炉停止機能喪失		×	×	×	×	-		原子炉停止機能喪失		○	○	○	○	・原子炉格納容器内 ・原子炉建屋原子炉棟内		原子炉停止機能喪失		×	×	×	×	-		
ECCS注水機能喪失		○	○	○	○	C/V内		LOCA時注水機能喪失		○	○	○	○	・原子炉格納容器内 ・原子炉建屋原子炉棟内		ECCS注水機能喪失		○	○	○	○	C/V内		
ECCS再循環機能喪失		○	○	○	○	C/V内		格納容器バイパス（インターフェイシステムLOCA）		○	○	○	○	・原子炉建屋原子炉棟内		ECCS再循環機能喪失		○	○	○	○	C/V内		
格納容器バイパス（IS LOCA, SGTR）		◎	○	◎	◎	C/V外									格納容器バイパス（IS LOCA, SGTR）		◎	○	◎	◎	C/V外			
運転中の原子炉における重大事故								運転中の発電用原子炉における重大事故								運転中の発電用原子炉における重大事故								
格納容器破損モード		温度	湿度	圧力	放射線	影響範囲	備考	格納容器破損モード		温度	湿度	圧力	放射線	影響範囲	備考	格納容器破損モード		温度	湿度	圧力	放射線	影響範囲	備考	
雰囲気圧力・温度による静的負荷（格納容器過圧破損）		○	○	◎	◎	C/V内		雰囲気圧力・温度による静的負荷（格納容器過圧・過温破損）		○	○	○	○	・原子炉格納容器内 ・原子炉建屋原子炉棟内 ・その他建屋内（放射線） ・屋外（放射線）		雰囲気圧力・温度による静的負荷（格納容器過圧破損）		○	○	◎	◎	C/V内		
雰囲気圧力・温度による静的負荷（格納容器過温破損）		◎	○	○	○	C/V内		高圧溶融物放出／格納容器雰囲気直接加熱		○	○	○	○	・原子炉格納容器内 ・原子炉建屋原子炉棟内 ・その他建屋内（放射線） ・屋外（放射線）		雰囲気圧力・温度による静的負荷（格納容器過温破損）		◎	○	○	○	C/V内		
高圧溶融物放出／格納容器雰囲気直接加熱		◎	○	○	○	C/V内		原子炉圧力容器外の溶融燃料—冷却材相互作用		○	○	○	○	・原子炉格納容器内 ・原子炉建屋原子炉棟内 ・その他建屋内（放射線） ・屋外（放射線）		高圧溶融物放出／格納容器雰囲気直接加熱		◎	○	◎	○	C/V内		
原子炉圧力容器外の溶融燃料—冷却材相互作用		○	○	◎	◎	C/V内		水素燃焼		○	○	○	○	・原子炉格納容器内 ・原子炉建屋原子炉棟内 ・その他建屋内（放射線） ・屋外（放射線）		原子炉圧力容器外の溶融燃料—冷却材相互作用		○	○	○	○	C/V内		
水素燃焼		○	○	○	○	C/V内		原子炉圧力容器外の溶融燃料—冷却材相互作用		○	○	○	○	・原子炉格納容器内 ・原子炉建屋原子炉棟内 ・その他建屋内（放射線） ・屋外（放射線）		水素燃焼		○	○	○	○	C/V内		
溶融炉心・コンクリート相互作用		○	○	◎	◎	C/V内		水素燃焼		○	○	○	○	・原子炉格納容器内 ・原子炉建屋原子炉棟内 ・その他建屋内（放射線） ・屋外（放射線）		溶融炉心・コンクリート相互作用		○	○	○	○	C/V内		
								溶融炉心・コンクリート相互作用		○	○	○	○	・原子炉格納容器内 ・原子炉建屋原子炉棟内 ・その他建屋内（放射線） ・屋外（放射線）										

（注）重大事故時は、C/V外建屋内及び屋外においても、放射線影響を考慮する必要がある

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

43条 重大事故等対処設備

大飯発電所3/4号炉							女川原子力発電所2号炉							泊発電所3号炉							相違理由
運転停止中の原子炉における重大事故に至るおそれがある事故							運転停止中の発電用原子炉における重大事故に至るおそれがある事故							運転停止中の発電用原子炉における重大事故に至るおそれがある事故							
事故シークエンスグループ	温度	湿度	圧力	放射線	影響範囲	備考	事故シークエンスグループ	温度	湿度	圧力	放射線	影響範囲	備考	事故シークエンスグループ	温度	湿度	圧力	放射線	影響範囲	備考	
崩壊熱除去機能喪失	○	○	○	○	C/V内		崩壊熱除去機能喪失	○	○	○	○	・原子炉格納容器内 ・原子炉建屋原子炉棟内		崩壊熱除去機能喪失	○	○	○	○	C/V内		
全交流動力電源喪失	○	○	○	○	C/V内		全交流動力電源喪失	○	○	○	○	・原子炉格納容器内 ・原子炉建屋原子炉棟内		全交流動力電源喪失	○	○	○	○	C/V内		
原子炉冷却材流出	○	○	○	○	C/V内		原子炉冷却材の流出	○	○	○	○	・原子炉格納容器内 ・原子炉建屋原子炉棟内		原子炉冷却材流出	○	○	○	○	C/V内		
反応度の誤投入	×	×	×	×	-		反応度の誤投入		×	×	×	×	-	反応度の誤投入	×	×	×	×	-		
使用済燃料ピットにおける重大事故に至るおそれがある事故							使用済燃料プールにおける重大事故に至るおそれがある事故							使用済燃料ピットにおける重大事故に至るおそれがある事故							
想定事故	温度	湿度	圧力	放射線	影響範囲	備考	事故シークエンスグループ	温度	湿度	圧力	放射線	影響範囲	備考	想定事故	温度	湿度	圧力	放射線	影響範囲	備考	
想定事故1 使用済燃料ピットの冷却機能又は注水機能が喪失することにより、使用済燃料ピット内の水の温度が上昇し、蒸発により水位が低下する事故	○	○	○	○	C/V外 (SFP事故時)		想定事故1	○	○	○	○	・原子炉建屋原子炉棟内		想定事故1 使用済燃料ピットの冷却機能又は注水機能が喪失することにより、使用済燃料ピット内の水の温度が上昇し、蒸発により水位が低下する事故	○	○	○	○	C/V外 (SFP事故時)		
想定事故2 サイフォン現象等により使用済燃料ピット内の水の小規模な喪失が発生し、使用済燃料ピットの水位が低下する事故	◎	○	◎	◎	C/V外 (SFP事故時)	初期水位の観点から厳しい	想定事故2	○	○	○	○	・原子炉建屋原子炉棟内		想定事故2 サイフォン現象等により使用済燃料ピット内の水の小規模な喪失が発生し、使用済燃料ピットの水位が低下する事故	◎	○	◎	◎	C/V外 (SFP事故時)	初期水位の観点から厳しい	
◎：環境条件として想定する事故 ○：影響あり ×：影響なし -：該当なし							○：環境条件を確認する必要がある対象（対象機器の機能を期待する各事故シークエンスの環境条件を確認し、適切に設定） ×：影響なし、又は評価不要 -：該当なし							◎：環境条件として想定する事故 ○：影響あり ×：影響なし -：該当なし (◎及び◎：対象機器の機能を期待する各事故シークエンスの環境条件を確認し、適切に設定)							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

43条 重大事故等対処設備

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																												
<p>2. 設計方針について</p> <p>【要求事項：想定される重大事故等が発生した場合における温度、放射線、荷重その他の使用条件において、重大事故等に対処するために必要な機能を有効に発揮するものであること。】</p> <p>各区分における設計方針について、以下の表にまとめた。</p> <p>(1) ①環境温度・湿度・圧力/②屋外の天候による影響/③放射線による影響(被ばく/機器)/④荷重</p> <table border="1" data-bbox="78 367 683 1396"> <thead> <tr> <th>設備分類</th> <th>設計方針</th> <th>エビデンス</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A C/V内</td> <td>・原子炉格納容器内の重大事故等対処設備は、重大事故等時における原子炉格納容器内の環境条件を考慮した設計とする。 ・操作は中央制御室から可能な設計とする。 ・屋内の重大事故等対処設備は、地震による荷重を適切に考慮して、機能を損なわない設計とする。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>B ISLOCA</td> <td>・原子炉補助建屋のうち制御建屋内及び原子炉周辺建屋内、原子炉格納施設のうちアンユラス部内及び緊急時対策所内の重大事故等対処設備は、地震による荷重を適切に考慮した設計とする。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C SFP</td> <td>・操作は中央制御室、異なる区画（フロア）又は離れた場所から若しくは設置場所での可能な設計とする。 ・原子炉補助建屋のうち制御建屋内及び原子炉周辺建屋内、原子炉格納施設のうちアンユラス部内及び緊急時対策所内の重大事故等対処設備は、地震による荷重を適切に考慮して、機能を損なわない設計とするとともに、可搬型重大事故等対処設備については、必要により当該設備の落下防止、転倒防止又は固縛の措置をとる。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>D SGTR</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>E その他耐震建屋内</td> <td>・このうち、インターフェイスシステムLOCA時、蒸気発生器伝熱管破損+破損蒸気発生器隔離失敗時又は使用済燃料ピットに係る重大事故等時使用する設備については、これらの環境条件を考慮した設計とするか、これらの環境影響を受けない区画等に設置する。 ・特に、使用済燃料ピット監視カメラは、使用済燃料ピットに係る重大事故等時使用するため、その環境影響を考慮して、空気を供給し冷却することで耐環境性向上を図る設計とする。</td> <td></td> <td>比較のため 記載順序を 入れ替え 配置図・仕様表 健全性説明書 強度計算書 耐震計算書</td> </tr> <tr> <td>F 屋外</td> <td>・屋外の重大事故等対処設備は、重大事故等時における屋外の環境条件を考慮した設計とする。 ・操作は中央制御室から可能な設計又は設置場所での可能な設計とするか、人が携行して使用可能な設計とする。 ・屋外の重大事故等対処設備は、地震、積雪及び降下火砕物による荷重を適切に考慮して、機能を損なわない設計とするとともに、風（台風）及び雹による風荷重の影響に対しては、位置的分散を考慮した保管により、機能を損なわない設計とする。また、可搬型重大事故等対処設備については、必要により当該設備の落下防止、転倒防止又は固縛の措置をとる。</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	設備分類	設計方針	エビデンス	備考	A C/V内	・原子炉格納容器内の重大事故等対処設備は、重大事故等時における原子炉格納容器内の環境条件を考慮した設計とする。 ・操作は中央制御室から可能な設計とする。 ・屋内の重大事故等対処設備は、地震による荷重を適切に考慮して、機能を損なわない設計とする。			B ISLOCA	・原子炉補助建屋のうち制御建屋内及び原子炉周辺建屋内、原子炉格納施設のうちアンユラス部内及び緊急時対策所内の重大事故等対処設備は、地震による荷重を適切に考慮した設計とする。			C SFP	・操作は中央制御室、異なる区画（フロア）又は離れた場所から若しくは設置場所での可能な設計とする。 ・原子炉補助建屋のうち制御建屋内及び原子炉周辺建屋内、原子炉格納施設のうちアンユラス部内及び緊急時対策所内の重大事故等対処設備は、地震による荷重を適切に考慮して、機能を損なわない設計とするとともに、可搬型重大事故等対処設備については、必要により当該設備の落下防止、転倒防止又は固縛の措置をとる。			D SGTR				E その他耐震建屋内	・このうち、インターフェイスシステムLOCA時、蒸気発生器伝熱管破損+破損蒸気発生器隔離失敗時又は使用済燃料ピットに係る重大事故等時使用する設備については、これらの環境条件を考慮した設計とするか、これらの環境影響を受けない区画等に設置する。 ・特に、使用済燃料ピット監視カメラは、使用済燃料ピットに係る重大事故等時使用するため、その環境影響を考慮して、空気を供給し冷却することで耐環境性向上を図る設計とする。		比較のため 記載順序を 入れ替え 配置図・仕様表 健全性説明書 強度計算書 耐震計算書	F 屋外	・屋外の重大事故等対処設備は、重大事故等時における屋外の環境条件を考慮した設計とする。 ・操作は中央制御室から可能な設計又は設置場所での可能な設計とするか、人が携行して使用可能な設計とする。 ・屋外の重大事故等対処設備は、地震、積雪及び降下火砕物による荷重を適切に考慮して、機能を損なわない設計とするとともに、風（台風）及び雹による風荷重の影響に対しては、位置的分散を考慮した保管により、機能を損なわない設計とする。また、可搬型重大事故等対処設備については、必要により当該設備の落下防止、転倒防止又は固縛の措置をとる。			<p>2. 設計方針について</p> <p>【要求事項：想定される重大事故等が発生した場合における温度、放射線、荷重その他の使用条件において、重大事故等に対処するために必要な機能を有効に発揮するものであること。】</p> <p>各区分における設計方針について、以下の表にまとめた。</p> <p>(1) ①環境温度・環境圧力・湿度、②屋外の天候による影響、③放射線による影響</p> <table border="1" data-bbox="710 367 1323 1332"> <thead> <tr> <th>設備分類</th> <th>設計方針</th> <th>関係資料</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 原子炉格納容器内設備</td> <td>・原子炉格納容器内の重大事故等対処設備は、その機能を期待される重大事故等時における原子炉格納容器内の環境条件を考慮した設計とする。 ・中央制御室から操作可能な設計とする。 ・地震による荷重を考慮し、機能を損なうことのない設計とする</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>B 原子炉建屋原子炉格納容器内設備</td> <td>・原子炉建屋原子炉格納容器内の重大事故等対処設備は、その機能を期待される重大事故等時における原子炉建屋原子炉格納容器内の環境条件を考慮した設計とする。 ・使用済燃料プール冷却機能喪失時の原子炉建屋原子炉格納容器内において、使用済燃料プール水の温度上昇及び蒸発の影響を考慮する。 ・中央制御室、異なる区画若しくは離れた場所又は設置場所から操作可能な設計とする。 ・地震による荷重を考慮し、機能を損なうことのない設計とするとともに、可搬型重大事故等対処設備は、必要により当該設備の落下防止、転倒防止又は固縛の措置をとる。</td> <td>配置図 接続図 保管場所図 (健全性説明書) (強度計算書) (耐震計算書)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C 建屋内設備</td> <td>・重大事故等対処設備は、重大事故等時におけるそれぞれの場所（原子炉建屋付属建屋内、制御建屋、緊急用電気品建屋（地下階）、中央制御室内及び緊急時対策建屋内）の環境条件を考慮した設計とする。 ・中央制御室、異なる区画若しくは離れた場所又は設置場所から操作可能な設計とする。 ・地震による荷重を考慮し、機能を損なうことのない設計とするとともに、可搬型重大事故等対処設備については、必要により当該設備の落下防止又は転倒防止、固縛の措置をとる。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>D 屋外設備</td> <td>・屋外及び緊急用電気品建屋（地上階）の重大事故等対処設備は、重大事故等時における屋外の環境条件を考慮した設計とする。 ・中央制御室、離れた場所又は設置場所から操作可能な設計とする。 ・地震、風（台風）及び積雪の影響による荷重を考慮し、機能を損なわない設計とするとともに、可搬型重大事故等対処設備については、必要により当該設備の落下防止、転倒防止、固縛等の措置をとる。 ・降水及び凍結により機能を損なうことのないよう防水対策及び凍結対策を行うことが可能な設計とする。</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">※ 個別条文で記載する事項を下部で示す</p>	設備分類	設計方針	関係資料	備考	A 原子炉格納容器内設備	・原子炉格納容器内の重大事故等対処設備は、その機能を期待される重大事故等時における原子炉格納容器内の環境条件を考慮した設計とする。 ・中央制御室から操作可能な設計とする。 ・地震による荷重を考慮し、機能を損なうことのない設計とする			B 原子炉建屋原子炉格納容器内設備	・原子炉建屋原子炉格納容器内の重大事故等対処設備は、その機能を期待される重大事故等時における原子炉建屋原子炉格納容器内の環境条件を考慮した設計とする。 ・使用済燃料プール冷却機能喪失時の原子炉建屋原子炉格納容器内において、使用済燃料プール水の温度上昇及び蒸発の影響を考慮する。 ・中央制御室、異なる区画若しくは離れた場所又は設置場所から操作可能な設計とする。 ・地震による荷重を考慮し、機能を損なうことのない設計とするとともに、可搬型重大事故等対処設備は、必要により当該設備の落下防止、転倒防止又は固縛の措置をとる。	配置図 接続図 保管場所図 (健全性説明書) (強度計算書) (耐震計算書)		C 建屋内設備	・重大事故等対処設備は、重大事故等時におけるそれぞれの場所（原子炉建屋付属建屋内、制御建屋、緊急用電気品建屋（地下階）、中央制御室内及び緊急時対策建屋内）の環境条件を考慮した設計とする。 ・中央制御室、異なる区画若しくは離れた場所又は設置場所から操作可能な設計とする。 ・地震による荷重を考慮し、機能を損なうことのない設計とするとともに、可搬型重大事故等対処設備については、必要により当該設備の落下防止又は転倒防止、固縛の措置をとる。			D 屋外設備	・屋外及び緊急用電気品建屋（地上階）の重大事故等対処設備は、重大事故等時における屋外の環境条件を考慮した設計とする。 ・中央制御室、離れた場所又は設置場所から操作可能な設計とする。 ・地震、風（台風）及び積雪の影響による荷重を考慮し、機能を損なわない設計とするとともに、可搬型重大事故等対処設備については、必要により当該設備の落下防止、転倒防止、固縛等の措置をとる。 ・降水及び凍結により機能を損なうことのないよう防水対策及び凍結対策を行うことが可能な設計とする。			<p>2. 設計方針について</p> <p>【要求事項：想定される重大事故等が発生した場合における温度、放射線、荷重その他の使用条件において、重大事故等に対処するために必要な機能を有効に発揮するものであること。】</p> <p>各区分における設計方針について、以下の表にまとめた。</p> <p>(1) ①環境温度・湿度・圧力/②屋外の天候による影響/③放射線による影響/④荷重</p> <table border="1" data-bbox="1346 367 1955 1348"> <thead> <tr> <th>類型化分類</th> <th>設計方針</th> <th>関係資料</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A C/V内の設備</td> <td>・原子炉格納容器内の重大事故等対処設備は、重大事故等時における原子炉格納容器内の環境条件を考慮した設計とする。 ・操作は中央制御室から可能な設計とする。 ・常設重大事故等対処設備は、地震による荷重を考慮して、機能を損なわない設計とする。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Ba ISLOCA時に使用する設備</td> <td>・中央制御室内、原子炉建屋内、原子炉補助建屋内、ディーゼル発電機建屋内、燃料取扱棟内、循環水ポンプ建屋内及び緊急時対策所内（空調上屋を含む）の重大事故等対処設備は、その機能を期待される重大事故等時におけるそれぞれの場所の環境条件を考慮した設計とする。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Bb SFP事故時に使用する設備</td> <td>・操作は中央制御室、異なる区画（フロア）若しくは離れた場所又は設置場所での可能な設計とする。 ・常設重大事故等対処設備は、地震による荷重を考慮して、機能を損なわない設計とする。可搬型重大事故等対処設備については、同じ機能を持つ設計基準事故等対処設備等並に常設及び可搬型の重大事故等対処設備に悪影響を存えて機能喪失しないよう、地震による荷重を考慮して、必要により当該設備の落下防止、転倒防止、固縛による固定の措置をとる。</td> <td>配置図 接続図 保管場所図 (健全性説明書) (強度計算書) (耐震計算書)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Bc SGTR時に使用する設備</td> <td>・このうち、インターフェイスシステムLOCA時、蒸気発生器伝熱管破損+破損蒸気発生器隔離失敗時又は使用済燃料ピットに係る重大事故等時使用する設備については、これらの環境条件を考慮した設計とするか、これらの環境影響を受けない区画等に設置する。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Bd その他耐震建屋内の設備</td> <td>・特に、使用済燃料ピット監視カメラは、使用済燃料ピットに係る重大事故等時使用するため、その環境影響を考慮して、空気を供給し冷却することで耐環境性向上を図る設計とする。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C 屋外の設備</td> <td>・屋外及び上記の分類A、Bに該当しない建屋内の重大事故等対処設備は、重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。 ・操作は中央制御室又は設置場所での可能な設計とする。 ・常設重大事故等対処設備は、地震、風（台風）及び積雪の影響による荷重を考慮して、機能を損なうことのない設計とするとともに、可搬型重大事故等対処設備については、必要により当該設備の落下防止、転倒防止、固縛の措置をとる。</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	類型化分類	設計方針	関係資料	備考	A C/V内の設備	・原子炉格納容器内の重大事故等対処設備は、重大事故等時における原子炉格納容器内の環境条件を考慮した設計とする。 ・操作は中央制御室から可能な設計とする。 ・常設重大事故等対処設備は、地震による荷重を考慮して、機能を損なわない設計とする。			Ba ISLOCA時に使用する設備	・中央制御室内、原子炉建屋内、原子炉補助建屋内、ディーゼル発電機建屋内、燃料取扱棟内、循環水ポンプ建屋内及び緊急時対策所内（空調上屋を含む）の重大事故等対処設備は、その機能を期待される重大事故等時におけるそれぞれの場所の環境条件を考慮した設計とする。			Bb SFP事故時に使用する設備	・操作は中央制御室、異なる区画（フロア）若しくは離れた場所又は設置場所での可能な設計とする。 ・常設重大事故等対処設備は、地震による荷重を考慮して、機能を損なわない設計とする。可搬型重大事故等対処設備については、同じ機能を持つ設計基準事故等対処設備等並に常設及び可搬型の重大事故等対処設備に悪影響を存えて機能喪失しないよう、地震による荷重を考慮して、必要により当該設備の落下防止、転倒防止、固縛による固定の措置をとる。	配置図 接続図 保管場所図 (健全性説明書) (強度計算書) (耐震計算書)		Bc SGTR時に使用する設備	・このうち、インターフェイスシステムLOCA時、蒸気発生器伝熱管破損+破損蒸気発生器隔離失敗時又は使用済燃料ピットに係る重大事故等時使用する設備については、これらの環境条件を考慮した設計とするか、これらの環境影響を受けない区画等に設置する。			Bd その他耐震建屋内の設備	・特に、使用済燃料ピット監視カメラは、使用済燃料ピットに係る重大事故等時使用するため、その環境影響を考慮して、空気を供給し冷却することで耐環境性向上を図る設計とする。			C 屋外の設備	・屋外及び上記の分類A、Bに該当しない建屋内の重大事故等対処設備は、重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。 ・操作は中央制御室又は設置場所での可能な設計とする。 ・常設重大事故等対処設備は、地震、風（台風）及び積雪の影響による荷重を考慮して、機能を損なうことのない設計とするとともに、可搬型重大事故等対処設備については、必要により当該設備の落下防止、転倒防止、固縛の措置をとる。			<p>相違理由</p> <p>類型化の相違（女川）</p> <p>記載内容の相違（女川） ・C/V内は常設SA設備のみであるため、明示した。C/V外について、下表では可搬型SA設備の設計方針を別に記載している。</p> <p>建屋の相違</p> <p>記載内容の相違 ・可搬型SA設備の設計方針を常設SA設備と別に記載。</p>
設備分類	設計方針	エビデンス	備考																																																																												
A C/V内	・原子炉格納容器内の重大事故等対処設備は、重大事故等時における原子炉格納容器内の環境条件を考慮した設計とする。 ・操作は中央制御室から可能な設計とする。 ・屋内の重大事故等対処設備は、地震による荷重を適切に考慮して、機能を損なわない設計とする。																																																																														
B ISLOCA	・原子炉補助建屋のうち制御建屋内及び原子炉周辺建屋内、原子炉格納施設のうちアンユラス部内及び緊急時対策所内の重大事故等対処設備は、地震による荷重を適切に考慮した設計とする。																																																																														
C SFP	・操作は中央制御室、異なる区画（フロア）又は離れた場所から若しくは設置場所での可能な設計とする。 ・原子炉補助建屋のうち制御建屋内及び原子炉周辺建屋内、原子炉格納施設のうちアンユラス部内及び緊急時対策所内の重大事故等対処設備は、地震による荷重を適切に考慮して、機能を損なわない設計とするとともに、可搬型重大事故等対処設備については、必要により当該設備の落下防止、転倒防止又は固縛の措置をとる。																																																																														
D SGTR																																																																															
E その他耐震建屋内	・このうち、インターフェイスシステムLOCA時、蒸気発生器伝熱管破損+破損蒸気発生器隔離失敗時又は使用済燃料ピットに係る重大事故等時使用する設備については、これらの環境条件を考慮した設計とするか、これらの環境影響を受けない区画等に設置する。 ・特に、使用済燃料ピット監視カメラは、使用済燃料ピットに係る重大事故等時使用するため、その環境影響を考慮して、空気を供給し冷却することで耐環境性向上を図る設計とする。		比較のため 記載順序を 入れ替え 配置図・仕様表 健全性説明書 強度計算書 耐震計算書																																																																												
F 屋外	・屋外の重大事故等対処設備は、重大事故等時における屋外の環境条件を考慮した設計とする。 ・操作は中央制御室から可能な設計又は設置場所での可能な設計とするか、人が携行して使用可能な設計とする。 ・屋外の重大事故等対処設備は、地震、積雪及び降下火砕物による荷重を適切に考慮して、機能を損なわない設計とするとともに、風（台風）及び雹による風荷重の影響に対しては、位置的分散を考慮した保管により、機能を損なわない設計とする。また、可搬型重大事故等対処設備については、必要により当該設備の落下防止、転倒防止又は固縛の措置をとる。																																																																														
設備分類	設計方針	関係資料	備考																																																																												
A 原子炉格納容器内設備	・原子炉格納容器内の重大事故等対処設備は、その機能を期待される重大事故等時における原子炉格納容器内の環境条件を考慮した設計とする。 ・中央制御室から操作可能な設計とする。 ・地震による荷重を考慮し、機能を損なうことのない設計とする																																																																														
B 原子炉建屋原子炉格納容器内設備	・原子炉建屋原子炉格納容器内の重大事故等対処設備は、その機能を期待される重大事故等時における原子炉建屋原子炉格納容器内の環境条件を考慮した設計とする。 ・使用済燃料プール冷却機能喪失時の原子炉建屋原子炉格納容器内において、使用済燃料プール水の温度上昇及び蒸発の影響を考慮する。 ・中央制御室、異なる区画若しくは離れた場所又は設置場所から操作可能な設計とする。 ・地震による荷重を考慮し、機能を損なうことのない設計とするとともに、可搬型重大事故等対処設備は、必要により当該設備の落下防止、転倒防止又は固縛の措置をとる。	配置図 接続図 保管場所図 (健全性説明書) (強度計算書) (耐震計算書)																																																																													
C 建屋内設備	・重大事故等対処設備は、重大事故等時におけるそれぞれの場所（原子炉建屋付属建屋内、制御建屋、緊急用電気品建屋（地下階）、中央制御室内及び緊急時対策建屋内）の環境条件を考慮した設計とする。 ・中央制御室、異なる区画若しくは離れた場所又は設置場所から操作可能な設計とする。 ・地震による荷重を考慮し、機能を損なうことのない設計とするとともに、可搬型重大事故等対処設備については、必要により当該設備の落下防止又は転倒防止、固縛の措置をとる。																																																																														
D 屋外設備	・屋外及び緊急用電気品建屋（地上階）の重大事故等対処設備は、重大事故等時における屋外の環境条件を考慮した設計とする。 ・中央制御室、離れた場所又は設置場所から操作可能な設計とする。 ・地震、風（台風）及び積雪の影響による荷重を考慮し、機能を損なわない設計とするとともに、可搬型重大事故等対処設備については、必要により当該設備の落下防止、転倒防止、固縛等の措置をとる。 ・降水及び凍結により機能を損なうことのないよう防水対策及び凍結対策を行うことが可能な設計とする。																																																																														
類型化分類	設計方針	関係資料	備考																																																																												
A C/V内の設備	・原子炉格納容器内の重大事故等対処設備は、重大事故等時における原子炉格納容器内の環境条件を考慮した設計とする。 ・操作は中央制御室から可能な設計とする。 ・常設重大事故等対処設備は、地震による荷重を考慮して、機能を損なわない設計とする。																																																																														
Ba ISLOCA時に使用する設備	・中央制御室内、原子炉建屋内、原子炉補助建屋内、ディーゼル発電機建屋内、燃料取扱棟内、循環水ポンプ建屋内及び緊急時対策所内（空調上屋を含む）の重大事故等対処設備は、その機能を期待される重大事故等時におけるそれぞれの場所の環境条件を考慮した設計とする。																																																																														
Bb SFP事故時に使用する設備	・操作は中央制御室、異なる区画（フロア）若しくは離れた場所又は設置場所での可能な設計とする。 ・常設重大事故等対処設備は、地震による荷重を考慮して、機能を損なわない設計とする。可搬型重大事故等対処設備については、同じ機能を持つ設計基準事故等対処設備等並に常設及び可搬型の重大事故等対処設備に悪影響を存えて機能喪失しないよう、地震による荷重を考慮して、必要により当該設備の落下防止、転倒防止、固縛による固定の措置をとる。	配置図 接続図 保管場所図 (健全性説明書) (強度計算書) (耐震計算書)																																																																													
Bc SGTR時に使用する設備	・このうち、インターフェイスシステムLOCA時、蒸気発生器伝熱管破損+破損蒸気発生器隔離失敗時又は使用済燃料ピットに係る重大事故等時使用する設備については、これらの環境条件を考慮した設計とするか、これらの環境影響を受けない区画等に設置する。																																																																														
Bd その他耐震建屋内の設備	・特に、使用済燃料ピット監視カメラは、使用済燃料ピットに係る重大事故等時使用するため、その環境影響を考慮して、空気を供給し冷却することで耐環境性向上を図る設計とする。																																																																														
C 屋外の設備	・屋外及び上記の分類A、Bに該当しない建屋内の重大事故等対処設備は、重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。 ・操作は中央制御室又は設置場所での可能な設計とする。 ・常設重大事故等対処設備は、地震、風（台風）及び積雪の影響による荷重を考慮して、機能を損なうことのない設計とするとともに、可搬型重大事故等対処設備については、必要により当該設備の落下防止、転倒防止、固縛の措置をとる。																																																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

43条 重大事故等対処設備

大飯発電所3/4号炉				女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
(2) ④海水を通水する系統への影響				(2) ④海水を通水する系統への影響				(2) ④海水を通水する系統への影響				<p>運用の相違（女川）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊においても、ピット補給等では淡水を優先して使用する方針であるが、炉心及び格納容器への注水等は対応開始以降に水源枯渇などによるSA対応の中断が生じないよう、海水を優先して使用することから、設備設計としては「海水を使用する可能性があるなら海水影響を考慮した設計」を行う。 <p>記載箇所の相違（女川）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊では、荷重は(1)項にて同内容を考慮している。
影響評価項目	設計方針	エビデンス	備考	設備分類	設計方針	関連資料	備考	評価項目	設計方針	関連資料	備考	
I	常時海水を通水する。海に設置する又は海で使用する重大事故等対処設備は耐腐食性材料を使用する。ただし、常時海水を通水するコンクリート構造物については、腐食を考慮した設計とする。	系統図 健全性説明書		I	常時海水を通水する海で使用 ・常時海水を通水、海に設置する又は海で使用する重大事故等対処設備は耐腐食性材料を使用する。常時海水を通水するコンクリート構造物については、腐食を考慮した設計とする。使用時に海水を通水する重大事故等対処設備は、海水の影響を考慮した設計とする。また、海から直接取水する際の異物の流入防止を考慮した設計とする。	系統図 (健全性説明書)		I	常時海水を通水する。海に設置する又は海で使用する重大事故等対処設備は、耐腐食性材料を使用する。ただし、常時海水を通水するコンクリート構造物については、腐食を考慮した設計とする。	系統図 (健全性説明書)		
II	使用時に海水を通水する又は淡水若しくは海水から選択可能な重大事故等対処設備は、海水影響を考慮した設計とする。また、海から直接取水する際の異物の流入防止を考慮した設計とする。			II	使用時に海水を通水する設備は海水の影響を考慮する。 ・淡水だけでなく海水も通水可能な設備は、海水の影響を考慮する。具体的には、可能な限り淡水を優先し、海水通水を短期間とすることで、設備への影響を考慮する。 ・海から直接取水する際の異物の流入防止を考慮する。 ・海水を通水しないため設計上の考慮は必要ない。(海水通水なし)			II	重大事故等時に海水を通水する可能性のある重大事故等対処設備は、海水影響を考慮した設計とする。また、海から直接取水する際の異物の流入防止を考慮した設計とする。			
III	海水を通水しないため設計上の考慮は必要ない。(海水通水なし)			対象外	海水を通水しない			対象外	海水を通水しないため設計上の考慮は必要ない。(海水通水なし)			
(3) ⑤電磁波による影響/⑦他設備からの影響				(3) ⑥荷重				(3) ⑤電磁的影響/⑦他設備からの影響				
影響評価項目	設計方針	エビデンス	備考	影響評価項目	設計方針	関連資料	備考	影響評価項目	設計方針	関連資料	備考	
電磁波による影響	重大事故等が発生した場合においても電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。			荷重	常設重大事故等対処設備は地震、風（台風）及び積雪による荷重を考慮し、機能を有効に発揮できる設計とする。 ・可搬型重大事故等対処設備は地震、風（台風）及び積雪の影響による荷重を考慮し、必要により当該設備の落下防止、転倒防止、固縛等の措置をとる。	健全性説明書		電磁的影響	重大事故等時においても、ラインフィルタや絶縁回路を設置することによりサージ・ノイズの侵入を防止する。鋼製筐体や金属シールド付きケーブルの適用等、電磁波の侵入を防止する措置を講じた設計とする。			
周辺機器等からの悪影響	事故対応の多様性拡張のために設置・配備している設備を含む周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない設計とする。周辺機器等からの悪影響としては、地震、火災、溢水による波及的影響を考慮する。溢水に対しては、重大事故等対処設備が溢水によりその機能を喪失しないように、常設重大事故等対処設備は、想定される溢水水位よりも高所に設置し、可搬型重大事故等対処設備は、必要により想定される溢水水位よりも高所に保管する。 地震による荷重を含む耐震設計については、「1.1.2 耐震設計の基本方針」に、火災防護については、「1.2 火災による損傷の防止」に示す。	健全性説明書		電磁的障害/⑦周辺機器等からの悪影響	重大事故等時において、電磁波によりその機能が損なわれるおそれのある設備については、電磁波による影響を確認する。ラインフィルタや絶縁回路を設置することによりサージ・ノイズの侵入を防止する。鋼製筐体や金属シールド付きケーブルの適用等、電磁波の侵入を防止する措置を講じた設計とする。 事故対応のために配置・配備している自主対策設備を含む周辺機器等からの悪影響により機能を損なわない設計とする。具体的には以下に示すとおりとする。 ・期待する安全機能は想定される重大事故等が発生する内部溢水（インターフェイスシステムLOCA）によりその機能が喪失しないように、溢水伝播防止対策等を実施する。 ・常設重大事故等対処設備は、設計基準事故等対処設備及び使用済燃料プールの冷却機能又は注水機能を有する設備（以下「設計基準事故等対処設備等」という。）と位置的分散を図り、可搬型重大事故等対処設備は、設計基準事故等対処設備等の配置も含めて常設重大事故等対処設備と位置的分散を図る設計とする。位置的分散は「常設重大事故等防止設備の共通要因故障防止について」及び「可搬型重大事故等防止設備の共通要因故障防止について」に示す。 ・「重大事故等対処設備の内部溢水に対する防護方針について」に則り、重大事故等対処設備と設計基準事故等対処設備等の安全機能が同時に機能喪失するおそれがないこと等の設計とする。詳細は「常設重大事故等防止設備の共通要因故障防止について」及び「可搬型重大事故等防止設備の共通要因故障防止について」に示す。 ・地震による荷重を含む耐震設計については、「重大事故等対処設備について 2.1.2 耐震設計の基本方針」に、火災防護については、「重大事故等対処設備について 2.2 火災による損傷の防止」に示す。	健全性説明書		周辺機器等からの悪影響	事故対応の多様性拡張のために設置・配備している設備を含む周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない設計とする。周辺機器等からの悪影響としては、地震、火災及び溢水による波及的影響を考慮する。溢水に対しては、重大事故等対処設備の設置区画の止水対策等により機能を損なわない設計とする。 常設重大事故等対処設備は、設計基準事故等対処設備及び使用済燃料プールの冷却機能又は注水機能を有する設備（以下「設計基準事故等対処設備等」という。）と位置的分散を図り、可搬型重大事故等対処設備は、設計基準事故等対処設備等の配置も含めて常設重大事故等対処設備と位置的分散を図る設計とする。位置的分散は「常設重大事故等防止設備の共通要因故障防止について」及び「可搬型重大事故等防止設備の共通要因故障防止について」に示す。 地震による荷重を含む耐震設計については、「重大事故等対処設備について 2.1.2 耐震設計の基本方針」に、火災防護については、「重大事故等対処設備について 2.2 火災による損傷の防止」に示す。	健全性説明書		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																				
	<p>重大事故等時における線路温度、線路圧力、覆度及び放射線の最大値^{※1,2,3}</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>単位</th> <th>線路温度</th> <th>線路圧力</th> <th>覆度</th> <th>放射線</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>炉内温度</td> <td>℃</td> <td>300</td> <td>1.0 MPa</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>炉外温度</td> <td>℃</td> <td>200</td> <td>0.5 MPa</td> <td>50%</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>圧力容器温度</td> <td>℃</td> <td>300</td> <td>1.0 MPa</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>圧力容器圧力</td> <td>MPa</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>圧力容器放射線</td> <td>μSv/h</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>圧力容器放射線線量率</td> <td>μSv/h</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>圧力容器放射線線量率線量率</td> <td>μSv/h</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>圧力容器放射線線量率線量率線量率</td> <td>μSv/h</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>圧力容器放射線線量率線量率線量率線量率</td> <td>μSv/h</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>圧力容器放射線線量率線量率線量率線量率線量率</td> <td>μSv/h</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 表中は各層線束率の項目の最大値を記載する。また、前面及び背面層線束率の項目は、前面及び背面層線束率の項目の最大値を記載する。 ※2 炉内温度は炉内温度計の測定値を示す。また、炉内温度計の測定値は、炉内温度計の測定値に補正係数を乗じた値を示す。 ※3 圧力容器放射線線量率は、圧力容器放射線線量率計の測定値を示す。また、圧力容器放射線線量率計の測定値は、圧力容器放射線線量率計の測定値に補正係数を乗じた値を示す。 ※4 圧力容器放射線線量率線量率は、圧力容器放射線線量率線量率計の測定値を示す。また、圧力容器放射線線量率線量率計の測定値は、圧力容器放射線線量率線量率計の測定値に補正係数を乗じた値を示す。 ※5 圧力容器放射線線量率線量率線量率は、圧力容器放射線線量率線量率線量率計の測定値を示す。また、圧力容器放射線線量率線量率線量率計の測定値は、圧力容器放射線線量率線量率線量率計の測定値に補正係数を乗じた値を示す。 ※6 圧力容器放射線線量率線量率線量率線量率線量率は、圧力容器放射線線量率線量率線量率線量率計の測定値を示す。また、圧力容器放射線線量率線量率線量率線量率計の測定値は、圧力容器放射線線量率線量率線量率線量率計の測定値に補正係数を乗じた値を示す。</p>	項目	単位	線路温度	線路圧力	覆度	放射線	炉内温度	℃	300	1.0 MPa	100%	100%	炉外温度	℃	200	0.5 MPa	50%	50%	圧力容器温度	℃	300	1.0 MPa	100%	100%	圧力容器圧力	MPa	1.0	1.0	100%	100%	圧力容器放射線	μSv/h	100	100	100%	100%	圧力容器放射線線量率	μSv/h	100	100	100%	100%	圧力容器放射線線量率線量率	μSv/h	100	100	100%	100%	圧力容器放射線線量率線量率線量率	μSv/h	100	100	100%	100%	圧力容器放射線線量率線量率線量率線量率	μSv/h	100	100	100%	100%	圧力容器放射線線量率線量率線量率線量率線量率	μSv/h	100	100	100%	100%	<p>重大事故等時における線路温度、線路圧力、覆度及び放射線の最大値^{※1,2,3}</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>単位</th> <th>線路温度</th> <th>線路圧力</th> <th>覆度</th> <th>放射線</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>炉内温度</td> <td>℃</td> <td>300</td> <td>1.0 MPa</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>炉外温度</td> <td>℃</td> <td>200</td> <td>0.5 MPa</td> <td>50%</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>圧力容器温度</td> <td>℃</td> <td>300</td> <td>1.0 MPa</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>圧力容器圧力</td> <td>MPa</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>圧力容器放射線</td> <td>μSv/h</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>圧力容器放射線線量率</td> <td>μSv/h</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>圧力容器放射線線量率線量率</td> <td>μSv/h</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>圧力容器放射線線量率線量率線量率</td> <td>μSv/h</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>圧力容器放射線線量率線量率線量率線量率</td> <td>μSv/h</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>圧力容器放射線線量率線量率線量率線量率線量率</td> <td>μSv/h</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 表中は各層線束率の項目の最大値を記載する。また、前面及び背面層線束率の項目は、前面及び背面層線束率の項目の最大値を記載する。 ※2 炉内温度は炉内温度計の測定値を示す。また、炉内温度計の測定値は、炉内温度計の測定値に補正係数を乗じた値を示す。 ※3 圧力容器放射線線量率は、圧力容器放射線線量率計の測定値を示す。また、圧力容器放射線線量率計の測定値は、圧力容器放射線線量率計の測定値に補正係数を乗じた値を示す。 ※4 圧力容器放射線線量率線量率は、圧力容器放射線線量率線量率計の測定値を示す。また、圧力容器放射線線量率線量率計の測定値は、圧力容器放射線線量率線量率計の測定値に補正係数を乗じた値を示す。 ※5 圧力容器放射線線量率線量率線量率は、圧力容器放射線線量率線量率線量率計の測定値を示す。また、圧力容器放射線線量率線量率線量率計の測定値は、圧力容器放射線線量率線量率線量率計の測定値に補正係数を乗じた値を示す。 ※6 圧力容器放射線線量率線量率線量率線量率線量率は、圧力容器放射線線量率線量率線量率線量率計の測定値を示す。また、圧力容器放射線線量率線量率線量率線量率計の測定値は、圧力容器放射線線量率線量率線量率線量率計の測定値に補正係数を乗じた値を示す。</p>	項目	単位	線路温度	線路圧力	覆度	放射線	炉内温度	℃	300	1.0 MPa	100%	100%	炉外温度	℃	200	0.5 MPa	50%	50%	圧力容器温度	℃	300	1.0 MPa	100%	100%	圧力容器圧力	MPa	1.0	1.0	100%	100%	圧力容器放射線	μSv/h	100	100	100%	100%	圧力容器放射線線量率	μSv/h	100	100	100%	100%	圧力容器放射線線量率線量率	μSv/h	100	100	100%	100%	圧力容器放射線線量率線量率線量率	μSv/h	100	100	100%	100%	圧力容器放射線線量率線量率線量率線量率	μSv/h	100	100	100%	100%	圧力容器放射線線量率線量率線量率線量率線量率	μSv/h	100	100	100%	100%	<p>相違理由</p>
項目	単位	線路温度	線路圧力	覆度	放射線																																																																																																																																		
炉内温度	℃	300	1.0 MPa	100%	100%																																																																																																																																		
炉外温度	℃	200	0.5 MPa	50%	50%																																																																																																																																		
圧力容器温度	℃	300	1.0 MPa	100%	100%																																																																																																																																		
圧力容器圧力	MPa	1.0	1.0	100%	100%																																																																																																																																		
圧力容器放射線	μSv/h	100	100	100%	100%																																																																																																																																		
圧力容器放射線線量率	μSv/h	100	100	100%	100%																																																																																																																																		
圧力容器放射線線量率線量率	μSv/h	100	100	100%	100%																																																																																																																																		
圧力容器放射線線量率線量率線量率	μSv/h	100	100	100%	100%																																																																																																																																		
圧力容器放射線線量率線量率線量率線量率	μSv/h	100	100	100%	100%																																																																																																																																		
圧力容器放射線線量率線量率線量率線量率線量率	μSv/h	100	100	100%	100%																																																																																																																																		
項目	単位	線路温度	線路圧力	覆度	放射線																																																																																																																																		
炉内温度	℃	300	1.0 MPa	100%	100%																																																																																																																																		
炉外温度	℃	200	0.5 MPa	50%	50%																																																																																																																																		
圧力容器温度	℃	300	1.0 MPa	100%	100%																																																																																																																																		
圧力容器圧力	MPa	1.0	1.0	100%	100%																																																																																																																																		
圧力容器放射線	μSv/h	100	100	100%	100%																																																																																																																																		
圧力容器放射線線量率	μSv/h	100	100	100%	100%																																																																																																																																		
圧力容器放射線線量率線量率	μSv/h	100	100	100%	100%																																																																																																																																		
圧力容器放射線線量率線量率線量率	μSv/h	100	100	100%	100%																																																																																																																																		
圧力容器放射線線量率線量率線量率線量率	μSv/h	100	100	100%	100%																																																																																																																																		
圧力容器放射線線量率線量率線量率線量率線量率	μSv/h	100	100	100%	100%																																																																																																																																		

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>■設置許可基準規則 第43条 第1項 第2号 操作の確実性について</p> <p>1. 概要 重大事故等対処設備の基準適合性を確認するに当たり、設置許可基準規則により要求されている項目のうち、操作の確実性を確保するための区分及び設計方針について以下に整理した。</p> <p>(1) 基本設計方針 想定される重大事故等が発生した場合においても、重大事故等対処設備を確実に操作できるように、手順書の整備並びに教育及び訓練による実操作及び模擬操作を行う。手順に定めた操作を確実なものとするため、操作環境として、重大事故等時の環境条件に対し、操作場所での操作が可能な設計とする。(「1.3.3 環境条件等」) 操作するすべての設備に対し、十分な操作空間を確保するとともに、確実な操作ができるよう、必要に応じて常設の足場を設置するか、操作台を近傍に常設又は配置できる設計とする。また、防護具、照明等は重大事故等発生時に迅速に使用できる場所に配備する。 操作準備として、一般的に用いられる工具又は取付金具を用いて、確実に作業ができる設計とする。専用工具は、作業場所の近傍又はアクセスルートの近傍に保管できる設計とする。可搬型重大事故等対処設備の運搬・設置が確実に行えるように、人力又は車両等による運搬又は移動ができるとともに、設置場所にてアウトリガの設置等により固定できる設計とする。 操作内容として、現場操作については、現場の操作スイッチは、運転員の操作性及び人間工学的観点から考慮した設計とし、現場での操作が可能な設計とする。 また、電源操作は、感電防止のため電源の露出部への近接防止を考慮した設計とし、常設重大事故等対処設備の操作に際しては手順どおりの操作でなければ接続できない構造の設計とする。 現場で操作を行う弁は、手動操作が可能な弁を設置する。 現場での接続作業は、ボルト締めフランジ、コネクタ構造又はより簡便な接続規格等、接続規格を統一することにより、確実に接続ができる設計とする。ディスタンスピースはボルト締めフランジで取り付ける構造とする等操作が確実に行える設計とする。 また、重大事故等に対処するために迅速な手動操作を必要とする機器及び弁の操作は、要求時間内に達成できるように中央制御室設置の制御盤での操作が可能な設計とする。制御盤の操作器は運転員の操作性及び人間工学的観点から考慮した設計とする。</p> <p>(2) 類型化の考え方 a. 考慮事項 ・ 操作環境 (①環境条件(被ばく影響等)、②空間確保、③足場の確保、④防護具、照明の確保) ・ 操作準備 (⑤工具、⑥設備の運搬、設置) ・ 操作内容 (⑦操作スイッチ操作、⑧電源操作、⑨弁操作、⑩接続作業、⑪ディスタンスピース取替作業) ・ その他、設備ごとの考慮事項 b. 類型化 ・ 操作が不要な設備については、設備対応不要となるため、「C」に分類。 ・ 操作が必要な設備については、中央制御室での操作は中央制御室の環境条件や制御盤の設計で考慮されることから、「B」に分類。 ・ 現場操作については、「A」に分類。 ・ 現場操作の考慮事項のうち、③足場の確保、⑤工具、⑥設備の運搬、設置、⑦操作スイッチ操作、⑧電源操作、⑨弁操作、⑩接続作業、⑪ディスタンスピース取替作業については、設備ごとに対応の組み合わせが異なるため、その対応を設備ごとに明記する。</p>	<p>■設置許可基準規則 第四十三条第1項第2号 操作の確実性について</p> <p>1. 概要 重大事故等対処設備の基準適合性を確認するに当たり、設置許可基準規則により要求されている項目のうち、操作の確実性を確保するための区分及び設計方針について整理した。</p> <p>(1) 基本設計方針 重大事故等対処設備は、想定される重大事故等が発生した場合においても操作を確実なものとするため、重大事故等時の環境条件を考慮し、操作が可能な設計とする(「重大事故等時の環境条件における健全性について」)。 操作する全ての設備に対し、十分な操作空間を確保するとともに、確実な操作ができるよう、必要に応じて操作足場を設置する。また、防護具、可搬型照明等は重大事故等時に迅速に使用できる場所に配備する。 現場操作において工具を必要とする場合は、一般的に用いられる工具又は専用の工具を用いて、確実に作業ができる設計とする。工具は、作業場所の近傍又はアクセスルートの近傍に保管できる設計とする。可搬型重大事故等対処設備は、運搬・設置が確実に行えるように、人力又は車両等による運搬、移動ができるとともに、必要により設置場所にてアウトリガの張り出し、輪留めによる固定等が可能な設計とする。 現場の操作スイッチは運転員等の操作性を考慮した設計とする。 また、電源操作が必要な設備は、感電防止のため露出した充電部への近接防止を考慮した設計とする。 現場において人力で操作を行う弁は、手動操作が可能な設計とする。 現場での接続操作は、ボルト・ネジ接続、フランジ接続又はより簡便な接続方式等、接続方式を統一することにより、確実に接続が可能な設計とする。 また、重大事故等に対処するために迅速な操作を必要とする機器は、必要な時間内に操作できるように中央制御室での操作が可能な設計とする。制御盤の操作器は、運転員の操作性を考慮した設計とする。 想定される重大事故等において操作する重大事故等対処設備のうち動的機器については、その作動状態の確認が可能な設計とする。</p> <p>(2) 類型化の考え方 a. 考慮事項 ・ 操作環境 (①環境条件(被ばく影響等)、②空間確保、③防護具、照明の確保、④足場の確保) ・ 操作準備 (⑤工具、⑥設備の運搬・設置) ・ 操作内容 (⑦操作スイッチ操作、⑧電源操作、⑨弁操作、⑩接続作業) ・ 状態確認 (⑪作動状態確認) ・ その他、設備ごとの考慮事項 b. 類型化 ・ 操作が必要な設備のうち中央制御室での操作は、中央制御室の環境条件や制御盤の設計で考慮されることから「A」に分類、現場操作については「B」に分類する。 ・ 現場操作の考慮事項のうち、④足場の確保、⑤工具、⑥設備の運搬・設置、⑦操作スイッチ操作、⑧電源操作、⑨弁操作又は⑩接続作業については、設備ごとに対応の組み合わせが異なるため、その対応を設備ごとに明記する。 ・ 操作が不要な設備については、設備対応不要となる。</p>	<p>■設置許可基準規則 第43条 第1項 第2号 操作の確実性について</p> <p>1. 概要 重大事故等対処設備の基準適合性を確認するに当たり、設置許可基準規則により要求されている項目のうち、操作の確実性を確保するための区分及び設計方針について整理した。</p> <p>(1) 基本設計方針 重大事故等対処設備は、想定される重大事故等が発生した場合においても操作を確実なものとするため、重大事故等時の環境条件に対し、操作が可能な設計とする。(「重大事故等時の環境条件における健全性について」) 操作するすべての設備に対し、十分な操作空間を確保するとともに、確実な操作ができるよう、必要に応じて操作台を設置又は近傍に配置する。また、防護具、可搬型照明等は重大事故等発生時に迅速に使用できる場所に配備する。 現場操作において工具を必要とする場合、一般的に用いられる工具又は専用の工具を用いて、確実に作業ができる設計とする。工具は、作業場所の近傍又はアクセスルートの近傍に保管できる設計とする。可搬型重大事故等対処設備は運搬・設置が確実に行えるように、人力又は車両等による運搬、移動ができるとともに、必要により設置場所にてアウトリガの張り出し、車輪止めによる固定等が可能な設計とする。 現場の操作スイッチは、運転員等の操作性を考慮した設計とする。 また、電源操作が必要な設備は、感電防止のため露出した充電部への近接防止を考慮した設計とする。 現場において人力で操作を行う弁は、手動操作又は専用工具による操作が可能な設計とする。 現場での接続作業は、ボルト・ネジ接続、フランジ接続又はより簡便な接続方式等、接続方式を統一することにより、確実に接続が可能な設計とする。 また、重大事故等に対処するために迅速な操作を必要とする機器は、必要な時間内に操作できるように中央制御室での操作が可能な設計とする。制御盤の操作器は運転員の操作性を考慮した設計とする。 想定される重大事故等において操作する重大事故等対処設備のうち動的機器については、その作動状態の確認が可能な設計とする。</p> <p>(2) 類型化の考え方 a. 考慮事項 ・ 操作環境 (①環境条件(被ばく影響等)、②空間確保、③足場の確保、④防護具、照明の確保) ・ 操作準備 (⑤工具、⑥設備の運搬、設置) ・ 操作内容 (⑦操作スイッチ操作、⑧電源操作、⑨弁操作、⑩接続作業) ・ 状態確認 (⑪作動状態確認) ・ その他、設備毎の考慮事項 b. 類型化 ・ 操作が必要な設備のうち、現場操作については、「A」に分類。 ・ 操作が必要な設備のうち、中央制御室での操作は中央制御室の環境条件や制御盤の設計で考慮されることから、「B」に分類。 ・ 現場操作の考慮事項のうち、③足場の確保、⑤工具、⑥設備の運搬、設置、⑦操作スイッチ操作、⑧電源操作、⑨弁操作、⑩接続作業については、設備ごとに対応の組み合わせが異なるため、その対応を設備ごとに明記する。 ・ 操作が不要な設備については、設備対応不要となる。</p>	<p>記載方針の相違 ・ 常設のみならず、近傍に台を用意しておき、使用時に使う方法もあるため「近傍に配置」も記載した。(大飯と類似)</p> <p>記載方針の相違 ・ 「取付金具」も含めて「専用工具」として記載した。(女川と類似)</p> <p>記載内容の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載内容の相違 記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>考慮事項付番の相違 ・ 考慮事項の分類付番に相違はあるが、考慮事項としている項目に相違はない。</p> <p>類型化分類の相違 以下の類型化分類の差相違はあるが、考慮事項と分類区分は同じである。 ・ 現場操作 泊：A、女川：B ・ 中央制御室操作 泊：B、女川：A ・ 操作不要</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉



女川原子力発電所2号炉



泊発電所3号炉



相違理由

考慮事項付番の相違
 ・考慮事項の分類付番に相違はあるが、考慮事項としている項目に相違はない。

中央制御室操作の相違
 ・表中で緑枠で囲った操作時の考慮事項に相違がある。
 ・泊では中央制御室操作において、足場の確保を要する操作はない。
 ・泊では中央制御室の環境が悪化した際には、可搬照明の使用、防護具着用し操作する場合がある。
 ・泊では中央制御室内操作において、接続作業はない。

考慮事項	A	B	C
	現場操作	中央操作	操作不要
操作環境	①環境条件（被ばく影響等）	○（中制室設計）	×
	②空間確保	○（中制室設計）	
	③足場の確保	○ ×	
	④防護具、照明の確保	○（中制室設計）	
操作準備	⑤工具	○ ×	×
	⑥設備の運搬、設置	○ ×	
操作内容	⑦操作スイッチ操作	○（中制室設計）	×
	⑧電源操作	○ ×	
	⑨弁操作	○ ×	
	⑩接続作業	○ ×	
⑪ディスタンススペース取替作業	○ ×	×	

○：考慮必要、×：考慮不要

考慮事項	A	B	対象外 (操作不要)
	中央制御室での操作	現場での操作	
操作環境	①環境条件（被ばく影響等）	○（中央制御室設計）	×
	②空間確保	○（中央制御室設計）	
	③防護具、照明の確保	×	
	④足場の確保	○（中央制御室設計）	
操作準備	⑤工具	○	×
	⑥設備の運搬・設置	○	
操作内容	⑦操作スイッチ操作	○（中央制御室設計）	×
	⑧電源操作	×	
	⑨弁操作	×	
	⑩接続作業	○	
状態確認	⑪作動状態確認	○	

○：考慮必要、×：考慮不要

考慮事項	A	B	対象外 (操作不要)
	現場操作	中央操作	
操作環境	①環境条件（被ばく影響等）	○（中制室設計）	×
	②空間確保	○（中制室設計）	
	③足場の確保	○ ×	
	④防護具、照明の確保	○（中制室設計）	
操作準備	⑤工具	○ ×	×
	⑥設備の運搬、設置	○ ×	
操作内容	⑦操作スイッチ操作	○（中制室設計）	×
	⑧電源操作	○ ×	
	⑨弁操作	○ ×	
	⑩接続作業	○ ×	
状態確認	⑪作動状態確認	○	

○：考慮必要、×：考慮不要

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

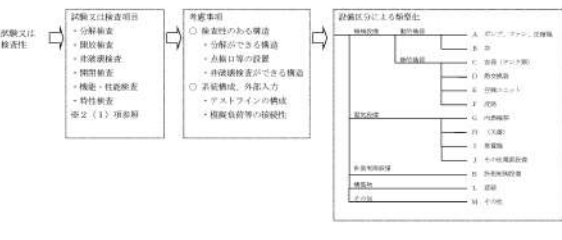

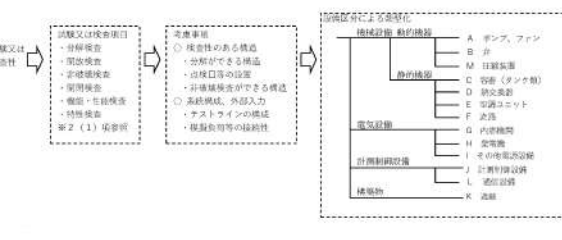

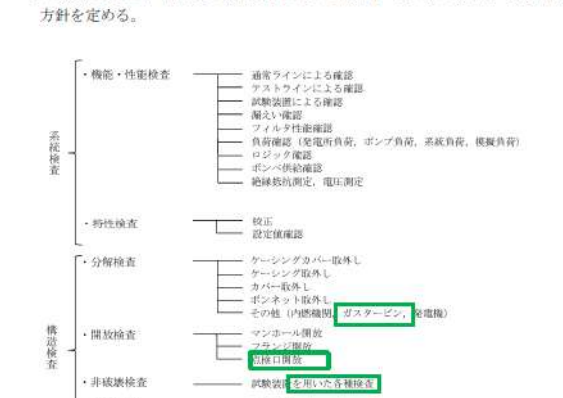

大飯発電所3/4号炉				女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由																
2. 設計方針について 【要求事項：想定される重大事故等が発生した場合において確実に操作できるものであること。】 各区分における設計方針について、以下の表にまとめた。				2. 設計方針について 【要求事項：想定される重大事故等が発生した場合において確実に操作できるものであること。】 各区分における設計方針について、以下の表にまとめた。				2. 設計方針について 【要求事項：想定される重大事故等が発生した場合において確実に操作できるものであること。】 各区分における設計方針について、以下の表にまとめた。																				
区分	設計方針	エビデンス	パターン	備考	類型化区分	設計方針	関連資料	備考	区分	設計方針	関連資料	備考																
A 現場操作	① 環境条件（被ばく影響等） 重大事故等時の環境条件に対し、操作場所での操作が可能な設計とする。（「1.3.3 環境条件等」）	配置図 (写真)	A	※：設備ごとに対応の組み合わせが異なるため、その対応を設備ごとに記載する。 (足場有) (工具有) (運転設置) (操作スイッチ操作) (電源操作) (弁操作) (接続作業) (ディスタンスピース取替作業)	A	A 中央制御室操作	重大事故等に対処するために迅速な操作を必要とする機器は、必要な時間内で操作できるように中央制御室から操作スイッチで操作可能な設計とする。操作スイッチは運転員の操作性を考慮した設計とし、その作動状態の確認が可能な設計とする。	(第26条原子炉制御室等)	(操作スイッチ操作)	A	①環境条件（被ばく影響等） 重大事故等時の環境条件に対し、操作場所での操作が可能な設計とする。（「重大事故等時の環境条件における健全性について」）	②空間確保 操作するすべての設備に対し、十分な操作空間を確保する設計とする。	③足場の確保 確実な操作ができるよう、必要に応じて操作台を設置又は近傍に配置できる設計とする。	④防護具、照明の確保 防護具、照明等は重大事故等発生時に迅速に使用できる場所に配備する。	配置図 (写真) 接続図 系統図	※設備ごとに対応の組合せが異なるため、その対応を設備ごとに記載する。 (足場の確保) (工具) (設備の運搬・設置) (操作スイッチ操作) (電源操作) (弁操作) (接続作業)												
	② 空間確保 操作するすべての設備に対し、十分な操作空間を確保する設計とする。																											
	③ 足場の確保 確実な操作ができるよう、必要に応じて常設の足場を設置するか、操作台を近傍に常設又は配置できる設計とする。																											
	④ 防護具、照明の確保 防護具、照明等は重大事故等発生時に迅速に使用できる場所に配備する。																											
⑤ 工具 一般的に用いられる工具又は取付金具を用いて、確実に作業ができる設計とする。専用工具は、作業場所の近傍又はアクセスルートの近傍に保管できる設計とする。	⑥ 設備の運搬、設置 人力又は車両等による運搬又は移動ができるとともに、設置場所にてアウトリガーの設置等により固定できる設計とする。	⑦ 操作スイッチ操作 現場の操作スイッチは、運転員の操作性及び人間工学的観点から考慮した設計とし、現場での操作が可能な設計とする。	⑧ 電源操作 感電防止のため電源の露出部への近接防止を考慮した設計とし、常設重大事故等対処設備の操作に際しては手順どおりの操作でなければ接続できない構造の設計としている。	⑨ 弁操作 現場で操作を行う弁は、手動操作が可能な弁を設置する。	⑩ 接続作業 接続部は、ボルト締めフランジ、コネクタ構造又はより簡便な接続規格等、接続規格を統一することにより、確実に接続ができる設計とする。	⑪ ディスタンスピース取替作業 ディスタンスピースは、ボルト締めフランジで取付ける構造とする等操作が確実にできる設計とする。	⑫ 重大事故等に対処するために迅速な手動操作を必要とする機器及び弁の操作は、要求時間内に達成できるように中央制御室設置の制御盤での操作が可能な設計とする。制御盤の操作器は運転員の操作性及び人間工学的観点から考慮した設計とする。	⑬ 操作の必要性のない機器（例：静的機器）については、操作性に係る設計上の配慮は必要ない。																				
B 中央制御室操作	⑤ 工具 一般的に用いられる工具又は専用工具を用いて、確実に作業が可能な設計とする。専用工具は、作業場所の近傍又はアクセスルートの近傍に保管できる設計とする。	⑥ 設備の運搬・設置 人力又は車両等による運搬、移動ができるとともに、必要により設置場所にてアウトリガーの張り出し、輪留めによる固定等が可能な設計とする。	⑦ 操作スイッチ操作 現場の操作スイッチは、操作性及び人間工学的観点から考慮した設計とする。	⑧ 電源操作 感電防止のため露出した充電部への近接防止を考慮した設計とする。	⑨ 弁操作 現場において人力で操作を行う弁は、直接又は遠隔で手動操作が可能な設計とする。	⑩ 接続作業 ボルト・ネジ接続、フランジ接続又はより簡便な接続方式等により、確実に接続が可能な設計とする。	⑪ 重大事故等に対処するために迅速な手動操作を必要とする機器は、必要な時間内で操作できるように中央制御室設置の制御盤での操作が可能な設計とする。制御盤の操作器は運転員の操作性及び人間工学的観点から考慮した設計とし、その作動状態の確認が可能な設計とする。	⑫ 共通の設計方針 ⑬ 作動状態確認想定される重大事故等において操作する重大事故等対処設備のうち動的機器については、ランプ表示等により、その作動状態の確認が可能な設計とする。	⑬ 共通の設計方針 ⑭ 作動状態確認想定される重大事故等において操作する重大事故等対処設備のうち動的機器については、ランプ表示等により、その作動状態の確認が可能な設計とする。	⑮ 共通の設計方針 ⑯ 作動状態確認想定される重大事故等において操作する重大事故等対処設備のうち動的機器については、ランプ表示等により、その作動状態の確認が可能な設計とする。	⑰ 共通の設計方針 ⑱ 作動状態確認想定される重大事故等において操作する重大事故等対処設備のうち動的機器については、ランプ表示等により、その作動状態の確認が可能な設計とする。	⑲ 共通の設計方針 ⑳ 作動状態確認想定される重大事故等において操作する重大事故等対処設備のうち動的機器については、ランプ表示等により、その作動状態の確認が可能な設計とする。	⑳ 共通の設計方針 ㉑ 作動状態確認想定される重大事故等において操作する重大事故等対処設備のうち動的機器については、ランプ表示等により、その作動状態の確認が可能な設計とする。	㉒ 共通の設計方針 ㉓ 作動状態確認想定される重大事故等において操作する重大事故等対処設備のうち動的機器については、ランプ表示等により、その作動状態の確認が可能な設計とする。	㉔ 共通の設計方針 ㉕ 作動状態確認想定される重大事故等において操作する重大事故等対処設備のうち動的機器については、ランプ表示等により、その作動状態の確認が可能な設計とする。	㉖ 共通の設計方針 ㉗ 作動状態確認想定される重大事故等において操作する重大事故等対処設備のうち動的機器については、ランプ表示等により、その作動状態の確認が可能な設計とする。	㉘ 共通の設計方針 ㉙ 作動状態確認想定される重大事故等において操作する重大事故等対処設備のうち動的機器については、ランプ表示等により、その作動状態の確認が可能な設計とする。	㉚ 共通の設計方針 ㉛ 作動状態確認想定される重大事故等において操作する重大事故等対処設備のうち動的機器については、ランプ表示等により、その作動状態の確認が可能な設計とする。	㉜ 共通の設計方針 ㉝ 作動状態確認想定される重大事故等において操作する重大事故等対処設備のうち動的機器については、ランプ表示等により、その作動状態の確認が可能な設計とする。	㉞ 共通の設計方針 ㉟ 作動状態確認想定される重大事故等において操作する重大事故等対処設備のうち動的機器については、ランプ表示等により、その作動状態の確認が可能な設計とする。	㊱ 共通の設計方針 ㊲ 作動状態確認想定される重大事故等において操作する重大事故等対処設備のうち動的機器については、ランプ表示等により、その作動状態の確認が可能な設計とする。	㊳ 共通の設計方針 ㊴ 作動状態確認想定される重大事故等において操作する重大事故等対処設備のうち動的機器については、ランプ表示等により、その作動状態の確認が可能な設計とする。	㊵ 共通の設計方針 ㊶ 作動状態確認想定される重大事故等において操作する重大事故等対処設備のうち動的機器については、ランプ表示等により、その作動状態の確認が可能な設計とする。	㊷ 共通の設計方針 ㊸ 作動状態確認想定される重大事故等において操作する重大事故等対処設備のうち動的機器については、ランプ表示等により、その作動状態の確認が可能な設計とする。	㊹ 共通の設計方針 ㊺ 作動状態確認想定される重大事故等において操作する重大事故等対処設備のうち動的機器については、ランプ表示等により、その作動状態の確認が可能な設計とする。	㊻ 共通の設計方針 ㊼ 作動状態確認想定される重大事故等において操作する重大事故等対処設備のうち動的機器については、ランプ表示等により、その作動状態の確認が可能な設計とする。	㊽ 共通の設計方針 ㊾ 作動状態確認想定される重大事故等において操作する重大事故等対処設備のうち動的機器については、ランプ表示等により、その作動状態の確認が可能な設計とする。	㊿ 共通の設計方針 ㋀ 作動状態確認想定される重大事故等において操作する重大事故等対処設備のうち動的機器については、ランプ表示等により、その作動状態の確認が可能な設計とする。
C 操作不要	操作の必要性のない機器（例：静的機器）については、操作性に係る設計上の配慮は必要ない。	仕様表	C		操作不要																							

※個別条文中に記載する事項を下部で示す

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

43条 重大事故等対処設備

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>■設置許可基準規則 第43条 第1項 第3号 試験又は検査性について</p> <p>1. 概要</p> <p>重大事故等対処設備の基準適合性を確認するに当たり、設置許可基準規則により要求されている項目のうち、重大事故等対処設備の試験・検査性を確認するための区分及び設計方針について整理した。</p> <p>(1) 基本設計方針</p> <p>重大事故等対処設備は、健全性及び能力を確認するため、原子炉の運転中又は停止中に必要な箇所の保守点検、試験又は検査（「発電用原子力設備における破壊を引き起こすき裂その他の欠陥の解釈」に準じた検査を含む。）を実施できるよう、分解点検等ができる構造とする。</p> <p>また、接近性を考慮した配置、必要な空間等を備える設計、構造上接近又は検査が困難である箇所を極力少なくする設計とするとともに非破壊検査が必要な設備については、試験装置を設置できる設計とする。</p> <p>これらの試験及び検査については、使用前検査、施設定期検査、定期安全管理検査及び溶接安全管理検査の法定検査を実施できることに加え、保全プログラムに基づく点検及び日常点検の保守点検内容を考慮して設計するものとする。</p> <p>機能・性能の確認においては、所要の系統機能を確認する設備について、原則、系統試験及び漏えい確認が可能な設計とする。系統試験においては、試験及び検査ができるテストライン等の設備を設置又は必要に応じて準備する。また、悪影響防止の観点から他と区分する必要があるもの又は単体で機能・性能を確認するため個別に確認を実施するものは、特性及び機能・性能確認が可能な設計とする。</p> <p>原子炉の運転中に待機状態にある重大事故等対処設備は、運転中に定期的に試験又は検査ができる設計とする。ただし、運転中の試験又は検査によって原子炉の運転に大きな影響を及ぼす場合は、この限りとはしない設計とする。</p> <p>また、多様性又は多重性を備えた系統及び機器にあっては、その健全性並びに多様性及び多重性を確認するため、各々が独立して試験又は検査ができる設計とする。</p> <p>運転中における安全保護系に準じる設備である、ATWS緩和設備においては、重大事故等対処設備としての多重性を有さないため、検査実施中に機能自体の維持はできないが、原則として運転中に定期的に健全性を確認するための試験ができる設計とするとともに、原子炉停止系及び非常用炉心冷却系等の不必要な動作が発生しない設計とする。</p> <p>代替電源設備及び可搬型のポンプを駆動するための電源は、系統の重要な部分として適切な定期的試験又は検査が可能な設計とする。</p> <p>構造・強度を確認又は内部構成部品の確認が必要な設備については、原則分解・開放（非破壊検査を含む。）が可能な設計とし、機能・性能確認、各部の経年劣化対策及び日常点検を考慮することにより、分解・開放が不要なものについては外観の確認が可能な設計とする。</p> <p>(2) 類型化の考え方</p> <p>a. 考慮事項</p> <p>試験又は検査項目を踏まえた上で以下を考慮する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 検査性のある構造 <ul style="list-style-type: none"> ・分解ができる構造 ・点検口等の設置 ・非破壊検査ができる構造 ○ 系統構成、外部入力 <ul style="list-style-type: none"> ・テストライン等の構成 ・模擬負荷等の接続性 	<p>■設置許可基準規則 第四十三条第1項第三号 試験・検査性について</p> <p>1. 概要</p> <p>重大事故等対処設備の基準適合性を確認するに当たり、設置許可基準規則により要求されている項目のうち、重大事故等対処設備の試験・検査性を確認するための区分及び設計方針について整理した。</p> <p>(1) 基本設計方針</p> <p>重大事故等対処設備は、健全性及び能力を確認するため、発電用原子炉の運転中又は停止中に必要な箇所の保守点検、試験又は検査を実施できるよう、機能・性能の確認、漏えいの有無の確認、分解点検等ができる構造とする。</p> <p>また、接近性を考慮して必要な空間等を備え、構造上接近又は検査が困難である箇所を極力少なくする。</p> <p>試験及び検査は、使用前検査、施設定期検査、定期安全管理検査及び溶接安全管理検査の法定検査に加え、保全プログラムに基づく点検が実施可能な設計とする。</p> <p>発電用原子炉の運転中に待機状態にある重大事故等対処設備は、発電用原子炉の運転に大きな影響を及ぼす場合を除き、運転中に定期的な試験又は検査が実施可能な設計とする。</p> <p>また、多様性又は多重性を備えた系統及び機器にあっては、各々が独立して試験又は検査ができる設計とする。</p> <p>代替電源設備は、電気系統の重要な部分として、適切な定期試験及び検査が可能な設計とする。</p> <p>構造・強度の確認又は内部構成部品の確認が必要な設備は、原則として分解・開放（非破壊検査を含む。）が可能な設計とし、機能・性能確認、各部の経年劣化対策及び日常点検を考慮することにより、分解・開放が不要なものについては外観の確認が可能な設計とする。</p> <p>(2) 類型化の考え方</p> <p>a. 考慮事項</p> <p>重大事故等対処設備の試験・検査性は、「(1)基本設計方針」に示す基本的な設計方針に従うことで、設置許可基準規則第12条第4項の解釈に準じた設計とする。</p> <p>試験・検査性を考慮する対象の具体的な試験又は検査項目は、これまでの類似設備の保守経験等を基に策定することとし、「2.(2)設備区分ごとの設計方針の整理」に示す。「2.(2)設備区分ごとの設計方針の整理」においては、機器種類ごとに試験・検査性に関する設計方針を具体的に定め、これらの方針に従うことで「(1)基本設計方針」に示す基本的な設計方針に従う設備設計を実現する。</p> <p>設備設計にあたっては試験又は検査項目を踏まえた上で以下を考慮する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 検査性のある構造 <ul style="list-style-type: none"> ・分解ができる構造 ・点検口等の設置 ・非破壊検査ができる構造 ○ 系統構成、外部入力 <ul style="list-style-type: none"> ・テストラインの構成 ・模擬負荷等の接続性 	<p>■設置許可基準規則 第43条 第1項 第3号 試験又は検査性について</p> <p>1. 概要</p> <p>重大事故等対処設備の基準適合性を確認するにあたり、設置許可基準規則により要求されている項目のうち、重大事故等対処設備の試験・検査性を確認するための区分及び設計方針について整理した。</p> <p>(1) 基本設計方針</p> <p>重大事故等対処設備は、健全性及び能力を確認するため、発電用原子炉の運転中又は停止中に必要な箇所の保守点検、試験又は検査（「発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こすき裂その他の欠陥の解釈」に準じた検査を含む。）を実施できるよう、機能・性能の確認、漏えいの有無の確認、分解点検等ができる構造とする。</p> <p>また、接近性を考慮して必要な空間等を備え、構造上接近又は検査が困難である箇所を極力少なくする。</p> <p>試験及び検査は、使用前検査、使用前事業者検査及び定期事業者検査の法定検査に加え、保全プログラムに基づく点検が実施可能な設計とする。</p> <p>機能・性能の確認においては、所要の系統機能を確認する設備について、原則として系統試験及び漏えい確認が可能な設計とする。系統試験においては、試験及び検査ができるテストライン等の設備を設置又は必要に応じて準備することにより、可搬型重大事故等対処設備のみで系統構成するものは独立した試験系統、常設重大事故等対処設備を含む設備にて系統構成するものは他設備から独立した試験系統にて確認できることで、試験範囲外の系統に悪影響を与えない設計とする。</p> <p>発電用原子炉の運転中に待機状態にある重大事故等対処設備は、発電用原子炉の運転に大きな影響を及ぼす場合を除き、運転中に定期的に試験又は検査が実施可能な設計とする。</p> <p>また、多様性又は多重性を備えた系統及び機器にあっては、各々が独立して試験又は検査ができる設計とする。</p> <p>共通要因故障対策（自動制御）（ATWS緩和設備）は、運転中に重大事故等対処設備としての機能を停止した上で試験ができる設計とするとともに、原子炉停止系及び非常用炉心冷却系等の不必要な動作が発生しない設計とする。</p> <p>代替電源設備は、電気系統の重要な部分として適切な定期試験及び検査が可能な設計とする。</p> <p>構造・強度の確認又は内部構成部品の確認が必要な設備は、原則として分解・開放（非破壊検査を含む。）が可能な設計とし、機能・性能確認、各部の経年劣化対策及び日常点検を考慮することにより、分解・開放が不要なものについては外観の確認が可能な設計とする。</p> <p>(2) 類型化の考え方</p> <p>a. 考慮事項</p> <p>重大事故等対処設備の試験・検査性は、「(1)基本設計方針」に示す基本的な設計方針に従うことで、設置許可基準規則第12条第4項の解釈に準じた設計とする。</p> <p>試験・検査性を考慮する対象の具体的な試験又は検査項目は、これまでの類似設備の保守経験等を基に策定することとし、「2.(2)設備区分ごとの設計方針の整理」に示す。「2.(2)設備区分ごとの設計方針の整理」においては、機器種類ごとに試験・検査性に関する設計方針を具体的に定め、これらの方針に従うことで「(1)基本設計方針」に示す基本的な設計方針に従う設備設計を実現する。</p> <p>設備設計にあたっては、試験又は検査項目を踏まえた上で以下を考慮する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 検査性のある構造 <ul style="list-style-type: none"> ・分解ができる構造 ・点検口等の設置 ・非破壊検査ができる構造 ○ 系統構成、外部入力 <ul style="list-style-type: none"> ・テストライン等の構成 ・模擬負荷等の接続性 	<p>規則改正による相違</p>

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>b. 設備区分による類型化</p> <p>(a) 設置許可基準規則で要求されている設備における試験又は検査項目を抽出する。</p> <p>(b) 考慮事項を踏まえて、分解点検を行うための分解ができる構造であること、開放点検を行うためのマンホールや点検口等が設置されていること、非破壊検査ができる構造であること、機能・性能検査を行うためのテストラインの系統構成ができること、機能・性能及び特性検査を行うための模擬負荷等の接続ができる構造であること等の整理を行う。</p> <p>(c) 設備区分は、設置許可基準規則で要求されている設備を機械設備（動的機器、静的機器）、電気設備、計測制御設備、構築物、その他に分類し、分類した設備を代表的な設備区分ごとにA～Mに分類する。</p> <p>(d) A～Mの区分に対して、試験及び検査項目に対する設計ができない場合は、個別に理由及び個別の設計方針を定める。</p> 	<p>b. 類型化</p> <p>(a) 設置許可基準規則で要求されている設備における試験又は検査項目を抽出する。</p> <p>(b) 考慮事項を踏まえて、分解点検が可能な構造であること、開放点検を行うためのマンホールや点検口等が設置されていること、非破壊検査が可能な構造であること、機能・性能検査を行うためのテストラインの系統構成が可能であること、機能・性能及び特性検査を行うための模擬負荷等の接続が可能な構造であること等の整理を行う。</p> <p>(c) 設備区分は、設置許可基準規則で要求されている設備を機械設備（動的機器、静的機器）、電気設備、計測制御設備、構築物又は通信連絡設備に分類し、分類した設備を代表的な設備区分ごとにA～Nに分類する。</p> <p>(d) A～Mの区分に対して、試験及び検査項目に対する設計ができない場合は、個別に設計方針を定める。</p> 	<p>b. 設備区分による類型化</p> <p>(a) 設置許可基準規則で要求されている設備における試験又は検査項目を抽出する。</p> <p>(b) 考慮事項を踏まえて、分解点検が可能な構造であること、開放点検を行うためのマンホールや点検口等が設置されていること、非破壊検査が可能な構造であること、機能・性能検査を行うためのテストラインの系統構成が可能であること、機能・性能及び特性検査を行うための模擬負荷等の接続が可能な構造であること等の整理を行う。</p> <p>(c) 設備区分は、設置許可基準規則で要求されている設備を機械設備（動的機器、静的機器）、電気設備、計測制御設備、構築物又は通信連絡設備に分類し、分類した設備を代表的な設備区分ごとにA～Mに分類する。</p> <p>(d) A～Mの区分に対して、試験及び検査項目に対する設計ができない場合は、区分をNとして個別に理由及び個別の設計方針を定める。</p> 	<p>相違理由</p> <p>記載表現の相違 ・泊は、「その他」について類型化区分として付番しないが、A～Mに該当しない設備について個別に設計方針は同じである。</p> <p>類型化分類の相違 ・泊は、「ガスタービン」に該当する設備を設けていないため、類型化分類していない。今後、ガスタービンに該当する設備を設ける場合には、分類「N」として個別に試験及び検査項目を策定し、必要な場合には類型化分類を更新する。</p>
<p>c. 試験項目による類型化</p> <p>(a) 設置許可基準規則で要求されている設備における試験又は検査項目を抽出する。</p> <p>(b) 各設備の試験又は検査項目を考慮し、機能・性能検査、特性検査、分解検査、開放検査、非破壊検査、寸法検査及び外観検査に分類し、各検査における確認内容を分類する。</p> <p>(c) 分類に対して、試験及び検査項目に対する設計ができない場合は、個別に理由及び個別の設計方針を定める。</p> 	<p>c. 試験項目による類型化</p> <p>(a) 設置許可基準規則で要求されている設備における試験又は検査項目を抽出する。</p> <p>(b) 各設備の試験又は検査項目を考慮し、機能・性能検査、特性検査、分解検査、開放検査、非破壊検査、寸法検査及び外観検査に分類し、各検査における確認内容を分類する。</p> <p>(c) 分類に対して、試験及び検査項目に対する設計ができない場合は、個別に設計方針を定める。</p> 	<p>c. 試験項目による類型化</p> <p>(a) 設置許可基準規則で要求されている設備における試験又は検査項目を抽出する。</p> <p>(b) 各設備の試験又は検査項目を考慮し、機能・性能検査、特性検査、分解検査、開放検査、非破壊検査、寸法検査及び外観検査に分類し、各検査における確認内容を分類する。</p> <p>(c) 分類に対して、試験及び検査項目に対する設計ができない場合は、個別に設計方針を定める。</p> 	<p>記載表現の相違 ・泊は、「ピット構造」の設備の点検口をアクセスドアと称している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉							女川原子力発電所2号炉							泊発電所3号炉							相違理由					
2. 設計方針について							2. 設計方針について							2. 設計方針について												
【要求事項：健全性及び能力を確認するため、発電用原子炉の運転中又は停止中に試験又は検査ができるものであること。】 (1) 設備区分ごとにおける試験又は検査項目の抽出について 設置許可基準規則で要求されている設備を代表的な設備区分ごとに、使用前検査、施設定期検査、定期安全管理検査及び溶接安全管理審査の法定検査を実施できることに加え、保全プログラムに基づく点検及び日常点検等の保守点検内容を考慮し、試験又は検査項目を抽出する。							【要求事項：健全性及び能力を確認するため、発電用原子炉の運転中又は停止中に試験又は検査ができるものであること。】 (1) 各設備区分における試験又は検査項目の抽出について 設置許可基準規則で要求されている設備を代表的な設備区分ごとに、定期安全管理検査及び溶接安全管理検査の法定検査に加え、保全プログラムに基づく点検を考慮し、試験又は検査項目を抽出する。							【要求事項：健全性及び能力を確認するため、発電用原子炉の運転中又は停止中に試験又は検査ができるものであること。】 (1) 設備区分ごとにおける試験又は検査項目の抽出について 設置許可基準規則で要求されている設備を代表的な設備区分ごとに、使用前事業者検査及び定期事業者検査の法定検査に加え、保全プログラムに基づく点検を考慮し、試験又は検査項目を抽出する。							規則改正による相違 ・非燃の定期事業者検査として機能・性能検査を行う（開閉試験）、漏えい検査を記載した。 ・記載表現の相違 ・泊の記載は、保全プログラムにて定める保全項目名を記載し、（ ）にて具体的な保全内容を記載している。 ・記載内容の相違 ・圧縮装置は、区分Aと同じ試験及び検査項目であるため別区分のままとしている					
設備区分	使用前社内検査	定期事業者検査	保全プログラム		溶接事業者検査	PSI (供用前検査)	ISI (供用期間中検査)	設備区分	適合性確認検査	定期事業者検査	保全プログラム		溶接事業者検査	PSI (供用前検査)	ISI (供用期間中検査)	設備区分	使用前事業者検査	定期事業者検査	保全プログラム			溶接事業者検査	PSI	ISI		
A	ポンプ、ファン、圧縮機	構造検査 機能・性能検査	分解検査 (非破壊検査含む) 機能・性能検査	分解点検 (非破壊検査含む) 機能・性能試験	起動試験	○ (ポンプ)	○ (ポンプ)	A	ポンプ、ファン、圧縮機	構造検査 機能・性能検査	分解検査 (非破壊検査含む) 機能・性能検査	分解点検又は取替え (非破壊試験含む) 機能・性能試験 漏えい試験	起動試験	—	○ (ポンプ)	○ (ポンプ)	A	ポンプ、ファン	構造検査 機能・性能検査	分解検査 (非破壊検査含む) 機能・性能検査	分解点検又は取替え (非破壊試験含む) 機能・性能試験	起動試験	○ (ポンプ)	○ (ポンプ)	規則改正による相違 ・非燃の定期事業者検査として機能・性能検査を行う（開閉試験）、漏えい検査を記載した。 ・記載表現の相違 ・泊の記載は、保全プログラムにて定める保全項目名を記載し、（ ）にて具体的な保全内容を記載している。 ・記載内容の相違 ・圧縮装置は、区分Aと同じ試験及び検査項目であるため別区分のままとしている	
B	弁 (手動弁 電動弁 空気作動弁 安全弁)	構造検査 機能・性能検査 (開閉検査)	分解検査 (非破壊検査含む) 機能・性能検査 (開閉検査) 漏えい検査	分解点検 (非破壊検査含む) 機能・性能試験 (開閉試験) 漏えい試験	開閉試験	○	○	B	弁 (手動弁) (電気作動弁) (空気作動弁) (安全弁)	構造検査 機能・性能検査 (開閉検査)	分解検査 (非破壊検査含む) 機能・性能検査 (開閉試験) 漏えい試験	分解点検 (非破壊試験含む) 機能・性能試験 (開閉試験) 漏えい試験	開閉試験	—	○	○	B	弁 (手動弁) 電動弁 空気作動弁 安全弁)	構造検査 機能・性能検査 (開閉検査)	分解検査 (非破壊検査含む) 機能・性能検査 (開閉試験) 漏えい検査	分解点検 (非破壊試験含む) 機能・性能試験 (開閉試験) 漏えい試験	開閉試験	—	○		○
C	容器 (タンク類)	構造検査 機能・性能検査 (容量確認検査)	—	開放点検 漏えい試験	水量、濃度、漏えい確認	○	○	C	容器 (タンク類)	構造検査 機能・性能検査 (容量確認検査)	—	開放点検 漏えい試験	水量、濃度、漏えい確認	○	○	○	C	容器 (タンク類)	構造検査 機能・性能検査	—	開放点検 漏えい試験	外観点検 (水量、濃度、漏えい確認)	○	○		○
D	熱交換器	構造検査 機能・性能検査	開放検査 (非破壊検査含む)	開放点検 (非破壊検査含む)	漏えい確認	○	○	D	熱交換器	構造検査 機能・性能検査	開放検査 (非破壊検査含む)	開放点検 (非破壊試験含む)	漏えい確認	○	○	○	D	熱交換器	構造検査 機能・性能検査	開放検査 (非破壊検査含む)	開放点検 (非破壊試験含む)	外観点検 (漏えい確認)	○	○		○
E	空調ユニット	構造検査 機能・性能検査	機能・性能検査	開放点検 機能・性能試験	差圧確認	—	—	E	空調ユニット	構造検査 機能・性能検査	機能・性能検査	開放点検 機能・性能試験	差圧確認 (フィルタに関するもの)	—	—	—	E	空調ユニット	構造検査 機能・性能検査	機能・性能検査	開放点検 機能・性能試験	外観点検 (差圧確認)	—	—		—
F	流路	構造検査 機能・性能検査	—	開放点検 外観点検	差圧確認	—	—	F	流路	構造検査 機能・性能検査	—	開放点検 外観点検	差圧確認 (フィルタに関するもの)	○ (溶接)	○ (溶接)	○ (溶接)	F	流路	構造検査 機能・性能検査	—	開放点検 外観点検	外観点検 (差圧確認)	○	○		○
G	内燃機関	機能・性能検査 (負荷検査)	分解検査 (非破壊検査含む) 機能・性能検査 (負荷検査)	分解点検 (非破壊検査含む) 機能・性能試験 (負荷試験)	起動試験 負荷試験	—	—	G	内燃機関	機能・性能検査 (負荷検査)	分解検査 (非破壊検査含む) 機能・性能検査 (負荷検査)	分解点検 (非破壊試験含む) 機能・性能試験 (負荷試験)	起動試験 負荷試験	—	—	—	G	内燃機関	機能・性能検査 (負荷検査)	分解検査 (非破壊検査含む) 機能・性能検査 (負荷検査)	分解点検 (非破壊試験含む) 機能・性能試験 (負荷試験)	起動試験 負荷試験	—	—		—
H		(欠番)																								
I	発電機	機能・性能検査 (模擬負荷による負荷検査)	機能・性能検査 (模擬負荷による負荷検査)	分解点検 (非破壊検査含む) 機能・性能試験 (模擬負荷による負荷試験)	起動試験 負荷試験	—	—	I	発電機	機能・性能検査 (模擬負荷による負荷検査)	機能・性能検査 (模擬負荷による負荷検査)	分解点検 (非破壊試験含む) 機能・性能試験 (模擬負荷による負荷試験)	起動試験 負荷試験	—	—	—	I	その他電源装置	機能・性能検査	機能・性能検査	機能・性能試験	外観点検 (電圧、比電磁測定)	—	—		—
J	その他電源設備	機能・性能検査	機能・性能検査	機能・性能試験	電圧、比重確認	—	—	J	その他電源設備	機能・性能検査	機能・性能検査	機能・性能試験	電圧確認	—	—	—	J	計測制御設備	機能・性能検査 (ロジック検査、校正)	機能・性能検査 (ロジック検査、校正) 特性検査 (設定値確認検査、校正)	機能・性能試験 (ロジック試験、校正) 特性試験 (設定値確認検査、校正)	外観点検 (パラメータ確認)	—	—		—
K	計測制御設備	機能・性能検査 (ロジック検査、校正) 特性検査 (設定値確認検査、校正)	機能・性能検査 (ロジック検査、校正) 特性検査 (設定値確認検査、校正)	機能・性能試験 (ロジック試験、校正) 特性試験 (設定値確認検査、校正)	パラメータ確認	—	—	K	計測制御設備	機能・性能検査 (ロジック検査、校正) 特性検査 (設定値確認検査、校正)	機能・性能検査 (ロジック検査、校正) 特性検査 (設定値確認検査、校正)	機能・性能試験 (ロジック試験、校正) 特性試験 (設定値確認検査、校正)	パラメータ確認	—	—	—	K	遮蔽	構造検査	—	外観点検	外観点検	—	—		—
L	遮蔽	構造検査	—	外観点検	外観点検	—	—	L	遮蔽	構造検査	—	外観点検	外観点検	—	—	—	L	通信設備	機能・性能検査	機能・性能検査	外観点検	外観点検	—	—		—
M	その他	構造検査 機能・性能検査	—	外観点検 機能・性能検査	外観点検 機能・性能検査	—	—	M	通信連絡設備	機能・性能検査	機能・性能検査	外観点検	外観点検	—	—	—	N	圧縮装置	構造検査 機能・性能検査	分解検査 (非破壊検査含む) 機能・性能検査	分解点検又は取替え (非破壊試験含む) 機能・性能試験	起動試験	—	—		—

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉							相違理由		
		N	その他	(個別の設計)	(個別の設計)	(個別の設計)	(個別の設計)	-	-	-	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉			泊発電所3号炉			相違理由
(2)設備区分ごとの設計方針の整理 (1)で抽出した設備区分ごとにおける試験又は検査項目について、試験又は検査を可能とする設計方針について以下に整理する。 なお、A～Mの区分に対して、以下の試験及び検査項目に対する設計ができない場合は、個別に理由及び個別の設計方針を定める。			(2)設備区分ごとの設計方針の整理 (1)で抽出した設備区分ごとにおける試験又は検査項目について、試験又は検査を可能とする設計方針について以下に整理する。 なお、A～Mの区分に対して、以下の試験及び検査項目に対する設計ができない場合は、個別に設計方針を定める。			(2)設備区分ごとの設計方針の整理 a.(1)で抽出した設備区分ごとにおける試験又は検査項目について、試験又は検査を可能とする設計方針について以下に整理する。 なお、A～Mの区分に対して、以下の試験及び検査項目に対する設計ができない場合は、区分をNとして個別に理由及び個別の設計方針を定める。			記載方針の相違 ・泊は、a.項として設備単体に対する試験及び検査にかかわる設計方針を記載し、次ページにおいて系統機能に対する試験及び検査を実施する際の悪影響防止の設計方針を記載している。
設備区分	設計方針	エビデンス*	設備区分	設計方針	関係資料	設備区分	設計方針	関係資料	
A	ポンプ、ファン、圧縮機 機能・性能及び漏えいの確認が可能な設計とする。 悪影響防止のため、異系統での確認は個別で実施できる設計とする。 分解が可能な設計とする。	構造図 系統図	A	ポンプ、ファン、圧縮機 機能・性能及び漏えいの有無の確認が可能、分解が可能 機能・性能及び漏えいの有無の確認が可能な設計とするとともに、これらは他の系統へ悪影響を及ぼさず試験可能な設計とする。 分解が可能な設計とする。ただし、可搬型設備は分解又は取替えが可能な設計とする。 ポンプ車は、車両として運転状態の確認及び外観の確認が可能な設計とする。	構造図 系統図	A	ポンプ、ファン 機能・性能及び漏えいの有無の確認が可能な設計とする。 分解が可能な設計とする。ただし、可搬型設備は分解又は取替えが可能な設計とする。 ポンプ車は車両として運転状態の確認及び外観の確認が可能な設計とする。	構造図 系統図	
B	弁 （手動弁） 電動弁 空気作動弁 安全弁 機能・性能及び漏えいの確認が可能な設計とする。 分解が可能な設計とする。 余熱除去ポンプ入口弁は、遠隔駆動装置による開閉確認が可能な設計とする。	構造図 系統図	B	弁 （手動弁） （電気作動弁） （空気作動弁） （安全弁） 機能・性能及び漏えいの有無の確認が可能、分解が可能 機能・性能及び漏えいの有無の確認が可能な設計とする。 分解点検が可能な設計とする。 人力による手動開閉機構を有する弁は規定トルクによる開閉確認が可能な設計とする。	構造図 系統図	B	弁 （手動弁） 電動弁 空気作動弁 安全弁 機能・性能及び漏えいの有無の確認が可能な設計とする。 人力による手動開閉機構を有する弁（余熱除去ポンプ入口弁等）は、手動による開閉確認及び遠隔操作機構で開閉確認が可能な設計とする。	構造図 系統図	
C	容器 （タンク類） 機能・性能及び漏えいの確認が可能な設計とする。 悪影響防止のため、異系統での確認は個別で実施できる設計とする。 内部の確認が可能なように、マンホール等を設ける設計とする。 ほう酸タンク及び燃料取替用水ピットについては、ほう酸濃度及び有効水量が確認できる設計とする。 燃料取替用水ピット及び復水ピットについては、外観の確認が可能な設計とする。 燃料油貯蔵タンク及び重油タンクについては、油量が確認できる設計とする。	構造図	C	容器 （タンク類） 機能・性能及び漏えいの有無の確認が可能、内部の確認が可能・マンホール等設置 機能・性能及び漏えいの有無の確認が可能な設計とするとともに、これらは他の系統へ悪影響を及ぼさず試験可能な設計とする。 内部の確認が可能なように、マンホール等を設ける。又は外観の確認が可能な設計とする。 原子伊格納容器は、全体漏えい率試験が可能な設計とする。 ポンペは規定圧力の確認及び外観の確認が可能な設計とする。 ほう酸水注入貯蔵タンクは、ほう酸濃度及びタンク水位を確認可能な設計とする。 放射性よりろ過フィルタは指定サイズの性能試験が可能な設計とする。 軽油タンク及びガスタービン発電設備軽油タンクは油量を確認可能な設計とする。 タンクローリは、車両としての運転状態の確認及び外観の確認が可能な設計とする。	構造図	C	容器 （タンク類） 機能・性能及び漏えいの有無の確認が可能な設計とする。 内部の確認が可能なように、マンホール等を設ける設計とする。 又は外観の確認が可能な設計とする。 原子伊格納容器は、全体漏えい率試験が可能な設計とする。 ポンペは規定圧力の確認及び外観の確認が可能な設計とする。 ほう酸水注入タンク、ほう酸タンク及び燃料取替用水ピットについては、ほう酸濃度及び有効水量が確認できる設計とする。 ディーゼル発電機燃料油貯槽、燃料油(SA)については、油量を確認可能な設計とする。 可搬型タンクローリは車両として運転状態の確認及び外観の確認が可能な設計とする。	構造図	
D	熱交換器 機能・性能及び漏えいの確認が可能な設計とする。 悪影響防止のため、異系統での確認は個別で実施できる設計とする。 内部の確認が可能なように、マンホール等を設ける設計とする。 再生熱交換器は、他系統と独立した試験系統により機能・性能確認及び漏えいの確認が可能な系統設計とする。また、構造については応力高割れ対策、伝熱管の摩耗対策により健全性が確保でき、開放が不要な設計であることから、外観の確認が可能な設計とする。	構造図	D	熱交換器 機能・性能及び漏えいの有無の確認が可能、分解点検が可能 機能・性能及び漏えいの確認が可能な設計とするとともに、これらは他の系統へ悪影響を及ぼさず試験可能な設計とする。 開放点検が可能な設計とする。 熱交換器ユニットは、車両として運転状態の確認及び外観の確認が可能な設計とする。	構造図	D	熱交換器 機能・性能及び漏えいの有無の確認が可能な設計とする。 内部の確認が可能なように、マンホール等を設ける設計とする。 再生熱交換器及び格納容器雰囲気ガスサンプル冷却器は、他系統と独立した試験系統により機能・性能確認及び漏えいの確認が可能な系統設計とする。また、構造については応力高割れ対策、伝熱管の摩耗対策により健全性が確保でき、開放が不要な設計であることから、外観の確認が可能な設計とする。	構造図	
E	空調ユニット 機能・性能及び漏えいの確認が可能な設計とする。 悪影響防止のため、異系統での確認は個別で実施できる設計とする。 差圧確認が可能な設計とする。また、内部の確認が可能なように、点検口を設ける設計とする。	構造図	E	空調ユニット 機能・性能の確認が可能、内部の確認が可能、点検口の設置 機能・性能の確認が可能な設計とするとともに、これらは他の系統へ悪影響を及ぼさず試験可能な設計とする。 フィルタを設置するものは、差圧確認が可能な設計とする。また、内部の確認が可能なように、点検口を設ける設計とする。	構造図	E	空調ユニット 機能・性能及び漏えいの有無の確認が可能な設計とする。 フィルタを設置するものは、差圧確認が可能な設計とする。また、内部の確認が可能なように、点検口を設ける設計とする。	構造図	
F	流路 機能・性能及び漏えいの確認が可能な設計とする。 悪影響防止のため、異系統での確認は個別で実施できる設計とする。 内部の確認が可能な設計とする。	構造図	F	流路 機能・性能及び漏えいの有無の確認が可能な設計とするとともに、これらは他の系統へ悪影響を及ぼさず試験可能な設計とする。 熱交換器を流路とするものは、熱交換器の設計方針に準ずる。 フィルタを設置するものは、差圧確認が可能な設計とする。また、内部の確認が可能なように、点検口を設ける設計とする。	構造図	F	流路 機能・性能及び漏えいの有無の確認が可能な設計とする。 フィルタを設置するものは、差圧確認が可能な設計とする。また、内部の確認が可能なように、点検口を設ける設計とする。	構造図	
G	内燃機関 機能・性能検査が可能なように、発電機側の負荷を用いる試験系統等により、機能・性能確認ができる系統設計とする。 分解が可能な設計とする。	構造図 系統図	G	内燃機関 機能・性能の確認が可能、分解が可能 機能・性能の確認が可能なように、発電機側の負荷を用いる試験系統等により、機能・性能確認が可能な設計とする。 分解が可能な設計とする。ただし、可搬型設備は分解又は取替えが可能な設計とする。	構造図 系統図	G	内燃機関 機能・性能の確認が可能なように、各種負荷（ポンプ負荷、系統負荷、模擬負荷）により機能・性能確認ができる系統設計とする。 分解が可能な設計とする。ただし、可搬型設備は分解又は取替えが可能な設計とする。	構造図 系統図	
H	（欠番）		H	ガスタービン 機能・性能の確認が可能、分解が可能 機能・性能の確認が可能なように、発電機側の負荷を用いる試験系統等により、機能・性能確認が可能な設計とする。 分解が可能な設計とする。	構造図 系統図	H	発電機 機能・性能の確認が可能なように、各種負荷（ポンプ負荷、系統負荷、模擬負荷）により機能・性能確認ができる系統設計とする。 分解が可能な設計とする。ただし、可搬型設備は分解又は取替えが可能な設計とする。 電源車は車両として運転状態の確認及び外観の確認が可能な設計とする。	系統図	
I	発電機 機能・性能検査が可能なように、各種負荷（ポンプ負荷、系統負荷、模擬負荷）により機能・性能確認ができる系統設計とする。 分解が可能な設計とする。	系統図	I	発電機 機能・性能の確認が可能、分解が可能 機能・性能の確認が可能なように、各種負荷（ポンプ負荷、系統負荷、模擬負荷）により機能・性能確認が可能な設計とする。 分解が可能な設計とする。ただし、可搬型設備は分解又は取替えが可能な設計とする。 電源車は、車両として運転状態の確認及び外観の確認が可能な設計とする。	系統図	I	発電機 機能・性能の確認が可能なように、各種負荷（ポンプ負荷、系統負荷、模擬負荷）により機能・性能確認ができる系統設計とする。 分解が可能な設計とする。ただし、可搬型設備は分解又は取替えが可能な設計とする。 電源車は車両として運転状態の確認及び外観の確認が可能な設計とする。	系統図	
J	その他電源設備 各種負荷（系統負荷、模擬負荷）、他線抵抗測定又は試験装置により、機能・性能の確認が可能な系統設計とする。又は、蓄電池は電圧及び比重測定が、他の電池は電圧測定が可能な系統設計とする。 分解が可能な設計とする。	構造図 系統図	J	その他電源設備 機能・性能の確認が可能、校正が可能、動作確認が可能 各種負荷（系統負荷、模擬負荷）、他線抵抗測定、弁の開閉又は試験装置により、機能・性能の確認が可能な設計とする。 鉛蓄電池は電圧測定が可能な設計とする。	構造図 系統図	J	計測制御設備 機能・性能の確認が可能な設計とする。ただし、原子炉停止（手動）に係る設備は、手動操作による動作確認が可能な設計とする。 ロジック回路を有する設備は、ロジック回路動作確認による機能・性能検査が可能な設計とする。	ブロック図	
K	計測制御設備 特性検査が可能なように、校正ができる設計とする。 機能・性能検査が可能なように、ロジック回路動作確認ができる設計とする。	ブロック図	K	計測制御設備 機能・性能の確認が可能、校正が可能、動作確認が可能 模擬入力による機能・性能の確認（特性確認又は設定値確認）及び校正が可能な設計とする。 ロジック回路を有する設備は、模擬入力による機能確認として、ロジック回路動作確認が可能な設計とする。	ブロック図	K	遮蔽 主要部分の断面寸法が確認できる設計とする。 外観の確認が可能な設計とする。	構造図	
L	遮蔽 主要部分の断面寸法が確認できる設計とする。 外観の確認が可能な設計とする。	構造図	L	遮蔽 主要部分の断面寸法が確認可能、外観の確認が可能 主要部分の断面寸法が確認できる設計とする。 外観の確認が可能な設計とする。	構造図	L	通信設備 機能・性能の確認及び外観の確認が可能な設計とする。	—	
M	その他 機能・性能及び漏えいの確認が可能な設計とする。 分解が可能な設計とする。 外観の確認が可能な設計とする。	構造図 系統図	M	通信連絡設備 機能・性能の確認が可能な設計とする。 機能・性能の確認及び外観の確認が可能な設計とする。 A～Mに該当しない設備（静的燃焼式水素再結合装置等）は、個別の設計とする。	—	M	圧縮機 機能・性能及び漏えいの有無の確認が可能な設計とする。 分解が可能な設計とする。ただし、可搬型設備は分解又は取替えが可能な設計とする。	構造図	
N	（欠番）		N	その他 A～Mに該当しない設備（放射線物質吸着剤等）は、個別の設計とする。	—	N	その他 A～Mに該当しない設備（放射線物質吸着剤等）は、個別の設計とする。	—	

*必要に応じて点検計画・設備概要を含む。

※ 個別条文中に記載する事項を下記欄で示す


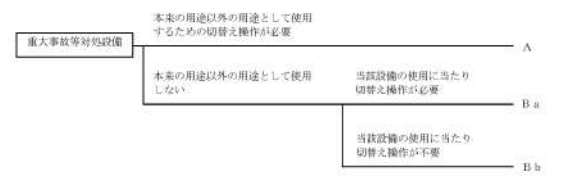
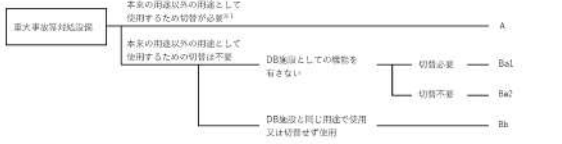
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

43条 重大事故等対処設備

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>b. 機能・性能試験又は検査に際して、試験範囲外の他設備への悪影響を与えないための設計方針について以下に整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可搬型重大事故等対処設備のみで系統構成する場合には、可搬型重大事故等対処設備のみで独立した試験系統にて確認できる設計とする。 ・常設重大事故等対処設備を含めた系統構成する場合には、試験範囲外の他設備へ影響を与えないよう適切な試験範囲を構成することで他設備から独立した試験系統にて確認できる設計とする。 	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

43条 重大事故等対処設備

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																												
<p>■設置許可基準規則 第43条 第1項 第4号 切り替え性について</p> <p>1. 概要 重大事故等対処設備の基準適合性を確認するに当たり、設置許可基準規則により要求されている項目のうち、切り替え性を確認するための区分及び設計方針について整理した。</p> <p>(1) 基本設計方針 重大事故等対処設備のうち、本来の用途以外の用途として重大事故等に対処するために使用する設備にあっては、重大事故等が発生した場合でも、通常時の系統から弁又は遮断器操作等にて速やかに切り替えできる設計とする。</p> <p>(2) 対象選定の考え方 a. 考慮事項 速やかに切り替えられること b. 対象選定フロー 対象選定の考え方は以下のとおり。 重大事故等に対処するために使用する系統であって、重大事故等時に通常時から系統構成を変更する系統を選定する。</p>  <p>2. 設計方針について 【要求事項：本来の用途以外の用途として重大事故等に対処するために使用する設備にあっては、通常時に使用する系統から速やかに切り替えられる機能を備えるものであること。】 設計方針について、以下の表にまとめた。</p> <table border="1" data-bbox="100 1013 683 1316"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>設計方針</th> <th>エビデンス</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>重大事故等対処設備のうち、本来の用途以外の用途として重大事故等に対処するために使用する設備にあっては、重大事故等が発生した場合でも、通常時の系統から弁又は遮断器操作等にて速やかに切り替えできる設計とする。</td> <td>系統図</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>重大事故等対処設備のうち、通常時から系統構成を変更せずに使用できる系統設計又は設備とする。</td> <td>系統図 配置図</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	設計方針	エビデンス	備考	A	重大事故等対処設備のうち、本来の用途以外の用途として重大事故等に対処するために使用する設備にあっては、重大事故等が発生した場合でも、通常時の系統から弁又は遮断器操作等にて速やかに切り替えできる設計とする。	系統図		B	重大事故等対処設備のうち、通常時から系統構成を変更せずに使用できる系統設計又は設備とする。	系統図 配置図		<p>■設置許可基準規則 第四十三条第1項第四号 系統の切替性について</p> <p>1. 概要 重大事故等対処設備の基準適合性を確認するに当たり、設置許可基準規則により要求されている項目のうち、切替性を確認するための区分及び設計方針について整理した。</p> <p>(1) 基本設計方針 重大事故等対処設備のうち、本来の用途以外の用途として重大事故等に対処するために使用する設備は、通常時に使用する系統から速やかに切替操作が可能ないように、系統に必要な弁等を設ける設計とする。</p> <p>(2) 対象選定の考え方 a. 考慮事項 速やかに系統を切り替えられること。 b. 対象選定 重大事故等に対処するために使用する系統であって、重大事故等時に通常時から系統構成を変更する系統を選定する。</p>  <p>2. 設計方針について 【要求事項：本来の用途以外の用途として重大事故等に対処するために使用する設備にあっては、通常時に使用する系統から速やかに切り替えられる機能を備えるものであること。】 設計方針について、以下の表にまとめた。</p> <table border="1" data-bbox="705 1013 1332 1252"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>設計方針</th> <th>関連資料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>○本来の用途以外の用途として使用するための切替操作が必要 通常時の使用する系統から速やかに切替操作が可能ないように、系統に必要な弁等を設ける。</td> <td>系統図</td> </tr> <tr> <td>Ba</td> <td>○本来の用途として使用一切替操作が必要 事象発生前の系統状態から速やかに切替操作が可能ないように、系統に必要な弁等を設ける。</td> <td>系統図</td> </tr> <tr> <td>Bb</td> <td>○本来の用途として使用一切替操作が不要 切替せずに使用可能な設計とする。</td> <td>系統図</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">※ 個別条文へ記載する事項を下記図で示す</p>	区分	設計方針	関連資料	A	○本来の用途以外の用途として使用するための切替操作が必要 通常時の使用する系統から速やかに切替操作が可能ないように、系統に必要な弁等を設ける。	系統図	Ba	○本来の用途として使用一切替操作が必要 事象発生前の系統状態から速やかに切替操作が可能ないように、系統に必要な弁等を設ける。	系統図	Bb	○本来の用途として使用一切替操作が不要 切替せずに使用可能な設計とする。	系統図	<p>■設置許可基準規則 第43条 第1項 第4号 切り替え性について</p> <p>1. 概要 重大事故等対処設備の基準適合性を確認するに当たり、設置許可基準規則により要求されている項目のうち、切り替え性を確認するための区分及び設計方針について整理した。</p> <p>(1) 基本設計方針 重大事故等対処設備のうち、本来の用途以外の用途として重大事故等に対処するために使用する設備にあっては、通常時に使用する系統から速やかに切替操作可能なように、系統に必要な弁等を設ける設計とする。</p> <p>(2) 対象選定の考え方 a. 考慮事項 速やかに系統を切替えられること b. 対象選定フロー 対象選定の考え方は以下のとおり。 重大事故等に対処するために使用する系統であって、重大事故等時に通常時から系統構成を変更する系統を選定する。</p>  <p>※1「泊発電所3号炉」「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」に係る適合状況説明資料（技術的能力）において、切替が必要な対象設備を選定。</p> <p>A：技術的能力添付資料 1.0.1 表1において「本項対象」となるもの Ba1、Ba2：技術的能力添付資料 1.0.1 表1において「DB施設として機能」が×となるもの Bb：技術能力添付資料 1.0.1 表1において「DB施設と異なる用途」が×となるもの 又は「切替え操作」が×となるもの</p> <p>2. 設計方針について 【要求事項：本来の用途以外の用途として重大事故等に対処するために使用する設備にあっては、通常時に使用する系統から速やかに切り替えられる機能を備えるものであること。】 設計方針について、以下の表にまとめた。</p> <table border="1" data-bbox="1332 1013 1960 1380"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>設計方針</th> <th>関連資料</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>本来の用途以外の用途として使用するために切替える設備 ・通常時に使用する系統から速やかに切替操作可能なように、系統に必要な弁等を設ける設計とする。</td> <td>系統図</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Ba1</td> <td>本来の用途以外の用途として使用するために切替えない設備 (DB施設としての機能を有さず、切替必要；SA専用設備で系統操作のあるもの) ・事象発生前の系統構成から速やかに切替操作可能なように、系統に必要な弁等を設ける設計とする。 ・ただし、事象発生後の応答性が必要な設備は、自動で作動する設計とする。</td> <td>系統図</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Ba2</td> <td>本来の用途以外の用途として使用するために切替えない設備 (DB施設としての機能を有さず、切替不要；SA専用設備で系統操作のないもの) ・切替せず使用できる設計とする。</td> <td>系統図</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Bb</td> <td>本来の用途以外の用途として使用するために切替えない設備 (DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用) ・設計基準対象施設として使用する場合と同じ系統構成で使用する設計又は系統の切替をせず使用する設計とする。</td> <td>系統図</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">※ 共-2-1.3～2.6に各対応手順で使用する設備の区分を示す。</p>	区分	設計方針	関連資料	備考	A	本来の用途以外の用途として使用するために切替える設備 ・通常時に使用する系統から速やかに切替操作可能なように、系統に必要な弁等を設ける設計とする。	系統図		Ba1	本来の用途以外の用途として使用するために切替えない設備 (DB施設としての機能を有さず、切替必要；SA専用設備で系統操作のあるもの) ・事象発生前の系統構成から速やかに切替操作可能なように、系統に必要な弁等を設ける設計とする。 ・ただし、事象発生後の応答性が必要な設備は、自動で作動する設計とする。	系統図		Ba2	本来の用途以外の用途として使用するために切替えない設備 (DB施設としての機能を有さず、切替不要；SA専用設備で系統操作のないもの) ・切替せず使用できる設計とする。	系統図		Bb	本来の用途以外の用途として使用するために切替えない設備 (DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用) ・設計基準対象施設として使用する場合と同じ系統構成で使用する設計又は系統の切替をせず使用する設計とする。	系統図		<p><u>選定方法の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、左記のとおり、本来の用途以外の用途に使用するために切替を要するSA手段を抽出する。 次案以降、本来の用途以外の用途で使用するために切替を行うSA手段の整理結果を添付する。（本整理方法は、伊方と同様であり、抽出結果についても同様のSA手段を整備していることから同じ結果である） 大飯を含む開電プラントは、大飯側に赤字で示すように、本来の用途以外の用途で使用するために切り替える必要のある手段以外にも、SA時に系統操作等を要するSA手段は、本項の該当手段として抽出しており、DB施設を目的のまま使用する場合でも「切替える」手段に類型化する方針である。 結果として、系統操作を要するSA手段の43条適合性は、本方針の相違により、同操作であっても適合方針は異なった記載となっている。
区分	設計方針	エビデンス	備考																																												
A	重大事故等対処設備のうち、本来の用途以外の用途として重大事故等に対処するために使用する設備にあっては、重大事故等が発生した場合でも、通常時の系統から弁又は遮断器操作等にて速やかに切り替えできる設計とする。	系統図																																													
B	重大事故等対処設備のうち、通常時から系統構成を変更せずに使用できる系統設計又は設備とする。	系統図 配置図																																													
区分	設計方針	関連資料																																													
A	○本来の用途以外の用途として使用するための切替操作が必要 通常時の使用する系統から速やかに切替操作が可能ないように、系統に必要な弁等を設ける。	系統図																																													
Ba	○本来の用途として使用一切替操作が必要 事象発生前の系統状態から速やかに切替操作が可能ないように、系統に必要な弁等を設ける。	系統図																																													
Bb	○本来の用途として使用一切替操作が不要 切替せずに使用可能な設計とする。	系統図																																													
区分	設計方針	関連資料	備考																																												
A	本来の用途以外の用途として使用するために切替える設備 ・通常時に使用する系統から速やかに切替操作可能なように、系統に必要な弁等を設ける設計とする。	系統図																																													
Ba1	本来の用途以外の用途として使用するために切替えない設備 (DB施設としての機能を有さず、切替必要；SA専用設備で系統操作のあるもの) ・事象発生前の系統構成から速やかに切替操作可能なように、系統に必要な弁等を設ける設計とする。 ・ただし、事象発生後の応答性が必要な設備は、自動で作動する設計とする。	系統図																																													
Ba2	本来の用途以外の用途として使用するために切替えない設備 (DB施設としての機能を有さず、切替不要；SA専用設備で系統操作のないもの) ・切替せず使用できる設計とする。	系統図																																													
Bb	本来の用途以外の用途として使用するために切替えない設備 (DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用) ・設計基準対象施設として使用する場合と同じ系統構成で使用する設計又は系統の切替をせず使用する設計とする。	系統図																																													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																
		<p>表1 各半端で使用される設備の切替区分(1/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>切替区分</th> <th>設備名称</th> <th>設備仕様</th> <th>設備仕様</th> <th>設備仕様</th> <th>設備仕様</th> <th>設備仕様</th> <th>設備仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="15">11</td> <td rowspan="15">図14-14 図14-15 図14-16 図14-17 図14-18 図14-19 図14-20 図14-21 図14-22 図14-23 図14-24 図14-25 図14-26 図14-27 図14-28</td> <td>図14-14</td> <td>図14-15</td> <td>図14-16</td> <td>図14-17</td> <td>図14-18</td> <td>図14-19</td> </tr> <tr> <td>図14-15</td> <td>図14-16</td> <td>図14-17</td> <td>図14-18</td> <td>図14-19</td> <td>図14-20</td> </tr> <tr> <td>図14-16</td> <td>図14-17</td> <td>図14-18</td> <td>図14-19</td> <td>図14-20</td> <td>図14-21</td> </tr> <tr> <td>図14-17</td> <td>図14-18</td> <td>図14-19</td> <td>図14-20</td> <td>図14-21</td> <td>図14-22</td> </tr> <tr> <td>図14-18</td> <td>図14-19</td> <td>図14-20</td> <td>図14-21</td> <td>図14-22</td> <td>図14-23</td> </tr> <tr> <td>図14-19</td> <td>図14-20</td> <td>図14-21</td> <td>図14-22</td> <td>図14-23</td> <td>図14-24</td> </tr> <tr> <td>図14-20</td> <td>図14-21</td> <td>図14-22</td> <td>図14-23</td> <td>図14-24</td> <td>図14-25</td> </tr> <tr> <td>図14-21</td> <td>図14-22</td> <td>図14-23</td> <td>図14-24</td> <td>図14-25</td> <td>図14-26</td> </tr> <tr> <td>図14-22</td> <td>図14-23</td> <td>図14-24</td> <td>図14-25</td> <td>図14-26</td> <td>図14-27</td> </tr> <tr> <td>図14-23</td> <td>図14-24</td> <td>図14-25</td> <td>図14-26</td> <td>図14-27</td> <td>図14-28</td> </tr> <tr> <td>図14-24</td> <td>図14-25</td> <td>図14-26</td> <td>図14-27</td> <td>図14-28</td> <td>図14-29</td> </tr> <tr> <td>図14-25</td> <td>図14-26</td> <td>図14-27</td> <td>図14-28</td> <td>図14-29</td> <td>図14-30</td> </tr> <tr> <td>図14-26</td> <td>図14-27</td> <td>図14-28</td> <td>図14-29</td> <td>図14-30</td> <td>図14-31</td> </tr> <tr> <td>図14-27</td> <td>図14-28</td> <td>図14-29</td> <td>図14-30</td> <td>図14-31</td> <td>図14-32</td> </tr> <tr> <td>図14-28</td> <td>図14-29</td> <td>図14-30</td> <td>図14-31</td> <td>図14-32</td> <td>図14-33</td> </tr> <tr> <td rowspan="15">12</td> <td rowspan="15">図14-34 図14-35 図14-36 図14-37 図14-38 図14-39 図14-40 図14-41 図14-42 図14-43 図14-44 図14-45 図14-46 図14-47 図14-48</td> <td>図14-34</td> <td>図14-35</td> <td>図14-36</td> <td>図14-37</td> <td>図14-38</td> <td>図14-39</td> </tr> <tr> <td>図14-35</td> <td>図14-36</td> <td>図14-37</td> <td>図14-38</td> <td>図14-39</td> <td>図14-40</td> </tr> <tr> <td>図14-36</td> <td>図14-37</td> <td>図14-38</td> <td>図14-39</td> <td>図14-40</td> <td>図14-41</td> </tr> <tr> <td>図14-37</td> <td>図14-38</td> <td>図14-39</td> <td>図14-40</td> <td>図14-41</td> <td>図14-42</td> </tr> <tr> <td>図14-38</td> <td>図14-39</td> <td>図14-40</td> <td>図14-41</td> <td>図14-42</td> <td>図14-43</td> </tr> <tr> <td>図14-39</td> <td>図14-40</td> <td>図14-41</td> <td>図14-42</td> <td>図14-43</td> <td>図14-44</td> </tr> <tr> <td>図14-40</td> <td>図14-41</td> <td>図14-42</td> <td>図14-43</td> <td>図14-44</td> <td>図14-45</td> </tr> <tr> <td>図14-41</td> <td>図14-42</td> <td>図14-43</td> <td>図14-44</td> <td>図14-45</td> <td>図14-46</td> </tr> <tr> <td>図14-42</td> <td>図14-43</td> <td>図14-44</td> <td>図14-45</td> <td>図14-46</td> <td>図14-47</td> </tr> <tr> <td>図14-43</td> <td>図14-44</td> <td>図14-45</td> <td>図14-46</td> <td>図14-47</td> <td>図14-48</td> </tr> <tr> <td>図14-44</td> <td>図14-45</td> <td>図14-46</td> <td>図14-47</td> <td>図14-48</td> <td>図14-49</td> </tr> <tr> <td>図14-45</td> <td>図14-46</td> <td>図14-47</td> <td>図14-48</td> <td>図14-49</td> <td>図14-50</td> </tr> <tr> <td>図14-46</td> <td>図14-47</td> <td>図14-48</td> <td>図14-49</td> <td>図14-50</td> <td>図14-51</td> </tr> <tr> <td>図14-47</td> <td>図14-48</td> <td>図14-49</td> <td>図14-50</td> <td>図14-51</td> <td>図14-52</td> </tr> <tr> <td>図14-48</td> <td>図14-49</td> <td>図14-50</td> <td>図14-51</td> <td>図14-52</td> <td>図14-53</td> </tr> </tbody> </table>	切替区分	設備名称	設備仕様	設備仕様	設備仕様	設備仕様	設備仕様	設備仕様	11	図14-14 図14-15 図14-16 図14-17 図14-18 図14-19 図14-20 図14-21 図14-22 図14-23 図14-24 図14-25 図14-26 図14-27 図14-28	図14-14	図14-15	図14-16	図14-17	図14-18	図14-19	図14-15	図14-16	図14-17	図14-18	図14-19	図14-20	図14-16	図14-17	図14-18	図14-19	図14-20	図14-21	図14-17	図14-18	図14-19	図14-20	図14-21	図14-22	図14-18	図14-19	図14-20	図14-21	図14-22	図14-23	図14-19	図14-20	図14-21	図14-22	図14-23	図14-24	図14-20	図14-21	図14-22	図14-23	図14-24	図14-25	図14-21	図14-22	図14-23	図14-24	図14-25	図14-26	図14-22	図14-23	図14-24	図14-25	図14-26	図14-27	図14-23	図14-24	図14-25	図14-26	図14-27	図14-28	図14-24	図14-25	図14-26	図14-27	図14-28	図14-29	図14-25	図14-26	図14-27	図14-28	図14-29	図14-30	図14-26	図14-27	図14-28	図14-29	図14-30	図14-31	図14-27	図14-28	図14-29	図14-30	図14-31	図14-32	図14-28	図14-29	図14-30	図14-31	図14-32	図14-33	12	図14-34 図14-35 図14-36 図14-37 図14-38 図14-39 図14-40 図14-41 図14-42 図14-43 図14-44 図14-45 図14-46 図14-47 図14-48	図14-34	図14-35	図14-36	図14-37	図14-38	図14-39	図14-35	図14-36	図14-37	図14-38	図14-39	図14-40	図14-36	図14-37	図14-38	図14-39	図14-40	図14-41	図14-37	図14-38	図14-39	図14-40	図14-41	図14-42	図14-38	図14-39	図14-40	図14-41	図14-42	図14-43	図14-39	図14-40	図14-41	図14-42	図14-43	図14-44	図14-40	図14-41	図14-42	図14-43	図14-44	図14-45	図14-41	図14-42	図14-43	図14-44	図14-45	図14-46	図14-42	図14-43	図14-44	図14-45	図14-46	図14-47	図14-43	図14-44	図14-45	図14-46	図14-47	図14-48	図14-44	図14-45	図14-46	図14-47	図14-48	図14-49	図14-45	図14-46	図14-47	図14-48	図14-49	図14-50	図14-46	図14-47	図14-48	図14-49	図14-50	図14-51	図14-47	図14-48	図14-49	図14-50	図14-51	図14-52	図14-48	図14-49	図14-50	図14-51	図14-52	図14-53	<p>対象選定結果、「本来の用途以外の用途で使用するために切替る必要があるもの」について、赤枠で識別する。 異系統を接続して使用する手段等を対象として抽出している。</p>
切替区分	設備名称	設備仕様	設備仕様	設備仕様	設備仕様	設備仕様	設備仕様																																																																																																																																																																																												
11	図14-14 図14-15 図14-16 図14-17 図14-18 図14-19 図14-20 図14-21 図14-22 図14-23 図14-24 図14-25 図14-26 図14-27 図14-28	図14-14	図14-15	図14-16	図14-17	図14-18	図14-19																																																																																																																																																																																												
		図14-15	図14-16	図14-17	図14-18	図14-19	図14-20																																																																																																																																																																																												
		図14-16	図14-17	図14-18	図14-19	図14-20	図14-21																																																																																																																																																																																												
		図14-17	図14-18	図14-19	図14-20	図14-21	図14-22																																																																																																																																																																																												
		図14-18	図14-19	図14-20	図14-21	図14-22	図14-23																																																																																																																																																																																												
		図14-19	図14-20	図14-21	図14-22	図14-23	図14-24																																																																																																																																																																																												
		図14-20	図14-21	図14-22	図14-23	図14-24	図14-25																																																																																																																																																																																												
		図14-21	図14-22	図14-23	図14-24	図14-25	図14-26																																																																																																																																																																																												
		図14-22	図14-23	図14-24	図14-25	図14-26	図14-27																																																																																																																																																																																												
		図14-23	図14-24	図14-25	図14-26	図14-27	図14-28																																																																																																																																																																																												
		図14-24	図14-25	図14-26	図14-27	図14-28	図14-29																																																																																																																																																																																												
		図14-25	図14-26	図14-27	図14-28	図14-29	図14-30																																																																																																																																																																																												
		図14-26	図14-27	図14-28	図14-29	図14-30	図14-31																																																																																																																																																																																												
		図14-27	図14-28	図14-29	図14-30	図14-31	図14-32																																																																																																																																																																																												
		図14-28	図14-29	図14-30	図14-31	図14-32	図14-33																																																																																																																																																																																												
12	図14-34 図14-35 図14-36 図14-37 図14-38 図14-39 図14-40 図14-41 図14-42 図14-43 図14-44 図14-45 図14-46 図14-47 図14-48	図14-34	図14-35	図14-36	図14-37	図14-38	図14-39																																																																																																																																																																																												
		図14-35	図14-36	図14-37	図14-38	図14-39	図14-40																																																																																																																																																																																												
		図14-36	図14-37	図14-38	図14-39	図14-40	図14-41																																																																																																																																																																																												
		図14-37	図14-38	図14-39	図14-40	図14-41	図14-42																																																																																																																																																																																												
		図14-38	図14-39	図14-40	図14-41	図14-42	図14-43																																																																																																																																																																																												
		図14-39	図14-40	図14-41	図14-42	図14-43	図14-44																																																																																																																																																																																												
		図14-40	図14-41	図14-42	図14-43	図14-44	図14-45																																																																																																																																																																																												
		図14-41	図14-42	図14-43	図14-44	図14-45	図14-46																																																																																																																																																																																												
		図14-42	図14-43	図14-44	図14-45	図14-46	図14-47																																																																																																																																																																																												
		図14-43	図14-44	図14-45	図14-46	図14-47	図14-48																																																																																																																																																																																												
		図14-44	図14-45	図14-46	図14-47	図14-48	図14-49																																																																																																																																																																																												
		図14-45	図14-46	図14-47	図14-48	図14-49	図14-50																																																																																																																																																																																												
		図14-46	図14-47	図14-48	図14-49	図14-50	図14-51																																																																																																																																																																																												
		図14-47	図14-48	図14-49	図14-50	図14-51	図14-52																																																																																																																																																																																												
		図14-48	図14-49	図14-50	図14-51	図14-52	図14-53																																																																																																																																																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

表1. 各号炉で適用される設備の特性区分(注)

設備区分	項目	項目名称	設備名称	設備区分	設備区分	設備区分	設備区分	設備区分
14	設備区分	炉心注水(定常運転時)	炉心注水ポンプ	炉心注水ポンプ	○	○	○	○
		炉心注水(定常運転時)	炉心注水ポンプ	炉心注水ポンプ	○	○	○	○
		炉心注水(定常運転時)	炉心注水ポンプ	炉心注水ポンプ	○	○	○	○
		炉心注水(定常運転時)	炉心注水ポンプ	炉心注水ポンプ	○	○	○	○
		炉心注水(定常運転時)	炉心注水ポンプ	炉心注水ポンプ	○	○	○	○
		炉心注水(定常運転時)	炉心注水ポンプ	炉心注水ポンプ	○	○	○	○
		炉心注水(定常運転時)	炉心注水ポンプ	炉心注水ポンプ	○	○	○	○
		炉心注水(定常運転時)	炉心注水ポンプ	炉心注水ポンプ	○	○	○	○
		炉心注水(定常運転時)	炉心注水ポンプ	炉心注水ポンプ	○	○	○	○
		炉心注水(定常運転時)	炉心注水ポンプ	炉心注水ポンプ	○	○	○	○
		炉心注水(定常運転時)	炉心注水ポンプ	炉心注水ポンプ	○	○	○	○
		炉心注水(定常運転時)	炉心注水ポンプ	炉心注水ポンプ	○	○	○	○
		炉心注水(定常運転時)	炉心注水ポンプ	炉心注水ポンプ	○	○	○	○
		炉心注水(定常運転時)	炉心注水ポンプ	炉心注水ポンプ	○	○	○	○
14	設備区分	炉心注水(定常運転時)	炉心注水ポンプ	炉心注水ポンプ	○	○	○	○
		炉心注水(定常運転時)	炉心注水ポンプ	炉心注水ポンプ	○	○	○	○
		炉心注水(定常運転時)	炉心注水ポンプ	炉心注水ポンプ	○	○	○	○
		炉心注水(定常運転時)	炉心注水ポンプ	炉心注水ポンプ	○	○	○	○
		炉心注水(定常運転時)	炉心注水ポンプ	炉心注水ポンプ	○	○	○	○
		炉心注水(定常運転時)	炉心注水ポンプ	炉心注水ポンプ	○	○	○	○
		炉心注水(定常運転時)	炉心注水ポンプ	炉心注水ポンプ	○	○	○	○
		炉心注水(定常運転時)	炉心注水ポンプ	炉心注水ポンプ	○	○	○	○
		炉心注水(定常運転時)	炉心注水ポンプ	炉心注水ポンプ	○	○	○	○
		炉心注水(定常運転時)	炉心注水ポンプ	炉心注水ポンプ	○	○	○	○
		炉心注水(定常運転時)	炉心注水ポンプ	炉心注水ポンプ	○	○	○	○
		炉心注水(定常運転時)	炉心注水ポンプ	炉心注水ポンプ	○	○	○	○
		炉心注水(定常運転時)	炉心注水ポンプ	炉心注水ポンプ	○	○	○	○
		炉心注水(定常運転時)	炉心注水ポンプ	炉心注水ポンプ	○	○	○	○
14	設備区分	炉心注水(定常運転時)	炉心注水ポンプ	炉心注水ポンプ	○	○	○	○
		炉心注水(定常運転時)	炉心注水ポンプ	炉心注水ポンプ	○	○	○	○
		炉心注水(定常運転時)	炉心注水ポンプ	炉心注水ポンプ	○	○	○	○
		炉心注水(定常運転時)	炉心注水ポンプ	炉心注水ポンプ	○	○	○	○
		炉心注水(定常運転時)	炉心注水ポンプ	炉心注水ポンプ	○	○	○	○
		炉心注水(定常運転時)	炉心注水ポンプ	炉心注水ポンプ	○	○	○	○
		炉心注水(定常運転時)	炉心注水ポンプ	炉心注水ポンプ	○	○	○	○
		炉心注水(定常運転時)	炉心注水ポンプ	炉心注水ポンプ	○	○	○	○
		炉心注水(定常運転時)	炉心注水ポンプ	炉心注水ポンプ	○	○	○	○
		炉心注水(定常運転時)	炉心注水ポンプ	炉心注水ポンプ	○	○	○	○
		炉心注水(定常運転時)	炉心注水ポンプ	炉心注水ポンプ	○	○	○	○
		炉心注水(定常運転時)	炉心注水ポンプ	炉心注水ポンプ	○	○	○	○
		炉心注水(定常運転時)	炉心注水ポンプ	炉心注水ポンプ	○	○	○	○
		炉心注水(定常運転時)	炉心注水ポンプ	炉心注水ポンプ	○	○	○	○

注1 ○: 重大事故等対処設備(43条) 適用、●: 設備区分(設備区分) 適用、○: 設備区分(設備区分) 適用、○: 設備区分(設備区分) 適用
 注2 ○: 設備区分(設備区分) 適用、○: 設備区分(設備区分) 適用、○: 設備区分(設備区分) 適用、○: 設備区分(設備区分) 適用
 注3 ○: 設備区分(設備区分) 適用、○: 設備区分(設備区分) 適用、○: 設備区分(設備区分) 適用、○: 設備区分(設備区分) 適用
 注4 ○: 設備区分(設備区分) 適用、○: 設備区分(設備区分) 適用、○: 設備区分(設備区分) 適用、○: 設備区分(設備区分) 適用

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		表1 各手順で適用される設備の同種性区分(1/9)																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>項目</th> <th>設備名称</th> <th>設備種別</th> <th>設備種別</th> <th>設備種別</th> <th>設備種別</th> <th>設備種別</th> <th>設備種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">14</td> <td rowspan="10">14-1</td> <td>原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※</td> <td>強制循環ポンプ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系への注水(自然循環システム)※</td> <td>強制循環ポンプ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系への注水(自然循環システム)※</td> <td>強制循環ポンプ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系への注水(自然循環システム)※</td> <td>強制循環ポンプ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系への注水(自然循環システム)※</td> <td>強制循環ポンプ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系への注水(自然循環システム)※</td> <td>強制循環ポンプ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系への注水(自然循環システム)※</td> <td>強制循環ポンプ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系への注水(自然循環システム)※</td> <td>強制循環ポンプ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系への注水(自然循環システム)※</td> <td>強制循環ポンプ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系への注水(自然循環システム)※</td> <td>強制循環ポンプ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">14</td> <td rowspan="10">14-2</td> <td>原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※</td> <td>強制循環ポンプ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※</td> <td>強制循環ポンプ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※</td> <td>強制循環ポンプ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※</td> <td>強制循環ポンプ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※</td> <td>強制循環ポンプ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※</td> <td>強制循環ポンプ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※</td> <td>強制循環ポンプ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※</td> <td>強制循環ポンプ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※</td> <td>強制循環ポンプ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※</td> <td>強制循環ポンプ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">14</td> <td rowspan="10">14-3</td> <td>原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※</td> <td>強制循環ポンプ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※</td> <td>強制循環ポンプ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※</td> <td>強制循環ポンプ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※</td> <td>強制循環ポンプ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※</td> <td>強制循環ポンプ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※</td> <td>強制循環ポンプ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※</td> <td>強制循環ポンプ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※</td> <td>強制循環ポンプ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※</td> <td>強制循環ポンプ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※</td> <td>強制循環ポンプ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">14</td> <td rowspan="10">14-4</td> <td>原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※</td> <td>強制循環ポンプ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※</td> <td>強制循環ポンプ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※</td> <td>強制循環ポンプ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※</td> <td>強制循環ポンプ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※</td> <td>強制循環ポンプ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※</td> <td>強制循環ポンプ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※</td> <td>強制循環ポンプ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※</td> <td>強制循環ポンプ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※</td> <td>強制循環ポンプ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※</td> <td>強制循環ポンプ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	種別	項目	設備名称	設備種別	設備種別	設備種別	設備種別	設備種別	設備種別	14	14-1	原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○	原子炉冷却系への注水(自然循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○	原子炉冷却系への注水(自然循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○	原子炉冷却系への注水(自然循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○	原子炉冷却系への注水(自然循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○	原子炉冷却系への注水(自然循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○	原子炉冷却系への注水(自然循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○	原子炉冷却系への注水(自然循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○	原子炉冷却系への注水(自然循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○	原子炉冷却系への注水(自然循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○	14	14-2	原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○	原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○	原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○	原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○	原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○	原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○	原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○	原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○	原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○	原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○	14	14-3	原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○	原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○	原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○	原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○	原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○	原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○	原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○	原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○	原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○	原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○	14	14-4	原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○	原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○	原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○	原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○	原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○	原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○	原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○	原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○	原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○	原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○	
種別	項目	設備名称	設備種別	設備種別	設備種別	設備種別	設備種別	設備種別																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
14	14-1	原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		原子炉冷却系への注水(自然循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		原子炉冷却系への注水(自然循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		原子炉冷却系への注水(自然循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		原子炉冷却系への注水(自然循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		原子炉冷却系への注水(自然循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		原子炉冷却系への注水(自然循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		原子炉冷却系への注水(自然循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		原子炉冷却系への注水(自然循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		原子炉冷却系への注水(自然循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
14	14-2	原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
14	14-3	原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
14	14-4	原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		原子炉冷却系への注水(強制循環システム)※	強制循環ポンプ	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		<p>注1 ○：基本構造等が同等である。●：基本構造が異なるが、同一設備である。△：設備名称が異なるが、同一設備である。□：設備名称が異なるが、同一設備であるが、記載内容が異なる。</p> <p>注2 ○：設備名称が異なるが、同一設備である。●：設備名称が異なるが、同一設備であるが、記載内容が異なる。</p> <p>注3 ○：設備名称が異なるが、同一設備である。●：設備名称が異なるが、同一設備であるが、記載内容が異なる。</p> <p>注4 ○：基本構造等が異なるが、同一設備である。●：基本構造等が異なるが、同一設備であるが、記載内容が異なる。</p> <p>注5 ○：設備名称が異なるが、同一設備である。●：設備名称が異なるが、同一設備であるが、記載内容が異なる。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																							
表1 各半期で使用される設備の切替区分(6.2)																																																																																																										
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>切替区分</th> <th>項目</th> <th>対応名称</th> <th>設備区分(1)</th> <th>設備区分(2)</th> <th>設備区分(3)</th> <th>設備区分(4)</th> <th>設備区分(5)</th> <th>設備区分(6)</th> <th>設備区分(7)</th> <th>設備区分(8)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">1) 切替</td> <td rowspan="10">重大事故発生時の対応設備</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> </tr> <tr> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> </tr> <tr> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> </tr> <tr> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> </tr> <tr> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> </tr> <tr> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> </tr> <tr> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> </tr> <tr> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> </tr> <tr> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> </tr> <tr> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> </tr> </tbody> </table>				切替区分	項目	対応名称	設備区分(1)	設備区分(2)	設備区分(3)	設備区分(4)	設備区分(5)	設備区分(6)	設備区分(7)	設備区分(8)	1) 切替	重大事故発生時の対応設備	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置
切替区分	項目	対応名称	設備区分(1)	設備区分(2)	設備区分(3)	設備区分(4)	設備区分(5)	設備区分(6)	設備区分(7)	設備区分(8)																																																																																																
1) 切替	重大事故発生時の対応設備	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置																																																																																																
		緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置																																																																																																
		緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置																																																																																																
		緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置																																																																																																
		緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置																																																																																																
		緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置																																																																																																
		緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置																																																																																																
		緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置																																																																																																
		緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置																																																																																																
		緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置																																																																																																
<p>注1) ○：重大事故発生時の対応設備 注2) △：設備名称が異なる 注3) □：設備名称が異なる 注4) ×：設備名称が異なる</p>																																																																																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）



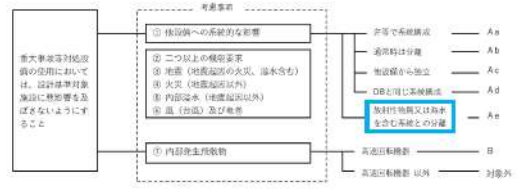
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																							
表7 各炉種で使用される設備の特性区分(%)																																																																																																																																																																																																																																										
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備区分</th> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">設備名称</th> <th colspan="2">泊発電所3号炉</th> <th colspan="2">女川原子力発電所2号炉</th> <th colspan="2">大飯発電所3/4号炉</th> </tr> <tr> <th>設置率(%)</th> <th>適合率(%)</th> <th>設置率(%)</th> <th>適合率(%)</th> <th>設置率(%)</th> <th>適合率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">11-10 炉内安全設備</td> <td rowspan="10">炉内安全設備</td> <td>炉内安全設備</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>炉内安全設備(炉内安全設備)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>炉内安全設備(炉内安全設備)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>炉内安全設備(炉内安全設備)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>炉内安全設備(炉内安全設備)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>炉内安全設備(炉内安全設備)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>炉内安全設備(炉内安全設備)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>炉内安全設備(炉内安全設備)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>炉内安全設備(炉内安全設備)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>炉内安全設備(炉内安全設備)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">11-11 炉内安全設備</td> <td rowspan="10">炉内安全設備</td> <td>炉内安全設備</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>炉内安全設備(炉内安全設備)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>炉内安全設備(炉内安全設備)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>炉内安全設備(炉内安全設備)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>炉内安全設備(炉内安全設備)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>炉内安全設備(炉内安全設備)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>炉内安全設備(炉内安全設備)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>炉内安全設備(炉内安全設備)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>炉内安全設備(炉内安全設備)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>炉内安全設備(炉内安全設備)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">11-12 炉内安全設備</td> <td rowspan="10">炉内安全設備</td> <td>炉内安全設備</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>炉内安全設備(炉内安全設備)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>炉内安全設備(炉内安全設備)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>炉内安全設備(炉内安全設備)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>炉内安全設備(炉内安全設備)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>炉内安全設備(炉内安全設備)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>炉内安全設備(炉内安全設備)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>炉内安全設備(炉内安全設備)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>炉内安全設備(炉内安全設備)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>炉内安全設備(炉内安全設備)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>				設備区分	項目	設備名称	泊発電所3号炉		女川原子力発電所2号炉		大飯発電所3/4号炉		設置率(%)	適合率(%)	設置率(%)	適合率(%)	設置率(%)	適合率(%)	11-10 炉内安全設備	炉内安全設備	炉内安全設備	○	○	○	○	○	○	炉内安全設備(炉内安全設備)	○	○	○	○	○	○	炉内安全設備(炉内安全設備)	○	○	○	○	○	○	炉内安全設備(炉内安全設備)	○	○	○	○	○	○	炉内安全設備(炉内安全設備)	○	○	○	○	○	○	炉内安全設備(炉内安全設備)	○	○	○	○	○	○	炉内安全設備(炉内安全設備)	○	○	○	○	○	○	炉内安全設備(炉内安全設備)	○	○	○	○	○	○	炉内安全設備(炉内安全設備)	○	○	○	○	○	○	炉内安全設備(炉内安全設備)	○	○	○	○	○	○	11-11 炉内安全設備	炉内安全設備	炉内安全設備	○	○	○	○	○	○	炉内安全設備(炉内安全設備)	○	○	○	○	○	○	炉内安全設備(炉内安全設備)	○	○	○	○	○	○	炉内安全設備(炉内安全設備)	○	○	○	○	○	○	炉内安全設備(炉内安全設備)	○	○	○	○	○	○	炉内安全設備(炉内安全設備)	○	○	○	○	○	○	炉内安全設備(炉内安全設備)	○	○	○	○	○	○	炉内安全設備(炉内安全設備)	○	○	○	○	○	○	炉内安全設備(炉内安全設備)	○	○	○	○	○	○	炉内安全設備(炉内安全設備)	○	○	○	○	○	○	11-12 炉内安全設備	炉内安全設備	炉内安全設備	○	○	○	○	○	○	炉内安全設備(炉内安全設備)	○	○	○	○	○	○	炉内安全設備(炉内安全設備)	○	○	○	○	○	○	炉内安全設備(炉内安全設備)	○	○	○	○	○	○	炉内安全設備(炉内安全設備)	○	○	○	○	○	○	炉内安全設備(炉内安全設備)	○	○	○	○	○	○	炉内安全設備(炉内安全設備)	○	○	○	○	○	○	炉内安全設備(炉内安全設備)	○	○	○	○	○	○	炉内安全設備(炉内安全設備)	○	○	○	○	○	○	炉内安全設備(炉内安全設備)	○	○	○	○	○	○
設備区分	項目	設備名称	泊発電所3号炉				女川原子力発電所2号炉		大飯発電所3/4号炉																																																																																																																																																																																																																																	
			設置率(%)	適合率(%)	設置率(%)	適合率(%)	設置率(%)	適合率(%)																																																																																																																																																																																																																																		
11-10 炉内安全設備	炉内安全設備	炉内安全設備	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																		
		炉内安全設備(炉内安全設備)	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																		
		炉内安全設備(炉内安全設備)	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																		
		炉内安全設備(炉内安全設備)	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																		
		炉内安全設備(炉内安全設備)	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																		
		炉内安全設備(炉内安全設備)	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																		
		炉内安全設備(炉内安全設備)	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																		
		炉内安全設備(炉内安全設備)	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																		
		炉内安全設備(炉内安全設備)	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																		
		炉内安全設備(炉内安全設備)	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																		
11-11 炉内安全設備	炉内安全設備	炉内安全設備	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																		
		炉内安全設備(炉内安全設備)	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																		
		炉内安全設備(炉内安全設備)	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																		
		炉内安全設備(炉内安全設備)	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																		
		炉内安全設備(炉内安全設備)	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																		
		炉内安全設備(炉内安全設備)	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																		
		炉内安全設備(炉内安全設備)	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																		
		炉内安全設備(炉内安全設備)	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																		
		炉内安全設備(炉内安全設備)	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																		
		炉内安全設備(炉内安全設備)	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																		
11-12 炉内安全設備	炉内安全設備	炉内安全設備	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																		
		炉内安全設備(炉内安全設備)	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																		
		炉内安全設備(炉内安全設備)	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																		
		炉内安全設備(炉内安全設備)	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																		
		炉内安全設備(炉内安全設備)	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																		
		炉内安全設備(炉内安全設備)	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																		
		炉内安全設備(炉内安全設備)	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																		
		炉内安全設備(炉内安全設備)	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																		
		炉内安全設備(炉内安全設備)	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																		
		炉内安全設備(炉内安全設備)	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																		
<p>注：○：重大事故等対処設備に適合する設備、△：設備特性等適合率40%以上設備、○：設備等適合率10%未満</p> <p>注：○：設備等適合率40%以上設備、△：設備特性等適合率40%以上設備、○：設備等適合率10%未満</p> <p>注：○：設備等適合率40%以上設備、△：設備特性等適合率40%以上設備、○：設備等適合率10%未満</p> <p>注：○：設備等適合率40%以上設備、△：設備特性等適合率40%以上設備、○：設備等適合率10%未満</p> <p>注：○：設備等適合率40%以上設備、△：設備特性等適合率40%以上設備、○：設備等適合率10%未満</p>																																																																																																																																																																																																																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

43条 重大事故等対処設備

大飯発電所3／4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>■設置許可基準規則 第43条 第1項 第5号 重大事故等対処設備の悪影響防止について</p> <p>1. 概要 重大事故等対処設備の基準適合性を確認するに当たり、設置許可基準規則により要求されている項目のうち、重大事故等対処設備の他の設備に対する悪影響の区分及び設計方針について整理した。</p> <p>(1) 基本設計方針 重大事故等対処設備は原子炉施設（他号炉を含む。）内の他の設備（設計基準対象施設だけでなく、当該重大事故等対処設備以外の重大事故等対処設備も含む。）に対して悪影響を及ぼさないよう、以下の措置を講じた設計とする。 他の設備への悪影響としては、他設備への系統的な影響、同一設備の機能的な影響、地震、火災、溢水、風（台風）及び竜巻による影響並びにタービンサイル等の内部発生飛散物による影響を考慮する。 他設備への系統的な影響（電気的な影響を含む。）に対しては、重大事故等対処設備は、他の設備に悪影響を及ぼさないように、弁の閉止等によって、通常時の系統構成から重大事故等対処設備としての系統構成及び系統隔離をすること、通常時の分離された状態から接続により重大事故等対処設備としての系統構成をすること、又は他の設備から独立して単独で使用可能なこと、並びに通常時の系統構成を変えることなく重大事故等対処設備としての系統構成をすることにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>特に放射性物質又は海水を含む系統と、含まない系統を分離する場合は、通常時に確実に閉止し、使用時に通水できるようにディスタンスブースを、又は通常時に確実に取り外し、使用時に取り付けできるようにフレキシブルホースを設けることにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>同一設備の機能的な影響に対しては、重大事故等対処設備は、要求される機能が複数ある場合は、原則、同時に複数の機能で使用しない設計とする。ただし、可搬型重大事故等対処設備のうち、複数の機能を兼用することで、設置の効率化及び被ばく低減を図れるものは、同時に要求される可能性がある複数の機能に必要な容量をあわせて容量とし、兼用できる設計とする。容量の設定根拠については「1.3.2 容量等」に記載する。</p> <p>地震による影響に対しては、重大事故等対処設備は、地震により他設備に悪影響を及ぼさないように、また、地震による火災源及び溢水とならないように、耐震設計を行うとともに、可搬型重大事故等対処設備は、設置場所での固縛又は固定が可能な設計とする。 地震に対する耐震設計については「1.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。</p> <p>地震起因以外の火災による影響に対しては、重大事故等対処設備は、火災発生防止、感知及び消火による火災防護を行う。 火災防護については「1.2 火災による損傷の防止」に示す。</p> <p>地震起因以外の溢水による影響に対しては、想定する重大事故等対処設備の破損等により生じる溢水により、他設備に悪影響を与えない設計とする。 放水砲による建屋への放水により、屋外の設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>風（台風）及び竜巻による影響については、重大事故等対処設備は、外部からの衝撃による損傷の防止が図られた建屋内に設置又は保管することで、他設備に悪影響を及ぼさない設計とする。また、屋外の重大事故等対処設備については、風荷重を考慮し、必要により当該設備の落下防止、転倒防止又は固縛の措置をとり、設計基準事故対処設備（防護対象施設）の他、当該設備と同じ機能を有する他の重大事故等対処設備に悪影響を及ぼさない設計とする（「1.3.3 環境条件等」）。</p>	<p>■設置許可基準規則 第四十三条第1項第五号 悪影響の防止について</p> <p>1. 概要 重大事故等対処設備の基準適合性を確認するに当たり、設置許可基準規則により要求されている項目のうち、重大事故等対処設備の他の設備に対する悪影響を確認するための区分及び設計方針について整理した。</p> <p>(1) 基本設計方針 重大事故等対処設備は、発電用原子炉施設（他号炉を含む。）内の他の設備（設計基準対象施設及び当該重大事故等対処設備以外の重大事故等対処設備）に対して悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>他の設備への悪影響としては、重大事故等対処設備使用時及び待機時の系統的な影響（電気的な影響を含む。）並びにタービンサイル等の内部発生飛散物による影響を考慮し、他の設備の機能に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>系統的な影響に対しては、重大事故等対処設備は、弁等の操作によって設計基準対象施設として使用する系統構成から重大事故等対処設備としての系統構成をすること、重大事故等発生前（通常時）の隔離若しくは分離された状態から弁等の操作や接続により重大事故等対処設備としての系統構成をすること、他の設備から独立して単独で使用可能なこと、設計基準対象施設として使用する場合と同じ系統構成で重大事故等対処設備として使用すること等により、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>また、放水砲については、建屋への放水により、当該設備の使用を想定する重大事故時において必要となる屋外の他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p>	<p>■設置許可基準規則 第43条 第1項 第5号 重大事故等対処設備の悪影響防止について</p> <p>1. 概要 重大事故等対処設備の基準適合性を確認するに当たり、設置許可基準規則により要求されている項目のうち、重大事故等対処設備の他の設備に対する悪影響を確認するための区分及び設計方針について整理した。</p> <p>(1) 基本設計方針 重大事故等対処設備は、発電用原子炉施設（他号炉を含む。）内の他の設備（設計基準対象施設及び当該重大事故等対処設備以外の重大事故等対処設備）に対して悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>他の設備への悪影響としては、重大事故等対処設備使用時及び待機時の系統的な影響（電気的な影響を含む。）、同一設備の機能的な影響、地震、火災、溢水、風（台風）及び竜巻による影響並びにタービンサイル等の内部発生飛散物による影響を考慮する。 系統的な影響に対しては、重大事故等対処設備は、弁等の操作によって設計基準対象施設として使用する系統構成から重大事故等対処設備としての系統構成をすること、重大事故等発生前（通常時）の隔離若しくは分離された状態から弁等の操作や接続により重大事故等対処設備としての系統構成をすること、他の設備から独立して単独で使用可能なこと、設計基準対象施設として使用する場合と同じ系統構成で重大事故等対処設備として使用すること等により、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>特に放射性物質又は海水を含む系統と、含まない系統を接続する場合は、重大事故等発生前（通常時）に確実に隔離し、使用時に通水できるように隔離弁を直列に2個設置するか、重大事故等発生前（通常時）に接続先と分離された状態とすることにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>同一設備の機能的な影響に対しては、重大事故等対処設備は、要求される機能が複数ある場合は、原則、同時に複数の機能で使用しない設計とする。ただし、可搬型重大事故等対処設備のうち、複数の機能を兼用することで、設置の効率化、被ばく低減を図れるものは、同時に要求される可能性がある複数の機能に必要な容量を合わせた容量とし、兼用できる設計とする。容量の設定根拠については「1.3.2 容量等」に記載する。</p> <p>地震による影響に対しては、重大事故等対処設備は、地震により他設備に悪影響を及ぼさないように、また、地震による火災源及び溢水とならないように、耐震設計を行うとともに、可搬型重大事故等対処設備は、転倒しないことを確認するか又は固縛等による固定が可能な設計とする。 耐震設計については「1.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。</p> <p>地震起因以外の火災による影響に対しては、重大事故等対処設備は、火災発生防止、感知及び消火による火災防護を行う。 火災防護については「1.2 火災による損傷の防止」に示す。</p> <p>地震起因以外の溢水による影響に対しては、想定する重大事故等対処設備の破損等により生じる溢水により、他設備に悪影響を及ぼさない設計とする。 また、放水砲については、建屋への放水により、当該設備の使用を想定する重大事故時において必要となる屋外の他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>風（台風）及び竜巻による影響については、重大事故等対処設備は、外部からの衝撃による損傷の防止が図られた建屋内に設置又は保管することで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。又は風荷重による浮上がり及び横滑りを考慮し、必要により当該設備の落下防止、転倒防止、固縛の措置をとり、屋外に設置又は保管することで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>屋外の可搬型重大事故等対処設備は、他の設備との離隔距離及び保管場所の位置関係を考慮し、必要により固縛の措置をとり、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p>	<p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本箇所からの設計方針（放水砲の影響を除く）は、悪影響防止の観点で考慮事項として設定している設計方針である（大飯と同様）。 ・但し各段落の末尾に記載のとおり、他要求事項の適合方針として策定することで、本項（悪影響防止）の設計方針としても有効な内容である。 ・屋外保管のSA設備は、竜巻影響を考慮した飛散防止固縛することで、他設備に悪影響を与えない方針としている。飛散防止固縛をした状態で竜巻被害を受けた場合、機能維持することはできにいが、屋外保管設備をすべて飛散防止固縛しておくことで共通要因故障防止も図る設計方針である。ただし、共通要因故障防止は位置的分散にて達成する設計方針としている。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>内部発生飛散物による影響に対しては、内部発生エネルギーの高い流体を内蔵する機器、高速回転機器の破損、ガス爆発及び重量機器の落下を考慮する。重大事故等対処設備としては、内部発生エネルギーの高い流体を内蔵する機器、爆発性ガスを内包する機器及び落下を考慮すべき重量機器はないが、高速回転機器については、飛散物とならない設計とする。</p> <p>(2) 類型化の考え方</p> <p>a. 考慮事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 系統設計的考慮事項 <ul style="list-style-type: none"> ① 他設備への系統的な影響 ② 同一設備の機能的な影響（複数の機能要求） ○ 配置設計的考慮事項 <ul style="list-style-type: none"> ③ 地震による影響（地震起因の火災、溢水含む） ④ 火災による影響（地震起因以外） ⑤ 内部溢水による影響（地震起因以外） ⑥ 風（台風）及び竜巻 ○ その他の考慮事項 <ul style="list-style-type: none"> ⑦ 内部発生飛散物による影響 <p>b. 類型化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 悪影響防止については、①～⑥は同時に考慮すべき事項として考慮事項をA項目として類型化した。 また、内部発生飛散物について考慮する。 	<p>内部発生飛散物による影響に対しては、内部発生エネルギーの高い流体を内蔵する弁及び配管の破断、高速回転機器の破損、ガス爆発並びに重量機器の落下を考慮し、重大事故等対処設備がタービンミサイル等の発生源となることを防ぐことで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>(2) 類型化の考え方</p> <p>a. 考慮事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 系統設計的考慮事項 <ul style="list-style-type: none"> ① 系統的な影響 ・ その他の考慮事項 <ul style="list-style-type: none"> ② 内部発生飛散物による影響 <p>b. 類型化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ①については、「Aa」～「Ae」に分類し考慮する。 ・ ②については、内部発生エネルギーの高い流体を内蔵する機器を「Ba」、タービンを有する高速回転機器を「Bb」と分類し考慮する。 	<p>るとともに、固縛により当該重大事故等対処設備の操作性等に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>内部発生飛散物による影響に対しては、内部発生エネルギーの高い流体を内蔵する弁及び配管の破断、高速回転機器の破損、ガス爆発並びに重量機器の落下を考慮し、重大事故等対処設備がタービンミサイル等の発生源となることを防ぐことで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>2) 類型化の考え方</p> <p>a. 考慮事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 系統設計的考慮事項 <ul style="list-style-type: none"> ① 系統的な影響 ② 同一設備の機能的な影響（複数の機能要求） ○ 配置設計的考慮事項 <ul style="list-style-type: none"> ③ 地震による影響（地震起因の火災、溢水含む） ④ 火災による影響（地震起因以外） ⑤ 内部溢水による影響（地震起因以外） ⑥ 風（台風）及び竜巻 ○ その他の考慮事項 <ul style="list-style-type: none"> ⑦ 内部発生飛散物による影響 <p>b. 類型化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 悪影響防止については、①～⑥は同時に考慮すべき事項として考慮事項を設定し、①系統設計としての考慮事項についてはA項目として、Aa～Aeに分類し類型化した。 また、⑦内部発生飛散物について考慮する。 	<p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 泊の①及び②と女川の①及び②は同一の設計方針であり、相違していない。 ・ 前ページ相違理由に記載のとおり、他要求事項への適合方針として実施する悪影響防止策についても、②～⑥として類型化し整理している（大飯と同様）

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

43条 重大事故等対処設備

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由	
2. 設計方針について 【要求事項：工場等内の他の設備に対して悪影響を及ぼさないものであること。】 (1) 各考慮事項に対する設計方針は以下のとおり。 ①～⑥ 系統的な影響、機能的な影響、地震、溢水、火災、風（台風）及び竜巻		2. 設計方針について 【要求事項：工場等内の他の設備に対して悪影響を及ぼさないものであること。】 (1) 各考慮事項に対する設計方針は以下のとおり。 ① 系統的な影響		2. 設計方針について 【要求事項：工場等内の他の設備に対して悪影響を及ぼさないものであること。】 (1) 各考慮事項に対する設計方針は以下のとおり。 ①～⑥ 系統的な影響、機能的な影響、地震、溢水、火災、風（台風）及び竜巻			
系統設計の考慮事項	項目	常設SA設備 屋外 屋内	可搬型SA設備 屋外 屋内	類型化区分	重大事故等対処設備		
	系統的な影響	悪影響を及ぼさないよう以下の設計とする。 ・通常時の系統構成を変えることなく重大事故等時としての系統構成ができる。 ・通常時又は重大事故等時の系統構成から重大事故等対処設備としての系統構成及び系統隔離ができる。 ・通常時の分離された状態から接続することで重大事故等対処設備としての系統構成ができる。 ・他の設備から独立して単独で使用が可能。 特に放射性物質又は海水を含む系統と、含まない系統を分離する場合は、通常時に確実に閉止し、使用時に通水できるようにディスタンスレースを、又は通常時に確実に取り外し、使用時に取り付けできるようにフレキシブルホースを設けることにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。	他の系統へ悪影響を及ぼさない系統構成が可能なよう以下のいずれかの設計とする。 ・通常時の系統構成から、弁等の操作によって重大事故等対処設備としての系統構成が可能な設計とする。 ・通常時の隔離又は分離された状態から、弁等の操作や接続により重大事故等対処設備としての系統構成が可能な設計とする。 ・他の設備から独立して単独で使用可能な設計とする。 ・設計基準対象施設として使用する場合と同じ系統構成で使用可能な設計とする。 ・上記のいずれにも該当しない場合は、設備ごとの設計により他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。	系統設計の考慮事項	系統的な影響	他の系統へ悪影響を及ぼさない系統構成が可能なよう以下のうちいずれかの設計とする。 ・通常時の系統構成から、弁等の操作によって重大事故等対処設備としての系統構成が可能な設計とする。 ・通常時の分離された状態から、弁等の操作や接続により重大事故等対処設備としての系統構成ができる。 ・他の設備から独立して単独で使用可能な設計とする。 ・設計基準対象施設として使用する場合と同じ系統構成で使用可能な設計とする。 ・特に放射性物質又は海水を含む系統と、含まない系統を接続する場合は、通常時に確実に隔離し、使用時に通水できるように隔離弁を直列に2個設置するか、通常時に接続先と分離された状態とすることにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。	
機能設計の考慮事項	機能的な影響	兼用 共用	兼用 共用	機能的な影響	兼用 共用	機能的な影響 共用	
	地震による他設備への影響 (地震起因の火災、溢水を含む)	第39条(地震による損傷の防止)に基づく設計とする。	第39条(地震による損傷の防止)に基づく設計とする。設置場所での固縛又は固定が可能な設計とする。	地震による他設備への影響 (地震起因の火災、溢水を含む)	第39条(地震による損傷の防止)に基づく設計とする。転倒しないことを確認するか又は固縛等による固定が可能な設計とする。	地震による他設備への影響 (地震起因の火災、溢水を含む)	第39条(地震による損傷の防止)に基づく設計とする。
配置設計の考慮事項	地震起因以外の火災による影響	第41条(火災による損傷の防止)に示す設計とする。	第41条(火災による損傷の防止)に示す火災防護を行う。	地震起因以外の火災による影響	第41条(火災による損傷の防止)に示す設計とする。	地震起因以外の火災による影響	第41条(火災による損傷の防止)に示す火災防護を行う。
	地震起因以外の溢水による影響	第9条(溢水による損傷の防止等)に基づき設計すること、他の設備へ悪影響を及ぼさない設計とする。	想定する重大事故等対処設備の破損等により生じる溢水により、他設備に悪影響を与えない設計とする。	地震起因以外の溢水による影響	想定する重大事故等対処設備の破損等により生じる溢水により、他設備に悪影響を及ぼさない設計とする。	地震起因以外の溢水による影響	想定する重大事故等対処設備の破損等により生じる溢水により、他設備に悪影響を及ぼさない設計とする。
外部火災	風(台風)竜巻	第6条(外部からの衝撃による損傷の防止)に基づき設計すること、竜巻防護対象設備に悪影響を及ぼさない設計とする。	第6条(外部からの衝撃による損傷の防止)に基づき設計された建屋内に設置することで他設備に悪影響を及ぼさない設計とする。	風(台風)竜巻	第6条(外部からの衝撃による損傷の防止)に基づき設計された建屋内に設置することで他設備に悪影響を及ぼさない設計とする。①1.2.3 環境条件等。]	風(台風)竜巻	第6条(外部からの衝撃による損傷の防止)に基づき設計された建屋内に設置することで他設備に悪影響を及ぼさない設計とする。
	落雷	系統的な影響を含む。(系統分離)	系統的な影響を含む。(系統分離)	落雷	系統的な影響を含む。(系統分離)	落雷	系統的な影響を含む。(系統分離)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
① 内部発生飛散物		② 内部発生飛散物による影響		① 内部発生飛散物		
項目	設計方針	項目	設計方針	項目	設計方針	記載方針の相違 ・泊は、内部発生飛散物となりうる「内部発生エネルギーの高い流体を内蔵する弁及び配管」に該当するSA設備を新設していないが、高圧ガス保安法に適合する容器を使用する方針等は同じである。
内部発生エネルギーの高い流体を内蔵する弁及び配管の破断	内部発生エネルギーの高い流体を内蔵する機器はない。	内部発生エネルギーの高い流体を内蔵する弁及び配管の破断	内部発生エネルギーの高い流体を内蔵する弁及び配管について、十分な強度を有する設計とする。 ポンベは高圧ガス保安法に適合する容器弁により飛散物が発生しないものとする。	内部発生エネルギーの高い流体を内蔵する弁及び配管の破断	内部発生エネルギーの高い流体を内蔵する弁及び配管はない。 内部発生エネルギーの高い流体を内蔵する弁及び配管について、十分な強度を有する設計とする。 ポンベは高圧ガス保安法に適合する容器弁により飛散物が発生しないものとする。	
高速回転機器の破損	飛散物とならない設計とする。	高速回転機器	飛散物とならない設計とする。	高速回転機器の破損	飛散物とならない設計とする。	
ガス爆発	爆発性のガスを内包する機器はない。	ガス爆発	爆発性のガスを内包する機器は設置しない。	ガス爆発	爆発性のガスを内包する機器はない。	
重量機器の落下	落下により他の設備に悪影響を与えるような重量機器はない。	重量機器の落下	落下により他の設備に悪影響を与えるような重量機器は設置しない。	重量機器の落下	落下により他の設備に悪影響を与えるような重量機器はない。	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）




43条 重大事故等対処設備

大飯発電所3/4号炉				女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由	
各区分における設計方針について、以下の表にまとめた。				(2) 区分における設計方針について、以下の表にまとめた。				各区分における設計方針について、以下の表にまとめた。					
影響評価項目	設計方針	エビデンス	備考	類型化区分	設計方針	関連資料		影響評価項目	設計方針	関連資料	備考		
系統設計の考慮事項	① (他設備への系統的な影響)	・非の閉止等によって、通常時の系統構成から重大事故等対処設備としての系統構成及び系統隔離をすること、通常時の分離された状態から接続により重大事故等対処設備としての系統構成をすること、又は他の設備から独立して単独で使用可能なこと、並びに通常時の系統構成を変更することなく重大事故等対処設備としての系統構成をすることにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。 ・特に放射性物質又は海水を含む系統と含まない系統を分離する場合は、通常時に確実に閉止し、使用時に通水できるようにディスタンスベースを、又は通常時に確実に取り外し、使用時に取り付けできるようにフランシスバルブホースを設けることにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。 (系統構成可能・系統分離)	系統図 配置図	①系統的な影響	Aa 弁等の操作で系統構成 通常時の系統構成から、弁等の操作によって重大事故等対処設備としての系統構成が可能な設計とする。 Ab 通常時は隔離又は分離 通常時の隔離又は分離された状態から、弁等の操作や接続により重大事故等対処設備としての系統構成が可能な設計とする。 Ac 他設備から独立 他の設備から独立して単独で使用可能な設計とする。 Ad DB施設と同じ系統構成 設計基準対象施設として使用する場合と同じ系統構成で使用可能な設計とする。 Ae その他 設備ごとの設計により他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。	系統図 配置図		① (他設備への系統的な影響)	Aa: 弁等で系統構成 ・通常時の系統構成から、弁等の操作によって重大事故等対処設備としての系統構成が可能な設計とする。 Ab: 通常時は隔離 ・通常時の隔離又は分離された状態から接続により重大事故等対処設備としての系統構成が可能な設計とする。 Ac: 他設備から独立 ・他の設備から独立して単独で使用可能とする。 Ad: DBと同系統構成 ・設計基準対象施設として使用する場合と同じ系統構成で使用可能な設計とする。 Ae: 放射線物質又は海水を含む系統との分離 ・特に放射性物質又は海水を含む系統と含まない系統を接続する場合は、通常時に確実に隔離し、使用時に通水できるように隔離弁を直列に2個設置するか、通常時に接続先と分離された状態とすることにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。 (系統分離)	系統図 配置図			
	② (同一設備の機能的な影響：二つ以上の機能要求)	要求される機能が複数ある場合は、原則、同時に複数の機能が使用しない設計とする。ただし、可搬型重大事故等対処設備のうち、複数の機能を兼用するものは、同時に要求される可能性のある複数の機能に必要な容量を合わせた容量とし、兼用できる設計とする。 (容量の兼用) 容量の設定根拠については、「1.3.2 容量等」に記載する。	容量設定根拠	②内部発生飛散物による影響	Ba 内部発生エネルギーの高い流体を内蔵する機器 内部発生エネルギーの高い流体を内蔵する弁及び配管について、十分な強度を有する設計とする。 Bb 高速回転機器 タービン等が破損により飛散することがないように設計する。 対象外 -	(強度計算書) 構造図		② (同一設備の機能的な影響：二つ以上の機能要求)	要求される機能が複数ある場合は、原則、同時に複数の機能が使用しない設計とする。ただし、可搬型重大事故等対処設備のうち、複数の機能を兼用することで、設置の効率化、被ばく低減を図れるものは、同時に要求される可能性のある複数の機能に必要な容量を合わせた容量とし、兼用できる設計とする。 (容量の兼用) 容量の設定根拠については、「1.3.2 容量等」に記載する。	容量設定根拠			
配置設計の考慮事項	③ (地震)	地震により他設備に悪影響を及ぼさないように、また、地震による火災源、溢水等とならない設計とする。可搬型重大事故等対処設備は、設置場所での固縛又は固定が可能な設計とする。 (第39条 地震による損傷の防止)	(地震、溢水、火災により他設備へ影響を及ぼさない)	比較のため次頁へ転記 ※ 個別条文へ記載する事項を下波線で示す				③ (地震)	地震により他設備に悪影響を及ぼさないように、また、地震による火災源及び溢水等とならないように、新設計を行うとともに、可搬型重大事故等対処設備は、転倒しないことを確認するか又は固縛等による固定が可能な設計とする。 (第39条 地震による損傷の防止)				
	④ (火災)	・地震起因以外の火災 火災発生防止、感知、消火による火災防護ができる設計とする。 (第41条 火災による損傷の防止)						④ (火災)	・地震起因以外の火災 火災発生防止、感知及び消火による火災防護ができる設計とする。 (第41条 火災による損傷の防止)				
	⑤ (内部溢水)	・地震起因以外の溢水 地震起因以外の溢水による影響に対しては、想定する重大事故等対処設備の破損等により生じる溢水により、他設備に悪影響を与えない設計とする。放水砲による建屋への放水により、屋外の設計基準対象施設及び重大事故等対処設備に悪影響を及ぼさない設計とする。						⑤ (内部溢水)	・地震起因以外の溢水 地震起因以外の溢水による影響に対しては、想定する重大事故等対処設備の破損等により生じる溢水により、他設備に悪影響を及ぼさない設計とする。放水砲については、建屋への放水により、当該設備の使用を想定する重大事故時において必要となる屋外の他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。		(地震、溢水、火災により他設備へ影響を及ぼさない)		
	⑥ (風(台風、竜巻))	外部からの衝撃による損傷の防止が図られた建屋内に設置又は保管することで、他設備に悪影響を及ぼさない設計とする。 また、屋外の重大事故等対処設備については、風荷重を考慮し、必要により当該設備の落下防止、転倒防止又は固縛の措置をとり、設計基準事故等対処設備(防護対象施設)の他、当該設備と同じ機能を有する他の重大事故等対処設備に悪影響を及ぼさない設計とする(「1.3.3 環境条件等」)。						⑥ (風(台風、竜巻))	・風(台風)及び竜巻(屋内) 外部からの衝撃による損傷の防止が図られた建屋内に設置又は保管することで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。 ・風(台風)及び竜巻(屋外) 風荷重による浮上り及び横滑りを考慮し、必要により当該設備の落下防止、転倒防止、固縛の措置をとり、屋外に設置又は保管することで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。 可搬型重大事故等対処設備は、他の設備との離隔距離及び保管場所の位置関係を考慮し、必要により固縛の措置をとる設計とする。				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉				女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由		
影響評価項目		設計方針	エビデンス	備考	類型化区分		設計方針	関連資料	影響評価項目		設計方針	関連資料	備考	
I	⑦（内部発生飛散物）	高速回転機器は、飛散物とならない設計とする。	評価書		②内部発生飛散物	B a	内部発生エネルギーの高い流体を内蔵する機器及び配管について、十分な強度を有する設計とする。	(強度計算書)	B	⑦（内部発生飛散物）	Ba :	内部発生エネルギーの高い流体を内蔵する弁及び配管の破断、高速回転機器の破損、ガス爆発並びに重量機器の落下を考慮する。内部発生エネルギーの高い流体を内蔵する弁及び配管、爆発性ガスを内包する機器及び落下を考慮すべき重量機器はないが、高速回転機器については、変更許可申請以前から設計基準対象施設として設置している高速回転機器は、基準規則の要求事項に変更がないため、影響評価の対象外とする。	構造図	
						B b	タービン等が破損により飛散することがないように設計する。	構造図						
						対象外	—	—						

記載方針の相違
 ・具体的に設置を検討するSA設備の構造等により、低圧側配管のみが対象となるPWRに対し、高圧・高圧流体を扱う配管を新規配管を設置するBWRでは、類型化し具体的な設計考慮を要する項目に相違が生じているが、考慮する事項には相違はない。

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																												
<p>■設置許可基準規則 第43条 第1項 第6号 設置場所について</p> <p>1. 概要 重大事故等対処設備の基準適合性を確認するに当たり、設置許可基準規則により要求されている項目のうち、設置場所の区分及び設計方針について整理した。</p> <p>(1) 基本設計方針 重大事故等対処設備の設置場所は、想定される重大事故等が発生した場合においても操作及び復旧作業に支障がないように、遮蔽の設置や線源からの離隔距離により放射線量が高くなるおそれの少ない場所を選定し、設置場所で操作可能な設計とする。 放射線量が高くなるおそれがある場合は、追加の遮蔽の設置により設置場所で操作可能な設計とするか、放射線の影響を受けない異なる区画（フロア）又は離れた場所から遠隔で、若しくは中央制御室遮蔽区域内である中央制御室から操作可能な設計とする。</p> <p>(2) 類型化の考え方 a. 考慮事項 ・放射線の影響 b. 類型化 ・操作の有無で分類を行い、操作（復旧作業を含む。以下同じ。）不要な設備は「C」として分類。 ・中央制御室遮蔽区域の内か外かで分類し、放射線の影響を受ける中央制御室外の現場で操作を行う設備は「A」として分類。 ・現場操作を行う「A」分類の設備において、放射線量が高くなるおそれの少ない場合を「a」、高くなるおそれがある場合については、追加の遮蔽設置によるものを「b」、遠隔操作によるものを「c」として分類。 ・放射線の影響を考慮した設計を行っている中央制御室遮蔽区域である中央制御室での遠隔操作可能な設備は「B」として分類。</p>  <p>2. 設計方針について 【要求事項：想定される重大事故等が発生した場合において重大事故等対処設備の操作及び復旧作業を行うことができるよう、放射線量が高くなるおそれの少ない設置場所の選定、設置場所への遮蔽物の設置その他の適切な措置を講じたものであること。】 各区分における設計方針について、以下の表にまとめた。</p> <table border="1" data-bbox="100 1085 672 1404"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>設計方針</th> <th>エビデンス</th> <th>パターン</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">A 現場操作</td> <td>a. 遮蔽の設置や線源からの離隔距離により放射線量が高くなるおそれの少ない場所を選定し、設置場所で操作可能な設計とする。</td> <td>配置図</td> <td>Aa</td> <td></td> </tr> <tr> <td>b. 放射線量が高くなるおそれがある場合は、追加の遮蔽の設置により設置場所で操作可能な設計とする。</td> <td>配置図</td> <td>Ab</td> <td></td> </tr> <tr> <td>c. 放射線量が高くなるおそれがある場合は、放射線の影響を受けない異なる区画（フロア）又は離れた場所から遠隔で操作可能な設計とする。</td> <td>配置図</td> <td>Ac</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B 中央制御室操作</td> <td>中央制御室遮蔽区域内である中央制御室から操作可能な設計とする。</td> <td>—</td> <td>B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C 操作不要</td> <td>設備の操作の必要がない機器（静的機器）については、設置場所に係る設計上の配慮は必要ない。</td> <td>仕様表</td> <td>C</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	設計方針	エビデンス	パターン	備考	A 現場操作	a. 遮蔽の設置や線源からの離隔距離により放射線量が高くなるおそれの少ない場所を選定し、設置場所で操作可能な設計とする。	配置図	Aa		b. 放射線量が高くなるおそれがある場合は、追加の遮蔽の設置により設置場所で操作可能な設計とする。	配置図	Ab		c. 放射線量が高くなるおそれがある場合は、放射線の影響を受けない異なる区画（フロア）又は離れた場所から遠隔で操作可能な設計とする。	配置図	Ac		B 中央制御室操作	中央制御室遮蔽区域内である中央制御室から操作可能な設計とする。	—	B		C 操作不要	設備の操作の必要がない機器（静的機器）については、設置場所に係る設計上の配慮は必要ない。	仕様表	C		<p>■設置許可基準規則 第四十三条第1項 第六号 重大事故等対処設備の設置場所について</p> <p>1. 概要 重大事故等対処設備の基準適合性を確認するに当たり、設置許可基準規則により要求されている項目のうち、設置場所を確認するための区分及び設計方針について整理した。</p> <p>(1) 基本設計方針 重大事故等対処設備は、想定される重大事故等が発生した場合においても操作及び復旧作業に支障がないように、放射線量の高くなるおそれの少ない設置場所の選定、当該設備の設置場所への遮蔽の設置等により当該設備の設置場所で操作可能な設計、放射線の影響を受けない異なる区画若しくは離れた場所から遠隔で操作可能な設計、又は中央制御室遮蔽区域内である中央制御室から操作可能な設計とする。</p> <p>(2) 類型化の考え方 a. 考慮事項 ・放射線の影響 b. 類型化 ・操作（復旧作業を含む。以下同じ。）の有無で分類を行い、操作が必要な設備を「A」又は「B」に、操作不要な設備を「対象外」として分類。 ・中央制御室遮蔽区域の内外で分類し、放射線の影響を受ける中央制御室外で現場操作を行う設備を「A」として分類し、設置場所で操作可能な設備を「a」、離れた場所から操作可能な設備を「b」として分類。 ・放射線の影響を考慮した設計を行っている中央制御室遮蔽区域内である中央制御室から操作可能な設備を「B」として分類。</p>  <p>2. 設計方針について 【要求事項：想定される重大事故等が発生した場合において重大事故等対処設備の操作及び復旧作業を行うことができるよう、放射線量が高くなるおそれの少ない設置場所の選定、設置場所への遮蔽物の設置その他の適切な措置を講じたものであること。】 各区分における設計方針について、以下の表にまとめた。</p> <table border="1" data-bbox="739 1085 1310 1404"> <thead> <tr> <th>類型化区分</th> <th>設計方針</th> <th>関連資料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">A 現場操作</td> <td>A a 現場（設置場所）で操作可能 ○現場操作（設置場所） 放射線量の高くなるおそれの少ない場所の選定、当該設備の設置場所への遮蔽の設置等により当該設備の設置場所（使用場所）で操作可能な設計とする。</td> <td>配置図 接続図</td> </tr> <tr> <td>A b 現場（遠隔）で操作可能 ○現場操作（遠隔） 放射線の影響を受けない離れた場所から遠隔で操作可能な設計とする。</td> <td>配置図 接続図</td> </tr> <tr> <td>B 中央制御室操作</td> <td>○中央制御室操作 中央制御室遮蔽区域内である中央制御室から操作可能な設計とする。</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>対象外 操作不要</td> <td>○対象外（操作不要） 操作不要な設備については、設置場所に係る設計上の配慮はない。</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 個別条文中に記載する事項を下部で示す</p>	類型化区分	設計方針	関連資料	A 現場操作	A a 現場（設置場所）で操作可能 ○現場操作（設置場所） 放射線量の高くなるおそれの少ない場所の選定、当該設備の設置場所への遮蔽の設置等により当該設備の設置場所（使用場所）で操作可能な設計とする。	配置図 接続図	A b 現場（遠隔）で操作可能 ○現場操作（遠隔） 放射線の影響を受けない離れた場所から遠隔で操作可能な設計とする。	配置図 接続図	B 中央制御室操作	○中央制御室操作 中央制御室遮蔽区域内である中央制御室から操作可能な設計とする。	—	対象外 操作不要	○対象外（操作不要） 操作不要な設備については、設置場所に係る設計上の配慮はない。	—	<p>■設置許可基準規則 第43条 第1項 第6号 設置場所について</p> <p>1. 概要 重大事故等対処設備の基準適合性を確認するに当たり、設置許可基準規則により要求されている項目のうち、設置場所の区分及び設計方針について整理した。</p> <p>(1) 基本設計方針 重大事故等対処設備の設置場所は、想定される重大事故等が発生した場合においても操作及び復旧作業に支障がないように、放射線量が高くなるおそれの少ない場所の選定、当該設備の設置場所への遮蔽の設置等により当該設備の設置場所で操作可能な設計、放射線の影響を受けない異なる区画若しくは離れた場所から遠隔で操作可能な設計、又は中央制御室遮蔽区域内である中央制御室から操作可能な設計とする。</p> <p>(2) 類型化の考え方 a. 考慮事項 ・放射線の影響 b. 類型化 ・操作（復旧作業を含む。以下同じ。）の有無で分類を行い、操作が必要な設備を「A」又は「B」に、操作不要な設備は「対象外」として分類。 ・中央制御室遮蔽区域の内外で分類し、放射線の影響を受ける中央制御室外で現場操作を行う設備は「A」として分類。 ・現場操作を行う「A」分類の設備において、放射線量が高くなるおそれの少ない場合を「a」、高くなるおそれがある場合を「b」として分類。 ・放射線の影響を考慮した設計を行っている中央制御室遮蔽区域である中央制御室から操作可能な設備は「B」として分類。</p>  <p>2. 設計方針について 【要求事項：想定される重大事故等が発生した場合において重大事故等対処設備の操作及び復旧作業を行うことができるよう、放射線量が高くなるおそれの少ない設置場所の選定、設置場所への遮蔽物の設置その他の適切な措置を講じたものであること。】 各区分における設計方針について、以下の表にまとめた。</p> <table border="1" data-bbox="1366 1085 1937 1404"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>設計方針</th> <th>関連資料</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">A 現場操作</td> <td>a. 現場操作（設置場所） 放射線量が高くなるおそれの少ない場所の選定、当該設備の設置場所への遮蔽の設置等により当該設備の設置場所（使用場所）で操作可能な設計とする。</td> <td>配置図 接続図</td> <td></td> </tr> <tr> <td>b. 現場操作（遠隔） 放射線の影響を受けない離れた場所から遠隔で操作可能な設計とする。</td> <td>配置図 接続図</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B 中央制御室操作</td> <td>中央制御室遮蔽区域内である中央制御室から操作可能な設計とする。</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(対象外) 操作不要</td> <td>操作不要な設備については、設置場所に係る設計上の配慮はない。</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	設計方針	関連資料	備考	A 現場操作	a. 現場操作（設置場所） 放射線量が高くなるおそれの少ない場所の選定、当該設備の設置場所への遮蔽の設置等により当該設備の設置場所（使用場所）で操作可能な設計とする。	配置図 接続図		b. 現場操作（遠隔） 放射線の影響を受けない離れた場所から遠隔で操作可能な設計とする。	配置図 接続図		B 中央制御室操作	中央制御室遮蔽区域内である中央制御室から操作可能な設計とする。	—		(対象外) 操作不要	操作不要な設備については、設置場所に係る設計上の配慮はない。	—	
区分	設計方針	エビデンス	パターン	備考																																																											
A 現場操作	a. 遮蔽の設置や線源からの離隔距離により放射線量が高くなるおそれの少ない場所を選定し、設置場所で操作可能な設計とする。	配置図	Aa																																																												
	b. 放射線量が高くなるおそれがある場合は、追加の遮蔽の設置により設置場所で操作可能な設計とする。	配置図	Ab																																																												
	c. 放射線量が高くなるおそれがある場合は、放射線の影響を受けない異なる区画（フロア）又は離れた場所から遠隔で操作可能な設計とする。	配置図	Ac																																																												
B 中央制御室操作	中央制御室遮蔽区域内である中央制御室から操作可能な設計とする。	—	B																																																												
C 操作不要	設備の操作の必要がない機器（静的機器）については、設置場所に係る設計上の配慮は必要ない。	仕様表	C																																																												
類型化区分	設計方針	関連資料																																																													
A 現場操作	A a 現場（設置場所）で操作可能 ○現場操作（設置場所） 放射線量の高くなるおそれの少ない場所の選定、当該設備の設置場所への遮蔽の設置等により当該設備の設置場所（使用場所）で操作可能な設計とする。	配置図 接続図																																																													
	A b 現場（遠隔）で操作可能 ○現場操作（遠隔） 放射線の影響を受けない離れた場所から遠隔で操作可能な設計とする。	配置図 接続図																																																													
B 中央制御室操作	○中央制御室操作 中央制御室遮蔽区域内である中央制御室から操作可能な設計とする。	—																																																													
対象外 操作不要	○対象外（操作不要） 操作不要な設備については、設置場所に係る設計上の配慮はない。	—																																																													
区分	設計方針	関連資料	備考																																																												
A 現場操作	a. 現場操作（設置場所） 放射線量が高くなるおそれの少ない場所の選定、当該設備の設置場所への遮蔽の設置等により当該設備の設置場所（使用場所）で操作可能な設計とする。	配置図 接続図																																																													
	b. 現場操作（遠隔） 放射線の影響を受けない離れた場所から遠隔で操作可能な設計とする。	配置図 接続図																																																													
B 中央制御室操作	中央制御室遮蔽区域内である中央制御室から操作可能な設計とする。	—																																																													
(対象外) 操作不要	操作不要な設備については、設置場所に係る設計上の配慮はない。	—																																																													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

43条 重大事故等対処設備

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>■設置許可基準規則 第43条 第2項 第1号 常設重大事故等対処設備の容量等について</p> <p>1. 概要 重大事故等対処設備の基準適合性を確認するに当たり、設置許可基準規則により要求されている項目のうち、常設重大事故等対処設備の容量の適合性を確認するための区分及び設計方針について整理した。</p> <p>(1) 基本設計方針 常設重大事故等対処設備は、想定される重大事故等の取束において、想定する事象及びその事象の進展等を考慮し、重大事故等時に必要な目的を果たすために、事故対応手段としての系統設計を行う。重大事故等の取束は、これらの系統の組合せにより達成する。</p> <p>「容量等」とは、必要となる機器のポンプ流量、タンク容量、ビット容量、伝熱容量、弁放出流量及び発電機容量並びに計装設備の計測範囲及び作動信号の設定値とする。</p> <p>事故対応手段の系統設計において、常設重大事故等対処設備のうち異なる目的を持つ設計基準事故対処設備の系統及び機器を使用するものについては、設計基準事故対処設備の容量等の仕様、系統の目的に応じて必要となる容量等の仕様に対して十分であることを確認した上で、設計基準事故対処設備の容量等の仕様と同仕様の設計とする。</p> <p>常設重大事故等対処設備のうち設計基準事故対処設備の系統及び機器を使用するもので、重大事故等時に設計基準事故対処設備の容量等を補う必要があるものについては、その後の事故対応手段とあわせて、系統の目的に応じて必要となる容量等を有する設計とする。</p> <p>常設重大事故等対処設備のうち設計基準事故対処設備以外の系統及び機器を使用するものについては、常設重大事故等対処設備単独で、系統の目的に応じて必要となる容量等を有する設計とする。</p> <p>(2) 類型化 a. 考慮事項 ・ 使用条件を踏まえた系統設計 ①圧力、②配管圧損、③温度について、設備仕様により考慮する。 ・ ④DBA 設備との容量比較 ・ ⑤補給による追加手段 ・ その他、設備ごとの考慮事項があれば、必要により個別設備の設計方針に加える。</p> <p>b. 類型化 ・ 常設重大事故等対処設備のうち異なる目的を持つ設計基準事故対処設備の系統及び機器を使用するものについては、設計基準事故対処設備の容量等の仕様、想定される重大事故等の取束に必要な容量等の仕様に対して十分であることを評価にて確認した上で、設計基準事故対処設備の容量等の仕様と同仕様の設計とし「A」と分類する。 ・ 常設重大事故等対処設備のうち設計基準事故対処設備の系統及び機器を使用するもので、重大事故等時に設計基準事故対処設備の容量等を補う必要があるものについては、その後の事故対応手段とあわせて想定される重大事故等の取束に必要な容量等を有する設計とし「B」と分類する。 ・ 設計基準事故対処設備以外の系統及び機器を使用する場合、常設重大事故等対処設備単独で想定される重大事故等の取束に必要な容量等を有する設計とし「C」として分類する。</p>	<p>■設置許可基準規則 第四十三条第2項第一号 常設重大事故等対処設備の容量等について</p> <p>1. 概要 重大事故等対処設備の基準適合性を確認するに当たり、設置許可基準規則により要求されている項目のうち、常設重大事故等対処設備の容量等の適合性を確認するための区分及び設計方針について整理した。</p> <p>(1) 基本設計方針 常設重大事故等対処設備は、想定される重大事故等の取束において、想定する事象及びその事象の進展等を考慮し、重大事故等時に必要な目的を果たすために、事故対応手段としての系統設計を行う。重大事故等の取束は、これらの系統の組合せにより達成する。</p> <p>常設重大事故等対処設備のうち重大事故等への対処を本来の目的として設置する系統及び機器を使用するものについては、系統の目的に応じて必要な容量等を有する設計とする。</p> <p>記載位置の相違</p> <p>常設重大事故等対処設備のうち設計基準対象施設の系統及び機器を使用するものについては、設計基準対象施設の容量等の仕様が、系統の目的に応じて必要となる容量等に対して十分であることを確認した上で、設計基準対象施設としての容量等と同仕様の設計とする。</p> <p>常設重大事故等対処設備のうち設計基準対象施設の系統及び機器を使用するもので、重大事故等時に設計基準対象施設の容量等を補う必要があるものについては、その後の事故対応手段とあわせて、系統の目的に応じて必要となる容量等を有する設計とする。</p> <p>記載位置の相違</p> <p>なお、「容量等」とは、ポンプ流量、タンク容量、伝熱容量、弁吹出量、発電機容量、蓄電池容量、計装設備の計測範囲、作動信号の設定値等とする。</p> <p>(2) 類型化の考え方 a. 考慮事項 ・ 必要な容量等 ①圧力、②配管圧力損失及び③温度について、設備仕様により考慮する。 ・ ④設計基準対象施設との容量等の比較 ・ ⑤補給による追加手段 ・ その他、設備ごとの考慮事項があれば、必要により個別設備の設計方針に加える。</p> <p>b. 類型化 ・ 常設重大事故等対処設備のうち重大事故等への対処を本来の目的として設置する系統及び機器は「A」と分類する。</p> <p>記載位置の相違</p> <p>・ 常設重大事故等対処設備のうち設計基準対象施設の系統及び機器を使用するもの、設計基準対象施設の容量等の仕様が、系統の目的に応じて必要となる容量等に対して十分であるものについては「B」、重大事故等時に設計基準対象施設の容量等を補う必要があるものについては「C」に分類する。</p> <p>・ 流路として期待する配管、ストレーナ等は対象外とする。（これら設備の圧力損失は、詳細設計段階でポンプ流量の設定において考慮する。）</p>	<p>■設置許可基準規則 第43条 第2項 第1号 常設重大事故等対処設備の容量等について</p> <p>1. 概要 重大事故等対処設備の基準適合性を確認するに当たり、設置許可基準規則により要求されている項目のうち、常設重大事故等対処設備の容量等の適合性を確認するための区分及び設計方針について整理した。</p> <p>(1) 基本設計方針 常設重大事故等対処設備は、想定される重大事故等の取束において、想定する事象及びその事象の進展等を考慮し、重大事故等時に必要な目的を果たすために、事故対応手段としての系統設計を行う。重大事故等の取束は、これらの系統の組合せにより達成する。</p> <p>「容量等」とは、ポンプ流量、タンク容量、ビット容量、伝熱容量、弁吹出量、発電機容量、蓄電池容量、計装設備の計測範囲、作動信号等の設定値とする。</p> <p>常設重大事故等対処設備のうち設計基準対象施設の系統及び機器を使用するものについては、設計基準対象施設の容量等の仕様が、系統の目的に応じて必要となる容量等に対して十分であることを確認した上で、設計基準対象施設の容量等と同仕様の設計とする。</p> <p>常設重大事故等対処設備のうち設計基準対象施設の系統及び機器を使用するもので、重大事故等時に設計基準対象施設の容量等を補う必要があるものについては、その後の事故対応手段とあわせて、系統の目的に応じて必要となる容量等を有する設計とする。</p> <p>常設重大事故等対処設備のうち重大事故等への対処を本来の目的として設置する系統及び機器を使用するものについては、系統の目的に応じて必要な容量等を有する設計とする。</p> <p>(2) 類型化の考え方 a. 考慮事項 ・ 必要な容量等 ①圧力、②配管圧力損失及び③温度について、設備仕様により考慮する。 ・ ④設計基準対象施設との容量等の比較 ・ ⑤補給による追加手段 ・ その他、設備毎の考慮事項があれば、必要により個別設備の設計方針に加える。</p> <p>b. 類型化 ・ 常設重大事故等対処設備のうち設計基準対象施設の系統及び機器を使用するもの、設計基準対象施設の容量等の仕様が、想定される重大事故等の取束に必要な容量等の仕様に対して十分であるものについては、評価にて確認した上で、設計基準事故対処設備の容量等の仕様と同仕様の設計とし「A」と分類する。 ・ 常設重大事故等対処設備のうち設計基準対象施設の系統及び機器を使用するもので、設計基準対象施設の容量等の仕様が、重大事故等時に設計基準対象施設の容量等を補う必要があるものについては、その後の事故対応手段とあわせて想定される重大事故等の取束に必要な容量等を有する設計とし「B」と分類する。 ・ 常設重大事故等対処設備のうち重大事故等への対処を本来の目的として設置する系統及び機器は、常設重大事故等対処設備単独で想定される重大事故等の取束に必要な容量等を有する設計とし「C」として分類する。</p>	<p>記載方針の相違 ・ 泊は、43条まとめ本文の記載順と同じく、「容量等の定義」に続けて、常設SA設備の容量等の設計方針3つを記載する。</p> <p>類型化付番の相違 ・ 泊と女川で、常設SA設備の容量等の3つ設計方針は同じであるが、類型化付番が以下のとおり相違している。 ・ DB設備をSA時にそのまま使用するSA設備 泊：A、女川：B ・ DB設備をSA時に使用し、補給を要するSA設備 泊：B、女川：C ・ SA専用のSA設備 泊：C、女川：A ・ 女川は「BとC」を一項目で記載している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

43条 重大事故等対処設備

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>・流路として期待する配管、ストレータ、熱交換器等は対象外とする。（これら設備による圧力損失は、詳細設計段階でポンプ流量の設定において考慮する）また、“容量等”に該当しない各設備の容量についても対象外とする。</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

43条 重大事故等対処設備

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>必要の容量等の設計</p> <p>考慮事項 ① 圧力 ② 配管圧損 ③ 漏れ ④ DRA設備との容量比較 ⑤ 補給 その他、設備ごとの考慮事項</p> <p>設計基準事故 対処設備全取出</p> <p>A 設計基準事故対処設備の容量等の系統の目的に応じて必要となる容量等 等々同様に設計する設備 設計基準事故対処設備の容量等に対して十分である設備</p> <p>設計基準事故 対処設備以外を参照 C 重大事故等対処設備系統で系統の目的に応じて必要な容量等を有する設備</p>	<p>必要な容量等の設計</p> <p>考慮事項 ① 圧力 ② 配管圧力損失 ③ 漏れ ④ 設計基準対象施設との容量等の比較 ⑤ 補給による過剰手段 その他、設備ごとの考慮</p> <p>重大事故等への対応を本来の目的として設置するもの</p> <p>A</p> <p>設計基準対象施設の系統 及び機器を使用するもの</p> <p>必要な容量等に対して十分であるもの</p> <p>B</p> <p>容量等を補う必要があるもの</p> <p>C</p> <p>管路 対象外</p>	<p>必要の容量等の設計</p> <p>考慮事項 ① 圧力 ② 配管圧損 ③ 漏れ ④ DRA設備との容量比較 ⑤ 補給 その他、設備ごとの考慮事項</p> <p>設計基準事故 対処設備全取出</p> <p>A 設計基準事故対処設備の容量等の系統の目的に応じて必要となる容量等 等々同様に設計する設備 設計基準事故対処設備の容量等に対して十分である設備</p> <p>設計基準事故 対処設備以外を参照 C 重大事故等対処設備系統で系統の目的に応じて必要な容量等を有する設備</p> <p>設計基準事故 対処設備全取出</p> <p>B 設計基準事故対処設備の容量等を補い、その他の事故対応手段と合わせて系統の目的に応じて必要な容量等を有する設備</p> <p>C 重大事故等対処設備系統で系統の目的に応じて必要な容量等を有する設備</p> <p>管路としてのみ設計する設備 対象外</p>	<p><u>類型化付番の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊と女川で、常設SA設備の容量等の3つ設計方針は同じであるが、類型化付番が以下のとおり相違している。 ・DB設備をSA時にそのまま使用するSA設備 泊：A、女川：B ・DB設備をSA時に使用し、補給を要するSA設備 泊：B、女川：C ・SA専用のSA設備 泊：C、女川：A

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

43条 重大事故等対処設備

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																									
<p>類型化区分に対する考慮事項の対応表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>考慮事項</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 圧力（設備仕様により考慮）</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>② 配管圧損（設備仕様により考慮）</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>③ 温度（設備仕様により考慮）</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>④ DBA設備との容量比較</td> <td>○ 十分</td> <td>○ 同一</td> <td>○ 補給</td> </tr> <tr> <td>⑤ 補給</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>○：考慮必要、×：考慮不要</p>	考慮事項	A	B	C	① 圧力（設備仕様により考慮）	○	○	○	② 配管圧損（設備仕様により考慮）	○	○	○	③ 温度（設備仕様により考慮）	○	○	○	④ DBA設備との容量比較	○ 十分	○ 同一	○ 補給	⑤ 補給	×	×	○	<p>女川原子力発電所2号炉</p> <p>2. 設計方針について 【要求事項：想定される重大事故等の収束に必要な容量を有するものであること。】 各区分における設計方針について、以下の表にまとめた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>類型化区分</th> <th>設計方針</th> <th>関連資料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>重大事故等への対処を本来の目的として設置するもの</td> <td>常設重大事故等対処設備は、<u>系統の目的に応じて必要な容量等を有する設計とする。</u></td> <td rowspan="3">容量設定根拠</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>設計基準対象施設の系統及び機器の容量等が十分</td> <td>設計基準対象施設の容量等の仕様は、<u>系統の目的に応じて必要な容量等の仕様に対して十分であることを確認した上で、設計基準対象施設の容量等と同仕様の設計とする。</u></td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>設計基準対象施設の容量等を補うもの</td> <td>重大事故等時に設計基準対象施設の容量等を補う必要があるものについては、<u>その後の事故対応手段とあわせて、系統の目的に応じて必要な容量等を有する設計とする。</u></td> </tr> <tr> <td>対象外</td> <td>流路、その他設備</td> <td>詳細設計の段階でポンプ流量の設定において、<u>圧力損失を考慮する。弁（逃がし弁、安全弁以外）、制御設備、遮断等は容量等の設定がないため対象外とする。</u></td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※関係条文中に記載する事項を下波部で示す</p>	類型化区分	設計方針	関連資料	A	重大事故等への対処を本来の目的として設置するもの	常設重大事故等対処設備は、 <u>系統の目的に応じて必要な容量等を有する設計とする。</u>	容量設定根拠	B	設計基準対象施設の系統及び機器の容量等が十分	設計基準対象施設の容量等の仕様は、 <u>系統の目的に応じて必要な容量等の仕様に対して十分であることを確認した上で、設計基準対象施設の容量等と同仕様の設計とする。</u>	C	設計基準対象施設の容量等を補うもの	重大事故等時に設計基準対象施設の容量等を補う必要があるものについては、 <u>その後の事故対応手段とあわせて、系統の目的に応じて必要な容量等を有する設計とする。</u>	対象外	流路、その他設備	詳細設計の段階でポンプ流量の設定において、 <u>圧力損失を考慮する。弁（逃がし弁、安全弁以外）、制御設備、遮断等は容量等の設定がないため対象外とする。</u>	-	<p>泊発電所3号炉</p> <p>類型化区分に対する考慮事項の対応表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>考慮事項</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 圧力（設備仕様により考慮）</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>② 配管圧損（設備仕様により考慮）</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>③ 温度（設備仕様により考慮）</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>④ DBA設備との容量比較</td> <td>○ 十分</td> <td>○ 同一</td> <td>○ 補給</td> </tr> <tr> <td>⑤ 補給</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>○：考慮必要、×：考慮不要</p> <p>2. 設計方針について 【要求事項：想定される重大事故等の収束に必要な容量を有するものであること。】 各区分における設計方針について、以下の表にまとめた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>設計方針</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>設計基準対象施設の容量等が、<u>系統の目的に応じて必要な容量等に対して十分であることを確認した上で、設計基準対象施設の容量等と同仕様の設計とする。</u></td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>設計基準対象施設の容量等を補う必要がある設備</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>設計基準対象施設以外の系統及び機器を使用する設備</td> </tr> </tbody> </table> <p>流路としてのみの機能に期待する設備（熱交換器、ストレーナ等）については、詳細設計段階でポンプ流量の設定において圧力損失を見込む。 容量等の設定が必要ではない設備（弁（安全弁、逃がし弁以外）、制御設備、遮断等）については、本項適合の対象外として扱う。 計装設備の計測範囲については、重大事故等時に想定される設計基準を超える状態において原子炉施設の状態を推定できるよう計測できる設計とし、作動信号の設定値は当該作動信号の目的に対し適切に系統を作動させることができる設計とすることで、容量等を有する設計とする。</p> <p>○容量等 機器のポンプ流量、タンク容量、ピット容量、伝熱容量、弁吹出量、発電機容量、蓄電池容量、計装設備の計測範囲、作動信号の設定値等とする。</p>	考慮事項	A	B	C	① 圧力（設備仕様により考慮）	○	○	○	② 配管圧損（設備仕様により考慮）	○	○	○	③ 温度（設備仕様により考慮）	○	○	○	④ DBA設備との容量比較	○ 十分	○ 同一	○ 補給	⑤ 補給	×	×	○	区分	設計方針	A	設計基準対象施設の容量等が、 <u>系統の目的に応じて必要な容量等に対して十分であることを確認した上で、設計基準対象施設の容量等と同仕様の設計とする。</u>	B	設計基準対象施設の容量等を補う必要がある設備	C	設計基準対象施設以外の系統及び機器を使用する設備	<p>相違理由</p> <p><u>記載方針の相違（大飯）</u> ・泊は、DB設備をそのまま使用（類型化A）について、要求量に対し余裕がある（十分）、要求量どおり（同一）の2列で記載している。大飯は、そのまま使用するケースとして1列で記載している。 ・記載方針は相違するが、考慮事項は同じである。</p> <p><u>類型化付番の相違</u> ・泊と女川で、常設SA設備の容量等の3つ設計方針は同じであるが、類型化付番が以下のとおり相違している。 ・DB設備をSA時にそのまま使用するSA設備 泊：A、女川：B ・DB設備をSA時に使用し、補給を要するSA設備 泊：B、女川：C ・SA専用のSA設備 泊：C、女川：A</p> <p><u>記載方針の相違（女川）</u> ・泊は、類型化付番を取らない「対象外」について、欄外に容量等への反映方法、「対象外」とする設備の例示を記載した。 また、計装設備の容量等の設計方針についても記載した。</p>
考慮事項	A	B	C																																																																									
① 圧力（設備仕様により考慮）	○	○	○																																																																									
② 配管圧損（設備仕様により考慮）	○	○	○																																																																									
③ 温度（設備仕様により考慮）	○	○	○																																																																									
④ DBA設備との容量比較	○ 十分	○ 同一	○ 補給																																																																									
⑤ 補給	×	×	○																																																																									
類型化区分	設計方針	関連資料																																																																										
A	重大事故等への対処を本来の目的として設置するもの	常設重大事故等対処設備は、 <u>系統の目的に応じて必要な容量等を有する設計とする。</u>	容量設定根拠																																																																									
B	設計基準対象施設の系統及び機器の容量等が十分	設計基準対象施設の容量等の仕様は、 <u>系統の目的に応じて必要な容量等の仕様に対して十分であることを確認した上で、設計基準対象施設の容量等と同仕様の設計とする。</u>																																																																										
C	設計基準対象施設の容量等を補うもの	重大事故等時に設計基準対象施設の容量等を補う必要があるものについては、 <u>その後の事故対応手段とあわせて、系統の目的に応じて必要な容量等を有する設計とする。</u>																																																																										
対象外	流路、その他設備	詳細設計の段階でポンプ流量の設定において、 <u>圧力損失を考慮する。弁（逃がし弁、安全弁以外）、制御設備、遮断等は容量等の設定がないため対象外とする。</u>	-																																																																									
考慮事項	A	B	C																																																																									
① 圧力（設備仕様により考慮）	○	○	○																																																																									
② 配管圧損（設備仕様により考慮）	○	○	○																																																																									
③ 温度（設備仕様により考慮）	○	○	○																																																																									
④ DBA設備との容量比較	○ 十分	○ 同一	○ 補給																																																																									
⑤ 補給	×	×	○																																																																									
区分	設計方針																																																																											
A	設計基準対象施設の容量等が、 <u>系統の目的に応じて必要な容量等に対して十分であることを確認した上で、設計基準対象施設の容量等と同仕様の設計とする。</u>																																																																											
B	設計基準対象施設の容量等を補う必要がある設備																																																																											
C	設計基準対象施設以外の系統及び機器を使用する設備																																																																											

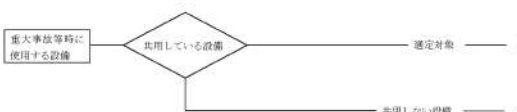
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

43条 重大事故等対処設備

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>■設置許可基準規則 第43条 第2項 第2号 発電用原子炉施設での共用の禁止について</p> <p>1. 概要 重大事故等対処設備の基準適合性を確認するに当たり、設置許可基準規則により要求されている項目のうち、共用の禁止を確認するための区分及び設計方針について整理した。</p> <p>(1) 基本設計方針 常設重大事故等対処設備の各機器については、2以上の原子炉施設において共用しない設計とする。</p> <p>ただし、共用対象の施設ごとに要求される技術的要件（重大事故等に対処するための必要な機能）を満たしつつ、2以上の原子炉施設と共用することによって、安全性が向上する場合であって、さらに同一の発電所内の他の原子炉施設に対して悪影響を及ぼさない場合は、共用できる設計とする。</p> <p>共用する設備は、非常用取水設備のうち貯水堰、号機間電力融通ケーブル、他号炉（3号炉及び4号炉のうち自号炉を除く。）のディーゼル発電機（燃料油貯蔵タンク及び重油タンクを含む。）、燃料油貯蔵タンク、重油タンク、中央制御室、中央制御室遮蔽、中央制御室空調装置、緊急時対策所及び通信連絡設備である。</p> <p>非常用取水設備のうち貯水堰は、共用により自号炉だけでなく他号炉（3号炉及び4号炉のうち自号炉を除く。）の海水取水箇所も使用することで、安全性の向上を図れることから、3号炉及び4号炉で共用する設計とする。</p> <p>この設備は容量に制限がなく3号炉及び4号炉に必要な取水容量を十分に有しているが、共用により悪影響を及ぼさないように引き波時においても貯水堰により3号炉及び4号炉に必要な海水を確保する設計とする。</p> <p>号機間電力融通恒設ケーブル又は号機間電力融通予備ケーブルを使用した他号炉（3号炉及び4号炉のうち自号炉を除く。）のディーゼル発電機（燃料油貯蔵タンク及び重油タンクを含む。）からの号機間電力融通は、号機間電力融通ケーブルを手動で3号炉及び4号炉の非常用高圧母線へ接続し、遮断器を投入することにより、重大事故等の対応に必要な電力を供給可能となり、安全性の向上を図ることができることから、3号炉及び4号炉で共用する設計とする。</p> <p>これらの設備は、共用により悪影響を及ぼさないよう重大事故等発生時以外、号機間電力融通恒設ケーブルを非常用高圧母線の遮断器から切り離し、遮断器を開放することにより、他号炉（3号炉及び4号炉のうち自号炉を除く。）と分離が可能な設計とする。</p> <p>また、重大事故等時にタンクローリーを用いた燃料補給を行う場合の燃料油貯蔵タンク及び重油タンクは、補給作業時間の短縮を図り作業員の安全性の向上を図れることから、3号炉及び4号炉で共用する設計とする。3号炉及び4号炉の燃料油貯蔵タンク及び重油タンクは、共用により悪影響を及ぼさないよう独立して設置する設計とする。</p> <p>なお、ディーゼル発電機、燃料油貯蔵タンク及び重油タンクは、重大事故等時に他号炉へ号機間電力融通を行う場合及び、燃料油貯蔵タンク及び重油タンクは、重大事故等時にタンクローリーを用いて燃料補給を行う場合、3号炉及び4号炉共用とする。</p> <p>中央制御室及び中央制御室遮蔽は、プラントの状況に応じた運転員の相互融通等を考慮し、居住性にも配慮した共通のスペースとしている。スペースの共用により、必要な情報（相互のプラント状況、運転員の対応状況等）を共有・考慮しながら、総合的な運転管理（事故対応を含む。）をすることで、安全性の向上を図れることから、3号炉及び4号炉で共用する設計とする。</p> <p>各号炉の監視・操作盤は共用によって悪影響を及ぼさないよう、一部の共通設備を除いて独立して設置することで、一方の号炉の監視・操作中に、他方の号炉のプラント監視機能が喪失しない設計とする。</p> <p>中央制御室空調装置は、重大事故等時において中央制御室非常用循環ファン、中央制御室空調ファン、中央制御室循環ファン、中央制御室非常用循環フィルタユニット及び中央制御室空調ユニットを電源復旧し使用するが、共用により自号炉の系統だけでなく他号炉（3号炉及び4号炉のうち自号炉を除く。）の系統も使用することで、安全性の向上が図れることから、3号炉及び4号炉で共用する設計とする。</p> <p>3号炉及び4号炉それぞれの系統は、共用により悪影響を及ぼさないよう独立</p>	<p>■設置許可基準規則 第四十三条第2項第二号 発電用原子炉施設での共用の禁止について</p> <p>1. 概要 重大事故等対処設備の基準適合性を確認するに当たり、設置許可基準規則により要求されている項目のうち、共用の禁止を確認するための区分及び設計方針について整理した。</p> <p>(1) 基本設計方針 常設重大事故等対処設備の各機器については、二以上の発電用原子炉施設において共用しない設計とする。</p> <p>設計方針の相違</p>	<p>■設置許可基準規則 第43条 第2項 第2号 発電用原子炉施設での共用の禁止について</p> <p>1. 概要 重大事故等対処設備の基準適合性を確認するに当たり、設置許可基準規則により要求されている項目のうち、共用の禁止を確認するための区分及び設計方針について整理した。</p> <p>(1) 基本設計方針 常設重大事故等対処設備の各機器については、2以上の発電用原子炉施設において共用しない設計とする。</p>	<p>設計方針の相違 ・単基申請の泊・女川は共用しない設計方針であるのに対し、クワット申請の大飯では共用が必要な設備について共用する方針</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

43条 重大事故等対処設備

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																								
<p>して設置する設計とする。</p> <p>緊急時対策所は、事故対応において3号炉及び4号炉双方のプラント状況を考慮した指揮命令を行う必要があるため、同一スペースを共用化し、事故収束に必要な緊急時対策所遮蔽、安全パラメータ表示システム（SPDS）、安全パラメータ伝送システム、SPDS表示装置及び通信連絡設備を設置又は保管する。共用により、必要な情報（相互のプラント状況、運転員の対応状況等）を共有・考慮しながら、総合的な管理（事故処置を含む。）を行うことで、安全性の向上を図れることから、3号炉及び4号炉で共用できる設計とする。</p> <p>各設備は、共用により悪影響を及ぼさないよう、号炉の区分けなく使用でき、さらにプラントパラメータは、号炉ごとに表示及び監視できる設計とする。また、通信連絡設備は、3号炉及び4号炉各々に必要な容量を確保するとともに、号炉の区分けなく通信連絡できるよう設計されているため、共用により悪影響を及ぼさない。</p> <p>また、緊急時対策所は、1号炉及び2号炉の原子炉容器に燃料が装荷されていないことを前提として1号炉及び2号炉原子炉補助建屋内に設置し、遮蔽のみを共用するため、1号炉及び2号炉に悪影響を及ぼさない。</p> <p>通信連絡設備は、号炉の区分けなく通信連絡することで、必要な情報（相互のプラント状況、運転員の対応状況等）を共有・考慮しながら、総合的な管理（事故処置を含む。）を行うことができ、安全性の向上が図れることから、3号炉及び4号炉で共有する設計とする。</p> <p>通信連絡設備は、共用により悪影響を及ぼさないよう、3号炉及び4号炉に必要な容量を確保するとともに、号炉の区分けなく通信連絡できる設計とする。</p> <p>(2) 対象選定の考え方</p> <p>a. 考慮事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2以上の発電用原子炉施設において共用しない設計とする。ただし、共用することによって安全性の向上が期待される配慮があり、さらに他の設備に悪影響を与えない場合は、共用できる。 <p>b. 対象選定フロー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定の考え方は以下のとおり。 重大事故等に対処するために使用する設備であって、共用している設備を選定する。  <p>2. 設計方針について</p> <p>【要求事項：二以上の発電用原子炉施設において共用するものでないこと。ただし、二以上の発電用原子炉施設と共用することによって当該二以上の発電用原子炉施設の安全性が向上する場合であって、同一の工場等内の他の発電用原子炉施設に対して悪影響を及ぼさない場合は、この限りでない。】</p> <p>設計方針について、以下の表にまとめた。</p> <table border="1" data-bbox="89 1149 672 1436"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>設計方針</th> <th>エビデンス</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>共用対象の施設ごとに要求される技術的要件（重大事故等に対処するための必要な機能）を満たしつつ、2以上の発電用原子炉施設と共用することによって、安全性が向上するよう配慮した上で、共用によりそれぞれの号炉の機能が喪失するような悪影響を及ぼさない設計とする。</td> <td>仕様表 (共-1 共用に関する設計上の考慮)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>2以上の発電用原子炉施設において、共用しない設備とする。</td> <td>仕様表</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	設計方針	エビデンス	備考	A	共用対象の施設ごとに要求される技術的要件（重大事故等に対処するための必要な機能）を満たしつつ、2以上の発電用原子炉施設と共用することによって、安全性が向上するよう配慮した上で、共用によりそれぞれの号炉の機能が喪失するような悪影響を及ぼさない設計とする。	仕様表 (共-1 共用に関する設計上の考慮)		B	2以上の発電用原子炉施設において、共用しない設備とする。	仕様表		<p>設計方針の相違</p> <p>(2) 類型化の考え方</p> <p>a. 考慮事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二以上の発電用原子炉施設において共用しない設計とする。 <p>b. 類型化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし <p>2. 設計方針について</p> <p>【要求事項：二以上の発電用原子炉施設において共用するものでないこと。ただし、二以上の発電用原子炉施設と共用することによって当該二以上の発電用原子炉施設の安全性が向上する場合であって、同一の工場等内の他の発電用原子炉施設に対して悪影響を及ぼさない場合は、この限りでない。】</p> <p>設計方針について、以下の表にまとめた。</p> <table border="1" data-bbox="716 1149 1299 1292"> <thead> <tr> <th>設計方針</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二以上の発電用原子炉施設において共用しない設計とする。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	設計方針	備考	二以上の発電用原子炉施設において共用しない設計とする。		<p>(2) 類型化の考え方</p> <p>a. 考慮事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2以上の発電用原子炉施設において共用しない設計とする。 <p>b. 類型化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし <p>2. 設計方針について</p> <p>【要求事項：二以上の発電用原子炉施設において共用するものでないこと。ただし、二以上の発電用原子炉施設と共用することによって当該二以上の発電用原子炉施設の安全性が向上する場合であって、同一の工場等内の他の発電用原子炉施設に対して悪影響を及ぼさない場合は、この限りでない。】</p> <p>設計方針について、以下の表にまとめた。</p> <table border="1" data-bbox="1344 1149 1926 1292"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>設計方針</th> <th>関連資料</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>2以上の発電用原子炉施設において共用しない設計とする。</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	設計方針	関連資料	備考	—	2以上の発電用原子炉施設において共用しない設計とする。	—		<p>相違理由</p>
区分	設計方針	エビデンス	備考																								
A	共用対象の施設ごとに要求される技術的要件（重大事故等に対処するための必要な機能）を満たしつつ、2以上の発電用原子炉施設と共用することによって、安全性が向上するよう配慮した上で、共用によりそれぞれの号炉の機能が喪失するような悪影響を及ぼさない設計とする。	仕様表 (共-1 共用に関する設計上の考慮)																									
B	2以上の発電用原子炉施設において、共用しない設備とする。	仕様表																									
設計方針	備考																										
二以上の発電用原子炉施設において共用しない設計とする。																											
区分	設計方針	関連資料	備考																								
—	2以上の発電用原子炉施設において共用しない設計とする。	—																									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

43条 重大事故等対処設備

大飯発電所3／4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>■設置許可基準規則 第43条 第2項 第3号 常設重大事故防止設備の共通要因故障について</p> <p>1. 概要 重大事故等対処設備の基準適合性を確認するに当たり、設置許可基準規則により要求されている項目のうち、常設重大事故防止設備の共通要因故障防止に関する健全性を確認するための区分及び設計方針について整理した。</p> <p>(1) 基本設計方針 常設重大事故防止設備は、設計基準事故対処設備の安全機能と、共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、可能な限り多様性、独立性、位置的分散を考慮して適切な措置を講じた設計とする。</p> <p>ただし、常設重大事故防止設備のうち、計装設備について、重要代替 パラメータ（当該パラメータの他チャンネル又は他ループの計器を除く。）による推定は、重要な監視パラメータと異なる物理量（水位、注水量等）又は測定原理とすることで、重要な監視パラメータに対して可能な限り多様性を持った計測方法により計測できる設計とする。重要代替パラメータは重要な監視パラメータと可能な限り位置的分散を図る設計とする。</p> <p>共通要因としては、環境条件、自然現象、外部人為事象、溢水、火災及びサポート系を考慮する。</p> <p>自然現象については、地震、津波、洪水、風（台風）、竜巻、凍結、降水、積雪、落雷、地滑り、火山の影響、生物学的事象、高潮及び森林火災を考慮する。地震及び津波以外の自然現象の組合せについては、風（台風）、積雪及び火山の影響による荷重の組合せを考慮する。地震及び津波を含む自然現象の組合せについては、それぞれ「1.1.2 耐震設計の基本方針」及び「1.1.3 津波による損傷の防止」にて考慮する。</p> <p>外部人為事象については、飛来物（航空機落下）、ダム の崩壊、爆発、近隣工場等の火災（石油コンビナート等の施設の火災、発電所敷地内に存在する危険物タンクの火災、航空機墜落による火災、発電所港湾内に入港する船舶の火災及びびばい煙等の二次的影響）、有毒ガス、船舶の衝突、電磁的障害及び故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムを考慮する。</p> <p>なお、故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムについては、可搬型重大事故等対処設備にて考慮する。 設計基準事故対処設備及び常設重大事故防止設備を内包する建屋並びに地中の配管トレンチについては、地震、津波、火災及び外部からの衝撃による損傷の防止が図られた設計とする。</p> <p>重大事故緩和設備についても、重大事故防止設備と同様に可能な限り多様性を考慮する。</p>	<p>■設置許可基準規則 第四十三条第2項 第3号 常設重大事故防止設備の共通要因故障について</p> <p>1. 概要 重大事故等対処設備の基準適合性を確認するに当たり、設置許可基準規則により要求されている項目のうち、常設重大事故防止設備の共通要因故障防止に関する健全性を確認するための区分及び設計方針について整理した。</p> <p>(1) 基本設計方針 常設重大事故防止設備は、設計基準事故対処設備及び使用済燃料プールの冷却機能又は注水機能を有する設備（以下「設計基準事故対処設備等」という。）の安全機能と共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、共通要因の特性を踏まえ、可能な限り多様性、独立性、位置的分散を考慮して適切な措置を講じる設計とする。</p> <p>ただし、常設重大事故防止設備のうち、計装設備について、重要代替監視パラメータ（当該パラメータの他チャンネルの計器を除く。）による推定は、重要監視パラメータと異なる物理量（水位、注水量等）又は測定原理とする等、重要監視パラメータに対して可能な限り多様性を有する方法により計測できる設計とする。重要代替監視パラメータは、重要監視パラメータと可能な限り位置的分散を図る設計とする。</p> <p>共通要因としては、環境条件、自然現象、発電所敷地又はその周辺において想定される発電用原子炉施設の安全性を損なわせる原因となるおそれがある事象であって人為によるもの、溢水、火災及びサポート系の故障を考慮する。</p> <p>発電所敷地で想定される自然現象については、網羅的に抽出するために、地震、津波に加え、発電所敷地及びその周辺での発生実績の有無に関わらず、国内外の基準や文献等に基づき収集した洪水、風（台風）、竜巻、凍結、降水、積雪、落雷、地滑り、火山の影響、生物学的事象、森林火災等の事象を考慮する。これらの事象のうち、発電所敷地及びその周辺での発生可能性、重大事故等対処設備への影響度、事象進展速度や事象進展に対する時間余裕の観点から、重大事故等対処設備に影響を与えるおそれがある事象として、地震、津波、洪水、風（台風）、竜巻、凍結、降水、積雪、落雷、地滑り、火山の影響、生物学的事象、森林火災及び高潮を選定する。また、設計基準事故対処設備等と重大事故等対処設備に対する共通要因としては、地震、津波、洪水、風（台風）、竜巻、凍結、降水、積雪、落雷、地滑り、火山の影響、生物学的事象、森林火災及び高潮を選定する。</p> <p>自然現象の組合せについては、地震、津波、風（台風）、積雪及び火山の影響を考慮する。</p> <p>発電所敷地又はその周辺において想定される発電用原子炉施設の安全性を損なわせる原因となるおそれがある事象であって人為によるものについては、網羅的に抽出するために、発電所敷地及びその周辺での発生実績の有無にかかわらず、国内外の基準や文献等に基づき収集した飛来物（航空機落下等）、ダム の崩壊、爆発、近隣工場等の火災、有毒ガス、船舶の衝突、電磁的障害、故意による大型航空機の衝突その他のテロリズム等の事象を考慮する。これらの事象のうち、発電所敷地及びその周辺での発生可能性、重大事故等対処設備への影響度、事象進展速度や事象進展に対する時間余裕の観点から、重大事故等対処設備に影響を与えるおそれがある事象として、飛来物（航空機落下）、ダム の崩壊、爆発、近隣工場等の火災、有毒ガス、船舶の衝突、電磁的障害及び故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムを選定する。また、設計基準事故対処設備等と重大事故等対処設備に対する共通要因としては、飛来物（航空機落下）、ダム の崩壊、爆発、近隣工場等の火災、有毒ガス、船舶の衝突、電磁的障害及び故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムを選定する。</p> <p>故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムについては、可搬型重大事故等対処設備による対策を講じることとする。</p> <p>建屋等については、地震、津波、火災及び外部からの衝撃による損傷を防止できる設計とする。</p> <p>サポート系の故障については、系統又は機器に供給される電力、空気、油、冷却水、水源を考慮する。</p> <p>重大事故緩和設備についても、共通要因の特性を踏まえ、可能な限り多様性を有し、位置的分散を図ることを考慮する。</p>	<p>■設置許可基準規則 第43条 第2項 第3号 常設重大事故防止設備の共通要因故障について</p> <p>1. 概要 重大事故等対処設備の基準適合性を確認するに当たり、設置許可基準規則により要求されている項目のうち、常設重大事故防止設備の共通要因故障防止に関する健全性を確認するための区分及び設計方針について整理した。</p> <p>(1) 基本設計方針 常設重大事故防止設備は、設計基準事故対処設備及び使用済燃料プールの冷却機能又は注水機能を有する設備（以下「設計基準事故対処設備等」という。）の機能と、共通要因によって同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、共通要因の特性を踏まえ、可能な限り多様性、独立性、位置的分散を考慮して適切な措置を講じる設計とする。</p> <p>ただし、常設重大事故防止設備のうち、計装設備について、重要代替監視パラメータ（当該パラメータの他チャンネル又は他ループの計器を除く。）による推定は、重要監視パラメータと異なる物理量又は測定原理とする等、重要監視パラメータに対して可能な限り多様性を有する方法により計測できる設計とする。重要代替監視パラメータは重要監視パラメータと可能な限り位置的分散を図る設計とする。</p> <p>共通要因としては、環境条件、自然現象、発電所敷地又はその周辺において想定される発電用原子炉施設の安全性を損なわせる原因となるおそれがある事象であって人為によるもの、溢水、火災及びサポート系を考慮する。</p> <p>発電所敷地で想定される自然現象については、網羅的に抽出するために、地震、津波に加え、発電所敷地及びその周辺での発生実績の有無にかかわらず、国内外の基準や文献等に基づき収集した洪水、風（台風）、竜巻、凍結、降水、積雪、落雷、地滑り、火山の影響、生物学的事象、森林火災等の事象を考慮する。これらの事象のうち、発電所敷地及びその周辺での発生可能性、重大事故等対処設備への影響度、事象進展速度や事象進展に対する時間余裕の観点から、重大事故等対処設備に影響を与えるおそれがある事象として、地震、津波、洪水、風（台風）、竜巻、凍結、降水、積雪、落雷、地滑り、火山の影響、生物学的事象、森林火災及び高潮を選定する。また、設計基準事故対処設備等と重大事故等対処設備に対する共通要因としては、地震、津波、洪水、風（台風）、竜巻、凍結、降水、積雪、落雷、地滑り、火山の影響、生物学的事象、森林火災及び高潮を選定する。</p> <p>自然現象の組合せについては、地震、津波、風（台風）、積雪及び火山の影響を考慮する。</p> <p>地震、津波を含む自然現象の組合せについては、それぞれ「1.1.2 耐震設計の基本方針」及び「1.1.3 津波による損傷の防止」にて考慮する。</p> <p>発電所敷地又はその周辺において想定される発電用原子炉施設の安全性を損なわせる原因となるおそれがある事象であって人為によるものについては、網羅的に抽出するために、発電所敷地及びその周辺での発生実績の有無にかかわらず、国内外の基準や文献等に基づき収集した飛来物（航空機落下等）、ダム の崩壊、爆発、近隣工場等の火災、有毒ガス、船舶の衝突、電磁的障害、故意による大型航空機の衝突その他のテロリズム等の事象を考慮する。これらの事象のうち、発電所敷地及びその周辺での発生可能性、重大事故等対処設備への影響度、事象進展速度や事象進展に対する時間余裕の観点から、重大事故等対処設備に影響を与えるおそれがある事象として、飛来物（航空機落下）、ダム の崩壊、爆発、近隣工場等の火災、有毒ガス、船舶の衝突、電磁的障害及び故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムを選定する。また、設計基準事故対処設備等と重大事故等対処設備に対する共通要因としては、飛来物（航空機落下）、ダム の崩壊、爆発、近隣工場等の火災、有毒ガス、船舶の衝突、電磁的障害及び故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムを選定する。</p> <p>故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムについては、可搬型重大事故等対処設備による対策を講じることとする。</p> <p>建屋等については、地震、津波、火災及び外部からの衝撃による損傷を防止できる設計とする。</p> <p>サポート系の故障については、系統又は機器に供給される電力、空気、油、冷却水、水源を考慮する。</p> <p>重大事故緩和設備についても、共通要因の特性を踏まえ、可能な限り多様性を有し、位置的分散を図ることを考慮する。</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

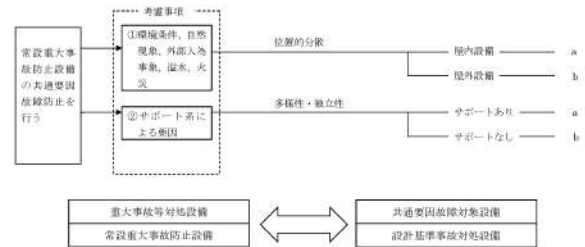
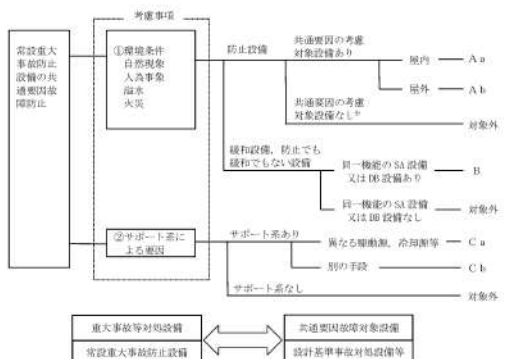
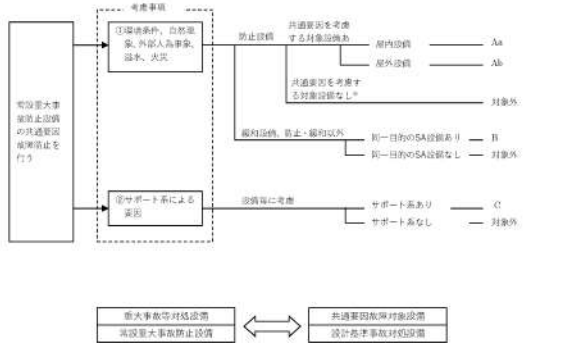
43条 重大事故等対処設備

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>環境条件に対しては、想定される重大事故等が発生した場合における温度、放射線、荷重及びその他の使用条件において、常設重大事故防止設備がその機能を確実に発揮できる設計とする。重大事故等時の環境条件における健全性については「1.3.3 環境条件等」に記載する。風（台風）及び竜巻のうち風荷重、凍結、降水、積雪及び火山の影響並びに電磁波障害に対して常設重大事故防止設備は、環境条件にて考慮し機能が損なわれない設計とする。</p> <p>地震及び地滑りに対して常設重大事故防止設備は、「1.1.1 発電用原子炉施設の位置」に基づく地盤上に設置する。地震、津波及び火災に対して常設重大事故防止設備は、「1.1.2 耐震設計の基本方針」、「1.1.3 津波による損傷の防止」及び「1.2 火災による損傷の防止」に基づく設計とする。</p> <p>地震、津波、溢水及び火災に対して常設重大事故防止設備は、設計基準事故対処設備の安全機能と同時にその機能が損なわれないように、可能な限り設計基準事故対処設備と位置的分散を図り、溢水量による溢水水位を考慮した高所に設置する。</p> <p>風（台風）、竜巻、落雷、生物学的事象、森林火災、近隣工場等の火災（発電所敷地内に存在する危険物タンクの火災、航空機墜落による火災、発電所港湾内に入港する船舶の火災及びばい煙等の二次的影響）、有毒ガス及び電磁的障害に対して屋外の常設重大事故防止設備は、外部からの衝撃による損傷の防止が図られた建屋内に設置する。屋外の常設重大事故防止設備は、設計基準事故対処設備の安全機能と同時にその機能が損なわれないように、設計基準事故対処設備を防護するとともに、設計基準事故対処設備と位置的分散を図り設置する。</p> <p>落雷に対して空冷式非常用発電装置は、避雷設備又は接地設備により防護する設計とする。生物学的事象のうち、ネズミ等の小動物に対して屋外の常設重大事故防止設備は、侵入防止対策により安全機能が損なわれない設計とする。生物学的事象のうち、くらげ等の海洋生物に対して屋外の常設重大事故防止設備は、多重性を持つ設計とする。</p> <p>高潮に対して常設重大事故防止設備は、津波に包絡されることから影響を受けない。</p>	<p>環境条件に対しては、想定される重大事故等が発生した場合における温度、放射線、荷重及びその他の使用条件において、常設重大事故防止設備がその機能を確実に発揮できる設計とする。重大事故等時の環境条件における健全性については「重大事故等時の環境条件における健全性について」に記載する。風（台風）、凍結、降水、積雪及び電磁的障害に対して常設重大事故防止設備は、環境条件にて考慮し機能が損なわれない設計とする。</p> <p>地震に対して常設重大事故防止設備は、「原子炉建屋等の基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価について」に基づく地盤上に設置する。常設重大事故防止設備は、地震、津波及び火災に対して、「重大事故等対処設備について 2.1.2 耐震設計の基本方針」、「重大事故等対処設備について 2.1.3 津波による損傷の防止」及び「重大事故等対処設備について 2.2 火災による損傷の防止」に基づく設計とする。</p> <p>地震による共通要因故障の特性は、設備等に発生する地震力（設備が設置される地盤や建物の影響によって設備等に発生する地震力は異なる。）又は地震による下位クラス施設からの波及的影響により同じ機能を有する設備が同時に機能喪失に至ることであることから、常設重大事故防止設備は、設計基準事故対処設備等と同時に機能を損なうおそれがないように、可能な限り設計基準事故対処設備等と高き方向に位置的分散を図る。</p> <p>津波による共通要因故障の特性は、津波の流入、進入、引き波による水位低下により同じ機能を有する設備が同時に機能喪失に至ることであることから、常設重大事故防止設備は、設計基準事故対処設備等と同時に機能を損なうおそれがないように、可能な限り設計基準事故対処設備等と高き方向に位置的分散を図る。</p> <p>風（台風）による共通要因故障の特性は、風（台風）による荷重（風圧力、気圧差）により同じ機能を有する機器が同時に機能喪失に至ることであることから、常設重大事故防止設備は、外部からの衝撃による損傷の防止が図られた建屋等内に設置するか、又は設計基準事故対処設備等と同時にその機能が損なわれないように設計基準事故対処設備等と位置的分散を図る。</p> <p>竜巻による共通要因故障の特性は、竜巻による荷重（風圧力、気圧差、飛来物の衝撃荷重）により同じ機能を有する機器が同時に機能喪失に至ることであることから、常設重大事故防止設備は、外部からの衝撃による損傷の防止が図られた建屋等内に設置するか、又は設計基準事故対処設備等と同時にその機能が損なわれないように設計基準事故対処設備等と位置的分散を図る。</p> <p>落雷による共通要因故障の特性は、雷撃電流により同じ機能を有する設備が同時に機能喪失に至ることであるから、常設代替交流電源設備は、避雷設備又は接地設備により防護する設計とする。</p> <p>火山の影響による共通要因故障の特性は、降下火砕物により同じ機能を有する設備が同時に機能喪失に至ることであることから、常設重大事故防止設備は、外部からの衝撃による損傷の防止が図られた建屋等内に設置するか、又は設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないように設計基準事故対処設備等と位置的分散を図る。</p> <p>生物学的事象のうちネズミ等の小動物による共通要因故障の特性は、電気盤内での地絡・短絡により同じ機能を有する設備が同時に機能喪失に至ることであることから、屋外の常設重大事故防止設備は、侵入防止対策により重大事故等に対処するために必要な機能が損なわれない設計とするか、又は設計基準事故対処設備等と同時にその機能が損なわれないように設計基準事故対処設備等と位置的分散を図る。</p> <p>高潮による共通要因故障の特性は、没水、被水により同じ機能を有する設備が同時に機能喪失に至ることであることから、常設重大事故防止設備（非常用取水設備は除く。）は、高潮の影響を受けない敷地高さに設置する。</p> <p>外部火災（森林火災、爆発及び近隣工場等の火災）による共通要因故障の特性は、熱損傷、ばい煙により同じ機能を有する設備が同時に機能喪失に至ることであることから、常設重大事故防止設備は、設計基準事故対処設備等と同時に機能を損なうおそれがないように、可能な限り設計基準事故対処設備等と位置的分散を図る。</p> <p>飛来物（航空機落下）による共通要因故障の特性は、衝突荷重により同じ機能を有する設備が同時に機能喪失に至ることであることから、常設重大事故防止設備は、設計基準事故対処設備等と同時にその機能が損なわれないように、設計基準事故対処設備等と位置的分散を図る。</p> <p>有毒ガスによる共通要因故障の特性は、有毒ガスの毒性影響により同じ機能を有する機器が同時に機能喪失に至ることであることから、常設重大事故防止設備は、外部から</p>	<p>環境条件に対しては、想定される重大事故等が発生した場合における温度、放射線、荷重及びその他の使用条件において、常設重大事故防止設備がその機能を確実に発揮できる設計とする。重大事故等時の環境条件における健全性については「重大事故等時の環境条件における健全性について」に記載する。風（台風）、凍結、降水、積雪及び電磁的障害に対して常設重大事故防止設備は、環境条件にて考慮し機能が損なわれない設計とする。</p> <p>地震及び地滑りに対して常設重大事故防止設備は、「原子炉建屋等の基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価について」に基づく地盤上に設置する。常設重大事故防止設備は、地震、津波及び火災に対して、「重大事故等対処設備について 2.1.2 耐震設計の基本方針」、「重大事故等対処設備について 2.1.3 津波による損傷の防止」及び「重大事故等対処設備について 2.2 火災による損傷の防止」に基づく設計とする。</p> <p>地震による共通要因故障の特性は、設備等に発生する地震力（設備が設置される地盤や建物の影響によって設備等に発生する地震力は異なる。）又は地震による下位クラス施設からの波及的影響により同じ機能を有する設備が同時に機能喪失に至ることであることから、常設重大事故防止設備は、設計基準事故対処設備等と同時に機能を損なうおそれがないように、可能な限り設計基準事故対処設備等と高き方向に位置的分散を図る。</p> <p>津波による共通要因故障の特性は、津波の流入、進入、引き波による水位低下により同じ機能を有する設備が同時に機能喪失に至ることであることから、常設重大事故防止設備は、設計基準事故対処設備等と同時に機能を損なうおそれがないように、可能な限り設計基準事故対処設備等と高き方向に位置的分散を図る。</p> <p>風（台風）による共通要因故障の特性は、風（台風）による荷重（風圧力、気圧差）により同じ機能を有する機器が同時に機能喪失に至ることであることから、常設重大事故防止設備は、外部からの衝撃による損傷の防止が図られた建屋等内に設置するか、又は設計基準事故対処設備等と同時にその機能が損なわれないように、設計基準事故対処設備等を防護するとともに、設計基準事故対処設備等と位置的分散を図る。</p> <p>竜巻による共通要因故障の特性は、竜巻による荷重（風圧力、気圧差、飛来物の衝撃荷重）により同じ機能を有する機器が同時に機能喪失に至ることであることから、常設重大事故防止設備は、外部からの衝撃による損傷の防止が図られた建屋等内に設置するか、又は設計基準事故対処設備等と同時にその機能が損なわれないように、設計基準事故対処設備等を防護するとともに、設計基準事故対処設備等と位置的分散を図る。</p> <p>落雷による共通要因故障の特性は、雷撃電流により同じ機能を有する設備が同時に機能喪失に至ることであるから、設計基準事故対処設備等を防護するとともに、常設代替交流電源設備は、避雷設備又は接地設備により防護する設計とする。</p> <p>火山の影響による共通要因故障の特性は、降下火砕物により同じ機能を有する設備が同時に機能喪失に至ることであることから、常設重大事故防止設備は、外部からの衝撃による損傷の防止が図られた建屋等内に設置するか、又は設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないように、設計基準事故対処設備等を防護するとともに、設計基準事故対処設備等と位置的分散を図る。</p> <p>生物学的事象のうちネズミ等の小動物による共通要因故障の特性は、電気盤内での地絡・短絡により同じ機能を有する設備が同時に機能喪失に至ることであることから、屋外の常設重大事故防止設備は、侵入防止対策により重大事故等に対処するために必要な機能が損なわれない設計とするか、又は設計基準事故対処設備等と同時にその機能が損なわれないように、設計基準事故対処設備等を防護するとともに、設計基準事故対処設備等と位置的分散を図る。</p> <p>高潮による共通要因故障の特性は、没水、被水により同じ機能を有する設備が同時に機能喪失に至ることであることから、常設重大事故防止設備（非常用取水設備は除く。）は、高潮の影響を受けない敷地高さに設置する。</p> <p>外部火災（森林火災、爆発及び近隣工場等の火災）による共通要因故障の特性は、熱損傷、ばい煙により同じ機能を有する設備が同時に機能喪失に至ることであることから、常設重大事故防止設備は、設計基準事故対処設備等と同時に機能を損なうおそれがないように、設計基準事故対処設備等を防護するとともに、可能な限り設計基準事故対処設備等と位置的分散を図る。</p> <p>有毒ガスによる共通要因故障の特性は、有毒ガスの毒性影響により同じ機能を有する機器が同時に機能喪失に至ることであることから、常設重大事故防止設備は、外部から</p>	

43条 重大事故等対処設備

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>の衝撃による損傷の防止が図られた建屋等内に設置するか、又は設計基準事故対処設備等と同時にその機能が損なわれないように設計基準事故対処設備等と位置的分散を図る。</p> <p>船舶の衝突による共通要因故障の特性は、取水路閉塞により同じ機能を有する設備が同時に機能喪失に至ることであることから、常設重大事故防止設備は、設計基準事故対処設備等と同時にその機能が損なわれないように、設計基準事故対処設備等と位置的分散を図る。</p> <p>溢水による共通要因故障の特性は、没水、被水、蒸気の流出により同じ機能を有する設備が同時に機能喪失に至ることであるから、常設重大事故防止設備は、設計基準事故対処設備等と同時に機能を損なうおそれがないように、可能な限り設計基準事故対処設備等と位置的分散を図る。また、常設重大事故防止設備は、地震による使用済燃料プールからの溢水に対して機能を損なわない設計とする。</p> <p>内部火災による共通要因故障の特性は、熱損傷により同じ機能を有する設備が同時に機能喪失に至ることであることから、常設重大事故防止設備は、設計基準事故対処設備等と同時に機能を損なうおそれがないように、可能な限り設計基準事故対処設備等と位置的分散を図る。</p> <p>なお、洪水、地滑り及びダム の崩壊については、立地的要因により設計上考慮する必要はない。</p> <p>なお、発電所敷地で想定される自然現象のうち、洪水については、立地的要因により設計上考慮する必要はない。</p> <p>また、発電所敷地又はその周辺において想定される人為事象のうち、飛来物（航空機落下）については、防護設計の要否判断の基準を超えないとの理由により、ダム の崩壊、爆発及び石油コンビナート等の施設の火災については、立地的要因により、船舶の衝突については敷地配置より設計上考慮する必要はない。</p> <p>常設重大事故緩和設備についても、可能な限り上記を考慮して多様性及び位置的分散を図る設計とする。</p> <p>サポート系に対しては、系統又は機器に供給される電力、空気、油及び冷却水 を考慮し、常設重大事故防止設備は設計基準事故対処設備と異なる駆動源及び冷却源を用いる設計とし、駆動源及び冷却源が同じ場合は別の手段が可能な設計とする。また、常設重大事故防止設備は設計基準事故対処設備と可能な限り異なる水源を持つ設計とする。</p>	<p>の衝撃による損傷の防止が図られた建屋等内に設置するか、又は設計基準事故対処設備等と同時にその機能が損なわれないように、設計基準事故対処設備等を防護するとともに、設計基準事故対処設備等と位置的分散を図る。</p> <p>船舶の衝突による共通要因故障の特性は、取水路閉塞により同じ機能を有する設備が同時に機能喪失に至ることであることから、常設重大事故防止設備は、設計基準事故対処設備等と同時にその機能が損なわれないように、設計基準事故対処設備等を防護するとともに、可能な限り設計基準事故対処設備等と位置的分散を図る。</p> <p>溢水による共通要因故障の特性は、没水、被水、蒸気の流出により同じ機能を有する設備が同時に機能喪失に至ることであるから、常設重大事故防止設備は、設計基準事故対処設備等と同時に機能を損なうおそれがないように、想定する溢水水位を考慮した高所に設置すること等で想定する溢水水位に対して機能を損なうことのない設計とするとともに、可能な限り設計基準事故対処設備等と位置的分散を図る。また、常設重大事故防止設備は、地震による使用済燃料ピットからの溢水に対して機能を損なわない設計とする。</p> <p>内部火災による共通要因故障の特性は、熱損傷により同じ機能を有する設備が同時に機能喪失に至ることであることから、常設重大事故防止設備は、設計基準事故対処設備等と同時に機能を損なうおそれがないように、可能な限り設計基準事故対処設備等と位置的分散を図る。</p> <p>なお、飛来物（航空機落下）については、防護設計の要否判断の基準を超えないとの理由により、洪水及びダム の崩壊については、立地的要因により設計上考慮する必要はない。</p> <p>サポート系の故障に対しては、系統又は機器に供給される電力、空気、油及び冷却水 を考慮し、常設重大事故防止設備は設計基準事故対処設備と異なる駆動源、冷却源を用いる設計、又は駆動源、冷却源が同じ場合は別の手段が可能な設計とする。また、常設重大事故防止設備は、設計基準事故対処設備等と可能な限り異なる水源をもつ設計とする。</p> <p>なお、常設重大事故緩和設備並びに常設重大事故防止設備及び常設重大事故緩和設備に該当しない常設重大事故等対処設備は、共通要因に対して、同一の機能を有する設備と同時に機能を損なうおそれがないように、同一の機能を有する設備と可能な限り多様性、位置的分散を図る設計とするか、又は修復性等を考慮し、可能な限り頑健性を有する設計とする。</p> <p>さらに、重大事故等対処設備は、共通要因により、重大事故等対処設備の有する発電用原子炉の未臨界移行機能、燃料冷却機能、格納容器除熱機能及び使用済燃料プール注水の各機能を損なわないよう、同一の機能を有する重大事故等対処設備と可能な限り多様性、位置的分散を図る設計とする。</p>	<p>の衝撃による損傷の防止が図られた建屋等内に設置するか、又は設計基準事故対処設備等と同時にその機能が損なわれないように、設計基準事故対処設備等を防護するとともに、設計基準事故対処設備等と位置的分散を図る。</p> <p>船舶の衝突による共通要因故障の特性は、取水路閉塞により同じ機能を有する設備が同時に機能喪失に至ることであることから、常設重大事故防止設備は、設計基準事故対処設備等と同時にその機能が損なわれないように、設計基準事故対処設備等を防護するとともに、可能な限り設計基準事故対処設備等と位置的分散を図る。</p> <p>溢水による共通要因故障の特性は、没水、被水、蒸気の流出により同じ機能を有する設備が同時に機能喪失に至ることであるから、常設重大事故防止設備は、設計基準事故対処設備等と同時に機能を損なうおそれがないように、想定する溢水水位を考慮した高所に設置すること等で想定する溢水水位に対して機能を損なうことのない設計とするとともに、可能な限り設計基準事故対処設備等と位置的分散を図る。また、常設重大事故防止設備は、地震による使用済燃料ピットからの溢水に対して機能を損なわない設計とする。</p> <p>内部火災による共通要因故障の特性は、熱損傷により同じ機能を有する設備が同時に機能喪失に至ることであることから、常設重大事故防止設備は、設計基準事故対処設備等と同時に機能を損なうおそれがないように、可能な限り設計基準事故対処設備等と位置的分散を図る。</p> <p>なお、飛来物（航空機落下）については、防護設計の要否判断の基準を超えないとの理由により、洪水及びダム の崩壊については、立地的要因により設計上考慮する必要はない。</p> <p>サポート系の故障に対しては、系統又は機器に供給される電力、空気、油及び冷却水 を考慮し、常設重大事故防止設備は設計基準事故対処設備と異なる駆動源、冷却源を用いる設計、又は駆動源、冷却源が同じ場合は別の手段が可能な設計とする。また、常設重大事故防止設備は、設計基準事故対処設備等と可能な限り異なる水源をもつ設計とする。</p> <p>なお、常設重大事故緩和設備並びに常設重大事故防止設備及び常設重大事故緩和設備に該当しない常設重大事故等対処設備は、共通要因に対して、同一の機能を有する設備と同時に機能を損なうおそれがないように、同一の機能を有する設備と可能な限り多様性、位置的分散を図る設計とするか、又は修復性等を考慮し、可能な限り頑健性を有する設計とする。</p> <p>さらに、重大事故等対処設備は、共通要因により、重大事故等対処設備の有する発電用原子炉の未臨界移行機能、燃料冷却機能、格納容器除熱機能及び使用済燃料ピット注水の各機能を損なわないよう、同一の機能を有する重大事故等対処設備と可能な限り多様性、位置的分散を図る設計とする。</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(2) 類型化の考え方は以下のとおり。</p> <p>a. 考慮事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①環境条件、自然現象、外部人為事象、溢水、火災による影響 ②サポート系による要因：共通要因故障対象設備に対し独立した又は多様性を有するサポート系としての系統又は機器に供給される電力、空気、油、冷却水及び水源 <p>b. 類型化</p> <ul style="list-style-type: none"> ①環境条件、自然現象、外部人為事象、溢水及び火災については、屋内設備と屋外設備に分類する。 ②サポート系による要因については、設備ごとに考慮する。 	<p>(2) 類型化の考え方</p> <p>a. 考慮事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①環境条件、自然現象、人為事象、溢水、火災 ②サポート系による要因：系統又は機器に供給される電力、燃料油、空気、冷却水、水源 <p>b. 類型化</p> <ul style="list-style-type: none"> ①環境条件、自然現象、人為事象、溢水及び火災については、屋内設備と屋外設備に分類する。 ②サポート系による要因については、設備ごとに考慮する。  <p>※設計基準対象施設の機能喪失を想定して設置する重大事故等対処設備だけでなく、重大事故等時に設計基準事故対処設備等としての機能を期待する設備についても重大事故等対処設備（設計基準拡張）と位置づけている。これら設備については、設備共通要因故障を考慮すべき代替対象の設計基準対象施設がない。</p>	<p>(2) 類型化の考え方は以下のとおり。</p> <p>a. 考慮事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①環境条件、自然現象、外部人為事象、溢水、火災 ②サポート系による要因：系統又は機器に供給される電力、空気、油、冷却水、水源 <p>b. 類型化</p> <ul style="list-style-type: none"> ①環境条件、自然現象、外部人為事象、溢水及び火災については、屋内設備と屋外設備に分類する。 ②サポート系による要因については、設備毎に考慮する。  <p>※設計基準対象施設の機能喪失を想定して設置する重大事故等対処設備だけでなく、重大事故等時に設計基準事故対処設備等としての機能を期待する設備についても重大事故等対処設備（設計基準拡張）と位置づけている。これら設備については、設備共通要因故障を考慮すべき設計基準事故対処設備が当該設備となることから、共通要因故障の考慮については対象外として扱う。</p>	<p>相違理由</p> <p>類型化付番の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊と女川で、サポート系の有無で類型化する方針は同じであるが、女川では多様化したサポート系供給が可能であるので細分化している。 ・サポート系による共通要因故障を防止する方針として、泊においても同様の対応方針としており、類型化付番は相違するが共通要因故障防止のための考慮事項及び方針は同じである。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
<p>2. 設計方針について</p> <p>【要求事項：常設重大事故防止設備は、共通要因によって設計基準事故対処設備の安全機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、適切な措置を講じたものであること。（第2項第3号）】</p> <p>「共通要因」とは、二つ以上の系統又は機器に同時に作用する要因であって、例えば環境の温度、湿度、圧力又は放射線等による影響因子、系統若しくは機器に供給される電力、空気、油及び冷却水等による影響因子及び地震、溢水又は火災等の影響をいう。（第2条第2項第18号解釈）</p> <p>（1）各考慮事項に対する設計方針は別紙のとおり。</p>	<p>2. 設計方針について</p> <p>【要求事項：常設重大事故防止設備は、共通要因によって設計基準事故対処設備の安全機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、適切な措置を講じたものであること。】</p> <p>（1）各考慮事項に対する設計方針は以下のとおり。</p> <p>①環境条件、地震、津波、その他自然現象、人為事象、溢水、火災</p>	<p>2. 設計方針について</p> <p>【要求事項：常設重大事故防止設備は、共通要因によって設計基準事故対処設備の安全機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、適切な措置を講じたものであること。（第2項第3号）】</p> <p>「共通要因」とは、二つ以上の系統又は機器に同時に作用する要因であって、例えば環境の温度、湿度、圧力又は放射線等による影響因子、系統若しくは機器に供給される電力、空気、油、冷却水等による影響因子及び地震、溢水又は火災等の影響をいう。（第2条第2項第18号解釈）</p> <p>（1）各考慮事項に対する設計方針は以下のとおり。</p> <p>①環境条件、地震、津波、その他自然現象、人為事象、溢水、火災</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">DB設備</th> <th colspan="2">常設SA設備</th> </tr> <tr> <th>屋外</th> <th>屋内</th> <th>屋外</th> <th>屋内</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>環境条件</td> <td colspan="2">第12条（安全施設）に基づく設計とする。</td> <td colspan="2">第43条第1項第1号の環境条件として健全性を確認している。</td> </tr> <tr> <td>地盤</td> <td colspan="2">第3条（設計基準対象施設の地盤）に基づく地盤上に設置する。</td> <td colspan="2">第38条（重大事故等対処施設の地盤）に基づく地盤上に設置する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地震</td> <td colspan="2">第4条（地震による損傷の防止）に基づく設計とする。</td> <td colspan="2">第39条（地震による損傷の防止）に基づく設計とする。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">位置的分散（2項）</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">津波</td> <td colspan="2">第5条（津波による損傷の防止）に基づく設計とする。</td> <td colspan="2">第40条（津波による損傷の防止）に基づく設計とする。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">位置的分散（2項）</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>洪水</td> <td colspan="4">敷地周辺の河川は、いずれも発電所とは丘陵地により隔てられていることから、敷地が洪水による被害を受けることはない。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">風（台風）</td> <td colspan="2">第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。</td> <td>設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。</td> <td>第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">位置的分散（2項）</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">竜巻</td> <td colspan="2">第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。</td> <td>設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。</td> <td>第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">位置的分散（2項）</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">凍結</td> <td colspan="2">第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。</td> <td>設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。</td> <td>第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づき設計された建屋内に設置する。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">位置的分散（2項）</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">降水</td> <td colspan="2">第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。</td> <td>設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。</td> <td>第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">位置的分散（2項）</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">積雪</td> <td colspan="2">第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。</td> <td>設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。</td> <td>第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づき設計された建屋内に設置する。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">位置的分散（2項）</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">落雷</td> <td colspan="2">第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。</td> <td>常設代替交流電源設備は、避雷設備等により防護する設計とする。</td> <td>第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">位置的分散（2項）</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>地滑り</td> <td colspan="4">地滑りを起こすような地形は存在しない。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">火山の影響</td> <td colspan="2">第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。</td> <td>設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。</td> <td>第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づき設計された建屋内に設置する。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">位置的分散（2項）</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>	項目	DB設備		常設SA設備		屋外	屋内	屋外	屋内	環境条件	第12条（安全施設）に基づく設計とする。		第43条第1項第1号の環境条件として健全性を確認している。		地盤	第3条（設計基準対象施設の地盤）に基づく地盤上に設置する。		第38条（重大事故等対処施設の地盤）に基づく地盤上に設置する。		地震	第4条（地震による損傷の防止）に基づく設計とする。		第39条（地震による損傷の防止）に基づく設計とする。		位置的分散（2項）				津波	第5条（津波による損傷の防止）に基づく設計とする。		第40条（津波による損傷の防止）に基づく設計とする。		位置的分散（2項）				洪水	敷地周辺の河川は、いずれも発電所とは丘陵地により隔てられていることから、敷地が洪水による被害を受けることはない。				風（台風）	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。		設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。	位置的分散（2項）				竜巻	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。		設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。	位置的分散（2項）				凍結	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。		設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づき設計された建屋内に設置する。	位置的分散（2項）				降水	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。		設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。	位置的分散（2項）				積雪	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。		設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づき設計された建屋内に設置する。	位置的分散（2項）				落雷	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。		常設代替交流電源設備は、避雷設備等により防護する設計とする。	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。	位置的分散（2項）				地滑り	地滑りを起こすような地形は存在しない。				火山の影響	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。		設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づき設計された建屋内に設置する。	位置的分散（2項）				<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">DB設備</th> <th colspan="2">常設SA設備</th> </tr> <tr> <th>屋外</th> <th>屋内</th> <th>屋外</th> <th>屋内</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>環境条件</td> <td colspan="2">第12条（安全施設）に基づく設計とする。</td> <td colspan="2">第43条第1項第1号の環境条件として健全性を確認している。</td> </tr> <tr> <td>地盤</td> <td colspan="2">第3条（設計基準対象施設の地盤）に基づく地盤上に設置する。</td> <td colspan="2">第38条（重大事故等対処施設の地盤）に基づく地盤上に設置する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地震</td> <td colspan="2">第4条（地震による損傷の防止）に基づく設計とする。</td> <td colspan="2">第39条（地震による損傷の防止）に基づく設計とする。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">位置的分散（2項）</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">津波</td> <td colspan="2">第5条（津波による損傷の防止）に基づく設計とする。</td> <td colspan="2">第40条（津波による損傷の防止）に基づく設計とする。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">位置的分散（2項）</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>洪水</td> <td colspan="4">敷地周辺の河川は、いずれも発電所とは丘陵地により隔てられていることから、敷地が洪水による被害を受けることはない。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">風（台風）</td> <td colspan="2">第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。</td> <td>設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。</td> <td>第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">位置的分散（2項）</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">竜巻</td> <td colspan="2">第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。</td> <td>設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。</td> <td>第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">位置的分散（2項）</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">凍結</td> <td colspan="2">第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。</td> <td>設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。</td> <td>第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">位置的分散（2項）</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">降水</td> <td colspan="2">第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。</td> <td>設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。</td> <td>第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">位置的分散（2項）</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">積雪</td> <td colspan="2">第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。</td> <td>設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。</td> <td>第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">位置的分散（2項）</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">落雷</td> <td colspan="2">第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。</td> <td>常設代替交流電源設備は、避雷設備等により防護する設計とする。</td> <td>第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">位置的分散（2項）</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>地滑り</td> <td colspan="4">地滑りを起こすような地形は存在しない。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">火山の影響</td> <td colspan="2">第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。</td> <td>設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。</td> <td>第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">位置的分散（2項）</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>	項目	DB設備		常設SA設備		屋外	屋内	屋外	屋内	環境条件	第12条（安全施設）に基づく設計とする。		第43条第1項第1号の環境条件として健全性を確認している。		地盤	第3条（設計基準対象施設の地盤）に基づく地盤上に設置する。		第38条（重大事故等対処施設の地盤）に基づく地盤上に設置する。		地震	第4条（地震による損傷の防止）に基づく設計とする。		第39条（地震による損傷の防止）に基づく設計とする。		位置的分散（2項）				津波	第5条（津波による損傷の防止）に基づく設計とする。		第40条（津波による損傷の防止）に基づく設計とする。		位置的分散（2項）				洪水	敷地周辺の河川は、いずれも発電所とは丘陵地により隔てられていることから、敷地が洪水による被害を受けることはない。				風（台風）	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。		設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。	位置的分散（2項）				竜巻	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。		設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。	位置的分散（2項）				凍結	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。		設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。	位置的分散（2項）				降水	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。		設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。	位置的分散（2項）				積雪	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。		設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。	位置的分散（2項）				落雷	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。		常設代替交流電源設備は、避雷設備等により防護する設計とする。	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。	位置的分散（2項）				地滑り	地滑りを起こすような地形は存在しない。				火山の影響	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。		設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。	位置的分散（2項）				<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">DB設備</th> <th colspan="2">常設SA設備</th> </tr> <tr> <th>屋外</th> <th>屋内</th> <th>屋外</th> <th>屋内</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>環境条件</td> <td colspan="2">第12条（安全施設）に基づく設計とする。</td> <td colspan="2">第43条第1項第1号の環境条件として健全性を確認している。</td> </tr> <tr> <td>地盤</td> <td colspan="2">第3条（設計基準対象施設の地盤）に基づく地盤上に設置する。</td> <td colspan="2">第38条（重大事故等対処施設の地盤）に基づく地盤上に設置する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地震</td> <td colspan="2">第4条（地震による損傷の防止）に基づく設計とする。</td> <td colspan="2">第39条（地震による損傷の防止）に基づく設計とする。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">位置的分散（2項）</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">津波</td> <td colspan="2">第5条（津波による損傷の防止）に基づく設計とする。</td> <td colspan="2">第40条（津波による損傷の防止）に基づく設計とする。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">位置的分散（2項）</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>洪水</td> <td colspan="4">敷地周辺の河川は、いずれも発電所とは丘陵地により隔てられていることから、敷地が洪水による被害を受けることはない。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">風（台風）</td> <td colspan="2">第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。</td> <td>設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。</td> <td>第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">位置的分散（2項）</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">竜巻</td> <td colspan="2">第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。</td> <td>設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。</td> <td>第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">位置的分散（2項）</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">凍結</td> <td colspan="2">第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。</td> <td>設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。</td> <td>第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">位置的分散（2項）</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">降水</td> <td colspan="2">第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。</td> <td>設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。</td> <td>第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">位置的分散（2項）</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">積雪</td> <td colspan="2">第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。</td> <td>設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。</td> <td>第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">位置的分散（2項）</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">落雷</td> <td colspan="2">第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。</td> <td>常設代替交流電源設備は、避雷設備等により防護する設計とする。</td> <td>第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">位置的分散（2項）</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>地滑り</td> <td colspan="4">地滑りを起こすような地形は存在しない。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">火山の影響</td> <td colspan="2">第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。</td> <td>設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。</td> <td>第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">位置的分散（2項）</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>	項目	DB設備		常設SA設備		屋外	屋内	屋外	屋内	環境条件	第12条（安全施設）に基づく設計とする。		第43条第1項第1号の環境条件として健全性を確認している。		地盤	第3条（設計基準対象施設の地盤）に基づく地盤上に設置する。		第38条（重大事故等対処施設の地盤）に基づく地盤上に設置する。		地震	第4条（地震による損傷の防止）に基づく設計とする。		第39条（地震による損傷の防止）に基づく設計とする。		位置的分散（2項）				津波	第5条（津波による損傷の防止）に基づく設計とする。		第40条（津波による損傷の防止）に基づく設計とする。		位置的分散（2項）				洪水	敷地周辺の河川は、いずれも発電所とは丘陵地により隔てられていることから、敷地が洪水による被害を受けることはない。				風（台風）	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。		設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。	位置的分散（2項）				竜巻	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。		設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。	位置的分散（2項）				凍結	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。		設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。	位置的分散（2項）				降水	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。		設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。	位置的分散（2項）				積雪	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。		設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。	位置的分散（2項）				落雷	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。		常設代替交流電源設備は、避雷設備等により防護する設計とする。	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。	位置的分散（2項）				地滑り	地滑りを起こすような地形は存在しない。				火山の影響	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。		設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。	位置的分散（2項）				
項目		DB設備		常設SA設備																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	屋外	屋内	屋外	屋内																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
環境条件	第12条（安全施設）に基づく設計とする。		第43条第1項第1号の環境条件として健全性を確認している。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
地盤	第3条（設計基準対象施設の地盤）に基づく地盤上に設置する。		第38条（重大事故等対処施設の地盤）に基づく地盤上に設置する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
地震	第4条（地震による損傷の防止）に基づく設計とする。		第39条（地震による損傷の防止）に基づく設計とする。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	位置的分散（2項）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
津波	第5条（津波による損傷の防止）に基づく設計とする。		第40条（津波による損傷の防止）に基づく設計とする。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	位置的分散（2項）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
洪水	敷地周辺の河川は、いずれも発電所とは丘陵地により隔てられていることから、敷地が洪水による被害を受けることはない。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
風（台風）	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。		設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	位置的分散（2項）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
竜巻	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。		設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	位置的分散（2項）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
凍結	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。		設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づき設計された建屋内に設置する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	位置的分散（2項）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
降水	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。		設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	位置的分散（2項）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
積雪	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。		設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づき設計された建屋内に設置する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	位置的分散（2項）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
落雷	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。		常設代替交流電源設備は、避雷設備等により防護する設計とする。	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	位置的分散（2項）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
地滑り	地滑りを起こすような地形は存在しない。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
火山の影響	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。		設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づき設計された建屋内に設置する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	位置的分散（2項）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
項目	DB設備		常設SA設備																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	屋外	屋内	屋外	屋内																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
環境条件	第12条（安全施設）に基づく設計とする。		第43条第1項第1号の環境条件として健全性を確認している。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
地盤	第3条（設計基準対象施設の地盤）に基づく地盤上に設置する。		第38条（重大事故等対処施設の地盤）に基づく地盤上に設置する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
地震	第4条（地震による損傷の防止）に基づく設計とする。		第39条（地震による損傷の防止）に基づく設計とする。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	位置的分散（2項）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
津波	第5条（津波による損傷の防止）に基づく設計とする。		第40条（津波による損傷の防止）に基づく設計とする。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	位置的分散（2項）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
洪水	敷地周辺の河川は、いずれも発電所とは丘陵地により隔てられていることから、敷地が洪水による被害を受けることはない。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
風（台風）	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。		設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	位置的分散（2項）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
竜巻	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。		設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	位置的分散（2項）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
凍結	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。		設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	位置的分散（2項）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
降水	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。		設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	位置的分散（2項）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
積雪	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。		設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	位置的分散（2項）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
落雷	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。		常設代替交流電源設備は、避雷設備等により防護する設計とする。	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	位置的分散（2項）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
地滑り	地滑りを起こすような地形は存在しない。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
火山の影響	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。		設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	位置的分散（2項）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
項目	DB設備		常設SA設備																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	屋外	屋内	屋外	屋内																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
環境条件	第12条（安全施設）に基づく設計とする。		第43条第1項第1号の環境条件として健全性を確認している。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
地盤	第3条（設計基準対象施設の地盤）に基づく地盤上に設置する。		第38条（重大事故等対処施設の地盤）に基づく地盤上に設置する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
地震	第4条（地震による損傷の防止）に基づく設計とする。		第39条（地震による損傷の防止）に基づく設計とする。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	位置的分散（2項）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
津波	第5条（津波による損傷の防止）に基づく設計とする。		第40条（津波による損傷の防止）に基づく設計とする。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	位置的分散（2項）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
洪水	敷地周辺の河川は、いずれも発電所とは丘陵地により隔てられていることから、敷地が洪水による被害を受けることはない。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
風（台風）	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。		設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	位置的分散（2項）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
竜巻	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。		設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	位置的分散（2項）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
凍結	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。		設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	位置的分散（2項）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
降水	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。		設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	位置的分散（2項）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
積雪	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。		設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	位置的分散（2項）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
落雷	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。		常設代替交流電源設備は、避雷設備等により防護する設計とする。	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	位置的分散（2項）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
地滑り	地滑りを起こすような地形は存在しない。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
火山の影響	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。		設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	位置的分散（2項）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由			
項目	自然現象	DR設備		常設SA設備		項目	自然現象	DR設備		常設SA設備			
		屋外	屋内	屋外	屋内			屋外	屋内	屋外	屋内		
自然現象	生物学的事象	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。		ネズミ等の小動物に対して屋外の常設重大事故防止設備は、侵入防止対策により重大事故等に対処するために必要な機能が損なわれるおそれのない設計とする。		第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。		ネズミ等の小動物に対して屋外の常設重大事故防止設備は、侵入防止対策により重大事故等に対処するために必要な機能が損なわれるおそれのない設計とする。		第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。			
		位置的分散（2項）				位置的分散（2項）				位置的分散（2項）			
	高潮		影響を受けない敷地高さに設置する（非常用取水設備は除く）。				高潮		影響を受けない敷地高さに設置する（非常用取水設備は除く）。				
	外部火災	森林火災	設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り、防火帯の内側に設置し、延焼しない設計とする。		第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。		外部火災	森林火災	設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り、防火帯の内側に設置し、延焼しない設計とする。		第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。		
		爆発近隣工場等の火災	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。		第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。			爆発近隣工場等の火災	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。		第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。		
	位置的分散（2項）						位置的分散（2項）						
	飛来物（航空機落下）	航空機落下確率評価の結果、防護設計を要する判断基準を超えないため、防護設計を考慮する必要はない。		設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。		第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。		飛来物（航空機落下）	航空機落下確率評価の結果、防護設計を要する判断基準を超えないため、防護設計を考慮する必要はない。		航空機落下確率評価の結果、防護設計を要する判断基準を超えないため、防護設計を考慮する必要はない。		
		位置的分散（2項）							位置的分散（2項）				
	ダム崩壊		発電所周辺にはダムや堰堤は存在せず、敷地周辺の河川は、いずれも発電所とは丘陵地により隔てられていることから、敷地がダムの崩壊による被害を受けることはない。				ダム崩壊		発電所周辺にはダムや堰堤は存在せず、敷地周辺の河川は、いずれも発電所とは丘陵地により隔てられていることから、敷地がダムの崩壊による被害を受けることはない。				
	有毒ガス	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。		設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。		第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。		有毒ガス	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。		設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。		
位置的分散（2項）						位置的分散（2項）							
船舶衝突	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。		設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。		第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。		船舶衝突	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。		設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。			
	位置的分散（2項）							位置的分散（2項）					
電磁的障害	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。		設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。		第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。		電磁的障害	第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計とする。		設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。			
	位置的分散（2項）							位置的分散（2項）					
故意による大型航空機の衝突その他のテロリズム		（屋内の可搬型重大事故防止設備は、可能な限り設計基準事故対処設備等の配置も含めて常設重大事故防止設備と位置的分散を図り複数箇所に分散して保管する設計とする。屋外に保管する可搬型重大事故防止設備は、原子炉建屋及び制御建屋から100m以上の離隔距離を確保するとともに、当該可搬型重大事故防止設備がその機能を代替する屋外の設計基準事故対処設備等及び常設重大事故防止設備から100m以上の離隔距離を確保した上で、複数箇所に分散して保管する設計とする。）				故意による大型航空機の衝突その他のテロリズム		（屋内の可搬型重大事故防止設備は、可能な限り設計基準事故対処設備等の配置も含めて常設重大事故防止設備と位置的分散を図り複数箇所に分散して保管する設計とする。屋外に保管する可搬型重大事故防止設備のうち、原子炉建屋又は原子炉補助建屋の外から水又は電力を供給する注水設備及び電源設備は、必要な容量等を備えることができる設備の2セットについて、また、原子炉建屋又は原子炉補助建屋の外から水又は電力を供給する注水設備及び電源設備以外のものは、必要な容量等を備えることができる設備の1セットについて、設計基準事故対処設備等及び常設重大事故防止設備が設置されている原子炉建屋、原子炉補助建屋又はディーゼル発電機建屋から100m以上の離隔距離を確保するとともに、当該可搬型重大事故防止設備がその機能を代替する新設水ポンプ建屋内の設計基準事故対処設備から100m以上の離隔距離を確保した上で複数箇所に分散して保管する設計とする。また、当該可搬型重大事故防止設備がその機能を代替する屋外の常設重大事故対処設備から、少なくとも1セットは100m以上の離隔距離を確保して保管する設計とする。）					
漏水	第9条（漏水による損傷の防止等）に基づく設計とする。		設計基準事故対処設備等と同時に機能が損なわれないよう位置的分散を図り設置する。				漏水	第9条（漏水による損傷の防止等）に基づく設計とする。		想定される漏水水位に対して機能を喪失しない設計とする。			
	位置的分散（区画）（2項）							位置的分散（区画）（2項）					
火災	第8条（火災による損傷の防止）に基づく設計とする。		第41条（火災による損傷の防止）に基づく設計とする。		第6条（外部からの衝撃による損傷の防止）に基づく設計された建屋内に設置する。		火災	第8条（火災による損傷の防止）に基づく設計とする。		第41条（火災による損傷の防止）に基づく設計とする。			
	位置的分散（区画）（2項）							位置的分散（区画）（2項）					

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由				
②サポート系															
共通要因	ポンプ等	発電機	弁	パラメータ	共通要因	ポンプ等	発電機	弁	パラメータ	共通要因	ポンプ等	発電機	弁	パラメータ	
電源	<ul style="list-style-type: none"> 電源の多様性 [常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備（⇔非常用交流電源設備）] 	-	<ul style="list-style-type: none"> 電源の多様性 [常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備（⇔非常用交流電源設備）] 	<ul style="list-style-type: none"> 電源の多重性 (A系：計装電源A(区分I)) (B系：計装電源B(区分II)) ※重大事故等対処設備のみに使用するパラメータは、A系又はB系より給電可能・電源の多様性 [常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備（⇔非常用交流電源設備）、可搬型代替直流電源設備（⇔非常用直流電源設備）] 	電源	<ul style="list-style-type: none"> 電源の多様性 [常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備（⇔非常用交流電源設備）] 	-	<ul style="list-style-type: none"> 電源の多様性 [常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備（⇔非常用交流電源設備）] 	<ul style="list-style-type: none"> 電源の多重性 [常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備（⇔非常用交流電源設備）] 	電源	<ul style="list-style-type: none"> 電源の多様性 [常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備（⇔非常用交流電源設備）] 	-	<ul style="list-style-type: none"> 電源の多様性 [常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備（⇔非常用交流電源設備）] 	<ul style="list-style-type: none"> 電源の多重性 [常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備（⇔非常用交流電源設備）] 	
燃料油	-	<ul style="list-style-type: none"> 位置的分散 [ガスタービン発電設備軽油タンク（⇔軽油タンク）] 	-	-	燃料油	-	<ul style="list-style-type: none"> 位置的分散 [ディーゼル発電機燃料油貯油槽（⇔燃料タンク（S A））] 	-	-	燃料油	-	<ul style="list-style-type: none"> 位置的分散 [ディーゼル発電機燃料油貯油槽（⇔燃料タンク（S A））] 	-	-	
空気	-	-	<ul style="list-style-type: none"> 駆動方式の多様性 [高圧窒素ガスポンプ（⇔アキュムレータ）] 	-	空気	-	-	<ul style="list-style-type: none"> 駆動方式の多様性 [窒素ガスポンプ（⇔制御用圧縮空気）] 	-	空気	-	-	<ul style="list-style-type: none"> 駆動方式の多様性 [窒素ガスポンプ（⇔制御用圧縮空気）] 	-	
冷却方式	<ul style="list-style-type: none"> 冷却方式の多様性 [自己冷却（⇔原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。））] 	<ul style="list-style-type: none"> 冷却方式の多様性 [空気冷却（⇔原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。））] 	-	<ul style="list-style-type: none"> 冷却方式の多様性 [原子炉補機代替冷却水系（⇔原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。））] 	冷却方式	<ul style="list-style-type: none"> 冷却方式の多様性 [自己冷却（⇔原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。））] 	<ul style="list-style-type: none"> 冷却方式の多様性 [自己冷却（⇔原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。））] 	-	<ul style="list-style-type: none"> 冷却方式の多様性 [自己冷却（⇔原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。））] 	冷却方式	<ul style="list-style-type: none"> 冷却方式の多様性 [自己冷却（⇔原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。））] 	-	<ul style="list-style-type: none"> 冷却方式の多様性 [自己冷却（⇔原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。））] 	<ul style="list-style-type: none"> 冷却方式の多様性 [自己冷却（⇔原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。））] 	<ul style="list-style-type: none"> 冷却方式の多様性 [代替補機冷却（⇔原子炉補機冷却設備）]
水源	<ul style="list-style-type: none"> 異なる水源 [復水貯蔵タンク、淡水貯水槽（No.1）、淡水貯水槽（No.2）（⇔サブレーションチェンバ）] 	-	-	-	水源	-	-	-	-	水源	-	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> 異なる水源 代替給水ビット、原水槽、海（⇔燃料取替用水ビット、補助給水ビット）]

※括弧内の設備は、多様性の対象となる設計基準対象施設を表す。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉				女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
(2) 各区分における設計方針について、以下の表にまとめた。				(2) 各区分における設計方針について、以下の表にまとめた。				(2) 各区分における設計方針について、以下の表にまとめた。				記載箇所の相違
影響評価項目	設計方針	エビデンス	備考	類型化区分	設計方針	関連資料	備考	影響評価項目	設計方針	関連資料	備考	
①環境条件、自然現象、外部人為事象、溢水、火災	共通	地震、津波、溢水及び火災に対して常設重大事故防止設備は、設計基準事故対処設備の安全機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないように、可能な限り設計基準事故対処設備と位置的分散を図り、溢水による溢水水位を考慮した高所に設置する。	—	共通	共通	ネズミ等の小動物に対して屋外の常設重大事故防止設備は、侵入防止対策により重大事故等に対処するために必要な機能が損なわれるおそれのない設計とする。	配置図 系統図	共通	凍結、降水、積雪及び電磁的障害に対して、環境条件にて考慮し機能が損なわれない設計とする。	配置図 系統図	—	①泊と女川で、類型化区分に応じた設計方針は同様であるが、記載箇所が以下のとおり相違している。
	a. 屋内	風（台風）、竜巻、落雷、生物学的事象、森林火災、近隣工場等の火災（発電所敷地内に存在する危険物タンクの火災、航空機墜落による火災、発電所港湾内に入港する船舶の火災及びびばい煙等の二次的影響）、有毒ガス及び電磁的障害に対して屋内の常設重大事故防止設備は、外部からの衝撃による損傷の防止が図られた建屋内に設置する。	配置図		共通要因の考慮対象設備あり	屋内			Aa ○防止設備－対象（代替対象 DB 設備あり）－屋内地震、津波、溢水及び火災に対しては、設計基準事故対処設備等と同時に機能を損なうおそれがないように、可能な限り設計基準事故対処設備等と位置的分散を図る設計とする。 風（台風）、竜巻、凍結、降水、積雪、落雷、火山の影響、生物学的事象、森林火災、高潮、飛来物（航空機落下）、爆発、近隣工場等の火災、有毒ガス、船舶の衝突及び電磁的障害に対して、外部からの衝撃による損傷の防止が図られた建屋内に設置する。			
b. 屋外	風（台風）、竜巻、落雷、生物学的事象、森林火災、近隣工場等の火災（発電所敷地内に存在する危険物タンクの火災、航空機墜落による火災、発電所港湾内に入港する船舶の火災及びびばい煙等の二次的影響）、有毒ガス及び電磁的障害に対して屋外の常設重大事故防止設備は、設計基準事故対処設備の安全機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないように、設計基準事故対処設備を防護するとともに、設計基準事故対処設備と位置的分散を図る設計とする。 落雷に対して空冷式非常用発電機は、避雷設備又は接地設備により防護する設計とする。生物学的事象のうち、ネズミ等の小動物に対して屋外の常設重大事故防止設備は、侵入防止対策により安全機能が損なわれるおそれのない設計とする。生物学的事象のうち、くらげ等の海洋生物に対して屋外の常設重大事故防止設備は、多重性を持つ設計とする。高潮に対して常設重大事故防止設備は、津波に包摂されることから影響を受けない。	配置図	共通要因の考慮対象設備なし	屋外	Ab ○防止設備－対象（代替対象 DB 設備あり）－屋外地震、津波、溢水及び火災に対しては、設計基準事故対処設備等と同時に機能を損なうおそれがないように、位置的分散を図る設計とする。 風（台風）、竜巻、凍結、降水、積雪、落雷、火山の影響、生物学的事象、森林火災、高潮、飛来物（航空機落下）、爆発、近隣工場等の火災、有毒ガス、船舶の衝突及び電磁的障害に対して、設計基準事故対処設備等と同時に機能を損なうおそれがないように、位置的分散を図る設計とする。	配置図 系統図	Ab. 屋外の重大事故防止設備	風（台風）、竜巻、凍結、降水、積雪、落雷、地滑り、火山の影響、生物学的事象、森林火災、爆発、近隣工場等の火災、有毒ガス、船舶の衝突及び電磁的障害に対して、設計基準事故対処設備等の機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないように、設計基準事故対処設備等を防護するとともに、設計基準事故対処設備等と位置的分散を図り屋外に設置する。 落雷に対して代替非常用発電機は、避雷設備又は接地設備により防護する設計とする。生物学的事象のうち、ネズミ等の小動物に対して屋外の常設重大事故防止設備は、侵入防止対策により機能が損なわれるおそれのない設計とする。クラゲ等の海洋生物から影響をうけるおそれのある常設重大事故防止設備は、多重性をもつ設計とする。 高潮に対して常設重大事故防止設備（非常用取水設備を除く）は、高潮の影響を受けにくい敷地高さに設置する。 （同一目的の重大事故等対処設備がある場合）	配置図 系統図	—	・泊は、対象外に分類する類型化区分について、類型化の対象外であるため設計方針を記載していない。女川においても共通要因の考慮対象がないため、当該設備を頑健及び修復する方針を記載している。	
②サポート系による要因	サポート系に対しては、系統又は機器に供給される電力、空気、油及び冷却水を考慮し、常設重大事故防止設備は設計基準事故対処設備と異なる駆動源及び冷却源を用いる設計とする。また、常設重大事故防止設備は設計基準事故対処設備と可能な限り異なる水源を持つ設計とする。（多様性、独立性）	配置図、系統図	火災	同一機能の設備あり	B ○緩和設備又は防止でも緩和でもない設備－対象（同一機能のSA 設備あり） 環境条件、自然現象、人為事象、溢水、火災及びサポート系の故障に対して、修復性等を考慮し、可能な限り頑健性を有する設計とする。		系統図 単線結線図	B. 重大事故緩和設備、防止・緩和以外				環境条件、自然現象、人為事象、溢水、火災及びサポート系の故障に対して、可能な限り多様性、位置的分散を図る設計とする。若しくは修復性等を考慮し、可能な限り頑健性を有する設計とする。
			火災	同一機能の設備なし	対象外 （環境条件、自然現象、人為事象、溢水、火災及びサポート系の故障に対して、修復性等を考慮し、可能な限り頑健性を有する設計とする。）	系統図 単線結線図		C. サポート系あり	サポート系に対しては、系統又は機器に供給される電力、空気、油、冷却水を考慮し、常設重大事故防止設備は設計基準事故対処設備と異なる駆動源、冷却源を用いる設計とする。また、水源についても可能な限り異なる水源を用いる設計とする。	—	—	—
			火災	異なる駆動源、冷却源	Ca ○対象（サポート系あり）－異なる駆動源、冷却源常設重大事故防止設備は、設計基準事故対処設備等と異なる駆動源、冷却源を用いる設計とする。また、水源についても可能な限り異なる水源を用いる設計とする。		系統図 単線結線図	C. サポート系あり	サポート系に対しては、系統又は機器に供給される電力、空気、油、冷却水を考慮し、常設重大事故防止設備は設計基準事故対処設備と異なる駆動源、冷却源を用いる設計とする。また、水源についても可能な限り異なる水源を用いる設計とする。			
			火災	別の手段	Cb ○対象（サポート系あり）－別の手段常設重大事故防止設備は、駆動源、冷却源が同じ場合は別の手段が可能な設計とする。また、水源についても可能な限り異なる水源を用いる設計とする。	系統図 単線結線図		C. サポート系なし	○対象外（サポート系なし）	—	—	—
			火災	サポート系なし	—		系統図 単線結線図					

※ 個別条文中記載する事項を下部で示す

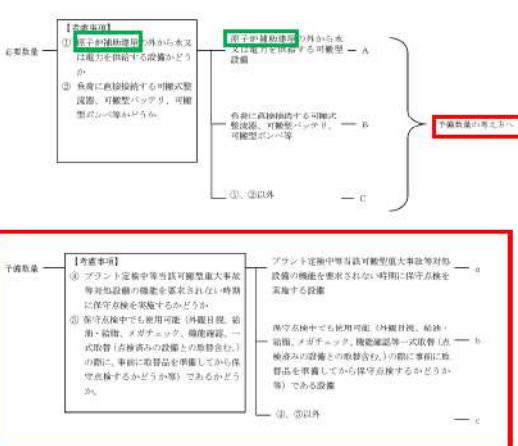
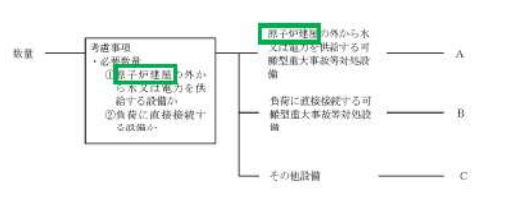
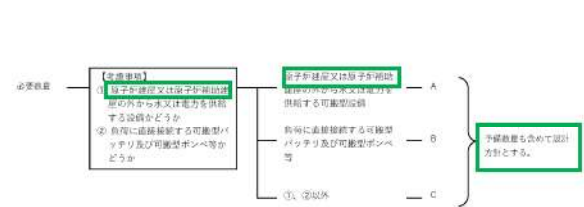
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

43条 重大事故等対処設備

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>■設置許可基準規則 第43条 第3項 第1号 可搬型重大事故等対処設備の容量等について</p> <p>1. 概要 重大事故等対処設備の基準適合性を確認するに当たり、設置許可基準規則により要求されている項目のうち、可搬型重大事故等対処設備の容量の適合性を確認するための区分及び設計方針について整理した。</p> <p>(1) 基本設計方針 可搬型重大事故等対処設備は、想定される重大事故等の取束において、想定する事象及びその事象の進展を考慮し、事故対応手段としての系統設計を行う。重大事故等の取束は、これらの系統の組合せにより達成する。 「容量等」とは、必要となる機器のポンプ流量、タンク容量、発電機容量、蓄電容量及びポンベ容量並びに計装設備の計測範囲とする。</p> <p>可搬型重大事故等対処設備の容量等は、系統の目的に応じて1セットに必要な容量等を有する設計とする。これを複数セット保有することにより、必要な容量等に加え、十分に余裕のある容量等を有する設計とする。</p> <p>可搬型重大事故等対処設備のうち複数の機能を兼用することで、設置の効率化及び被ばく低減を図れるものは、同時に要求される可能性のある複数の機能に必要な容量等をあわせた容量等とし、兼用できる設計とする。</p> <p>可搬型重大事故等対処設備のうち原子炉補助建屋の外から水又は電力を供給する電源設備及び注水設備は、必要となる容量等を賄うことができる設備を1基当たり2セット以上持つことに加え、故障時のバックアップ及び保守点検による待機除外時のバックアップを発電所全体で確保する。</p> <p>また、可搬型重大事故等対処設備のうち、負荷に直接接続する可搬式整流器、可搬型バッテリー、可搬型ポンベは、1負荷当たり1セットに、発電所全体で故障時のバックアップ及び保守点検による待機除外時のバックアップを加えた容量等を確保する。 ただし、待機要求のない時期に保守点検を実施、又は保守点検が目視点検等であり保守点検中でも使用可能なものについては、保守点検時間は考慮せずに、故障時のバックアップを考慮する。</p> <p>(2) 類型化 a. 考慮事項 (a) 容量 ・想定する事象及びその事象の進展を考慮し、事故対応手段としての系統設計を行う。 (b) 数量 ・可搬型設備の使用方法を考慮し、バックアップの数量を設計する。</p> <p>考慮事項1 ①原子炉補助建屋の外から水又は電力を供給する設備かどうか ②負荷に直接接続する可搬式整流器、可搬型バッテリー、可搬型ポンベかどうか ③①、②以外</p> <p>考慮事項2 考慮事項1において、それぞれの設備が ④プラント定検中等当該可搬型重大事故等対処設備が待機要求されない時期に保守点検を実施するかどうか ⑤保守点検中でも使用可能（外観目視、給油・給脂、メガチェック、機能確認、一式取替（点検済みの設備との取替含む）の際に事前に取替品を準備してから保守点検するかどうか等）であるかどうか ⑥④、⑤以外</p>	<p>■設置許可基準規則 第四十三条第3項第一号 可搬型重大事故等対処設備の容量等について</p> <p>1. 概要 重大事故等対処設備の基準適合性を確認するに当たり、設置許可基準規則により要求されている項目のうち、可搬型重大事故等対処設備の容量等の適合性を確認するための区分及び設計方針について整理した。</p> <p>(1) 基本設計方針 可搬型重大事故等対処設備は、想定される重大事故等の取束において、想定する事象及びその事象の進展を考慮し、事故対応手段としての系統設計を行う。重大事故等の取束は、これらの系統の組合せにより達成する。</p> <p>可搬型重大事故等対処設備は、系統の目的に応じて必要な容量等を有する設計とするとともに、設備の機能、信頼度等を考慮し、予備を含めた保有数を確保することにより、必要な容量等に加え、十分に余裕のある容量等を有する設計とする。 なお、「容量等」とは、ポンプ流量、タンク容量、伝熱容量、発電機容量、蓄電池容量、ポンベ容量、計測器の計測範囲等とする。</p> <p>可搬型重大事故等対処設備のうち複数の機能を兼用することで、設置の効率化、被ばくの低減を図れるものは、同時に要求される可能性のある複数の機能に必要な容量等を合わせた容量等とし、兼用できる設計とする。</p> <p>可搬型重大事故等対処設備のうち、原子炉建屋の外から水又は電力を供給する注水設備及び電源設備は、必要となる容量等を有する設備を1基当たり2セットに加え、故障時のバックアップ及び保守点検による待機除外時のバックアップとして、発電所全体で予備を確保する。</p> <p>また、可搬型重大事故等対処設備のうち、負荷に直接接続する高圧窒素ガスポンベ、主蒸気逃がし安全弁用可搬型蓄電池等は、必要となる容量等を有する設備を1基当たり1セットに加え、故障時のバックアップ及び保守点検による待機除外時のバックアップとして、発電所全体で予備を確保する。</p> <p>上記以外の可搬型重大事故等対処設備は、必要となる容量等を有する設備を1基当たり1セットに加え、設備の信頼度等を考慮し、予備を確保する。</p> <p>(2) 類型化の考え方 a. 考慮事項 (a) 容量 ・想定する事象及びその事象の進展を考慮し、事故対応手段としての系統設計を行う。 (b) 数量 ・可搬型設備の使用方法を考慮し、必要数量を設計する。</p> <p>①原子炉建屋の外から水又は電力を供給する設備か。 ②負荷に直接接続する可搬型直流電源設備等か。</p>	<p>■設置許可基準規則 第43条 第3項 第1号 可搬型重大事故等対処設備の容量等について</p> <p>1. 概要 重大事故等対処設備の基準適合性を確認するに当たり、設置許可基準規則により要求されている項目のうち、可搬型重大事故等対処設備の容量等の適合性を確認するための区分及び設計方針について整理した。</p> <p>(1) 基本設計方針 可搬型重大事故等対処設備は、想定される重大事故等の取束において、想定する事象及びその事象の進展を考慮し、事故対応手段としての系統設計を行う。重大事故等の取束は、これらの系統の組合せにより達成する。 「容量等」とは、ポンプ流量、タンク容量、発電機容量、蓄電池容量、ポンベ容量、計装設備の計測範囲等とする。</p> <p>可搬型重大事故等対処設備は、系統の目的に応じて必要な容量等を有する設計とするとともに、設備の機能、信頼度等を考慮し、予備を含めた保有数を確保することにより、必要な容量等に加え、十分に余裕のある容量等を有する設計とする。</p> <p>可搬型重大事故等対処設備のうち複数の機能を兼用することで、設置の効率化、被ばくの低減を図れるものは、同時に要求される可能性のある複数の機能に必要な容量等を合わせた容量等とし、兼用できる設計とする。</p> <p>可搬型重大事故等対処設備のうち原子炉建屋又は原子炉補助建屋の外から水又は電力を供給する注水設備及び電源設備は、必要となる容量等を有する設備を1基当たり2セットに加え、故障時のバックアップ及び保守点検による待機除外時のバックアップとして、発電所全体で予備を確保する。</p> <p>また、可搬型重大事故等対処設備のうち、負荷に直接接続する加圧器逃がし弁操作用可搬型窒素ガスポンベ、加圧器逃がし弁操作用バッテリー等は、必要となる容量等を有する設備を1負荷当たり1セットに加え、故障時のバックアップ及び保守点検による待機除外時のバックアップとして、発電所全体で予備を確保する。</p> <p>上記以外の可搬型重大事故等対処設備は、必要となる容量等を有する設備を1基当たり1セットに加え、設備の信頼度等を考慮し、予備を確保する。</p> <p>(2) 類型化の考え方は以下のとおり。 a. 考慮事項 (a) 容量 ・想定する事象及びその事象の進展を考慮し、事故対応手段としての系統設計を行う。 (b) 数量 ・可搬型設備の使用方法を考慮し、必要数量を設計する。</p> <p>考慮事項1 ①原子炉建屋又は原子炉補助建屋の外から水又は電力を供給する設備かどうか ②負荷に直接接続する加圧器逃がし弁操作用可搬型窒素ガスポンベ、加圧器逃がし弁操作用バッテリー等かどうか ③①、②以外</p>	<p>記載位置の相違</p> <p>類型化考慮事項の相違 ・大飯は、可搬型SA設備の予備保有数を保守管理等の内容を考慮した類型化考慮事項として設定している。 ・泊は、大飯と同様の方針を基本とするが、設備個別で予備保有数を設定し、機能期待する期間にわたって必要数を維持する。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

43条 重大事故等対処設備

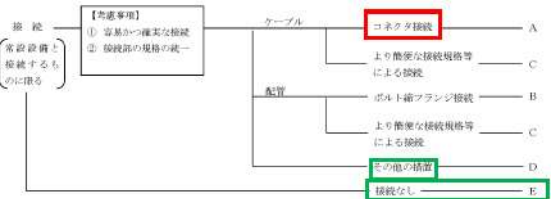
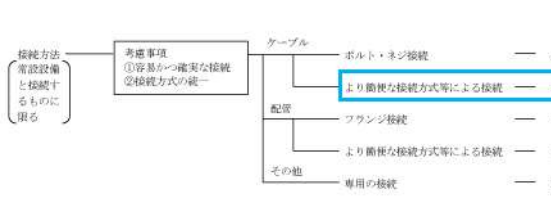

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>b. 類型化</p> <p>(a) 必要容量</p> <ul style="list-style-type: none"> 想定する事象及びその事象の進展を考慮し、事故対応手段としての系統設計を行う。(類型化なし) <p>(b) 数量</p> <ul style="list-style-type: none"> 配備する必要数量の考え方については以下の「A」～「C」区分に分類し、さらにその予備数量の考え方については以下の「a」～「c」区分に分類し、必要数量と予備数量とをあわせて整理する。 <p>必要数量の考え方</p> <ol style="list-style-type: none"> 原子炉補助建屋の外から水又は電力を供給する可搬型設備を「A」とする。 負荷に直接接続する可搬型設備を「B」とする。 ①、②以外を「C」とする。 <p>予備数量の考え方</p> <ol style="list-style-type: none"> プラント定検中等当該可搬型重大事故等対処設備が待機要求されない時期に保守点検を実施する設備を「a」とする。 保守点検中でも使用可能（外観目視、給油・給脂、メガチェック、機能確認、一式取替（点検済みの設備との取替含む。）の際に事前に取り替いを準備してから保守点検するかどうか等）である設備を「b」とする。 ①、②、③いずれにも該当しない設備を「c」とする。 	<p>b. 類型化</p> <p>(a) 容量</p> <ul style="list-style-type: none"> 類型化なし <p>(b) 数量</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉建屋の外から水又は電力を供給する可搬型重大事故等対処設備を「A」、負荷に直接接続する可搬型重大事故等対処設備を「B」、それ以外を「C」に分類する。 	<p>b. 類型化</p> <p>(a) 容量</p> <ul style="list-style-type: none"> 類型化なし （想定する事象及びその事象の進展を考慮し、事故対応手段としての系統設計を行う。） <p>(b) 数量</p> <ul style="list-style-type: none"> 配備する必要数量の考え方については以下の「A」～「C」区分に分類し、さらにその予備数量の考え方をあわせて整理する。 <p>必要数量の考え方</p> <ol style="list-style-type: none"> 原子炉建屋又は原子炉補助建屋の外から水又は電力を供給する可搬型重大事故等対処設備を「A」とする。 負荷に直接接続する可搬型重大事故等対処設備を「B」とする。 ①、②以外を「C」とする。 	<p>相違理由</p> <p>類型化考慮事項の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 大飯は、可搬型SA設備の予備保有数を保守管理等の内容を考慮した類型化考慮事項として設定している。 泊は、大飯と同様の方針を基本とするが、設備個別で予備保有数を設定し、機能期待する期間にわたって必要数を維持する。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

43条 重大事故等対処設備

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																				
<p>2. 設計方針について</p> <p>【要求事項：想定される重大事故等の取込に必要な容量に加え、十分に余裕のある容量を有するものであること。】 各区分における設計方針について、以下のとおりまとめた。</p> <p>(1) 必要容量</p> <p>系統の目的に応じて必要な容量を有する設計とする。 複数の機能を兼用することで、設置の効率化及び被ばく低減を図れるものは、同時に要求される可能性のある複数の機能に必要な容量を合わせた容量とし、兼用できる設計とする。</p> <p>(2) 数量</p> <table border="1" data-bbox="91 419 683 730"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>対象設備</th> <th>設計方針</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>原子炉補助建屋の外から水又は電力を供給する可搬型設備</td> <td>系統の目的に応じて必要となる容量等の仕様を有するものを3号炉及び4号炉でそれぞれ2セット保有する。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>負荷に直接接続する可搬型蓄電池、可搬型バッテリー、可搬型ポンプ等</td> <td>系統の目的に応じて必要となる容量等の仕様を有するものを3号炉及び4号炉でそれぞれ1セット保有する。</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>A、B以外</td> <td>系統の目的に応じて必要となる容量等の仕様を有するものを3号炉及び4号炉でそれぞれ1セット保有する。</td> </tr> </tbody> </table>	区分	対象設備	設計方針	A	原子炉補助建屋の外から水又は電力を供給する可搬型設備	系統の目的に応じて必要となる容量等の仕様を有するものを3号炉及び4号炉でそれぞれ2セット保有する。	B	負荷に直接接続する可搬型蓄電池、可搬型バッテリー、可搬型ポンプ等	系統の目的に応じて必要となる容量等の仕様を有するものを3号炉及び4号炉でそれぞれ1セット保有する。	C	A、B以外	系統の目的に応じて必要となる容量等の仕様を有するものを3号炉及び4号炉でそれぞれ1セット保有する。	<p>2. 設計方針について</p> <p>【要求事項：想定される重大事故等の取込に必要な容量に加え、十分に余裕のある容量を有するものであること。】 各区分における設計方針について、以下の表にまとめた。</p> <p>(1) 必要容量</p> <p>系統の目的に応じて必要な容量等を有する設計とする。 複数の機能を兼用することで、設置の効率化、被ばく低減を図れるものは、同時に要求される可能性のある複数の機能に必要な容量等を合わせた容量等とし、兼用可能な設計とする。</p> <p>(2) 数量</p> <table border="1" data-bbox="712 419 1317 730"> <thead> <tr> <th>類型化区分</th> <th>設計方針</th> <th>対象設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>必要となる容量等を有する設備を2セットに加え、故障時のバックアップ及び保守点検による待機除外時のバックアップを発電所全体で1台以上確保する。</td> <td>・大容量送水ポンプ（タイプ1） ・電源車 ・熱交換器ユニット</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>必要となる容量等を有する設備を1セットに加え、故障時のバックアップ及び保守点検による待機除外時のバックアップを発電所全体で1台以上確保する。</td> <td>・高圧窒素ガスボンベ ・主蒸気逃がし安全弁用可搬型蓄電池</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>必要となる容量等を有する設備を1セット確保することに加え、プラントの安全性を向上させる観点から、設備の信頼度等を考慮し、予備を確保する。</td> <td>・その他設備</td> </tr> </tbody> </table>	類型化区分	設計方針	対象設備	A	必要となる容量等を有する設備を2セットに加え、故障時のバックアップ及び保守点検による待機除外時のバックアップを発電所全体で1台以上確保する。	・大容量送水ポンプ（タイプ1） ・電源車 ・熱交換器ユニット	B	必要となる容量等を有する設備を1セットに加え、故障時のバックアップ及び保守点検による待機除外時のバックアップを発電所全体で1台以上確保する。	・高圧窒素ガスボンベ ・主蒸気逃がし安全弁用可搬型蓄電池	C	必要となる容量等を有する設備を1セット確保することに加え、プラントの安全性を向上させる観点から、設備の信頼度等を考慮し、予備を確保する。	・その他設備	<p>2. 設計方針について</p> <p>【要求事項：想定される重大事故等の取込に必要な容量に加え、十分に余裕のある容量を有するものであること。】 各区分における設計方針について、以下のとおりまとめた。</p> <p>(1) 必要容量</p> <p>系統の目的に応じて1セットで必要な容量等を有する設計とする。 複数の機能を兼用することで、設置の効率化、被ばく低減を図れるものは、同時に要求される可能性のある複数の機能に必要な容量等を合わせた容量等とし、兼用可能な設計とする。</p> <p>(2) 数量</p> <table border="1" data-bbox="1344 419 1957 730"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>対象設備</th> <th>設計方針</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>原子炉建屋又は原子炉補助建屋の外から水又は電力を供給する可搬型重大事故等対処設備</td> <td>必要となる容量等を有する設備を2セットに加え、故障時のバックアップ及び保守点検による待機除外時のバックアップを発電所全体で1台以上確保する。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>負荷に直接接続する可搬型重大事故等対処設備</td> <td>必要となる容量等を有する設備を1セットに、故障時のバックアップ及び保守点検による待機除外時のバックアップを発電所全体で1台以上確保する。</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>A、B以外</td> <td>必要となる容量等を有する設備を1セットに加え、プラントの安全性を向上させる観点から、設備の信頼度等を考慮し、予備を確保する。</td> </tr> </tbody> </table>	区分	対象設備	設計方針	A	原子炉建屋又は原子炉補助建屋の外から水又は電力を供給する可搬型重大事故等対処設備	必要となる容量等を有する設備を2セットに加え、故障時のバックアップ及び保守点検による待機除外時のバックアップを発電所全体で1台以上確保する。	B	負荷に直接接続する可搬型重大事故等対処設備	必要となる容量等を有する設備を1セットに、故障時のバックアップ及び保守点検による待機除外時のバックアップを発電所全体で1台以上確保する。	C	A、B以外	必要となる容量等を有する設備を1セットに加え、プラントの安全性を向上させる観点から、設備の信頼度等を考慮し、予備を確保する。	<p>記載方針の相違（女川） ・泊は、計装設備の容量等の設計方針についても記載した。</p>
区分	対象設備	設計方針																																					
A	原子炉補助建屋の外から水又は電力を供給する可搬型設備	系統の目的に応じて必要となる容量等の仕様を有するものを3号炉及び4号炉でそれぞれ2セット保有する。																																					
B	負荷に直接接続する可搬型蓄電池、可搬型バッテリー、可搬型ポンプ等	系統の目的に応じて必要となる容量等の仕様を有するものを3号炉及び4号炉でそれぞれ1セット保有する。																																					
C	A、B以外	系統の目的に応じて必要となる容量等の仕様を有するものを3号炉及び4号炉でそれぞれ1セット保有する。																																					
類型化区分	設計方針	対象設備																																					
A	必要となる容量等を有する設備を2セットに加え、故障時のバックアップ及び保守点検による待機除外時のバックアップを発電所全体で1台以上確保する。	・大容量送水ポンプ（タイプ1） ・電源車 ・熱交換器ユニット																																					
B	必要となる容量等を有する設備を1セットに加え、故障時のバックアップ及び保守点検による待機除外時のバックアップを発電所全体で1台以上確保する。	・高圧窒素ガスボンベ ・主蒸気逃がし安全弁用可搬型蓄電池																																					
C	必要となる容量等を有する設備を1セット確保することに加え、プラントの安全性を向上させる観点から、設備の信頼度等を考慮し、予備を確保する。	・その他設備																																					
区分	対象設備	設計方針																																					
A	原子炉建屋又は原子炉補助建屋の外から水又は電力を供給する可搬型重大事故等対処設備	必要となる容量等を有する設備を2セットに加え、故障時のバックアップ及び保守点検による待機除外時のバックアップを発電所全体で1台以上確保する。																																					
B	負荷に直接接続する可搬型重大事故等対処設備	必要となる容量等を有する設備を1セットに、故障時のバックアップ及び保守点検による待機除外時のバックアップを発電所全体で1台以上確保する。																																					
C	A、B以外	必要となる容量等を有する設備を1セットに加え、プラントの安全性を向上させる観点から、設備の信頼度等を考慮し、予備を確保する。																																					
<table border="1" data-bbox="91 754 683 1161"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>対象設備</th> <th>設計方針</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>a</td> <td>プラント定検中等当該可搬型重大事故等対処設備の機能を要求されない時期に保守点検を実施する設備</td> <td>機能要求の無い時期に保守点検を実施するため、保守点検用は考慮せずに、故障時のバックアップ用として1個を保管し、その予備は共有できる設計とする。</td> </tr> <tr> <td>b</td> <td>保守点検中でも使用可能（外観目視、給油・給脂、メガチェック、機能確認等）である設備</td> <td>保守点検内容は目視点検等であり、保守点検中でも使用可能であるため、保守点検用は考慮せずに、故障時のバックアップ用として1個を保管し、その予備は共有できる設計とする。</td> </tr> <tr> <td>c</td> <td>a、b以外</td> <td>故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用の2個を保管し、その予備は共有できる設計とする。</td> </tr> </tbody> </table> <p>設計方針の相違</p>	区分	対象設備	設計方針	a	プラント定検中等当該可搬型重大事故等対処設備の機能を要求されない時期に保守点検を実施する設備	機能要求の無い時期に保守点検を実施するため、保守点検用は考慮せずに、故障時のバックアップ用として1個を保管し、その予備は共有できる設計とする。	b	保守点検中でも使用可能（外観目視、給油・給脂、メガチェック、機能確認等）である設備	保守点検内容は目視点検等であり、保守点検中でも使用可能であるため、保守点検用は考慮せずに、故障時のバックアップ用として1個を保管し、その予備は共有できる設計とする。	c	a、b以外	故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用の2個を保管し、その予備は共有できる設計とする。		<p>計装設備の計測範囲については、重大事故等時に想定される設計基準を超える状態において原子炉施設の状態を推定できるよう計測できる設計とすることで、容量等を有する設計とする。</p> <p>○容量等 「容量等」とは、必要となるポンプ流量、タンク容量、発電機容量、蓄電池容量、ポンプ容量、計装設備の計測範囲等とする。</p>																									
区分	対象設備	設計方針																																					
a	プラント定検中等当該可搬型重大事故等対処設備の機能を要求されない時期に保守点検を実施する設備	機能要求の無い時期に保守点検を実施するため、保守点検用は考慮せずに、故障時のバックアップ用として1個を保管し、その予備は共有できる設計とする。																																					
b	保守点検中でも使用可能（外観目視、給油・給脂、メガチェック、機能確認等）である設備	保守点検内容は目視点検等であり、保守点検中でも使用可能であるため、保守点検用は考慮せずに、故障時のバックアップ用として1個を保管し、その予備は共有できる設計とする。																																					
c	a、b以外	故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用の2個を保管し、その予備は共有できる設計とする。																																					

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>■設置許可基準規則 第43条 第3項 第2号 可搬型重大事故等対処設備の常設設備との接続性について</p> <p>1. 概要 重大事故等対処設備の基準適合性を確認するに当たり、設置許可基準規則により要求されている項目のうち、可搬型重大事故等対処設備の常設設備との接続性を確認するための区分及び設計方針について整理した。</p> <p>(1) 基本設計方針 可搬型重大事故等対処設備を常設設備と接続するものについては、容易かつ確実に接続できるように、ケーブルは種別によって規格の統一を考慮したコネクタ又はより簡便な接続規格等を、配管は配管径や内部流体の圧力によって、高压環境においてはフランジを、小口径配管かつ低圧環境においてはより簡便な接続規格等を用いる設計とする。 また、原子炉施設が相互に使用することができるように3号炉及び4号炉とも同一規格又は同一形状とするとともに同一ポンプを接続する配管は同口径のフランジ接続とする等、複数の系統での規格の統一も考慮する。</p> <p>(2) 類型化の考え方 a. 考慮事項 ・容易かつ確実に接続する。 ・相互に使用することができるように3号炉及び4号炉との同一形状とする。 b. 類型化 ・内部流体等（水、空気、油、電気）に応じて各々適切な接続形態を採用しており、その接続形態に応じた区分の類型化を実施した。</p> 	<p>■設置許可基準規則 第四十三条第3項第2号 可搬型重大事故等対処設備の常設設備との接続性について</p> <p>1. 概要 重大事故等対処設備の基準適合性を確認するに当たり、設置許可基準規則により要求されている項目のうち、可搬型重大事故等対処設備の常設設備との接続性を確認するための区分及び設計方針について整理した。</p> <p>(1) 基本設計方針 可搬型重大事故等対処設備を常設設備と接続するものについては、容易かつ確実に接続できるように、ケーブルはボルト・ネジ接続又はより簡便な接続方式等を用い、配管は配管径や内部流体の圧力によって、大口径配管又は高压環境においてはフランジを用い、小口径配管かつ低圧環境においてはより簡便な接続方式等を用いる設計とする。 高压窒素ガスポンプ、空気ポンプ、タンクローリ等については、各々専用の接続方式を用いる。また、同一ポンプを接続する配管は口径を統一する等、複数の系統での接続方式の統一も考慮する。</p> <p>(2) 類型化の考え方 a. 考慮事項 ・容易かつ確実に接続できる設計とする。 ・複数の系統で相互に使用することが可能なように接続方式の統一も考慮した設計とする。 b. 類型化 ・内部流体等（水、空気、油、電気）に応じて各々適切な接続方式を採用しており、その接続形態に応じた区分に類型化する。</p> 	<p>■設置許可基準規則 第43条 第3項 第2号 可搬型重大事故等対処設備の常設設備との接続性について</p> <p>1. 概要 重大事故等対処設備の基準適合性を確認するにあたり、設置許可基準規則により要求されている項目のうち、可搬型重大事故等対処設備の常設設備との接続性を確認するための区分及び設計方針について整理した。</p> <p>(1) 基本設計方針 可搬型重大事故等対処設備を常設設備と接続するものについては、容易かつ確実に接続できるように、ケーブルはボルト・ネジ接続又はより簡便な接続方式等を用い、配管は配管径や内部流体の圧力によって、大口径配管又は高压環境においてはフランジを用い、小口径配管かつ低圧環境においてはより簡便な接続方式等を用いる設計とする。 可搬型窒素ガスポンプ、可搬型タンクローリ等については、各々専用の接続方式を用いる。また、同一ポンプを接続する配管のうち、当該ポンプを同容量かつ同揚程で使用する系統では口径を統一する等、複数の系統での接続方式の統一も考慮する。</p> <p>(2) 類型化の考え方 a. 考慮事項 ・容易かつ確実に接続できる設計とする。 ・接続部の接続方式の統一も考慮した設計とする。 b. 類型化 ・内部流体等（水、空気、油、電気）に応じて各々適切な接続方式を採用しており、その接続形態に応じた区分に類型化する。</p> 	<p>相違理由</p> <p>類型化の相違（大飯） ・大飯は、可搬型電源車の供給ケーブルの接続を接続が容易なものを採用している。 ・泊は、電源車ケーブルの接続方法として一般的かつ頑丈な構造の羽子板を採用し、長期SBO時にも市中からの電源車応援に対応できるように設計している。</p> <p>類型化付番の相違 ・泊と女川で、容易かつ確実な接続のための設計方針は同一であるが、ケーブル類型化付番が相違している。 ・泊は、母線供給のための接続（S・M・P接続）と通信・計装・設備負荷の接続とに分類し、専用接続と表記し、油・計装配管と同じ「4-ピン」としている。 ・女川・大飯は、ケーブル・配管の主とする接続方法とそれ以外（簡便な接続）として「4-ピン」としている。 ・類型化付番は異なるが、分類する考え方は同じである。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

43条 重大事故等対処設備

大飯発電所3/4号炉				女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
区分	設計方針	エビデンス	備考	区分	設計方針	関連資料	備考	区分	設計方針	関連資料	備考	
2. 設計方針について 【要求事項：常設設備（発電用原子炉施設と接続されている設備又は短時間に発電用原子炉施設と接続することができる常設の設備をいう。以下同じ。）と接続するものについては、当該常設設備と容易かつ確実に接続することができ、かつ、二以上の系統又は発電用原子炉施設が相互に使用することができるよう、接続部の規格の統一その他の適切な措置を講じたものであること。】 各区分における設計方針について、以下の表にまとめた。				2. 設計方針について 【要求事項：常設設備（発電用原子炉施設と接続されている設備又は短時間に発電用原子炉施設と接続することができる常設の設備をいう。以下同じ。）と接続するものについては、当該常設設備と容易かつ確実に接続することができ、かつ、二以上の系統又は発電用原子炉施設が相互に使用することができるよう、接続部の規格の統一その他の適切な措置を講じたものであること。】 各区分における設計方針について、以下の表にまとめた。				2. 設計方針について 【要求事項：常設設備（発電用原子炉施設と接続されている設備又は短時間に発電用原子炉施設と接続することができる常設の設備をいう。以下同じ。）と接続するものについては、当該常設設備と容易かつ確実に接続することができ、かつ、二以上の系統又は発電用原子炉施設が相互に使用することができるよう、接続部の規格の統一その他の適切な措置を講じたものであること。】 各区分における設計方針について、以下の表にまとめた。				類型化の相違（大飯） ・大飯は、可搬型電源車の供給ケーブルの接続を接続が容易なコネクタを採用し、「ボルト接続」に分類している。 ・女川は、電源車ケーブルを簡便な接続として分類している。 ・泊は、電源車ケーブルの接続方法として一般的かつ頑丈な構造の羽子板を採用し、長期SBO時にも市中からの電源車応援に対応できるよう設計している。 ・同一接続方式を採用する場合、いずれの類型化分類であっても確実かつ容易な接続が実施可能である。
A	【コネクタ接続】 ケーブルは種別によって規格の統一を考慮したコネクタを用いる設計とする。 また、原子炉施設が相互に使用できるように3号炉及び4号炉とも同一規格又は同一形状とするともに、複数の系統での規格の統一も考慮する。	系統図 (写真)		A	ケーブルは、ボルト・ネジ接続等を用い、容易かつ確実に接続できる設計とする。	配置図 接続図 (写真)	・主蒸気逃がし安全弁用可搬型蓄電池 ・可搬型計測器 等	A	【端子のボルトネジによる接続】 ケーブルは、種別によって規格の統一を考慮したボルトネジ接続等を用い、容易かつ確実に接続できるとともに外部支線の受け入れが容易な設計とする。	配置図 接続図 (写真)	・可搬型代替電源車 ・可搬型加圧器逃がし弁操作バッテリー 等	
B	【ボルト締フランジ接続】 配管は配管径や内部流体の圧力によって、高圧環境においてはフランジを用いる設計とする。 また、原子炉施設が相互に使用できるように3号炉及び4号炉とも同一規格又は同一形状とするともに同一ポンプを接続する配管は同口径のフランジ接続とする等、複数の系統での規格の統一も考慮する。	系統図 (写真)	同一ポンプを接続する配管は同口径のフランジ接続とする。	B	配管は、大口径又は高圧の系統においては、フランジ接続により容易かつ確実に接続できる設計とする。	配置図 接続図 (写真)	・大容量送水ポンプ（タイプ1） 等	B	【ボルト締フランジ接続】 配管は配管径や内部流体の圧力によって、大口径配管又は高圧環境においてはフランジを用い、容易かつ確実に接続できる設計とする。 また、同一ポンプを接続する配管のうち、当該ポンプを同容量かつ同揚程で使用する系統では口径を統一する等、複数の系統での接続方式の統一も考慮する。	配置図 接続図 (写真)	・可搬型大容量海水送水ポンプ車（自主対策手順） 等	
C	【より簡便な接続規格等による接続】 ケーブルは種別によってより簡便な接続規格等を用いる設計とする。 配管は配管径や内部流体の圧力によって、小口径配管かつ低圧環境においてはより簡便な接続規格等を用いる設計とする。 また、原子炉施設が相互に使用できるように3号炉及び4号炉とも同一規格又は同一形状とするともに同一ポンプを接続する配管は同口径のフランジ接続とする等、複数の系統での規格の統一も考慮する。	系統図 (写真)	「より簡便な接続規格等」とは「カプラ接続」「圧縮継手接続」等のことをいう。	C	ケーブルは、より簡便な接続方式としてコネクタ接続を用い、容易かつ確実に接続できる設計とする。 配管は、小口径かつ低圧の系統は、簡便な接続方式としてはめ合い構造を用い、容易かつ確実に接続できる設計とする。 同一ポンプを接続する配管は口径を統一する等、複数の系統での接続方式の統一を図った設計とする。	配置図 接続図 (写真)	・電源車 ・大容量送水ポンプ（タイプ1） ・熱交換器ユニット 等	C	【より簡便な接続規格等による接続】 配管は配管径や内部流体の圧力によって、小口径配管かつ低圧環境においては簡便な接続方式としてはめ合い構造を用い、容易かつ確実に接続できる設計とする。 また、同一ポンプを接続する配管のうち、当該ポンプを同容量かつ同揚程で使用する系統では口径を統一する等、複数の系統での接続方式の統一も考慮する。	配置図 接続図 (写真)	・可搬型大型送水ポンプ車 等	
D	【その他適切な措置】 上記以外の接続方法については、個別に設計するが、3号炉及び4号炉とも同一規格又は同一形状とする。	系統図 (写真)		D	上記以外の接続方法については、個別に設計する。	配置図 接続図 (写真)	・高圧窒素ガスポンプ ・空気ポンプ ・タンクローリー 等	D	【専用の接続】 燃料油配管、計装設備とその電源及び付属配管、通信設備並びに緊急時対策用の各設備は、各々専用の接続方法を用い、容易かつ確実に接続できる設計とする。	配置図 接続図 (写真)	・可搬型窒素ガスポンプ ・可搬型タンクローリー 等	
E	常設設備と接続しない設計とする。	系統図		※ 個別条文中に記載する事項を下波部で示す								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

43条 重大事故等対処設備

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>■設置許可基準規則 第43条 第3項 第3号 異なる複数の接続箇所の確保について</p> <p>1. 概要 重大事故等対処設備の基準適合性を確認するに当たり、設置許可基準規則により要求されている項目のうち、異なる複数の接続箇所の確保を確認するための区分及び設計方針について整理した。</p> <p>(1) 基本設計方針 可搬型重大事故等対処設備のうち、原子炉補助建屋の外から水又は電力を供給する設備と、常設設備との接続口は、共通要因によって、接続することができなくなることを防止するため、建屋の異なる面の隣接しない位置に、適切な離隔距離をもって複数箇所設置する。</p> <p>共通要因としては、環境条件、自然現象、外部人為事象、溢水及び火災を考慮する。</p> <p>自然現象については、地震、津波、洪水、風（台風）、竜巻、凍結、降水、積雪、落雷、地滑り、火山の影響、生物学的事象、高潮及び森林火災を考慮する。</p> <p>地震及び津波以外の自然現象の組合せについては、風（台風）、積雪及び火山の影響による荷重の組合せを考慮する。 地震及び津波を含む自然現象の組合せについては、それぞれ「1.1.2 耐震設計の基本方針」及び「1.1.3 津波による損傷の防止」にて考慮する。</p> <p>外部人為事象については、飛来物（航空機落下）、ダム の崩壊、爆発、近隣工場等の火災（石油コンビナート等の施設の火災、発電所敷地内に存在する危険物タンクの火災、航空機墜落による火災、発電所港湾内に入港する船舶の火災及びびい煙等の二次的影響）、有毒ガス、船舶の衝突、電磁的障害及び故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムを考慮する。なお、故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムについては、可搬型重大事故等対処設備にて考慮する。</p> <p>環境条件に対しては、想定される重大事故等が発生した場合における温度、放射線、荷重及びその他の使用条件において、その機能を確実に発揮できる設計とするとともに、屋内又は建屋面に設置する場合、異なる建屋面の隣接しない位置に複数箇所、屋外に設置する場合は、接続口から建屋又は地中の配管トンネルまでの経路を含めて十分な離隔距離を確保した位置に複数箇所設置する。</p> <p>重大事故等時の環境条件における健全性については「1.3.3 環境条件等」に記載する。風（台風）及び竜巻のうち風荷重、凍結、降水、積雪及び火山の影響並びに電磁波障害に対しては、環境条件にて考慮し機能が損なわれない設計とする。</p> <p>地震及び地滑りに対して屋内又は建屋面に設置する場合は、「1.1.1 発電用原子炉施設の位置」に基づく地盤上に、異なる建屋面の隣接しない位置に複数箇所設置する。屋外に設置する場合は、地震により生ずる敷地斜面のすべり、液状化及び掃り込みによる不等沈下、地盤支持力の不足及び地下構造物の損壊等の影響を受けない位置に設置するとともに、接続口から建屋又は地中の配管トンネルまでの経路を含めて十分な離隔距離を確保した位置に複数箇所設置する。</p>	<p>■設置許可基準規則 第四十三条第3項第3号 異なる複数の接続箇所の確保について</p> <p>1. 概要 重大事故等対処設備の基準適合性を確認するに当たり、設置許可基準規則により要求されている項目のうち、異なる複数の接続箇所の確保を確認するための区分及び設計方針について整理した。</p> <p>(1) 基本設計方針 原子炉建屋の外から水又は電力を供給する可搬型重大事故等対処設備と常設設備との接続口は、共通要因によって接続することができなくなることを防止するため、それぞれ互いに異なる複数の場所に設置する設計とする。</p> <p>共通要因としては、環境条件、自然現象、発電所敷地又はその周辺において想定される発電用原子炉施設の安全性を損なわせる原因となるおそれがある事象であって人為によるもの、溢水及び火災を考慮する。</p> <p>発電所敷地で想定される自然現象については、網羅的に抽出するために、地震、津波に加え、発電所敷地及びその周辺での発生実績の有無に関わらず、国内外の基準や文献等に基づき収集した洪水、風（台風）、竜巻、凍結、降水、積雪、落雷、地滑り、火山の影響、生物学的事象、森林火災等の事象を考慮する。これらの事象のうち、発電所敷地及びその周辺での発生の可能性、重大事故等対処設備への影響度、事象進展速度や事象進展に対する時間余裕の観点から、重大事故等対処設備に影響を与えるおそれがある事象として、地震、津波、洪水、風（台風）、竜巻、凍結、降水、積雪、落雷、地滑り、火山の影響、生物学的事象、森林火災及び高潮を選定する。</p> <p>自然現象の組合せについては、地震、津波、風（台風）、積雪及び火山の影響を考慮する。</p> <p>発電所敷地又はその周辺において想定される発電用原子炉施設の安全性を損なわせる原因となるおそれがある事象であって人為によるものについては、網羅的に抽出するために、発電所敷地及びその周辺での発生実績の有無にかかわらず、国内外の基準や文献等に基づき収集した飛来物（航空機落下等）、ダム の崩壊、爆発、近隣工場等の火災、有毒ガス、船舶の衝突、電磁的障害、故意による大型航空機の衝突その他のテロリズム等の事象を考慮する。</p> <p>これらの事象のうち、発電所敷地及びその周辺での発生の可能性、重大事故等対処設備への影響度、事象進展速度や事象進展に対する時間余裕の観点から、重大事故等対処設備に影響を与えるおそれがある事象として、飛来物（航空機落下）、ダム の崩壊、爆発、近隣工場等の火災、有毒ガス、船舶の衝突、電磁的障害及び故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムを考慮する。</p> <p>環境条件に対しては、想定される重大事故等が発生した場合における温度、放射線、荷重及びその他の使用条件において、その機能を確実に発揮できる設計とするとともに、接続口は、建屋内及び建屋面の適切に離隔した隣接しない位置に複数箇所設置する。</p> <p>重大事故等時の環境条件における健全性については「重大事故等時の環境条件における健全性について」に記載する。風（台風）、凍結、降水、積雪及び電磁的障害に対しては、環境条件にて考慮し、機能が損なわれない設計とする。</p> <p>地震に対して接続口は、「原子炉建屋等の基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価について」に基づく地盤上の建屋内又は建屋面に複数箇所設置する。</p>	<p>■設置許可基準規則 第43条 第3項 第3号 異なる複数の接続箇所の確保について</p> <p>1. 概要 重大事故等対処設備の基準適合性を確認するに当たり、設置許可基準規則により要求されている項目のうち、異なる複数の接続箇所の確保を確認するための区分及び設計方針について整理した。</p> <p>(1) 基本設計方針 原子炉建屋又は原子炉補助建屋の外から水又は電力を供給する可搬型重大事故等対処設備との接続口は、共通要因によって、接続することができなくなることを防止するため、それぞれ互いに異なる複数の場所に設置する設計とする。</p> <p>共通要因としては、環境条件、自然現象、発電所敷地又はその周辺において想定される発電用原子炉施設の安全性を損なわせる原因となるおそれがある事象であって人為によるもの、溢水及び火災を考慮する。</p> <p>発電所敷地で想定される自然現象については、網羅的に抽出するために、地震、津波に加え、発電所敷地及びその周辺での発生実績の有無にかかわらず、国内外の基準や文献等に基づき収集した洪水、風（台風）、竜巻、凍結、降水、積雪、落雷、地滑り、火山の影響、生物学的事象、森林火災等の事象を考慮する。これらの事象のうち、発電所敷地及びその周辺での発生の可能性、重大事故等対処設備への影響度、事象進展速度や事象進展に対する時間余裕の観点から、重大事故等対処設備に影響を与えるおそれがある事象として、地震、津波、洪水、風（台風）、竜巻、凍結、降水、積雪、落雷、地滑り、火山の影響、生物学的事象、森林火災及び高潮を選定する。</p> <p>自然現象の組合せについては、地震、津波、風（台風）、積雪及び火山の影響による荷重の組合せを考慮する。 地震、津波を含む自然現象の組合せについては、それぞれ「1.1.2 耐震設計の基本方針」及び「1.1.3 津波による損傷の防止」にて考慮する。</p> <p>発電所敷地又はその周辺において想定される発電用原子炉施設の安全性を損なわせる原因となるおそれがある事象であって人為によるものについては、網羅的に抽出するために、発電所敷地及びその周辺での発生実績の有無にかかわらず、国内外の基準や文献等に基づき収集した飛来物（航空機落下等）、ダム の崩壊、爆発、近隣工場等の火災、有毒ガス、船舶の衝突、電磁的障害、故意による大型航空機の衝突その他のテロリズム等の事象を考慮する。</p> <p>これらの事象のうち、発電所敷地及びその周辺での発生の可能性、重大事故等対処設備への影響度、事象進展速度や事象進展に対する時間余裕の観点から、重大事故等対処設備に影響を与えるおそれがある事象として、飛来物（航空機落下）、ダム の崩壊、爆発、近隣工場等の火災、有毒ガス、船舶の衝突、電磁的障害及び故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムを考慮する。</p> <p>環境条件に対しては、想定される重大事故等が発生した場合における温度、放射線、荷重及びその他の使用条件において、その機能を確実に発揮できる設計とするとともに、接続口は、建屋の異なる面の隣接しない位置又は建屋内及び建屋面の適切に離隔した位置に複数箇所設置する。</p> <p>重大事故等時の環境条件における健全性については「重大事故等時の環境条件における健全性について」に記載する。風（台風）、凍結、降水、積雪及び電磁的障害に対しては、環境条件にて考慮し機能が損なわれない設計とする。</p> <p>地震及び地滑りに対して接続口は、「原子炉建屋等の基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価について」に基づく地盤上の建屋内又は建屋面に複数箇所設置する。</p>	